

西暦年 月 日 旧暦年 月 日

日 付 の 直 後 の 天 気 欄 記 入 事 項 と (関 連 す る そ の 他 の 事 項)

1661年 6月29日 寛文元年 6月3日 なし(日記が保存されているが天気の記事がないの意・以下同様)
1661年 6月30日 寛文元年 6月4日 なし

1661年	7月1日	寛文元年	6月5日	なし(日記が保存されているが天気の記事がないの意・以下同様)
1661年	7月2日	寛文元年	6月6日	なし
1661年	7月3日	寛文元年	6月7日	なし
1661年	7月4日	寛文元年	6月8日	なし
1661年	7月5日	寛文元年	6月9日	なし
1661年	7月6日	寛文元年	6月10日	なし
1661年	7月7日	寛文元年	6月11日	なし
1661年	7月8日	寛文元年	6月12日	なし
1661年	7月9日	寛文元年	6月13日	なし
1661年	7月10日	寛文元年	6月14日	なし
1661年	7月11日	寛文元年	6月15日	なし
1661年	7月12日	寛文元年	6月16日	なし
1661年	7月13日	寛文元年	6月17日	なし
1661年	7月14日	寛文元年	6月18日	なし
1661年	7月15日	寛文元年	6月19日	なし
1661年	7月16日	寛文元年	6月20日	なし
1661年	7月17日	寛文元年	6月21日	なし
1661年	7月18日	寛文元年	6月22日	なし
1661年	7月19日	寛文元年	6月23日	なし
1661年	7月20日	寛文元年	6月24日	なし
1661年	7月21日	寛文元年	6月25日	なし
1661年	7月22日	寛文元年	6月26日	なし
1661年	7月23日	寛文元年	6月27日	なし
1661年	7月24日	寛文元年	6月28日	(空欄は日記が保存されていない意・以下同様)
1661年	7月25日	寛文元年	6月29日	
1661年	7月26日	寛文元年	7月1日	なし
1661年	7月27日	寛文元年	7月2日	なし
1661年	7月28日	寛文元年	7月3日	なし
1661年	7月29日	寛文元年	7月4日	なし
1661年	7月30日	寛文元年	7月5日	なし
1661年	7月31日	寛文元年	7月6日	なし
1661年	8月1日	寛文元年	7月7日	なし
1661年	8月2日	寛文元年	7月8日	なし
1661年	8月3日	寛文元年	7月9日	なし
1661年	8月4日	寛文元年	7月10日	なし
1661年	8月5日	寛文元年	7月11日	なし(七つ時分地震)
1661年	8月6日	寛文元年	7月12日	なし
1661年	8月7日	寛文元年	7月13日	なし
1661年	8月8日	寛文元年	7月14日	なし
1661年	8月9日	寛文元年	7月15日	なし
1661年	8月10日	寛文元年	7月16日	なし
1661年	8月11日	寛文元年	7月17日	なし
1661年	8月12日	寛文元年	7月18日	なし
1661年	8月13日	寛文元年	7月19日	なし
1661年	8月14日	寛文元年	7月20日	なし
1661年	8月15日	寛文元年	7月21日	なし
1661年	8月16日	寛文元年	7月22日	なし
1661年	8月17日	寛文元年	7月23日	なし
1661年	8月18日	寛文元年	7月24日	なし
1661年	8月19日	寛文元年	7月25日	なし
1661年	8月20日	寛文元年	7月26日	なし
1661年	8月21日	寛文元年	7月27日	
1661年	8月22日	寛文元年	7月28日	
1661年	8月23日	寛文元年	7月29日	
1661年	8月24日	寛文元年	7月30日	
1661年	8月25日	寛文元年	8月1日	なし
1661年	8月26日	寛文元年	8月2日	なし
1661年	8月27日	寛文元年	8月3日	なし
1661年	8月28日	寛文元年	8月4日	なし
1661年	8月29日	寛文元年	8月5日	なし
1661年	8月30日	寛文元年	8月6日	なし
1661年	8月31日	寛文元年	8月7日	なし

1661年	9月1日	寛文元年	8月8日	なし
1661年	9月2日	寛文元年	8月9日	なし
1661年	9月3日	寛文元年	8月10日	なし
1661年	9月4日	寛文元年	8月11日	なし
1661年	9月5日	寛文元年	8月12日	なし
1661年	9月6日	寛文元年	8月13日	なし
1661年	9月7日	寛文元年	8月14日	なし
1661年	9月8日	寛文元年	8月15日	なし
1661年	9月9日	寛文元年	8月16日	なし
1661年	9月10日	寛文元年	8月17日	なし
1661年	9月11日	寛文元年	8月18日	なし
1661年	9月12日	寛文元年	8月19日	なし (成敗者仰せ付ける)
1661年	9月13日	寛文元年	8月20日	なし
1661年	9月14日	寛文元年	8月21日	雨ふり
1661年	9月15日	寛文元年	8月22日	雨ふり
1661年	9月16日	寛文元年	8月23日	雨ふり
1661年	9月17日	寛文元年	8月24日	雨ふり
1661年	9月18日	寛文元年	8月25日	なし
1661年	9月19日	寛文元年	8月26日	なし
1661年	9月20日	寛文元年	8月27日	なし
1661年	9月21日	寛文元年	8月28日	なし
1661年	9月22日	寛文元年	8月29日	なし
1661年	9月23日	寛文元年	8月30日	なし
1661年	9月24日	寛文元年閏8月1日	なし	
1661年	9月25日	寛文元年閏8月2日	なし	
1661年	9月26日	寛文元年閏8月3日	なし	
1661年	9月27日	寛文元年閏8月4日	なし	
1661年	9月28日	寛文元年閏8月5日	なし	
1661年	9月29日	寛文元年閏8月6日	なし	
1661年	9月30日	寛文元年閏8月7日	なし	(朝七つに地震)
1661年	10月1日	寛文元年閏8月8日	なし	
1661年	10月2日	寛文元年閏8月9日	なし	
1661年	10月3日	寛文元年閏8月10日	なし	
1661年	10月4日	寛文元年閏8月11日	なし	
1661年	10月5日	寛文元年閏8月12日	なし	
1661年	10月6日	寛文元年閏8月13日	なし	
1661年	10月7日	寛文元年閏8月14日	なし	
1661年	10月8日	寛文元年閏8月15日	晴	
1661年	10月9日	寛文元年閏8月16日	晴	
1661年	10月10日	寛文元年閏8月17日	晴	
1661年	10月11日	寛文元年閏8月18日	晴	
1661年	10月12日	寛文元年閏8月19日	晴	
1661年	10月13日	寛文元年閏8月20日	なし	
1661年	10月14日	寛文元年閏8月21日	雨天	
1661年	10月15日	寛文元年閏8月22日	雨天	昼のち晴
1661年	10月16日	寛文元年閏8月23日	曇	
1661年	10月17日	寛文元年閏8月24日	なし	
1661年	10月18日	寛文元年閏8月25日	朝雨	
1661年	10月19日	寛文元年閏8月26日	なし	
1661年	10月20日	寛文元年閏8月27日	なし	
1661年	10月21日	寛文元年閏8月28日	なし	
1661年	10月22日	寛文元年閏8月29日	なし	
1661年	10月23日	寛文元年	9月1日	なし
1661年	10月24日	寛文元年	9月2日	なし
1661年	10月25日	寛文元年	9月3日	なし
1661年	10月26日	寛文元年	9月4日	なし
1661年	10月27日	寛文元年	9月5日	なし
1661年	10月28日	寛文元年	9月6日	なし
1661年	10月29日	寛文元年	9月7日	晴
1661年	10月30日	寛文元年	9月8日	なし
1661年	10月31日	寛文元年	9月9日	なし

1661年 11月1日 寛文元年	9月10日 なし
1661年 11月2日 寛文元年	9月11日 あられ降
1661年 11月3日 寛文元年	9月12日 なし
1661年 11月4日 寛文元年	9月13日 なし
1661年 11月5日 寛文元年	9月14日 なし
1661年 11月6日 寛文元年	9月15日 なし
1661年 11月7日 寛文元年	9月16日 暮より夜半へ雷雨
1661年 11月8日 寛文元年	9月17日 なし
1661年 11月9日 寛文元年	9月18日 なし
1661年 11月10日 寛文元年	9月19日 なし
1661年 11月11日 寛文元年	9月20日 なし
1661年 11月12日 寛文元年	9月21日 なし
1661年 11月13日 寛文元年	9月22日 なし
1661年 11月14日 寛文元年	9月23日 なし
1661年 11月15日 寛文元年	9月24日 晴
1661年 11月16日 寛文元年	9月25日 晴
1661年 11月17日 寛文元年	9月26日 夜半より雨少し (今夜半前塩分町で馬屋火事)
1661年 11月18日 寛文元年	9月27日 なし
1661年 11月19日 寛文元年	9月28日
1661年 11月20日 寛文元年	9月29日
1661年 11月21日 寛文元年	9月30日
1661年 11月22日 寛文元年	10月1日 雪降
1661年 11月23日 寛文元年	10月2日 なし
1661年 11月24日 寛文元年	10月3日 なし
1661年 11月25日 寛文元年	10月4日 なし
1661年 11月26日 寛文元年	10月5日 なし
1661年 11月27日 寛文元年	10月6日 なし
1661年 11月28日 寛文元年	10月7日 晴
1661年 11月29日 寛文元年	10月8日 雷雨
1661年 11月30日 寛文元年	10月9日 晴
1661年 12月1日 寛文元年	10月10日 なし (十三で火災・翌日まで80余焼家)
1661年 12月2日 寛文元年	10月11日 晴
1661年 12月3日 寛文元年	10月12日 なし
1661年 12月4日 寛文元年	10月13日 雪ふる
1661年 12月5日 寛文元年	10月14日 なし
1661年 12月6日 寛文元年	10月15日 晴
1661年 12月7日 寛文元年	10月16日 同(晴)
1661年 12月8日 寛文元年	10月17日 なし
1661年 12月9日 寛文元年	10月18日 なし (暮六つに鍛冶町で気遣い・2人死亡・気遣いも翌日死亡)
1661年 12月10日 寛文元年	10月19日 なし
1661年 12月11日 寛文元年	10月20日 雪降
1661年 12月12日 寛文元年	10月21日 晴
1661年 12月13日 寛文元年	10月22日 同(晴)
1661年 12月14日 寛文元年	10月23日 雪ふる
1661年 12月15日 寛文元年	10月24日 同(雪ふる)
1661年 12月16日 寛文元年	10月25日 なし
1661年 12月17日 寛文元年	10月26日 なし
1661年 12月18日 寛文元年	10月27日 なし
1661年 12月19日 寛文元年	10月28日 なし
1661年 12月20日 寛文元年	10月29日 なし
1661年 12月21日 寛文元年	10月30日 なし
1661年 12月22日 寛文元年	11月1日 なし (晩・夜に入り大風)
1661年 12月23日 寛文元年	11月2日 晴
1661年 12月24日 寛文元年	11月3日 同(晴)
1661年 12月25日 寛文元年	11月4日 同(晴)
1661年 12月26日 寛文元年	11月5日 晴
1661年 12月27日 寛文元年	11月6日 なし
1661年 12月28日 寛文元年	11月7日 晴 夜に入り大風並びに雪降る
1661年 12月29日 寛文元年	11月8日 なし
1661年 12月30日 寛文元年	11月9日 なし
1661年 12月31日 寛文元年	11月10日 なし

1662年	1月1日	寛文元年	11月11日	晴
1662年	1月2日	寛文元年	11月12日	なし
1662年	1月3日	寛文元年	11月13日	なし
1662年	1月4日	寛文元年	11月14日	雪
1662年	1月5日	寛文元年	11月15日	同(雪)
1662年	1月6日	寛文元年	11月16日	同(雪)
1662年	1月7日	寛文元年	11月17日	同(雪)
1662年	1月8日	寛文元年	11月18日	なし
1662年	1月9日	寛文元年	11月19日	なし
1662年	1月10日	寛文元年	11月20日	なし
1662年	1月11日	寛文元年	11月21日	なし
1662年	1月12日	寛文元年	11月22日	なし
1662年	1月13日	寛文元年	11月23日	なし
1662年	1月14日	寛文元年	11月24日	なし
1662年	1月15日	寛文元年	11月25日	なし
1662年	1月16日	寛文元年	11月26日	なし
1662年	1月17日	寛文元年	11月27日	なし
1662年	1月18日	寛文元年	11月28日	なし
1662年	1月19日	寛文元年	11月29日	なし
1662年	1月20日	寛文元年	12月1日	なし
1662年	1月21日	寛文元年	12月2日	なし
1662年	1月22日	寛文元年	12月3日	なし
1662年	1月23日	寛文元年	12月4日	なし
1662年	1月24日	寛文元年	12月5日	なし
1662年	1月25日	寛文元年	12月6日	なし
1662年	1月26日	寛文元年	12月7日	なし
1662年	1月27日	寛文元年	12月8日	なし
1662年	1月28日	寛文元年	12月9日	なし
1662年	1月29日	寛文元年	12月10日	なし
1662年	1月30日	寛文元年	12月11日	なし
1662年	1月31日	寛文元年	12月12日	なし
1662年	2月1日	寛文元年	12月13日	なし
1662年	2月2日	寛文元年	12月14日	なし
1662年	2月3日	寛文元年	12月15日	なし
1662年	2月4日	寛文元年	12月16日	なし
1662年	2月5日	寛文元年	12月17日	なし
1662年	2月6日	寛文元年	12月18日	なし
1662年	2月7日	寛文元年	12月19日	なし
1662年	2月8日	寛文元年	12月20日	なし
1662年	2月9日	寛文元年	12月21日	なし
1662年	2月10日	寛文元年	12月22日	なし
1662年	2月11日	寛文元年	12月23日	なし
1662年	2月12日	寛文元年	12月24日	なし
1662年	2月13日	寛文元年	12月25日	なし
1662年	2月14日	寛文元年	12月26日	なし
1662年	2月15日	寛文元年	12月27日	なし
1662年	2月16日	寛文元年	12月28日	なし
1662年	2月17日	寛文元年	12月29日	なし
1662年	2月18日	寛文元年	12月30日	終日(ひねもす)大雨
1662年	2月19日	寛文2年	正月1日	なし
1662年	2月20日	寛文2年	正月2日	なし
1662年	2月21日	寛文2年	正月3日	なし
1662年	2月22日	寛文2年	正月4日	なし
1662年	2月23日	寛文2年	正月5日	なし
1662年	2月24日	寛文2年	正月6日	なし(本町火災6軒)
1662年	2月25日	寛文2年	正月7日	なし
1662年	2月26日	寛文2年	正月8日	なし(地震三度あり)
1662年	2月27日	寛文2年	正月9日	なし
1662年	2月28日	寛文2年	正月10日	なし

1662年	3月1日	寛文2年	正月11日	なし
1662年	3月2日	寛文2年	正月12日	なし
1662年	3月3日	寛文2年	正月13日	なし
1662年	3月4日	寛文2年	正月14日	なし
1662年	3月5日	寛文2年	正月15日	なし
1662年	3月6日	寛文2年	正月16日	なし
1662年	3月7日	寛文2年	正月17日	なし
1662年	3月8日	寛文2年	正月18日	なし
1662年	3月9日	寛文2年	正月19日	なし
1662年	3月10日	寛文2年	正月20日	なし
1662年	3月11日	寛文2年	正月21日	なし
1662年	3月12日	寛文2年	正月22日	なし
1662年	3月13日	寛文2年	正月23日	なし
1662年	3月14日	寛文2年	正月24日	なし
1662年	3月15日	寛文2年	正月25日	なし
1662年	3月16日	寛文2年	正月26日	なし
1662年	3月17日	寛文2年	正月27日	なし
1662年	3月18日	寛文2年	正月28日	なし
1662年	3月19日	寛文2年	正月29日	なし
1662年	3月20日	寛文2年	2月1日	なし
1662年	3月21日	寛文2年	2月2日	なし
1662年	3月22日	寛文2年	2月3日	なし
1662年	3月23日	寛文2年	2月4日	なし
1662年	3月24日	寛文2年	2月5日	なし
1662年	3月25日	寛文2年	2月6日	なし
1662年	3月26日	寛文2年	2月7日	なし
1662年	3月27日	寛文2年	2月8日	なし
1662年	3月28日	寛文2年	2月9日	なし
1662年	3月29日	寛文2年	2月10日	なし
1662年	3月30日	寛文2年	2月11日	なし
1662年	3月31日	寛文2年	2月12日	なし
1662年	4月1日	寛文2年	2月13日	なし
1662年	4月2日	寛文2年	2月14日	なし
1662年	4月3日	寛文2年	2月15日	なし
1662年	4月4日	寛文2年	2月16日	なし
1662年	4月5日	寛文2年	2月17日	なし
1662年	4月6日	寛文2年	2月18日	なし
1662年	4月7日	寛文2年	2月19日	なし (去8日夜江戸の下屋敷全焼)
1662年	4月8日	寛文2年	2月20日	なし
1662年	4月9日	寛文2年	2月21日	なし
1662年	4月10日	寛文2年	2月22日	なし
1662年	4月11日	寛文2年	2月23日	なし
1662年	4月12日	寛文2年	2月24日	なし
1662年	4月13日	寛文2年	2月25日	なし
1662年	4月14日	寛文2年	2月26日	なし
1662年	4月15日	寛文2年	2月27日	なし
1662年	4月16日	寛文2年	2月28日	なし
1662年	4月17日	寛文2年	2月29日	なし
1662年	4月18日	寛文2年	2月30日	なし
1662年	4月19日	寛文2年	3月1日	なし
1662年	4月20日	寛文2年	3月2日	なし
1662年	4月21日	寛文2年	3月3日	なし
1662年	4月22日	寛文2年	3月4日	夜に入り雪降り申し候
1662年	4月23日	寛文2年	3月5日	なし
1662年	4月24日	寛文2年	3月6日	なし
1662年	4月25日	寛文2年	3月7日	なし
1662年	4月26日	寛文2年	3月8日	なし
1662年	4月27日	寛文2年	3月9日	なし
1662年	4月28日	寛文2年	3月10日	なし (殿様御発足・西の浜御登り)
1662年	4月29日	寛文2年	3月11日	
1662年	4月30日	寛文2年	3月12日	

1662年	5月1日	寛文2年	3月13日
1662年	5月2日	寛文2年	3月14日
1662年	5月3日	寛文2年	3月15日
1662年	5月4日	寛文2年	3月16日
1662年	5月5日	寛文2年	3月17日
1662年	5月6日	寛文2年	3月18日
1662年	5月7日	寛文2年	3月19日
1662年	5月8日	寛文2年	3月20日
1662年	5月9日	寛文2年	3月21日
1662年	5月10日	寛文2年	3月22日
1662年	5月11日	寛文2年	3月23日
1662年	5月12日	寛文2年	3月24日
1662年	5月13日	寛文2年	3月25日
1662年	5月14日	寛文2年	3月26日
1662年	5月15日	寛文2年	3月27日
1662年	5月16日	寛文2年	3月28日
1662年	5月17日	寛文2年	3月29日
1662年	5月18日	寛文2年	4月1日
1662年	5月19日	寛文2年	4月2日
1662年	5月20日	寛文2年	4月3日
1662年	5月21日	寛文2年	4月4日
1662年	5月22日	寛文2年	4月5日
1662年	5月23日	寛文2年	4月6日
1662年	5月24日	寛文2年	4月7日
1662年	5月25日	寛文2年	4月8日
1662年	5月26日	寛文2年	4月9日
1662年	5月27日	寛文2年	4月10日
1662年	5月28日	寛文2年	4月11日
1662年	5月29日	寛文2年	4月12日
1662年	5月30日	寛文2年	4月13日
1662年	5月31日	寛文2年	4月14日
1662年	6月1日	寛文2年	4月15日
1662年	6月2日	寛文2年	4月16日
1662年	6月3日	寛文2年	4月17日
1662年	6月4日	寛文2年	4月18日
1662年	6月5日	寛文2年	4月19日
1662年	6月6日	寛文2年	4月20日
1662年	6月7日	寛文2年	4月21日
1662年	6月8日	寛文2年	4月22日
1662年	6月9日	寛文2年	4月23日
1662年	6月10日	寛文2年	4月24日
1662年	6月11日	寛文2年	4月25日
1662年	6月12日	寛文2年	4月26日
1662年	6月13日	寛文2年	4月27日
1662年	6月14日	寛文2年	4月28日
1662年	6月15日	寛文2年	4月29日
1662年	6月16日	寛文2年	5月1日
1662年	6月17日	寛文2年	5月2日
1662年	6月18日	寛文2年	5月3日
1662年	6月19日	寛文2年	5月4日
1662年	6月20日	寛文2年	5月5日
1662年	6月21日	寛文2年	5月6日
1662年	6月22日	寛文2年	5月7日
1662年	6月23日	寛文2年	5月8日
1662年	6月24日	寛文2年	5月9日
1662年	6月25日	寛文2年	5月10日
1662年	6月26日	寛文2年	5月11日
1662年	6月27日	寛文2年	5月12日
1662年	6月28日	寛文2年	5月13日
1662年	6月29日	寛文2年	5月14日
1662年	6月30日	寛文2年	5月15日

1662年	7月1日	寛文2年	5月16日
1662年	7月2日	寛文2年	5月17日
1662年	7月3日	寛文2年	5月18日
1662年	7月4日	寛文2年	5月19日
1662年	7月5日	寛文2年	5月20日
1662年	7月6日	寛文2年	5月21日
1662年	7月7日	寛文2年	5月22日
1662年	7月8日	寛文2年	5月23日
1662年	7月9日	寛文2年	5月24日
1662年	7月10日	寛文2年	5月25日
1662年	7月11日	寛文2年	5月26日
1662年	7月12日	寛文2年	5月27日
1662年	7月13日	寛文2年	5月28日
1662年	7月14日	寛文2年	5月29日
1662年	7月15日	寛文2年	5月30日
1662年	7月16日	寛文2年	6月1日
1662年	7月17日	寛文2年	6月2日
1662年	7月18日	寛文2年	6月3日
1662年	7月19日	寛文2年	6月4日
1662年	7月20日	寛文2年	6月5日
1662年	7月21日	寛文2年	6月6日
1662年	7月22日	寛文2年	6月7日
1662年	7月23日	寛文2年	6月8日
1662年	7月24日	寛文2年	6月9日
1662年	7月25日	寛文2年	6月10日
1662年	7月26日	寛文2年	6月11日
1662年	7月27日	寛文2年	6月12日
1662年	7月28日	寛文2年	6月13日
1662年	7月29日	寛文2年	6月14日
1662年	7月30日	寛文2年	6月15日 なし
1662年	7月31日	寛文2年	6月16日 なし
1662年	8月1日	寛文2年	6月17日 なし
1662年	8月2日	寛文2年	6月18日 なし
1662年	8月3日	寛文2年	6月19日 なし
1662年	8月4日	寛文2年	6月20日 なし
1662年	8月5日	寛文2年	6月21日 八つ時分大雨降る
1662年	8月6日	寛文2年	6月22日 なし
1662年	8月7日	寛文2年	6月23日 なし
1662年	8月8日	寛文2年	6月24日 なし
1662年	8月9日	寛文2年	6月25日 なし
1662年	8月10日	寛文2年	6月26日 なし
1662年	8月11日	寛文2年	6月27日 なし
1662年	8月12日	寛文2年	6月28日 なし
1662年	8月13日	寛文2年	6月29日 なし
1662年	8月14日	寛文2年	7月1日 なし
1662年	8月15日	寛文2年	7月2日 なし
1662年	8月16日	寛文2年	7月3日 なし
1662年	8月17日	寛文2年	7月4日 なし
1662年	8月18日	寛文2年	7月5日 なし
1662年	8月19日	寛文2年	7月6日 なし (5人成敗)
1662年	8月20日	寛文2年	7月7日 なし
1662年	8月21日	寛文2年	7月8日 なし
1662年	8月22日	寛文2年	7月9日 なし
1662年	8月23日	寛文2年	7月10日 朝八つ時分雨降 七つ時分晴
1662年	8月24日	寛文2年	7月11日 なし
1662年	8月25日	寛文2年	7月12日 なし
1662年	8月26日	寛文2年	7月13日 なし
1662年	8月27日	寛文2年	7月14日 なし
1662年	8月28日	寛文2年	7月15日 なし
1662年	8月29日	寛文2年	7月16日 なし
1662年	8月30日	寛文2年	7月17日 なし
1662年	8月31日	寛文2年	7月18日 なし

1662年	9月1日	寛文2年	7月19日	なし
1662年	9月2日	寛文2年	7月20日	なし
1662年	9月3日	寛文2年	7月21日	なし
1662年	9月4日	寛文2年	7月22日	なし
1662年	9月5日	寛文2年	7月23日	なし
1662年	9月6日	寛文2年	7月24日	なし
1662年	9月7日	寛文2年	7月25日	朝五つ時分より大風
1662年	9月8日	寛文2年	7月26日	なし
1662年	9月9日	寛文2年	7月27日	なし
1662年	9月10日	寛文2年	7月28日	なし
1662年	9月11日	寛文2年	7月29日	なし
1662年	9月12日	寛文2年	7月30日	なし
1662年	9月13日	寛文2年	8月1日	なし
1662年	9月14日	寛文2年	8月2日	昨夜中より大雨 但し時々晴れ申し候て止まず (土屋大石平で男が突き殺される)
1662年	9月15日	寛文2年	8月3日	昨晚よりの雨今日に至る 但し少し晴れるも止まず 但し晩より晴
1662年	9月16日	寛文2年	8月4日	なし
1662年	9月17日	寛文2年	8月5日	昨晚七つ時分より雨 今朝四つ時分に晴れる 洪水 八つ時分よりまた雨 七つ時分まで
1662年	9月18日	寛文2年	8月6日	屋より雨
1662年	9月19日	寛文2年	8月7日	昨日の雨きようにいたるも晴れず
1662年	9月20日	寛文2年	8月8日	今未明に雨晴れる
1662年	9月21日	寛文2年	8月9日	昨夜五つ時分より今朝五つ時分まで雨止まず振り申し候 洪水先日ほど
1662年	9月22日	寛文2年	8月10日	なし
1662年	9月23日	寛文2年	8月11日	昼時分雨
1662年	9月24日	寛文2年	8月12日	なし (検見衆遣わす・西の濱上磯に山上五郎右衛門)
1662年	9月25日	寛文2年	8月13日	なし
1662年	9月26日	寛文2年	8月14日	なし
1662年	9月27日	寛文2年	8月15日	なし
1662年	9月28日	寛文2年	8月16日	なし
1662年	9月29日	寛文2年	8月17日	なし
1662年	9月30日	寛文2年	8月18日	なし
1662年	10月1日	寛文2年	8月19日	なし
1662年	10月2日	寛文2年	8月20日	なし
1662年	10月3日	寛文2年	8月21日	なし
1662年	10月4日	寛文2年	8月22日	なし
1662年	10月5日	寛文2年	8月23日	なし
1662年	10月6日	寛文2年	8月24日	なし
1662年	10月7日	寛文2年	8月25日	なし
1662年	10月8日	寛文2年	8月26日	なし
1662年	10月9日	寛文2年	8月27日	なし
1662年	10月10日	寛文2年	8月28日	なし
1662年	10月11日	寛文2年	8月29日	なし (この後に天気記述がない晦日(30日)付けの日記がある・弘前藩が勝手に大の月を作りその後調整したものかもしれない、月末に日記が存在しない例が多いのはこの調整かもしれない)
1662年	10月12日	寛文2年	9月1日	なし
1662年	10月13日	寛文2年	9月2日	なし
1662年	10月14日	寛文2年	9月3日	なし
1662年	10月15日	寛文2年	9月4日	なし (鱒ヶ沢よりお舟破損の報)
1662年	10月16日	寛文2年	9月5日	なし
1662年	10月17日	寛文2年	9月6日	なし
1662年	10月18日	寛文2年	9月7日	なし
1662年	10月19日	寛文2年	9月8日	なし
1662年	10月20日	寛文2年	9月9日	なし
1662年	10月21日	寛文2年	9月10日	なし
1662年	10月22日	寛文2年	9月11日	なし
1662年	10月23日	寛文2年	9月12日	なし
1662年	10月24日	寛文2年	9月13日	なし
1662年	10月25日	寛文2年	9月14日	なし
1662年	10月26日	寛文2年	9月15日	なし
1662年	10月27日	寛文2年	9月16日	雨氣にて雨降らず 晩六つ時分よりちりちり雨 昨晚より雪降る由
1662年	10月28日	寛文2年	9月17日	雨少し降る 但し夜中まで雨
1662年	10月29日	寛文2年	9月18日	雨氣
1662年	10月30日	寛文2年	9月19日	なし
1662年	10月31日	寛文2年	9月20日	なし

1662年 11月1日 寛文2年	9月21日 なし
1662年 11月2日 寛文2年	9月22日 なし (十郎左衛門(藩主信政の叔父:黒石藩の初代で幼少藩主の後見者)子の刻御逝去)
1662年 11月3日 寛文2年	9月23日 なし
1662年 11月4日 寛文2年	9月24日 なし
1662年 11月5日 寛文2年	9月25日 なし
1662年 11月6日 寛文2年	9月26日 なし
1662年 11月7日 寛文2年	9月27日 なし (西の外御門外で小人が刺し殺される・殺人者逃亡)
1662年 11月8日 寛文2年	9月28日 昨夜半より雨 昼時分より晴れ
1662年 11月9日 寛文2年	9月29日 なし
1662年 11月10日 寛文2年	9月30日 なし
1662年 11月11日 寛文2年	10月1日 なし
1662年 11月12日 寛文2年	10月2日 なし
1662年 11月13日 寛文2年	10月3日 なし
1662年 11月14日 寛文2年	10月4日 なし
1662年 11月15日 寛文2年	10月5日 なし
1662年 11月16日 寛文2年	10月6日 なし
1662年 11月17日 寛文2年	10月7日 なし
1662年 11月18日 寛文2年	10月8日 なし
1662年 11月19日 寛文2年	10月9日 夜半時分より今朝四つ過ぎまで大雨 但し晩も少々降る
1662年 11月20日 寛文2年	10月10日 今朝ほの明かりより雪少し降る 但し里々への雪初めて降る
1662年 11月21日 寛文2年	10月11日 なし
1662年 11月22日 寛文2年	10月12日 なし
1662年 11月23日 寛文2年	10月13日 なし
1662年 11月24日 寛文2年	10月14日 なし
1662年 11月25日 寛文2年	10月15日 なし
1662年 11月26日 寛文2年	10月16日 なし
1662年 11月27日 寛文2年	10月17日 なし
1662年 11月28日 寛文2年	10月18日 なし
1662年 11月29日 寛文2年	10月19日 なし
1662年 11月30日 寛文2年	10月20日 なし
1662年 12月1日 寛文2年	10月21日 なし
1662年 12月2日 寛文2年	10月22日 なし
1662年 12月3日 寛文2年	10月23日 なし
1662年 12月4日 寛文2年	10月24日 なし
1662年 12月5日 寛文2年	10月25日 なし
1662年 12月6日 寛文2年	10月26日 なし
1662年 12月7日 寛文2年	10月27日 なし
1662年 12月8日 寛文2年	10月28日 なし
1662年 12月9日 寛文2年	10月29日 なし
1662年 12月10日 寛文2年	10月30日 なし
1662年 12月11日 寛文2年	11月1日 なし
1662年 12月12日 寛文2年	11月2日 なし
1662年 12月13日 寛文2年	11月3日 なし
1662年 12月14日 寛文2年	11月4日 なし
1662年 12月15日 寛文2年	11月5日 なし
1662年 12月16日 寛文2年	11月6日 なし
1662年 12月17日 寛文2年	11月7日 なし (成敗者2人(偽銀と馬盗人))
1662年 12月18日 寛文2年	11月8日 なし
1662年 12月19日 寛文2年	11月9日 なし
1662年 12月20日 寛文2年	11月10日 なし
1662年 12月21日 寛文2年	11月11日 なし
1662年 12月22日 寛文2年	11月12日 なし
1662年 12月23日 寛文2年	11月13日 なし
1662年 12月24日 寛文2年	11月14日 なし
1662年 12月25日 寛文2年	11月15日 なし
1662年 12月26日 寛文2年	11月16日 なし
1662年 12月27日 寛文2年	11月17日 なし
1662年 12月28日 寛文2年	11月18日 なし
1662年 12月29日 寛文2年	11月19日 なし
1662年 12月30日 寛文2年	11月20日 なし
1662年 12月31日 寛文2年	11月21日 なし

1663年	1月1日	寛文2年	11月22日	なし
1663年	1月2日	寛文2年	11月23日	なし
1663年	1月3日	寛文2年	11月24日	なし
1663年	1月4日	寛文2年	11月25日	なし
1663年	1月5日	寛文2年	11月26日	なし
1663年	1月6日	寛文2年	11月27日	なし
1663年	1月7日	寛文2年	11月28日	なし
1663年	1月8日	寛文2年	11月29日	なし
1663年	1月9日	寛文2年	11月30日	なし
1663年	1月10日	寛文2年	12月1日	なし
1663年	1月11日	寛文2年	12月2日	なし
1663年	1月12日	寛文2年	12月3日	なし
1663年	1月13日	寛文2年	12月4日	なし
1663年	1月14日	寛文2年	12月5日	なし
1663年	1月15日	寛文2年	12月6日	なし
1663年	1月16日	寛文2年	12月7日	なし
1663年	1月17日	寛文2年	12月8日	なし
1663年	1月18日	寛文2年	12月9日	なし
1663年	1月19日	寛文2年	12月10日	なし
1663年	1月20日	寛文2年	12月11日	なし (襟2人・成敗2人)
1663年	1月21日	寛文2年	12月12日	なし
1663年	1月22日	寛文2年	12月13日	なし
1663年	1月23日	寛文2年	12月14日	なし
1663年	1月24日	寛文2年	12月15日	なし
1663年	1月25日	寛文2年	12月16日	なし
1663年	1月26日	寛文2年	12月17日	なし
1663年	1月27日	寛文2年	12月18日	なし
1663年	1月28日	寛文2年	12月19日	なし
1663年	1月29日	寛文2年	12月20日	なし
1663年	1月30日	寛文2年	12月21日	なし
1663年	1月31日	寛文2年	12月22日	なし
1663年	2月1日	寛文2年	12月23日	なし
1663年	2月2日	寛文2年	12月24日	なし
1663年	2月3日	寛文2年	12月25日	なし
1663年	2月4日	寛文2年	12月26日	なし
1663年	2月5日	寛文2年	12月27日	なし
1663年	2月6日	寛文2年	12月28日	なし
1663年	2月7日	寛文2年	12月29日	なし (当年は近年に御座なき大雪・但し土手町市場にて小見世の上より道まで板を渡し市立てる由・平地四・五尺ほどか軒下は屋根ぎり)
1663年	2月8日	寛文3年	正月1日	なし
1663年	2月9日	寛文3年	正月2日	なし
1663年	2月10日	寛文3年	正月3日	なし
1663年	2月11日	寛文3年	正月4日	なし
1663年	2月12日	寛文3年	正月5日	なし
1663年	2月13日	寛文3年	正月6日	なし
1663年	2月14日	寛文3年	正月7日	なし
1663年	2月15日	寛文3年	正月8日	なし
1663年	2月16日	寛文3年	正月9日	なし
1663年	2月17日	寛文3年	正月10日	寅の時分より昼四つ時分まで小雨
1663年	2月18日	寛文3年	正月11日	なし
1663年	2月19日	寛文3年	正月12日	なし
1663年	2月20日	寛文3年	正月13日	なし
1663年	2月21日	寛文3年	正月14日	なし
1663年	2月22日	寛文3年	正月15日	丑の時分より小雨
1663年	2月23日	寛文3年	正月16日	なし
1663年	2月24日	寛文3年	正月17日	日和吉
1663年	2月25日	寛文3年	正月18日	日和吉
1663年	2月26日	寛文3年	正月19日	なし
1663年	2月27日	寛文3年	正月20日	なし
1663年	2月28日	寛文3年	正月21日	なし

1663年	3月1日	寛文3年	正月22日	なし
1663年	3月2日	寛文3年	正月23日	なし
1663年	3月3日	寛文3年	正月24日	昼より雨
1663年	3月4日	寛文3年	正月25日	なし
1663年	3月5日	寛文3年	正月26日	なし
1663年	3月6日	寛文3年	正月27日	なし
1663年	3月7日	寛文3年	正月28日	なし
1663年	3月8日	寛文3年	正月29日	なし
1663年	3月9日	寛文3年	正月30日	なし
1663年	3月10日	寛文3年	2月1日	夜半時分より小雨にて昼より大雨 晩七つ時分に晴れ
1663年	3月11日	寛文3年	2月2日	なし
1663年	3月12日	寛文3年	2月3日	なし
1663年	3月13日	寛文3年	2月4日	なし
1663年	3月14日	寛文3年	2月5日	なし
1663年	3月15日	寛文3年	2月6日	なし
1663年	3月16日	寛文3年	2月7日	なし
1663年	3月17日	寛文3年	2月8日	なし
1663年	3月18日	寛文3年	2月9日	なし
1663年	3月19日	寛文3年	2月10日	なし
1663年	3月20日	寛文3年	2月11日	なし
1663年	3月21日	寛文3年	2月12日	なし
1663年	3月22日	寛文3年	2月13日	なし (昼時分より雨夜半過ぎまで 但し水は川ごろより内)
1663年	3月23日	寛文3年	2月14日	なし
1663年	3月24日	寛文3年	2月15日	なし
1663年	3月25日	寛文3年	2月16日	雪ふる 日和吉 (小比内火事3軒)
1663年	3月26日	寛文3年	2月17日	昨晚六つ時分より今朝あけほのまで雨
1663年	3月27日	寛文3年	2月18日	昨夜四つ時分より今日五つ時分まで雨 水川ごろ出申し候
1663年	3月28日	寛文3年	2月19日	今朝夜明け前に小雨 かみなり
1663年	3月29日	寛文3年	2月20日	夜半時分より今朝六つ時分まで雨 また四つ時分より雨 みぞれ少々ふる
1663年	3月30日	寛文3年	2月21日	夜半過ぎより雪二・三寸ほどふる
1663年	3月31日	寛文3年	2月22日	なし
1663年	4月1日	寛文3年	2月23日	なし
1663年	4月2日	寛文3年	2月24日	なし
1663年	4月3日	寛文3年	2月25日	なし
1663年	4月4日	寛文3年	2月26日	なし
1663年	4月5日	寛文3年	2月27日	昨晚六つ時分より夜四つ時分まで雨 今屋過ぎ時分に洪水 川ごろより少し上なり
1663年	4月6日	寛文3年	2月28日	なし
1663年	4月7日	寛文3年	2月29日	なし
1663年	4月8日	寛文3年	3月1日	なし
1663年	4月9日	寛文3年	3月2日	なし
1663年	4月10日	寛文3年	3月3日	なし
1663年	4月11日	寛文3年	3月4日	なし
1663年	4月12日	寛文3年	3月5日	なし (金井が沢御横目に山上太郎兵衛)
1663年	4月13日	寛文3年	3月6日	なし
1663年	4月14日	寛文3年	3月7日	なし
1663年	4月15日	寛文3年	3月8日	昨夜より終日小雨
1663年	4月16日	寛文3年	3月9日	昨日の雨今朝あけほのまで止まず降る 明け候てより少し風
1663年	4月17日	寛文3年	3月10日	なし
1663年	4月18日	寛文3年	3月11日	なし
1663年	4月19日	寛文3年	3月12日	なし
1663年	4月20日	寛文3年	3月13日	なし
1663年	4月21日	寛文3年	3月14日	なし
1663年	4月22日	寛文3年	3月15日	なし
1663年	4月23日	寛文3年	3月16日	なし
1663年	4月24日	寛文3年	3月17日	なし
1663年	4月25日	寛文3年	3月18日	洪水 但し南風にて水出申し候
1663年	4月26日	寛文3年	3月19日	昼四つ時分より雨風 今日打ち続き春風
1663年	4月27日	寛文3年	3月20日	なし
1663年	4月28日	寛文3年	3月21日	未の刻より雨
1663年	4月29日	寛文3年	3月22日	昨晚の雨今朝五つ時分まで降 但し水川ごろより上
1663年	4月30日	寛文3年	3月23日	なし

1663年	5月1日	寛文3年	3月24日	なし
1663年	5月2日	寛文3年	3月25日	なし
1663年	5月3日	寛文3年	3月26日	なし
1663年	5月4日	寛文3年	3月27日	なし
1663年	5月5日	寛文3年	3月28日	なし
1663年	5月6日	寛文3年	3月29日	なし
1663年	5月7日	寛文3年	3月30日	なし
1663年	5月8日	寛文3年	4月1日	朝五つ時分より小雨終日 風ひそみ候て夜半時分まで
1663年	5月9日	寛文3年	4月2日	なし
1663年	5月10日	寛文3年	4月3日	なし
1663年	5月11日	寛文3年	4月4日	なし
1663年	5月12日	寛文3年	4月5日	なし
1663年	5月13日	寛文3年	4月6日	なし
1663年	5月14日	寛文3年	4月7日	なし
1663年	5月15日	寛文3年	4月8日	なし
1663年	5月16日	寛文3年	4月9日	なし
1663年	5月17日	寛文3年	4月10日	なし
1663年	5月18日	寛文3年	4月11日	昨晚六つ時より夜半まで雨
1663年	5月19日	寛文3年	4月12日	なし
1663年	5月20日	寛文3年	4月13日	なし
1663年	5月21日	寛文3年	4月14日	なし (3月半ばに御家中が鉄砲でカラスを打ちそこない者を打ち殺す)
1663年	5月22日	寛文3年	4月15日	なし
1663年	5月23日	寛文3年	4月16日	なし
1663年	5月24日	寛文3年	4月17日	なし
1663年	5月25日	寛文3年	4月18日	昨晚六つ時より雨今日まで
1663年	5月26日	寛文3年	4月19日	雨 昨晚六つ時分少し晴れ 今朝ほの明かりまでふる 水は少し出申し候
1663年	5月27日	寛文3年	4月20日	なし
1663年	5月28日	寛文3年	4月21日	なし
1663年	5月29日	寛文3年	4月22日	昼より雨晩まで 水少し出申し候
1663年	5月30日	寛文3年	4月23日	なし
1663年	5月31日	寛文3年	4月24日	なし
1663年	6月1日	寛文3年	4月25日	なし
1663年	6月2日	寛文3年	4月26日	なし
1663年	6月3日	寛文3年	4月27日	昨夜半過ぎより今朝まで小雨
1663年	6月4日	寛文3年	4月28日	なし
1663年	6月5日	寛文3年	4月29日	なし
1663年	6月6日	寛文3年	5月1日	なし
1663年	6月7日	寛文3年	5月2日	なし
1663年	6月8日	寛文3年	5月3日	なし
1663年	6月9日	寛文3年	5月4日	なし
1663年	6月10日	寛文3年	5月5日	なし
1663年	6月11日	寛文3年	5月6日	四つ時分少し風 ごみを吹き上げそれより雨 七つ時分に晴れる 水出ずにごり申し候
1663年	6月12日	寛文3年	5月7日	なし
1663年	6月13日	寛文3年	5月8日	なし
1663年	6月14日	寛文3年	5月9日	なし
1663年	6月15日	寛文3年	5月10日	なし
1663年	6月16日	寛文3年	5月11日	なし
1663年	6月17日	寛文3年	5月12日	夜半過ぎより朝五つ過ぎまで雨 (酒1具値段1匁4分)
1663年	6月18日	寛文3年	5月13日	なし
1663年	6月19日	寛文3年	5月14日	なし
1663年	6月20日	寛文3年	5月15日	なし
1663年	6月21日	寛文3年	5月16日	なし
1663年	6月22日	寛文3年	5月17日	なし
1663年	6月23日	寛文3年	5月18日	なし
1663年	6月24日	寛文3年	5月19日	なし
1663年	6月25日	寛文3年	5月20日	なし
1663年	6月26日	寛文3年	5月21日	なし
1663年	6月27日	寛文3年	5月22日	なし (雨乞い祭御伊勢神主に申しつけ候)
1663年	6月28日	寛文3年	5月23日	七つ時分に小雨
1663年	6月29日	寛文3年	5月24日	なし
1663年	6月30日	寛文3年	5月25日	なし

1663年	7月1日	寛文3年	5月26日	昨夜五つ時分より今朝四つ時分まで雨 水少し出る
1663年	7月2日	寛文3年	5月27日	なし
1663年	7月3日	寛文3年	5月28日	なし
1663年	7月4日	寛文3年	5月29日	なし
1663年	7月5日	寛文3年	6月1日	昨夜六つ時分より今朝明けぼの前まで雨
1663年	7月6日	寛文3年	6月2日	なし
1663年	7月7日	寛文3年	6月3日	なし
1663年	7月8日	寛文3年	6月4日	なし
1663年	7月9日	寛文3年	6月5日	なし
1663年	7月10日	寛文3年	6月6日	昨夜五つ時分より今朝五つ時分まで雨 但し時々晴 水は出ず
1663年	7月11日	寛文3年	6月7日	なし
1663年	7月12日	寛文3年	6月8日	なし
1663年	7月13日	寛文3年	6月9日	昨六つ時分より雨今昼まで 水は川ころ 流し木ながれ申す由
1663年	7月14日	寛文3年	6月10日	なし
1663年	7月15日	寛文3年	6月11日	なし
1663年	7月16日	寛文3年	6月12日	なし
1663年	7月17日	寛文3年	6月13日	なし
1663年	7月18日	寛文3年	6月14日	なし
1663年	7月19日	寛文3年	6月15日	昼より雨
1663年	7月20日	寛文3年	6月16日	なし
1663年	7月21日	寛文3年	6月17日	なし
1663年	7月22日	寛文3年	6月18日	なし
1663年	7月23日	寛文3年	6月19日	なし (殿様が10日に江戸発足)
1663年	7月24日	寛文3年	6月20日	なし
1663年	7月25日	寛文3年	6月21日	なし
1663年	7月26日	寛文3年	6月22日	なし (野田村に鯨寄せる)
1663年	7月27日	寛文3年	6月23日	なし (大間越か深浦間で迎えに出る、このうち 打ち続き風吹き候について風止め祭御伊勢総宮大夫に申しつけ候、男女8人はりつけ・子供4人成敗)
1663年	7月28日	寛文3年	6月24日	なし (土用干しに山上定右衛門)
1663年	7月29日	寛文3年	6月25日	八つ時分より小雨 五つ時分より大雨
1663年	7月30日	寛文3年	6月26日	昨夜五つ前より大雨 今朝ほの明りまで 当年中の洪水
1663年	7月31日	寛文3年	6月27日	なし
1663年	8月1日	寛文3年	6月28日	なし (殿様御着城: 紺屋町口から)
1663年	8月2日	寛文3年	6月29日	なし
1663年	8月3日	寛文3年	7月1日	なし
1663年	8月4日	寛文3年	7月2日	なし
1663年	8月5日	寛文3年	7月3日	なし
1663年	8月6日	寛文3年	7月4日	なし (御家中氣違い・女房切り殺し自害)
1663年	8月7日	寛文3年	7月5日	なし
1663年	8月8日	寛文3年	7月6日	なし
1663年	8月9日	寛文3年	7月7日	朝六つ過ぎより大雨 風 雷
1663年	8月10日	寛文3年	7月8日	なし
1663年	8月11日	寛文3年	7月9日	朝六つ前に雨ふり六つ時分に晴る (昼さがりより川ころの水増す)
1663年	8月12日	寛文3年	7月10日	なし
1663年	8月13日	寛文3年	7月11日	なし
1663年	8月14日	寛文3年	7月12日	四つ時分より雨ふり 暮れ六つ時分に晴る 下から続く になり いなずまのような光なり また六つ半に地震少しする、夜四つ時分地震)
1663年	8月15日	寛文3年	7月13日	昨晩五つ過ぎより今朝六つ時分まで雨 水は川ころより内 四つ半より雨 下から続く 知れ申さず候、右(原文は縦書きであり、本文では下の意)鳴り音暮れ候で少し止み目 上に続く
1663年	8月16日	寛文3年	7月14日	なし 下から続く 候て いずれも不審たて申すほどなり 同昼時地震少しゆり同七つ時分地震、この鳴り物昨日より少しずつ鳴るなり、所は松前か田名部か稔(しか)とは 上に続く
1663年	8月17日	寛文3年	7月15日	なし (朝より北の方鳴り 則 鳴る所と相見え白雲一むら立ち上がり この雲の体 火のもえ上がりたる煙のごとし、朝より晩に至りてことごとく鳴り そのひびきにて戸・障子も鳴り 上に続く
1663年	8月18日	寛文3年	7月16日	朝五つ半時分地震
1663年	8月19日	寛文3年	7月17日	なし (松前震動につき見舞い)
1663年	8月20日	寛文3年	7月18日	昼時分より雨少し降 (原子より外の浜道で殺人1人、八つ時分地震)
1663年	8月21日	寛文3年	7月19日	昨夜五つ半時分より今朝明け時分まで雨降 少し晴れまた降 但し五つ半時分より大雨 九つ時分晴れ (今朝明け前に地震 八つ時分洪水 但し馬屋町・新町へ水上がる)
1663年	8月22日	寛文3年	7月20日	なし
1663年	8月23日	寛文3年	7月21日	時々雨降り 昼時分少しの内大雨
1663年	8月24日	寛文3年	7月22日	時々雨
1663年	8月25日	寛文3年	7月23日	なし
1663年	8月26日	寛文3年	7月24日	朝より風吹
1663年	8月27日	寛文3年	7月25日	なし (飯詰組原子で山賊? 人殺し: 18日に書いてあること)
1663年	8月28日	寛文3年	7月26日	なし
1663年	8月29日	寛文3年	7月27日	なし
1663年	8月30日	寛文3年	7月28日	なし
1663年	8月31日	寛文3年	7月29日	七つ時分雨降 暮れ六つ前に晴

1663年 9月1日 寛文3年	7月30日 四つ半時分雨 追っ付け晴
1663年 9月2日 寛文3年	8月1日 なし
1663年 9月3日 寛文3年	8月2日 朝五つ時分より雨降
1663年 9月4日 寛文3年	8月3日 なし (松前山焼けの軽石を殿に)
1663年 9月5日 寛文3年	8月4日 なし
1663年 9月6日 寛文3年	8月5日 なし
1663年 9月7日 寛文3年	8月6日 なし
1663年 9月8日 寛文3年	8月7日 朝五つ時分より九つまで雨ふる
1663年 9月9日 寛文3年	8月8日 昨夜七つ時分より雨降 今朝五つ時分まで
1663年 9月10日 寛文3年	8月9日 時々雨降
1663年 9月11日 寛文3年	8月10日 なし
1663年 9月12日 寛文3年	8月11日 なし
1663年 9月13日 寛文3年	8月12日 なし
1663年 9月14日 寛文3年	8月13日 なし
1663年 9月15日 寛文3年	8月14日 なし
1663年 9月16日 寛文3年	8月15日 なし
1663年 9月17日 寛文3年	8月16日 なし (とど島沖にて船破損・11人相果て候)
1663年 9月18日 寛文3年	8月17日 なし
1663年 9月19日 寛文3年	8月18日 なし
1663年 9月20日 寛文3年	8月19日 なし
1663年 9月21日 寛文3年	8月20日 なし
1663年 9月22日 寛文3年	8月21日 二十日の晩七つ過ぎより今日中雨ふり申し候
1663年 9月23日 寛文3年	8月22日 昨夜よりの雨止まず終日
1663年 9月24日 寛文3年	8月23日 昨日今屋まで雨ふり通せども屋より晴れる
1663年 9月25日 寛文3年	8月24日 なし
1663年 9月26日 寛文3年	8月25日 なし
1663年 9月27日 寛文3年	8月26日 なし
1663年 9月28日 寛文3年	8月27日 昨夜より今日終日雨降
1663年 9月29日 寛文3年	8月28日 朝五つより四つ時分まで雨ふり それより晴れまたときどきふる
1663年 9月30日 寛文3年	8月29日 朝五つ時分より雨ふる
1663年 10月1日 寛文3年	9月1日 なし
1663年 10月2日 寛文3年	9月2日 なし
1663年 10月3日 寛文3年	9月3日 なし
1663年 10月4日 寛文3年	9月4日 なし
1663年 10月5日 寛文3年	9月5日 なし
1663年 10月6日 寛文3年	9月6日 なし
1663年 10月7日 寛文3年	9月7日 なし
1663年 10月8日 寛文3年	9月8日 天気曇 少し雨ふり
1663年 10月9日 寛文3年	9月9日 なし
1663年 10月10日 寛文3年	9月10日 なし
1663年 10月11日 寛文3年	9月11日 なし
1663年 10月12日 寛文3年	9月12日 なし (昨夜八つ時分不破清兵衛家火事・類火なく火とまる)
1663年 10月13日 寛文3年	9月13日 小雨 但し昨日より曇り申し候
1663年 10月14日 寛文3年	9月14日 昨日より雨
1663年 10月15日 寛文3年	9月15日 時々雨 但し夜前岩木山へ初雪 (暮れ候て雷鳴る)
1663年 10月16日 寛文3年	9月16日 日和吉
1663年 10月17日 寛文3年	9月17日 日和吉
1663年 10月18日 寛文3年	9月18日 なし
1663年 10月19日 寛文3年	9月19日 なし
1663年 10月20日 寛文3年	9月20日 なし
1663年 10月21日 寛文3年	9月21日 朝より晩まで雨ふる
1663年 10月22日 寛文3年	9月22日 なし
1663年 10月23日 寛文3年	9月23日 なし
1663年 10月24日 寛文3年	9月24日 なし
1663年 10月25日 寛文3年	9月25日 天気能
1663年 10月26日 寛文3年	9月26日 なし
1663年 10月27日 寛文3年	9月27日 天気悪 時々雨降り申し候
1663年 10月28日 寛文3年	9月28日 なし
1663年 10月29日 寛文3年	9月29日 なし
1663年 10月30日 寛文3年	9月30日 朝五つ時分より雨降り
1663年 10月31日 寛文3年	10月1日 なし

1663年 11月1日 寛文3年	10月2日 なし
1663年 11月2日 寛文3年	10月3日 なし
1663年 11月3日 寛文3年	10月4日 なし
1663年 11月4日 寛文3年	10月5日 なし
1663年 11月5日 寛文3年	10月6日 なし
1663年 11月6日 寛文3年	10月7日 ゆうべ夜中に雪少しふる
1663年 11月7日 寛文3年	10月8日 なし
1663年 11月8日 寛文3年	10月9日 雨降
1663年 11月9日 寛文3年	10月10日 昨夜半時分より雪少しふり あけて雨になり 朝五つより晴天
1663年 11月10日 寛文3年	10月11日 なし
1663年 11月11日 寛文3年	10月12日 なし
1663年 11月12日 寛文3年	10月13日 雨降
1663年 11月13日 寛文3年	10月14日 なし
1663年 11月14日 寛文3年	10月15日 なし
1663年 11月15日 寛文3年	10月16日 なし
1663年 11月16日 寛文3年	10月17日 なし
1663年 11月17日 寛文3年	10月18日 なし
1663年 11月18日 寛文3年	10月19日 なし
1663年 11月19日 寛文3年	10月20日 なし
1663年 11月20日 寛文3年	10月21日 なし
1663年 11月21日 寛文3年	10月22日 なし
1663年 11月22日 寛文3年	10月23日 なし
1663年 11月23日 寛文3年	10月24日 なし
1663年 11月24日 寛文3年	10月25日 昨夜九つ時分雨
1663年 11月25日 寛文3年	10月26日 なし
1663年 11月26日 寛文3年	10月27日 なし (はりつけ4人・成敗2人)
1663年 11月27日 寛文3年	10月28日 なし
1663年 11月28日 寛文3年	10月29日 なし
1663年 11月29日 寛文3年	10月30日 五つ時分より雨
1663年 11月30日 寛文3年	11月1日 なし (荒川村の百姓が喧嘩で死亡)
1663年 12月1日 寛文3年	11月2日 なし
1663年 12月2日 寛文3年	11月3日 なし
1663年 12月3日 寛文3年	11月4日 なし
1663年 12月4日 寛文3年	11月5日 なし
1663年 12月5日 寛文3年	11月6日 なし
1663年 12月6日 寛文3年	11月7日 なし
1663年 12月7日 寛文3年	11月8日 なし
1663年 12月8日 寛文3年	11月9日 昨夜より雨終日ふり 夜半より大雨今日までふりつづき 川ころ過ぎの水増し
1663年 12月9日 寛文3年	11月10日 なし
1663年 12月10日 寛文3年	11月11日 なし
1663年 12月11日 寛文3年	11月12日 今朝より雨降
1663年 12月12日 寛文3年	11月13日 朝五つ時分雪少々降
1663年 12月13日 寛文3年	11月14日 なし
1663年 12月14日 寛文3年	11月15日 なし
1663年 12月15日 寛文3年	11月16日 なし
1663年 12月16日 寛文3年	11月17日 雨降
1663年 12月17日 寛文3年	11月18日 なし
1663年 12月18日 寛文3年	11月19日 なし
1663年 12月19日 寛文3年	11月20日 なし
1663年 12月20日 寛文3年	11月21日 なし
1663年 12月21日 寛文3年	11月22日 なし
1663年 12月22日 寛文3年	11月23日 なし
1663年 12月23日 寛文3年	11月24日 小雨
1663年 12月24日 寛文3年	11月25日 なし
1663年 12月25日 寛文3年	11月26日 なし
1663年 12月26日 寛文3年	11月27日 なし
1663年 12月27日 寛文3年	11月28日 なし
1663年 12月28日 寛文3年	11月29日 小雨時々降
1663年 12月29日 寛文3年	11月30日 なし
1663年 12月30日 寛文3年	12月1日 雪少々降
1663年 12月31日 寛文3年	12月2日 なし

1664年	1月1日	寛文3年	12月3日	なし
1664年	1月2日	寛文3年	12月4日	なし
1664年	1月3日	寛文3年	12月5日	なし
1664年	1月4日	寛文3年	12月6日	昨夜夜中に小雨 水川ころ
1664年	1月5日	寛文3年	12月7日	雪少し降
1664年	1月6日	寛文3年	12月8日	なし
1664年	1月7日	寛文3年	12月9日	雪ふり
1664年	1月8日	寛文3年	12月10日	なし
1664年	1月9日	寛文3年	12月11日	なし
1664年	1月10日	寛文3年	12月12日	なし
1664年	1月11日	寛文3年	12月13日	なし
1664年	1月12日	寛文3年	12月14日	夜半時分雨 終日雨
1664年	1月13日	寛文3年	12月15日	なし
1664年	1月14日	寛文3年	12月16日	なし
1664年	1月15日	寛文3年	12月17日	なし
1664年	1月16日	寛文3年	12月18日	雨降
1664年	1月17日	寛文3年	12月19日	なし
1664年	1月18日	寛文3年	12月20日	なし
1664年	1月19日	寛文3年	12月21日	なし
1664年	1月20日	寛文3年	12月22日	なし
1664年	1月21日	寛文3年	12月23日	なし
1664年	1月22日	寛文3年	12月24日	なし
1664年	1月23日	寛文3年	12月25日	なし
1664年	1月24日	寛文3年	12月26日	なし
1664年	1月25日	寛文3年	12月27日	なし
1664年	1月26日	寛文3年	12月28日	なし
1664年	1月27日	寛文3年	12月29日	(保存なし) 但し30日分の天気がある「晦日 朝四つ時分雪 同かみなり」
1664年	1月28日	寛文4年	正月1日	なし
1664年	1月29日	寛文4年	正月2日	なし
1664年	1月30日	寛文4年	正月3日	なし
1664年	1月31日	寛文4年	正月4日	なし
1664年	2月1日	寛文4年	正月5日	なし
1664年	2月2日	寛文4年	正月6日	なし
1664年	2月3日	寛文4年	正月7日	なし
1664年	2月4日	寛文4年	正月8日	なし
1664年	2月5日	寛文4年	正月9日	なし
1664年	2月6日	寛文4年	正月10日	なし
1664年	2月7日	寛文4年	正月11日	なし
1664年	2月8日	寛文4年	正月12日	なし
1664年	2月9日	寛文4年	正月13日	なし
1664年	2月10日	寛文4年	正月14日	なし
1664年	2月11日	寛文4年	正月15日	なし
1664年	2月12日	寛文4年	正月16日	なし
1664年	2月13日	寛文4年	正月17日	なし
1664年	2月14日	寛文4年	正月18日	なし
1664年	2月15日	寛文4年	正月19日	なし
1664年	2月16日	寛文4年	正月20日	なし
1664年	2月17日	寛文4年	正月21日	なし
1664年	2月18日	寛文4年	正月22日	なし
1664年	2月19日	寛文4年	正月23日	なし
1664年	2月20日	寛文4年	正月24日	なし
1664年	2月21日	寛文4年	正月25日	なし
1664年	2月22日	寛文4年	正月26日	雪降
1664年	2月23日	寛文4年	正月27日	なし
1664年	2月24日	寛文4年	正月28日	なし
1664年	2月25日	寛文4年	正月29日	なし
1664年	2月26日	寛文4年	正月30日	雪降
1664年	2月27日	寛文4年	2月1日	雪降
1664年	2月28日	寛文4年	2月2日	なし
1664年	2月29日	寛文4年	2月3日	なし

1664年	3月1日	寛文4年	2月4日	雪降
1664年	3月2日	寛文4年	2月5日	朝の内大雪降
1664年	3月3日	寛文4年	2月6日	なし
1664年	3月4日	寛文4年	2月7日	なし
1664年	3月5日	寛文4年	2月8日	なし
1664年	3月6日	寛文4年	2月9日	なし
1664年	3月7日	寛文4年	2月10日	雪降
1664年	3月8日	寛文4年	2月11日	なし
1664年	3月9日	寛文4年	2月12日	なし
1664年	3月10日	寛文4年	2月13日	なし
1664年	3月11日	寛文4年	2月14日	なし
1664年	3月12日	寛文4年	2月15日	なし
1664年	3月13日	寛文4年	2月16日	昨夜より雨降る 今朝五つ時分より雪降る
1664年	3月14日	寛文4年	2月17日	なし
1664年	3月15日	寛文4年	2月18日	雨降
1664年	3月16日	寛文4年	2月19日	なし (御家中死罪)
1664年	3月17日	寛文4年	2月20日	なし
1664年	3月18日	寛文4年	2月21日	なし
1664年	3月19日	寛文4年	2月22日	なし
1664年	3月20日	寛文4年	2月23日	なし
1664年	3月21日	寛文4年	2月24日	なし
1664年	3月22日	寛文4年	2月25日	なし
1664年	3月23日	寛文4年	2月26日	なし
1664年	3月24日	寛文4年	2月27日	なし
1664年	3月25日	寛文4年	2月28日	なし
1664年	3月26日	寛文4年	2月29日	なし
1664年	3月27日	寛文4年	2月30日	なし
1664年	3月28日	寛文4年	3月1日	なし
1664年	3月29日	寛文4年	3月2日	雪少し降
1664年	3月30日	寛文4年	3月3日	なし
1664年	3月31日	寛文4年	3月4日	朝の内雪降
1664年	4月1日	寛文4年	3月5日	なし
1664年	4月2日	寛文4年	3月6日	雨降
1664年	4月3日	寛文4年	3月7日	大水出る
1664年	4月4日	寛文4年	3月8日	なし (昨夜五つ時大浦町に火事 少しにて止まる)
1664年	4月5日	寛文4年	3月9日	天気晴
1664年	4月6日	寛文4年	3月10日	なし
1664年	4月7日	寛文4年	3月11日	なし
1664年	4月8日	寛文4年	3月12日	天気能 (殿様御発足: 鯉ヶ沢經由: 翌日の記事に鯉ヶ沢へご機嫌よく御着座……)
1664年	4月9日	寛文4年	3月13日	なし
1664年	4月10日	寛文4年	3月14日	なし
1664年	4月11日	寛文4年	3月15日	なし
1664年	4月12日	寛文4年	3月16日	なし (十三浜に鯨寄せる)
1664年	4月13日	寛文4年	3月17日	なし
1664年	4月14日	寛文4年	3月18日	なし
1664年	4月15日	寛文4年	3月19日	なし
1664年	4月16日	寛文4年	3月20日	なし
1664年	4月17日	寛文4年	3月21日	なし
1664年	4月18日	寛文4年	3月22日	なし
1664年	4月19日	寛文4年	3月23日	なし
1664年	4月20日	寛文4年	3月24日	雨降
1664年	4月21日	寛文4年	3月25日	雨降
1664年	4月22日	寛文4年	3月26日	丸雪降
1664年	4月23日	寛文4年	3月27日	雨降
1664年	4月24日	寛文4年	3月28日	天気能
1664年	4月25日	寛文4年	3月29日	雨降
1664年	4月26日	寛文4年	4月1日	天気能 (山上定右衛門を齊藤平左衛門と奈良岡権右衛門の相見に)
1664年	4月27日	寛文4年	4月2日	天気能 (藤崎組藤崎と外の浜六枚橋で気違い腹切り死亡)
1664年	4月28日	寛文4年	4月3日	雨降
1664年	4月29日	寛文4年	4月4日	天気能
1664年	4月30日	寛文4年	4月5日	なし

1664年	5月1日	寛文4年	4月6日	なし
1664年	5月2日	寛文4年	4月7日	天気能
1664年	5月3日	寛文4年	4月8日	天気能
1664年	5月4日	寛文4年	4月9日	天気能
1664年	5月5日	寛文4年	4月10日	天気能
1664年	5月6日	寛文4年	4月11日	なし
1664年	5月7日	寛文4年	4月12日	なし
1664年	5月8日	寛文4年	4月13日	なし
1664年	5月9日	寛文4年	4月14日	なし
1664年	5月10日	寛文4年	4月15日	昨暮より大風吹
1664年	5月11日	寛文4年	4月16日	なし
1664年	5月12日	寛文4年	4月17日	なし
1664年	5月13日	寛文4年	4月18日	なし (土手町で蔵の間の材木焼ける)
1664年	5月14日	寛文4年	4月19日	ひかたの風少し吹
1664年	5月15日	寛文4年	4月20日	朝六つより少々雨降
1664年	5月16日	寛文4年	4月21日	なし
1664年	5月17日	寛文4年	4月22日	なし
1664年	5月18日	寛文4年	4月23日	なし
1664年	5月19日	寛文4年	4月24日	なし
1664年	5月20日	寛文4年	4月25日	昼より風吹
1664年	5月21日	寛文4年	4月26日	なし
1664年	5月22日	寛文4年	4月27日	大風 (横内組原別で百姓がけんか・一方が腹切り他方は相手の子供たちに切り殺される)
1664年	5月23日	寛文4年	4月28日	なし
1664年	5月24日	寛文4年	4月29日	なし
1664年	5月25日	寛文4年	4月30日	少々風吹 (人焼き1人(親不孝男))
1664年	5月26日	寛文4年	5月1日	なし
1664年	5月27日	寛文4年	5月2日	雨降
1664年	5月28日	寛文4年	5月3日	なし
1664年	5月29日	寛文4年	5月4日	風吹き天気悪
1664年	5月30日	寛文4年	5月5日	なし
1664年	5月31日	寛文4年	5月6日	なし
1664年	6月1日	寛文4年	5月7日	風吹
1664年	6月2日	寛文4年	5月8日	天気悪
1664年	6月3日	寛文4年	5月9日	なし
1664年	6月4日	寛文4年	5月10日	雨降 (赤川村の男が切り殺される)
1664年	6月5日	寛文4年	5月11日	雨降
1664年	6月6日	寛文4年	5月12日	なし
1664年	6月7日	寛文4年	5月13日	雨降
1664年	6月8日	寛文4年	5月14日	天気能
1664年	6月9日	寛文4年	5月15日	なし
1664年	6月10日	寛文4年	5月16日	なし
1664年	6月11日	寛文4年	5月17日	なし
1664年	6月12日	寛文4年	5月18日	雨降
1664年	6月13日	寛文4年	5月19日	雨降
1664年	6月14日	寛文4年	5月20日	風吹
1664年	6月15日	寛文4年	5月21日	なし
1664年	6月16日	寛文4年	5月22日	なし (青森やちに野犬あり馬の子を喰う・鉄砲打ち2人遣わず)
1664年	6月17日	寛文4年	5月23日	なし
1664年	6月18日	寛文4年	5月24日	なし
1664年	6月19日	寛文4年	5月25日	天気能
1664年	6月20日	寛文4年	5月26日	なし
1664年	6月21日	寛文4年	5月27日	雨降
1664年	6月22日	寛文4年	5月28日	なし
1664年	6月23日	寛文4年	5月29日	なし (青森やちの鉄砲打ち8匹打ち殺して帰る)
1664年	6月24日	寛文4年	閏5月1日	天気能
1664年	6月25日	寛文4年	閏5月2日	雨少し降
1664年	6月26日	寛文4年	閏5月3日	雨降
1664年	6月27日	寛文4年	閏5月4日	天気曇
1664年	6月28日	寛文4年	閏5月5日	なし
1664年	6月29日	寛文4年	閏5月6日	なし
1664年	6月30日	寛文4年	閏5月7日	寒

1664年	7月1日	寛文4年	閏5月8日	雨降 寒
1664年	7月2日	寛文4年	閏5月9日	天気曇 少しずつ雨降
1664年	7月3日	寛文4年	閏5月10日	天気晴
1664年	7月4日	寛文4年	閏5月11日	雨降
1664年	7月5日	寛文4年	閏5月12日	南風吹き雨も降
1664年	7月6日	寛文4年	閏5月13日	天気能
1664年	7月7日	寛文4年	閏5月14日	夜中より終日雨降 (敦賀廻りの上乗りが13日自害)
1664年	7月8日	寛文4年	閏5月15日	なし
1664年	7月9日	寛文4年	閏5月16日	なし (大和沢山で薪取りがなたで切り殺される)
1664年	7月10日	寛文4年	閏5月17日	なし
1664年	7月11日	寛文4年	閏5月18日	終日雨降
1664年	7月12日	寛文4年	閏5月19日	朝少し雨降
1664年	7月13日	寛文4年	閏5月20日	天気能
1664年	7月14日	寛文4年	閏5月21日	八つ時分大雨降
1664年	7月15日	寛文4年	閏5月22日	天気能
1664年	7月16日	寛文4年	閏5月23日	天気能
1664年	7月17日	寛文4年	閏5月24日	天気能
1664年	7月18日	寛文4年	閏5月25日	同断(右に同じの意: 日記は縦書きでありこの場合は上に同じ)
1664年	7月19日	寛文4年	閏5月26日	かみなりにて少し雨降
1664年	7月20日	寛文4年	閏5月27日	天気能 (金井ヶ沢で気違い大工が竿かんなどで女房突き殺す、殺人者成敗)
1664年	7月21日	寛文4年	閏5月28日	雨降
1664年	7月22日	寛文4年	閏5月29日	雨降
1664年	7月23日	寛文4年	6月1日	天気曇
1664年	7月24日	寛文4年	6月2日	天気能
1664年	7月25日	寛文4年	6月3日	天気晴
1664年	7月26日	寛文4年	6月4日	同断
1664年	7月27日	寛文4年	6月5日	同断
1664年	7月28日	寛文4年	6月6日	天気能
1664年	7月29日	寛文4年	6月7日	同断
1664年	7月30日	寛文4年	6月8日	同断
1664年	7月31日	寛文4年	6月9日	天気能
1664年	8月1日	寛文4年	6月10日	同断
1664年	8月2日	寛文4年	6月11日	天気能
1664年	8月3日	寛文4年	6月12日	天気能
1664年	8月4日	寛文4年	6月13日	風吹
1664年	8月5日	寛文4年	6月14日	昨暮より大雨降
1664年	8月6日	寛文4年	6月15日	天気能
1664年	8月7日	寛文4年	6月16日	昼時分より雨降 (鱒ヶ沢までの蔵米の駄賃1駄に1匁2分ずつ)
1664年	8月8日	寛文4年	6月17日	朝の内少し雨降
1664年	8月9日	寛文4年	6月18日	天気能
1664年	8月10日	寛文4年	6月19日	天気能
1664年	8月11日	寛文4年	6月20日	終日天気曇
1664年	8月12日	寛文4年	6月21日	昨夜中より雨降 今昼よりは大風吹く 雨も続く
1664年	8月13日	寛文4年	6月22日	明六つより大雨降 水少し出る
1664年	8月14日	寛文4年	6月23日	昼時分より少しのうち大雨降
1664年	8月15日	寛文4年	6月24日	天気曇
1664年	8月16日	寛文4年	6月25日	なし
1664年	8月17日	寛文4年	6月26日	なし
1664年	8月18日	寛文4年	6月27日	なし
1664年	8月19日	寛文4年	6月28日	なし
1664年	8月20日	寛文4年	6月29日	なし
1664年	8月21日	寛文4年	7月1日	なし
1664年	8月22日	寛文4年	7月2日	天気能
1664年	8月23日	寛文4年	7月3日	天気能
1664年	8月24日	寛文4年	7月4日	天気能 (馬盗人成敗1人)
1664年	8月25日	寛文4年	7月5日	なし (10日にはり付け1人(蔵破りの盗人・傷害))
1664年	8月26日	寛文4年	7月6日	なし
1664年	8月27日	寛文4年	7月7日	天気能
1664年	8月28日	寛文4年	7月8日	天気能
1664年	8月29日	寛文4年	7月9日	大風吹
1664年	8月30日	寛文4年	7月10日	天気能
1664年	8月31日	寛文4年	7月11日	天気能

1664年 9月1日 寛文4年	7月12日 天気能
1664年 9月2日 寛文4年	7月13日 天気能 (御家中の若党成敗)
1664年 9月3日 寛文4年	7月14日 天気能
1664年 9月4日 寛文4年	7月15日 昼の四つ時分より大雨降
1664年 9月5日 寛文4年	7月16日 昨夜中より雨降
1664年 9月6日 寛文4年	7月17日 天気晴
1664年 9月7日 寛文4年	7月18日 天気能
1664年 9月8日 寛文4年	7月19日 天気能
1664年 9月9日 寛文4年	7月20日 天気能
1664年 9月10日 寛文4年	7月21日 天気能 (9日の大風で船沈み(鯉ヶ沢沖か)上乘り・船頭・水主死亡)
1664年 9月11日 寛文4年	7月22日 天気能
1664年 9月12日 寛文4年	7月23日 天気能
1664年 9月13日 寛文4年	7月24日 天気能
1664年 9月14日 寛文4年	7月25日 八つ時分大雨降る
1664年 9月15日 寛文4年	7月26日 天気能
1664年 9月16日 寛文4年	7月27日 天気能
1664年 9月17日 寛文4年	7月28日 天気能
1664年 9月18日 寛文4年	7月29日 天気少し変わる
1664年 9月19日 寛文4年	7月30日 昨暮れ今日終日雨降る
1664年 9月20日 寛文4年	8月1日 雨降る
1664年 9月21日 寛文4年	8月2日 雨降る
1664年 9月22日 寛文4年	8月3日 雨降る
1664年 9月23日 寛文4年	8月4日 天気能
1664年 9月24日 寛文4年	8月5日 天気能
1664年 9月25日 寛文4年	8月6日 天気能
1664年 9月26日 寛文4年	8月7日 終日大雨降る
1664年 9月27日 寛文4年	8月8日 同断
1664年 9月28日 寛文4年	8月9日 天気能
1664年 9月29日 寛文4年	8月10日 同断
1664年 9月30日 寛文4年	8月11日 天気能
1664年 10月1日 寛文4年	8月12日 同断
1664年 10月2日 寛文4年	8月13日 なし
1664年 10月3日 寛文4年	8月14日 但し時々小雨つかまつる
1664年 10月4日 寛文4年	8月15日 天気能
1664年 10月5日 寛文4年	8月16日 天気能 (門外村で男が兄嫁を切り殺す)
1664年 10月6日 寛文4年	8月17日 なし (上の男(氣遣い)を殺す)
1664年 10月7日 寛文4年	8月18日 天気能
1664年 10月8日 寛文4年	8月19日 天気能
1664年 10月9日 寛文4年	8月20日 天気能
1664年 10月10日 寛文4年	8月21日 雨少し降る
1664年 10月11日 寛文4年	8月22日 なし (鯉1尺上げる)
1664年 10月12日 寛文4年	8月23日 天気能
1664年 10月13日 寛文4年	8月24日 天気能 (道心が宿を借りていた者を殺す・その道心を殺す)
1664年 10月14日 寛文4年	8月25日 明け前より雨ふる 昼時分に天気上がる
1664年 10月15日 寛文4年	8月26日 少し雨ふる
1664年 10月16日 寛文4年	8月27日 天気能
1664年 10月17日 寛文4年	8月28日 天気能
1664年 10月18日 寛文4年	8月29日 天気能
1664年 10月19日 寛文4年	9月1日 天気能
1664年 10月20日 寛文4年	9月2日 同断
1664年 10月21日 寛文4年	9月3日 昼時分より雨降る
1664年 10月22日 寛文4年	9月4日 天気能
1664年 10月23日 寛文4年	9月5日 天気能
1664年 10月24日 寛文4年	9月6日 昼さがりより雨ふる
1664年 10月25日 寛文4年	9月7日 雨ふる 但し昼ほどより晴れ風吹く 但し洪水
1664年 10月26日 寛文4年	9月8日 天気能
1664年 10月27日 寛文4年	9月9日 天気屋より雲 少々雨ふる 但し夜に入り大雨つかまつる 然れども水出申さず候
1664年 10月28日 寛文4年	9月10日 天気能
1664年 10月29日 寛文4年	9月11日 天気能
1664年 10月30日 寛文4年	9月12日 なし
1664年 10月31日 寛文4年	9月13日 天気能

1664年 11月1日 寛文4年	9月14日 天気能
1664年 11月2日 寛文4年	9月15日 なし
1664年 11月3日 寛文4年	9月16日 なし
1664年 11月4日 寛文4年	9月17日 天気能 但し昼より雨ふる
1664年 11月5日 寛文4年	9月18日 天気能
1664年 11月6日 寛文4年	9月19日 天気能
1664年 11月7日 寛文4年	9月20日 天気能
1664年 11月8日 寛文4年	9月21日 天気能
1664年 11月9日 寛文4年	9月22日 天気能
1664年 11月10日 寛文4年	9月23日 天気
1664年 11月11日 寛文4年	9月24日 雨ふる
1664年 11月12日 寛文4年	9月25日 朝五つ時分まで雨ふる しかれども水は出申さず候
1664年 11月13日 寛文4年	9月26日 雪ふる
1664年 11月14日 寛文4年	9月27日 天気能
1664年 11月15日 寛文4年	9月28日 天気克 時々雨ふる
1664年 11月16日 寛文4年	9月29日 天気
1664年 11月17日 寛文4年	9月30日 雨ふる
1664年 11月18日 寛文4年	10月1日 時々雨降
1664年 11月19日 寛文4年	10月2日 雨降
1664年 11月20日 寛文4年	10月3日 昨夜中より雪降
1664年 11月21日 寛文4年	10月4日 天気能
1664年 11月22日 寛文4年	10月5日 天気能 但し夜中に入り雨降る (高崎村で飢え死人1人)
1664年 11月23日 寛文4年	10月6日 天気能
1664年 11月24日 寛文4年	10月7日 天気能
1664年 11月25日 寛文4年	10月8日 同断
1664年 11月26日 寛文4年	10月9日 同断
1664年 11月27日 寛文4年	10月10日 同断
1664年 11月28日 寛文4年	10月11日 同断
1664年 11月29日 寛文4年	10月12日 同断
1664年 11月30日 寛文4年	10月13日 天気能
1664年 12月1日 寛文4年	10月14日 同断
1664年 12月2日 寛文4年	10月15日 同断
1664年 12月3日 寛文4年	10月16日 昼より雨ふる
1664年 12月4日 寛文4年	10月17日 昨日に打ちつづき雨降
1664年 12月5日 寛文4年	10月18日 昨夜より雨降
1664年 12月6日 寛文4年	10月19日 同断
1664年 12月7日 寛文4年	10月20日 打ち続き雪降
1664年 12月8日 寛文4年	10月21日 雪降
1664年 12月9日 寛文4年	10月22日 天気能
1664年 12月10日 寛文4年	10月23日 天気能
1664年 12月11日 寛文4年	10月24日 雨降
1664年 12月12日 寛文4年	10月25日 天気能
1664年 12月13日 寛文4年	10月26日 同断 但し暮より雨降
1664年 12月14日 寛文4年	10月27日 雪降る (12日南部尻屋崎で大風に遭い米1100俵積み船沈む・9月19日にかし浜で破船1艘)
1664年 12月15日 寛文4年	10月28日 天気能
1664年 12月16日 寛文4年	10月29日 雪降る
1664年 12月17日 寛文4年	10月30日 天気能
1664年 12月18日 寛文4年	11月1日 天気能
1664年 12月19日 寛文4年	11月2日 右同断(日記の書き方から上に同じの意)
1664年 12月20日 寛文4年	11月3日 天気能
1664年 12月21日 寛文4年	11月4日 同断
1664年 12月22日 寛文4年	11月5日 天気能 (前田屋敷に死人)
1664年 12月23日 寛文4年	11月6日 少し雪降
1664年 12月24日 寛文4年	11月7日 天気能
1664年 12月25日 寛文4年	11月8日 雨降 (〇一、かくのごとくの星 南と東のすみより今月初めより出で 今に失せ申さざる由)
1664年 12月26日 寛文4年	11月9日 天気能
1664年 12月27日 寛文4年	11月10日 寒
1664年 12月28日 寛文4年	11月11日 天気能
1664年 12月29日 寛文4年	11月12日 同断
1664年 12月30日 寛文4年	11月13日 天気曇 ことのほか寒(ひえ)る
1664年 12月31日 寛文4年	11月14日 天気能

1665年	1月1日	寛文4年	11月15日	雪降 (牢の中で男病死)
1665年	1月2日	寛文4年	11月16日	雪少し降
1665年	1月3日	寛文4年	11月17日	天気能
1665年	1月4日	寛文4年	11月18日	天気能
1665年	1月5日	寛文4年	11月19日	天気能
1665年	1月6日	寛文4年	11月20日	暮候て雨降
1665年	1月7日	寛文4年	11月21日	雪降
1665年	1月8日	寛文4年	11月22日	吹雪
1665年	1月9日	寛文4年	11月23日	少しずつ雪降
1665年	1月10日	寛文4年	11月24日	同断
1665年	1月11日	寛文4年	11月25日	同断
1665年	1月12日	寛文4年	11月26日	天気能
1665年	1月13日	寛文4年	11月27日	雪少しずつ降
1665年	1月14日	寛文4年	11月28日	天気能
1665年	1月15日	寛文4年	11月29日	天気能
1665年	1月16日	寛文4年	12月1日	雪少しずつ降 (夜半時分に地震)
1665年	1月17日	寛文4年	12月2日	雪少し降
1665年	1月18日	寛文4年	12月3日	天気能
1665年	1月19日	寛文4年	12月4日	雪降
1665年	1月20日	寛文4年	12月5日	大雪降
1665年	1月21日	寛文4年	12月6日	雪降
1665年	1月22日	寛文4年	12月7日	同断
1665年	1月23日	寛文4年	12月8日	同断
1665年	1月24日	寛文4年	12月9日	雪降
1665年	1月25日	寛文4年	12月10日	天気能
1665年	1月26日	寛文4年	12月11日	ふぶき(原文は凧の中の「止」を「雪」に替えた文字・風の省略形に雪が加わった意と考えられるが辞書にはない文字である)か
1665年	1月27日	寛文4年	12月12日	天気能
1665年	1月28日	寛文4年	12月13日	天気能
1665年	1月29日	寛文4年	12月14日	右同断(上に同じの意:右がなくても同じ意)
1665年	1月30日	寛文4年	12月15日	右同断
1665年	1月31日	寛文4年	12月16日	雪降
1665年	2月1日	寛文4年	12月17日	天気能
1665年	2月2日	寛文4年	12月18日	ふぶき(原文は凧の中の「止」を「雪」に替えた文字・風の省略形に雪が加わった意と考えられるが辞書にはない文字である)か
1665年	2月3日	寛文4年	12月19日	ふぶき(原文は凧の中の「止」を「雪」に替えた文字・風の省略形に雪が加わった意と考えられるが辞書にはない文字である)か
1665年	2月4日	寛文4年	12月20日	ふぶき(原文は凧の中の「止」を「雪」に替えた文字・風の省略形に雪が加わった意と考えられるが辞書にはない文字である)か
1665年	2月5日	寛文4年	12月21日	雪降る
1665年	2月6日	寛文4年	12月22日	雪降
1665年	2月7日	寛文4年	12月23日	雪少しずつ降
1665年	2月8日	寛文4年	12月24日	天気能
1665年	2月9日	寛文4年	12月25日	天気能
1665年	2月10日	寛文4年	12月26日	天気能
1665年	2月11日	寛文4年	12月27日	なし
1665年	2月12日	寛文4年	12月28日	なし
1665年	2月13日	寛文4年	12月29日	なし
1665年	2月14日	寛文4年	12月30日	雪降 朝五つ時分かみなり
1665年	2月15日	寛文5年	正月1日	天気能
1665年	2月16日	寛文5年	正月2日	天気能
1665年	2月17日	寛文5年	正月3日	天気能
1665年	2月18日	寛文5年	正月4日	同断
1665年	2月19日	寛文5年	正月5日	同断
1665年	2月20日	寛文5年	正月6日	天気能
1665年	2月21日	寛文5年	正月7日	天気能
1665年	2月22日	寛文5年	正月8日	天気能
1665年	2月23日	寛文5年	正月9日	水雪降る
1665年	2月24日	寛文5年	正月10日	雪降
1665年	2月25日	寛文5年	正月11日	天気能
1665年	2月26日	寛文5年	正月12日	天気能 (尾別村で女敵打ち)
1665年	2月27日	寛文5年	正月13日	雪降る
1665年	2月28日	寛文5年	正月14日	天気能

1665年 3月1日 寛文5年 正月15日 同断(天気能)
 1665年 3月2日 寛文5年 正月16日 天気能
 1665年 3月3日 寛文5年 正月17日 天気能
 1665年 3月4日 寛文5年 正月18日 天気能
 1665年 3月5日 寛文5年 正月19日 暮時分に少し雨降
 1665年 3月6日 寛文5年 正月20日 天気能
 1665年 3月7日 寛文5年 正月21日 天気能
 1665年 3月8日 寛文5年 正月22日 天気能
 1665年 3月9日 寛文5年 正月23日 雪降
 1665年 3月10日 寛文5年 正月24日 少雪降
 1665年 3月11日 寛文5年 正月25日 天気能
 1665年 3月12日 寛文5年 正月26日 天気能
 1665年 3月13日 寛文5年 正月27日 天気能
 1665年 3月14日 寛文5年 正月28日 天気能
 1665年 3月15日 寛文5年 正月29日 なし
 1665年 3月16日 寛文5年 正月30日 天気能
 1665年 3月17日 寛文5年 2月1日 丸雪降
 1665年 3月18日 寛文5年 2月2日 天気能
 1665年 3月19日 寛文5年 2月3日 同断
 1665年 3月20日 寛文5年 2月4日 朝雨降 屋より晴 但し朝五つ時分にかみなり
 1665年 3月21日 寛文5年 2月5日 天気能
 1665年 3月22日 寛文5年 2月6日 雪降 (西の方に廻り2尺ほどかさなり光りの星これある由 白取平兵衛・秋元(本)又兵衛より申し来る 重ねてしかと見せ申すべく候こと)
 1665年 3月23日 寛文5年 2月7日 雪降
 1665年 3月24日 寛文5年 2月8日 天気能
 1665年 3月25日 寛文5年 2月9日 同断
 1665年 3月26日 寛文5年 2月10日 天気能 ひがんの入り日
 1665年 3月27日 寛文5年 2月11日 天気能
 1665年 3月28日 寛文5年 2月12日 天気能 但し夜に入り大雪降
 1665年 3月29日 寛文5年 2月13日 天気能
 1665年 3月30日 寛文5年 2月14日 天気能
 1665年 3月31日 寛文5年 2月15日 同断
 1665年 4月1日 寛文5年 2月16日 同断
 1665年 4月2日 寛文5年 2月17日 雨降
 1665年 4月3日 寛文5年 2月18日 雨少し降る
 1665年 4月4日 寛文5年 2月19日 暮に及び雨降
 1665年 4月5日 寛文5年 2月20日 天気能
 1665年 4月6日 寛文5年 2月21日 昨暮れより風吹 また寒
 1665年 4月7日 寛文5年 2月22日 天気能
 1665年 4月8日 寛文5年 2月23日 天気能
 1665年 4月9日 寛文5年 2月24日 天気能
 1665年 4月10日 寛文5年 2月25日 天気能
 1665年 4月11日 寛文5年 2月26日 天気能
 1665年 4月12日 寛文5年 2月27日 なし
 1665年 4月13日 寛文5年 2月28日 暮れに及び雨降
 1665年 4月14日 寛文5年 2月29日 天気曇
 1665年 4月15日 寛文5年 2月30日 雨降
 1665年 4月16日 寛文5年 3月1日 朝雪丸降 ならびに風も吹
 1665年 4月17日 寛文5年 3月2日 天気能
 1665年 4月18日 寛文5年 3月3日 大風吹 少し丸雪降 ことのほか寒
 1665年 4月19日 寛文5年 3月4日 天気能 (昨夜浅瀬石で火災4軒・馬など焼失)
 1665年 4月20日 寛文5年 3月5日 天気克
 1665年 4月21日 寛文5年 3月6日 天気能 (金木組金木で百姓走る 昨四つ時分大鱈組三ツ目内で火災)
 1665年 4月22日 寛文5年 3月7日 大風 (三ツ目内の火災で御蔵焼失・お米82俵焼失・家16軒焼失)
 1665年 4月23日 寛文5年 3月8日 天気能
 1665年 4月24日 寛文5年 3月9日 天気能
 1665年 4月25日 寛文5年 3月10日 天気能
 1665年 4月26日 寛文5年 3月11日 天気能 (8日晚青森近所で14・5軒走る)
 1665年 4月27日 寛文5年 3月12日 天気能
 1665年 4月28日 寛文5年 3月13日 屋下がりより雨降
 1665年 4月29日 寛文5年 3月14日 雨降
 1665年 4月30日 寛文5年 3月15日 天気能

1665年	5月1日	寛文5年	3月16日	天気能
1665年	5月2日	寛文5年	3月17日	同断
1665年	5月3日	寛文5年	3月18日	同断 (高杉組高杉で火災3軒)
1665年	5月4日	寛文5年	3月19日	天気能
1665年	5月5日	寛文5年	3月20日	天気能 少し風吹
1665年	5月6日	寛文5年	3月21日	天気能
1665年	5月7日	寛文5年	3月22日	天気能 (高杉組かい沢川村に34・5(男女の記載なし)倒死)
1665年	5月8日	寛文5年	3月23日	天気能
1665年	5月9日	寛文5年	3月24日	なし
1665年	5月10日	寛文5年	3月25日	天気能
1665年	5月11日	寛文5年	3月26日	なし
1665年	5月12日	寛文5年	3月27日	なし (26日酉の刻内真辺山石川沢で火災、26日昼時分碓の関で火災・風が強くと軒焼失)
1665年	5月13日	寛文5年	3月28日	雨少し降
1665年	5月14日	寛文5年	3月29日	なし (内真辺山火事鎮火)
1665年	5月15日	寛文5年	4月1日	天気能
1665年	5月16日	寛文5年	4月2日	天気能
1665年	5月17日	寛文5年	4月3日	なし (藤崎で気遣いが殺人・切腹死、(風が強かったらしく)鹿の子沢より火出で常家戸砂川沢まで焼ける)
1665年	5月18日	寛文5年	4月4日	大風
1665年	5月19日	寛文5年	4月5日	なし
1665年	5月20日	寛文5年	4月6日	天気能
1665年	5月21日	寛文5年	4月7日	天気能
1665年	5月22日	寛文5年	4月8日	天気能
1665年	5月23日	寛文5年	4月9日	天気能
1665年	5月24日	寛文5年	4月10日	雨降る (大森に乞食のような女死人)
1665年	5月25日	寛文5年	4月11日	朝五つまでおおきに霞む 天気能
1665年	5月26日	寛文5年	4月12日	天気能 (未の刻より申の刻まで雨降る)
1665年	5月27日	寛文5年	4月13日	天気好
1665年	5月28日	寛文5年	4月14日	天気好 (小泊へかみきりの鯨寄せる)
1665年	5月29日	寛文5年	4月15日	天気好
1665年	5月30日	寛文5年	4月16日	天気能
1665年	5月31日	寛文5年	4月17日	なし
1665年	6月1日	寛文5年	4月18日	天気くもり候て雨振らず候 (一昨日未の刻大間越村で火災御本陣など20軒焼失・笹森勘解由左衛門に30俵村中へ120俵貸す)
1665年	6月2日	寛文5年	4月19日	天気克
1665年	6月3日	寛文5年	4月20日	天気好
1665年	6月4日	寛文5年	4月21日	天気好
1665年	6月5日	寛文5年	4月22日	同断
1665年	6月6日	寛文5年	4月23日	昼時分より風吹
1665年	6月7日	寛文5年	4月24日	天気能
1665年	6月8日	寛文5年	4月25日	雨少しふる
1665年	6月9日	寛文5年	4月26日	天気好 風少々吹
1665年	6月10日	寛文5年	4月27日	同断
1665年	6月11日	寛文5年	4月28日	天気好 少し風立
1665年	6月12日	寛文5年	4月29日	天気能 (殿は4月21日江戸発)
1665年	6月13日	寛文5年	4月30日	天気能
1665年	6月14日	寛文5年	5月1日	天気能
1665年	6月15日	寛文5年	5月2日	同断 但し暮に及び雨ふる
1665年	6月16日	寛文5年	5月3日	天気能 (酒値段1具に付き1匁6分に)
1665年	6月17日	寛文5年	5月4日	天気曇る (今度碓関御下向)
1665年	6月18日	寛文5年	5月5日	天気好 但し大方帷子(かたびら)ばかりにてまかり出で候
1665年	6月19日	寛文5年	5月6日	天気好
1665年	6月20日	寛文5年	5月7日	同断
1665年	6月21日	寛文5年	5月8日	なし (三世寺より鱒ヶ沢への駄賃銀1匁5分を1匁6分に)
1665年	6月22日	寛文5年	5月9日	天気能
1665年	6月23日	寛文5年	5月10日	天気能 (雨乞いつかまつるべき旨惣宮大夫呼び寄せ申し渡す)
1665年	6月24日	寛文5年	5月11日	天気能
1665年	6月25日	寛文5年	5月12日	天気能
1665年	6月26日	寛文5年	5月13日	なし (雨乞いまつりつかまつられべく旨長勝寺へ佐々木弥左衛門をもって申し遣わす、昨暮れ・今四つかみなり雨はふり申さず候)
1665年	6月27日	寛文5年	5月14日	天気能
1665年	6月28日	寛文5年	5月15日	天気能 (杭止にて雨乞い長勝寺つかまつられ候)
1665年	6月29日	寛文5年	5月16日	昼時分より雨降 (三世寺より鱒ヶ沢への駄賃銀1駄に付き1匁7分ずつに申付ける)
1665年	6月30日	寛文5年	5月17日	四つ時分より雨降

1665年	7月1日	寛文5年	5月18日	少し風吹 雨も降る
1665年	7月2日	寛文5年	5月19日	昨夜中より大雨降
1665年	7月3日	寛文5年	5月20日	天気能 (長勝寺杭止にて雨乞いにつき御米10俵・酒3具入り2樽・菓子・昆布2把)
1665年	7月4日	寛文5年	5月21日	なし
1665年	7月5日	寛文5年	5月22日	八つ時分より大雨降
1665年	7月6日	寛文5年	5月23日	朝のうち雨降
1665年	7月7日	寛文5年	5月24日	なし
1665年	7月8日	寛文5年	5月25日	雨少し降 (時鐘つき始め)
1665年	7月9日	寛文5年	5月26日	天気能
1665年	7月10日	寛文5年	5月27日	天気能
1665年	7月11日	寛文5年	5月28日	天気能 但し風少しずつ吹
1665年	7月12日	寛文5年	5月29日	なし
1665年	7月13日	寛文5年	6月1日	(空欄: 日記の保存なし)
1665年	7月14日	寛文5年	6月2日	
1665年	7月15日	寛文5年	6月3日	
1665年	7月16日	寛文5年	6月4日	
1665年	7月17日	寛文5年	6月5日	
1665年	7月18日	寛文5年	6月6日	天気能
1665年	7月19日	寛文5年	6月7日	天気曇
1665年	7月20日	寛文5年	6月8日	天気能
1665年	7月21日	寛文5年	6月9日	同断
1665年	7月22日	寛文5年	6月10日	同断
1665年	7月23日	寛文5年	6月11日	天気能 暮に及び雨降 (殿様4日江戸発・21日着城予定、8日で着いた飛脚に褒美1歩)
1665年	7月24日	寛文5年	6月12日	雨少し降
1665年	7月25日	寛文5年	6月13日	なし
1665年	7月26日	寛文5年	6月14日	天気能
1665年	7月27日	寛文5年	6月15日	天気能
1665年	7月28日	寛文5年	6月16日	天気能
1665年	7月29日	寛文5年	6月17日	天気能
1665年	7月30日	寛文5年	6月18日	天気能 夜の七つ時分に地震
1665年	7月31日	寛文5年	6月19日	天気能
1665年	8月1日	寛文5年	6月20日	天気能
1665年	8月2日	寛文5年	6月21日	天気能 (碓の関初めて御下向・巳の刻着城)
1665年	8月3日	寛文5年	6月22日	天気能
1665年	8月4日	寛文5年	6月23日	朝少し降
1665年	8月5日	寛文5年	6月24日	天気能
1665年	8月6日	寛文5年	6月25日	朝少し雨降 晴曇 風吹 八つ時地震
1665年	8月7日	寛文5年	6月26日	なし (昨夜八つの地震の際西の方より鳴動あり)
1665年	8月8日	寛文5年	6月27日	雨降
1665年	8月9日	寛文5年	6月28日	天気好 (今20日より21日朝まで金木山鹿子沢で火事)
1665年	8月10日	寛文5年	6月29日	天気能
1665年	8月11日	寛文5年	7月1日	天気能
1665年	8月12日	寛文5年	7月2日	天気能
1665年	8月13日	寛文5年	7月3日	天気能
1665年	8月14日	寛文5年	7月4日	天気能
1665年	8月15日	寛文5年	7月5日	天気好
1665年	8月16日	寛文5年	7月6日	天気好
1665年	8月17日	寛文5年	7月7日	朝五つ時分雨降
1665年	8月18日	寛文5年	7月8日	天気好
1665年	8月19日	寛文5年	7月9日	天気好
1665年	8月20日	寛文5年	7月10日	天気好
1665年	8月21日	寛文5年	7月11日	朝六つ半より雨降
1665年	8月22日	寛文5年	7月12日	朝六つ半時分より九つ下刻まで風吹く 八つ上刻より雨降 風終日ひかた
1665年	8月23日	寛文5年	7月13日	天気好
1665年	8月24日	寛文5年	7月14日	天気好 (昨晚牢舎の4人破牢・番人4人牢舎に)
1665年	8月25日	寛文5年	7月15日	天気能 (破牢の1人捕まる)
1665年	8月26日	寛文5年	7月16日	天気能
1665年	8月27日	寛文5年	7月17日	朝少し雨降
1665年	8月28日	寛文5年	7月18日	雨降る
1665年	8月29日	寛文5年	7月19日	雨ふる (昨昼八つ時分横町の男自害)
1665年	8月30日	寛文5年	7月20日	天気能 (破牢の1人捕まる)
1665年	8月31日	寛文5年	7月21日	なし

1665年 9月1日 寛文5年	7月22日 天気能
1665年 9月2日 寛文5年	7月23日 昨夜中大雨降る 今朝より晴れる
1665年 9月3日 寛文5年	7月24日 天気能
1665年 9月4日 寛文5年	7月25日 天気能
1665年 9月5日 寛文5年	7月26日 天気能
1665年 9月6日 寛文5年	7月27日 大雨振る
1665年 9月7日 寛文5年	7月28日 朝のうち曇
1665年 9月8日 寛文5年	7月29日 天気能 但し東風吹き寒
1665年 9月9日 寛文5年	8月1日 朝六つ時分に雨少し振 九つ時分より雷 八つ時分大雨
1665年 9月10日 寛文5年	8月2日 雨降
1665年 9月11日 寛文5年	8月3日 天気好
1665年 9月12日 寛文5年	8月4日 天気能
1665年 9月13日 寛文5年	8月5日 雨降
1665年 9月14日 寛文5年	8月6日 天気能
1665年 9月15日 寛文5年	8月7日 天気好
1665年 9月16日 寛文5年	8月8日 天気能
1665年 9月17日 寛文5年	8月9日 昨夜より今朝六つ半時分まで雨ふる
1665年 9月18日 寛文5年	8月10日 天気好
1665年 9月19日 寛文5年	8月11日 天気好
1665年 9月20日 寛文5年	8月12日 天気能
1665年 9月21日 寛文5年	8月13日 天気好 (走り忍び帰った百姓2人を成敗)
1665年 9月22日 寛文5年	8月14日 八つ時分より大雨 (寛文4年分の上納代銀1匁を5升とする)
1665年 9月23日 寛文5年	8月15日 昨八つ時分より今日まで雨降 (13日に金井が沢から初鮭上がる)
1665年 9月24日 寛文5年	8月16日 天気好
1665年 9月25日 寛文5年	8月17日 なし
1665年 9月26日 寛文5年	8月18日 地震 四つ時分より雨降
1665年 9月27日 寛文5年	8月19日 昨今終日雨降
1665年 9月28日 寛文5年	8月20日 天気能
1665年 9月29日 寛文5年	8月21日 同断
1665年 9月30日 寛文5年	8月22日 天気能 (牢を破られた牢奉行と牢舎の2人を御園追ひ払い)
1665年 10月1日 寛文5年	8月23日 天気好
1665年 10月2日 寛文5年	8月24日 天気能
1665年 10月3日 寛文5年	8月25日 四つ時分少し雨降
1665年 10月4日 寛文5年	8月26日 天気好 (取上で3人成敗)
1665年 10月5日 寛文5年	8月27日 天気能
1665年 10月6日 寛文5年	8月28日 天気曇
1665年 10月7日 寛文5年	8月29日 大雨降
1665年 10月8日 寛文5年	8月30日 雨降
1665年 10月9日 寛文5年	9月1日 天気能
1665年 10月10日 寛文5年	9月2日 なし
1665年 10月11日 寛文5年	9月3日 天気能
1665年 10月12日 寛文5年	9月4日 なし
1665年 10月13日 寛文5年	9月5日 天気能
1665年 10月14日 寛文5年	9月6日 天気能
1665年 10月15日 寛文5年	9月7日 天気能
1665年 10月16日 寛文5年	9月8日 天気能
1665年 10月17日 寛文5年	9月9日 雨降
1665年 10月18日 寛文5年	9月10日 天気能
1665年 10月19日 寛文5年	9月11日 日和能
1665年 10月20日 寛文5年	9月12日 天気能
1665年 10月21日 寛文5年	9月13日 天気能
1665年 10月22日 寛文5年	9月14日 天気能
1665年 10月23日 寛文5年	9月15日 雨降
1665年 10月24日 寛文5年	9月16日 なし
1665年 10月25日 寛文5年	9月17日 天気能
1665年 10月26日 寛文5年	9月18日 天気能 昨夜中山々へ雪降る 寒し
1665年 10月27日 寛文5年	9月19日 天気能
1665年 10月28日 寛文5年	9月20日 四つ時分雨少し 昼九つ時分雪振 ことのほか寒し (山上五郎右衛門を御代官に)
1665年 10月29日 寛文5年	9月21日 なし
1665年 10月30日 寛文5年	9月22日 天気晴
1665年 10月31日 寛文5年	9月23日 天気能

1665年 11月1日 寛文5年	9月24日 天気能
1665年 11月2日 寛文5年	9月25日 天気能
1665年 11月3日 寛文5年	9月26日 夜四つ過ぎに地震 (去年貸米代銀(1匁か)5升ずつとしたが火事にあつた大間越では5升3合とする)
1665年 11月4日 寛文5年	9月27日 天気能
1665年 11月5日 寛文5年	9月28日 天気能 朝大霜
1665年 11月6日 寛文5年	9月29日 天気能
1665年 11月7日 寛文5年	10月1日 天気能
1665年 11月8日 寛文5年	10月2日 雨天
1665年 11月9日 寛文5年	10月3日 雪天 (昨夜四つ半時分山鳴り地震)
1665年 11月10日 寛文5年	10月4日 天気能
1665年 11月11日 寛文5年	10月5日 天気能 (暮れ六つ時分御城内で草履とりが草履とりを切り殺す)
1665年 11月12日 寛文5年	10月6日 天気能
1665年 11月13日 寛文5年	10月7日 天気能 (一昨日の草履とり成敗)
1665年 11月14日 寛文5年	10月8日 同断 (成敗1人・張りつけ4人)
1665年 11月15日 寛文5年	10月9日 天気能
1665年 11月16日 寛文5年	10月10日 天気能
1665年 11月17日 寛文5年	10月11日 天気能
1665年 11月18日 寛文5年	10月12日 天気能
1665年 11月19日 寛文5年	10月13日 昨夜中より絶えず雨ふる
1665年 11月20日 寛文5年	10月14日 天気曇 寒
1665年 11月21日 寛文5年	10月15日 今朝七つ半に地震
1665年 11月22日 寛文5年	10月16日 雪振
1665年 11月23日 寛文5年	10月17日 雪少し降
1665年 11月24日 寛文5年	10月18日 右同断
1665年 11月25日 寛文5年	10月19日 天気能
1665年 11月26日 寛文5年	10月20日 雨振る
1665年 11月27日 寛文5年	10月21日 なし
1665年 11月28日 寛文5年	10月22日 なし
1665年 11月29日 寛文5年	10月23日 天気能
1665年 11月30日 寛文5年	10月24日 なし
1665年 12月1日 寛文5年	10月25日 夜中より雨振る
1665年 12月2日 寛文5年	10月26日 雪振
1665年 12月3日 寛文5年	10月27日 天気能
1665年 12月4日 寛文5年	10月28日 天気能
1665年 12月5日 寛文5年	10月29日 天気能
1665年 12月6日 寛文5年	10月30日 昨夜中より雨降り続く
1665年 12月7日 寛文5年	11月1日 雪振
1665年 12月8日 寛文5年	11月2日 同
1665年 12月9日 寛文5年	11月3日 雪振
1665年 12月10日 寛文5年	11月4日 雪振
1665年 12月11日 寛文5年	11月5日 同断
1665年 12月12日 寛文5年	11月6日 同断
1665年 12月13日 寛文5年	11月7日 昼の内少し雨ふる また夜に入り雨ふる
1665年 12月14日 寛文5年	11月8日 雪少々ふる
1665年 12月15日 寛文5年	11月9日 雪天
1665年 12月16日 寛文5年	11月10日 同断
1665年 12月17日 寛文5年	11月11日 雪天
1665年 12月18日 寛文5年	11月12日 天気能 (御家中が誓願寺で自害)
1665年 12月19日 寛文5年	11月13日 なし
1665年 12月20日 寛文5年	11月14日 天気好
1665年 12月21日 寛文5年	11月15日 なし
1665年 12月22日 寛文5年	11月16日 天気能
1665年 12月23日 寛文5年	11月17日 天気能
1665年 12月24日 寛文5年	11月18日 天気悪
1665年 12月25日 寛文5年	11月19日 なし
1665年 12月26日 寛文5年	11月20日 なし (原ヶ平村に70男死人あり)
1665年 12月27日 寛文5年	11月21日 天気能 (14日大田村で火災2軒)
1665年 12月28日 寛文5年	11月22日 天気能
1665年 12月29日 寛文5年	11月23日 なし
1665年 12月30日 寛文5年	11月24日 天気よし
1665年 12月31日 寛文5年	11月25日 なし

1666年	1月1日	寛文5年	11月26日	天気が
1666年	1月2日	寛文5年	11月27日	なし
1666年	1月3日	寛文5年	11月28日	天気が
1666年	1月4日	寛文5年	11月29日	天気が
1666年	1月5日	寛文5年	11月30日	天気が
1666年	1月6日	寛文5年	12月1日	天気が
1666年	1月7日	寛文5年	12月2日	なし(御留山から材木盗み2人牢舎)
1666年	1月8日	寛文5年	12月3日	雪振
1666年	1月9日	寛文5年	12月4日	天気が
1666年	1月10日	寛文5年	12月5日	雪少し降(御留山から材木盗み4人牢舎)
1666年	1月11日	寛文5年	12月6日	天気が
1666年	1月12日	寛文5年	12月7日	なし
1666年	1月13日	寛文5年	12月8日	なし
1666年	1月14日	寛文5年	12月9日	なし
1666年	1月15日	寛文5年	12月10日	天気が
1666年	1月16日	寛文5年	12月11日	天気が
1666年	1月17日	寛文5年	12月12日	天気が 夜に入り雨少し振
1666年	1月18日	寛文5年	12月13日	天気が
1666年	1月19日	寛文5年	12月14日	雪振る
1666年	1月20日	寛文5年	12月15日	雪振
1666年	1月21日	寛文5年	12月16日	天気が
1666年	1月22日	寛文5年	12月17日	天気が
1666年	1月23日	寛文5年	12月18日	天気が
1666年	1月24日	寛文5年	12月19日	天気が
1666年	1月25日	寛文5年	12月20日	雪少し降
1666年	1月26日	寛文5年	12月21日	なし
1666年	1月27日	寛文5年	12月22日	なし
1666年	1月28日	寛文5年	12月23日	なし
1666年	1月29日	寛文5年	12月24日	なし
1666年	1月30日	寛文5年	12月25日	なし
1666年	1月31日	寛文5年	12月26日	なし
1666年	2月1日	寛文5年	12月27日	天気が
1666年	2月2日	寛文5年	12月28日	天気が
1666年	2月3日	寛文5年	12月29日	なし
1666年	2月4日	寛文6年	正月1日	天気が
1666年	2月5日	寛文6年	正月2日	天気が(小泊に鯨寄る、御謡初・御拍子)
1666年	2月6日	寛文6年	正月3日	天気が
1666年	2月7日	寛文6年	正月4日	雨天
1666年	2月8日	寛文6年	正月5日	夜前より雪天
1666年	2月9日	寛文6年	正月6日	昨日より今日に至り雪天
1666年	2月10日	寛文6年	正月7日	天気が
1666年	2月11日	寛文6年	正月8日	昼より少々あわ雪
1666年	2月12日	寛文6年	正月9日	少々雪
1666年	2月13日	寛文6年	正月10日	なし
1666年	2月14日	寛文6年	正月11日	天気が
1666年	2月15日	寛文6年	正月12日	天気が
1666年	2月16日	寛文6年	正月13日	天気が 昼時分よりあわ雪(十三に鯨寄せる)
1666年	2月17日	寛文6年	正月14日	天気が
1666年	2月18日	寛文6年	正月15日	雪天
1666年	2月19日	寛文6年	正月16日	天気が
1666年	2月20日	寛文6年	正月17日	天気が
1666年	2月21日	寛文6年	正月18日	天気が
1666年	2月22日	寛文6年	正月19日	天気が
1666年	2月23日	寛文6年	正月20日	天気が
1666年	2月24日	寛文6年	正月21日	天気が
1666年	2月25日	寛文6年	正月22日	雪天
1666年	2月26日	寛文6年	正月23日	雪少し降
1666年	2月27日	寛文6年	正月24日	天気が
1666年	2月28日	寛文6年	正月25日	天気が

1666年	3月1日	寛文6年	正月26日	天気能
1666年	3月2日	寛文6年	正月27日	天気能
1666年	3月3日	寛文6年	正月28日	雪天
1666年	3月4日	寛文6年	正月29日	天気能
1666年	3月5日	寛文6年	正月30日	(日記に正月晦日なし、あるべき日をなくしているのは勝手大の月の調整かもしれない、寛文2年8月29日部分参照)
1666年	3月6日	寛文6年	2月1日	天気能
1666年	3月7日	寛文6年	2月2日	天気能
1666年	3月8日	寛文6年	2月3日	天気能
1666年	3月9日	寛文6年	2月4日	天気能
1666年	3月10日	寛文6年	2月5日	なし
1666年	3月11日	寛文6年	2月6日	天気能
1666年	3月12日	寛文6年	2月7日	天気能
1666年	3月13日	寛文6年	2月8日	少々雪風
1666年	3月14日	寛文6年	2月9日	昨夜暮れ時分より大風雪 今日に至る
1666年	3月15日	寛文6年	2月10日	天気能
1666年	3月16日	寛文6年	2月11日	天気能
1666年	3月17日	寛文6年	2月12日	雪ふる
1666年	3月18日	寛文6年	2月13日	天気能
1666年	3月19日	寛文6年	2月14日	天気好
1666年	3月20日	寛文6年	2月15日	雨天
1666年	3月21日	寛文6年	2月16日	なし
1666年	3月22日	寛文6年	2月17日	天気能
1666年	3月23日	寛文6年	2月18日	天気能
1666年	3月24日	寛文6年	2月19日	天気能
1666年	3月25日	寛文6年	2月20日	寒天
1666年	3月26日	寛文6年	2月21日	雪降
1666年	3月27日	寛文6年	2月22日	天気能 時々雪 (山上定右衛門今別より石持参)
1666年	3月28日	寛文6年	2月23日	なし (山上定右衛門今別御材木奉行こ)
1666年	3月29日	寛文6年	2月24日	天気能
1666年	3月30日	寛文6年	2月25日	天気能
1666年	3月31日	寛文6年	2月26日	天気能
1666年	4月1日	寛文6年	2月27日	雪天 (殿様御鷹野・ご機嫌伺いに御知行山上太郎○(兵か)衛遣わす)
1666年	4月2日	寛文6年	2月28日	天気能
1666年	4月3日	寛文6年	2月29日	天気能
1666年	4月4日	寛文6年	2月30日	雨天 (深浦に鯨寄せる、今別より石・山上定右衛門などが上げる)
1666年	4月5日	寛文6年	3月1日	天気吉
1666年	4月6日	寛文6年	3月2日	天気好
1666年	4月7日	寛文6年	3月3日	天気好
1666年	4月8日	寛文6年	3月4日	なし
1666年	4月9日	寛文6年	3月5日	天気悪
1666年	4月10日	寛文6年	3月6日	天気能
1666年	4月11日	寛文6年	3月7日	雨天 (石川渡り洪水・水落ちる)
1666年	4月12日	寛文6年	3月8日	天気能
1666年	4月13日	寛文6年	3月9日	天気能 (殿様・左内様屋四つ上刻発足:碓の関口御登り)
1666年	4月14日	寛文6年	3月10日	朝五つ時分雨少し振 少々風も吹
1666年	4月15日	寛文6年	3月11日	天気能
1666年	4月16日	寛文6年	3月12日	雨天
1666年	4月17日	寛文6年	3月13日	天気能
1666年	4月18日	寛文6年	3月14日	天気能
1666年	4月19日	寛文6年	3月15日	雨少し振
1666年	4月20日	寛文6年	3月16日	天気能 (今別の御年貢代銀1匁に4升とする)
1666年	4月21日	寛文6年	3月17日	天気好
1666年	4月22日	寛文6年	3月18日	天気能
1666年	4月23日	寛文6年	3月19日	雨天
1666年	4月24日	寛文6年	3月20日	昨朝よりの雨今日に至る
1666年	4月25日	寛文6年	3月21日	天気能
1666年	4月26日	寛文6年	3月22日	天気能
1666年	4月27日	寛文6年	3月23日	天気能
1666年	4月28日	寛文6年	3月24日	天気能
1666年	4月29日	寛文6年	3月25日	天気能
1666年	4月30日	寛文6年	3月26日	天気能 (当年は鱒ヶ沢にても生にしんおびたしくとれ候)

1666年	5月1日	寛文6年	3月27日	天気能
1666年	5月2日	寛文6年	3月28日	天気能
1666年	5月3日	寛文6年	3月29日	昨夜より雨降
1666年	5月4日	寛文6年	4月1日	雨ふり申し候
1666年	5月5日	寛文6年	4月2日	天気能
1666年	5月6日	寛文6年	4月3日	天気能
1666年	5月7日	寛文6年	4月4日	昨夜よりの雨今日に至る
1666年	5月8日	寛文6年	4月5日	天気能
1666年	5月9日	寛文6年	4月6日	天気能
1666年	5月10日	寛文6年	4月7日	天気能
1666年	5月11日	寛文6年	4月8日	天気好
1666年	5月12日	寛文6年	4月9日	天気能
1666年	5月13日	寛文6年	4月10日	天気能
1666年	5月14日	寛文6年	4月11日	天気能
1666年	5月15日	寛文6年	4月12日	天気能
1666年	5月16日	寛文6年	4月13日	天気能
1666年	5月17日	寛文6年	4月14日	天気能
1666年	5月18日	寛文6年	4月15日	天気能
1666年	5月19日	寛文6年	4月16日	天気好 (七つ半過ぎに地震)
1666年	5月20日	寛文6年	4月17日	天気能 (昨八つより七つ青森御百姓町で火災8軒焼失)
1666年	5月21日	寛文6年	4月18日	雨天
1666年	5月22日	寛文6年	4月19日	大風
1666年	5月23日	寛文6年	4月20日	天気能
1666年	5月24日	寛文6年	4月21日	少し雨
1666年	5月25日	寛文6年	4月22日	同断
1666年	5月26日	寛文6年	4月23日	昨夜八つ時分より今朝まで雨
1666年	5月27日	寛文6年	4月24日	天気能
1666年	5月28日	寛文6年	4月25日	天気好
1666年	5月29日	寛文6年	4月26日	天気好
1666年	5月30日	寛文6年	4月27日	天気好 (広須で馬盗人を成敗申付ける、青森の付け火に懸賞銀30枚)
1666年	5月31日	寛文6年	4月28日	天気好 晩雨少し振
1666年	6月1日	寛文6年	4月29日	天気能
1666年	6月2日	寛文6年	4月30日	天気能
1666年	6月3日	寛文6年	5月1日	風少し吹く
1666年	6月4日	寛文6年	5月2日	大風 夜に入り雨少し振
1666年	6月5日	寛文6年	5月3日	天気能 (内真辺近所にて四そう昨日の大風に破損・但し加賀船は船頭・水主とも二十人余の内四人上がりそのほか船頭・水主とも相果て候)
1666年	6月6日	寛文6年	5月4日	天気能
1666年	6月7日	寛文6年	5月5日	天気能
1666年	6月8日	寛文6年	5月6日	天気能
1666年	6月9日	寛文6年	5月7日	天気能
1666年	6月10日	寛文6年	5月8日	天気能
1666年	6月11日	寛文6年	5月9日	天気能
1666年	6月12日	寛文6年	5月10日	天気好 (伊勢神主に雨乞い祭りを申付ける)
1666年	6月13日	寛文6年	5月11日	天気能 朝曇 (三世寺御蔵より水少なく米下げかねるとの報)
1666年	6月14日	寛文6年	5月12日	天気能 (雨ごい祭り仕るべき由百沢寺に書状)
1666年	6月15日	寛文6年	5月13日	天気静かにて能 (嵩赤倉にて雨乞い大行院に申しつけ候)
1666年	6月16日	寛文6年	5月14日	雷なり 暮れに及び雨少し振る さり乍ら地ならびに何にてもぬれず
1666年	6月17日	寛文6年	5月15日	天気能 (藤崎堰神大夫へ雨乞い祭り申し付け候 かみなり両度なり候らえども雨は少しも振らず)
1666年	6月18日	寛文6年	5月16日	なし (昼四つ過ぎより雨振る 八つに及びて大雨なり)
1666年	6月19日	寛文6年	5月17日	昨日よりの雨今朝五つまで振 (雨乞いの大行院・百沢寺に礼)
1666年	6月20日	寛文6年	5月18日	昼九つ時分雨少し振 それより晴れまた夜に入り振
1666年	6月21日	寛文6年	5月19日	終日雨降 昼四つ時雷なり
1666年	6月22日	寛文6年	5月20日	朝五つより昼九つまで雨降
1666年	6月23日	寛文6年	5月21日	昨昼より今日まで曇
1666年	6月24日	寛文6年	5月22日	曇 (蟹田で御家中が報告なしに男を成敗)
1666年	6月25日	寛文6年	5月23日	曇
1666年	6月26日	寛文6年	5月24日	天気能
1666年	6月27日	寛文6年	5月25日	曇 小雨
1666年	6月28日	寛文6年	5月26日	曇
1666年	6月29日	寛文6年	5月27日	天気能
1666年	6月30日	寛文6年	5月28日	天気能

1666年	7月1日	寛文6年	5月29日	天気能
1666年	7月2日	寛文6年	6月1日	天気能
1666年	7月3日	寛文6年	6月2日	天気能 (七つ下がりに地震)
1666年	7月4日	寛文6年	6月3日	天気能
1666年	7月5日	寛文6年	6月4日	天気能
1666年	7月6日	寛文6年	6月5日	天気能 (小泊にてにしんとれる・当年初めて)
1666年	7月7日	寛文6年	6月6日	天気能
1666年	7月8日	寛文6年	6月7日	天気能 (雨乞いつかまつるべき由大行院へ申しつけ供え物相渡す)
1666年	7月9日	寛文6年	6月8日	朝五つより雨終日振
1666年	7月10日	寛文6年	6月9日	雨降
1666年	7月11日	寛文6年	6月10日	天気能
1666年	7月12日	寛文6年	6月11日	天気能
1666年	7月13日	寛文6年	6月12日	天気能
1666年	7月14日	寛文6年	6月13日	天気能
1666年	7月15日	寛文6年	6月14日	天気能
1666年	7月16日	寛文6年	6月15日	天気能
1666年	7月17日	寛文6年	6月16日	雨少し降り候らえども地ぬれず 風少したつ
1666年	7月18日	寛文6年	6月17日	天気曇 昼八つ時分より夜に入るまで雨振る
1666年	7月19日	寛文6年	6月18日	暮れ時分より夜中雨降 (床舞村で馬盗人・牢舎)
1666年	7月20日	寛文6年	6月19日	雨少し振
1666年	7月21日	寛文6年	6月20日	昼七つ下りより雨振る
1666年	7月22日	寛文6年	6月21日	なし
1666年	7月23日	寛文6年	6月22日	雨少し振
1666年	7月24日	寛文6年	6月23日	雨降
1666年	7月25日	寛文6年	6月24日	雨降 但し昨日より今朝まで雨降り続く 洪水にて流し木など流れ申す由
1666年	7月26日	寛文6年	6月25日	曇
1666年	7月27日	寛文6年	6月26日	天気好
1666年	7月28日	寛文6年	6月27日	天気能 (このうちは打ち続く冷気にてあるは袷(あわせ)あるは布子これを着す 今日よりかたびらこれを着す)
1666年	7月29日	寛文6年	6月28日	天気好
1666年	7月30日	寛文6年	6月29日	天気能
1666年	7月31日	寛文6年	6月30日	昨夜七つ時分より雨降 今朝はことごとく振 そのうえ雷師
1666年	8月1日	寛文6年	7月1日	天気能
1666年	8月2日	寛文6年	7月2日	天気能
1666年	8月3日	寛文6年	7月3日	天気能
1666年	8月4日	寛文6年	7月4日	天気能
1666年	8月5日	寛文6年	7月5日	天気能
1666年	8月6日	寛文6年	7月6日	天気能
1666年	8月7日	寛文6年	7月7日	天気能
1666年	8月8日	寛文6年	7月8日	天気能
1666年	8月9日	寛文6年	7月9日	天気能
1666年	8月10日	寛文6年	7月10日	天気能 (頃は打ち続き東風吹き候につき風止めの祭り日向大夫に申付ける 供え物の儀は毎度の通り渡す)
1666年	8月11日	寛文6年	7月11日	天気能
1666年	8月12日	寛文6年	7月12日	天気好
1666年	8月13日	寛文6年	7月13日	天気能
1666年	8月14日	寛文6年	7月14日	天気能
1666年	8月15日	寛文6年	7月15日	昼八つ時分より雨降
1666年	8月16日	寛文6年	7月16日	天気能
1666年	8月17日	寛文6年	7月17日	天気能
1666年	8月18日	寛文6年	7月18日	昼の七つ時分に雨降
1666年	8月19日	寛文6年	7月19日	昼の七つ下り雨降
1666年	8月20日	寛文6年	7月20日	天気能
1666年	8月21日	寛文6年	7月21日	天気能
1666年	8月22日	寛文6年	7月22日	昨晚より寒風吹
1666年	8月23日	寛文6年	7月23日	天気能
1666年	8月24日	寛文6年	7月24日	天気能
1666年	8月25日	寛文6年	7月25日	天気好
1666年	8月26日	寛文6年	7月26日	天気能
1666年	8月27日	寛文6年	7月27日	天気能 但し風も少々吹
1666年	8月28日	寛文6年	7月28日	天気能
1666年	8月29日	寛文6年	7月29日	雨天
1666年	8月30日	寛文6年	8月1日	雨降
1666年	8月31日	寛文6年	8月2日	天気能

1666年	9月1日	寛文6年	8月3日	天気能
1666年	9月2日	寛文6年	8月4日	天気能
1666年	9月3日	寛文6年	8月5日	風吹
1666年	9月4日	寛文6年	8月6日	雨降
1666年	9月5日	寛文6年	8月7日	風吹
1666年	9月6日	寛文6年	8月8日	少し風吹
1666年	9月7日	寛文6年	8月9日	天気能 (馬盗人取上で貼り付け・床舞でも貼り付け)
1666年	9月8日	寛文6年	8月10日	天気能
1666年	9月9日	寛文6年	8月11日	雨降
1666年	9月10日	寛文6年	8月12日	昨日より打ち続き今日終日雨降
1666年	9月11日	寛文6年	8月13日	天気能
1666年	9月12日	寛文6年	8月14日	天気能
1666年	9月13日	寛文6年	8月15日	五つ前より終日雨降
1666年	9月14日	寛文6年	8月16日	昨日七つ申の刻より今日終日天気能 (昼巳の刻地震)
1666年	9月15日	寛文6年	8月17日	天気能
1666年	9月16日	寛文6年	8月18日	同断
1666年	9月17日	寛文6年	8月19日	辰の刻より雨ことごとく振
1666年	9月18日	寛文6年	8月20日	天気能
1666年	9月19日	寛文6年	8月21日	天気能
1666年	9月20日	寛文6年	8月22日	天気能
1666年	9月21日	寛文6年	8月23日	天気能 七つ時分より雨少し
1666年	9月22日	寛文6年	8月24日	なし
1666年	9月23日	寛文6年	8月25日	天気さむし
1666年	9月24日	寛文6年	8月26日	なし
1666年	9月25日	寛文6年	8月27日	天気能
1666年	9月26日	寛文6年	8月28日	天気能
1666年	9月27日	寛文6年	8月29日	天気好
1666年	9月28日	寛文6年	8月30日	天気能
1666年	9月29日	寛文6年	9月1日	雨降
1666年	9月30日	寛文6年	9月2日	天気能
1666年	10月1日	寛文6年	9月3日	昨夜半より雨ことごとく振 雷勢も鳴る ことのほか寒天 嵩へ雪降 但し昼時分あられも振
1666年	10月2日	寛文6年	9月4日	天気能
1666年	10月3日	寛文6年	9月5日	天気能
1666年	10月4日	寛文6年	9月6日	八つ時分よりおびただしく終日夜に入るまで雨降 川水少し出る
1666年	10月5日	寛文6年	9月7日	天気好
1666年	10月6日	寛文6年	9月8日	なし
1666年	10月7日	寛文6年	9月9日	なし
1666年	10月8日	寛文6年	9月10日	朝五つ時分より雨降
1666年	10月9日	寛文6年	9月11日	天気能
1666年	10月10日	寛文6年	9月12日	天気能
1666年	10月11日	寛文6年	9月13日	昨夜中より雨降
1666年	10月12日	寛文6年	9月14日	昨夜より東風ことごとく吹く 雨も振
1666年	10月13日	寛文6年	9月15日	雨昨夜より振
1666年	10月14日	寛文6年	9月16日	雨振る (打ち続き雨降り候について則雨上げ祭りあるべく由最勝院へ申し渡す)
1666年	10月15日	寛文6年	9月17日	雨降
1666年	10月16日	寛文6年	9月18日	朝のうち少々雨気 昼より天気よし (頃日天気悪しく市へ米出ない・御蔵米500俵お蔵糶1000俵出す・町値段は2升2・3合より6・7合(1匁当たりか)で日々変わるとのことで3升とする)
1666年	10月17日	寛文6年	9月19日	天気能 当月に入りての天気にて候
1666年	10月18日	寛文6年	9月20日	天気能
1666年	10月19日	寛文6年	9月21日	雨少々振
1666年	10月20日	寛文6年	9月22日	天気能
1666年	10月21日	寛文6年	9月23日	天気能
1666年	10月22日	寛文6年	9月24日	天気曇
1666年	10月23日	寛文6年	9月25日	天気能
1666年	10月24日	寛文6年	9月26日	朝の内少し雨降
1666年	10月25日	寛文6年	9月27日	天気好
1666年	10月26日	寛文6年	9月28日	天気能 昨夜は雨降
1666年	10月27日	寛文6年	9月29日	天気能 昨夜は雨降
1666年	10月28日	寛文6年	10月1日	天気能 昨夜は雨降 (今日より米止め)
1666年	10月29日	寛文6年	10月2日	天気能
1666年	10月30日	寛文6年	10月3日	昼は天気能 夜五つ時分より雨降
1666年	10月31日	寛文6年	10月4日	天気能

1666年 11月1日 寛文6年	10月5日 天気能 朝の内少し風吹
1666年 11月2日 寛文6年	10月6日 昨夜より今日まで雨降
1666年 11月3日 寛文6年	10月7日 昨日今朝まで雨降
1666年 11月4日 寛文6年	10月8日 雨降
1666年 11月5日 寛文6年	10月9日 屋の内ことごとく雨降
1666年 11月6日 寛文6年	10月10日 天気能 (橋板盗み山越を申し付けたのに忍び返って又盗みをしたものを成敗)
1666年 11月7日 寛文6年	10月11日 天気能
1666年 11月8日 寛文6年	10月12日 天気能
1666年 11月9日 寛文6年	10月13日 昨夜雨ことごとく振 今日もすこしずつ雨振る
1666年 11月10日 寛文6年	10月14日 天気好
1666年 11月11日 寛文6年	10月15日 晩雨
1666年 11月12日 寛文6年	10月16日 雨天 (山上定右衛門等越後守様より御子袖二つ拝領)
1666年 11月13日 寛文6年	10月17日 天気ことごとく寒し 昨夜雪降 朝より天気くもり
1666年 11月14日 寛文6年	10月18日 天気能
1666年 11月15日 寛文6年	10月19日 雨天
1666年 11月16日 寛文6年	10月20日 天気能 (山越からしのび帰った男を成敗)
1666年 11月17日 寛文6年	10月21日 天気悪
1666年 11月18日 寛文6年	10月22日 雨天
1666年 11月19日 寛文6年	10月23日 天気悪
1666年 11月20日 寛文6年	10月24日 雨天
1666年 11月21日 寛文6年	10月25日 天気能
1666年 11月22日 寛文6年	10月26日 天気曇
1666年 11月23日 寛文6年	10月27日 天気能
1666年 11月24日 寛文6年	10月28日 天気能 (御家中が女房刺し殺し自害)
1666年 11月25日 寛文6年	10月29日 昨夜中より雪天
1666年 11月26日 寛文6年	11月1日 天気能
1666年 11月27日 寛文6年	11月2日 天気能
1666年 11月28日 寛文6年	11月3日 昨夜より今日まで雨降
1666年 11月29日 寛文6年	11月4日 雨降
1666年 11月30日 寛文6年	11月5日 なし
1666年 12月1日 寛文6年	11月6日 天気能
1666年 12月2日 寛文6年	11月7日 天気能
1666年 12月3日 寛文6年	11月8日 天気能
1666年 12月4日 寛文6年	11月9日 なし
1666年 12月5日 寛文6年	11月10日 なし
1666年 12月6日 寛文6年	11月11日 天気曇 寒
1666年 12月7日 寛文6年	11月12日 雪降
1666年 12月8日 寛文6年	11月13日 雪四寸ほどになる
1666年 12月9日 寛文6年	11月14日 雪降
1666年 12月10日 寛文6年	11月15日 雪降
1666年 12月11日 寛文6年	11月16日 雪降
1666年 12月12日 寛文6年	11月17日 なし
1666年 12月13日 寛文6年	11月18日 雪降
1666年 12月14日 寛文6年	11月19日 天気能
1666年 12月15日 寛文6年	11月20日 曇天
1666年 12月16日 寛文6年	11月21日 曇天
1666年 12月17日 寛文6年	11月22日 天気能
1666年 12月18日 寛文6年	11月23日 天気能
1666年 12月19日 寛文6年	11月24日 天気能
1666年 12月20日 寛文6年	11月25日 雪天
1666年 12月21日 寛文6年	11月26日 天気能
1666年 12月22日 寛文6年	11月27日 昨夜より雨天
1666年 12月23日 寛文6年	11月28日 昨夜より風吹 雪降
1666年 12月24日 寛文6年	11月29日 天気好
1666年 12月25日 寛文6年	11月30日 雪降
1666年 12月26日 寛文6年	12月1日 天気能
1666年 12月27日 寛文6年	12月2日 雨降
1666年 12月28日 寛文6年	12月3日 雪風
1666年 12月29日 寛文6年	12月4日 雪降
1666年 12月30日 寛文6年	12月5日 天気能
1666年 12月31日 寛文6年	12月6日 雪降

1667年	1月1日	寛文6年	12月7日	天気能
1667年	1月2日	寛文6年	12月8日	なし
1667年	1月3日	寛文6年	12月9日	なし
1667年	1月4日	寛文6年	12月10日	雪降
1667年	1月5日	寛文6年	12月11日	雪降
1667年	1月6日	寛文6年	12月12日	なし
1667年	1月7日	寛文6年	12月13日	天気能
1667年	1月8日	寛文6年	12月14日	天気能
1667年	1月9日	寛文6年	12月15日	天気能
1667年	1月10日	寛文6年	12月16日	九つ時分にかみなり 雨も振る
1667年	1月11日	寛文6年	12月17日	なし
1667年	1月12日	寛文6年	12月18日	雪風
1667年	1月13日	寛文6年	12月19日	なし
1667年	1月14日	寛文6年	12月20日	天気能
1667年	1月15日	寛文6年	12月21日	天気能 (杉山八兵衛組山上定右衛門今別御役所赦免・将来番頭)
1667年	1月16日	寛文6年	12月22日	天気能
1667年	1月17日	寛文6年	12月23日	雪降
1667年	1月18日	寛文6年	12月24日	天気能
1667年	1月19日	寛文6年	12月25日	天気能
1667年	1月20日	寛文6年	12月26日	天気能
1667年	1月21日	寛文6年	12月27日	少し風
1667年	1月22日	寛文6年	12月28日	夜分より風
1667年	1月23日	寛文6年	12月29日	天気能
1667年	1月24日	寛文7年	正月1日	天気能
1667年	1月25日	寛文7年	正月2日	天気能
1667年	1月26日	寛文7年	正月3日	天気能
1667年	1月27日	寛文7年	正月4日	天気能
1667年	1月28日	寛文7年	正月5日	天気能
1667年	1月29日	寛文7年	正月6日	雪風
1667年	1月30日	寛文7年	正月7日	天気能
1667年	1月31日	寛文7年	正月8日	雪風雨
1667年	2月1日	寛文7年	正月9日	雪風
1667年	2月2日	寛文7年	正月10日	雪降
1667年	2月3日	寛文7年	正月11日	天気能
1667年	2月4日	寛文7年	正月12日	雪降
1667年	2月5日	寛文7年	正月13日	雪降
1667年	2月6日	寛文7年	正月14日	天気能
1667年	2月7日	寛文7年	正月15日	天気能
1667年	2月8日	寛文7年	正月16日	雪降
1667年	2月9日	寛文7年	正月17日	天気能
1667年	2月10日	寛文7年	正月18日	天気能
1667年	2月11日	寛文7年	正月19日	天気能
1667年	2月12日	寛文7年	正月20日	天気能
1667年	2月13日	寛文7年	正月21日	天気能
1667年	2月14日	寛文7年	正月22日	雪吹
1667年	2月15日	寛文7年	正月23日	天気能
1667年	2月16日	寛文7年	正月24日	天気能 雨天
1667年	2月17日	寛文7年	正月25日	雪風
1667年	2月18日	寛文7年	正月26日	少し風
1667年	2月19日	寛文7年	正月27日	少々雪かぜ
1667年	2月20日	寛文7年	正月28日	少々雪風
1667年	2月21日	寛文7年	正月29日	雪降
1667年	2月22日	寛文7年	正月30日	同断
1667年	2月23日	寛文7年	2月1日	なし
1667年	2月24日	寛文7年	2月2日	なし
1667年	2月25日	寛文7年	2月3日	雪降
1667年	2月26日	寛文7年	2月4日	天気能 (御家中の家来を成敗)
1667年	2月27日	寛文7年	2月5日	少々雪降
1667年	2月28日	寛文7年	2月6日	少し雪降

1667年	3月1日	寛文7年	2月7日	天気能
1667年	3月2日	寛文7年	2月8日	天気能
1667年	3月3日	寛文7年	2月9日	天気能 (蟹田中の御百姓51人当分渴命につき明山への山入り赦す)
1667年	3月4日	寛文7年	2月10日	曇
1667年	3月5日	寛文7年	2月11日	寒天
1667年	3月6日	寛文7年	2月12日	寒天
1667年	3月7日	寛文7年	2月13日	寒天
1667年	3月8日	寛文7年	2月14日	天気能
1667年	3月9日	寛文7年	2月15日	天気好
1667年	3月10日	寛文7年	2月16日	天気能
1667年	3月11日	寛文7年	2月17日	曇り寒
1667年	3月12日	寛文7年	2月18日	雪降
1667年	3月13日	寛文7年	2月19日	なし
1667年	3月14日	寛文7年	2月20日	天気能
1667年	3月15日	寛文7年	2月21日	少々雪降
1667年	3月16日	寛文7年	2月22日	天気能
1667年	3月17日	寛文7年	2月23日	天気能 (西の浜・上磯で渴命・昨年諸材木とり今年はお代官の申し入れもあり法度の栗も御赦免:栗の木は水に強く橋の材料等として非常に大切にされていた)
1667年	3月18日	寛文7年	2月24日	なし
1667年	3月19日	寛文7年	2月25日	少々雨降
1667年	3月20日	寛文7年	2月26日	少々雪降
1667年	3月21日	寛文7年	2月27日	天気能
1667年	3月22日	寛文7年	2月28日	天気能
1667年	3月23日	寛文7年	2月29日	天気能
1667年	3月24日	寛文7年	2月30日	天気能
1667年	3月25日	寛文7年	閏2月1日	天気能
1667年	3月26日	寛文7年	閏2月2日	天気能
1667年	3月27日	寛文7年	閏2月3日	昨晚七つ時分雨
1667年	3月28日	寛文7年	閏2月4日	天気能 (両替61匁5分)
1667年	3月29日	寛文7年	閏2月5日	天気能 (善知鳥を取りに狢共を小嶋に遣わず・九つ持参する)
1667年	3月30日	寛文7年	閏2月6日	天気能
1667年	3月31日	寛文7年	閏2月7日	天気能
1667年	4月1日	寛文7年	閏2月8日	天気能
1667年	4月2日	寛文7年	閏2月9日	少し風吹
1667年	4月3日	寛文7年	閏2月10日	天気能
1667年	4月4日	寛文7年	閏2月11日	朝に雨少々振
1667年	4月5日	寛文7年	閏2月12日	天気能
1667年	4月6日	寛文7年	閏2月13日	雨雪
1667年	4月7日	寛文7年	閏2月14日	天気能
1667年	4月8日	寛文7年	閏2月15日	天気能
1667年	4月9日	寛文7年	閏2月16日	雪天
1667年	4月10日	寛文7年	閏2月17日	天気能
1667年	4月11日	寛文7年	閏2月18日	天気能
1667年	4月12日	寛文7年	閏2月19日	南風吹
1667年	4月13日	寛文7年	閏2月20日	小雨
1667年	4月14日	寛文7年	閏2月21日	天気能
1667年	4月15日	寛文7年	閏2月22日	天気能
1667年	4月16日	寛文7年	閏2月23日	天気能
1667年	4月17日	寛文7年	閏2月24日	天気能
1667年	4月18日	寛文7年	閏2月25日	雨天
1667年	4月19日	寛文7年	閏2月26日	天気好
1667年	4月20日	寛文7年	閏2月27日	夜の九つ時分より雨 終日雪
1667年	4月21日	寛文7年	閏2月28日	天気能
1667年	4月22日	寛文7年	閏2月29日	天気能 (朝四つ時分地震 常よりはつよし)
1667年	4月23日	寛文7年	3月1日	天気能
1667年	4月24日	寛文7年	3月2日	天気能
1667年	4月25日	寛文7年	3月3日	天気能
1667年	4月26日	寛文7年	3月4日	天気能 但し朝四つ時分少し雨
1667年	4月27日	寛文7年	3月5日	雨降
1667年	4月28日	寛文7年	3月6日	天気能
1667年	4月29日	寛文7年	3月7日	天気能
1667年	4月30日	寛文7年	3月8日	天気能

1667年	5月1日	寛文7年	3月9日	天気能
1667年	5月2日	寛文7年	3月10日	天気能
1667年	5月3日	寛文7年	3月11日	風吹
1667年	5月4日	寛文7年	3月12日	昨暮れより今日終日雨
1667年	5月5日	寛文7年	3月13日	天気能
1667年	5月6日	寛文7年	3月14日	天気くもる
1667年	5月7日	寛文7年	3月15日	天気能
1667年	5月8日	寛文7年	3月16日	天気曇 昼時分より雨降
1667年	5月9日	寛文7年	3月17日	天気能
1667年	5月10日	寛文7年	3月18日	昨晩七つ時分よりの雨今日に至る 終日
1667年	5月11日	寛文7年	3月19日	天気能 但し八つ時分に大あられにわかになり雷鳴 但し大豆のような物降る
1667年	5月12日	寛文7年	3月20日	昨晩八つ時分のあられより続き今朝まで雨
1667年	5月13日	寛文7年	3月21日	小風
1667年	5月14日	寛文7年	3月22日	天気能 暮れに雨降
1667年	5月15日	寛文7年	3月23日	暮れ時分より雨降 夜に入り少々風吹
1667年	5月16日	寛文7年	3月24日	天気曇 寒 (朝五つ下刻地震)
1667年	5月17日	寛文7年	3月25日	天気能
1667年	5月18日	寛文7年	3月26日	天気能
1667年	5月19日	寛文7年	3月27日	天気能
1667年	5月20日	寛文7年	3月28日	天気能
1667年	5月21日	寛文7年	3月29日	天気能
1667年	5月22日	寛文7年	3月30日	天気能
1667年	5月23日	寛文7年	4月1日	天気能
1667年	5月24日	寛文7年	4月2日	昨暮れ六つより雨降 今朝五つより天気能
1667年	5月25日	寛文7年	4月3日	天気能
1667年	5月26日	寛文7年	4月4日	少々風吹
1667年	5月27日	寛文7年	4月5日	天気能
1667年	5月28日	寛文7年	4月6日	天気能
1667年	5月29日	寛文7年	4月7日	昨晩より雨 今朝五つ過ぎまで
1667年	5月30日	寛文7年	4月8日	天気能
1667年	5月31日	寛文7年	4月9日	天気能 (御家中の下女を盗み出した男成敗)
1667年	6月1日	寛文7年	4月10日	五つ半より雨
1667年	6月2日	寛文7年	4月11日	風吹 雨降
1667年	6月3日	寛文7年	4月12日	少し風吹 (中柏木村の小知行2人走る)
1667年	6月4日	寛文7年	4月13日	天気能
1667年	6月5日	寛文7年	4月14日	天気能
1667年	6月6日	寛文7年	4月15日	天気能 少風
1667年	6月7日	寛文7年	4月16日	天気能
1667年	6月8日	寛文7年	4月17日	天気能
1667年	6月9日	寛文7年	4月18日	天気能
1667年	6月10日	寛文7年	4月19日	天気能
1667年	6月11日	寛文7年	4月20日	天気能
1667年	6月12日	寛文7年	4月21日	なし
1667年	6月13日	寛文7年	4月22日	天気能
1667年	6月14日	寛文7年	4月23日	天気能
1667年	6月15日	寛文7年	4月24日	朝五つ前雨少し降 四つより天気晴れ上がる
1667年	6月16日	寛文7年	4月25日	天気能
1667年	6月17日	寛文7年	4月26日	四つ半より雨降
1667年	6月18日	寛文7年	4月27日	終日雨降
1667年	6月19日	寛文7年	4月28日	雨降
1667年	6月20日	寛文7年	4月29日	天気能
1667年	6月21日	寛文7年	4月30日	曇天
1667年	6月22日	寛文7年	5月1日	雨降
1667年	6月23日	寛文7年	5月2日	天気能
1667年	6月24日	寛文7年	5月3日	天気能
1667年	6月25日	寛文7年	5月4日	天気能
1667年	6月26日	寛文7年	5月5日	天気能 但し四つ時分大風吹
1667年	6月27日	寛文7年	5月6日	天気能 昨日より今日まで少々吹
1667年	6月28日	寛文7年	5月7日	昨晩雨少々 今日曇天
1667年	6月29日	寛文7年	5月8日	曇天
1667年	6月30日	寛文7年	5月9日	天気能

1667年	7月1日	寛文7年	5月10日	曇天
1667年	7月2日	寛文7年	5月11日	雨降
1667年	7月3日	寛文7年	5月12日	曇
1667年	7月4日	寛文7年	5月13日	天気能
1667年	7月5日	寛文7年	5月14日	天気能
1667年	7月6日	寛文7年	5月15日	天気能 (殿様23日に江戸発足)
1667年	7月7日	寛文7年	5月16日	朝より雨降
1667年	7月8日	寛文7年	5月17日	天気能
1667年	7月9日	寛文7年	5月18日	雨降
1667年	7月10日	寛文7年	5月19日	なし
1667年	7月11日	寛文7年	5月20日	雨降
1667年	7月12日	寛文7年	5月21日	雨降
1667年	7月13日	寛文7年	5月22日	四つ時分まで雨降
1667年	7月14日	寛文7年	5月23日	雨降 (打ち続く雨降り諸人田畑水損に遭い候につき雨上げ(祭)あるべく由百沢寺へ書状遣わす)
1667年	7月15日	寛文7年	5月24日	雨降
1667年	7月16日	寛文7年	5月25日	天気能
1667年	7月17日	寛文7年	5月26日	天気能
1667年	7月18日	寛文7年	5月27日	雨天
1667年	7月19日	寛文7年	5月28日	曇天
1667年	7月20日	寛文7年	5月29日	天気能
1667年	7月21日	寛文7年	6月1日	天気能
1667年	7月22日	寛文7年	6月2日	天気能 (今別状が熊皮4枚上げる・御蔵米3斗入り10俵遣わす、酒の値段1具に付き2匁2分とする)
1667年	7月23日	寛文7年	6月3日	天気能
1667年	7月24日	寛文7年	6月4日	天気能
1667年	7月25日	寛文7年	6月5日	天気少々曇
1667年	7月26日	寛文7年	6月6日	天気能 (矢沢村でけんか殺人・殺人者成敗)
1667年	7月27日	寛文7年	6月7日	天気能
1667年	7月28日	寛文7年	6月8日	天気能
1667年	7月29日	寛文7年	6月9日	曇 雨
1667年	7月30日	寛文7年	6月10日	今夜中雨 朝五つ時分晴
1667年	7月31日	寛文7年	6月11日	御着城以後夜中朝まで大雨 (殿様5月23日江戸発・碓の関口經由今日着城)
1667年	8月1日	寛文7年	6月12日	雨天
1667年	8月2日	寛文7年	6月13日	曇天
1667年	8月3日	寛文7年	6月14日	天気能
1667年	8月4日	寛文7年	6月15日	天気能 少々曇
1667年	8月5日	寛文7年	6月16日	天気能 (御伊勢神主惣宮大夫に雨上げ祭り申しつける)
1667年	8月6日	寛文7年	6月17日	天気能 但し九つ半時分わずかなる雨
1667年	8月7日	寛文7年	6月18日	天気能 (九つ時分御園廻り様弘前へ御着)
1667年	8月8日	寛文7年	6月19日	天気能
1667年	8月9日	寛文7年	6月20日	天気能
1667年	8月10日	寛文7年	6月21日	朝五つ前雨降 四つより晴
1667年	8月11日	寛文7年	6月22日	天気能
1667年	8月12日	寛文7年	6月23日	天気能 (去年今別にて取らせ困いおかれ候 但しま(さ)かり泊にて百二十七枚のうち七十三枚 今十一日の大水にて流れ失せ候由)
1667年	8月13日	寛文7年	6月24日	天気能
1667年	8月14日	寛文7年	6月25日	天気能
1667年	8月15日	寛文7年	6月26日	天気能
1667年	8月16日	寛文7年	6月27日	天気能
1667年	8月17日	寛文7年	6月28日	天気能
1667年	8月18日	寛文7年	6月29日	天気能
1667年	8月19日	寛文7年	6月30日	天気能
1667年	8月20日	寛文7年	7月1日	朝六つより大雨 雷鳴
1667年	8月21日	寛文7年	7月2日	天気能
1667年	8月22日	寛文7年	7月3日	天気能 屋四つ地震おびただし 二・三十年にもこれなきほどなり
1667年	8月23日	寛文7年	7月4日	天気能
1667年	8月24日	寛文7年	7月5日	天気能 但し昼九つ時分より風雨
1667年	8月25日	寛文7年	7月6日	天気曇 風吹
1667年	8月26日	寛文7年	7月7日	天気能
1667年	8月27日	寛文7年	7月8日	曇日
1667年	8月28日	寛文7年	7月9日	天気能
1667年	8月29日	寛文7年	7月10日	天気能 少し風 但し昨夜七つ時分より今朝まで雨 (百沢村の男が馬盗人を追いかけて打ち留める)
1667年	8月30日	寛文7年	7月11日	天気能
1667年	8月31日	寛文7年	7月12日	雨気

1667年	9月1日	寛文7年	7月13日	昨夜八つ時分より明六つ時分まで大雨 少し風 但しあい西なり
1667年	9月2日	寛文7年	7月14日	天気能
1667年	9月3日	寛文7年	7月15日	天気能
1667年	9月4日	寛文7年	7月16日	天気能
1667年	9月5日	寛文7年	7月17日	雨天
1667年	9月6日	寛文7年	7月18日	天気能
1667年	9月7日	寛文7年	7月19日	天気能
1667年	9月8日	寛文7年	7月20日	天気能
1667年	9月9日	寛文7年	7月21日	天気能
1667年	9月10日	寛文7年	7月22日	天気能
1667年	9月11日	寛文7年	7月23日	天気能
1667年	9月12日	寛文7年	7月24日	天気能
1667年	9月13日	寛文7年	7月25日	天気能
1667年	9月14日	寛文7年	7月26日	四つ時分より風吹く
1667年	9月15日	寛文7年	7月27日	雨天
1667年	9月16日	寛文7年	7月28日	雨風
1667年	9月17日	寛文7年	7月29日	天気能
1667年	9月18日	寛文7年	8月1日	天気能
1667年	9月19日	寛文7年	8月2日	なし
1667年	9月20日	寛文7年	8月3日	天気能
1667年	9月21日	寛文7年	8月4日	天気能
1667年	9月22日	寛文7年	8月5日	天気能
1667年	9月23日	寛文7年	8月6日	雨天 (4人成敗)
1667年	9月24日	寛文7年	8月7日	天気能 (昨夜五つ時分より北の方よりこの前のごとくな(鳴)り申し候なり、取上で意趣討ちの者あり)
1667年	9月25日	寛文7年	8月8日	天気能
1667年	9月26日	寛文7年	8月9日	天気能
1667年	9月27日	寛文7年	8月10日	天気能 (春の霞のごとく 四方の山かすみ見えず 但し夜に入りてもおぼろ月のごとくなり 推量御鳴り物のけぶりかと申すさたにて候)
1667年	9月28日	寛文7年	8月11日	天気よし 但し今日も昨日のごとく天気あいかすみ候て日しかと不明 (20余年以前松前の山焼け・3・4年前鳴り物の時分の様子を青森へ問いに遣わず、7日意趣討ちの男・御家中の家来成敗)
1667年	9月29日	寛文7年	8月12日	天気能 (今日も少々曇り氣に候)
1667年	9月30日	寛文7年	8月13日	夜の九つ時分より雨 今朝四つまで (銀100目に付き御かし米3石3斗)
1667年	10月1日	寛文7年	8月14日	なし
1667年	10月2日	寛文7年	8月15日	なし
1667年	10月3日	寛文7年	8月16日	天気能
1667年	10月4日	寛文7年	8月17日	雨天
1667年	10月5日	寛文7年	8月18日	天気能
1667年	10月6日	寛文7年	8月19日	雨天
1667年	10月7日	寛文7年	8月20日	天気能
1667年	10月8日	寛文7年	8月21日	天気宜しからず 昼過ぎより雨
1667年	10月9日	寛文7年	8月22日	天気能 但し昨夜今朝明け前まで雨
1667年	10月10日	寛文7年	8月23日	天気能 (岩木山へ雪降る 今朝は見える)
1667年	10月11日	寛文7年	8月24日	天気能
1667年	10月12日	寛文7年	8月25日	夜前より今朝まで雨
1667年	10月13日	寛文7年	8月26日	天気能
1667年	10月14日	寛文7年	8月27日	雨天 但し今夜中終日
1667年	10月15日	寛文7年	8月28日	天気能
1667年	10月16日	寛文7年	8月29日	天気能
1667年	10月17日	寛文7年	8月30日	天気能 七つ下りより夜半まで雨 (組中の小頭に山上定右衛門誓詞)
1667年	10月18日	寛文7年	9月1日	天気能
1667年	10月19日	寛文7年	9月2日	天気能
1667年	10月20日	寛文7年	9月3日	天気能 昨夜四つ時分より少々雨 夜半時分晴
1667年	10月21日	寛文7年	9月4日	天気能
1667年	10月22日	寛文7年	9月5日	天気能
1667年	10月23日	寛文7年	9月6日	天気能
1667年	10月24日	寛文7年	9月7日	天気能
1667年	10月25日	寛文7年	9月8日	天気能
1667年	10月26日	寛文7年	9月9日	天気能
1667年	10月27日	寛文7年	9月10日	天気能
1667年	10月28日	寛文7年	9月11日	天気能
1667年	10月29日	寛文7年	9月12日	天気能
1667年	10月30日	寛文7年	9月13日	天気能
1667年	10月31日	寛文7年	9月14日	天気能

1667年 11月1日 寛文7年	9月15日 天気能
1667年 11月2日 寛文7年	9月16日 天気が中
1667年 11月3日 寛文7年	9月17日 天気能
1667年 11月4日 寛文7年	9月18日 昨夜九つ時分より雨 今朝まで
1667年 11月5日 寛文7年	9月19日 天気曇
1667年 11月6日 寛文7年	9月20日 天気能
1667年 11月7日 寛文7年	9月21日 天気能
1667年 11月8日 寛文7年	9月22日 天気能
1667年 11月9日 寛文7年	9月23日 天気能 (御家中の家来成敗)
1667年 11月10日 寛文7年	9月24日 天気能
1667年 11月11日 寛文7年	9月25日 天気能
1667年 11月12日 寛文7年	9月26日 天気能
1667年 11月13日 寛文7年	9月27日 小雨 明六つより五つ過ぎまで 風少々
1667年 11月14日 寛文7年	9月28日 天気能
1667年 11月15日 寛文7年	9月29日 天気能
1667年 11月16日 寛文7年	10月1日 小雨雪少々 但し在々への雪初めなり (大間越御銀山で殺人)
1667年 11月17日 寛文7年	10月2日 雪降 (川倉御派出入りの者共散々不作・当年分年貢は赦免すべき由を御郡奉行へ申し渡す)
1667年 11月18日 寛文7年	10月3日 天気能
1667年 11月19日 寛文7年	10月4日 少し雨ふる
1667年 11月20日 寛文7年	10月5日 雪降
1667年 11月21日 寛文7年	10月6日 雪降
1667年 11月22日 寛文7年	10月7日 雪降
1667年 11月23日 寛文7年	10月8日 雪降
1667年 11月24日 寛文7年	10月9日 雪少々降
1667年 11月25日 寛文7年	10月10日 天気曇
1667年 11月26日 寛文7年	10月11日 雪降 風
1667年 11月27日 寛文7年	10月12日 少々雪 風
1667年 11月28日 寛文7年	10月13日 なし (御用の柁1000枚値段: 5尺で5匁・長さ4尺幅4寸5分より5寸まで3匁)
1667年 11月29日 寛文7年	10月14日 雪少々降
1667年 11月30日 寛文7年	10月15日 天気曇
1667年 12月1日 寛文7年	10月16日 昨夜中より今朝まで雨雪
1667年 12月2日 寛文7年	10月17日 雪降
1667年 12月3日 寛文7年	10月18日 雪
1667年 12月4日 寛文7年	10月19日 雪
1667年 12月5日 寛文7年	10月20日 雪
1667年 12月6日 寛文7年	10月21日 少々雪降 (御家中の家来成敗)
1667年 12月7日 寛文7年	10月22日 天気能 (小知行1俵米定値段: 代銀11匁)
1667年 12月8日 寛文7年	10月23日 天気能
1667年 12月9日 寛文7年	10月24日 天気雨降
1667年 12月10日 寛文7年	10月25日 雪降 (御町の杉野某が切支丹との落書きあり・家宅搜索をして疑い晴れる)
1667年 12月11日 寛文7年	10月26日 天気能 少し曇
1667年 12月12日 寛文7年	10月27日 天気能
1667年 12月13日 寛文7年	10月28日 天気能
1667年 12月14日 寛文7年	10月29日 昨夜より今明け前まで雨少々 きょう天気能
1667年 12月15日 寛文7年	11月1日 なし
1667年 12月16日 寛文7年	11月2日 天気能
1667年 12月17日 寛文7年	11月3日 昨夜より雨降
1667年 12月18日 寛文7年	11月4日 昨夜中より雪風
1667年 12月19日 寛文7年	11月5日 雪風
1667年 12月20日 寛文7年	11月6日 少々天気能
1667年 12月21日 寛文7年	11月7日 天気能
1667年 12月22日 寛文7年	11月8日 雪ふり
1667年 12月23日 寛文7年	11月9日 雪降
1667年 12月24日 寛文7年	11月10日 天気能 (例年のごとく江戸へ御進上の鱒差し登)
1667年 12月25日 寛文7年	11月11日 昨夜半時分より雨降
1667年 12月26日 寛文7年	11月12日 天気能
1667年 12月27日 寛文7年	11月13日 天気能
1667年 12月28日 寛文7年	11月14日 雪降
1667年 12月29日 寛文7年	11月15日 天気能
1667年 12月30日 寛文7年	11月16日 天気が中
1667年 12月31日 寛文7年	11月17日 雪降

1668年	1月1日	寛文7年	11月18日	天気中
1668年	1月2日	寛文7年	11月19日	天気能
1668年	1月3日	寛文7年	11月20日	天気能
1668年	1月4日	寛文7年	11月21日	雪降
1668年	1月5日	寛文7年	11月22日	天気能
1668年	1月6日	寛文7年	11月23日	雨天
1668年	1月7日	寛文7年	11月24日	天気能
1668年	1月8日	寛文7年	11月25日	吹雪
1668年	1月9日	寛文7年	11月26日	天気中
1668年	1月10日	寛文7年	11月27日	雪降
1668年	1月11日	寛文7年	11月28日	雪降
1668年	1月12日	寛文7年	11月29日	天気能
1668年	1月13日	寛文7年	11月30日	昨暮れより雨気 夜半より雨今朝五つまで みぞれ少々降
1668年	1月14日	寛文7年	12月1日	夜前より今朝まで雪吹 終日雪降 (朝五つ半に地震、去る3月22日(喧嘩)殺人・殺人者成敗))
1668年	1月15日	寛文7年	12月2日	天気能
1668年	1月16日	寛文7年	12月3日	天気能
1668年	1月17日	寛文7年	12月4日	天気能
1668年	1月18日	寛文7年	12月5日	天気能
1668年	1月19日	寛文7年	12月6日	天気能
1668年	1月20日	寛文7年	12月7日	雪少し降
1668年	1月21日	寛文7年	12月8日	天気能
1668年	1月22日	寛文7年	12月9日	雪降 但し大雪なり
1668年	1月23日	寛文7年	12月10日	なし
1668年	1月24日	寛文7年	12月11日	雪降
1668年	1月25日	寛文7年	12月12日	少々雪降
1668年	1月26日	寛文7年	12月13日	雪少々降
1668年	1月27日	寛文7年	12月14日	天気能
1668年	1月28日	寛文7年	12月15日	天気能
1668年	1月29日	寛文7年	12月16日	天気能
1668年	1月30日	寛文7年	12月17日	昨夜より今朝まで雪吹く
1668年	1月31日	寛文7年	12月18日	天気能
1668年	2月1日	寛文7年	12月19日	なし
1668年	2月2日	寛文7年	12月20日	天気能
1668年	2月3日	寛文7年	12月21日	天気能
1668年	2月4日	寛文7年	12月22日	天気能
1668年	2月5日	寛文7年	12月23日	雨降
1668年	2月6日	寛文7年	12月24日	天気能
1668年	2月7日	寛文7年	12月25日	天気能
1668年	2月8日	寛文7年	12月26日	天気能
1668年	2月9日	寛文7年	12月27日	天気能
1668年	2月10日	寛文7年	12月28日	天気能
1668年	2月11日	寛文7年	12月29日	天気能
1668年	2月12日	寛文8年	正月1日	天気能
1668年	2月13日	寛文8年	正月2日	雪降
1668年	2月14日	寛文8年	正月3日	天気能
1668年	2月15日	寛文8年	正月4日	天気能
1668年	2月16日	寛文8年	正月5日	天気能
1668年	2月17日	寛文8年	正月6日	天気好
1668年	2月18日	寛文8年	正月7日	雨降
1668年	2月19日	寛文8年	正月8日	天気能
1668年	2月20日	寛文7年	正月9日	天気能
1668年	2月21日	寛文7年	正月10日	雪降
1668年	2月22日	寛文8年	正月11日	天気悪
1668年	2月23日	寛文8年	正月12日	天気能
1668年	2月24日	寛文8年	正月13日	昨夜四つ時分より今日まで雪吹
1668年	2月25日	寛文8年	正月14日	天気中
1668年	2月26日	寛文8年	正月15日	雪吹
1668年	2月27日	寛文8年	正月16日	天気能
1668年	2月28日	寛文8年	正月17日	天気能
1668年	2月29日	寛文8年	正月18日	天気能

1668年 3月1日 寛文8年 正月19日 雪吹
 1668年 3月2日 寛文8年 正月20日 天気好
 1668年 3月3日 寛文8年 正月21日 なし
 1668年 3月4日 寛文8年 正月22日 天気能
 1668年 3月5日 寛文8年 正月23日 雪降 (上磯の与助と申し候状……、和人名の狛が現れている)
 1668年 3月6日 寛文8年 正月24日 天気能
 1668年 3月7日 寛文8年 正月25日 天気能
 1668年 3月8日 寛文8年 正月26日 天気能
 1668年 3月9日 寛文8年 正月27日 天気能
 1668年 3月10日 寛文8年 正月28日 雪降
 1668年 3月11日 寛文8年 正月29日 天気能 (暮れ六つ前より殊のほか雨ふり かみなり・いなずまおびただしく鳴る 同六つ過ぎに止む それより風吹く)
 1668年 3月12日 寛文8年 正月30日 昨晚よりの風終日 少々雪添え候えて吹く
 1668年 3月13日 寛文8年 2月1日 天気能
 1668年 3月14日 寛文8年 2月2日 昨夜より大雪
 1668年 3月15日 寛文8年 2月3日 天気中
 1668年 3月16日 寛文8年 2月4日 天気中
 1668年 3月17日 寛文8年 2月5日 天気悪
 1668年 3月18日 寛文8年 2月6日 天気能
 1668年 3月19日 寛文8年 2月7日 天気能
 1668年 3月20日 寛文8年 2月8日 雨降
 1668年 3月21日 寛文8年 2月9日 天気能 (鍛冶町で鍛冶の女房が氣違いに刺し殺される・今日成敗)
 1668年 3月22日 寛文8年 2月10日 天気悪
 1668年 3月23日 寛文8年 2月11日 天気悪
 1668年 3月24日 寛文8年 2月12日 天気能
 1668年 3月25日 寛文8年 2月13日 天気能 (今日辰の下刻江戸牛込酒井屋敷より出火・御上屋敷全焼)
 1668年 3月26日 寛文8年 2月14日 天気好 (昨日の件について御金100両登らす)
 1668年 3月27日 寛文8年 2月15日 天気悪
 1668年 3月28日 寛文8年 2月16日 天気悪
 1668年 3月29日 寛文8年 2月17日 天気能
 1668年 3月30日 寛文8年 2月18日 天気能 (今日4日の火事で(江戸の)御中屋敷全焼・御下屋敷恙(つつが)なし)
 1668年 3月31日 寛文8年 2月19日 天気能 (江戸へ御金500両登せ候)
 1668年 4月1日 寛文8年 2月20日 天気能
 1668年 4月2日 寛文8年 2月21日 天気能 (大工・木挽・左官を江戸へ今日さし登す)
 1668年 4月3日 寛文8年 2月22日 天気能
 1668年 4月4日 寛文8年 2月23日 天気よく
 1668年 4月5日 寛文8年 2月24日 天気好
 1668年 4月6日 寛文8年 2月25日 天気能
 1668年 4月7日 寛文8年 2月26日 少し風吹 (深浦村の5軒湯命につき1軒につき2俵ずつ貸し渡す)
 1668年 4月8日 寛文8年 2月27日 天気好 但し昨夜雪少し降
 1668年 4月9日 寛文8年 2月28日 天気よく
 1668年 4月10日 寛文8年 2月29日 天気能
 1668年 4月11日 寛文8年 2月30日 天気能
 1668年 4月12日 寛文8年 3月1日 天気好
 1668年 4月13日 寛文8年 3月2日 天気よく
 1668年 4月14日 寛文8年 3月3日 天気能
 1668年 4月15日 寛文8年 3月4日 天気能
 1668年 4月16日 寛文8年 3月5日 少々雨降
 1668年 4月17日 寛文8年 3月6日 時々雨降
 1668年 4月18日 寛文8年 3月7日 天気能
 1668年 4月19日 寛文8年 3月8日 天気好
 1668年 4月20日 寛文8年 3月9日 天気能
 1668年 4月21日 寛文8年 3月10日 天気能
 1668年 4月22日 寛文8年 3月11日 天気好
 1668年 4月23日 寛文8年 3月12日 天気能
 1668年 4月24日 寛文8年 3月13日 天気好 (御家中の家来(小物)2人成敗)
 1668年 4月25日 寛文8年 3月14日 昼まで雨降
 1668年 4月26日 寛文8年 3月15日 天気能
 1668年 4月27日 寛文8年 3月16日 天気能 (御家中の小物成敗)
 1668年 4月28日 寛文8年 3月17日 七つ半より朝五つまで雨降 九つより風
 1668年 4月29日 寛文8年 3月18日 天気能 風少々 (百姓成敗)
 1668年 4月30日 寛文8年 3月19日 天気能

1668年	5月1日	寛文8年	3月20日	雨降	
1668年	5月2日	寛文8年	3月21日	天気能	少し風吹
1668年	5月3日	寛文8年	3月22日	天気能	
1668年	5月4日	寛文8年	3月23日	天気能	
1668年	5月5日	寛文8年	3月24日	曇	
1668年	5月6日	寛文8年	3月25日	天気能	
1668年	5月7日	寛文8年	3月26日	天気能	
1668年	5月8日	寛文8年	3月27日	天気能	
1668年	5月9日	寛文8年	3月28日	天気能	
1668年	5月10日	寛文8年	3月29日	天気能	
1668年	5月11日	寛文8年	4月1日	天気能	
1668年	5月12日	寛文8年	4月2日	天気好	(鯨長浜による)
1668年	5月13日	寛文8年	4月3日	天気能	但し朝のうち雨少し降
1668年	5月14日	寛文8年	4月4日	天気能	
1668年	5月15日	寛文8年	4月5日	少々雨降	(小判200両・銀子10貫目さし登せ候)
1668年	5月16日	寛文8年	4月6日	天気能	
1668年	5月17日	寛文8年	4月7日	少々雨降	
1668年	5月18日	寛文8年	4月8日	天気好	
1668年	5月19日	寛文8年	4月9日	天気能	
1668年	5月20日	寛文8年	4月10日	天気	
1668年	5月21日	寛文8年	4月11日	天気能	
1668年	5月22日	寛文8年	4月12日	天気能	
1668年	5月23日	寛文8年	4月13日	天気能	
1668年	5月24日	寛文8年	4月14日	天気能	
1668年	5月25日	寛文8年	4月15日	天気能	
1668年	5月26日	寛文8年	4月16日	天気能	
1668年	5月27日	寛文8年	4月17日	天気能	
1668年	5月28日	寛文8年	4月18日	天気能	
1668年	5月29日	寛文8年	4月19日	天気好	
1668年	5月30日	寛文8年	4月20日	天気能	
1668年	5月31日	寛文8年	4月21日	雨降	
1668年	6月1日	寛文8年	4月22日	天気能	
1668年	6月2日	寛文8年	4月23日	天気能	(殿様巳の刻御発足・碓関まわり)
1668年	6月3日	寛文8年	4月24日	天気能	
1668年	6月4日	寛文8年	4月25日	少々雨降	
1668年	6月5日	寛文8年	4月26日	天気好	
1668年	6月6日	寛文8年	4月27日	天気能	
1668年	6月7日	寛文8年	4月28日	天気能	
1668年	6月8日	寛文8年	4月29日	天気能	
1668年	6月9日	寛文8年	4月30日	なし	(蟹田にて火元2人のもの赦免)
1668年	6月10日	寛文8年	5月1日	少々雨降	
1668年	6月11日	寛文8年	5月2日	天気くもる	寒し
1668年	6月12日	寛文8年	5月3日	天気能	
1668年	6月13日	寛文8年	5月4日	天気能	
1668年	6月14日	寛文8年	5月5日	雨降	
1668年	6月15日	寛文8年	5月6日	天気能	
1668年	6月16日	寛文8年	5月7日	天気曇	晩七つ下刻より雨少々降
1668年	6月17日	寛文8年	5月8日	朝より雨	五つ半時に晴る 但し曇
1668年	6月18日	寛文8年	5月9日	天気能	
1668年	6月19日	寛文8年	5月10日	天気曇	九つ時分より雨少々降
1668年	6月20日	寛文8年	5月11日	天気能	
1668年	6月21日	寛文8年	5月12日	天気曇	
1668年	6月22日	寛文8年	5月13日	天気能	
1668年	6月23日	寛文8年	5月14日	天気能	
1668年	6月24日	寛文8年	5月15日	雨降	
1668年	6月25日	寛文8年	5月16日	天気能	
1668年	6月26日	寛文8年	5月17日	雨降	
1668年	6月27日	寛文8年	5月18日	天気能	(暮れ候て雨少々)
1668年	6月28日	寛文8年	5月19日	雨降	
1668年	6月29日	寛文8年	5月20日	曇	
1668年	6月30日	寛文8年	5月21日	天気能	

1668年	7月1日	寛文8年	5月22日	天気能
1668年	7月2日	寛文8年	5月23日	昨夜よりの雨終日降
1668年	7月3日	寛文8年	5月24日	なし
1668年	7月4日	寛文8年	5月25日	天気能
1668年	7月5日	寛文8年	5月26日	天気能
1668年	7月6日	寛文8年	5月27日	雨降
1668年	7月7日	寛文8年	5月28日	天気能
1668年	7月8日	寛文8年	5月29日	天気能
1668年	7月9日	寛文8年	6月1日	昨日より雨降 (雨上げ祭り伊勢神主に申しつける)
1668年	7月10日	寛文8年	6月2日	曇
1668年	7月11日	寛文8年	6月3日	なし
1668年	7月12日	寛文8年	6月4日	四つより雨降
1668年	7月13日	寛文8年	6月5日	雨降
1668年	7月14日	寛文8年	6月6日	天気能
1668年	7月15日	寛文8年	6月7日	天気能
1668年	7月16日	寛文8年	6月8日	雨降
1668年	7月17日	寛文8年	6月9日	曇
1668年	7月18日	寛文8年	6月10日	能
1668年	7月19日	寛文8年	6月11日	曇 (蔵を破り米4俵盗み磔)
1668年	7月20日	寛文8年	6月12日	天気曇 夜に入り雨降 (御家中の草履取り成敗)
1668年	7月21日	寛文8年	6月13日	天気能 夜に入り少々雨降
1668年	7月22日	寛文8年	6月14日	天気能
1668年	7月23日	寛文8年	6月15日	天気能
1668年	7月24日	寛文8年	6月16日	天気能
1668年	7月25日	寛文8年	6月17日	雨降
1668年	7月26日	寛文8年	6月18日	曇
1668年	7月27日	寛文8年	6月19日	天気能
1668年	7月28日	寛文8年	6月20日	天気能
1668年	7月29日	寛文8年	6月21日	天気能
1668年	7月30日	寛文8年	6月22日	天気能 (藤崎川と岩木川の落合で蝶鮫(ちょうざめ)とる・長さ4尺5寸余)
1668年	7月31日	寛文8年	6月23日	天気好
1668年	8月1日	寛文8年	6月24日	曇 昨夜より少々風吹
1668年	8月2日	寛文8年	6月25日	天気能
1668年	8月3日	寛文8年	6月26日	昨夜より雨降
1668年	8月4日	寛文8年	6月27日	天気能
1668年	8月5日	寛文8年	6月28日	天気能
1668年	8月6日	寛文8年	6月29日	天気能
1668年	8月7日	寛文8年	6月30日	天気能
1668年	8月8日	寛文8年	7月1日	天気能
1668年	8月9日	寛文8年	7月2日	天気克
1668年	8月10日	寛文8年	7月3日	天気能
1668年	8月11日	寛文8年	7月4日	天気能
1668年	8月12日	寛文8年	7月5日	天気能
1668年	8月13日	寛文8年	7月6日	天気能
1668年	8月14日	寛文8年	7月7日	天気能
1668年	8月15日	寛文8年	7月8日	天気能
1668年	8月16日	寛文8年	7月9日	天気能
1668年	8月17日	寛文8年	7月10日	天気能
1668年	8月18日	寛文8年	7月11日	天気能
1668年	8月19日	寛文8年	7月12日	天気能
1668年	8月20日	寛文8年	7月13日	天気能
1668年	8月21日	寛文8年	7月14日	天気能
1668年	8月22日	寛文8年	7月15日	天気能
1668年	8月23日	寛文8年	7月16日	天気能
1668年	8月24日	寛文8年	7月17日	朝六つ前少し雨降 風少々吹 天気能
1668年	8月25日	寛文8年	7月18日	天気能
1668年	8月26日	寛文8年	7月19日	天気能 朝五つ前は曇
1668年	8月27日	寛文8年	7月20日	天気能 但し昨夜四つ半時より九つ過ぎまで雨降
1668年	8月28日	寛文8年	7月21日	天気能 (申の三の下刻地しん)
1668年	8月29日	寛文8年	7月22日	天気能
1668年	8月30日	寛文8年	7月23日	卯の上刻より雨降
1668年	8月31日	寛文8年	7月24日	天気能

1668年 9月1日 寛文8年	7月25日 天気曇 午の刻より未の上刻まで雨少々降 雷鳴
1668年 9月2日 寛文8年	7月26日 天気能
1668年 9月3日 寛文8年	7月27日 天気能
1668年 9月4日 寛文8年	7月28日 天気能
1668年 9月5日 寛文8年	7月29日 天気好
1668年 9月6日 寛文8年	7月30日 天気能
1668年 9月7日 寛文8年	8月1日 朝四つより雨少々降
1668年 9月8日 寛文8年	8月2日 天気能
1668年 9月9日 寛文8年	8月3日 昨夜半より雨少々降
1668年 9月10日 寛文8年	8月4日 雨少々降
1668年 9月11日 寛文8年	8月5日 昨夜より雨降
1668年 9月12日 寛文8年	8月6日 天気能
1668年 9月13日 寛文8年	8月7日 雨少々降 卯の刻地震
1668年 9月14日 寛文8年	8月8日 天気能
1668年 9月15日 寛文8年	8月9日 天気能
1668年 9月16日 寛文8年	8月10日 天気能
1668年 9月17日 寛文8年	8月11日 天気能
1668年 9月18日 寛文8年	8月12日 天気能
1668年 9月19日 寛文8年	8月13日 天気能
1668年 9月20日 寛文8年	8月14日 天気能
1668年 9月21日 寛文8年	8月15日 雨少々降 (14日八つ時分より飯詰山火事出来候由 御山廻りより郡奉行まで申し来る)
1668年 9月22日 寛文8年	8月16日 昨夜より少々風吹 昼時分より少々雨降 (飯詰山の火事昨15日申の刻に消え候由申し来る、徒者成敗)
1668年 9月23日 寛文8年	8月17日 天気能
1668年 9月24日 寛文8年	8月18日 天気能 (飯詰山火事12・3町四方)
1668年 9月25日 寛文8年	8月19日 天気曇
1668年 9月26日 寛文8年	8月20日 天気能
1668年 9月27日 寛文8年	8月21日 天気能 但し夜八つに雨少々降
1668年 9月28日 寛文8年	8月22日 天気能 但し未の刻より少々雨降
1668年 9月29日 寛文8年	8月23日 天気能
1668年 9月30日 寛文8年	8月24日 天気能 (深浦より鮭1尺上る)
1668年 10月1日 寛文8年	8月25日 天気曇 申の刻より雨降
1668年 10月2日 寛文8年	8月26日 天気能
1668年 10月3日 寛文8年	8月27日 昨夜中より雨降
1668年 10月4日 寛文8年	8月28日 天気能
1668年 10月5日 寛文8年	8月29日 天気能
1668年 10月6日 寛文8年	9月1日 暮れに及び少々雨 (人の女房妨げ候科により男成敗)
1668年 10月7日 寛文8年	9月2日 朝のうち少々雨
1668年 10月8日 寛文8年	9月3日 天気能
1668年 10月9日 寛文8年	9月4日 天気曇
1668年 10月10日 寛文8年	9月5日 天気能
1668年 10月11日 寛文8年	9月6日 天気好
1668年 10月12日 寛文8年	9月7日 天気能 少々風吹
1668年 10月13日 寛文8年	9月8日 天気能
1668年 10月14日 寛文8年	9月9日 天気好
1668年 10月15日 寛文8年	9月10日 時々雨 (昼八つ時分地震)
1668年 10月16日 寛文8年	9月11日 天気合い昨日のごとし
1668年 10月17日 寛文8年	9月12日 天気能
1668年 10月18日 寛文8年	9月13日 時々雨
1668年 10月19日 寛文8年	9月14日 天気能 (昨夜岩木山へ雪降る)
1668年 10月20日 寛文8年	9月15日 時々雨
1668年 10月21日 寛文8年	9月16日 なし (古懸御不動明六つより五つ半まで御汗なされ候由 国上寺より書状をもって申し来る)
1668年 10月22日 寛文8年	9月17日 雨降 (古懸御不動御汗なされる由につき神楽申しつける 但し最勝院へ申し渡し 今勅右衛門に御託宣の様子承請け届け候ようにと申しつけさし遣わす)
1668年 10月23日 寛文8年	9月18日 雨降
1668年 10月24日 寛文8年	9月19日 天気能
1668年 10月25日 寛文8年	9月20日 天気能
1668年 10月26日 寛文8年	9月21日 天気能 (当年十三にて入り付けの御用証値段5尺証1000枚につき4匁5分運賃8分・4尺証1000枚につき3匁5分運賃7分とする)
1668年 10月27日 寛文8年	9月22日 天気能
1668年 10月28日 寛文8年	9月23日 大風
1668年 10月29日 寛文8年	9月24日 雨降
1668年 10月30日 寛文8年	9月25日 天気曇
1668年 10月31日 寛文8年	9月26日 天気能

1668年 11月1日 寛文8年	9月27日 天気能
1668年 11月2日 寛文8年	9月28日 天気能
1668年 11月3日 寛文8年	9月29日 天気能
1668年 11月4日 寛文8年	9月30日 天気能
1668年 11月5日 寛文8年	10月1日 曇
1668年 11月6日 寛文8年	10月2日 雨降 四つより晴
1668年 11月7日 寛文8年	10月3日 昨夜より雪降
1668年 11月8日 寛文8年	10月4日 雪降
1668年 11月9日 寛文8年	10月5日 昨夜より雨少々降
1668年 11月10日 寛文8年	10月6日 雨降
1668年 11月11日 寛文8年	10月7日 天気能 昼より雨天
1668年 11月12日 寛文8年	10月8日 天気曇
1668年 11月13日 寛文8年	10月9日 天気能
1668年 11月14日 寛文8年	10月10日 昨夜より雨降
1668年 11月15日 寛文8年	10月11日 雪降 昨夜大風今朝まで
1668年 11月16日 寛文8年	10月12日 雪降
1668年 11月17日 寛文8年	10月13日 天気能 暮れに及び時々雨降
1668年 11月18日 寛文8年	10月14日 天気能
1668年 11月19日 寛文8年	10月15日 天気能
1668年 11月20日 寛文8年	10月16日 雨降
1668年 11月21日 寛文8年	10月17日 雨降
1668年 11月22日 寛文8年	10月18日 なし
1668年 11月23日 寛文8年	10月19日 雪降
1668年 11月24日 寛文8年	10月20日 昨夜より雪降 (両替57匁)
1668年 11月25日 寛文8年	10月21日 雪降
1668年 11月26日 寛文8年	10月22日 天気能
1668年 11月27日 寛文8年	10月23日 なし
1668年 11月28日 寛文8年	10月24日 雪降
1668年 11月29日 寛文8年	10月25日 雨降
1668年 11月30日 寛文8年	10月26日 なし
1668年 12月1日 寛文8年	10月27日 雨少々降
1668年 12月2日 寛文8年	10月28日 天気能
1668年 12月3日 寛文8年	10月29日 雪少々降
1668年 12月4日 寛文8年	11月1日 天気能
1668年 12月5日 寛文8年	11月2日 天気能
1668年 12月6日 寛文8年	11月3日 雪吹
1668年 12月7日 寛文8年	11月4日 雪吹
1668年 12月8日 寛文8年	11月5日 昨日のごとく
1668年 12月9日 寛文8年	11月6日 雪吹
1668年 12月10日 寛文8年	11月7日 雪吹
1668年 12月11日 寛文8年	11月8日 雪降
1668年 12月12日 寛文8年	11月9日 なし
1668年 12月13日 寛文8年	11月10日 雪降
1668年 12月14日 寛文8年	11月11日 雪降
1668年 12月15日 寛文8年	11月12日 なし (大間越に毎年のごとく御蔵米300俵貸し出して欲しい旨申し出で・了)
1668年 12月16日 寛文8年	11月13日 雪吹
1668年 12月17日 寛文8年	11月14日 天気好
1668年 12月18日 寛文8年	11月15日 天気能
1668年 12月19日 寛文8年	11月16日 昼時分より雪吹 (御家中の小者2人成敗)
1668年 12月20日 寛文8年	11月17日 少々雪降
1668年 12月21日 寛文8年	11月18日 なし (酒1升を5分で売るよう御町奉行へ申し渡す)
1668年 12月22日 寛文8年	11月19日 天気能 但し夜に入り雪降
1668年 12月23日 寛文8年	11月20日 少々雪降
1668年 12月24日 寛文8年	11月21日 少々雪降
1668年 12月25日 寛文8年	11月22日 天気好
1668年 12月26日 寛文8年	11月23日 少々雪降
1668年 12月27日 寛文8年	11月24日 天気能
1668年 12月28日 寛文8年	11月25日 天気能
1668年 12月29日 寛文8年	11月26日 天気克 (江戸へ鱈差し登)
1668年 12月30日 寛文8年	11月27日 雪吹
1668年 12月31日 寛文8年	11月28日 天気能

1669年	1月1日	寛文8年	11月29日	天気能
1669年	1月2日	寛文8年	11月30日	天気能
1669年	1月3日	寛文8年	12月1日	雪少々
1669年	1月4日	寛文8年	12月2日	天気能
1669年	1月5日	寛文8年	12月3日	天気能
1669年	1月6日	寛文8年	12月4日	昨夜よりの雨今朝まで降
1669年	1月7日	寛文8年	12月5日	少々雪降
1669年	1月8日	寛文8年	12月6日	天気能
1669年	1月9日	寛文8年	12月7日	なし
1669年	1月10日	寛文8年	12月8日	天気能
1669年	1月11日	寛文8年	12月9日	雨降
1669年	1月12日	寛文8年	12月10日	天気能
1669年	1月13日	寛文8年	12月11日	天気能
1669年	1月14日	寛文8年	12月12日	昼時分より雪少々降
1669年	1月15日	寛文8年	12月13日	天気能 昼過ぎより夜中雪降
1669年	1月16日	寛文8年	12月14日	雪吹
1669年	1月17日	寛文8年	12月15日	天気能
1669年	1月18日	寛文8年	12月16日	雪降 (小判両替55匁5分)
1669年	1月19日	寛文8年	12月17日	なし
1669年	1月20日	寛文8年	12月18日	雪吹
1669年	1月21日	寛文8年	12月19日	雪吹
1669年	1月22日	寛文8年	12月20日	なし
1669年	1月23日	寛文8年	12月21日	天気能
1669年	1月24日	寛文8年	12月22日	天気能
1669年	1月25日	寛文8年	12月23日	天気能
1669年	1月26日	寛文8年	12月24日	天気能
1669年	1月27日	寛文8年	12月25日	天気能
1669年	1月28日	寛文8年	12月26日	天気能 七つ下りより夜中雨降
1669年	1月29日	寛文8年	12月27日	雨少々降
1669年	1月30日	寛文8年	12月28日	天気能
1669年	1月31日	寛文8年	12月29日	天気能
1669年	2月1日	寛文9年	正月1日	時々雪吹
1669年	2月2日	寛文9年	正月2日	時々雪降
1669年	2月3日	寛文9年	正月3日	天気能
1669年	2月4日	寛文9年	正月4日	雪降
1669年	2月5日	寛文9年	正月5日	雪降
1669年	2月6日	寛文9年	正月6日	天気能
1669年	2月7日	寛文9年	正月7日	雪吹
1669年	2月8日	寛文9年	正月8日	少々雪降
1669年	2月9日	寛文9年	正月9日	天気能
1669年	2月10日	寛文9年	正月10日	天気能
1669年	2月11日	寛文9年	正月11日	天気能
1669年	2月12日	寛文9年	正月12日	天気能
1669年	2月13日	寛文9年	正月13日	雪降
1669年	2月14日	寛文9年	正月14日	雪降
1669年	2月15日	寛文9年	正月15日	天気能
1669年	2月16日	寛文9年	正月16日	雪降
1669年	2月17日	寛文9年	正月17日	少々雪降
1669年	2月18日	寛文9年	正月18日	なし
1669年	2月19日	寛文9年	正月19日	朝少々雪降
1669年	2月20日	寛文9年	正月20日	天気能
1669年	2月21日	寛文9年	正月21日	天気能
1669年	2月22日	寛文9年	正月22日	天気能
1669年	2月23日	寛文9年	正月23日	天気能 昨夜雪降
1669年	2月24日	寛文9年	正月24日	雪降
1669年	2月25日	寛文9年	正月25日	雪少々降
1669年	2月26日	寛文9年	正月26日	天気能
1669年	2月27日	寛文9年	正月27日	天気能
1669年	2月28日	寛文9年	正月28日	雪降

1669年	3月1日	寛文9年	正月29日	天気能
1669年	3月2日	寛文9年	2月1日	天気能
1669年	3月3日	寛文9年	2月2日	天気能
1669年	3月4日	寛文9年	2月3日	天気能
1669年	3月5日	寛文9年	2月4日	天気能
1669年	3月6日	寛文9年	2月5日	七つ下りより雪降
1669年	3月7日	寛文9年	2月6日	天気能
1669年	3月8日	寛文9年	2月7日	天気能
1669年	3月9日	寛文9年	2月8日	天気能
1669年	3月10日	寛文9年	2月9日	天気能
1669年	3月11日	寛文9年	2月10日	雪降 (昨夜八つ下がりより朝まで大風吹く)
1669年	3月12日	寛文9年	2月11日	雪降
1669年	3月13日	寛文9年	2月12日	雪降
1669年	3月14日	寛文9年	2月13日	天気能
1669年	3月15日	寛文9年	2月14日	天気能
1669年	3月16日	寛文9年	2月15日	天気能
1669年	3月17日	寛文9年	2月16日	天気能
1669年	3月18日	寛文9年	2月17日	天気能
1669年	3月19日	寛文9年	2月18日	天気能
1669年	3月20日	寛文9年	2月19日	天気能
1669年	3月21日	寛文9年	2月20日	天気能
1669年	3月22日	寛文9年	2月21日	昨日より雨降
1669年	3月23日	寛文9年	2月22日	雪降 少々風吹
1669年	3月24日	寛文9年	2月23日	雪吹
1669年	3月25日	寛文9年	2月24日	天気能
1669年	3月26日	寛文9年	2月25日	天気能
1669年	3月27日	寛文9年	2月26日	天気能
1669年	3月28日	寛文9年	2月27日	天気能
1669年	3月29日	寛文9年	2月28日	昨夜雨降
1669年	3月30日	寛文9年	2月29日	天気能
1669年	3月31日	寛文9年	2月30日	天気能
1669年	4月1日	寛文9年	3月1日	雨降
1669年	4月2日	寛文9年	3月2日	雪降
1669年	4月3日	寛文9年	3月3日	天気能
1669年	4月4日	寛文9年	3月4日	少々雪降
1669年	4月5日	寛文9年	3月5日	昨日より今日までの雪四・五寸降
1669年	4月6日	寛文9年	3月6日	雨降
1669年	4月7日	寛文9年	3月7日	天気能
1669年	4月8日	寛文9年	3月8日	天気好
1669年	4月9日	寛文9年	3月9日	天気能
1669年	4月10日	寛文9年	3月10日	天気能
1669年	4月11日	寛文9年	3月11日	天気曇
1669年	4月12日	寛文9年	3月12日	天気能
1669年	4月13日	寛文9年	3月13日	七つ下りより雨降
1669年	4月14日	寛文9年	3月14日	大風
1669年	4月15日	寛文9年	3月15日	天気能 但し少々風吹
1669年	4月16日	寛文9年	3月16日	天気能
1669年	4月17日	寛文9年	3月17日	天気能
1669年	4月18日	寛文9年	3月18日	天気能
1669年	4月19日	寛文9年	3月19日	天気能
1669年	4月20日	寛文9年	3月20日	天気能
1669年	4月21日	寛文9年	3月21日	天気能
1669年	4月22日	寛文9年	3月22日	天気能 (今日日の晩柏木町村で火災・御米1俵も焼かず褒美御米3俵)
1669年	4月23日	寛文9年	3月23日	天気能
1669年	4月24日	寛文9年	3月24日	少々風吹
1669年	4月25日	寛文9年	3月25日	雨降
1669年	4月26日	寛文9年	3月26日	天気能
1669年	4月27日	寛文9年	3月27日	天気能
1669年	4月28日	寛文9年	3月28日	天気能
1669年	4月29日	寛文9年	3月29日	天気能
1669年	4月30日	寛文9年	4月1日	天気曇 四つ過ぎより雨降

1669年	5月1日	寛文9年	4月2日	天気能
1669年	5月2日	寛文9年	4月3日	天気能
1669年	5月3日	寛文9年	4月4日	天気能
1669年	5月4日	寛文9年	4月5日	天気能
1669年	5月5日	寛文9年	4月6日	天気能
1669年	5月6日	寛文9年	4月7日	五つ過ぎより雨降
1669年	5月7日	寛文9年	4月8日	少々風吹
1669年	5月8日	寛文9年	4月9日	天気能
1669年	5月9日	寛文9年	4月10日	少々風吹
1669年	5月10日	寛文9年	4月11日	天気能
1669年	5月11日	寛文9年	4月12日	天気能 昨夜大風
1669年	5月12日	寛文9年	4月13日	天気能
1669年	5月13日	寛文9年	4月14日	天気能
1669年	5月14日	寛文9年	4月15日	天気能
1669年	5月15日	寛文9年	4月16日	昨夜五つ過ぎより今朝まで雨降
1669年	5月16日	寛文9年	4月17日	少々雨降
1669年	5月17日	寛文9年	4月18日	雨少々降
1669年	5月18日	寛文9年	4月19日	天気能
1669年	5月19日	寛文9年	4月20日	天気能
1669年	5月20日	寛文9年	4月21日	天気好
1669年	5月21日	寛文9年	4月22日	天気能
1669年	5月22日	寛文9年	4月23日	天気能
1669年	5月23日	寛文9年	4月24日	昨夜五つ過ぎより雨降
1669年	5月24日	寛文9年	4月25日	天気能
1669年	5月25日	寛文9年	4月26日	なし
1669年	5月26日	寛文9年	4月27日	昨夜半より雨降
1669年	5月27日	寛文9年	4月28日	昼過ぎより雨少々降
1669年	5月28日	寛文9年	4月29日	天気能
1669年	5月29日	寛文9年	4月30日	天気能
1669年	5月30日	寛文9年	5月1日	曇
1669年	5月31日	寛文9年	5月2日	天気能
1669年	6月1日	寛文9年	5月3日	天気能
1669年	6月2日	寛文9年	5月4日	天気能
1669年	6月3日	寛文9年	5月5日	天気能
1669年	6月4日	寛文9年	5月6日	天気能
1669年	6月5日	寛文9年	5月7日	少々風吹
1669年	6月6日	寛文9年	5月8日	天気曇
1669年	6月7日	寛文9年	5月9日	天気能
1669年	6月8日	寛文9年	5月10日	天気能
1669年	6月9日	寛文9年	5月11日	天気能
1669年	6月10日	寛文9年	5月12日	天気能
1669年	6月11日	寛文9年	5月13日	天気能
1669年	6月12日	寛文9年	5月14日	雨降
1669年	6月13日	寛文9年	5月15日	天気能
1669年	6月14日	寛文9年	5月16日	天気能
1669年	6月15日	寛文9年	5月17日	天気好
1669年	6月16日	寛文9年	5月18日	天気能
1669年	6月17日	寛文9年	5月19日	天気能
1669年	6月18日	寛文9年	5月20日	天気能
1669年	6月19日	寛文9年	5月21日	天気能
1669年	6月20日	寛文9年	5月22日	天気能
1669年	6月21日	寛文9年	5月23日	昨夜より今朝まで雨降
1669年	6月22日	寛文9年	5月24日	天気能
1669年	6月23日	寛文9年	5月25日	曇
1669年	6月24日	寛文9年	5月26日	天気能
1669年	6月25日	寛文9年	5月27日	天気能
1669年	6月26日	寛文9年	5月28日	天気能
1669年	6月27日	寛文9年	5月29日	昨夜より雨降
1669年	6月28日	寛文9年	6月1日	天気能
1669年	6月29日	寛文9年	6月2日	天気能 但し寒
1669年	6月30日	寛文9年	6月3日	天気克

1669年	7月1日	寛文9年	6月4日	天気能
1669年	7月2日	寛文9年	6月5日	天気能
1669年	7月3日	寛文9年	6月6日	昨暮れより雨降 今昼時分晴
1669年	7月4日	寛文9年	6月7日	天気曇
1669年	7月5日	寛文9年	6月8日	天気能
1669年	7月6日	寛文9年	6月9日	暮れ六つ前より雨降
1669年	7月7日	寛文9年	6月10日	天気能
1669年	7月8日	寛文9年	6月11日	昨夜より今朝まで雨降
1669年	7月9日	寛文9年	6月12日	天気能
1669年	7月10日	寛文9年	6月13日	昨夜少々雨降
1669年	7月11日	寛文9年	6月14日	天気悪
1669年	7月12日	寛文9年	6月15日	天気能 但し夜に入り大雨洪水
1669年	7月13日	寛文9年	6月16日	天気能
1669年	7月14日	寛文9年	6月17日	天気能
1669年	7月15日	寛文9年	6月18日	天気能
1669年	7月16日	寛文9年	6月19日	天気能
1669年	7月17日	寛文9年	6月20日	天気能 但し暮れに及び雨少々降
1669年	7月18日	寛文9年	6月21日	天気能
1669年	7月19日	寛文9年	6月22日	天気能 但し七つ下りより雨降
1669年	7月20日	寛文9年	6月23日	朝天気曇 昼より雨降
1669年	7月21日	寛文9年	6月24日	天気能 (弘前御蔵より鯉ヶ沢への駄賃1駄銀1匁6分とする)
1669年	7月22日	寛文9年	6月25日	天気能
1669年	7月23日	寛文9年	6月26日	少々雨降
1669年	7月24日	寛文9年	6月27日	天気能
1669年	7月25日	寛文9年	6月28日	天気能
1669年	7月26日	寛文9年	6月29日	天気能
1669年	7月27日	寛文9年	6月30日	天気能 (松前の状ども蜂起の報松前家老から届く)
1669年	7月28日	寛文9年	7月1日	天気能 (江戸から弘前に向かっている殿様あてに松前の蜂起の件について飛脚立てる)
1669年	7月29日	寛文9年	7月2日	天気能
1669年	7月30日	寛文9年	7月3日	天気能
1669年	7月31日	寛文9年	7月4日	曇 昼時分より少々雨降
1669年	8月1日	寛文9年	7月5日	曇
1669年	8月2日	寛文9年	7月6日	天気能
1669年	8月3日	寛文9年	7月7日	昼時分雨降
1669年	8月4日	寛文9年	7月8日	天気好
1669年	8月5日	寛文9年	7月9日	天気能
1669年	8月6日	寛文9年	7月10日	天気能 晩七つ下りに地震
1669年	8月7日	寛文9年	7月11日	天気能
1669年	8月8日	寛文9年	7月12日	天気能
1669年	8月9日	寛文9年	7月13日	天気能
1669年	8月10日	寛文9年	7月14日	天気能
1669年	8月11日	寛文9年	7月15日	天気能
1669年	8月12日	寛文9年	7月16日	天気能
1669年	8月13日	寛文9年	7月17日	明け六つ半より大雨降
1669年	8月14日	寛文9年	7月18日	昨夜八つ時分より雨降
1669年	8月15日	寛文9年	7月19日	天気能
1669年	8月16日	寛文9年	7月20日	雨少々降 (今17日・18日の洪水にて蟹田の諸材木流れ出る由申し来る)
1669年	8月17日	寛文9年	7月21日	天気能
1669年	8月18日	寛文9年	7月22日	天気能 (水争いで一方が斬り殺される・他方を成敗)
1669年	8月19日	寛文9年	7月23日	天気能
1669年	8月20日	寛文9年	7月24日	昼前に少し雨降 それより晴天 (昨晚松前より鉄砲借りの使者着く・希望50にに対し3丁と付属物を貸し渡す)
1669年	8月21日	寛文9年	7月25日	昨夜半より雨降
1669年	8月22日	寛文9年	7月26日	天気能
1669年	8月23日	寛文9年	7月27日	天気能
1669年	8月24日	寛文9年	7月28日	天気能 (御家中の家来を成敗)
1669年	8月25日	寛文9年	7月29日	昨夜より雨降 (殿様20日に江戸発駕とのこと)
1669年	8月26日	寛文9年	7月30日	風少々吹
1669年	8月27日	寛文9年	8月1日	天気能
1669年	8月28日	寛文9年	8月2日	雨降
1669年	8月29日	寛文9年	8月3日	天気能
1669年	8月30日	寛文9年	8月4日	天気能 (殿様7月20日江戸発・大科よりお船に召し・昨3日秋田領大館一宿・申の刻御着城)
1669年	8月31日	寛文9年	8月5日	天気能

1669年	9月1日	寛文9年	8月6日	雨降
1669年	9月2日	寛文9年	8月7日	天気能
1669年	9月3日	寛文9年	8月8日	天気能
1669年	9月4日	寛文9年	8月9日	天気能
1669年	9月5日	寛文9年	8月10日	天気能
1669年	9月6日	寛文9年	8月11日	天気能 雷なり雨少々降
1669年	9月7日	寛文9年	8月12日	なし
1669年	9月8日	寛文9年	8月13日	風に大雨降
1669年	9月9日	寛文9年	8月14日	天気能
1669年	9月10日	寛文9年	8月15日	天気能
1669年	9月11日	寛文9年	8月16日	天気能
1669年	9月12日	寛文9年	8月17日	天気能
1669年	9月13日	寛文9年	8月18日	天気能
1669年	9月14日	寛文9年	8月19日	なし
1669年	9月15日	寛文9年	8月20日	天気能
1669年	9月16日	寛文9年	8月21日	天気曇 少し雨降
1669年	9月17日	寛文9年	8月22日	天気能
1669年	9月18日	寛文9年	8月23日	天気能
1669年	9月19日	寛文9年	8月24日	天気能
1669年	9月20日	寛文9年	8月25日	昨夜より少々雨降 雷
1669年	9月21日	寛文9年	8月26日	天気能 (御家中が喧嘩・御家中は切腹・多分御家中でない喧嘩相手は追放)
1669年	9月22日	寛文9年	8月27日	天気能
1669年	9月23日	寛文9年	8月28日	天気能
1669年	9月24日	寛文9年	8月29日	昨夜より雨降
1669年	9月25日	寛文9年	9月1日	天気能
1669年	9月26日	寛文9年	9月2日	朝雨降 (松前の様子聞き合わせに御徒歩衆山上太郎兵衛……遣わず)
1669年	9月27日	寛文9年	9月3日	天気曇
1669年	9月28日	寛文9年	9月4日	天気能 (8月27日未の下刻江戸発の御奉書今日未の下刻着・但し宿継ぎ・内容は侍・足軽・雑兵とも四・五百人を松前へ)
1669年	9月29日	寛文9年	9月5日	天気能 (杉山八兵衛以下松前へ発足・鱒ヶ沢へ)
1669年	9月30日	寛文9年	9月6日	天気能
1669年	10月1日	寛文9年	9月7日	天気能
1669年	10月2日	寛文9年	9月8日	天気能
1669年	10月3日	寛文9年	9月9日	天気能 (9月8日昼四つ前御加勢の衆松前着船・松前派遣の山上太郎兵衛等が出した状飛脚どもの報告)
1669年	10月4日	寛文9年	9月10日	雨降
1669年	10月5日	寛文9年	9月11日	天気能
1669年	10月6日	寛文9年	9月12日	夜中より雨降
1669年	10月7日	寛文9年	9月13日	雨降
1669年	10月8日	寛文9年	9月14日	天気能 未の下刻より雨降
1669年	10月9日	寛文9年	9月15日	昨日よりの雨今朝五つまで降 天気能
1669年	10月10日	寛文9年	9月16日	天気能
1669年	10月11日	寛文9年	9月17日	昨夜八つより大雨 雷電七つまで
1669年	10月12日	寛文9年	9月18日	天気能 (山上・大湯組中に御所院にて御料理くださる)
1669年	10月13日	寛文9年	9月19日	昨夜より今朝まで雨降
1669年	10月14日	寛文9年	9月20日	天気能
1669年	10月15日	寛文9年	9月21日	天気能
1669年	10月16日	寛文9年	9月22日	天気能
1669年	10月17日	寛文9年	9月23日	雨降
1669年	10月18日	寛文9年	9月24日	昨夜中より雨降 但し夜中雷
1669年	10月19日	寛文9年	9月25日	天気能 岩木山へ雪始めて降
1669年	10月20日	寛文9年	9月26日	天気能
1669年	10月21日	寛文9年	9月27日	夜中より雨降
1669年	10月22日	寛文9年	9月28日	天気能
1669年	10月23日	寛文9年	9月29日	天気能
1669年	10月24日	寛文9年	9月30日	天気能 但し昨夜雨降
1669年	10月25日	寛文9年	10月1日	雨降
1669年	10月26日	寛文9年	10月2日	雨降
1669年	10月27日	寛文9年	10月3日	天気能
1669年	10月28日	寛文9年	10月4日	雨降
1669年	10月29日	寛文9年	10月5日	今朝雨降
1669年	10月30日	寛文9年	10月6日	天気能
1669年	10月31日	寛文9年	10月7日	なし

1669年 11月1日 寛文9年 10月8日 天気能
 1669年 11月2日 寛文9年 10月9日 辰の刻に少々雨降 追っつけ晴れ 天気能 (夜五つ過ぎ雨降る)
 1669年 11月3日 寛文9年 10月10日 天気能
 1669年 11月4日 寛文9年 10月11日 天気能
 1669年 11月5日 寛文9年 10月12日 天気能
 1669年 11月6日 寛文9年 10月13日 なし
 1669年 11月7日 寛文9年 10月14日 天気快晴
 1669年 11月8日 寛文9年 10月15日 天気能
 1669年 11月9日 寛文9年 10月16日 天気能
 1669年 11月10日 寛文9年 10月17日 雨降
 1669年 11月11日 寛文9年 10月18日 なし
 1669年 11月12日 寛文9年 10月19日 少々雨降
 1669年 11月13日 寛文9年 10月20日 天気晴
 1669年 11月14日 寛文9年 10月21日 雨少々降
 1669年 11月15日 寛文9年 10月22日 天気晴
 1669年 11月16日 寛文9年 10月23日 少々雨風
 1669年 11月17日 寛文9年 10月24日 天気能
 1669年 11月18日 寛文9年 10月25日 昨夜より雨降
 1669年 11月19日 寛文9年 10月26日 昨夜四方の山へ雪降 (上新田村の雁を鉄砲で打った男成敗)
 1669年 11月20日 寛文9年 10月27日 昨夜より初雪降
 1669年 11月21日 寛文9年 10月28日 天気能
 1669年 11月22日 寛文9年 10月29日 雨降
 1669年 11月23日 寛文9年 10月30日 雨降
 1669年 11月24日 寛文9年 閏10月1日 天快晴
 1669年 11月25日 寛文9年 閏10月2日 天気能
 1669年 11月26日 寛文9年 閏10月3日 昨夜より今朝まで風雨
 1669年 11月27日 寛文9年 閏10月4日 天気能
 1669年 11月28日 寛文9年 閏10月5日 雨降
 1669年 11月29日 寛文9年 閏10月6日 雨降 (去る月23日しゃくしゃいぬを打ち殺したとの報)
 1669年 11月30日 寛文9年 閏10月7日 雨降
 1669年 12月1日 寛文9年 閏10月8日 天気能
 1669年 12月2日 寛文9年 閏10月9日 天気能
 1669年 12月3日 寛文9年 閏10月10日 雨降
 1669年 12月4日 寛文9年 閏10月11日 天快晴
 1669年 12月5日 寛文9年 閏10月12日 天気能
 1669年 12月6日 寛文9年 閏10月13日 雨降
 1669年 12月7日 寛文9年 閏10月14日 天気曇 寒 (江戸から人数引取りを命ぜられる)
 1669年 12月8日 寛文9年 閏10月15日 天気能
 1669年 12月9日 寛文9年 閏10月16日 昨夜より雪降 (杉山八兵衛に早々まかり帰るよう命ず)
 1669年 12月10日 寛文9年 閏10月17日 雪降
 1669年 12月11日 寛文9年 閏10月18日 雪降
 1669年 12月12日 寛文9年 閏10月19日 天気能 但し暮れに及び雨少々
 1669年 12月13日 寛文9年 閏10月20日 なし
 1669年 12月14日 寛文9年 閏10月21日 雪降
 1669年 12月15日 寛文9年 閏10月22日 雪降
 1669年 12月16日 寛文9年 閏10月23日 降雪
 1669年 12月17日 寛文9年 閏10月24日 降雪
 1669年 12月18日 寛文9年 閏10月25日 天快晴
 1669年 12月19日 寛文9年 閏10月26日 天快晴
 1669年 12月20日 寛文9年 閏10月27日 天快晴
 1669年 12月21日 寛文9年 閏10月28日 雪降
 1669年 12月22日 寛文9年 閏10月29日 雪降 (来春青森で渡すはずの米値段100目に付き3石4斗)
 1669年 12月23日 寛文9年 11月1日 なし
 1669年 12月24日 寛文9年 11月2日 雪降
 1669年 12月25日 寛文9年 11月3日 降雪
 1669年 12月26日 寛文9年 11月4日 雪降
 1669年 12月27日 寛文9年 11月5日 昨夜より雨降
 1669年 12月28日 寛文9年 11月6日 雪降
 1669年 12月29日 寛文9年 11月7日 雪降
 1669年 12月30日 寛文9年 11月8日 天気能 (杉山八兵衛4日松前出船7日昼今別着の報)
 1669年 12月31日 寛文9年 11月9日 天快晴 (江戸へ鱧差し登す)

1670年	1月1日	寛文9年	11月10日	雪降 (杉山八兵衛は11月7日三馬屋へ残らず着船・9日浪岡泊・10日弘前へ、武装のまま御前に)
1670年	1月2日	寛文9年	11月11日	天気能
1670年	1月3日	寛文9年	11月12日	雨降 (杉山八兵衛江戸登り)
1670年	1月4日	寛文9年	11月13日	雪降
1670年	1月5日	寛文9年	11月14日	天快晴
1670年	1月6日	寛文9年	11月15日	雪降
1670年	1月7日	寛文9年	11月16日	なし
1670年	1月8日	寛文9年	11月17日	天気能
1670年	1月9日	寛文9年	11月18日	雨降
1670年	1月10日	寛文9年	11月19日	天快晴
1670年	1月11日	寛文9年	11月20日	天気曇る
1670年	1月12日	寛文9年	11月21日	雪降
1670年	1月13日	寛文9年	11月22日	雪降
1670年	1月14日	寛文9年	11月23日	昨夜より今朝まで近年覚えなき大雪降
1670年	1月15日	寛文9年	11月24日	天快晴 (山上七郎左衛門が石郷岡嶋之助の幼少茂会いについて申し立て)
1670年	1月16日	寛文9年	11月25日	天快晴
1670年	1月17日	寛文9年	11月26日	天気能
1670年	1月18日	寛文9年	11月27日	天気能
1670年	1月19日	寛文9年	11月28日	天気能
1670年	1月20日	寛文9年	11月29日	天気能
1670年	1月21日	寛文9年	11月30日	天気能
1670年	1月22日	寛文9年	12月1日	天気能
1670年	1月23日	寛文9年	12月2日	天気能
1670年	1月24日	寛文9年	12月3日	天気好
1670年	1月25日	寛文9年	12月4日	雪少々降
1670年	1月26日	寛文9年	12月5日	天気能
1670年	1月27日	寛文9年	12月6日	雪降
1670年	1月28日	寛文9年	12月7日	雪降
1670年	1月29日	寛文9年	12月8日	少々雪降
1670年	1月30日	寛文9年	12月9日	天気能
1670年	1月31日	寛文9年	12月10日	雪少々降
1670年	2月1日	寛文9年	12月11日	天気能
1670年	2月2日	寛文9年	12月12日	雪降
1670年	2月3日	寛文9年	12月13日	雪降
1670年	2月4日	寛文9年	12月14日	天気能
1670年	2月5日	寛文9年	12月15日	天気能
1670年	2月6日	寛文9年	12月16日	少々雪降
1670年	2月7日	寛文9年	12月17日	雪降
1670年	2月8日	寛文9年	12月18日	天気能
1670年	2月9日	寛文9年	12月19日	天快晴
1670年	2月10日	寛文9年	12月20日	なし
1670年	2月11日	寛文9年	12月21日	雪降 (盗みの草履取りを成敗)
1670年	2月12日	寛文9年	12月22日	天気能
1670年	2月13日	寛文9年	12月23日	なし
1670年	2月14日	寛文9年	12月24日	雪降
1670年	2月15日	寛文9年	12月25日	雪降
1670年	2月16日	寛文9年	12月26日	なし
1670年	2月17日	寛文9年	12月27日	なし
1670年	2月18日	寛文9年	12月28日	雪降
1670年	2月19日	寛文9年	12月29日	雪降
1670年	2月20日	寛文10年正月1日	天気能 (地震暮れ六つ半に)	
1670年	2月21日	寛文10年正月2日	雪降	
1670年	2月22日	寛文10年正月3日	雪降	
1670年	2月23日	寛文10年正月4日	雪降	
1670年	2月24日	寛文10年正月5日	雪降 (松前へ御人数遣わされ候に付当春御参勤御赦免の御奉書届く)	
1670年	2月25日	寛文10年正月6日	天気能	
1670年	2月26日	寛文10年正月7日	天気能	
1670年	2月27日	寛文10年正月8日	天快晴	
1670年	2月28日	寛文10年正月9日	天気能	

1670年 3月1日 寛文10年正月10日 天気能
 1670年 3月2日 寛文10年正月11日 天気曇
 1670年 3月3日 寛文10年正月12日 昨日未の刻より雨降
 1670年 3月4日 寛文10年正月13日 風雪
 1670年 3月5日 寛文10年正月14日 なし (杉山八兵衛江戸より下着・御前へ)
 1670年 3月6日 寛文10年正月15日 天気能
 1670年 3月7日 寛文10年正月16日 天気能
 1670年 3月8日 寛文10年正月17日 天快晴
 1670年 3月9日 寛文10年正月18日 天気能
 1670年 3月10日 寛文10年正月19日 天気能
 1670年 3月11日 寛文10年正月20日 天気能
 1670年 3月12日 寛文10年正月21日 天気能 屋九つ下刻地震
 1670年 3月13日 寛文10年正月22日 天気能
 1670年 3月14日 寛文10年正月23日 天気好
 1670年 3月15日 寛文10年正月24日 夜中より雨天
 1670年 3月16日 寛文10年正月25日 雨少し降 夜分より今朝まで
 1670年 3月17日 寛文10年正月26日 天気能
 1670年 3月18日 寛文10年正月27日 申の刻少しずつ雨降
 1670年 3月19日 寛文10年正月28日 なし
 1670年 3月20日 寛文10年正月29日 天快晴
 1670年 3月21日 寛文10年 2月1日 巳の刻まで雪天
 1670年 3月22日 寛文10年 2月2日 天気能
 1670年 3月23日 寛文10年 2月3日 天気能
 1670年 3月24日 寛文10年 2月4日 天気能
 1670年 3月25日 寛文10年 2月5日 天気能
 1670年 3月26日 寛文10年 2月6日 天気能 暮れ六つより夜中雨少々降
 1670年 3月27日 寛文10年 2月7日 雨降
 1670年 3月28日 寛文10年 2月8日 天気好 (申の後刻より入日紅のごとし)
 1670年 3月29日 寛文10年 2月9日 雨降 かみなり
 1670年 3月30日 寛文10年 2月10日 天気好
 1670年 3月31日 寛文10年 2月11日 天気能
 1670年 4月1日 寛文10年 2月12日 雨降
 1670年 4月2日 寛文10年 2月13日 天気能
 1670年 4月3日 寛文10年 2月14日 天気能
 1670年 4月4日 寛文10年 2月15日 雨降
 1670年 4月5日 寛文10年 2月16日 天気能
 1670年 4月6日 寛文10年 2月17日 なし
 1670年 4月7日 寛文10年 2月18日 天気能
 1670年 4月8日 寛文10年 2月19日 天気能 但し暮れにおよび少々雪降
 1670年 4月9日 寛文10年 2月20日 天気能 夜に入り少々雪降
 1670年 4月10日 寛文10年 2月21日 雨降
 1670年 4月11日 寛文10年 2月22日 少々雨降
 1670年 4月12日 寛文10年 2月23日 天気能
 1670年 4月13日 寛文10年 2月24日 天気能
 1670年 4月14日 寛文10年 2月25日 天気能
 1670年 4月15日 寛文10年 2月26日 天気少々曇る (仏像を盗んで売った徒者を火罪)
 1670年 4月16日 寛文10年 2月27日 少々雨降
 1670年 4月17日 寛文10年 2月28日 天気能
 1670年 4月18日 寛文10年 2月29日 なし
 1670年 4月19日 寛文10年 2月30日 夜中より少々風雨
 1670年 4月20日 寛文10年 3月1日 なし
 1670年 4月21日 寛文10年 3月2日 天気能
 1670年 4月22日 寛文10年 3月3日 天気能
 1670年 4月23日 寛文10年 3月4日 天気曇
 1670年 4月24日 寛文10年 3月5日 天気能 夜五つ地震
 1670年 4月25日 寛文10年 3月6日 天気能
 1670年 4月26日 寛文10年 3月7日 天気能 (公方様より平蔵様へ御子袖三つ頂戴す・その他色々)
 1670年 4月27日 寛文10年 3月8日 天気能 (平蔵様お目見えの祝儀差上げる)
 1670年 4月28日 寛文10年 3月9日 今朝六つ半まで雨少々降
 1670年 4月29日 寛文10年 3月10日 天気晴 (佐竹との境界論議)
 1670年 4月30日 寛文10年 3月11日 天気能 但し夜に入り雨降 かみなり

1670年	5月1日	寛文10年	3月12日	天気能	
1670年	5月2日	寛文10年	3月13日	天気能	
1670年	5月3日	寛文10年	3月14日	天気能	(硫黄ヶ平へ火付き申す由御代官長井太右衛門御注進申し上げる)
1670年	5月4日	寛文10年	3月15日	天気能	
1670年	5月5日	寛文10年	3月16日	天気能	
1670年	5月6日	寛文10年	3月17日	天気能	
1670年	5月7日	寛文10年	3月18日	天気能	
1670年	5月8日	寛文10年	3月19日	天気能	(中崎村の肝煎りの家1軒焼失)
1670年	5月9日	寛文10年	3月20日	天気能	
1670年	5月10日	寛文10年	3月21日	天気能	(金子7両1歩が銀子10枚相当)
1670年	5月11日	寛文10年	3月22日	天気能	
1670年	5月12日	寛文10年	3月23日	天気能	
1670年	5月13日	寛文10年	3月24日	天気能	
1670年	5月14日	寛文10年	3月25日	天気能	(蟹田の捨山へ火事出来、寒沢銀山外へ火事出来、昨昼中村川で百姓4軒火事)
1670年	5月15日	寛文10年	3月26日	辰の刻より雨降	(蟹田山火事昨朝上る)
1670年	5月16日	寛文10年	3月27日	天気能	(昨26日未の下一刻大風にて鱒ヶ沢で旅船・地船とも7・8艘破損・水主4・5人相果、漁船も沖で1・2艘破損2・3艘行方不明漁師1人相果)
1670年	5月17日	寛文10年	3月28日	天気能	
1670年	5月18日	寛文10年	3月29日	天気能	
1670年	5月19日	寛文10年	4月1日	なし	
1670年	5月20日	寛文10年	4月2日	雨少し降	(津軽外記閉門)
1670年	5月21日	寛文10年	4月3日	天気好	少し風吹
1670年	5月22日	寛文10年	4月4日	晴天	微風
1670年	5月23日	寛文10年	4月5日	なし	
1670年	5月24日	寛文10年	4月6日	天曇	寒(左内様は庄右衛門様に)
1670年	5月25日	寛文10年	4月7日	天気能	(4日西の浜種里の内一つ森と申す所にて御蔵の者4軒・小知行2軒・給人の百姓1軒昼火事に遭う)
1670年	5月26日	寛文10年	4月8日	少々風雨	
1670年	5月27日	寛文10年	4月9日	天気能	
1670年	5月28日	寛文10年	4月10日	天気能	
1670年	5月29日	寛文10年	4月11日	天気能	
1670年	5月30日	寛文10年	4月12日	天気能	風吹(今昼近年これなき辻風にて屋根など吹きはぎ候)
1670年	5月31日	寛文10年	4月13日	天気能	
1670年	6月1日	寛文10年	4月14日	天気能	
1670年	6月2日	寛文10年	4月15日	寒風	(久保田御城下火事につき見舞い)
1670年	6月3日	寛文10年	4月16日	雨少し降	
1670年	6月4日	寛文10年	4月17日	なし	
1670年	6月5日	寛文10年	4月18日	天気曇	
1670年	6月6日	寛文10年	4月19日	天気曇	(8日参詣帰りの酔っ払いが同行者2人を脇差で殺傷・殺人者成敗)
1670年	6月7日	寛文10年	4月20日	少々雨降	
1670年	6月8日	寛文10年	4月21日	朝少々雨降	
1670年	6月9日	寛文10年	4月22日	晴天	微風
1670年	6月10日	寛文10年	4月23日	なし	
1670年	6月11日	寛文10年	4月24日	天気能	
1670年	6月12日	寛文10年	4月25日	天気能	
1670年	6月13日	寛文10年	4月26日	天気能	
1670年	6月14日	寛文10年	4月27日	昨夜より今朝まで雨降	同刻より晴れる
1670年	6月15日	寛文10年	4月28日	天気能	
1670年	6月16日	寛文10年	4月29日	天気能	
1670年	6月17日	寛文10年	4月30日	曇	八つより雨降
1670年	6月18日	寛文10年	5月1日	天気能	
1670年	6月19日	寛文10年	5月2日	昨夜より今朝まで雨降	
1670年	6月20日	寛文10年	5月3日	天気能	(4月30日外の浜のうち六枚橋で昼火事・諸給人共に7軒焼失)
1670年	6月21日	寛文10年	5月4日	天気能	
1670年	6月22日	寛文10年	5月5日	雨降	(九つ半に地震)
1670年	6月23日	寛文10年	5月6日	天気能	
1670年	6月24日	寛文10年	5月7日	天気能	
1670年	6月25日	寛文10年	5月8日	天気能	
1670年	6月26日	寛文10年	5月9日	天気能	
1670年	6月27日	寛文10年	5月10日	曇	
1670年	6月28日	寛文10年	5月11日	天気能	
1670年	6月29日	寛文10年	5月12日	天気能	
1670年	6月30日	寛文10年	5月13日	天気能	

1670年	7月1日	寛文10年	5月14日	天気能
1670年	7月2日	寛文10年	5月15日	天気能
1670年	7月3日	寛文10年	5月16日	天気能
1670年	7月4日	寛文10年	5月17日	天気能
1670年	7月5日	寛文10年	5月18日	天気能
1670年	7月6日	寛文10年	5月19日	天気能
1670年	7月7日	寛文10年	5月20日	天気能
1670年	7月8日	寛文10年	5月21日	天気吉
1670年	7月9日	寛文10年	5月22日	天気吉 少々雨降 (総宮太夫に雨乞い祭り申し付ける)
1670年	7月10日	寛文10年	5月23日	昨日より雨降続
1670年	7月11日	寛文10年	5月24日	一昨日より雨降続
1670年	7月12日	寛文10年	5月25日	雨少しずつ降
1670年	7月13日	寛文10年	5月26日	天気能
1670年	7月14日	寛文10年	5月27日	天気吉
1670年	7月15日	寛文10年	5月28日	天気能
1670年	7月16日	寛文10年	5月29日	天気能
1670年	7月17日	寛文10年	6月1日	天気能 (先日の洪水で野代より西の浜へ杉材流れ寄せる)
1670年	7月18日	寛文10年	6月2日	少々曇
1670年	7月19日	寛文10年	6月3日	昨夜五つより大雨 (昨日伊勢神主に雨上げ祭り申しつけ今朝より執行百沢寺へ今朝申し遣わす、野代よりの杉材返すように命ずる)
1670年	7月20日	寛文10年	6月4日	天気曇 (昨晚九つ時分に地震、昨晚より夜中・今朝まで雨降る)
1670年	7月21日	寛文10年	6月5日	少々雨降
1670年	7月22日	寛文10年	6月6日	昨夜より雨降
1670年	7月23日	寛文10年	6月7日	なし (雨晴れ候ように御祈祷申しつけべく由仰せ出されるにつき橋雲寺・国上寺へも申し遣わす、広須・下の切洪水検分の者遣わす)
1670年	7月24日	寛文10年	6月8日	雨天
1670年	7月25日	寛文10年	6月9日	雨天 (うち続く霖雨につき岩木山への雨晴らし候祭り・御伊勢において御神楽これあり……)
1670年	7月26日	寛文10年	6月10日	雨少し降
1670年	7月27日	寛文10年	6月11日	天気晴
1670年	7月28日	寛文10年	6月12日	雨降
1670年	7月29日	寛文10年	6月13日	天気能
1670年	7月30日	寛文10年	6月14日	なし
1670年	7月31日	寛文10年	6月15日	天気能
1670年	8月1日	寛文10年	6月16日	天気能
1670年	8月2日	寛文10年	6月17日	雨少々降
1670年	8月3日	寛文10年	6月18日	天気曇
1670年	8月4日	寛文10年	6月19日	晴天
1670年	8月5日	寛文10年	6月20日	天気能
1670年	8月6日	寛文10年	6月21日	天気吉 (御家中の小者を成敗)
1670年	8月7日	寛文10年	6月22日	天気能
1670年	8月8日	寛文10年	6月23日	天気能
1670年	8月9日	寛文10年	6月24日	天気能
1670年	8月10日	寛文10年	6月25日	天気能
1670年	8月11日	寛文10年	6月26日	雨少々降
1670年	8月12日	寛文10年	6月27日	雨降
1670年	8月13日	寛文10年	6月28日	なし (金子三歩本行寺に遣わす・右(本文では左)は先日雨打ち続き降り候につき雨晴らし祭り頼み候につき遣わし候・使い組頭一戸半十郎)
1670年	8月14日	寛文10年	6月29日	晴天
1670年	8月15日	寛文10年	6月30日	晴天
1670年	8月16日	寛文10年	7月1日	天気能
1670年	8月17日	寛文10年	7月2日	天気能
1670年	8月18日	寛文10年	7月3日	天気能 (重(茂)森町人気違いとなり15歳の実子殺す・親を斬罪)
1670年	8月19日	寛文10年	7月4日	天気能
1670年	8月20日	寛文10年	7月5日	雨少々降
1670年	8月21日	寛文10年	7月6日	天気能
1670年	8月22日	寛文10年	7月7日	天気能
1670年	8月23日	寛文10年	7月8日	天気能
1670年	8月24日	寛文10年	7月9日	天気能 甚暑
1670年	8月25日	寛文10年	7月10日	天気能
1670年	8月26日	寛文10年	7月11日	天晴
1670年	8月27日	寛文10年	7月12日	なし (七つ半過ぎ夕立ち 雷はなはだし 夜中大雨)
1670年	8月28日	寛文10年	7月13日	少々雨降
1670年	8月29日	寛文10年	7月14日	天気能
1670年	8月30日	寛文10年	7月15日	雨少し降
1670年	8月31日	寛文10年	7月16日	雨少し降

1670年	9月1日	寛文10年	7月17日	雨降
1670年	9月2日	寛文10年	7月18日	晴天
1670年	9月3日	寛文10年	7月19日	天晴
1670年	9月4日	寛文10年	7月20日	天気能
1670年	9月5日	寛文10年	7月21日	少々曇
1670年	9月6日	寛文10年	7月22日	天気能
1670年	9月7日	寛文10年	7月23日	天気晴
1670年	9月8日	寛文10年	7月24日	天気能
1670年	9月9日	寛文10年	7月25日	天気好
1670年	9月10日	寛文10年	7月26日	天晴 (新里の小知行が初鮭上げる)
1670年	9月11日	寛文10年	7月27日	雨天
1670年	9月12日	寛文10年	7月28日	天気能 はなはだ暑
1670年	9月13日	寛文10年	7月29日	朝四つ時分少し雨風 それより天快晴
1670年	9月14日	寛文10年	8月1日	雨天
1670年	9月15日	寛文10年	8月2日	天快晴
1670年	9月16日	寛文10年	8月3日	天快晴
1670年	9月17日	寛文10年	8月4日	天快晴 昨夜雷
1670年	9月18日	寛文10年	8月5日	天気能
1670年	9月19日	寛文10年	8月6日	少し霧雨降 それより天快晴
1670年	9月20日	寛文10年	8月7日	天快晴
1670年	9月21日	寛文10年	8月8日	天快晴
1670年	9月22日	寛文10年	8月9日	天気能 少し風吹く
1670年	9月23日	寛文10年	8月10日	雨天
1670年	9月24日	寛文10年	8月11日	雨天
1670年	9月25日	寛文10年	8月12日	天気能 昨夜は雷
1670年	9月26日	寛文10年	8月13日	天気能
1670年	9月27日	寛文10年	8月14日	天気能 昨夜雷雨
1670年	9月28日	寛文10年	8月15日	天気能
1670年	9月29日	寛文10年	8月16日	雨天
1670年	9月30日	寛文10年	8月17日	天気能
1670年	10月1日	寛文10年	8月18日	天気好
1670年	10月2日	寛文10年	8月19日	天気能
1670年	10月3日	寛文10年	8月20日	天気能
1670年	10月4日	寛文10年	8月21日	天気能 (御家中蒔苗某死罪)
1670年	10月5日	寛文10年	8月22日	少し雨降
1670年	10月6日	寛文10年	8月23日	少々風吹
1670年	10月7日	寛文10年	8月24日	天気能
1670年	10月8日	寛文10年	8月25日	天気能
1670年	10月9日	寛文10年	8月26日	天気能 (大鱧組八幡館で大小盗み取り逃げて斬罪)
1670年	10月10日	寛文10年	8月27日	雨天
1670年	10月11日	寛文10年	8月28日	天気能
1670年	10月12日	寛文10年	8月29日	天気能
1670年	10月13日	寛文10年	8月30日	天気能
1670年	10月14日	寛文10年	9月1日	天気能 (夜五つより夜中雨少々降)
1670年	10月15日	寛文10年	9月2日	天気曇 (夜の九つ時分に雨少々降)
1670年	10月16日	寛文10年	9月3日	天気曇
1670年	10月17日	寛文10年	9月4日	天気能
1670年	10月18日	寛文10年	9月5日	天気能
1670年	10月19日	寛文10年	9月6日	天気好
1670年	10月20日	寛文10年	9月7日	天気好
1670年	10月21日	寛文10年	9月8日	雨天
1670年	10月22日	寛文10年	9月9日	昨夜より大雨降 岩木山へ雪降
1670年	10月23日	寛文10年	9月10日	昨夜より今朝まで雨降 四つ時分に丸雪降る 雷
1670年	10月24日	寛文10年	9月11日	天気能
1670年	10月25日	寛文10年	9月12日	天気能
1670年	10月26日	寛文10年	9月13日	天気能 (松前上下獄地に派遣した14人の獄に米70俵渡す・内3人が行方不明なので妻子に渡す)
1670年	10月27日	寛文10年	9月14日	天気能
1670年	10月28日	寛文10年	9月15日	天気能
1670年	10月29日	寛文10年	9月16日	天気能
1670年	10月30日	寛文10年	9月17日	天気能
1670年	10月31日	寛文10年	9月18日	天気能

1670年 11月1日 寛文10年	9月19日 少々雨降
1670年 11月2日 寛文10年	9月20日 昨夜より今日まで雨
1670年 11月3日 寛文10年	9月21日 少々雨降
1670年 11月4日 寛文10年	9月22日 天気能
1670年 11月5日 寛文10年	9月23日 天気好
1670年 11月6日 寛文10年	9月24日 天気能
1670年 11月7日 寛文10年	9月25日 天気曇 午の後刻より雨降
1670年 11月8日 寛文10年	9月26日 天気能
1670年 11月9日 寛文10年	9月27日 なし (馬盗人斬罪3人(1匹2匹)・磔4人(4匹))
1670年 11月10日 寛文10年	9月28日 なし
1670年 11月11日 寛文10年	9月29日 雨少々降
1670年 11月12日 寛文10年	9月30日 天気能
1670年 11月13日 寛文10年	10月1日 雨降
1670年 11月14日 寛文10年	10月2日 雪降 夜に入り雷
1670年 11月15日 寛文10年	10月3日 雪降
1670年 11月16日 寛文10年	10月4日 雨降
1670年 11月17日 寛文10年	10月5日 天快晴
1670年 11月18日 寛文10年	10月6日 雪少々降
1670年 11月19日 寛文10年	10月7日 昨夜より雪降
1670年 11月20日 寛文10年	10月8日 昨夜中より今日まで雪降
1670年 11月21日 寛文10年	10月9日 天気曇
1670年 11月22日 寛文10年	10月10日 天気能 (今与次左衛門・山上太郎兵衛御破損奉行に)
1670年 11月23日 寛文10年	10月11日 天気能
1670年 11月24日 寛文10年	10月12日 雨降
1670年 11月25日 寛文10年	10月13日 天気曇
1670年 11月26日 寛文10年	10月14日 天気曇
1670年 11月27日 寛文10年	10月15日 天気好
1670年 11月28日 寛文10年	10月16日 天気能
1670年 11月29日 寛文10年	10月17日 天気能
1670年 11月30日 寛文10年	10月18日 天気能 (殿様発駕)
1670年 12月1日 寛文10年	10月19日 天気能
1670年 12月2日 寛文10年	10月20日 天気能
1670年 12月3日 寛文10年	10月21日 天気好
1670年 12月4日 寛文10年	10月22日 天快晴
1670年 12月5日 寛文10年	10月23日 天気能
1670年 12月6日 寛文10年	10月24日 天気曇
1670年 12月7日 寛文10年	10月25日 天気能
1670年 12月8日 寛文10年	10月26日 雪少々降
1670年 12月9日 寛文10年	10月27日 雪少々降
1670年 12月10日 寛文10年	10月28日 天気能
1670年 12月11日 寛文10年	10月29日 昨夜より今日中雪吹
1670年 12月12日 寛文10年	10月30日 昨夜より大雪降 一尺余
1670年 12月13日 寛文10年	11月1日 天気能
1670年 12月14日 寛文10年	11月2日 雪少々降
1670年 12月15日 寛文10年	11月3日 雨降 (鯨ヶ沢より初鱈さし上げる)
1670年 12月16日 寛文10年	11月4日 雨降
1670年 12月17日 寛文10年	11月5日 天気能
1670年 12月18日 寛文10年	11月6日 天気能 (派頭に筋なき儀を申しかけ徒党がましき仕形の肝煎りとその助言者の2人斬罪)
1670年 12月19日 寛文10年	11月7日 天気能
1670年 12月20日 寛文10年	11月8日 天気能 (卯の上刻地震)
1670年 12月21日 寛文10年	11月9日 風吹 少々雪降
1670年 12月22日 寛文10年	11月10日 曇り 風吹 (江戸のほり中の小知行組頭が新城と船形間で気違い)
1670年 12月23日 寛文10年	11月11日 天気能
1670年 12月24日 寛文10年	11月12日 天気好
1670年 12月25日 寛文10年	11月13日 天気能 但し四つより少々雨天
1670年 12月26日 寛文10年	11月14日 天気好
1670年 12月27日 寛文10年	11月15日 雨天
1670年 12月28日 寛文10年	11月16日 少々雪降 風も吹
1670年 12月29日 寛文10年	11月17日 雪降
1670年 12月30日 寛文10年	11月18日 雪吹
1670年 12月31日 寛文10年	11月19日 雪降

1671年	1月1日	寛文10年	11月20日	雪吹
1671年	1月2日	寛文10年	11月21日	雪降
1671年	1月3日	寛文10年	11月22日	天気好
1671年	1月4日	寛文10年	11月23日	吹雪 (悪戸の追い鳥狩りに1400人ほど出る・山上・七戸組109人も出る)
1671年	1月5日	寛文10年	11月24日	吹雪
1671年	1月6日	寛文10年	11月25日	雪降
1671年	1月7日	寛文10年	11月26日	雪降
1671年	1月8日	寛文10年	11月27日	天気能
1671年	1月9日	寛文10年	11月28日	なし
1671年	1月10日	寛文10年	11月29日	天気好
1671年	1月11日	寛文10年	12月1日	天気能
1671年	1月12日	寛文10年	12月2日	天気能
1671年	1月13日	寛文10年	12月3日	昨夜より大雪吹
1671年	1月14日	寛文10年	12月4日	天気能
1671年	1月15日	寛文10年	12月5日	少々雪降
1671年	1月16日	寛文10年	12月6日	天気能 (大間越の御派の者ども渴命に及び御蔵米150俵貸し渡す・代銀は来秋上納)
1671年	1月17日	寛文10年	12月7日	天気能 (今2日青森で大荒れ・地船1艘破損水主2人相果て、同日夜四時半時分鯨ヶ沢で舟つなぎ留め褒美として御蔵米3斗入り3俵遣わす)
1671年	1月18日	寛文10年	12月8日	雪降 (2日の大風で十三の御番屋と御蔵も二つ破損、深浦に囲い置いた佐竹様御用木沖に流れ出る)
1671年	1月19日	寛文10年	12月9日	雪降
1671年	1月20日	寛文10年	12月10日	雪降
1671年	1月21日	寛文10年	12月11日	大雪降
1671年	1月22日	寛文10年	12月12日	天気能
1671年	1月23日	寛文10年	12月13日	天気能
1671年	1月24日	寛文10年	12月14日	雪降
1671年	1月25日	寛文10年	12月15日	天気能
1671年	1月26日	寛文10年	12月16日	雪降
1671年	1月27日	寛文10年	12月17日	雪吹
1671年	1月28日	寛文10年	12月18日	雪降
1671年	1月29日	寛文10年	12月19日	天気能
1671年	1月30日	寛文10年	12月20日	天気能
1671年	1月31日	寛文10年	12月21日	天気能
1671年	2月1日	寛文10年	12月22日	天気能
1671年	2月2日	寛文10年	12月23日	天気能
1671年	2月3日	寛文10年	12月24日	天気能
1671年	2月4日	寛文10年	12月25日	天気能
1671年	2月5日	寛文10年	12月26日	天気能
1671年	2月6日	寛文10年	12月27日	天気能
1671年	2月7日	寛文10年	12月28日	天気能 但し「虫」雪少し降
1671年	2月8日	寛文10年	12月29日	天「虫」
1671年	2月9日	寛文10年	12月30日	天気能
1671年	2月10日	寛文11年正月1日		天気好
1671年	2月11日	寛文11年正月2日		霽降 (御謡初)
1671年	2月12日	寛文11年正月3日		霽降 (霽はヘキ又はヒヤク或いはイカズチと読む)
1671年	2月13日	寛文11年正月4日		大雪降
1671年	2月14日	寛文11年正月5日		天気好
1671年	2月15日	寛文11年正月6日		天気好
1671年	2月16日	寛文11年正月7日		天気好
1671年	2月17日	寛文11年正月8日		少々雪降
1671年	2月18日	寛文11年正月9日		天気能
1671年	2月19日	寛文11年正月10日		天気能
1671年	2月20日	寛文11年正月11日		少々雪降
1671年	2月21日	寛文11年正月12日		少々雪降
1671年	2月22日	寛文11年正月13日		夥しい大ふぶき(夥敷大「凧の中の「止」を「雪」に替えた文字)
1671年	2月23日	寛文11年正月14日		天気好
1671年	2月24日	寛文11年正月15日		雪降
1671年	2月25日	寛文11年正月16日		少々雪降
1671年	2月26日	寛文11年正月17日		少々雪降
1671年	2月27日	寛文11年正月18日		天気能
1671年	2月28日	寛文11年正月19日		曇

1671年 3月1日 寛文11年正月20日 少々雪降
 1671年 3月2日 寛文11年正月21日 朝より少々雪降り 但し四つ時分より天気好
 1671年 3月3日 寛文11年正月22日 天気能
 1671年 3月4日 寛文11年正月23日 天気能
 1671年 3月5日 寛文11年正月24日 天気能
 1671年 3月6日 寛文11年正月25日 天気能
 1671年 3月7日 寛文11年正月26日 天気能
 1671年 3月8日 寛文11年正月27日 雨降
 1671年 3月9日 寛文11年正月28日 天気好
 1671年 3月10日 寛文11年正月29日 天気能
 1671年 3月11日 寛文11年 2月1日 天気能
 1671年 3月12日 寛文11年 2月2日 天気能
 1671年 3月13日 寛文11年 2月3日 朝雨降
 1671年 3月14日 寛文11年 2月4日 天気能
 1671年 3月15日 寛文11年 2月5日 天気能
 1671年 3月16日 寛文11年 2月6日 天気能
 1671年 3月17日 寛文11年 2月7日 天気能
 1671年 3月18日 寛文11年 2月8日 天気能
 1671年 3月19日 寛文11年 2月9日 昨夜中より今日まで雨降 風も少々吹 雪も降
 1671年 3月20日 寛文11年 2月10日 雪天
 1671年 3月21日 寛文11年 2月11日 天気能
 1671年 3月22日 寛文11年 2月12日 天気能
 1671年 3月23日 寛文11年 2月13日 天気能
 1671年 3月24日 寛文11年 2月14日 天気能
 1671年 3月25日 寛文11年 2月15日 天気能
 1671年 3月26日 寛文11年 2月16日 天気好
 1671年 3月27日 寛文11年 2月17日 天気曇 但午の刻より雨雪降 (暦がきて御家老・各奉行・代官達・いくつかのお寺に渡す)
 1671年 3月28日 寛文11年 2月18日 天気能
 1671年 3月29日 寛文11年 2月19日 天気能
 1671年 3月30日 寛文11年 2月20日 天気好
 1671年 3月31日 寛文11年 2月21日 風少々吹
 1671年 4月1日 寛文11年 2月22日 風雨
 1671年 4月2日 寛文11年 2月23日 朝少し雨降五つ晴 (土手町で1人打殺される・殺人者逃亡)
 1671年 4月3日 寛文11年 2月24日 朝少し雨降五つ晴
 1671年 4月4日 寛文11年 2月25日 天気能
 1671年 4月5日 寛文11年 2月26日 雨降
 1671年 4月6日 寛文11年 2月27日 雨降
 1671年 4月7日 寛文11年 2月28日 雨降 昼より風吹
 1671年 4月8日 寛文11年 2月29日 天気能
 1671年 4月9日 寛文11年 2月30日 天気好
 1671年 4月10日 寛文11年 3月1日 天気好
 1671年 4月11日 寛文11年 3月2日 天気好
 1671年 4月12日 寛文11年 3月3日 天気能
 1671年 4月13日 寛文11年 3月4日 天気能
 1671年 4月14日 寛文11年 3月5日 雨降 (申の下刻地震)
 1671年 4月15日 寛文11年 3月6日 天気曇
 1671年 4月16日 寛文11年 3月7日 風吹 風雪少々降
 1671年 4月17日 寛文11年 3月8日 天気能 (酉の下刻地震)
 1671年 4月18日 寛文11年 3月9日 天気好
 1671年 4月19日 寛文11年 3月10日 天気能
 1671年 4月20日 寛文11年 3月11日 天気能 巳の刻より雨降 (丸雪少々降)
 1671年 4月21日 寛文11年 3月12日 天気能 少々風吹
 1671年 4月22日 寛文11年 3月13日 天気能
 1671年 4月23日 寛文11年 3月14日 天気好
 1671年 4月24日 寛文11年 3月15日 天気吉
 1671年 4月25日 寛文11年 3月16日 天気能
 1671年 4月26日 寛文11年 3月17日 天気好
 1671年 4月27日 寛文11年 3月18日 風吹 但朝二雨少々降
 1671年 4月28日 寛文11年 3月19日 雪降 雨も降
 1671年 4月29日 寛文11年 3月20日 朝少々あられ降
 1671年 4月30日 寛文11年 3月21日 天気能

1671年	5月1日	寛文11年	3月22日	天気好
1671年	5月2日	寛文11年	3月23日	天気能
1671年	5月3日	寛文11年	3月24日	雨降 (飯詰村近所平派村で女房を殺す事件・成敗するよう伝える)
1671年	5月4日	寛文11年	3月25日	天気能
1671年	5月5日	寛文11年	3月26日	天気好 申の刻丸雪少し降
1671年	5月6日	寛文11年	3月27日	天気能
1671年	5月7日	寛文11年	3月28日	天気好
1671年	5月8日	寛文11年	3月29日	天気能
1671年	5月9日	寛文11年	4月1日	天気能 但少々風吹
1671年	5月10日	寛文11年	4月2日	雨降 (御家中家に入った盗人成敗)
1671年	5月11日	寛文11年	4月3日	天気好
1671年	5月12日	寛文11年	4月4日	天気好 但少々風吹
1671年	5月13日	寛文11年	4月5日	雨降 但四つ時分晴ル
1671年	5月14日	寛文11年	4月6日	天気好
1671年	5月15日	寛文11年	4月7日	天気能
1671年	5月16日	寛文11年	4月8日	天気能
1671年	5月17日	寛文11年	4月9日	曇 但風吹
1671年	5月18日	寛文11年	4月10日	天気能 但風吹 雨少し降
1671年	5月19日	寛文11年	4月11日	天気能
1671年	5月20日	寛文11年	4月12日	天気能
1671年	5月21日	寛文11年	4月13日	朝雨降
1671年	5月22日	寛文11年	4月14日	曇 但昼八つ半時分より雨降ル
1671年	5月23日	寛文11年	4月15日	天気能
1671年	5月24日	寛文11年	4月16日	天気能
1671年	5月25日	寛文11年	4月17日	雨降
1671年	5月26日	寛文11年	4月18日	天気能
1671年	5月27日	寛文11年	4月19日	天気能
1671年	5月28日	寛文11年	4月20日	雨降
1671年	5月29日	寛文11年	4月21日	天気曇
1671年	5月30日	寛文11年	4月22日	天気好 (大間越に鯨寄せる)
1671年	5月31日	寛文11年	4月23日	天気好
1671年	6月1日	寛文11年	4月24日	昨晚より今日まで雨降
1671年	6月2日	寛文11年	4月25日	天気曇 (天気上祭を惣宮大夫に申付ル)
1671年	6月3日	寛文11年	4月26日	天気能
1671年	6月4日	寛文11年	4月27日	天気好
1671年	6月5日	寛文11年	4月28日	天気能
1671年	6月6日	寛文11年	4月29日	天気能
1671年	6月7日	寛文11年	5月1日	天気好
1671年	6月8日	寛文11年	5月2日	天気能
1671年	6月9日	寛文11年	5月3日	天気好少曇
1671年	6月10日	寛文11年	5月4日	天気能
1671年	6月11日	寛文11年	5月5日	なし (町民の弟昨夜切腹死亡)
1671年	6月12日	寛文11年	5月6日	天気好
1671年	6月13日	寛文11年	5月7日	天気能
1671年	6月14日	寛文11年	5月8日	天気能
1671年	6月15日	寛文11年	5月9日	天気能
1671年	6月16日	寛文11年	5月10日	申の刻より雨降
1671年	6月17日	寛文11年	5月11日	朝少々雨降
1671年	6月18日	寛文11年	5月12日	天気能
1671年	6月19日	寛文11年	5月13日	天気能
1671年	6月20日	寛文11年	5月14日	天気好
1671年	6月21日	寛文11年	5月15日	天気好
1671年	6月22日	寛文11年	5月16日	天気好 但八つ時分より少雨降
1671年	6月23日	寛文11年	5月17日	天気能
1671年	6月24日	寛文11年	5月18日	天気能
1671年	6月25日	寛文11年	5月19日	天気好
1671年	6月26日	寛文11年	5月20日	天気能
1671年	6月27日	寛文11年	5月21日	天気好
1671年	6月28日	寛文11年	5月22日	天気能 (青森で火災1軒)
1671年	6月29日	寛文11年	5月23日	朝五つ過時分より少々雨降 風も少吹
1671年	6月30日	寛文11年	5月24日	昨日より雨降

1671年	7月1日	寛文11年	5月25日	天気能
1671年	7月2日	寛文11年	5月26日	天気吉
1671年	7月3日	寛文11年	5月27日	雨降
1671年	7月4日	寛文11年	5月28日	曇 (昨夜染屋町で後家自害)
1671年	7月5日	寛文11年	5月29日	天気吉
1671年	7月6日	寛文11年	5月30日	天気好
1671年	7月7日	寛文11年	6月1日	天気能
1671年	7月8日	寛文11年	6月2日	未の下刻より大雨降 但暮れに及び晴ル
1671年	7月9日	寛文11年	6月3日	天気能
1671年	7月10日	寛文11年	6月4日	天気好
1671年	7月11日	寛文11年	6月5日	天気能
1671年	7月12日	寛文11年	6月6日	天気能
1671年	7月13日	寛文11年	6月7日	天気好
1671年	7月14日	寛文11年	6月8日	天気能
1671年	7月15日	寛文11年	6月9日	少雨降
1671年	7月16日	寛文11年	6月10日	天曇 但七つ時分雨降
1671年	7月17日	寛文11年	6月11日	昨日より雨降
1671年	7月18日	寛文11年	6月12日	天気能
1671年	7月19日	寛文11年	6月13日	天気好
1671年	7月20日	寛文11年	6月14日	少々雨降
1671年	7月21日	寛文11年	6月15日	天気好
1671年	7月22日	寛文11年	6月16日	天気能
1671年	7月23日	寛文11年	6月17日	天気好
1671年	7月24日	寛文11年	6月18日	少々雨降
1671年	7月25日	寛文11年	6月19日	天気能
1671年	7月26日	寛文11年	6月20日	天気好
1671年	7月27日	寛文11年	6月21日	天気能
1671年	7月28日	寛文11年	6月22日	天気好 (昨夜酉の下刻地震)
1671年	7月29日	寛文11年	6月23日	少々雨降
1671年	7月30日	寛文11年	6月24日	少々雨降
1671年	7月31日	寛文11年	6月25日	天気好 但昼過ぎより少々雨降
1671年	8月1日	寛文11年	6月26日	少々雨降
1671年	8月2日	寛文11年	6月27日	天気好 (今夜八つ時分御家中の家に付け火・だき子の女をとらえる)
1671年	8月3日	寛文11年	6月28日	天気好
1671年	8月4日	寛文11年	6月29日	曇 (外浜大浜の内武兵衛派で火災・27軒焼失)
1671年	8月5日	寛文11年	7月1日	雨降
1671年	8月6日	寛文11年	7月2日	夜二入り雨降
1671年	8月7日	寛文11年	7月3日	天気好 (当年新酒作り無用と仰せ出だされる)
1671年	8月8日	寛文11年	7月4日	天気好
1671年	8月9日	寛文11年	7月5日	天気好
1671年	8月10日	寛文11年	7月6日	なし
1671年	8月11日	寛文11年	7月7日	天気能
1671年	8月12日	寛文11年	7月8日	天気能
1671年	8月13日	寛文11年	7月9日	昨夜大雨打続 今朝まで降大水
1671年	8月14日	寛文11年	7月10日	天気能
1671年	8月15日	寛文11年	7月11日	天気能
1671年	8月16日	寛文11年	7月12日	天気能
1671年	8月17日	寛文11年	7月13日	天気能
1671年	8月18日	寛文11年	7月14日	雨降
1671年	8月19日	寛文11年	7月15日	天気好
1671年	8月20日	寛文11年	7月16日	天気能 但暮六つより四つ過雨降
1671年	8月21日	寛文11年	7月17日	天気能
1671年	8月22日	寛文11年	7月18日	なし
1671年	8月23日	寛文11年	7月19日	少々雨降
1671年	8月24日	寛文11年	7月20日	天気好
1671年	8月25日	寛文11年	7月21日	天気能
1671年	8月26日	寛文11年	7月22日	天気好
1671年	8月27日	寛文11年	7月23日	天気能 (18日夜深浦横磯浜に破船1艘)
1671年	8月28日	寛文11年	7月24日	天気好
1671年	8月29日	寛文11年	7月25日	天気好
1671年	8月30日	寛文11年	7月26日	天気好
1671年	8月31日	寛文11年	7月27日	天気能

1671年 9月1日 寛文11年	7月28日 昨夜五つより夜中大雨
1671年 9月2日 寛文11年	7月29日 天気能
1671年 9月3日 寛文11年	8月1日 天気能
1671年 9月4日 寛文11年	8月2日 昼時分より少々雨降
1671年 9月5日 寛文11年	8月3日 雨申の刻より降 夜に大雨
1671年 9月6日 寛文11年	8月4日 天気能
1671年 9月7日 寛文11年	8月5日 天気曇
1671年 9月8日 寛文11年	8月6日 天気能
1671年 9月9日 寛文11年	8月7日 曇
1671年 9月10日 寛文11年	8月8日 八つ時分より雨少々降
1671年 9月11日 寛文11年	8月9日 天気能 地震今夜戌刻 (馬盗人2人はり付)
1671年 9月12日 寛文11年	8月10日 天気好
1671年 9月13日 寛文11年	8月11日 少々風吹
1671年 9月14日 寛文11年	8月12日 天気好
1671年 9月15日 寛文11年	8月13日 天気能
1671年 9月16日 寛文11年	8月14日 天気能 (鱒ヶ沢で火災7軒)
1671年 9月17日 寛文11年	8月15日 天気能 申之刻より夜中雨降 (初鮭1本西之濱より上がる)
1671年 9月18日 寛文11年	8月16日 少々雨降 (初鮭1本外之濱より上がる)
1671年 9月19日 寛文11年	8月17日 天気能
1671年 9月20日 寛文11年	8月18日 天気好
1671年 9月21日 寛文11年	8月19日 天気能
1671年 9月22日 寛文11年	8月20日 天気好
1671年 9月23日 寛文11年	8月21日 天気好
1671年 9月24日 寛文11年	8月22日 天気能 但夜に入り少々雨降
1671年 9月25日 寛文11年	8月23日 天気能 夜入雨降
1671年 9月26日 寛文11年	8月24日 少々風吹
1671年 9月27日 寛文11年	8月25日 天気能
1671年 9月28日 寛文11年	8月26日 天気能
1671年 9月29日 寛文11年	8月27日 曇
1671年 9月30日 寛文11年	8月28日 昨夜五つより風吹 雨少々降今日も少々風吹
1671年 10月1日 寛文11年	8月29日 昨夜より雨降 午の刻より晴
1671年 10月2日 寛文11年	8月30日 雨降
1671年 10月3日 寛文11年	9月1日 天気好 夜二入雨降
1671年 10月4日 寛文11年	9月2日 天気好 夜二入雨少降
1671年 10月5日 寛文11年	9月3日 天気好
1671年 10月6日 寛文11年	9月4日 なし
1671年 10月7日 寛文11年	9月5日 天気能
1671年 10月8日 寛文11年	9月6日 昨夜より終日雨降ル 風も吹 (初めて嵩へ雪おり申し候)
1671年 10月9日 寛文11年	9月7日 天気能 夜二入少雨降
1671年 10月10日 寛文11年	9月8日 天気能
1671年 10月11日 寛文11年	9月9日 天気好
1671年 10月12日 寛文11年	9月10日 天気能 但申ノ下刻二雨少降ル 夜ル七ツ半地震
1671年 10月13日 寛文11年	9月11日 雨降
1671年 10月14日 寛文11年	9月12日 少雨降 暮前に地震少々
1671年 10月15日 寛文11年	9月13日 なし
1671年 10月16日 寛文11年	9月14日 天気能
1671年 10月17日 寛文11年	9月15日 天気好
1671年 10月18日 寛文11年	9月16日 天気能
1671年 10月19日 寛文11年	9月17日 天気能
1671年 10月20日 寛文11年	9月18日 天気能
1671年 10月21日 寛文11年	9月19日 天気能
1671年 10月22日 寛文11年	9月20日 天気能
1671年 10月23日 寛文11年	9月21日 天気能
1671年 10月24日 寛文11年	9月22日 天気能
1671年 10月25日 寛文11年	9月23日 天気好 但昨夜少々雨降
1671年 10月26日 寛文11年	9月24日 天気能
1671年 10月27日 寛文11年	9月25日 天気好
1671年 10月28日 寛文11年	9月26日 天気能 (高杉遣湯舟で今昼火災4軒)
1671年 10月29日 寛文11年	9月27日 天気能 (岩木山雪降)
1671年 10月30日 寛文11年	9月28日 天気能
1671年 10月31日 寛文11年	9月29日 天気曇

1671年 11月1日 寛文11年 9月30日 天気能
 1671年 11月2日 寛文11年 10月1日 天気曇 夜二入
 1671年 11月3日 寛文11年 10月2日 岩木山雪降
 1671年 11月4日 寛文11年 10月3日 天気能
 1671年 11月5日 寛文11年 10月4日 天気好
 1671年 11月6日 寛文11年 10月5日 昨夜中より今朝まで雨降
 1671年 11月7日 寛文11年 10月6日 天気好
 1671年 11月8日 寛文11年 10月7日 天気能
 1671年 11月9日 寛文11年 10月8日 なし
 1671年 11月10日 寛文11年 10月9日 雪降ル 但昨昼より少々雪降り夜中より今朝まで橋の上などに雪2寸ほどたまり申し候
 1671年 11月11日 寛文11年 10月10日 天気好
 1671年 11月12日 寛文11年 10月11日 昨夜より今日まで雨降
 1671年 11月13日 寛文11年 10月12日 天気能
 1671年 11月14日 寛文11年 10月13日 巳の下刻より雨降
 1671年 11月15日 寛文11年 10月14日 天気能
 1671年 11月16日 寛文11年 10月15日 天気能
 1671年 11月17日 寛文11年 10月16日 天気曇
 1671年 11月18日 寛文11年 10月17日 少々雪降ル
 1671年 11月19日 寛文11年 10月18日 少々雨降
 1671年 11月20日 寛文11年 10月19日 天気能
 1671年 11月21日 寛文11年 10月20日 雨降
 1671年 11月22日 寛文11年 10月21日 昨夜中より少々雪降 (今18日夜西の浜下遺館前で火災4軒)
 1671年 11月23日 寛文11年 10月22日 少々雨降
 1671年 11月24日 寛文11年 10月23日 天気曇 少々風も吹
 1671年 11月25日 寛文11年 10月24日 昨夜中より風雨終日 但北風
 1671年 11月26日 寛文11年 10月25日 昨日より打続風雨 但夜中より西風 今午の刻より晴天少々風吹
 1671年 11月27日 寛文11年 10月26日 少々雪降
 1671年 11月28日 寛文11年 10月27日 天気能 (初鱈1尺今別より差上げる)
 1671年 11月29日 寛文11年 10月28日 雨降 雪も少々降
 1671年 11月30日 寛文11年 10月29日 朝の内あられ降 但未の下刻より夜中風雨 (御家中に盗みの者成敗)
 1671年 12月1日 寛文11年 10月30日 雨雪降
 1671年 12月2日 寛文11年 11月1日 天気能
 1671年 12月3日 寛文11年 11月2日 天気能
 1671年 12月4日 寛文11年 11月3日 少々雨降
 1671年 12月5日 寛文11年 11月4日 天気能
 1671年 12月6日 寛文11年 11月5日 天気能
 1671年 12月7日 寛文11年 11月6日 天気能
 1671年 12月8日 寛文11年 11月7日 雨降
 1671年 12月9日 寛文11年 11月8日 雨風
 1671年 12月10日 寛文11年 11月9日 天気能
 1671年 12月11日 寛文11年 11月10日 雨降
 1671年 12月12日 寛文11年 11月11日 天気能
 1671年 12月13日 寛文11年 11月12日 朝之内雪降 昼より雨も降
 1671年 12月14日 寛文11年 11月13日 天気能
 1671年 12月15日 寛文11年 11月14日 天気好
 1671年 12月16日 寛文11年 11月15日 雪降 一昨夜より降候雪今朝迄1尺余積り申し候 昨日迄八間々少宛雪フリ候へ共地へハ屯不申候 (これまで降雪はあつても積雪はなかつた・しかし今朝は1尺余りの積雪になったとのこと)
 1671年 12月17日 寛文11年 11月16日 天気能
 1671年 12月18日 寛文11年 11月17日 雨降
 1671年 12月19日 寛文11年 11月18日 天気好
 1671年 12月20日 寛文11年 11月19日 なし
 1671年 12月21日 寛文11年 11月20日 少々雨降
 1671年 12月22日 寛文11年 11月21日 天気能
 1671年 12月23日 寛文11年 11月22日 天気能
 1671年 12月24日 寛文11年 11月23日 天気能
 1671年 12月25日 寛文11年 11月24日 天気能
 1671年 12月26日 寛文11年 11月25日 昨暮前より夜中雨降洪水出候・馬屋町橋破損、今朝より大風終日雪少々ふる
 1671年 12月27日 寛文11年 11月26日 少々雪降ル (不義男うちとめ不義女房は成敗する)
 1671年 12月28日 寛文11年 11月27日 天気好
 1671年 12月29日 寛文11年 11月28日 天気好 (酒値段1升到付き4分と申し渡す)
 1671年 12月30日 寛文11年 11月29日 なし
 1671年 12月31日 寛文11年 12月1日 なし

1672年 1月1日 寛文11年 12月2日 天気好
 1672年 1月2日 寛文11年 12月3日 天気能
 1672年 1月3日 寛文11年 12月4日 昨夜雨降
 1672年 1月4日 寛文11年 12月5日 朝少雪降
 1672年 1月5日 寛文11年 12月6日 天気能
 1672年 1月6日 寛文11年 12月7日 雪少々降
 1672年 1月7日 寛文11年 12月8日 天気好
 1672年 1月8日 寛文11年 12月9日 なし
 1672年 1月9日 寛文11年 12月10日 昨夜より之雨 今日迄降
 1672年 1月10日 寛文11年 12月11日 天気好
 1672年 1月11日 寛文11年 12月12日 天気好 (昨夜浪岡山に野火付き申し候)
 1672年 1月12日 寛文11年 12月13日 少々雨降 暮に及び少し雪降
 1672年 1月13日 寛文11年 12月14日 朝少雨降
 1672年 1月14日 寛文11年 12月15日 なし
 1672年 1月15日 寛文11年 12月16日 少雨降
 1672年 1月16日 寛文11年 12月17日 昨夜より今朝まで雪降 昼より雨
 1672年 1月17日 寛文11年 12月18日 昨暮より夜中大風 雪も少々降
 1672年 1月18日 寛文11年 12月19日 天気能
 1672年 1月19日 寛文11年 12月20日 天気能
 1672年 1月20日 寛文11年 12月21日 雪降
 1672年 1月21日 寛文11年 12月22日 雪降ル
 1672年 1月22日 寛文11年 12月23日 天気好
 1672年 1月23日 寛文11年 12月24日 少々雨降
 1672年 1月24日 寛文11年 12月25日 少々雨降 昨終夜雨降ル 但暁まで降続 洪水ハふ出(洪水は出ず)
 1672年 1月25日 寛文11年 12月26日 天気能 昨夜風雨
 1672年 1月26日 寛文11年 12月27日 天気能
 1672年 1月27日 寛文11年 12月28日 天気能
 1672年 1月28日 寛文11年 12月29日 天気好
 1672年 1月29日 寛文11年 12月30日 昨夜より今朝迄少々雪降ル
 1672年 1月30日 寛文12年正月1日 晴天 道筋雪なし 二寸三寸宛残雪所々にあり・20年以來覚えなき由世人沙汰也
 1672年 1月31日 寛文12年正月2日 天気好 (酉の后刻御謡初)
 1672年 2月1日 寛文12年正月3日 天気好
 1672年 2月2日 寛文12年正月4日 昨夜より今日まで少々風吹
 1672年 2月3日 寛文12年正月5日 昨夜雨少々今日終日降
 1672年 2月4日 寛文12年正月6日 昨夜雨少々今日終日降 (5日朝横町で男自害)
 1672年 2月5日 寛文12年正月7日 天気能
 1672年 2月6日 寛文12年正月8日 少宛所々に残り候雪も頃日の雨にて消え候処昨夜中より少々雪降今朝まで雪二・三寸屯
 1672年 2月7日 寛文12年正月9日 昨夜より少々雪降
 1672年 2月8日 寛文12年正月10日 天気能
 1672年 2月9日 寛文12年正月11日 天気能
 1672年 2月10日 寛文12年正月12日 天気能
 1672年 2月11日 寛文12年正月13日 天気好
 1672年 2月12日 寛文12年正月14日 天気好
 1672年 2月13日 寛文12年正月15日 昨夜より少々今朝まで雪降 但四つ時分より晴天
 1672年 2月14日 寛文12年正月16日 天気能 (昨晩青森町で火災1軒)
 1672年 2月15日 寛文12年正月17日 天気能
 1672年 2月16日 寛文12年正月18日 天気能
 1672年 2月17日 寛文12年正月19日 天気能
 1672年 2月18日 寛文12年正月20日 昨暮前より終夜雪降 今日まで四寸程降
 1672年 2月19日 寛文12年正月21日 なし (一昨19日新里村で口論・殺人)
 1672年 2月20日 寛文12年正月22日 少々雪降
 1672年 2月21日 寛文12年正月23日 少々雪降
 1672年 2月22日 寛文12年正月24日 昨夜半より大ふぶき(風中の止の替わりに雪を入れた文字)今朝六つ半まで 今日も少々雪降
 1672年 2月23日 寛文12年正月25日 雪降ル
 1672年 2月24日 寛文12年正月26日 朝少々雪降ル
 1672年 2月25日 寛文12年正月27日 雪少々降 雨も降
 1672年 2月26日 寛文12年正月28日 少々雪降
 1672年 2月27日 寛文12年正月29日 天気能
 1672年 2月28日 寛文12年正月30日 天気能 少々風吹
 1672年 2月29日 寛文12年 2月1日 雪降

1672年	3月1日	寛文12年	2月2日	雪降ル
1672年	3月2日	寛文12年	2月3日	天気能
1672年	3月3日	寛文12年	2月4日	少々雨降ル
1672年	3月4日	寛文12年	2月5日	天気好
1672年	3月5日	寛文12年	2月6日	天気好
1672年	3月6日	寛文12年	2月7日	昨夜中より今日まで雪六・七寸降ル
1672年	3月7日	寛文12年	2月8日	少々雪降
1672年	3月8日	寛文12年	2月9日	雪降ル
1672年	3月9日	寛文12年	2月10日	雪少々降ル
1672年	3月10日	寛文12年	2月11日	昨夜雪五寸ほど降 少々風吹
1672年	3月11日	寛文12年	2月12日	天気能
1672年	3月12日	寛文12年	2月13日	天気能
1672年	3月13日	寛文12年	2月14日	天気能
1672年	3月14日	寛文12年	2月15日	雪少々降
1672年	3月15日	寛文12年	2月16日	天気快晴
1672年	3月16日	寛文12年	2月17日	天気能
1672年	3月17日	寛文12年	2月18日	天気好
1672年	3月18日	寛文12年	2月19日	天気能
1672年	3月19日	寛文12年	2月20日	雪降風も吹
1672年	3月20日	寛文12年	2月21日	右同断(上と同じの意)
1672年	3月21日	寛文12年	2月22日	天気能 (御家中に刀を抜いた家来を成敗)
1672年	3月22日	寛文12年	2月23日	天気能
1672年	3月23日	寛文12年	2月24日	天気能
1672年	3月24日	寛文12年	2月25日	夜七つ時分より雨終日降
1672年	3月25日	寛文12年	2月26日	天気能
1672年	3月26日	寛文12年	2月27日	天気能
1672年	3月27日	寛文12年	2月28日	夜中より雨降
1672年	3月28日	寛文12年	2月29日	天気悪敷
1672年	3月29日	寛文12年	3月1日	天気能
1672年	3月30日	寛文12年	3月2日	天気能
1672年	3月31日	寛文12年	3月3日	天気能 (昨晚外之濱合子沢村で火災・3軒馬10疋焼失)
1672年	4月1日	寛文12年	3月4日	天気能
1672年	4月2日	寛文12年	3月5日	天気能 但少々風吹
1672年	4月3日	寛文12年	3月6日	昨夜五つ過ぎより風吹 明六つより雨
1672年	4月4日	寛文12年	3月7日	天気能 但し少風吹
1672年	4月5日	寛文12年	3月8日	雨降
1672年	4月6日	寛文12年	3月9日	少々雪降
1672年	4月7日	寛文12年	3月10日	天快晴
1672年	4月8日	寛文12年	3月11日	天気能 (浅瀬石村で火災4軒)
1672年	4月9日	寛文12年	3月12日	なし
1672年	4月10日	寛文12年	3月13日	昨夜より今日まで雨降
1672年	4月11日	寛文12年	3月14日	天気能
1672年	4月12日	寛文12年	3月15日	天気能
1672年	4月13日	寛文12年	3月16日	昨夜中(より)今日に至る雨降
1672年	4月14日	寛文12年	3月17日	天気少々曇
1672年	4月15日	寛文12年	3月18日	天気好
1672年	4月16日	寛文12年	3月19日	天気好
1672年	4月17日	寛文12年	3月20日	なし (昨夜九つ時分二青森安方町に火事・五・六十軒焼失)
1672年	4月18日	寛文12年	3月21日	昨日さるの刻より終夜雨 今日まで降る (欠落ちなどの不届きな家来成敗)
1672年	4月19日	寛文12年	3月22日	天気能 (新町の女自害)
1672年	4月20日	寛文12年	3月23日	天気能
1672年	4月21日	寛文12年	3月24日	昨昼より終夜今日まで大風吹 今朝少々あられ降ル
1672年	4月22日	寛文12年	3月25日	天気能
1672年	4月23日	寛文12年	3月26日	昨夜より雨降
1672年	4月24日	寛文12年	3月27日	終夜雨降ル
1672年	4月25日	寛文12年	3月28日	天気好
1672年	4月26日	寛文12年	3月29日	天気好
1672年	4月27日	寛文12年	3月30日	天気好 (杉山八兵衛死亡)
1672年	4月28日	寛文12年	4月1日	雨降
1672年	4月29日	寛文12年	4月2日	天気好
1672年	4月30日	寛文12年	4月3日	天気能

1672年	5月1日	寛文12年	4月4日	天気能
1672年	5月2日	寛文12年	4月5日	天気能
1672年	5月3日	寛文12年	4月6日	天気能
1672年	5月4日	寛文12年	4月7日	天気能
1672年	5月5日	寛文12年	4月8日	昨夜五つより終夜雨降 今日ハ少々風雨
1672年	5月6日	寛文12年	4月9日	少々風雨 雷二ツ三ツ鳴
1672年	5月7日	寛文12年	4月10日	少々風吹
1672年	5月8日	寛文12年	4月11日	天気能
1672年	5月9日	寛文12年	4月12日	天気能 (昨11日暮六つ時分ニ鯉ヶ沢三ツ屋海士町ニ火災13軒)
1672年	5月10日	寛文12年	4月13日	天気能
1672年	5月11日	寛文12年	4月14日	昨暮六ツ過ぎより今朝五つ過ぎまで雨降
1672年	5月12日	寛文12年	4月15日	天気能
1672年	5月13日	寛文12年	4月16日	天気能
1672年	5月14日	寛文12年	4月17日	朝の内少し雨降
1672年	5月15日	寛文12年	4月18日	昨暮より今朝まで少々雨降 (一昨16日四ツ時分西之浜追良瀬村で火災13軒)
1672年	5月16日	寛文12年	4月19日	天気好
1672年	5月17日	寛文12年	4月20日	天気曇 朝少々雨降 風も吹
1672年	5月18日	寛文12年	4月21日	天気能
1672年	5月19日	寛文12年	4月22日	天気能
1672年	5月20日	寛文12年	4月23日	昨暮前より雨今朝迄降
1672年	5月21日	寛文12年	4月24日	天気曇
1672年	5月22日	寛文12年	4月25日	天気能
1672年	5月23日	寛文12年	4月26日	天気能
1672年	5月24日	寛文12年	4月27日	なし
1672年	5月25日	寛文12年	4月28日	昨暮より今日終日雨降
1672年	5月26日	寛文12年	4月29日	天気能 (取上で3人張付)
1672年	5月27日	寛文12年	5月1日	天気能
1672年	5月28日	寛文12年	5月2日	天気能
1672年	5月29日	寛文12年	5月3日	天気能
1672年	5月30日	寛文12年	5月4日	曇
1672年	5月31日	寛文12年	5月5日	天気能
1672年	6月1日	寛文12年	5月6日	雨少々降
1672年	6月2日	寛文12年	5月7日	天気曇
1672年	6月3日	寛文12年	5月8日	天気曇少々雨降
1672年	6月4日	寛文12年	5月9日	天気能
1672年	6月5日	寛文12年	5月10日	天気好
1672年	6月6日	寛文12年	5月11日	天気曇
1672年	6月7日	寛文12年	5月12日	天気悪 雨降
1672年	6月8日	寛文12年	5月13日	天気好
1672年	6月9日	寛文12年	5月14日	天気好
1672年	6月10日	寛文12年	5月15日	天気好
1672年	6月11日	寛文12年	5月16日	天気能
1672年	6月12日	寛文12年	5月17日	天気能
1672年	6月13日	寛文12年	5月18日	昨七より夜半まで少々雨降
1672年	6月14日	寛文12年	5月19日	天気能
1672年	6月15日	寛文12年	5月20日	寅の刻より卯の上刻まで雷電雨降 辰の刻より晴天
1672年	6月16日	寛文12年	5月21日	天気能 (殿様5月3日江戸発駕今日御着城)
1672年	6月17日	寛文12年	5月22日	昨夜半より雨降
1672年	6月18日	寛文12年	5月23日	なし
1672年	6月19日	寛文12年	5月24日	天気能
1672年	6月20日	寛文12年	5月25日	天気能
1672年	6月21日	寛文12年	5月26日	天気能
1672年	6月22日	寛文12年	5月27日	天気能
1672年	6月23日	寛文12年	5月28日	天気能
1672年	6月24日	寛文12年	5月29日	昨夜雨降 今日風少し吹
1672年	6月25日	寛文12年	6月1日	天気能
1672年	6月26日	寛文12年	6月2日	天気能
1672年	6月27日	寛文12年	6月3日	少々雨降
1672年	6月28日	寛文12年	6月4日	天気曇 八過雨降
1672年	6月29日	寛文12年	6月5日	天気能
1672年	6月30日	寛文12年	6月6日	天気能 少々風吹

1672年 7月1日 寛文12年 6月7日 少々雨
 1672年 7月2日 寛文12年 6月8日 天気が能
 1672年 7月3日 寛文12年 6月9日 天気が能
 1672年 7月4日 寛文12年 6月10日 昨八ノ下刻より夜中今四つ前まで雨降 それより天気晴 (夫殺し密通の男女2人はり付・他に2人斬罪・御腰の物3腰御長刀4振ためさせる)
 1672年 7月5日 寛文12年 6月11日 天気が能
 1672年 7月6日 寛文12年 6月12日 天気が能
 1672年 7月7日 寛文12年 6月13日 天気が能
 1672年 7月8日 寛文12年 6月14日 天気が能
 1672年 7月9日 寛文12年 6月15日 天気が能
 1672年 7月10日 寛文12年 6月16日 天気が能
 1672年 7月11日 寛文12年 6月17日 天気が能
 1672年 7月12日 寛文12年 6月18日 少々雨降
 1672年 7月13日 寛文12年 6月19日 天気が能
 1672年 7月14日 寛文12年 6月20日 天気が能
 1672年 7月15日 寛文12年 6月21日 天気が能
 1672年 7月16日 寛文12年 6月22日 天気が能
 1672年 7月17日 寛文12年 6月23日 天気が能
 1672年 7月18日 寛文12年 6月24日 天気が能 (昼八過より少々雨降)
 1672年 7月19日 寛文12年 6月25日 天気が好 風少立
 1672年 7月20日 寛文12年 6月26日 天気が能
 1672年 7月21日 寛文12年 6月27日 天気が能
 1672年 7月22日 寛文12年 6月28日 雷少々 朝五より四まで雨降
 1672年 7月23日 寛文12年 6月29日 天気が能 四半より雨降
 1672年 7月24日 寛文12年 閏6月1日 朝六半まで雨降
 1672年 7月25日 寛文12年 閏6月2日 雷少々 八過ぎ雨降
 1672年 7月26日 寛文12年 閏6月3日 天気が能 (昨夜八時分西方より鳴り音聞こえ家へひびき地震のごとし、少の間あり)
 1672年 7月27日 寛文12年 閏6月4日 天気が能 午の下刻少し雨降
 1672年 7月28日 寛文12年 閏6月5日 天気が能
 1672年 7月29日 寛文12年 閏6月6日 天気が能
 1672年 7月30日 寛文12年 閏6月7日 天気が能
 1672年 7月31日 寛文12年 閏6月8日 甚だしく暑い(甚暑と記述)
 1672年 8月1日 寛文12年 閏6月9日 甚だしく暑い 明け六つ半時少地震
 1672年 8月2日 寛文12年 閏6月10日 甚だしく暑い
 1672年 8月3日 寛文12年 閏6月11日 甚だしく暑い
 1672年 8月4日 寛文12年 閏6月12日 甚だしく暑い
 1672年 8月5日 寛文12年 閏6月13日 天気が能
 1672年 8月6日 寛文12年 閏6月14日 天気が能
 1672年 8月7日 寛文12年 閏6月15日 天気が好 暮六つ時分より少々雨降
 1672年 8月8日 寛文12年 閏6月16日 天気が能
 1672年 8月9日 寛文12年 閏6月17日 甚だしく暑い (岩木山南の方しろくはげ大石ぬけおちている、3日夜の活動結果か)
 1672年 8月10日 寛文12年 閏6月18日 甚だしく暑い
 1672年 8月11日 寛文12年 閏6月19日 天気が能
 1672年 8月12日 寛文12年 閏6月20日 天気が能
 1672年 8月13日 寛文12年 閏6月21日 天曇 申の刻雨降
 1672年 8月14日 寛文12年 閏6月22日 天曇
 1672年 8月15日 寛文12年 閏6月23日 天曇 昨夜雨降
 1672年 8月16日 寛文12年 閏6月24日 甚だしく暑い
 1672年 8月17日 寛文12年 閏6月25日 五つ前より白雨(はくう:夕立のこと)少々 四つ以後晴曇
 1672年 8月18日 寛文12年 閏6月26日 雨天 少々晴れ間あり
 1672年 8月19日 寛文12年 閏6月27日 なし
 1672年 8月20日 寛文12年 閏6月28日 なし
 1672年 8月21日 寛文12年 閏6月29日 雨天
 1672年 8月22日 寛文12年 閏6月30日 天気が能
 1672年 8月23日 寛文12年 7月1日 雨降 少々晴れ間あり(霽間有) (御拍子)
 1672年 8月24日 寛文12年 7月2日 雨降 少々晴れ間あり(霽間有)
 1672年 8月25日 寛文12年 7月3日 天気が能 (赤根沢の出入りにつき青森町人親子斬罪、丹土の盗人青森で張付け)
 1672年 8月26日 寛文12年 7月4日 少々雨降
 1672年 8月27日 寛文12年 7月5日 天気が能
 1672年 8月28日 寛文12年 7月6日 天気が能
 1672年 8月29日 寛文12年 7月7日 昼九時分雨天
 1672年 8月30日 寛文12年 7月8日 天気が能
 1672年 8月31日 寛文12年 7月9日 天気が能

1672年	9月1日	寛文12年	7月10日	天気能
1672年	9月2日	寛文12年	7月11日	天気能
1672年	9月3日	寛文12年	7月12日	天気能
1672年	9月4日	寛文12年	7月13日	天気好 (内馬場で花火仰せ付けられる)
1672年	9月5日	寛文12年	7月14日	天気能
1672年	9月6日	寛文12年	7月15日	天気能
1672年	9月7日	寛文12年	7月16日	なし
1672年	9月8日	寛文12年	7月17日	天気能 (狂言・花火)
1672年	9月9日	寛文12年	7月18日	天気能
1672年	9月10日	寛文12年	7月19日	天気能
1672年	9月11日	寛文12年	7月20日	天気能
1672年	9月12日	寛文12年	7月21日	天気能
1672年	9月13日	寛文12年	7月22日	夜七つより昼九つ雨降 (新酒造るなどの指示あり)
1672年	9月14日	寛文12年	7月23日	昨夜より少々雨降
1672年	9月15日	寛文12年	7月24日	天気能 少々風吹
1672年	9月16日	寛文12年	7月25日	なし
1672年	9月17日	寛文12年	7月26日	天気能
1672年	9月18日	寛文12年	7月27日	天気能
1672年	9月19日	寛文12年	7月28日	天気好
1672年	9月20日	寛文12年	7月29日	天気能
1672年	9月21日	寛文12年	8月1日	天気能 八つ下りより雨降雷電 (西之濱より初鮭上がる)
1672年	9月22日	寛文12年	8月2日	なし
1672年	9月23日	寛文12年	8月3日	天気晴
1672年	9月24日	寛文12年	8月4日	天快晴
1672年	9月25日	寛文12年	8月5日	天快晴
1672年	9月26日	寛文12年	8月6日	天快晴
1672年	9月27日	寛文12年	8月7日	天快晴
1672年	9月28日	寛文12年	8月8日	天快晴
1672年	9月29日	寛文12年	8月9日	天少々曇
1672年	9月30日	寛文12年	8月10日	天少々曇
1672年	10月1日	寛文12年	8月11日	天少々曇時々小雨
1672年	10月2日	寛文12年	8月12日	天少々曇
1672年	10月3日	寛文12年	8月13日	天快晴
1672年	10月4日	寛文12年	8月14日	天快晴
1672年	10月5日	寛文12年	8月15日	天曇少し小雨
1672年	10月6日	寛文12年	8月16日	天曇少し小雨
1672年	10月7日	寛文12年	8月17日	雨天
1672年	10月8日	寛文12年	8月18日	天快晴
1672年	10月9日	寛文12年	8月19日	天快晴
1672年	10月10日	寛文12年	8月20日	天快晴
1672年	10月11日	寛文12年	8月21日	天気能少々曇
1672年	10月12日	寛文12年	8月22日	天快晴
1672年	10月13日	寛文12年	8月23日	天快晴
1672年	10月14日	寛文12年	8月24日	天快晴
1672年	10月15日	寛文12年	8月25日	少々小雨
1672年	10月16日	寛文12年	8月26日	天曇少々雨 嵩へ雪初降
1672年	10月17日	寛文12年	8月27日	天少々曇
1672年	10月18日	寛文12年	8月28日	雨天
1672年	10月19日	寛文12年	8月29日	天気晴
1672年	10月20日	寛文12年	8月30日	天快晴
1672年	10月21日	寛文12年	9月1日	天快晴
1672年	10月22日	寛文12年	9月2日	天気能
1672年	10月23日	寛文12年	9月3日	天気能
1672年	10月24日	寛文12年	9月4日	天快晴
1672年	10月25日	寛文12年	9月5日	天気能 昨夜七つより明六つまで雨降
1672年	10月26日	寛文12年	9月6日	昨夜半前今日九過ぎ少々雨降
1672年	10月27日	寛文12年	9月7日	快晴
1672年	10月28日	寛文12年	9月8日	天快晴
1672年	10月29日	寛文12年	9月9日	雨天
1672年	10月30日	寛文12年	9月10日	天快晴
1672年	10月31日	寛文12年	9月11日	天気能

1672年 11月1日 寛文12年	9月12日 雨天
1672年 11月2日 寛文12年	9月13日 雨天
1672年 11月3日 寛文12年	9月14日 昨夜より雨天 (今12日晚相野?で火災2軒)
1672年 11月4日 寛文12年	9月15日 天快晴
1672年 11月5日 寛文12年	9月16日 天気能
1672年 11月6日 寛文12年	9月17日 天快晴
1672年 11月7日 寛文12年	9月18日 天快晴
1672年 11月8日 寛文12年	9月19日 なし (去る17日夜九つ半桜庭村で火災3軒)
1672年 11月9日 寛文12年	9月20日 少々雨
1672年 11月10日 寛文12年	9月21日 天気能
1672年 11月11日 寛文12年	9月22日 少々雨降
1672年 11月12日 寛文12年	9月23日 少々雨
1672年 11月13日 寛文12年	9月24日 天快晴
1672年 11月14日 寛文12年	9月25日 天快晴
1672年 11月15日 寛文12年	9月26日 天快晴 (殿様に昨日直訴)
1672年 11月16日 寛文12年	9月27日 昨夜より雪少々今日まで降
1672年 11月17日 寛文12年	9月28日 天快晴
1672年 11月18日 寛文12年	9月29日 天快晴
1672年 11月19日 寛文12年	9月30日 天気能
1672年 11月20日 寛文12年	10月1日 天快晴
1672年 11月21日 寛文12年	10月2日 終日雨天 夜に入り風立つ
1672年 11月22日 寛文12年	10月3日 天快晴
1672年 11月23日 寛文12年	10月4日 雨天
1672年 11月24日 寛文12年	10月5日 天曇 昨夜少々雪降
1672年 11月25日 寛文12年	10月6日 雪降
1672年 11月26日 寛文12年	10月7日 雪降
1672年 11月27日 寛文12年	10月8日 天気能
1672年 11月28日 寛文12年	10月9日 天気能
1672年 11月29日 寛文12年	10月10日 少々雨天
1672年 11月30日 寛文12年	10月11日 昨夜終風雨 今日雪降
1672年 12月1日 寛文12年	10月12日 少々雪降 (追放後里帰りの男成敗)
1672年 12月2日 寛文12年	10月13日 少々曇
1672年 12月3日 寛文12年	10月14日 未の刻より雨天
1672年 12月4日 寛文12年	10月15日 昨終夜雨降 今日少々雨天
1672年 12月5日 寛文12年	10月16日 天気能
1672年 12月6日 寛文12年	10月17日 天気能
1672年 12月7日 寛文12年	10月18日 少々雪降
1672年 12月8日 寛文12年	10月19日 天気能
1672年 12月9日 寛文12年	10月20日 天気能
1672年 12月10日 寛文12年	10月21日 天気能
1672年 12月11日 寛文12年	10月22日 天気能
1672年 12月12日 寛文12年	10月23日 天気能
1672年 12月13日 寛文12年	10月24日 天気能 (御家中?2人斬罪)
1672年 12月14日 寛文12年	10月25日 雪空
1672年 12月15日 寛文12年	10月26日 終日雪吹
1672年 12月16日 寛文12年	10月27日 天快晴
1672年 12月17日 寛文12年	10月28日 天気能
1672年 12月18日 寛文12年	10月29日 少々雪降
1672年 12月19日 寛文12年	11月1日 少々雪降
1672年 12月20日 寛文12年	11月2日 少々雪降
1672年 12月21日 寛文12年	11月3日 少々雪降
1672年 12月22日 寛文12年	11月4日 少々雪降
1672年 12月23日 寛文12年	11月5日 天気能
1672年 12月24日 寛文12年	11月6日 少々雪降
1672年 12月25日 寛文12年	11月7日 天気能
1672年 12月26日 寛文12年	11月8日 少々雪
1672年 12月27日 寛文12年	11月9日 少々雪降
1672年 12月28日 寛文12年	11月10日 天気能
1672年 12月29日 寛文12年	11月11日 天気能
1672年 12月30日 寛文12年	11月12日 天気能
1672年 12月31日 寛文12年	11月13日 天気能

1673年	1月1日	寛文12年	11月14日	天気能
1673年	1月2日	寛文12年	11月15日	天気能
1673年	1月3日	寛文12年	11月16日	天気好
1673年	1月4日	寛文12年	11月17日	天気好
1673年	1月5日	寛文12年	11月18日	少々雪降
1673年	1月6日	寛文12年	11月19日	雪降
1673年	1月7日	寛文12年	11月20日	天気能
1673年	1月8日	寛文12年	11月21日	天気能
1673年	1月9日	寛文12年	11月22日	天気能
1673年	1月10日	寛文12年	11月23日	天気能
1673年	1月11日	寛文12年	11月24日	天気能
1673年	1月12日	寛文12年	11月25日	雪降
1673年	1月13日	寛文12年	11月26日	天気能
1673年	1月14日	寛文12年	11月27日	天気能
1673年	1月15日	寛文12年	11月28日	少々雪降
1673年	1月16日	寛文12年	11月29日	天気少々雪降 風立
1673年	1月17日	寛文12年	11月30日	天気能
1673年	1月18日	寛文12年	12月1日	天気能
1673年	1月19日	寛文12年	12月2日	天気能 (巳の下刻本行寺本堂焼失)
1673年	1月20日	寛文12年	12月3日	天気能
1673年	1月21日	寛文12年	12月4日	少々雪降
1673年	1月22日	寛文12年	12月5日	天気能
1673年	1月23日	寛文12年	12月6日	天気能
1673年	1月24日	寛文12年	12月7日	天気能
1673年	1月25日	寛文12年	12月8日	天気能
1673年	1月26日	寛文12年	12月9日	天気能
1673年	1月27日	寛文12年	12月10日	天気能
1673年	1月28日	寛文12年	12月11日	少々雪降 (盗人が御本城まで入る)
1673年	1月29日	寛文12年	12月12日	天気能
1673年	1月30日	寛文12年	12月13日	少々雪降
1673年	1月31日	寛文12年	12月14日	少々雪降
1673年	2月1日	寛文12年	12月15日	天気能
1673年	2月2日	寛文12年	12月16日	少々雪降
1673年	2月3日	寛文12年	12月17日	雪降
1673年	2月4日	寛文12年	12月18日	天気能
1673年	2月5日	寛文12年	12月19日	天気能
1673年	2月6日	寛文12年	12月20日	天気能
1673年	2月7日	寛文12年	12月21日	天気能 風
1673年	2月8日	寛文12年	12月22日	天気能
1673年	2月9日	寛文12年	12月23日	天気能
1673年	2月10日	寛文12年	12月24日	天気能
1673年	2月11日	寛文12年	12月25日	なし
1673年	2月12日	寛文12年	12月26日	天気能
1673年	2月13日	寛文12年	12月27日	天気能
1673年	2月14日	寛文12年	12月28日	天気能
1673年	2月15日	寛文12年	12月29日	天気能
1673年	2月16日	寛文12年	12月30日	天気能
1673年	2月17日	寛文13年正月1日		天気能
1673年	2月18日	寛文13年正月2日		天気能 (御謡初)
1673年	2月19日	寛文13年正月3日		天気能
1673年	2月20日	寛文13年正月4日		午の刻より少々雨降
1673年	2月21日	寛文13年正月5日		少々雨降
1673年	2月22日	寛文13年正月6日		少々雪降
1673年	2月23日	寛文13年正月7日		少々雪降
1673年	2月24日	寛文13年正月8日		少々雪降
1673年	2月25日	寛文13年正月9日		少々雪降
1673年	2月26日	寛文13年正月10日		雪降
1673年	2月27日	寛文13年正月11日		昨夜戌の刻より大風大雪
1673年	2月28日	寛文13年正月12日		天気能

1673年 3月1日 寛文13年正月13日 天気能 (今7日はの木沢村(羽野木沢村:後の飯詰組)の小知行が気違い殺人・成敗)
 1673年 3月2日 寛文13年正月14日 天気能
 1673年 3月3日 寛文13年正月15日 天気能
 1673年 3月4日 寛文13年正月16日 雨降
 1673年 3月5日 寛文13年正月17日 少々雪降
 1673年 3月6日 寛文13年正月18日 天気能
 1673年 3月7日 寛文13年正月19日 天気能
 1673年 3月8日 寛文13年正月20日 雪降
 1673年 3月9日 寛文13年正月21日 なし
 1673年 3月10日 寛文13年正月22日 天気能
 1673年 3月11日 寛文13年正月23日 天気好
 1673年 3月12日 寛文13年正月24日 天気好
 1673年 3月13日 寛文13年正月25日 天気能
 1673年 3月14日 寛文13年正月26日 雨降
 1673年 3月15日 寛文13年正月27日 天気能
 1673年 3月16日 寛文13年正月28日 天気能
 1673年 3月17日 寛文13年正月29日 天気能
 1673年 3月18日 寛文13年正月30日 大雪
 1673年 3月19日 寛文13年 2月1日 少々雪降
 1673年 3月20日 寛文13年 2月2日 天気好
 1673年 3月21日 寛文13年 2月3日 天気能
 1673年 3月22日 寛文13年 2月4日 天気能
 1673年 3月23日 寛文13年 2月5日 天気能
 1673年 3月24日 寛文13年 2月6日 天気能
 1673年 3月25日 寛文13年 2月7日 天気能
 1673年 3月26日 寛文13年 2月8日 雨降
 1673年 3月27日 寛文13年 2月9日 天気能
 1673年 3月28日 寛文13年 2月10日 少々雪降
 1673年 3月29日 寛文13年 2月11日 天気能
 1673年 3月30日 寛文13年 2月12日 天気能
 1673年 3月31日 寛文13年 2月13日 天気能
 1673年 4月1日 寛文13年 2月14日 昨夜中雨降 今日天曇
 1673年 4月2日 寛文13年 2月15日 少々雪降
 1673年 4月3日 寛文13年 2月16日 天気能
 1673年 4月4日 寛文13年 2月17日 雨降
 1673年 4月5日 寛文13年 2月18日 天気能
 1673年 4月6日 寛文13年 2月19日 天気能
 1673年 4月7日 寛文13年 2月20日 天気能
 1673年 4月8日 寛文13年 2月21日 曇
 1673年 4月9日 寛文13年 2月22日 雨降
 1673年 4月10日 寛文13年 2月23日 昼九つまで雨降
 1673年 4月11日 寛文13年 2月24日 天気能
 1673年 4月12日 寛文13年 2月25日 天気能
 1673年 4月13日 寛文13年 2月26日 雨降 (御拍子)
 1673年 4月14日 寛文13年 2月27日 天気能
 1673年 4月15日 寛文13年 2月28日 天気能
 1673年 4月16日 寛文13年 2月29日 雨降
 1673年 4月17日 寛文13年 3月1日 なし
 1673年 4月18日 寛文13年 3月2日 雨天
 1673年 4月19日 寛文13年 3月3日 天気能
 1673年 4月20日 寛文13年 3月4日 天気能
 1673年 4月21日 寛文13年 3月5日 天気能
 1673年 4月22日 寛文13年 3月6日 天気能
 1673年 4月23日 寛文13年 3月7日 天気能
 1673年 4月24日 寛文13年 3月8日 天気能 (3月7日の夜鯉ヶ沢の内坂本村で火災20軒ほど)
 1673年 4月25日 寛文13年 3月9日 天気能 (辰の上刻殿様御発駕:行列の様子あり)
 1673年 4月26日 寛文13年 3月10日 雨天
 1673年 4月27日 寛文13年 3月11日 晴天
 1673年 4月28日 寛文13年 3月12日 天快晴
 1673年 4月29日 寛文13年 3月13日 天曇
 1673年 4月30日 寛文13年 3月14日 天快晴 (今夜外濱油川村で火災37軒焼失)

1673年	5月1日	寛文13年	3月15日	昨夜四つ時分より今朝迄雪降 それより晴天少々風
1673年	5月2日	寛文13年	3月16日	天快晴
1673年	5月3日	寛文13年	3月17日	昨夜中より今日八つ時分まで少々雨降 それより晴天 風も吹
1673年	5月4日	寛文13年	3月18日	晴天 (青森町で火災)
1673年	5月5日	寛文13年	3月19日	晴天 少々風
1673年	5月6日	寛文13年	3月20日	天気能 (青森の火災182軒焼失)
1673年	5月7日	寛文13年	3月21日	天気能 少々風立
1673年	5月8日	寛文13年	3月22日	昼より雨天
1673年	5月9日	寛文13年	3月23日	天快晴
1673年	5月10日	寛文13年	3月24日	晴天
1673年	5月11日	寛文13年	3月25日	天快晴
1673年	5月12日	寛文13年	3月26日	晴天
1673年	5月13日	寛文13年	3月27日	晴天
1673年	5月14日	寛文13年	3月28日	晴天
1673年	5月15日	寛文13年	3月29日	晴天
1673年	5月16日	寛文13年	3月30日	なし
1673年	5月17日	寛文13年	4月1日	天気能
1673年	5月18日	寛文13年	4月2日	晴天
1673年	5月19日	寛文13年	4月3日	晴天
1673年	5月20日	寛文13年	4月4日	天快晴
1673年	5月21日	寛文13年	4月5日	晴天
1673年	5月22日	寛文13年	4月6日	晴天
1673年	5月23日	寛文13年	4月7日	晴天
1673年	5月24日	寛文13年	4月8日	晴天
1673年	5月25日	寛文13年	4月9日	少雨降
1673年	5月26日	寛文13年	4月10日	天気能
1673年	5月27日	寛文13年	4月11日	天気能
1673年	5月28日	寛文13年	4月12日	天気能 ただし昼八つ時分より暮に及ぶまで雨降
1673年	5月29日	寛文13年	4月13日	晴天
1673年	5月30日	寛文13年	4月14日	天気能
1673年	5月31日	寛文13年	4月15日	天気能
1673年	6月1日	寛文13年	4月16日	天気能
1673年	6月2日	寛文13年	4月17日	七つ時分より雨降 但雷電
1673年	6月3日	寛文13年	4月18日	天快晴
1673年	6月4日	寛文13年	4月19日	晴天
1673年	6月5日	寛文13年	4月20日	天気能
1673年	6月6日	寛文13年	4月21日	少々雨降 午の刻晴
1673年	6月7日	寛文13年	4月22日	少々雨降
1673年	6月8日	寛文13年	4月23日	天気能
1673年	6月9日	寛文13年	4月24日	天気好
1673年	6月10日	寛文13年	4月25日	天気能 (青森で町人のてんひん(天秤か)盗みのものを成敗)
1673年	6月11日	寛文13年	4月26日	天気能 (3人成敗)
1673年	6月12日	寛文13年	4月27日	天曇 (火あふり親子4人)
1673年	6月13日	寛文13年	4月28日	天気能
1673年	6月14日	寛文13年	4月29日	天気能
1673年	6月15日	寛文13年	5月1日	天気能 (伊勢堂に雨乞い申付ける)
1673年	6月16日	寛文13年	5月2日	天気能 但夜に入少々雨降 (大行院等に雨乞申渡ス)
1673年	6月17日	寛文13年	5月3日	晴天 (七つ時分より風吹)
1673年	6月18日	寛文13年	5月4日	晴天 (七つ時分より風 夜に入雨少々)
1673年	6月19日	寛文13年	5月5日	天気能 (七つ時分より風少々)
1673年	6月20日	寛文13年	5月6日	晴天
1673年	6月21日	寛文13年	5月7日	晴天
1673年	6月22日	寛文13年	5月8日	晴天
1673年	6月23日	寛文13年	5月9日	晴天 昼時分より曇 (本行寺等に雨請申付ル)
1673年	6月24日	寛文13年	5月10日	朝五時分より少々雨 (青森大工町で昨9日火災8軒)
1673年	6月25日	寛文13年	5月11日	昨夜中より大雨
1673年	6月26日	寛文13年	5月12日	四つ過ぎより雨降 九つ時分晴
1673年	6月27日	寛文13年	5月13日	天気曇 (今日大鱈よりきふり上ル)
1673年	6月28日	寛文13年	5月14日	雨降
1673年	6月29日	寛文13年	5月15日	雨天
1673年	6月30日	寛文13年	5月16日	晴天

1673年	7月1日	寛文13年	5月17日	晴天
1673年	7月2日	寛文13年	5月18日	天気能 未の刻より夜中大雨降
1673年	7月3日	寛文13年	5月19日	天気好
1673年	7月4日	寛文13年	5月20日	天曇
1673年	7月5日	寛文13年	5月21日	午の刻より雨降
1673年	7月6日	寛文13年	5月22日	天気好
1673年	7月7日	寛文13年	5月23日	天曇
1673年	7月8日	寛文13年	5月24日	天快晴 (5月14日付の5月9日京都火災の覚えあり)
1673年	7月9日	寛文13年	5月25日	晴天 未ノ下刻より雨降
1673年	7月10日	寛文13年	5月26日	晴天
1673年	7月11日	寛文13年	5月27日	申上刻雨降
1673年	7月12日	寛文13年	5月28日	雨天
1673年	7月13日	寛文13年	5月29日	少々雨降
1673年	7月14日	寛文13年	6月1日	天曇
1673年	7月15日	寛文13年	6月2日	雨天
1673年	7月16日	寛文13年	6月3日	天曇
1673年	7月17日	寛文13年	6月4日	天曇
1673年	7月18日	寛文13年	6月5日	なし (今日大鯛よりなすひ上ル)
1673年	7月19日	寛文13年	6月6日	天曇
1673年	7月20日	寛文13年	6月7日	晴天
1673年	7月21日	寛文13年	6月8日	晴天
1673年	7月22日	寛文13年	6月9日	晴天 (昨夜半に駒越組田代村で火災4軒)
1673年	7月23日	寛文13年	6月10日	晴天 (御奥様29日御逝去)
1673年	7月24日	寛文13年	6月11日	晴天
1673年	7月25日	寛文13年	6月12日	朝少々雨降 四つ時分より晴
1673年	7月26日	寛文13年	6月13日	晴天 (蝦夷一乱の覚え)
1673年	7月27日	寛文13年	6月14日	晴天
1673年	7月28日	寛文13年	6月15日	晴天
1673年	7月29日	寛文13年	6月16日	天快晴
1673年	7月30日	寛文13年	6月17日	昨夜より雨降 今日も暮迄大雨降
1673年	7月31日	寛文13年	6月18日	朝少々雨 巳の時分より晴 但夜二入い(亥)の下刻より雨
1673年	8月1日	寛文13年	6月19日	晴天
1673年	8月2日	寛文13年	6月20日	暖気 少々小雨
1673年	8月3日	寛文13年	6月21日	天快 暑
1673年	8月4日	寛文13年	6月22日	右(上の意)同断
1673年	8月5日	寛文13年	6月23日	右同断
1673年	8月6日	寛文13年	6月24日	明七半雷電頻二鳴 大雨降 暫時晴
1673年	8月7日	寛文13年	6月25日	昨夜中より大雨
1673年	8月8日	寛文13年	6月26日	朝之内ハ雨 五より晴
1673年	8月9日	寛文13年	6月27日	晴天
1673年	8月10日	寛文13年	6月28日	天気能 巳之刻少雨
1673年	8月11日	寛文13年	6月29日	天曇
1673年	8月12日	寛文13年	7月1日	天曇 時々少宛雨
1673年	8月13日	寛文13年	7月2日	天気能 (昨夜中御家中が中馬場(多分二の郭)で闇討ちされて死亡)
1673年	8月14日	寛文13年	7月3日	天気能
1673年	8月15日	寛文13年	7月4日	晴天 (闇討ち事件の犯人つかまる・自害を介錯しただけのこと・ぐずぐずしてから申し上げたので籠舎を申し渡す)
1673年	8月16日	寛文13年	7月5日	天気能
1673年	8月17日	寛文13年	7月6日	晴天 時々雨降 (昨晚亥の刻より雨降)
1673年	8月18日	寛文13年	7月7日	天快晴
1673年	8月19日	寛文13年	7月8日	天気能 九つ時分少雨降
1673年	8月20日	寛文13年	7月9日	晴天
1673年	8月21日	寛文13年	7月10日	少々雨降
1673年	8月22日	寛文13年	7月11日	晴天
1673年	8月23日	寛文13年	7月12日	天曇 未ノ中刻より大雨
1673年	8月24日	寛文13年	7月13日	晴天
1673年	8月25日	寛文13年	7月14日	晴天
1673年	8月26日	寛文13年	7月15日	天気能
1673年	8月27日	寛文13年	7月16日	天気能 (丑の下刻雨降)
1673年	8月28日	寛文13年	7月17日	天村曇 少々風 申ノ刻小雨 即時晴(2文字目はおそらく古文書らしい誤字:「村」は「気」くらいで理解できるが文字は「村」である)
1673年	8月29日	寛文13年	7月18日	五つ半時分より四つ迄大雨 それより時々降
1673年	8月30日	寛文13年	7月19日	昨夜雨降 今日天曇
1673年	8月31日	寛文13年	7月20日	晴天

1673年 9月1日 寛文13年 7月21日 天気能
 1673年 9月2日 寛文13年 7月22日 天快晴
 1673年 9月3日 寛文13年 7月23日 晴天 (草履取が不届きに付き成敗)
 1673年 9月4日 寛文13年 7月24日 辰の刻雨降
 1673年 9月5日 寛文13年 7月25日 天曇 少々雨降
 1673年 9月6日 寛文13年 7月26日 晴天
 1673年 9月7日 寛文13年 7月27日 天気能
 1673年 9月8日 寛文13年 7月28日 雨降
 1673年 9月9日 寛文13年 7月29日 昨夜中雨降 辰之下刻雷少々なる 雨降
 1673年 9月10日 寛文13年 7月30日 辰之刻より雨晴
 1673年 9月11日 寛文13年 8月1日 晴天
 1673年 9月12日 寛文13年 8月2日 朝六つ時分より夜中雨降
 1673年 9月13日 寛文13年 8月3日 晴天 (7月晦日岩木山参詣者が殺される・殺人者成敗)
 1673年 9月14日 寛文13年 8月4日 天気能 少々風吹
 1673年 9月15日 寛文13年 8月5日 天気能
 1673年 9月16日 寛文13年 8月6日 晴天 (初鮭上ル)
 1673年 9月17日 寛文13年 8月7日 晴天
 1673年 9月18日 寛文13年 8月8日 天気能 但朝少霜
 1673年 9月19日 寛文13年 8月9日 天気好 但寅の刻少雨降
 1673年 9月20日 寛文13年 8月10日 天天能
 1673年 9月21日 寛文13年 8月11日 昼前少々雨 それより晴 少々風吹
 1673年 9月22日 寛文13年 8月12日 天気好 風少々吹
 1673年 9月23日 寛文13年 8月13日 天天能
 1673年 9月24日 寛文13年 8月14日 天天能
 1673年 9月25日 寛文13年 8月15日 天天能
 1673年 9月26日 寛文13年 8月16日 天気好 少々曇 (亥の刻より雨降)
 1673年 9月27日 寛文13年 8月17日 雨降
 1673年 9月28日 寛文13年 8月18日 天気能
 1673年 9月29日 寛文13年 8月19日 明六つより天気曇 午の刻より少々雨降 夜中大雨
 1673年 9月30日 寛文13年 8月20日 晴天 (昨夜中雷舌つ鳴 大雨降)
 1673年 10月1日 寛文13年 8月21日 雨天
 1673年 10月2日 寛文13年 8月22日 天気能 但暮時分より雨降
 1673年 10月3日 寛文13年 8月23日 昨暮より今朝迄雨降 五つ過ぎより晴
 1673年 10月4日 寛文13年 8月24日 天気曇
 1673年 10月5日 寛文13年 8月25日 晴天
 1673年 10月6日 寛文13年 8月26日 八つ時分少雨降 晴にて又夜中少雨降
 1673年 10月7日 寛文13年 8月27日 天気能
 1673年 10月8日 寛文13年 8月28日 天気曇 時々雨降
 1673年 10月9日 寛文13年 8月29日 天気能 少曇
 1673年 10月10日 寛文13年 9月1日 雨天
 1673年 10月11日 寛文13年 9月2日 晴天
 1673年 10月12日 寛文13年 9月3日 天気能
 1673年 10月13日 寛文13年 9月4日 天気能
 1673年 10月14日 寛文13年 9月5日 天気能
 1673年 10月15日 寛文13年 9月6日 天快晴 (7月4日に自害の介錯と言ったご家中を成敗)
 1673年 10月16日 寛文13年 9月7日 昨夜七つ時分より雨降 (岩木山今日初めて雪降)
 1673年 10月17日 寛文13年 9月8日 雨 今朝四つ時分より晴
 1673年 10月18日 寛文13年 9月9日 天気能
 1673年 10月19日 寛文13年 9月10日 天気能
 1673年 10月20日 寛文13年 9月11日 天気曇
 1673年 10月21日 寛文13年 9月12日 昨夜中少々雨降 今朝五つ時分まで
 1673年 10月22日 寛文13年 9月13日 天気能
 1673年 10月23日 寛文13年 9月14日 天気能
 1673年 10月24日 寛文13年 9月15日 天気曇
 1673年 10月25日 寛文13年 9月16日 天気能
 1673年 10月26日 寛文13年 9月17日 天気能
 1673年 10月27日 寛文13年 9月18日 天気能
 1673年 10月28日 寛文13年 9月19日 天気能
 1673年 10月29日 寛文13年 9月20日 昨夜より少々雨降 同夜七つ時分より風終日吹
 1673年 10月30日 寛文13年 9月21日 天気能
 1673年 10月31日 寛文13年 9月22日 天気能

1673年 11月1日 寛文13年 9月23日 天曇 未ノ下刻雨
 1673年 11月2日 寛文13年 9月24日 天曇 戌ノ刻より雨降
 1673年 11月3日 寛文13年 9月25日 晴天 子之刻より雨 丑ノ刻晴
 1673年 11月4日 寛文13年 9月26日 未之刻より大雨
 1673年 11月5日 寛文13年 9月27日 昨未之刻より終日大雨
 1673年 11月6日 寛文13年 9月28日 天気能
 1673年 11月7日 寛文13年 9月29日 天気能
 1673年 11月8日 寛文13年 9月30日 昨亥之刻より夜中より大雨 申之下刻晴
 1673年 11月9日 寛文13年 10月1日 雨天
 1673年 11月10日 寛文13年 10月2日 四つ時分雨少降
 1673年 11月11日 寛文13年 10月3日 雨降
 1673年 11月12日 寛文13年 10月4日 雨降
 1673年 11月13日 寛文13年 10月5日 昨夜中より今日迄雨降
 1673年 11月14日 寛文13年 10月6日 昨夜より今日迄雨降
 1673年 11月15日 寛文13年 10月7日 少雨
 1673年 11月16日 寛文13年 10月8日 晴天
 1673年 11月17日 寛文13年 10月9日 晴天 朝大霜
 1673年 11月18日 寛文13年 10月10日 天気能 (御蔵より米盗み出し売ったもの町さらしの上はり付・越山でたち帰り斬罪・赫土(赤土)藩が管理していた特産の赤い土)盗みはり付・馬を盗み比内で売った者2人斬罪)
 1673年 11月19日 寛文13年 10月11日 天気能
 1673年 11月20日 寛文13年 10月12日 雨風
 1673年 11月21日 寛文13年 10月13日 雨天 (9月21日改元:寛文→延宝)
 1673年 11月22日 寛文13年 10月14日 昨夜より今日迄雨降
 1673年 11月23日 寛文13年 10月15日 朝雨降 午刻より晴天
 1673年 11月24日 寛文13年 10月16日 天気能
 1673年 11月25日 寛文13年 10月17日 昨夜雨降 今日雪降 風も吹
 1673年 11月26日 寛文13年 10月18日 雪降
 1673年 11月27日 寛文13年 10月19日 晴天
 1673年 11月28日 寛文13年 10月20日 晴天 (外浜より初鱈上がる)
 1673年 11月29日 寛文13年 10月21日 晴天
 1673年 11月30日 寛文13年 10月22日 天気能
 1673年 12月1日 寛文13年 10月23日 時々雨降 七つ時分暮迄大雨
 1673年 12月2日 寛文13年 10月24日 昨夜中少し雪降 今日も時々雪降
 1673年 12月3日 寛文13年 10月25日 少々雪降
 1673年 12月4日 寛文13年 10月26日 寒天 雪八寸ほど積 御堀昨今初而氷(寒天 雪8寸ほど積る お堀の水が初めて氷った)
 1673年 12月5日 寛文13年 10月27日 少々雪降 (御家中宅に入った盗人成敗・それを手引きしたご家中の家来をはり付)
 1673年 12月6日 寛文13年 10月28日 なし
 1673年 12月7日 寛文13年 10月29日 天気能
 1673年 12月8日 寛文13年 11月1日 晴天
 1673年 12月9日 寛文13年 11月2日 雨降
 1673年 12月10日 寛文13年 11月3日 昨夜中より少々雪降 (朔日藤崎組下俵升村でまさかりで殺人・斬罪)
 1673年 12月11日 寛文13年 11月4日 天気能
 1673年 12月12日 寛文13年 11月5日 天気好
 1673年 12月13日 寛文13年 11月6日 天気能
 1673年 12月14日 寛文13年 11月7日 昨夜中大風 雨降りにて雪不残消ル 今日も少々風吹 時々雪少し宛降り
 1673年 12月15日 寛文13年 11月8日 少々雪降
 1673年 12月16日 寛文13年 11月9日 天気好
 1673年 12月17日 寛文13年 11月10日 天気能
 1673年 12月18日 寛文13年 11月11日 雪少々降
 1673年 12月19日 寛文13年 11月12日 天気能
 1673年 12月20日 寛文13年 11月13日 雨降
 1673年 12月21日 寛文13年 11月14日 雪天
 1673年 12月22日 寛文13年 11月15日 昨夜中雪巻尺余降 今日天気能
 1673年 12月23日 寛文13年 11月16日 少々雨降
 1673年 12月24日 寛文13年 11月17日 昨暮より今朝まで雨降
 1673年 12月25日 寛文13年 11月18日 天気能
 1673年 12月26日 寛文13年 11月19日 天快晴
 1673年 12月27日 寛文13年 11月20日 天快晴
 1673年 12月28日 寛文13年 11月21日 少々雨
 1673年 12月29日 寛文13年 11月22日 少々雨降 (19日朝外浜下磯遣宮田村で3人切り殺し3人怪我させた事件あり・殺人犯自害)
 1673年 12月30日 寛文13年 11月23日 朝雨 申刻より少宛雪降
 1673年 12月31日 寛文13年 11月24日 昨晩より雪終日降

1674年 1月1日 寛文13年 11月25日 雪降 但忝尺程積ル
 1674年 1月2日 寛文13年 11月26日 少々雪降
 1674年 1月3日 寛文13年 11月27日 天気能
 1674年 1月4日 寛文13年 11月28日 天気能
 1674年 1月5日 寛文13年 11月29日 天快晴
 1674年 1月6日 寛文13年 11月30日 天快晴
 1674年 1月7日 寛文13年 12月1日 雪降
 1674年 1月8日 寛文13年 12月2日 天気能 少々雪降
 1674年 1月9日 寛文13年 12月3日 天快晴 (2日津軽野村で闇討ちあり)
 1674年 1月10日 寛文13年 12月4日 天気能
 1674年 1月11日 寛文13年 12月5日 今朝より九つ過ぎ迄雪降 八つ時分より雨降
 1674年 1月12日 寛文13年 12月6日 昨日より終夜今日迄雨降
 1674年 1月13日 寛文13年 12月7日 少々吹雪
 1674年 1月14日 寛文13年 12月8日 雪降
 1674年 1月15日 寛文13年 12月9日 雪降
 1674年 1月16日 寛文13年 12月10日 甚寒 雪降
 1674年 1月17日 寛文13年 12月11日 甚寒 雪降 風も少々吹
 1674年 1月18日 寛文13年 12月12日 天気能
 1674年 1月19日 寛文13年 12月13日 寒天 (暦配布の覚:久昌院様へ1本・御番所などへ)
 1674年 1月20日 寛文13年 12月14日 雪降
 1674年 1月21日 寛文13年 12月15日 雪吹
 1674年 1月22日 寛文13年 12月16日 天気能
 1674年 1月23日 寛文13年 12月17日 天気能
 1674年 1月24日 寛文13年 12月18日 天気能
 1674年 1月25日 寛文13年 12月19日 昨夜雪少降 今日も少々雪
 1674年 1月26日 寛文13年 12月20日 天気能
 1674年 1月27日 寛文13年 12月21日 天気能 時々雪少宛降 (昨夜雪忝尺余積、大鰐村の男碇関にてはり付)
 1674年 1月28日 寛文13年 12月22日 天気能 (蟹田町で殺人・亥之刻地震)
 1674年 1月29日 寛文13年 12月23日 雪吹
 1674年 1月30日 寛文13年 12月24日 天気好 但少々雪降
 1674年 1月31日 寛文13年 12月25日 天気能
 1674年 2月1日 寛文13年 12月26日 天気能
 1674年 2月2日 寛文13年 12月27日 天気能
 1674年 2月3日 寛文13年 12月28日 雪少々降
 1674年 2月4日 寛文13年 12月29日 雪降
 1674年 2月5日 寛文13年 12月30日 天気能
 1674年 2月6日 延宝2年 正月1日 天気能
 1674年 2月7日 延宝2年 正月2日 天気能
 1674年 2月8日 延宝2年 正月3日 時々雪降
 1674年 2月9日 延宝2年 正月4日 雪吹
 1674年 2月10日 延宝2年 正月5日 雪吹
 1674年 2月11日 延宝2年 正月6日 天気能 (昨夜中雪一尺五寸程降)
 1674年 2月12日 延宝2年 正月7日 天気能 (雪御花畑にてあつさ平地3尺9寸より4尺3寸・吹たまり6尺余)
 1674年 2月13日 延宝2年 正月8日 天曇
 1674年 2月14日 延宝2年 正月9日 雪降
 1674年 2月15日 延宝2年 正月10日 天気能
 1674年 2月16日 延宝2年 正月11日 余寒甚 (昨夜七つに地震)
 1674年 2月17日 延宝2年 正月12日 天気能
 1674年 2月18日 延宝2年 正月13日 天気能
 1674年 2月19日 延宝2年 正月14日 天快晴
 1674年 2月20日 延宝2年 正月15日 天気能 (昼より少々雪降)
 1674年 2月21日 延宝2年 正月16日 少々雪降
 1674年 2月22日 延宝2年 正月17日 雪降
 1674年 2月23日 延宝2年 正月18日 天気能 寒
 1674年 2月24日 延宝2年 正月19日 天気能
 1674年 2月25日 延宝2年 正月20日 天気能
 1674年 2月26日 延宝2年 正月21日 少々雪降
 1674年 2月27日 延宝2年 正月22日 少々雪降
 1674年 2月28日 延宝2年 正月23日 雪降

1674年 3月1日 延宝2年 正月24日 少々雪降
 1674年 3月2日 延宝2年 正月25日 天気能
 1674年 3月3日 延宝2年 正月26日 天気能
 1674年 3月4日 延宝2年 正月27日 天気能
 1674年 3月5日 延宝2年 正月28日 天気能
 1674年 3月6日 延宝2年 正月29日 天気能
 1674年 3月7日 延宝2年 正月30日 少々雪降
 1674年 3月8日 延宝2年 2月1日 雪降
 1674年 3月9日 延宝2年 2月2日 天気能 (昨年の酒1具に付き2匁)
 1674年 3月10日 延宝2年 2月3日 天快晴
 1674年 3月11日 延宝2年 2月4日 時々雪降
 1674年 3月12日 延宝2年 2月5日 天快晴
 1674年 3月13日 延宝2年 2月6日 天快晴
 1674年 3月14日 延宝2年 2月7日 天気能
 1674年 3月15日 延宝2年 2月8日 天気能
 1674年 3月16日 延宝2年 2月9日 天快晴
 1674年 3月17日 延宝2年 2月10日 天気能
 1674年 3月18日 延宝2年 2月11日 天気能
 1674年 3月19日 延宝2年 2月12日 天気能
 1674年 3月20日 延宝2年 2月13日 天気能
 1674年 3月21日 延宝2年 2月14日 天曇 (午之刻より雨降)
 1674年 3月22日 延宝2年 2月15日 天気能
 1674年 3月23日 延宝2年 2月16日 天気能
 1674年 3月24日 延宝2年 2月17日 天気好
 1674年 3月25日 延宝2年 2月18日 昨夜半より雨降
 1674年 3月26日 延宝2年 2月19日 天気能 (午之刻地震)
 1674年 3月27日 延宝2年 2月20日 午之刻より雨降
 1674年 3月28日 延宝2年 2月21日 昨夜半より吹雪
 1674年 3月29日 延宝2年 2月22日 曇時々雨降
 1674年 3月30日 延宝2年 2月23日 昨酉之刻より夜中大風雨 今日も少々風雨 (洪水・所々の橋柱流れる、今夜大道寺宇左衛門死去)
 1674年 3月31日 延宝2年 2月24日 少々雪降
 1674年 4月1日 延宝2年 2月25日 朝天気能 未下刻より吹雪
 1674年 4月2日 延宝2年 2月26日 昨夜中吹雪 但三寸程雪降 今程迄吹雪不止
 1674年 4月3日 延宝2年 2月27日 天気能
 1674年 4月4日 延宝2年 2月28日 天快晴
 1674年 4月5日 延宝2年 2月29日 天気能
 1674年 4月6日 延宝2年 3月1日 朝雨少降 未の刻より雪少々降
 1674年 4月7日 延宝2年 3月2日 天快晴
 1674年 4月8日 延宝2年 3月3日 天曇 申の刻より雨降
 1674年 4月9日 延宝2年 3月4日 天気能
 1674年 4月10日 延宝2年 3月5日 天気能
 1674年 4月11日 延宝2年 3月6日 昨夜半過より今朝迄雨降
 1674年 4月12日 延宝2年 3月7日 天曇
 1674年 4月13日 延宝2年 3月8日 天快晴 但昨夜雪少降
 1674年 4月14日 延宝2年 3月9日 天気好
 1674年 4月15日 延宝2年 3月10日 天気能 辰之后刻大地震
 1674年 4月16日 延宝2年 3月11日 終日小雨
 1674年 4月17日 延宝2年 3月12日 天快晴
 1674年 4月18日 延宝2年 3月13日 天気能
 1674年 4月19日 延宝2年 3月14日 天気能
 1674年 4月20日 延宝2年 3月15日 雨降
 1674年 4月21日 延宝2年 3月16日 天気能 少々風吹
 1674年 4月22日 延宝2年 3月17日 天気能
 1674年 4月23日 延宝2年 3月18日 天気能
 1674年 4月24日 延宝2年 3月19日 少風雨
 1674年 4月25日 延宝2年 3月20日 天気能
 1674年 4月26日 延宝2年 3月21日 天気能
 1674年 4月27日 延宝2年 3月22日 天気能 (15日広須村で火災・米と馬4疋焼失、同晩西之関村(深浦町関)で火災13軒焼失)
 1674年 4月28日 延宝2年 3月23日 天暖気 (同晩深浦町で火災12軒焼失)
 1674年 4月29日 延宝2年 3月24日 少々雨降 (同日柏木村で火災2軒焼失)
 1674年 4月30日 延宝2年 3月25日 天気能 (同晩金木村で火災14軒)

1674年	5月1日	延宝2年	3月26日	晴天
1674年	5月2日	延宝2年	3月27日	天気能 (同日砂持庭村で御百姓家火災1軒)
1674年	5月3日	延宝2年	3月28日	天気曇 少々雨降 (当春雪遅く……)
1674年	5月4日	延宝2年	3月29日	雨降
1674年	5月5日	延宝2年	3月30日	天気能
1674年	5月6日	延宝2年	4月1日	天気能 霜降
1674年	5月7日	延宝2年	4月2日	天気能 (西根東根ハ半分程、梅の花もまれに咲き・桜などは近日咲く様に見えない)
1674年	5月8日	延宝2年	4月3日	天気能
1674年	5月9日	延宝2年	4月4日	天気能
1674年	5月10日	延宝2年	4月5日	天気能 (同日桜庭村で御百姓家火災1軒)
1674年	5月11日	延宝2年	4月6日	天気能
1674年	5月12日	延宝2年	4月7日	雨降
1674年	5月13日	延宝2年	4月8日	天気能
1674年	5月14日	延宝2年	4月9日	天気能
1674年	5月15日	延宝2年	4月10日	少々雨降 (6日晚町医者自害、同日十川村で火災1軒)
1674年	5月16日	延宝2年	4月11日	雨降 (昨10日晚桜庭村で百姓家火災1軒)
1674年	5月17日	延宝2年	4月12日	天気能
1674年	5月18日	延宝2年	4月13日	雨天 (昨夜中より今日迄雨降 昨寅之刻雷)
1674年	5月19日	延宝2年	4月14日	天気能
1674年	5月20日	延宝2年	4月15日	時々雨降
1674年	5月21日	延宝2年	4月16日	天快晴
1674年	5月22日	延宝2年	4月17日	天気能
1674年	5月23日	延宝2年	4月18日	天気能
1674年	5月24日	延宝2年	4月19日	天気能
1674年	5月25日	延宝2年	4月20日	天気能 少々風
1674年	5月26日	延宝2年	4月21日	天気能
1674年	5月27日	延宝2年	4月22日	天気能
1674年	5月28日	延宝2年	4月23日	天気能 (戌ノ刻地震)
1674年	5月29日	延宝2年	4月24日	昨夜丑ノ刻今朝辰ノ刻雨降 夫より晴
1674年	5月30日	延宝2年	4月25日	天気能
1674年	5月31日	延宝2年	4月26日	天気能
1674年	6月1日	延宝2年	4月27日	天気能
1674年	6月2日	延宝2年	4月28日	天気能
1674年	6月3日	延宝2年	4月29日	天気能
1674年	6月4日	延宝2年	5月1日	天快晴 (御家中の弟が義姉を伐殺し自害)
1674年	6月5日	延宝2年	5月2日	天気能
1674年	6月6日	延宝2年	5月3日	天快晴 (先月28日久保田で火災・36・7丁焼失とのこと)
1674年	6月7日	延宝2年	5月4日	昨申之刻今日迄終日雨
1674年	6月8日	延宝2年	5月5日	天快 少々風吹
1674年	6月9日	延宝2年	5月6日	天快晴
1674年	6月10日	延宝2年	5月7日	天快晴 (5日之晩立石村で火災1軒)
1674年	6月11日	延宝2年	5月8日	天気能 (戌上刻より夜中大雨降 雷)
1674年	6月12日	延宝2年	5月9日	天気能
1674年	6月13日	延宝2年	5月10日	天気能
1674年	6月14日	延宝2年	5月11日	雨九ツ六ツ両度ニ(虫虫虫)二晴、八ツ前二少地震
1674年	6月15日	延宝2年	5月12日	天気能
1674年	6月16日	延宝2年	5月13日	朝雨降 巳ノ刻より晴天
1674年	6月17日	延宝2年	5月14日	天気能
1674年	6月18日	延宝2年	5月15日	午之下刻雷少雨も(虫)降晴 (虫)夜子ノ刻より雨降 卯之下刻(虫)
1674年	6月19日	延宝2年	5月16日	天気能
1674年	6月20日	延宝2年	5月17日	天気能
1674年	6月21日	延宝2年	5月18日	未ノ刻より大雨降 雷
1674年	6月22日	延宝2年	5月19日	天気能
1674年	6月23日	延宝2年	5月20日	時々雨降 雷仕
1674年	6月24日	延宝2年	5月21日	天気能 (大行院に雨乞を申渡す)
1674年	6月25日	延宝2年	5月22日	天気能
1674年	6月26日	延宝2年	5月23日	晴天
1674年	6月27日	延宝2年	5月24日	雨天 (巳之刻より小雨 夫より段々強雨降、今月19日夜田名部の内河内と申す所で火災・200軒ほど焼失とか)
1674年	6月28日	延宝2年	5月25日	雨天 (卯之刻より少々雨降 午之刻晴)
1674年	6月29日	延宝2年	5月26日	天気能
1674年	6月30日	延宝2年	5月27日	天曇

1674年	7月1日	延宝2年	5月28日	晴天
1674年	7月2日	延宝2年	5月29日	午之刻少雨降 (五所村で女縊死)
1674年	7月3日	延宝2年	5月30日	天気能 (報恩寺・本行寺に雨請申付ける)
1674年	7月4日	延宝2年	6月1日	天気能 少々風 (申之中刻少地震)
1674年	7月5日	延宝2年	6月2日	午之下刻少雨
1674年	7月6日	延宝2年	6月3日	天気能
1674年	7月7日	延宝2年	6月4日	天気能 未之刻少雨降
1674年	7月8日	延宝2年	6月5日	天気能 (伊勢堂神主に雨乞申付)
1674年	7月9日	延宝2年	6月6日	午之下刻より雷雨降 則刻晴 夜二入時々雨降
1674年	7月10日	延宝2年	6月7日	朝少雨降
1674年	7月11日	延宝2年	6月8日	天曇 申の刻雨降 雷
1674年	7月12日	延宝2年	6月9日	天気能 少々風
1674年	7月13日	延宝2年	6月10日	天気能
1674年	7月14日	延宝2年	6月11日	昨申之下刻雨 戌之刻大雨今朝迄降 辰之刻晴 午之刻より雨降
1674年	7月15日	延宝2年	6月12日	晴天
1674年	7月16日	延宝2年	6月13日	天快晴
1674年	7月17日	延宝2年	6月14日	なし (殿様4日二江戸発駕)
1674年	7月18日	延宝2年	6月15日	天気能 風吹
1674年	7月19日	延宝2年	6月16日	天気能
1674年	7月20日	延宝2年	6月17日	天気能
1674年	7月21日	延宝2年	6月18日	天気能
1674年	7月22日	延宝2年	6月19日	天気能
1674年	7月23日	延宝2年	6月20日	天気能
1674年	7月24日	延宝2年	6月21日	天気能 但御着城以後午后刻より大雨 雷 (殿様6月4日江戸発巳の上刻御着城:酒田から船で)
1674年	7月25日	延宝2年	6月22日	昨夜中より今朝辰刻まで雨降
1674年	7月26日	延宝2年	6月23日	昨夜中より今朝迄雨降
1674年	7月27日	延宝2年	6月24日	巳刻小雨 晴 暮テ電 丑刻雷大雨降
1674年	7月28日	延宝2年	6月25日	夜明雷雨 辰刻より天快晴
1674年	7月29日	延宝2年	6月26日	晴天
1674年	7月30日	延宝2年	6月27日	天気能
1674年	7月31日	延宝2年	6月28日	天気能
1674年	8月1日	延宝2年	6月29日	午刻少雨止 戌より子刻迄雨降
1674年	8月2日	延宝2年	7月1日	昨酉后刻より雨降 丑之刻晴
1674年	8月3日	延宝2年	7月2日	天気能
1674年	8月4日	延宝2年	7月3日	雨天
1674年	8月5日	延宝2年	7月4日	天気能
1674年	8月6日	延宝2年	7月5日	天気能 未刻少雨降
1674年	8月7日	延宝2年	7月6日	天気能 午刻雷 大雨降
1674年	8月8日	延宝2年	7月7日	天気能
1674年	8月9日	延宝2年	7月8日	雨天 少地震
1674年	8月10日	延宝2年	7月9日	天快晴
1674年	8月11日	延宝2年	7月10日	天気能
1674年	8月12日	延宝2年	7月11日	天快晴
1674年	8月13日	延宝2年	7月12日	天快晴
1674年	8月14日	延宝2年	7月13日	天快晴
1674年	8月15日	延宝2年	7月14日	雨天
1674年	8月16日	延宝2年	7月15日	昨日より打続雨天
1674年	8月17日	延宝2年	7月16日	天快晴
1674年	8月18日	延宝2年	7月17日	天気好
1674年	8月19日	延宝2年	7月18日	大雨 雷
1674年	8月20日	延宝2年	7月19日	天気能
1674年	8月21日	延宝2年	7月20日	天快晴
1674年	8月22日	延宝2年	7月21日	天気能
1674年	8月23日	延宝2年	7月22日	天気能
1674年	8月24日	延宝2年	7月23日	天気能 昨夜中八時折雨降
1674年	8月25日	延宝2年	7月24日	天気能
1674年	8月26日	延宝2年	7月25日	昨子之刻より雷雨
1674年	8月27日	延宝2年	7月26日	天気能
1674年	8月28日	延宝2年	7月27日	終日天快晴 戌后刻二少雨降
1674年	8月29日	延宝2年	7月28日	大雨降
1674年	8月30日	延宝2年	7月29日	昨日より今日終日大雨 洪水
1674年	8月31日	延宝2年	8月1日	天気能 (御書院で相撲御高覧)

1674年 9月1日 延宝2年 8月2日 天快晴 少風
 1674年 9月2日 延宝2年 8月3日 時折雨降
 1674年 9月3日 延宝2年 8月4日 天曇 (駒越派で火災・火元入寺・赦免)
 1674年 9月4日 延宝2年 8月5日 天気能
 1674年 9月5日 延宝2年 8月6日 天気能 昨今少々寒風吹 (頃日打続東風・風止祭を伊勢神主に申付)
 1674年 9月6日 延宝2年 8月7日 朝六つより雨 五つより晴 終日曇
 1674年 9月7日 延宝2年 8月8日 天気能
 1674年 9月8日 延宝2年 8月9日 天気能 (御家中斬罪)
 1674年 9月9日 延宝2年 8月10日 昨夜より雨降
 1674年 9月10日 延宝2年 8月11日 昨日より打続少宛雨降 今日午之刻快晴
 1674年 9月11日 延宝2年 8月12日 天気能
 1674年 9月12日 延宝2年 8月13日 天気能
 1674年 9月13日 延宝2年 8月14日 天気能
 1674年 9月14日 延宝2年 8月15日 天気能
 1674年 9月15日 延宝2年 8月16日 天曇 少々風 午之刻より風止 雨終日夜中降
 1674年 9月16日 延宝2年 8月17日 昨日より打続雨天
 1674年 9月17日 延宝2年 8月18日 天気能 但午ノ后刻より大風吹出テ申ノ下刻ニ少々しつまる (今日ハ近年覚無之大風にて御屋形屋根大分吹き候二付……)
 1674年 9月18日 延宝2年 8月19日 天気能
 1674年 9月19日 延宝2年 8月20日 天気能 (御家中の家来成敗)
 1674年 9月20日 延宝2年 8月21日 昨夜より今日終日雨降 (18日の大風で方々破損・補修奉行を6人命ず)
 1674年 9月21日 延宝2年 8月22日 天快晴 (初鮭1尺青森より上がる)
 1674年 9月22日 延宝2年 8月23日 天気能
 1674年 9月23日 延宝2年 8月24日 巳之刻より雨降
 1674年 9月24日 延宝2年 8月25日 風 大雨降
 1674年 9月25日 延宝2年 8月26日 辰后刻より時折雨降 今日ひかんに入
 1674年 9月26日 延宝2年 8月27日 天快晴
 1674年 9月27日 延宝2年 8月28日 天気能 但昼時分少雨天 早速晴
 1674年 9月28日 延宝2年 8月29日 天気能
 1674年 9月29日 延宝2年 8月30日 天気能
 1674年 9月30日 延宝2年 9月1日 卯刻より少宛時折雨降
 1674年 10月1日 延宝2年 9月2日 天気能
 1674年 10月2日 延宝2年 9月3日 天快晴
 1674年 10月3日 延宝2年 9月4日 天気能
 1674年 10月4日 延宝2年 9月5日 朝之内少雨 早速晴
 1674年 10月5日 延宝2年 9月6日 天気能
 1674年 10月6日 延宝2年 9月7日 天気能 (朝五ツ過地震)
 1674年 10月7日 延宝2年 9月8日 明六つ過より雨天
 1674年 10月8日 延宝2年 9月9日 天気能
 1674年 10月9日 延宝2年 9月10日 天気能
 1674年 10月10日 延宝2年 9月11日 天快晴
 1674年 10月11日 延宝2年 9月12日 天気能
 1674年 10月12日 延宝2年 9月13日 天快晴
 1674年 10月13日 延宝2年 9月14日 天キ快晴 但昨夜少々雨 今(虫:朝かも)寅ノ下刻ニも少降ル
 1674年 10月14日 延宝2年 9月15日 時々雨降
 1674年 10月15日 延宝2年 9月16日 雨天 (嵩今朝山三ヶ一初雪降)
 1674年 10月16日 延宝2年 9月17日 天気快晴
 1674年 10月17日 延宝2年 9月18日 昨夜より雨降 今日も終日雨天
 1674年 10月18日 延宝2年 9月19日 天気曇 夜二入雨少々降
 1674年 10月19日 延宝2年 9月20日 卯ノ刻雨少降 昨夜も少降
 1674年 10月20日 延宝2年 9月21日 天気能
 1674年 10月21日 延宝2年 9月22日 天気晴
 1674年 10月22日 延宝2年 9月23日 天気能
 1674年 10月23日 延宝2年 9月24日 天気能
 1674年 10月24日 延宝2年 9月25日 天快晴
 1674年 10月25日 延宝2年 9月26日 天気快晴
 1674年 10月26日 延宝2年 9月27日 昨夜雷雨降 今朝晴
 1674年 10月27日 延宝2年 9月28日 天気能
 1674年 10月28日 延宝2年 9月29日 午刻より未之后刻迄之内少雨 夫より晴
 1674年 10月29日 延宝2年 10月1日 天快晴
 1674年 10月30日 延宝2年 10月2日 天気快晴
 1674年 10月31日 延宝2年 10月3日 丑之刻近年之大雷雨降 今朝晴ル (9月24日夜戌の刻外濱ざる石漁師派で火災・10軒焼失)

1674年 11月1日	延宝2年	10月4日	天気能
1674年 11月2日	延宝2年	10月5日	天気能
1674年 11月3日	延宝2年	10月6日	天気能 但午之刻より雨天
1674年 11月4日	延宝2年	10月7日	雪少々降
1674年 11月5日	延宝2年	10月8日	昨晚より今日暮迄終日初雪 五寸程降
1674年 11月6日	延宝2年	10月9日	天気能 夜二入雨降
1674年 11月7日	延宝2年	10月10日	天気能
1674年 11月8日	延宝2年	10月11日	天気能
1674年 11月9日	延宝2年	10月12日	天気快晴
1674年 11月10日	延宝2年	10月13日	天気曇
1674年 11月11日	延宝2年	10月14日	昨夜中より雨降 今日少々雪降
1674年 11月12日	延宝2年	10月15日	雨降
1674年 11月13日	延宝2年	10月16日	天気曇 時折丸雪少宛降
1674年 11月14日	延宝2年	10月17日	八過より雪降
1674年 11月15日	延宝2年	10月18日	天気能 (御能・狂言)
1674年 11月16日	延宝2年	10月19日	天気晴 (各寺が木を御城に差上げる・いふき・御はき・於ツコ(イチイ)・かうやまき(コウヤマキ)・うらしろもみ・ひの木など)
1674年 11月17日	延宝2年	10月20日	天気能
1674年 11月18日	延宝2年	10月21日	天気能
1674年 11月19日	延宝2年	10月22日	天気能 但暮六つより少々雨天 (西之濱金井ヶ沢より漁師共之網にかかり申由にて亀(1尺3寸幅1尺)差上)
1674年 11月20日	延宝2年	10月23日	昨夜より今日巳の刻迄雨 雪も少々降 (17日久保田で火事・町数8丁程・寺8・米蔵3など焼失、斬罪3人・はり徒け1人)
1674年 11月21日	延宝2年	10月24日	天気能
1674年 11月22日	延宝2年	10月25日	天気能 戌刻少雨降
1674年 11月23日	延宝2年	10月26日	天快晴
1674年 11月24日	延宝2年	10月27日	天気能 (ためし切の結果あり)
1674年 11月25日	延宝2年	10月28日	昨夜中雨降 今朝晴 少々風吹
1674年 11月26日	延宝2年	10月29日	天気能
1674年 11月27日	延宝2年	10月30日	雨天
1674年 11月28日	延宝2年	11月1日	昼まで雨天 (西ノ濱漁師共より鱒5つ指上げる)
1674年 11月29日	延宝2年	11月2日	少々雨降 (御能・狂言、初の舞台(使用)を仰せ付けられる)
1674年 11月30日	延宝2年	11月3日	時折雪少宛降
1674年 12月1日	延宝2年	11月4日	天快晴
1674年 12月2日	延宝2年	11月5日	天気能 但酉ノ下刻より雨天
1674年 12月3日	延宝2年	11月6日	天気能
1674年 12月4日	延宝2年	11月7日	天気能
1674年 12月5日	延宝2年	11月8日	天気能 酉下刻少雨降
1674年 12月6日	延宝2年	11月9日	天気能
1674年 12月7日	延宝2年	11月10日	天気曇 但四つ時分より雨天 (外濱より今日初鱒1尺上ル)
1674年 12月8日	延宝2年	11月11日	天気能 戌之刻より少々雨
1674年 12月9日	延宝2年	11月12日	雪降 (狂言の演目に「ぶず」「花ばい」に濁点が見える)
1674年 12月10日	延宝2年	11月13日	天気能
1674年 12月11日	延宝2年	11月14日	天気能
1674年 12月12日	延宝2年	11月15日	天曇 但巳ノ刻より少々雨天
1674年 12月13日	延宝2年	11月16日	天気曇
1674年 12月14日	延宝2年	11月17日	天気能 未之刻より雨降
1674年 12月15日	延宝2年	11月18日	雪降
1674年 12月16日	延宝2年	11月19日	雪降
1674年 12月17日	延宝2年	11月20日	天気曇 おりおり雪少々降
1674年 12月18日	延宝2年	11月21日	天気能 (悪戸等で追鳥狩・きじ92山鳥3・狐5つ狼3つ取る)
1674年 12月19日	延宝2年	11月22日	天気能
1674年 12月20日	延宝2年	11月23日	天気能
1674年 12月21日	延宝2年	11月24日	天気快晴
1674年 12月22日	延宝2年	11月25日	天気能
1674年 12月23日	延宝2年	11月26日	昨夜より雨降
1674年 12月24日	延宝2年	11月27日	天気快晴 (国上寺の脇立三尊ながら出汗)
1674年 12月25日	延宝2年	11月28日	天気能
1674年 12月26日	延宝2年	11月29日	天気能
1674年 12月27日	延宝2年	12月1日	天気曇ル
1674年 12月28日	延宝2年	12月2日	天気能
1674年 12月29日	延宝2年	12月3日	天気好
1674年 12月30日	延宝2年	12月4日	天気能
1674年 12月31日	延宝2年	12月5日	天気能 (辰之刻少地震)

1675年	1月1日	延宝2年	12月6日	天気能	卯之刻地震(頭二物をかぶらせ……笠かふり可申候:というような濁点の記述がある)
1675年	1月2日	延宝2年	12月7日	天気能	
1675年	1月3日	延宝2年	12月8日	天気能	酉刻より夜中雨降
1675年	1月4日	延宝2年	12月9日	天気能	
1675年	1月5日	延宝2年	12月10日	天気能	(御曆を配布する)
1675年	1月6日	延宝2年	12月11日	雪降	
1675年	1月7日	延宝2年	12月12日	雪降	
1675年	1月8日	延宝2年	12月13日	雪降	昨夜より打続雪降
1675年	1月9日	延宝2年	12月14日	雪天	少々雪天
1675年	1月10日	延宝2年	12月15日	雪降	(新酒作り停止)
1675年	1月11日	延宝2年	12月16日	天気能	(今14日晚油川村に男病者あり)
1675年	1月12日	延宝2年	12月17日	天気能	
1675年	1月13日	延宝2年	12月18日	天気能	夜入雪降
1675年	1月14日	延宝2年	12月19日	雪降	折々雪降
1675年	1月15日	延宝2年	12月20日	雪降	雪少々降
1675年	1月16日	延宝2年	12月21日	雪降	少々雪降
1675年	1月17日	延宝2年	12月22日	天気能	
1675年	1月18日	延宝2年	12月23日	雪吹	
1675年	1月19日	延宝2年	12月24日	雪天	少々雪
1675年	1月20日	延宝2年	12月25日	天気能	
1675年	1月21日	延宝2年	12月26日	天気能	
1675年	1月22日	延宝2年	12月27日	雪降	少々雪降
1675年	1月23日	延宝2年	12月28日	雪降	少々雪降
1675年	1月24日	延宝2年	12月29日	天気能	
1675年	1月25日	延宝2年	12月30日	天気能	但昼過より少々雪
1675年	1月26日	延宝3年	正月1日	快天	
1675年	1月27日	延宝3年	正月2日	天気能	
1675年	1月28日	延宝3年	正月3日	天気能	
1675年	1月29日	延宝3年	正月4日	雪降	(辰ノ刻ニ地震)
1675年	1月30日	延宝3年	正月5日	快晴	天気快晴
1675年	1月31日	延宝3年	正月6日	天気能	
1675年	2月1日	延宝3年	正月7日	雪降	
1675年	2月2日	延宝3年	正月8日	雪降	
1675年	2月3日	延宝3年	正月9日	雪降	
1675年	2月4日	延宝3年	正月10日	雪降	雪少々降
1675年	2月5日	延宝3年	正月11日	天気能	
1675年	2月6日	延宝3年	正月12日	天気能	(先年ハ11月朔日より晦日までと正月12日より晦日まで火鉢・正月朔日より11日には火鉢なし)
1675年	2月7日	延宝3年	正月13日	天気能	
1675年	2月8日	延宝3年	正月14日	雪降	(虫虫:時折か)雪降(境関村舟小屋で乞食死亡)
1675年	2月9日	延宝3年	正月15日	雪降	雪少々降
1675年	2月10日	延宝3年	正月16日	雪降	少々雪降
1675年	2月11日	延宝3年	正月17日	雪降	時々晴
1675年	2月12日	延宝3年	正月18日	雪降	(御能・狂言)
1675年	2月13日	延宝3年	正月19日	雪天	
1675年	2月14日	延宝3年	正月20日	雪降	
1675年	2月15日	延宝3年	正月21日	天気能	
1675年	2月16日	延宝3年	正月22日	吹雪	
1675年	2月17日	延宝3年	正月23日	雪降	(御家中俵子切米は春・7月・暮の3ヶ度ニ相渡すよう勘定奉行に申し渡す)
1675年	2月18日	延宝3年	正月24日	天気能	
1675年	2月19日	延宝3年	正月25日	天気能	
1675年	2月20日	延宝3年	正月26日	少雨降	
1675年	2月21日	延宝3年	正月27日	雪降	少々雪降
1675年	2月22日	延宝3年	正月28日	雪降	
1675年	2月23日	延宝3年	正月29日	天気能	
1675年	2月24日	延宝3年	正月30日	吹雪	
1675年	2月25日	延宝3年	2月1日	晴	(よう:晴に相当する)
1675年	2月26日	延宝3年	2月2日	晴	(よう:晴に相当する)
1675年	2月27日	延宝3年	2月3日	曇	
1675年	2月28日	延宝3年	2月4日	曇	

延宝2年12月の1ヶ月間における濁音の記述:濁音を濁点で記述した例(いづれ・きじ・せつぶん・かぶらせ等)10回、濁音を濁点なしに記述した例(かふる・うなき・まいあかり・御かさり等)38回、現在は濁音だが当時の発音が判らない例(あんどん:行灯か)2回であった、この時点までは半濁点の記述がない。

1675年	3月1日	延宝3年	2月5日	曇
1675年	3月2日	延宝3年	2月6日	なし
1675年	3月3日	延宝3年	2月7日	曇
1675年	3月4日	延宝3年	2月8日	曇
1675年	3月5日	延宝3年	2月9日	曇
1675年	3月6日	延宝3年	2月10日	曇
1675年	3月7日	延宝3年	2月11日	曇
1675年	3月8日	延宝3年	2月12日	曇
1675年	3月9日	延宝3年	2月13日	曇 (比内村の者本榎村で米蔵破り10俵盗出し1人磔・武家知行の御印盗出し3人磔)
1675年	3月10日	延宝3年	2月14日	曇
1675年	3月11日	延宝3年	2月15日	曇
1675年	3月12日	延宝3年	2月16日	曇 亥刻より雨
1675年	3月13日	延宝3年	2月17日	雨 巳下より曇
1675年	3月14日	延宝3年	2月18日	曇
1675年	3月15日	延宝3年	2月19日	曇
1675年	3月16日	延宝3年	2月20日	巳刻雨 及未刻(巳の刻雨 未の刻に及ぶ:これまでは原文の雰囲気大切にしてきたが、以下左のように書き下す)
1675年	3月17日	延宝3年	2月21日	曇 (御能・狂言)
1675年	3月18日	延宝3年	2月22日	曇
1675年	3月19日	延宝3年	2月23日	雪
1675年	3月20日	延宝3年	2月24日	曇
1675年	3月21日	延宝3年	2月25日	曇
1675年	3月22日	延宝3年	2月26日	曇
1675年	3月23日	延宝3年	2月27日	曇 (御能・狂言、津軽坂村で火事・17軒焼失)
1675年	3月24日	延宝3年	2月28日	曇 (御拍子)
1675年	3月25日	延宝3年	2月29日	曇
1675年	3月26日	延宝3年	3月1日	曇
1675年	3月27日	延宝3年	3月2日	雨
1675年	3月28日	延宝3年	3月3日	曇
1675年	3月29日	延宝3年	3月4日	曇 (御能・狂言)
1675年	3月30日	延宝3年	3月5日	曇 (江戸柳原土手下に飢餓之乞食1300人計(ばかり:斗と書く場合も)・頃日は5人・7人計餓死)
1675年	3月31日	延宝3年	3月6日	曇 しゅう(雨冠に衆議院の衆のような文字で「小雨」に相当) (御能・狂言)
1675年	4月1日	延宝3年	3月7日	雨 (今4日外濱後湯村で火災7軒・馬等焼失、同5日同遣内真辺村で火災5軒)
1675年	4月2日	延宝3年	3月8日	雨
1675年	4月3日	延宝3年	3月9日	曇
1675年	4月4日	延宝3年	3月10日	曇
1675年	4月5日	延宝3年	3月11日	曇 しゅう
1675年	4月6日	延宝3年	3月12日	しゅう
1675年	4月7日	延宝3年	3月13日	曇 雨
1675年	4月8日	延宝3年	3月14日	曇
1675年	4月9日	延宝3年	3月15日	雨 (卯下刻御発駕)
1675年	4月10日	延宝3年	3月16日	曇
1675年	4月11日	延宝3年	3月17日	曇 風 (綴子で大風吹続舟渡止まり逗留)
1675年	4月12日	延宝3年	3月18日	曇
1675年	4月13日	延宝3年	3月19日	曇
1675年	4月14日	延宝3年	3月20日	曇
1675年	4月15日	延宝3年	3月21日	曇
1675年	4月16日	延宝3年	3月22日	曇
1675年	4月17日	延宝3年	3月23日	曇
1675年	4月18日	延宝3年	3月24日	曇
1675年	4月19日	延宝3年	3月25日	曇
1675年	4月20日	延宝3年	3月26日	曇 (辰中刻より雨 申下刻岩木河洪水・亥下刻雨変風 丑刻南山鳴動如地震)
1675年	4月21日	延宝3年	3月27日	曇 風
1675年	4月22日	延宝3年	3月28日	曇 霞 (昨夜鯨ヶ沢下町で火災・前戸村の方に55軒焼失)
1675年	4月23日	延宝3年	3月29日	曇 雨
1675年	4月24日	延宝3年	3月30日	曇 雨
1675年	4月25日	延宝3年	4月1日	曇 (外濱蟹田で去29日火災20軒焼失)
1675年	4月26日	延宝3年	4月2日	曇
1675年	4月27日	延宝3年	4月3日	曇
1675年	4月28日	延宝3年	4月4日	曇
1675年	4月29日	延宝3年	4月5日	曇
1675年	4月30日	延宝3年	4月6日	曇

1675年	5月1日	延宝3年	4月7日	陽 雨	
1675年	5月2日	延宝3年	4月8日	陽	下から続く 飢饉に付2月22日大雪降餓死者4千人余とのこと、弘前の町の値段は1匁に2升3合)
1675年	5月3日	延宝3年	4月9日	晦(あん:曇に相当する)	雨 (米値段銀1匁に付き:久保田2升2合・庄内1升5合・村上9合但し50文銭・長岡及び柴田(新発田か)1升1合但し60文銭・高田1升3合、柴田御領分
1675年	5月4日	延宝3年	4月10日	晦 雨	上に続く
1675年	5月5日	延宝3年	4月11日	陽	
1675年	5月6日	延宝3年	4月12日	陽	
1675年	5月7日	延宝3年	4月13日	陽	
1675年	5月8日	延宝3年	4月14日	陽 風	
1675年	5月9日	延宝3年	4月15日	陽 霜	
1675年	5月10日	延宝3年	4月16日	陽 霜	
1675年	5月11日	延宝3年	4月17日	陽 霜	
1675年	5月12日	延宝3年	4月18日	霞	
1675年	5月13日	延宝3年	4月19日	晦	
1675年	5月14日	延宝3年	4月20日	陽	
1675年	5月15日	延宝3年	4月21日	しゅう	
1675年	5月16日	延宝3年	4月22日	晦 しゅう	
1675年	5月17日	延宝3年	4月23日	陽	
1675年	5月18日	延宝3年	4月24日	陽 風 しゅう	(19日にどこかで御家中家焼失)
1675年	5月19日	延宝3年	4月25日	晦 雨	
1675年	5月20日	延宝3年	4月26日	陽 少雨	
1675年	5月21日	延宝3年	4月27日	陽	
1675年	5月22日	延宝3年	4月28日	陽 晦	
1675年	5月23日	延宝3年	4月29日	陽	
1675年	5月24日	延宝3年	4月30日	陽	
1675年	5月25日	延宝3年	閏4月1日	陽	
1675年	5月26日	延宝3年	閏4月2日	陽 しゅう 少風	
1675年	5月27日	延宝3年	閏4月3日	陽 地震 少風	
1675年	5月28日	延宝3年	閏4月4日	陽 風	
1675年	5月29日	延宝3年	閏4月5日	晦	(里崎村(後の赤石組)で晦日火災11軒)
1675年	5月30日	延宝3年	閏4月6日	陽 雷雨	
1675年	5月31日	延宝3年	閏4月7日	晦 雨	
1675年	6月1日	延宝3年	閏4月8日	陽 しゅう	
1675年	6月2日	延宝3年	閏4月9日	陽	(米盗人と旅人打殺しの2人を磔・馬盗人と銭盗みの2人を斬罪)
1675年	6月3日	延宝3年	閏4月10日	陽	
1675年	6月4日	延宝3年	閏4月11日	晦 少風	
1675年	6月5日	延宝3年	閏4月12日	陽 霧	(高湯小屋残らず焼失)
1675年	6月6日	延宝3年	閏4月13日	晦 雨	
1675年	6月7日	延宝3年	閏4月14日	晦 雨	
1675年	6月8日	延宝3年	閏4月15日	晦 雨	
1675年	6月9日	延宝3年	閏4月16日	陽 しゅう	
1675年	6月10日	延宝3年	閏4月17日	陽 少風	
1675年	6月11日	延宝3年	閏4月18日	晦 雷雨	(火付け狼藉で3人磔)
1675年	6月12日	延宝3年	閏4月19日	陽	(女房刺殺した百姓を刎首)
1675年	6月13日	延宝3年	閏4月20日	陽	
1675年	6月14日	延宝3年	閏4月21日	陽 風	
1675年	6月15日	延宝3年	閏4月22日	陽	
1675年	6月16日	延宝3年	閏4月23日	陽	
1675年	6月17日	延宝3年	閏4月24日	陽	
1675年	6月18日	延宝3年	閏4月25日	陽	
1675年	6月19日	延宝3年	閏4月26日	陽	
1675年	6月20日	延宝3年	閏4月27日	陽	(火付けの御百姓を1人磔・1人刎首・ためし切り)
1675年	6月21日	延宝3年	閏4月28日	陽 少風	
1675年	6月22日	延宝3年	閏4月29日	陽 風	
1675年	6月23日	延宝3年	5月1日	陽	
1675年	6月24日	延宝3年	5月2日	陽 少風	
1675年	6月25日	延宝3年	5月3日	陽 しゅう 少風	
1675年	6月26日	延宝3年	5月4日	しゅう	
1675年	6月27日	延宝3年	5月5日	陽 少風	
1675年	6月28日	延宝3年	5月6日	晦 雨	
1675年	6月29日	延宝3年	5月7日	陽 少風	
1675年	6月30日	延宝3年	5月8日	陽	(百沢寺江雨乞祭を申つける)

1675年	7月1日	延宝3年	5月9日	陽
1675年	7月2日	延宝3年	5月10日	陰 雷 大雨
1675年	7月3日	延宝3年	5月11日	雷雨
1675年	7月4日	延宝3年	5月12日	陽 しゅう
1675年	7月5日	延宝3年	5月13日	陰 陽
1675年	7月6日	延宝3年	5月14日	陽
1675年	7月7日	延宝3年	5月15日	同
1675年	7月8日	延宝3年	5月16日	陰 雨
1675年	7月9日	延宝3年	5月17日	陽 雷 しゅう 風
1675年	7月10日	延宝3年	5月18日	陽
1675年	7月11日	延宝3年	5月19日	霞 陽
1675年	7月12日	延宝3年	5月20日	霞 陽
1675年	7月13日	延宝3年	5月21日	陽 (稽古拍子・狂言)
1675年	7月14日	延宝3年	5月22日	陰 霧 陽
1675年	7月15日	延宝3年	5月23日	陽 霧 (大間越に鯨寄せる)
1675年	7月16日	延宝3年	5月24日	陰 雷 電 大雨
1675年	7月17日	延宝3年	5月25日	陰 陽 雷
1675年	7月18日	延宝3年	5月26日	陰 陽 しゅう
1675年	7月19日	延宝3年	5月27日	陽 風
1675年	7月20日	延宝3年	5月28日	陽 少風
1675年	7月21日	延宝3年	5月29日	陽 陰
1675年	7月22日	延宝3年	5月30日	陽
1675年	7月23日	延宝3年	6月1日	陽
1675年	7月24日	延宝3年	6月2日	陽 霧
1675年	7月25日	延宝3年	6月3日	陽 しゅう
1675年	7月26日	延宝3年	6月4日	陰 風 (江戸米値段金1両に付:上米3斗9升・中米5斗6升5合・下米5斗8升5合・兩替59匁2分、盗人斬罪1人)
1675年	7月27日	延宝3年	6月5日	陰 雨
1675年	7月28日	延宝3年	6月6日	陰 しゅう
1675年	7月29日	延宝3年	6月7日	陽 (昨(6月4日)青森で火災・下米町より浦町通150軒焼失)
1675年	7月30日	延宝3年	6月8日	陽
1675年	7月31日	延宝3年	6月9日	陰 しゅう (横領の又者刎首)
1675年	8月1日	延宝3年	6月10日	陰 大雨
1675年	8月2日	延宝3年	6月11日	陽
1675年	8月3日	延宝3年	6月12日	陽
1675年	8月4日	延宝3年	6月13日	陰 雨 風
1675年	8月5日	延宝3年	6月14日	陽
1675年	8月6日	延宝3年	6月15日	陽 霞
1675年	8月7日	延宝3年	6月16日	陽 霞 下から続く 1斗2升・秋田1斗3升・津軽1斗1升5合・1両60目4・5分)
1675年	8月8日	延宝3年	6月17日	陽 (米値段銀10目に付:敦賀にて越後1斗3升3合・村上1斗3升5合・庄内1斗4升・秋田1斗5升・津軽1斗5升・1両60目、大津にて越後高田1斗1升・越後上蔵米1斗1升5合・庄内 上に続く
1675年	8月9日	延宝3年	6月18日	陽
1675年	8月10日	延宝3年	6月19日	陽
1675年	8月11日	延宝3年	6月20日	陽
1675年	8月12日	延宝3年	6月21日	陽 霞
1675年	8月13日	延宝3年	6月22日	陽
1675年	8月14日	延宝3年	6月23日	陽
1675年	8月15日	延宝3年	6月24日	陽 しゅう (稽古拍子・狂言)
1675年	8月16日	延宝3年	6月25日	陰 雨
1675年	8月17日	延宝3年	6月26日	雨
1675年	8月18日	延宝3年	6月27日	陽 (24日に米盗んだ3人斬罪)
1675年	8月19日	延宝3年	6月28日	陽
1675年	8月20日	延宝3年	6月29日	陽
1675年	8月21日	延宝3年	7月1日	陽
1675年	8月22日	延宝3年	7月2日	陽
1675年	8月23日	延宝3年	7月3日	陰 風 雨
1675年	8月24日	延宝3年	7月4日	陰 雨
1675年	8月25日	延宝3年	7月5日	陰 雨
1675年	8月26日	延宝3年	7月6日	陰 雨
1675年	8月27日	延宝3年	7月7日	雨
1675年	8月28日	延宝3年	7月8日	陽
1675年	8月29日	延宝3年	7月9日	陽 小風 電
1675年	8月30日	延宝3年	7月10日	陰 雨 雷 電
1675年	8月31日	延宝3年	7月11日	陰 雨 雷

1675年	9月1日	延宝3年	7月12日	陽	しゅう
1675年	9月2日	延宝3年	7月13日	雨	
1675年	9月3日	延宝3年	7月14日	陽	
1675年	9月4日	延宝3年	7月15日	陰	雨 雷
1675年	9月5日	延宝3年	7月16日	陽	
1675年	9月6日	延宝3年	7月17日	陽	
1675年	9月7日	延宝3年	7月18日	陽	
1675年	9月8日	延宝3年	7月19日	陽	
1675年	9月9日	延宝3年	7月20日	雨	(江戸御町金値段1両に付6斗2升・両替59匁2分、けんかの徒党を組ませた2人を斬罪・脇指をぬきあばれしぼり首1人)
1675年	9月10日	延宝3年	7月21日	陽	
1675年	9月11日	延宝3年	7月22日	陽	
1675年	9月12日	延宝3年	7月23日	陰	雨
1675年	9月13日	延宝3年	7月24日	陰	しゅう
1675年	9月14日	延宝3年	7月25日	陽	(初鮭1尺上がる)
1675年	9月15日	延宝3年	7月26日	陽	風 雨 (稽古拍子・狂言)
1675年	9月16日	延宝3年	7月27日	陽	
1675年	9月17日	延宝3年	7月28日	陰	風 雨
1675年	9月18日	延宝3年	7月29日	陽	陰 雨
1675年	9月19日	延宝3年	7月30日	陽	しゅう
1675年	9月20日	延宝3年	8月1日	陰	時雨
1675年	9月21日	延宝3年	8月2日	陽	
1675年	9月22日	延宝3年	8月3日	陰	
1675年	9月23日	延宝3年	8月4日	陰	
1675年	9月24日	延宝3年	8月5日	陰	しゅう
1675年	9月25日	延宝3年	8月6日	陽	風
1675年	9月26日	延宝3年	8月7日	陽	風
1675年	9月27日	延宝3年	8月8日	陽	陰
1675年	9月28日	延宝3年	8月9日	陰	雨
1675年	9月29日	延宝3年	8月10日	陽	地震
1675年	9月30日	延宝3年	8月11日	陽	
1675年	10月1日	延宝3年	8月12日	陰	風 しゅう (御家中の家来斬罪)
1675年	10月2日	延宝3年	8月13日	陽	
1675年	10月3日	延宝3年	8月14日	陰	(敦賀の米相場銀10匁に付1斗5・6升の由)
1675年	10月4日	延宝3年	8月15日	陰	雷 風 陽
1675年	10月5日	延宝3年	8月16日		(空欄: 日記が保存されていない)
1675年	10月6日	延宝3年	8月17日		(空欄: 日記が保存されていない)
1675年	10月7日	延宝3年	8月18日	陰	雨 風
1675年	10月8日	延宝3年	8月19日	陽	(盗賊3人組斬罪・馬盗人(3疋)斬罪)
1675年	10月9日	延宝3年	8月20日	陽	(稽古拍子)
1675年	10月10日	延宝3年	8月21日	陽	
1675年	10月11日	延宝3年	8月22日	陰	初霜
1675年	10月12日	延宝3年	8月23日	陰	雨
1675年	10月13日	延宝3年	8月24日	陰	雨
1675年	10月14日	延宝3年	8月25日	陽	
1675年	10月15日	延宝3年	8月26日	陽	霜
1675年	10月16日	延宝3年	8月27日	陽	
1675年	10月17日	延宝3年	8月28日	陰	雨 風 陽
1675年	10月18日	延宝3年	8月29日	陰	雨
1675年	10月19日	延宝3年	9月1日	陽	
1675年	10月20日	延宝3年	9月2日	陽	霜
1675年	10月21日	延宝3年	9月3日	陰	
1675年	10月22日	延宝3年	9月4日	陰	霜 風 雨
1675年	10月23日	延宝3年	9月5日	陰	風 雨
1675年	10月24日	延宝3年	9月6日	陰	雨 風
1675年	10月25日	延宝3年	9月7日	陽	
1675年	10月26日	延宝3年	9月8日	霞	
1675年	10月27日	延宝3年	9月9日	陽	
1675年	10月28日	延宝3年	9月10日	陽	霜 (物成代銀盗み取り妻子引き連れ走った者が斬罪)
1675年	10月29日	延宝3年	9月11日	陽	霜
1675年	10月30日	延宝3年	9月12日	陽	
1675年	10月31日	延宝3年	9月13日	陽	(9日十三に大風で鹿皮287枚などが寄せる・保管する)

1675年	11月1日	延宝3年	9月14日	晦	雨 雷
1675年	11月2日	延宝3年	9月15日	晦	しゅう
1675年	11月3日	延宝3年	9月16日	晦	霽 しゅう
1675年	11月4日	延宝3年	9月17日	暁	風
1675年	11月5日	延宝3年	9月18日	晦	風雨 霰
1675年	11月6日	延宝3年	9月19日	晦	雪少 風
1675年	11月7日	延宝3年	9月20日	暁	
1675年	11月8日	延宝3年	9月21日	暁	
1675年	11月9日	延宝3年	9月22日	暁	
1675年	11月10日	延宝3年	9月23日	晦	雨風
1675年	11月11日	延宝3年	9月24日	暁	
1675年	11月12日	延宝3年	9月25日	暁	霜
1675年	11月13日	延宝3年	9月26日	暁	雨 (稽古拍子)
1675年	11月14日	延宝3年	9月27日	暁	晦 雨
1675年	11月15日	延宝3年	9月28日	暁	雨
1675年	11月16日	延宝3年	9月29日	晦	雪 風 霽 (十三に寄せた鹿皮の主申し出る)
1675年	11月17日	延宝3年	10月1日	暁	
1675年	11月18日	延宝3年	10月2日	晦	雨
1675年	11月19日	延宝3年	10月3日	晦	風雨 雷 霽 (鯨ヶ沢よりはたはた差上げる)
1675年	11月20日	延宝3年	10月4日	晦	暁
1675年	11月21日	延宝3年	10月5日	暁	霜 山鳴
1675年	11月22日	延宝3年	10月6日	晦	
1675年	11月23日	延宝3年	10月7日	晦	雨風
1675年	11月24日	延宝3年	10月8日	晦	風 霽 雪
1675年	11月25日	延宝3年	10月9日	晦	雪
1675年	11月26日	延宝3年	10月10日	暁	
1675年	11月27日	延宝3年	10月11日	暁	しゅう 雷
1675年	11月28日	延宝3年	10月12日	暁	しゅう
1675年	11月29日	延宝3年	10月13日	晦	雨 風
1675年	11月30日	延宝3年	10月14日	暁	少風 時雨
1675年	12月1日	延宝3年	10月15日	暁	時雨
1675年	12月2日	延宝3年	10月16日	暁	しゅう
1675年	12月3日	延宝3年	10月17日	暁	
1675年	12月4日	延宝3年	10月18日	晦	雨 霽 風
1675年	12月5日	延宝3年	10月19日	暁	風
1675年	12月6日	延宝3年	10月20日	暁	(御家中の若党が小姓を斬殺し自害)
1675年	12月7日	延宝3年	10月21日	晦	風雨 (初鱧1尺青森より上がる・久昌院様へ)
1675年	12月8日	延宝3年	10月22日	晦	風雪
1675年	12月9日	延宝3年	10月23日	暁	雪
1675年	12月10日	延宝3年	10月24日	晦	雪 霰
1675年	12月11日	延宝3年	10月25日	暁	
1675年	12月12日	延宝3年	10月26日	暁	
1675年	12月13日	延宝3年	10月27日	暁	
1675年	12月14日	延宝3年	10月28日	暁	雨
1675年	12月15日	延宝3年	10月29日	晦	雪
1675年	12月16日	延宝3年	10月30日	晦	雪
1675年	12月17日	延宝3年	11月1日	暁	雪
1675年	12月18日	延宝3年	11月2日	暁	
1675年	12月19日	延宝3年	11月3日	晦	暁
1675年	12月20日	延宝3年	11月4日	暁	
1675年	12月21日	延宝3年	11月5日	晦	雨
1675年	12月22日	延宝3年	11月6日	暁	
1675年	12月23日	延宝3年	11月7日	晦	風雪
1675年	12月24日	延宝3年	11月8日	暁	
1675年	12月25日	延宝3年	11月9日	暁	晦 雪
1675年	12月26日	延宝3年	11月10日	晦	雪 (稽古拍子)
1675年	12月27日	延宝3年	11月11日	晦	風雪
1675年	12月28日	延宝3年	11月12日	晦	雪
1675年	12月29日	延宝3年	11月13日	晦	雪
1675年	12月30日	延宝3年	11月14日	暁	(蔵人町で御家中の家火災1軒)
1675年	12月31日	延宝3年	11月15日	晦	雪

1676年	1月1日	延宝3年	11月16日	陽雪
1676年	1月2日	延宝3年	11月17日	陽雪
1676年	1月3日	延宝3年	11月18日	陽雪
1676年	1月4日	延宝3年	11月19日	陽 (追い鳥狩・雉子118など)
1676年	1月5日	延宝3年	11月20日	陽 大雪 (稽古拍子・ただし狂言なし)
1676年	1月6日	延宝3年	11月21日	陽
1676年	1月7日	延宝3年	11月22日	陽
1676年	1月8日	延宝3年	11月23日	陽 しゅう
1676年	1月9日	延宝3年	11月24日	陽 霽雪
1676年	1月10日	延宝3年	11月25日	陽 霽雪
1676年	1月11日	延宝3年	11月26日	陽 霽雪 雷
1676年	1月12日	延宝3年	11月27日	陽
1676年	1月13日	延宝3年	11月28日	陽 雨 風
1676年	1月14日	延宝3年	11月29日	陽 風雪
1676年	1月15日	延宝3年	12月1日	陽 雪
1676年	1月16日	延宝3年	12月2日	陽 霽雪
1676年	1月17日	延宝3年	12月3日	陽 霽雪
1676年	1月18日	延宝3年	12月4日	陽 大雪
1676年	1月19日	延宝3年	12月5日	陽 霽雪
1676年	1月20日	延宝3年	12月6日	陽 風雪
1676年	1月21日	延宝3年	12月7日	陽 雪
1676年	1月22日	延宝3年	12月8日	陽
1676年	1月23日	延宝3年	12月9日	陽
1676年	1月24日	延宝3年	12月10日	陽 霽 (稽古拍子)
1676年	1月25日	延宝3年	12月11日	陽 雨 風雪
1676年	1月26日	延宝3年	12月12日	陽 霽雪
1676年	1月27日	延宝3年	12月13日	陽 霽雪
1676年	1月28日	延宝3年	12月14日	陽 風雪
1676年	1月29日	延宝3年	12月15日	陽 霽雪
1676年	1月30日	延宝3年	12月16日	陽
1676年	1月31日	延宝3年	12月17日	陽 霽雪
1676年	2月1日	延宝3年	12月18日	陽
1676年	2月2日	延宝3年	12月19日	陽 風雪
1676年	2月3日	延宝3年	12月20日	陽 霽雪 (稽古拍子)
1676年	2月4日	延宝3年	12月21日	陽
1676年	2月5日	延宝3年	12月22日	陽 霽雪
1676年	2月6日	延宝3年	12月23日	陽 風雪
1676年	2月7日	延宝3年	12月24日	陽 大風雪
1676年	2月8日	延宝3年	12月25日	陽 霽雪
1676年	2月9日	延宝3年	12月26日	陽
1676年	2月10日	延宝3年	12月27日	陽 霽雪
1676年	2月11日	延宝3年	12月28日	陽 霽雪
1676年	2月12日	延宝3年	12月29日	陽 霽雪
1676年	2月13日	延宝3年	12月30日	陽
1676年	2月14日	延宝4年	正月1日	陽 霽雪
1676年	2月15日	延宝4年	正月2日	陽 霽雪
1676年	2月16日	延宝4年	正月3日	陽 霽雪
1676年	2月17日	延宝4年	正月4日	陽
1676年	2月18日	延宝4年	正月5日	陽 霽雪 風
1676年	2月19日	延宝4年	正月6日	陽
1676年	2月20日	延宝4年	正月7日	陽 しゅう
1676年	2月21日	延宝4年	正月8日	陽
1676年	2月22日	延宝4年	正月9日	陽 霽 雨
1676年	2月23日	延宝4年	正月10日	陽 しゅう
1676年	2月24日	延宝4年	正月11日	陽 霽 雨
1676年	2月25日	延宝4年	正月12日	陽 霽 地震
1676年	2月26日	延宝4年	正月13日	陽 霽 霽雪
1676年	2月27日	延宝4年	正月14日	陽 霽 風
1676年	2月28日	延宝4年	正月15日	陽 霽 霽雪
1676年	2月29日	延宝4年	正月16日	陽 霽 霽雪

1676年 3月1日 延宝4年 正月17日 陽 雪風
 1676年 3月2日 延宝4年 正月18日 陽 霜
 1676年 3月3日 延宝4年 正月19日 陽 霜 風
 1676年 3月4日 延宝4年 正月20日 陰 雪 雨
 1676年 3月5日 延宝4年 正月21日 陽 しゅう
 1676年 3月6日 延宝4年 正月22日 陰 雹
 1676年 3月7日 延宝4年 正月23日 陽 (御用の曆70本遅れて下る)
 1676年 3月8日 延宝4年 正月24日 陰 雪
 1676年 3月9日 延宝4年 正月25日 陰 雪 雨 雲 (こよみの配布先あり)
 1676年 3月10日 延宝4年 正月26日 陰 雨 風
 1676年 3月11日 延宝4年 正月27日 陽 風 しゅう
 1676年 3月12日 延宝4年 正月28日 陰 地震
 1676年 3月13日 延宝4年 正月29日 陰 地震 雨
 1676年 3月14日 延宝4年 正月30日 陰 風 雹 しゅう
 1676年 3月15日 延宝4年 2月1日 陰 陽
 1676年 3月16日 延宝4年 2月2日 陰 霜 陽
 1676年 3月17日 延宝4年 2月3日 陽
 1676年 3月18日 延宝4年 2月4日 陽 霜
 1676年 3月19日 延宝4年 2月5日 陽 霜
 1676年 3月20日 延宝4年 2月6日 陽 霜
 1676年 3月21日 延宝4年 2月7日 陽 霜 陰 雨 (女房子2人の殺人者斬罪)
 1676年 3月22日 延宝4年 2月8日 陰 風 霰 雪
 1676年 3月23日 延宝4年 2月9日 陰 陽 (手形に張り紙の御家中?斬罪)
 1676年 3月24日 延宝4年 2月10日 陽 雨
 1676年 3月25日 延宝4年 2月11日 陰 雨
 1676年 3月26日 延宝4年 2月12日 陽 風
 1676年 3月27日 延宝4年 2月13日 陽 霜 風
 1676年 3月28日 延宝4年 2月14日 陽 しゅう 風
 1676年 3月29日 延宝4年 2月15日 陽 しゅう 風
 1676年 3月30日 延宝4年 2月16日 陰 雪 風
 1676年 3月31日 延宝4年 2月17日 陰 雪 風 しゅう
 1676年 4月1日 延宝4年 2月18日 陽 霜
 1676年 4月2日 延宝4年 2月19日 陽 霜 風
 1676年 4月3日 延宝4年 2月20日 陰 陽
 1676年 4月4日 延宝4年 2月21日 陽
 1676年 4月5日 延宝4年 2月22日 陽
 1676年 4月6日 延宝4年 2月23日 陽
 1676年 4月7日 延宝4年 2月24日 陰 雨
 1676年 4月8日 延宝4年 2月25日 陽 風
 1676年 4月9日 延宝4年 2月26日 陽
 1676年 4月10日 延宝4年 2月27日 陽 霜 風 雨
 1676年 4月11日 延宝4年 2月28日 陰 雨 陽 風
 1676年 4月12日 延宝4年 2月29日 陰 陽 風 しゅう (稽古拍子)
 1676年 4月13日 延宝4年 3月1日 陽
 1676年 4月14日 延宝4年 3月2日 陽
 1676年 4月15日 延宝4年 3月3日 雨 風
 1676年 4月16日 延宝4年 3月4日 雨 風
 1676年 4月17日 延宝4年 3月5日 陽 風
 1676年 4月18日 延宝4年 3月6日 霜 陽
 1676年 4月19日 延宝4年 3月7日 霜 陽 風
 1676年 4月20日 延宝4年 3月8日 陽 しゅう
 1676年 4月21日 延宝4年 3月9日 雨
 1676年 4月22日 延宝4年 3月10日 風 雨
 1676年 4月23日 延宝4年 3月11日 陽 雨 風 (山上定右衛門病死・倅が実子か・年齢は・何年前に御目見えか・などを調べるよう指示あり)
 1676年 4月24日 延宝4年 3月12日 陽 風
 1676年 4月25日 延宝4年 3月13日 霜 陽
 1676年 4月26日 延宝4年 3月14日 陽 雨
 1676年 4月27日 延宝4年 3月15日 雨 風 (昨午下刻より雨降今辰刻洪水・石渡仮橋流落、暮に及び又洪水で厩町まで水溢れたが去年之洪水に少をとり申候)
 1676年 4月28日 延宝4年 3月16日 なし
 1676年 4月29日 延宝4年 3月17日 陽 風
 1676年 4月30日 延宝4年 3月18日 風

1676年 5月1日 延宝4年 3月19日 陽
 1676年 5月2日 延宝4年 3月20日 陽 風
 1676年 5月3日 延宝4年 3月21日 霜 陽
 1676年 5月4日 延宝4年 3月22日 陽 雨風
 1676年 5月5日 延宝4年 3月23日 陽 雨風 地震
 1676年 5月6日 延宝4年 3月24日 陽 地震
 1676年 5月7日 延宝4年 3月25日 霞 陽
 1676年 5月8日 延宝4年 3月26日 雨風
 1676年 5月9日 延宝4年 3月27日 雨風
 1676年 5月10日 延宝4年 3月28日 陽
 1676年 5月11日 延宝4年 3月29日 陽 (稽古拍子)
 1676年 5月12日 延宝4年 3月30日 雨 大風
 1676年 5月13日 延宝4年 4月1日 陰 陽 大風 雹 しゅう (昨戌刻南風吹き出し亥刻より大風……)
 1676年 5月14日 延宝4年 4月2日 雨風
 1676年 5月15日 延宝4年 4月3日 陰 風 しゅう
 1676年 5月16日 延宝4年 4月4日 陽 (山上定右衛門儀久々ご奉公相勤め近年は御役儀仰せ付けられ候ゆえ跡式相違なく仰せ付けられ候旨申し来る)
 1676年 5月17日 延宝4年 4月5日 風 しゅう
 1676年 5月18日 延宝4年 4月6日 陽
 1676年 5月19日 延宝4年 4月7日 陽 雷
 1676年 5月20日 延宝4年 4月8日 しゅう
 1676年 5月21日 延宝4年 4月9日 陽
 1676年 5月22日 延宝4年 4月10日 陽
 1676年 5月23日 延宝4年 4月11日 陽
 1676年 5月24日 延宝4年 4月12日 陽 風 地震
 1676年 5月25日 延宝4年 4月13日 陽
 1676年 5月26日 延宝4年 4月14日 陽 風
 1676年 5月27日 延宝4年 4月15日 雨 雷
 1676年 5月28日 延宝4年 4月16日 陽 雨 (13日夜深浦で火災11軒焼失)
 1676年 5月29日 延宝4年 4月17日 風 しゅう
 1676年 5月30日 延宝4年 4月18日 陽 雨 雷
 1676年 5月31日 延宝4年 4月19日 陽 風
 1676年 6月1日 延宝4年 4月20日 陽
 1676年 6月2日 延宝4年 4月21日 陽
 1676年 6月3日 延宝4年 4月22日 陽
 1676年 6月4日 延宝4年 4月23日 陽
 1676年 6月5日 延宝4年 4月24日 雨
 1676年 6月6日 延宝4年 4月25日 陽
 1676年 6月7日 延宝4年 4月26日 陽
 1676年 6月8日 延宝4年 4月27日 雨
 1676年 6月9日 延宝4年 4月28日 雨
 1676年 6月10日 延宝4年 4月29日 雨 陽 風
 1676年 6月11日 延宝4年 4月30日 陽
 1676年 6月12日 延宝4年 5月1日 陽 未刻雷発
 1676年 6月13日 延宝4年 5月2日 陽
 1676年 6月14日 延宝4年 5月3日 寅刻雨今巳刻に及ぶ (去月26日(殿様が)江戸御発駕の由)
 1676年 6月15日 延宝4年 5月4日 陰 未刻雨
 1676年 6月16日 延宝4年 5月5日 陽 風 (御道中御賄金不足可有之由自次太夫1分判で60両を飛脚で送る:旅行代金が不足しそうと御家老の渡辺次太夫から連絡あり60両を送ったとのこと)
 1676年 6月17日 延宝4年 5月6日 陽
 1676年 6月18日 延宝4年 5月7日 陰 申刻雨翌朝卯刻に及ぶ (久昌院様不食・飛脚で伝える)
 1676年 6月19日 延宝4年 5月8日 雨昼夜に及ぶ
 1676年 6月20日 延宝4年 5月9日 陰
 1676年 6月21日 延宝4年 5月10日 陽
 1676年 6月22日 延宝4年 5月11日 陰 未刻雷発す
 1676年 6月23日 延宝4年 5月12日 陰
 1676年 6月24日 延宝4年 5月13日 陰 巳午刻雨 (殿様御城着)
 1676年 6月25日 延宝4年 5月14日 寅刻大雨 陽
 1676年 6月26日 延宝4年 5月15日 陽
 1676年 6月27日 延宝4年 5月16日 陽
 1676年 6月28日 延宝4年 5月17日 丑刻雨及今申刻丑の刻雨 今申之刻に及ぶ
 1676年 6月29日 延宝4年 5月18日 陽
 1676年 6月30日 延宝4年 5月19日 陰

1676年	7月1日	延宝4年	5月20日	陽
1676年	7月2日	延宝4年	5月21日	午刻大雨 雷
1676年	7月3日	延宝4年	5月22日	陽
1676年	7月4日	延宝4年	5月23日	陽 (大鰐村より初茄子5上がる・例年より早いので褒美の銀40文目下される)
1676年	7月5日	延宝4年	5月24日	陽
1676年	7月6日	延宝4年	5月25日	陽 (大鰐村より真瓜2上がる)
1676年	7月7日	延宝4年	5月26日	陽
1676年	7月8日	延宝4年	5月27日	陽
1676年	7月9日	延宝4年	5月28日	陽 (御家中の家来傍輩打殺し下女盗み出し斬罪)
1676年	7月10日	延宝4年	5月29日	陽 午刻しゆう
1676年	7月11日	延宝4年	6月1日	辰下刻大雨 雷発
1676年	7月12日	延宝4年	6月2日	未刻雨 雷
1676年	7月13日	延宝4年	6月3日	陽
1676年	7月14日	延宝4年	6月4日	昨寅刻雨及今巳刻 (銀子を取り込み下女を盗み出した御家中の家来を斬罪)
1676年	7月15日	延宝4年	6月5日	昨寅の刻雨 (茂森町の男が長勝寺詣りの殿様の御駕先に書付差上げる)
1676年	7月16日	延宝4年	6月6日	一昨寅刻雨今及巳刻
1676年	7月17日	延宝4年	6月7日	昨巳刻雨今及巳刻
1676年	7月18日	延宝4年	6月8日	戌刻より夜中大雨 (藤崎・広須・外浜・下磯3遣の御百姓共飯米なし・糶を借す)
1676年	7月19日	延宝4年	6月9日	巳刻大雨 雷発 終夜雨
1676年	7月20日	延宝4年	6月10日	夜中雨
1676年	7月21日	延宝4年	6月11日	昨夜雨及終日
1676年	7月22日	延宝4年	6月12日	陰
1676年	7月23日	延宝4年	6月13日	陰
1676年	7月24日	延宝4年	6月14日	巳午刻大雨 雷発
1676年	7月25日	延宝4年	6月15日	陰
1676年	7月26日	延宝4年	6月16日	昨夜中大雨及午刻
1676年	7月27日	延宝4年	6月17日	陽
1676年	7月28日	延宝4年	6月18日	陰
1676年	7月29日	延宝4年	6月19日	終夜雨
1676年	7月30日	延宝4年	6月20日	なし
1676年	7月31日	延宝4年	6月21日	陽
1676年	8月1日	延宝4年	6月22日	午刻地震 (15日千百石積み敦賀への船が塩越で破船・上乗し死亡)
1676年	8月2日	延宝4年	6月23日	巳刻雷時発 未刻迅雷数発 (未刻自迅雷発・御機嫌窺いに(御家老北村)弥右衛門登城・染屋町に落雷死者1人・正気失う者1人)
1676年	8月3日	延宝4年	6月24日	午刻大雨 申刻雨及終夜
1676年	8月4日	延宝4年	6月25日	未刻雨
1676年	8月5日	延宝4年	6月26日	卯刻雨 陽
1676年	8月6日	延宝4年	6月27日	陽
1676年	8月7日	延宝4年	6月28日	昨未刻雨今及卯刻 寅刻雷発 (御拍子)
1676年	8月8日	延宝4年	6月29日	陰
1676年	8月9日	延宝4年	6月30日	寅刻地震 (役銀横領のいさば・手形書き直し男・米盗人・呼出に不参の足軽小頭・火付けの流浪坊主の5人斬罪・ためし切あり)
1676年	8月10日	延宝4年	7月1日	巳刻雨降止及酉刻(巳)の刻雨降 酉の刻に及び止む:今後はこんな書き下しにしようか) (御拍子)
1676年	8月11日	延宝4年	7月2日	陰 夜雨
1676年	8月12日	延宝4年	7月3日	陽 夜中雨 (御拍子)
1676年	8月13日	延宝4年	7月4日	陰
1676年	8月14日	延宝4年	7月5日	昨子の刻大風雨 今巳の刻に及ぶ (ちょっとした騒ぎがある・台風か)
1676年	8月15日	延宝4年	7月6日	陰 (けんか殺人者2人斬罪)
1676年	8月16日	延宝4年	7月7日	陽 (津和野(島根県)に大地震6月2日人馬少々死ぬ)
1676年	8月17日	延宝4年	7月8日	陰 (4日広戸村近所で破船1艘・14人中6人死亡、十三で破船2艘、十三より脇本(男鹿半島)迄破船大小20艘余)
1676年	8月18日	延宝4年	7月9日	陽
1676年	8月19日	延宝4年	7月10日	陽
1676年	8月20日	延宝4年	7月11日	陽
1676年	8月21日	延宝4年	7月12日	陽
1676年	8月22日	延宝4年	7月13日	雨
1676年	8月23日	延宝4年	7月14日	陽
1676年	8月24日	延宝4年	7月15日	陽 昨丑の刻雨 卯の刻に及ぶ
1676年	8月25日	延宝4年	7月16日	陽 (御拍子)
1676年	8月26日	延宝4年	7月17日	卯の刻雨 午の刻に及ぶ 夜中雨 (当3月より風合瀬村大間越の間常々鳴動・当月9日地震三度・深浦町で神楽申付ける)
1676年	8月27日	延宝4年	7月18日	終日大雨
1676年	8月28日	延宝4年	7月19日	陽
1676年	8月29日	延宝4年	7月20日	辰巳の刻大雨 雷発す 卯の刻山鳴り
1676年	8月30日	延宝4年	7月21日	陽
1676年	8月31日	延宝4年	7月22日	卯の刻雨

1676年 9月1日 延宝4年	7月23日 昨卯の刻雨 今午の刻に及ぶ (卯の中刻御能始・午の中刻相済む)
1676年 9月2日 延宝4年	7月24日 晦 戌の刻雨
1676年 9月3日 延宝4年	7月25日 晦
1676年 9月4日 延宝4年	7月26日 暘 (けんか殺人者刎首、盗人が縄を抜け逃亡・手にあまり打ち留める)
1676年 9月5日 延宝4年	7月27日 雨 卯の刻南山鳴
1676年 9月6日 延宝4年	7月28日 暘
1676年 9月7日 延宝4年	7月29日 終日雨
1676年 9月8日 延宝4年	8月1日 卯の刻雨 午の刻に及ぶ
1676年 9月9日 延宝4年	8月2日 暘 (百沢寺より苔の実上がる)
1676年 9月10日 延宝4年	8月3日 なし
1676年 9月11日 延宝4年	8月4日 昨戌の刻雨 今申の上刻に及ぶ
1676年 9月12日 延宝4年	8月5日 暘 酉の刻しゅう
1676年 9月13日 延宝4年	8月6日 雨 卯の下刻御能初之 (能・狂言)
1676年 9月14日 延宝4年	8月7日 なし
1676年 9月15日 延宝4年	8月8日 なし
1676年 9月16日 延宝4年	8月9日 なし
1676年 9月17日 延宝4年	8月10日 なし
1676年 9月18日 延宝4年	8月11日 なし
1676年 9月19日 延宝4年	8月12日 なし
1676年 9月20日 延宝4年	8月13日 なし
1676年 9月21日 延宝4年	8月14日 なし
1676年 9月22日 延宝4年	8月15日 なし
1676年 9月23日 延宝4年	8月16日 丑の刻雨 巳の刻に及ぶ
1676年 9月24日 延宝4年	8月17日 昨夜雨 晦 (初鮭1尺鱒ヶ沢漁師上げる)
1676年 9月25日 延宝4年	8月18日 晦
1676年 9月26日 延宝4年	8月19日 晦 (鮭1尺板屋野木より上がる)
1676年 9月27日 延宝4年	8月20日 晦 夜中大雨 洪水
1676年 9月28日 延宝4年	8月21日 昨酉の刻雨 今未の刻に及ぶ
1676年 9月29日 延宝4年	8月22日 晦
1676年 9月30日 延宝4年	8月23日 暘 (御家中が青梨子上げる)
1676年 10月1日 延宝4年	8月24日 辰の刻しゅう 未の刻同
1676年 10月2日 延宝4年	8月25日 晦
1676年 10月3日 延宝4年	8月26日 晦
1676年 10月4日 延宝4年	8月27日 なし
1676年 10月5日 延宝4年	8月28日 夜雨
1676年 10月6日 延宝4年	8月29日 暘
1676年 10月7日 延宝4年	8月30日 暘
1676年 10月8日 延宝4年	9月1日 午の刻風 申の刻に及ぶ
1676年 10月9日 延宝4年	9月2日 辰の刻雨 申の刻に及ぶ
1676年 10月10日 延宝4年	9月3日 辰の刻風雨 酉の刻に及ぶ
1676年 10月11日 延宝4年	9月4日 申の刻雨
1676年 10月12日 延宝4年	9月5日 昨夜岩木山初雪
1676年 10月13日 延宝4年	9月6日 初霜 (御家中が庭前の梨子15上げる、御破損奉行に山上太郎兵衛)
1676年 10月14日 延宝4年	9月7日 霜 暘
1676年 10月15日 延宝4年	9月8日 なし
1676年 10月16日 延宝4年	9月9日 なし
1676年 10月17日 延宝4年	9月10日 なし
1676年 10月18日 延宝4年	9月11日 なし
1676年 10月19日 延宝4年	9月12日 なし
1676年 10月20日 延宝4年	9月13日 なし
1676年 10月21日 延宝4年	9月14日 なし
1676年 10月22日 延宝4年	9月15日 なし
1676年 10月23日 延宝4年	9月16日 なし
1676年 10月24日 延宝4年	9月17日 なし
1676年 10月25日 延宝4年	9月18日 なし
1676年 10月26日 延宝4年	9月19日 なし
1676年 10月27日 延宝4年	9月20日 なし
1676年 10月28日 延宝4年	9月21日 なし
1676年 10月29日 延宝4年	9月22日 なし
1676年 10月30日 延宝4年	9月23日 なし
1676年 10月31日 延宝4年	9月24日 なし

1676年 11月1日	延宝4年	9月25日	なし
1676年 11月2日	延宝4年	9月26日	なし
1676年 11月3日	延宝4年	9月27日	なし
1676年 11月4日	延宝4年	9月28日	なし
1676年 11月5日	延宝4年	9月29日	なし
1676年 11月6日	延宝4年	10月1日	なし
1676年 11月7日	延宝4年	10月2日	未の刻雨
1676年 11月8日	延宝4年	10月3日	昨未の刻雨 今申の刻に及ぶ
1676年 11月9日	延宝4年	10月4日	雨
1676年 11月10日	延宝4年	10月5日	晦 (青森で2日暮時分より疾風暴風・3日未の刻洪水・塩町・たはこ町・博労町・蛸町3・4尺から4・5尺、浅瀬石川橋流落)
1676年 11月11日	延宝4年	10月6日	卯の刻雨 未の刻に及ぶ
1676年 11月12日	延宝4年	10月7日	暁
1676年 11月13日	延宝4年	10月8日	晦
1676年 11月14日	延宝4年	10月9日	暁 (増上寺焼失の由)
1676年 11月15日	延宝4年	10月10日	曇
1676年 11月16日	延宝4年	10月11日	初雪 (御拍子)
1676年 11月17日	延宝4年	10月12日	晦
1676年 11月18日	延宝4年	10月13日	晦 未の刻地震
1676年 11月19日	延宝4年	10月14日	晦 夜雨
1676年 11月20日	延宝4年	10月15日	暁 夜雨
1676年 11月21日	延宝4年	10月16日	暁 終夜雨
1676年 11月22日	延宝4年	10月17日	巳の刻雨 晦
1676年 11月23日	延宝4年	10月18日	暁
1676年 11月24日	延宝4年	10月19日	晦 (西濱より初躰上がる)
1676年 11月25日	延宝4年	10月20日	暁 (御家中にけんかあり・殺人者を刎首)
1676年 11月26日	延宝4年	10月21日	晦 酉の刻雨 亥の刻に及ぶ (青森洪水の節助け舟で4人死亡)
1676年 11月27日	延宝4年	10月22日	朝氷 晦 (唐牛与右衛門が銀山(多分尾太)より始て銀子10貫目5箱上げる)
1676年 11月28日	延宝4年	10月23日	晦 (今晚初鱈御料理)
1676年 11月29日	延宝4年	10月24日	暁
1676年 11月30日	延宝4年	10月25日	晦
1676年 12月1日	延宝4年	10月26日	晦 (御能・狂言)
1676年 12月2日	延宝4年	10月27日	晦 夜雪
1676年 12月3日	延宝4年	10月28日	暁
1676年 12月4日	延宝4年	10月29日	晦 夜雨
1676年 12月5日	延宝4年	11月1日	申の刻雨 終夜に及ぶ (追放の足軽が青森で悪事・斬罪)
1676年 12月6日	延宝4年	11月2日	昨夜雪3寸ばかりに及ぶ(昨夜雪及三寸許)
1676年 12月7日	延宝4年	11月3日	晦 (人事異動、稲盗人2人斬罪)
1676年 12月8日	延宝4年	11月4日	晦
1676年 12月9日	延宝4年	11月5日	晦
1676年 12月10日	延宝4年	11月6日	雪 (猿・狐の殺生停止を伝える)
1676年 12月11日	延宝4年	11月7日	雪
1676年 12月12日	延宝4年	11月8日	晦
1676年 12月13日	延宝4年	11月9日	暁
1676年 12月14日	延宝4年	11月10日	暁
1676年 12月15日	延宝4年	11月11日	暁
1676年 12月16日	延宝4年	11月12日	暁 (御能)
1676年 12月17日	延宝4年	11月13日	昼雪
1676年 12月18日	延宝4年	11月14日	昼曇
1676年 12月19日	延宝4年	11月15日	昨夜雪 暁
1676年 12月20日	延宝4年	11月16日	晦
1676年 12月21日	延宝4年	11月17日	暁
1676年 12月22日	延宝4年	11月18日	暁
1676年 12月23日	延宝4年	11月19日	晦
1676年 12月24日	延宝4年	11月20日	昨夜雨 今巳の刻に及ぶ
1676年 12月25日	延宝4年	11月21日	晦 (御拍子、追い鳥狩・雉子116など)
1676年 12月26日	延宝4年	11月22日	晦
1676年 12月27日	延宝4年	11月23日	午未の刻雨風 曇に変わる
1676年 12月28日	延宝4年	11月24日	晦
1676年 12月29日	延宝4年	11月25日	夜雪八寸ばかりに及ぶ(夜雪及八寸許)
1676年 12月30日	延宝4年	11月26日	晦
1676年 12月31日	延宝4年	11月27日	暁 (御能・狂言)

1677年	1月1日	延宝4年	11月28日	暘	夜雪
1677年	1月2日	延宝4年	11月29日	晦	
1677年	1月3日	延宝4年	11月30日	昼雪	
1677年	1月4日	延宝4年	12月1日	昨夜雪	1尺ばかりに及ぶ
1677年	1月5日	延宝4年	12月2日	昼雪	
1677年	1月6日	延宝4年	12月3日	晦	
1677年	1月7日	延宝4年	12月4日	昼雪	
1677年	1月8日	延宝4年	12月5日	晦	
1677年	1月9日	延宝4年	12月6日	昼雪	
1677年	1月10日	延宝4年	12月7日	雪	
1677年	1月11日	延宝4年	12月8日	雪	
1677年	1月12日	延宝4年	12月9日	雪	
1677年	1月13日	延宝4年	12月10日	暘	(御能・狂言)
1677年	1月14日	延宝4年	12月11日	雪	
1677年	1月15日	延宝4年	12月12日	暘	
1677年	1月16日	延宝4年	12月13日	暘	
1677年	1月17日	延宝4年	12月14日	暘	
1677年	1月18日	延宝4年	12月15日	昼雪	
1677年	1月19日	延宝4年	12月16日	昨夜雨	今卯の刻に及ぶ(御家中の家来斬罪)
1677年	1月20日	延宝4年	12月17日	吹雪	
1677年	1月21日	延宝4年	12月18日	晦	
1677年	1月22日	延宝4年	12月19日	暘	
1677年	1月23日	延宝4年	12月20日	暘	
1677年	1月24日	延宝4年	12月21日	晦	
1677年	1月25日	延宝4年	12月22日	昼夜雪	7寸ばかりに及ぶ
1677年	1月26日	延宝4年	12月23日	暘	
1677年	1月27日	延宝4年	12月24日	暘	
1677年	1月28日	延宝4年	12月25日	暘	
1677年	1月29日	延宝4年	12月26日	晦	卯の下刻雷発す
1677年	1月30日	延宝4年	12月27日	雪	
1677年	1月31日	延宝4年	12月28日	晦	夜雪(御破損奉行山上太郎兵衛などに褒美として銀子1枚、御本城北埋門・武者屯西方御門・西御郭御門の3か所は平生閉置き……)
1677年	2月1日	延宝4年	12月29日	雪	
1677年	2月2日	延宝5年	正月1日	暘	
1677年	2月3日	延宝5年	正月2日	暘	昨夜雪2寸ばかり
1677年	2月4日	延宝5年	正月3日	晦	(御謡初)
1677年	2月5日	延宝5年	正月4日	晦	
1677年	2月6日	延宝5年	正月5日	雪	
1677年	2月7日	延宝5年	正月6日	晦	
1677年	2月8日	延宝5年	正月7日	晦	未申の刻風雪(御拍子)
1677年	2月9日	延宝5年	正月8日	暘	
1677年	2月10日	延宝5年	正月9日	暘	
1677年	2月11日	延宝5年	正月10日	暘	
1677年	2月12日	延宝5年	正月11日	晦	
1677年	2月13日	延宝5年	正月12日	暘	(お花畑平地の雪2尺3寸8歩・同所木の下2尺8歩・同所お堀の際2尺2寸5歩)
1677年	2月14日	延宝5年	正月13日	晦	
1677年	2月15日	延宝5年	正月14日	暘	
1677年	2月16日	延宝5年	正月15日	風雪	(青森5尺ばかりの由)
1677年	2月17日	延宝5年	正月16日	暘	夜雪二寸ばかり
1677年	2月18日	延宝5年	正月17日	暘	
1677年	2月19日	延宝5年	正月18日	暘	(御能・狂言、旧臘(きゅうろう:旧暦12月のこと)27日京都で火災、12月26日江戸で火災・火元すしかい橋見付土手際……)
1677年	2月20日	延宝5年	正月19日	暘	(年頭に外浜戸門村で女房打殺し走った男あり・擲捕斬罪)
1677年	2月21日	延宝5年	正月20日	暘	夜雪
1677年	2月22日	延宝5年	正月21日	暘	
1677年	2月23日	延宝5年	正月22日	大風	
1677年	2月24日	延宝5年	正月23日	風雪	
1677年	2月25日	延宝5年	正月24日	なし	
1677年	2月26日	延宝5年	正月25日	卯の刻雪	未の刻地震
1677年	2月27日	延宝5年	正月26日	暘	(御拍子)
1677年	2月28日	延宝5年	正月27日	暘	

1677年	3月1日	延宝5年	正月28日	陽
1677年	3月2日	延宝5年	正月29日	陽
1677年	3月3日	延宝5年	正月30日	陽
1677年	3月4日	延宝5年	2月1日	晦 未の刻雨
1677年	3月5日	延宝5年	2月2日	昨未の刻雨 今終日に及ぶ
1677年	3月6日	延宝5年	2月3日	晦
1677年	3月7日	延宝5年	2月4日	昼曇
1677年	3月8日	延宝5年	2月5日	晦
1677年	3月9日	延宝5年	2月6日	昨子の刻大雨 今巳の刻に及ぶ
1677年	3月10日	延宝5年	2月7日	風雪
1677年	3月11日	延宝5年	2月8日	陽
1677年	3月12日	延宝5年	2月9日	陽 (今別えびすの林蔵(日本風の名前:多分初出)がオットセイを上げる・用語に濁点を用いていない(例:てつひ(てつび:ヒレのこと)・とと(トド)・ゆひ(指)・ひけ(鬘)・まて(迄)・はかり(ばかり))
1677年	3月13日	延宝5年	2月10日	陽 戌の下刻地震
1677年	3月14日	延宝5年	2月11日	陽
1677年	3月15日	延宝5年	2月12日	晦
1677年	3月16日	延宝5年	2月13日	陽
1677年	3月17日	延宝5年	2月14日	陽 夜雨
1677年	3月18日	延宝5年	2月15日	陽 戌の刻雨
1677年	3月19日	延宝5年	2月16日	雨
1677年	3月20日	延宝5年	2月17日	陽 (西浜よりたらは(たらば)蟹上がる)
1677年	3月21日	延宝5年	2月18日	陽 (御銀山で取った小さな鼯のような生き物上がる)
1677年	3月22日	延宝5年	2月19日	陽 (狂言)
1677年	3月23日	延宝5年	2月20日	雨降晴終日に及ぶ 夜雨 風変わる
1677年	3月24日	延宝5年	2月21日	陽 風
1677年	3月25日	延宝5年	2月22日	陽
1677年	3月26日	延宝5年	2月23日	終日雨
1677年	3月27日	延宝5年	2月24日	陽
1677年	3月28日	延宝5年	2月25日	曇
1677年	3月29日	延宝5年	2月26日	晦
1677年	3月30日	延宝5年	2月27日	晦
1677年	3月31日	延宝5年	2月28日	終日雨 夜雪 風変わる
1677年	4月1日	延宝5年	2月29日	終日雨
1677年	4月2日	延宝5年	3月1日	昼曇
1677年	4月3日	延宝5年	3月2日	陽
1677年	4月4日	延宝5年	3月3日	巳の刻雨 夜中に及ぶ
1677年	4月5日	延宝5年	3月4日	晦
1677年	4月6日	延宝5年	3月5日	晦 未の刻大地震 (未の中刻地震あり御手廻まで御機嫌伺いに登城 御本参以下は武者屯で記帳)
1677年	4月7日	延宝5年	3月6日	晦 夜中雨
1677年	4月8日	延宝5年	3月7日	雨吹 (道中関札打発足)
1677年	4月9日	延宝5年	3月8日	陽
1677年	4月10日	延宝5年	3月9日	小雨 申の刻虹 (御能・狂言)
1677年	4月11日	延宝5年	3月10日	陽
1677年	4月12日	延宝5年	3月11日	陽 未の刻風 (酉の後刻地震 前のごとく登城 同夜子の中刻にも地震 何れも登城暁に及ぶ)
1677年	4月13日	延宝5年	3月12日	昨丑の刻雨 今終日に及ぶ
1677年	4月14日	延宝5年	3月13日	陽 風 巳の刻地震 (巳の刻地震御家中何れも登城)
1677年	4月15日	延宝5年	3月14日	晦 地震数度に及ぶ
1677年	4月16日	延宝5年	3月15日	寅の刻地震 一昨巳の刻のごとし 霞 風 (をつふ銀山の極印の文字は「尾太」:「おつぷ」を「をつふ」と書いていたのだ)
1677年	4月17日	延宝5年	3月16日	陽 申の上刻地震 (辰の上刻御発駕・行列の詳細がある、12日あたりからの地震が青森・南部田名部・秋田久保田などにも、昨暮大風・青森で数軒破損)
1677年	4月18日	延宝5年	3月17日	陽
1677年	4月19日	延宝5年	3月18日	陽 (長峰村(大罌組)で昨17日火災2軒)
1677年	4月20日	延宝5年	3月19日	卯の下刻地震 午未の刻地震 同下刻地震 (辰の上刻地震)
1677年	4月21日	延宝5年	3月20日	陽 亥の刻地震
1677年	4月22日	延宝5年	3月21日	陽
1677年	4月23日	延宝5年	3月22日	晦
1677年	4月24日	延宝5年	3月23日	陽
1677年	4月25日	延宝5年	3月24日	陽 昨午の刻荒れ風 今午の刻に及ぶ
1677年	4月26日	延宝5年	3月25日	晦 昨申酉の刻雨 申の下刻地震 (23日金木村で火災9軒)
1677年	4月27日	延宝5年	3月26日	晦 (昨25日夜浅瀬石村で火災7軒)
1677年	4月28日	延宝5年	3月27日	晦
1677年	4月29日	延宝5年	3月28日	晦 昨酉の刻雨 今巳の刻に及ぶ
1677年	4月30日	延宝5年	3月29日	晦 (外浜荒川村で女房の妹に密通した婿斬罪・密通相手(妹)はたふさ(たぶさ)をきり所払い)

1677年	5月1日	延宝5年	3月30日	陽	亥の刻地震
1677年	5月2日	延宝5年	4月1日	酉	の下刻地震
1677年	5月3日	延宝5年	4月2日	酉	の刻地震
1677年	5月4日	延宝5年	4月3日	陽	
1677年	5月5日	延宝5年	4月4日	陽	辰の下刻地震
1677年	5月6日	延宝5年	4月5日	陽	未の刻地震
1677年	5月7日	延宝5年	4月6日	陽	夜風
1677年	5月8日	延宝5年	4月7日	陰	未の刻小雨 終夜に及ぶ
1677年	5月9日	延宝5年	4月8日	陽	午の中刻地震
1677年	5月10日	延宝5年	4月9日	陽	
1677年	5月11日	延宝5年	4月10日	陽	
1677年	5月12日	延宝5年	4月11日	陽	
1677年	5月13日	延宝5年	4月12日	陽	
1677年	5月14日	延宝5年	4月13日	陽	
1677年	5月15日	延宝5年	4月14日	陽	
1677年	5月16日	延宝5年	4月15日	陰	午の刻雨 申の下刻に及ぶ 雷
1677年	5月17日	延宝5年	4月16日	陽	
1677年	5月18日	延宝5年	4月17日	陽	
1677年	5月19日	延宝5年	4月18日	陽	
1677年	5月20日	延宝5年	4月19日	陽	
1677年	5月21日	延宝5年	4月20日	陽	
1677年	5月22日	延宝5年	4月21日	陽	
1677年	5月23日	延宝5年	4月22日	終日雨	申の下刻地震
1677年	5月24日	延宝5年	4月23日	陽	
1677年	5月25日	延宝5年	4月24日	陽	
1677年	5月26日	延宝5年	4月25日	陽	
1677年	5月27日	延宝5年	4月26日	陽	
1677年	5月28日	延宝5年	4月27日	陽	風
1677年	5月29日	延宝5年	4月28日	陽	風
1677年	5月30日	延宝5年	4月29日	陽	(子の下刻御家中の家焼失)
1677年	5月31日	延宝5年	4月30日	申の刻雷発す	雨夜中に及ぶ
1677年	6月1日	延宝5年	5月1日	陰	未の上刻地震
1677年	6月2日	延宝5年	5月2日	陰	風
1677年	6月3日	延宝5年	5月3日	陰	
1677年	6月4日	延宝5年	5月4日	陽	
1677年	6月5日	延宝5年	5月5日	陽	未の刻雷発す
1677年	6月6日	延宝5年	5月6日	陽	
1677年	6月7日	延宝5年	5月7日	陽	昨申の刻雨 今卯の刻に及ぶ
1677年	6月8日	延宝5年	5月8日	陰	申の刻雨
1677年	6月9日	延宝5年	5月9日	陰	
1677年	6月10日	延宝5年	5月10日	陽	夜雨
1677年	6月11日	延宝5年	5月11日	陰	
1677年	6月12日	延宝5年	5月12日	巳午の刻雷2発す	
1677年	6月13日	延宝5年	5月13日	陰	未の刻雨
1677年	6月14日	延宝5年	5月14日	陰	
1677年	6月15日	延宝5年	5月15日	午の刻雨	
1677年	6月16日	延宝5年	5月16日	陰	
1677年	6月17日	延宝5年	5月17日	陽	
1677年	6月18日	延宝5年	5月18日	陽	
1677年	6月19日	延宝5年	5月19日	陰	
1677年	6月20日	延宝5年	5月20日	陽	風
1677年	6月21日	延宝5年	5月21日	陽	
1677年	6月22日	延宝5年	5月22日	陽	
1677年	6月23日	延宝5年	5月23日	陽	
1677年	6月24日	延宝5年	5月24日	昨亥の刻雨	今巳の刻に及ぶ (大鱈村より初木瓜10上がる)
1677年	6月25日	延宝5年	5月25日	陰	
1677年	6月26日	延宝5年	5月26日	申酉の刻大雨	雷発す
1677年	6月27日	延宝5年	5月27日	陰	夜雨
1677年	6月28日	延宝5年	5月28日	辰巳の刻雨	申の上刻大地震御台所御蔵など天水こぼる・御城郭別儀無し・何れも登城……)
1677年	6月29日	延宝5年	5月29日	陰	(地震被害がないとの記述あり)
1677年	6月30日	延宝5年	6月1日	陰	

1677年	7月1日	延宝5年	6月2日	晦
1677年	7月2日	延宝5年	6月3日	暘
1677年	7月3日	延宝5年	6月4日	暘 (御銀山で人を討ち欠落した者擲捕・磔)
1677年	7月4日	延宝5年	6月5日	暘
1677年	7月5日	延宝5年	6月6日	晦 (尾太銀山で労働争議か)
1677年	7月6日	延宝5年	6月7日	暘 風
1677年	7月7日	延宝5年	6月8日	晦 風
1677年	7月8日	延宝5年	6月9日	暘 風
1677年	7月9日	延宝5年	6月10日	晦 辰巳の刻地震
1677年	7月10日	延宝5年	6月11日	晦 午の刻地震
1677年	7月11日	延宝5年	6月12日	暘
1677年	7月12日	延宝5年	6月13日	晦 風 辰の上刻地震
1677年	7月13日	延宝5年	6月14日	晦
1677年	7月14日	延宝5年	6月15日	暘
1677年	7月15日	延宝5年	6月16日	なし (大鱈村より初茄子10上がる、西の浜秋田領手前に出家死人あり、雨乞い祭りに百沢寺・長勝寺に書状遣る)
1677年	7月16日	延宝5年	6月17日	暘
1677年	7月17日	延宝5年	6月18日	暘 (馬盗人斬罪)
1677年	7月18日	延宝5年	6月19日	暘 (本行寺・伊勢神主に雨ごい申付ける)
1677年	7月19日	延宝5年	6月20日	暘 (岩木山で雨請を山伏共に申付ける)
1677年	7月20日	延宝5年	6月21日	暘 風 申の刻雨
1677年	7月21日	延宝5年	6月22日	暘 (本行寺に雨降候白銀2枚)
1677年	7月22日	延宝5年	6月23日	晦 亥の刻雨
1677年	7月23日	延宝5年	6月24日	晦
1677年	7月24日	延宝5年	6月25日	昨酉の刻雨 今辰の刻に及ぶ (百沢寺の雨請に白銀2枚)
1677年	7月25日	延宝5年	6月26日	暘
1677年	7月26日	延宝5年	6月27日	暘 丑の刻地震 (大鱈村より初真瓜5上がる)
1677年	7月27日	延宝5年	6月28日	暘
1677年	7月28日	延宝5年	6月29日	暘 夜中細雨
1677年	7月29日	延宝5年	6月30日	晦
1677年	7月30日	延宝5年	7月1日	昨未の刻雨 今辰の刻に及ぶ 暘
1677年	7月31日	延宝5年	7月2日	晦 午の刻大雨 亥の刻に及ぶ
1677年	8月1日	延宝5年	7月3日	晦 申の下刻地震
1677年	8月2日	延宝5年	7月4日	晦
1677年	8月3日	延宝5年	7月5日	暘
1677年	8月4日	延宝5年	7月6日	風 未の刻雨 亥の刻に及ぶ
1677年	8月5日	延宝5年	7月7日	巳の刻雨
1677年	8月6日	延宝5年	7月8日	昨寅の下刻地震 晦
1677年	8月7日	延宝5年	7月9日	風雨 枝鳴る(風雨鳴枝)
1677年	8月8日	延宝5年	7月10日	晦
1677年	8月9日	延宝5年	7月11日	晦
1677年	8月10日	延宝5年	7月12日	暘
1677年	8月11日	延宝5年	7月13日	昨亥の刻雨 今巳の刻に及ぶ
1677年	8月12日	延宝5年	7月14日	暘 子の刻雨
1677年	8月13日	延宝5年	7月15日	午未の刻大雨
1677年	8月14日	延宝5年	7月16日	晦
1677年	8月15日	延宝5年	7月17日	暘
1677年	8月16日	延宝5年	7月18日	未の刻大雨 亥の刻に及ぶ この間雷数発
1677年	8月17日	延宝5年	7月19日	昨夜近來稀なる大雨あり 暘 (八幡禰宜町の橋大破)
1677年	8月18日	延宝5年	7月20日	晦 (火薬の作業中に事故・死者1人火傷16人)
1677年	8月19日	延宝5年	7月21日	暘
1677年	8月20日	延宝5年	7月22日	暘
1677年	8月21日	延宝5年	7月23日	晦
1677年	8月22日	延宝5年	7月24日	晦 夜中大雨 雷発す
1677年	8月23日	延宝5年	7月25日	暘
1677年	8月24日	延宝5年	7月26日	暘
1677年	8月25日	延宝5年	7月27日	暘 夜雨
1677年	8月26日	延宝5年	7月28日	晦
1677年	8月27日	延宝5年	7月29日	暘
1677年	8月28日	延宝5年	8月1日	なし
1677年	8月29日	延宝5年	8月2日	なし (先年欠落の百姓共18人碇関で請取る)
1677年	8月30日	延宝5年	8月3日	なし (朔日十三町で東風強く大火70軒余焼失)
1677年	8月31日	延宝5年	8月4日	なし (上の火事は69軒・火元は町人の岡本市郎右衛門)

1677年	9月1日	延宝5年	8月5日	なし
1677年	9月2日	延宝5年	8月6日	なし
1677年	9月3日	延宝5年	8月7日	なし
1677年	9月4日	延宝5年	8月8日	なし
1677年	9月5日	延宝5年	8月9日	なし
1677年	9月6日	延宝5年	8月10日	なし
1677年	9月7日	延宝5年	8月11日	なし
1677年	9月8日	延宝5年	8月12日	なし
1677年	9月9日	延宝5年	8月13日	なし
1677年	9月10日	延宝5年	8月14日	なし
1677年	9月11日	延宝5年	8月15日	なし (稽古拍子)
1677年	9月12日	延宝5年	8月16日	なし
1677年	9月13日	延宝5年	8月17日	なし
1677年	9月14日	延宝5年	8月18日	なし
1677年	9月15日	延宝5年	8月19日	なし
1677年	9月16日	延宝5年	8月20日	なし
1677年	9月17日	延宝5年	8月21日	なし
1677年	9月18日	延宝5年	8月22日	なし
1677年	9月19日	延宝5年	8月23日	なし (初鮭1尺洪川村(五所川原市?)より上がる・ご祝儀に銀13文目遣わす)
1677年	9月20日	延宝5年	8月24日	なし
1677年	9月21日	延宝5年	8月25日	なし
1677年	9月22日	延宝5年	8月26日	なし (昨夜后刻門外村派之中で火災1軒)
1677年	9月23日	延宝5年	8月27日	なし
1677年	9月24日	延宝5年	8月28日	なし (西之濱赤石から鮭1尺上がる)
1677年	9月25日	延宝5年	8月29日	なし (稽古拍子)
1677年	9月26日	延宝5年	8月30日	なし (御家中斬罪、江戸米・大豆相場1両:共に1石2斗4・5升、両替59文目5・6分から60文目まで)
1677年	9月27日	延宝5年	9月1日	陽
1677年	9月28日	延宝5年	9月2日	陽 (丑下刻和徳町で火災1軒)
1677年	9月29日	延宝5年	9月3日	陽
1677年	9月30日	延宝5年	9月4日	風 申酉の刻雨 (巳の刻親方町から出火85軒焼失)
1677年	10月1日	延宝5年	9月5日	風雨 (前日の火災に対し侍と扶持の医者に各10俵・町役人に各7俵・町人1軒に各5俵渡す)
1677年	10月2日	延宝5年	9月6日	風
1677年	10月3日	延宝5年	9月7日	陽 風
1677年	10月4日	延宝5年	9月8日	風雨
1677年	10月5日	延宝5年	9月9日	陰 風
1677年	10月6日	延宝5年	9月10日	陽
1677年	10月7日	延宝5年	9月11日	陽
1677年	10月8日	延宝5年	9月12日	雨 (御家中の中間斬罪)
1677年	10月9日	延宝5年	9月13日	陽 夜雨
1677年	10月10日	延宝5年	9月14日	陽 (2日和徳町の火元入寺赦免)
1677年	10月11日	延宝5年	9月15日	陽
1677年	10月12日	延宝5年	9月16日	陽
1677年	10月13日	延宝5年	9月17日	卯の刻雨 巳の刻に及ぶ 陽
1677年	10月14日	延宝5年	9月18日	陽
1677年	10月15日	延宝5年	9月19日	陽
1677年	10月16日	延宝5年	9月20日	陽
1677年	10月17日	延宝5年	9月21日	陰
1677年	10月18日	延宝5年	9月22日	陰
1677年	10月19日	延宝5年	9月23日	陽
1677年	10月20日	延宝5年	9月24日	風雨
1677年	10月21日	延宝5年	9月25日	陰 風
1677年	10月22日	延宝5年	9月26日	陰
1677年	10月23日	延宝5年	9月27日	陰
1677年	10月24日	延宝5年	9月28日	陽 風 昨夜岩木山初雪
1677年	10月25日	延宝5年	9月29日	陽
1677年	10月26日	延宝5年	9月30日	寅の刻大雨 陰
1677年	10月27日	延宝5年	10月1日	なし
1677年	10月28日	延宝5年	10月2日	なし
1677年	10月29日	延宝5年	10月3日	なし
1677年	10月30日	延宝5年	10月4日	なし
1677年	10月31日	延宝5年	10月5日	なし

8月18日に「平出」(へいしゅつ:尊敬すべき者(殿様など)・物(城など)・行動(仰付けなど)を行頭に記述すること・前の行の下部は空欄となる)が見られる。この簡易型として、一文字分を空けて「関字」(けつじ)とする例もある。これらは最初から、ごく普通に、確実に記述している。しかし、より本格的な「擡頭」(たいとう:平出より上から書くこと)の例は、弘前藩庁日記の前半には見ない。

1677年	11月1日	延宝5年	10月6日	なし
1677年	11月2日	延宝5年	10月7日	なし
1677年	11月3日	延宝5年	10月8日	なし
1677年	11月4日	延宝5年	10月9日	なし (水戸などで地震があったことが11月7日の記述に見られる)
1677年	11月5日	延宝5年	10月10日	なし
1677年	11月6日	延宝5年	10月11日	なし
1677年	11月7日	延宝5年	10月12日	なし
1677年	11月8日	延宝5年	10月13日	なし
1677年	11月9日	延宝5年	10月14日	なし
1677年	11月10日	延宝5年	10月15日	なし
1677年	11月11日	延宝5年	10月16日	なし
1677年	11月12日	延宝5年	10月17日	なし
1677年	11月13日	延宝5年	10月18日	なし (稽古拍子、狂言の演目として「じせんせき」(二千石)・「しびり」(痺)という濁点表記が見える:濁点表記が普通になったのかも知れない)
1677年	11月14日	延宝5年	10月19日	なし
1677年	11月15日	延宝5年	10月20日	なし
1677年	11月16日	延宝5年	10月21日	なし
1677年	11月17日	延宝5年	10月22日	なし
1677年	11月18日	延宝5年	10月23日	なし
1677年	11月19日	延宝5年	10月24日	なし
1677年	11月20日	延宝5年	10月25日	なし
1677年	11月21日	延宝5年	10月26日	なし
1677年	11月22日	延宝5年	10月27日	なし
1677年	11月23日	延宝5年	10月28日	なし
1677年	11月24日	延宝5年	10月29日	なし
1677年	11月25日	延宝5年	11月1日	なし
1677年	11月26日	延宝5年	11月2日	なし
1677年	11月27日	延宝5年	11月3日	なし
1677年	11月28日	延宝5年	11月4日	なし
1677年	11月29日	延宝5年	11月5日	なし
1677年	11月30日	延宝5年	11月6日	なし
1677年	12月1日	延宝5年	11月7日	なし (10月9日水戸で地震・津波・死者36(男34女2)・上総の国蓮沼村で死人13など)
1677年	12月2日	延宝5年	11月8日	なし
1677年	12月3日	延宝5年	11月9日	なし (馬盗人男牢死)
1677年	12月4日	延宝5年	11月10日	なし
1677年	12月5日	延宝5年	11月11日	なし (昨夜外浜より初鱈上がる)
1677年	12月6日	延宝5年	11月12日	なし
1677年	12月7日	延宝5年	11月13日	なし
1677年	12月8日	延宝5年	11月14日	なし
1677年	12月9日	延宝5年	11月15日	なし
1677年	12月10日	延宝5年	11月16日	なし
1677年	12月11日	延宝5年	11月17日	なし
1677年	12月12日	延宝5年	11月18日	なし
1677年	12月13日	延宝5年	11月19日	なし
1677年	12月14日	延宝5年	11月20日	なし
1677年	12月15日	延宝5年	11月21日	なし
1677年	12月16日	延宝5年	11月22日	なし
1677年	12月17日	延宝5年	11月23日	なし
1677年	12月18日	延宝5年	11月24日	なし
1677年	12月19日	延宝5年	11月25日	なし
1677年	12月20日	延宝5年	11月26日	なし (敦賀御米払い1919石6斗代銀72貫465文目1分9厘・押合い10文目で2斗6升4合8タ9才、大津御米払い2979石8斗7升代銀24貫238文目9厘・押合い10文目で2斗3升9合8タ5才)
1677年	12月21日	延宝5年	11月27日	なし
1677年	12月22日	延宝5年	11月28日	なし
1677年	12月23日	延宝5年	11月29日	なし
1677年	12月24日	延宝5年	11月30日	なし
1677年	12月25日	延宝5年	12月1日	なし
1677年	12月26日	延宝5年	12月2日	なし
1677年	12月27日	延宝5年	12月3日	なし
1677年	12月28日	延宝5年	12月4日	なし
1677年	12月29日	延宝5年	12月5日	なし
1677年	12月30日	延宝5年	12月6日	なし
1677年	12月31日	延宝5年	12月7日	なし

1678年	1月1日	延宝5年	12月8日	なし
1678年	1月2日	延宝5年	12月9日	なし
1678年	1月3日	延宝5年	12月10日	なし
1678年	1月4日	延宝5年	12月11日	なし
1678年	1月5日	延宝5年	12月12日	なし (今日追鳥狩: 雉子106・鴨1・狼3・鼬1・兔2)
1678年	1月6日	延宝5年	12月13日	なし
1678年	1月7日	延宝5年	12月14日	なし
1678年	1月8日	延宝5年	12月15日	なし
1678年	1月9日	延宝5年	12月16日	なし
1678年	1月10日	延宝5年	12月17日	なし
1678年	1月11日	延宝5年	12月18日	なし
1678年	1月12日	延宝5年	12月19日	なし
1678年	1月13日	延宝5年	12月20日	なし (御内分金1000両並びに337両銀23貫目差登)
1678年	1月14日	延宝5年	12月21日	なし (御花畑の積雪1尺6寸)
1678年	1月15日	延宝5年	12月22日	なし
1678年	1月16日	延宝5年	12月23日	なし
1678年	1月17日	延宝5年	12月24日	なし
1678年	1月18日	延宝5年	12月25日	なし (先日斬罪を申し付けた2人の妻子を売り払うべき由申し渡す)
1678年	1月19日	延宝5年	12月26日	なし (御用の曆70本下之)
1678年	1月20日	延宝5年	12月27日	なし
1678年	1月21日	延宝5年	12月28日	なし
1678年	1月22日	延宝5年	12月29日	なし
1678年	1月23日	延宝5年	閏12月1日	なし
1678年	1月24日	延宝5年	閏12月2日	なし
1678年	1月25日	延宝5年	閏12月3日	なし
1678年	1月26日	延宝5年	閏12月4日	なし (馬盗人(など)3人斬罪、十三村火付け1人磔・2人斬罪)
1678年	1月27日	延宝5年	閏12月5日	なし
1678年	1月28日	延宝5年	閏12月6日	なし
1678年	1月29日	延宝5年	閏12月7日	なし
1678年	1月30日	延宝5年	閏12月8日	なし
1678年	1月31日	延宝5年	閏12月9日	なし
1678年	2月1日	延宝5年	閏12月10日	なし
1678年	2月2日	延宝5年	閏12月11日	なし
1678年	2月3日	延宝5年	閏12月12日	なし (親方町の火元の入寺免許)
1678年	2月4日	延宝5年	閏12月13日	なし
1678年	2月5日	延宝5年	閏12月14日	なし
1678年	2月6日	延宝5年	閏12月15日	なし
1678年	2月7日	延宝5年	閏12月16日	なし
1678年	2月8日	延宝5年	閏12月17日	なし
1678年	2月9日	延宝5年	閏12月18日	なし
1678年	2月10日	延宝5年	閏12月19日	なし
1678年	2月11日	延宝5年	閏12月20日	なし
1678年	2月12日	延宝5年	閏12月21日	なし
1678年	2月13日	延宝5年	閏12月22日	なし
1678年	2月14日	延宝5年	閏12月23日	なし
1678年	2月15日	延宝5年	閏12月24日	なし
1678年	2月16日	延宝5年	閏12月25日	なし
1678年	2月17日	延宝5年	閏12月26日	なし
1678年	2月18日	延宝5年	閏12月27日	なし
1678年	2月19日	延宝5年	閏12月28日	なし
1678年	2月20日	延宝5年	閏12月29日	なし
1678年	2月21日	延宝6年	正月1日	吹雨
1678年	2月22日	延宝6年	正月2日	午の刻地震
1678年	2月23日	延宝6年	正月3日	晦 (御謡初)
1678年	2月24日	延宝6年	正月4日	暁
1678年	2月25日	延宝6年	正月5日	暁
1678年	2月26日	延宝6年	正月6日	晦
1678年	2月27日	延宝6年	正月7日	晦
1678年	2月28日	延宝6年	正月8日	暁

1678年	3月1日	延宝6年	正月9日	陽	亥の刻大風
1678年	3月2日	延宝6年	正月10日	昨	亥の刻大風 今巳の刻に及ぶ 晦
1678年	3月3日	延宝6年	正月11日	昨	夜雪五寸ばかりに及ぶ 晦
1678年	3月4日	延宝6年	正月12日	陽	
1678年	3月5日	延宝6年	正月13日	陽	
1678年	3月6日	延宝6年	正月14日	雪	
1678年	3月7日	延宝6年	正月15日	陽	
1678年	3月8日	延宝6年	正月16日	寅の上刻雨	今巳の刻雨 風変わる
1678年	3月9日	延宝6年	正月17日	陽	
1678年	3月10日	延宝6年	正月18日	陽	
1678年	3月11日	延宝6年	正月19日	陽	
1678年	3月12日	延宝6年	正月20日	陽	
1678年	3月13日	延宝6年	正月21日	陽	申の刻雷二度発す 雨
1678年	3月14日	延宝6年	正月22日	昨	夜大風雨
1678年	3月15日	延宝6年	正月23日	風	
1678年	3月16日	延宝6年	正月24日	晦	午の下刻雪 戌の刻に及ぶ
1678年	3月17日	延宝6年	正月25日	陽	
1678年	3月18日	延宝6年	正月26日	陽	
1678年	3月19日	延宝6年	正月27日	風雪	
1678年	3月20日	延宝6年	正月28日	風雪	
1678年	3月21日	延宝6年	正月29日	晦	
1678年	3月22日	延宝6年	正月30日	陽	
1678年	3月23日	延宝6年	2月1日	陽	戌の刻地震
1678年	3月24日	延宝6年	2月2日	陽	
1678年	3月25日	延宝6年	2月3日	陽	
1678年	3月26日	延宝6年	2月4日	陽	
1678年	3月27日	延宝6年	2月5日	霜	
1678年	3月28日	延宝6年	2月6日	霜	陽 酉の刻地震
1678年	3月29日	延宝6年	2月7日	卯の刻地震	巳の刻雨
1678年	3月30日	延宝6年	2月8日	午の刻雨	(卯の下刻元寺町火事・総登城)
1678年	3月31日	延宝6年	2月9日	風	陽 (6日新城村で火災・御百姓家など2軒焼失)
1678年	4月1日	延宝6年	2月10日	陽	
1678年	4月2日	延宝6年	2月11日	霜	晦
1678年	4月3日	延宝6年	2月12日	風	
1678年	4月4日	延宝6年	2月13日	霜	陽
1678年	4月5日	延宝6年	2月14日	霜	
1678年	4月6日	延宝6年	2月15日	霜	
1678年	4月7日	延宝6年	2月16日	風	
1678年	4月8日	延宝6年	2月17日	霜	
1678年	4月9日	延宝6年	2月18日	霜	
1678年	4月10日	延宝6年	2月19日	昨	夜子の刻雨 今卯の刻に及ぶ
1678年	4月11日	延宝6年	2月20日	卯の刻雨	終日
1678年	4月12日	延宝6年	2月21日	陽	
1678年	4月13日	延宝6年	2月22日	陽	
1678年	4月14日	延宝6年	2月23日	風	
1678年	4月15日	延宝6年	2月24日	昨	未の刻風雨 今午の刻に及ぶ (今朝辰の刻古懸山不動出汗)
1678年	4月16日	延宝6年	2月25日	風雨	
1678年	4月17日	延宝6年	2月26日	風	
1678年	4月18日	延宝6年	2月27日	陽	
1678年	4月19日	延宝6年	2月28日	陽	
1678年	4月20日	延宝6年	2月29日	申の刻しゅう	
1678年	4月21日	延宝6年	3月1日	午の刻雨	
1678年	4月22日	延宝6年	3月2日	風雨	
1678年	4月23日	延宝6年	3月3日	風雨	
1678年	4月24日	延宝6年	3月4日	申酉の刻雨	(長鍛冶町で酉上刻火災1軒)
1678年	4月25日	延宝6年	3月5日	陽	
1678年	4月26日	延宝6年	3月6日	陽	
1678年	4月27日	延宝6年	3月7日	陽	(5日高杉遣堂簡沢宿はつれに50男乞食倒死)
1678年	4月28日	延宝6年	3月8日	未の下刻雨	
1678年	4月29日	延宝6年	3月9日	昨	夜雨 今卯の刻に及ぶ
1678年	4月30日	延宝6年	3月10日	晦	

1678年	5月1日	延宝6年	3月11日	夜中雨
1678年	5月2日	延宝6年	3月12日	夜中大風
1678年	5月3日	延宝6年	3月13日	陽
1678年	5月4日	延宝6年	3月14日	陽
1678年	5月5日	延宝6年	3月15日	巳の刻雨
1678年	5月6日	延宝6年	3月16日	陽
1678年	5月7日	延宝6年	3月17日	昨夜亥の刻地震 晦 (母衣町になげ火(投げ火)あり)
1678年	5月8日	延宝6年	3月18日	陽 夜中風雨
1678年	5月9日	延宝6年	3月19日	大風
1678年	5月10日	延宝6年	3月20日	陽
1678年	5月11日	延宝6年	3月21日	陽
1678年	5月12日	延宝6年	3月22日	陽 (午下刻御殿町になげ火あり)
1678年	5月13日	延宝6年	3月23日	辰の刻雨 終日に及ぶ (御家中元家来斬罪)
1678年	5月14日	延宝6年	3月24日	陽
1678年	5月15日	延宝6年	3月25日	陽 風
1678年	5月16日	延宝6年	3月26日	陽 風
1678年	5月17日	延宝6年	3月27日	陽 (22日昼沖館詰の桜田村で火災7軒、昨夜門外派村で火災1軒)
1678年	5月18日	延宝6年	3月28日	夜中雨 晦
1678年	5月19日	延宝6年	3月29日	晦
1678年	5月20日	延宝6年	3月30日	陽
1678年	5月21日	延宝6年	4月1日	陽
1678年	5月22日	延宝6年	4月2日	陽
1678年	5月23日	延宝6年	4月3日	陽
1678年	5月24日	延宝6年	4月4日	陽
1678年	5月25日	延宝6年	4月5日	陽
1678年	5月26日	延宝6年	4月6日	陽
1678年	5月27日	延宝6年	4月7日	陽 (外浜野崎村に火災4軒)
1678年	5月28日	延宝6年	4月8日	巳の刻雷雨 終日
1678年	5月29日	延宝6年	4月9日	陽
1678年	5月30日	延宝6年	4月10日	寅の刻雨 (4日今別で山火・能雨で消える)
1678年	5月31日	延宝6年	4月11日	昨丑の刻雨 終日に及ぶ
1678年	6月1日	延宝6年	4月12日	風雨
1678年	6月2日	延宝6年	4月13日	陽
1678年	6月3日	延宝6年	4月14日	陽
1678年	6月4日	延宝6年	4月15日	陽 申の刻しゅう
1678年	6月5日	延宝6年	4月16日	陽
1678年	6月6日	延宝6年	4月17日	陽
1678年	6月7日	延宝6年	4月18日	寅の刻雷雨
1678年	6月8日	延宝6年	4月19日	陽
1678年	6月9日	延宝6年	4月20日	大雨 迅雷
1678年	6月10日	延宝6年	4月21日	陽
1678年	6月11日	延宝6年	4月22日	陽
1678年	6月12日	延宝6年	4月23日	陽 未申の刻雷数発 雨 (大鰐村よりきふり(胡瓜)7上がる)
1678年	6月13日	延宝6年	4月24日	未申の刻迅雷 大雨
1678年	6月14日	延宝6年	4月25日	辰の刻雨 未の刻雷発す
1678年	6月15日	延宝6年	4月26日	晦 巳の刻雨 申の刻に及ぶ
1678年	6月16日	延宝6年	4月27日	陽
1678年	6月17日	延宝6年	4月28日	陽
1678年	6月18日	延宝6年	4月29日	未の刻暴雨 迅雷数発 (5月10日頃江戸発駕だろうとの報)
1678年	6月19日	延宝6年	5月1日	昨未の刻雨 今午の刻に及ぶ
1678年	6月20日	延宝6年	5月2日	晦 (4月29日鯨筒沢を出た上乘(積荷(米)の監視役の御家中)行方不明・翌日咽に傷ついて死体が見つかる)
1678年	6月21日	延宝6年	5月3日	陽
1678年	6月22日	延宝6年	5月4日	晦
1678年	6月23日	延宝6年	5月5日	陽
1678年	6月24日	延宝6年	5月6日	晦
1678年	6月25日	延宝6年	5月7日	晦
1678年	6月26日	延宝6年	5月8日	陽
1678年	6月27日	延宝6年	5月9日	陽
1678年	6月28日	延宝6年	5月10日	陽
1678年	6月29日	延宝6年	5月11日	晦 申の刻雨 終夜に及ぶ
1678年	6月30日	延宝6年	5月12日	晦

1678年	7月1日	延宝6年	5月13日	晦	未の刻雨
1678年	7月2日	延宝6年	5月14日	晦	
1678年	7月3日	延宝6年	5月15日	陽	(12日十三で破船1艘)
1678年	7月4日	延宝6年	5月16日	陽	
1678年	7月5日	延宝6年	5月17日	陽	
1678年	7月6日	延宝6年	5月18日	午の刻雨	申の刻に及ぶ
1678年	7月7日	延宝6年	5月19日	申の刻雨	
1678年	7月8日	延宝6年	5月20日	晦	午未の刻大雨
1678年	7月9日	延宝6年	5月21日	陽	(昨夜閨札打ち下着)
1678年	7月10日	延宝6年	5月22日	辰の刻大雨	迅雷数発
1678年	7月11日	延宝6年	5月23日	晦	(大鱈より真瓜2茄子10上がる)
1678年	7月12日	延宝6年	5月24日	陽	
1678年	7月13日	延宝6年	5月25日	陽	
1678年	7月14日	延宝6年	5月26日	陽	
1678年	7月15日	延宝6年	5月27日	陽	(稽古拍子)
1678年	7月16日	延宝6年	5月28日	陽	(牛盗人道にて自害)
1678年	7月17日	延宝6年	5月29日	陽	
1678年	7月18日	延宝6年	5月30日	陽	
1678年	7月19日	延宝6年	6月1日	陽	(去月21日江戸御発駕)
1678年	7月20日	延宝6年	6月2日	陽	
1678年	7月21日	延宝6年	6月3日	陽	土用入り
1678年	7月22日	延宝6年	6月4日	陽	風
1678年	7月23日	延宝6年	6月5日	雨	
1678年	7月24日	延宝6年	6月6日	陽	
1678年	7月25日	延宝6年	6月7日	陽	
1678年	7月26日	延宝6年	6月8日	陽	
1678年	7月27日	延宝6年	6月9日	陽	(殿様巳の中刻御城着 戌の刻御家中に切りつけた御家中斬罪)
1678年	7月28日	延宝6年	6月10日	陽	(大鱈より初真桑5上がる)
1678年	7月29日	延宝6年	6月11日	陽	
1678年	7月30日	延宝6年	6月12日	陽	
1678年	7月31日	延宝6年	6月13日	陽	
1678年	8月1日	延宝6年	6月14日	陽	
1678年	8月2日	延宝6年	6月15日	陽	
1678年	8月3日	延宝6年	6月16日	申の刻雨	終夜に及ぶ
1678年	8月4日	延宝6年	6月17日	陽	
1678年	8月5日	延宝6年	6月18日	陽	
1678年	8月6日	延宝6年	6月19日	陽	
1678年	8月7日	延宝6年	6月20日	晦	夜中雨
1678年	8月8日	延宝6年	6月21日	陽	
1678年	8月9日	延宝6年	6月22日	陽	
1678年	8月10日	延宝6年	6月23日	申酉戌の刻大雨	
1678年	8月11日	延宝6年	6月24日	晦	
1678年	8月12日	延宝6年	6月25日	陽	(今月16日晚より17日まで大風雨で酒田米代間で300艘ほど破損の由)
1678年	8月13日	延宝6年	6月26日	陽	
1678年	8月14日	延宝6年	6月27日	陽	
1678年	8月15日	延宝6年	6月28日	陽	
1678年	8月16日	延宝6年	6月29日	陽	
1678年	8月17日	延宝6年	7月1日	陽	
1678年	8月18日	延宝6年	7月2日	晦	
1678年	8月19日	延宝6年	7月3日	陽	
1678年	8月20日	延宝6年	7月4日	なし	
1678年	8月21日	延宝6年	7月5日	昨夜雨	晦
1678年	8月22日	延宝6年	7月6日	陽	
1678年	8月23日	延宝6年	7月7日	陽	
1678年	8月24日	延宝6年	7月8日	陽	
1678年	8月25日	延宝6年	7月9日	陽	
1678年	8月26日	延宝6年	7月10日	陽	
1678年	8月27日	延宝6年	7月11日	陽	午の下刻雷 酉の刻電
1678年	8月28日	延宝6年	7月12日	陽	(狂言)
1678年	8月29日	延宝6年	7月13日	陽	
1678年	8月30日	延宝6年	7月14日	陽	
1678年	8月31日	延宝6年	7月15日	陽	(大光寺遣小杉村御百姓から初米上がる・褒美銀子1枚酒1斗)

1678年 9月1日 延宝6年	7月16日 未の刻雷雨 夜中雨 (御拍子)
1678年 9月2日 延宝6年	7月17日 晦 夜中雨
1678年 9月3日 延宝6年	7月18日 昨夜雨 今辰の刻に及ぶ 未の刻地震
1678年 9月4日 延宝6年	7月19日 暁 酉の刻雨 (丑の刻大風・御手廻まで登城)
1678年 9月5日 延宝6年	7月20日 昨夜中大風雨 今卯の上刻に及ぶ (倒家6軒・負傷1人)
1678年 9月6日 延宝6年	7月21日 暁
1678年 9月7日 延宝6年	7月22日 暁
1678年 9月8日 延宝6年	7月23日 夜雨 (19日の風被害:倒家11軒・破損306軒・負傷2人・馬の死傷各1疋、赫土盗み売り御家中打ち首・その子成敗・町人3人磔)
1678年 9月9日 延宝6年	7月24日 夜雨
1678年 9月10日 延宝6年	7月25日 昼夜雨 (御拍子)
1678年 9月11日 延宝6年	7月26日 晦
1678年 9月12日 延宝6年	7月27日 晦 (御拍子・狂言)
1678年 9月13日 延宝6年	7月28日 暁
1678年 9月14日 延宝6年	7月29日 晦
1678年 9月15日 延宝6年	7月30日 暁 (御家中斬罪1人・検使久保田市郎左衛門と黒土刑部左衛門・御目付林吉右衛門・打手関次助)
1678年 9月16日 延宝6年	8月1日 なし
1678年 9月17日 延宝6年	8月2日 なし
1678年 9月18日 延宝6年	8月3日 なし
1678年 9月19日 延宝6年	8月4日 なし
1678年 9月20日 延宝6年	8月5日 なし
1678年 9月21日 延宝6年	8月6日 なし (御能、西之濱目内崎村より初鮭1尺上がる、追手御門(多分本丸の近く)あり)
1678年 9月22日 延宝6年	8月7日 なし (下之切蟹派より二番鮭上がる)
1678年 9月23日 延宝6年	8月8日 なし
1678年 9月24日 延宝6年	8月9日 なし (法度の栗盗み出し公金流用などで御家中斬罪1人・磔3人、その親切腹・子2人斬罪、その他の妻子は追放など)
1678年 9月25日 延宝6年	8月10日 なし
1678年 9月26日 延宝6年	8月11日 なし
1678年 9月27日 延宝6年	8月12日 なし
1678年 9月28日 延宝6年	8月13日 なし
1678年 9月29日 延宝6年	8月14日 なし
1678年 9月30日 延宝6年	8月15日 なし
1678年 10月1日 延宝6年	8月16日 なし
1678年 10月2日 延宝6年	8月17日 なし
1678年 10月3日 延宝6年	8月18日 なし
1678年 10月4日 延宝6年	8月19日 なし
1678年 10月5日 延宝6年	8月20日 なし
1678年 10月6日 延宝6年	8月21日 なし (御能・狂言)
1678年 10月7日 延宝6年	8月22日 なし
1678年 10月8日 延宝6年	8月23日 なし
1678年 10月9日 延宝6年	8月24日 なし
1678年 10月10日 延宝6年	8月25日 なし
1678年 10月11日 延宝6年	8月26日 なし
1678年 10月12日 延宝6年	8月27日 なし
1678年 10月13日 延宝6年	8月28日 なし
1678年 10月14日 延宝6年	8月29日 なし
1678年 10月15日 延宝6年	8月30日 なし
1678年 10月16日 延宝6年	9月1日 雨
1678年 10月17日 延宝6年	9月2日 雨
1678年 10月18日 延宝6年	9月3日 霜 暁
1678年 10月19日 延宝6年	9月4日 雨
1678年 10月20日 延宝6年	9月5日 晦
1678年 10月21日 延宝6年	9月6日 晦
1678年 10月22日 延宝6年	9月7日 暁
1678年 10月23日 延宝6年	9月8日 暁
1678年 10月24日 延宝6年	9月9日 暁
1678年 10月25日 延宝6年	9月10日 暁 (御能・狂言)
1678年 10月26日 延宝6年	9月11日 辰の刻雷発す 大雨 (御家中の元家来が越山されて紛れ入り斬罪)
1678年 10月27日 延宝6年	9月12日 晦 夜雨
1678年 10月28日 延宝6年	9月13日 雨
1678年 10月29日 延宝6年	9月14日 暁
1678年 10月30日 延宝6年	9月15日 暁 風
1678年 10月31日 延宝6年	9月16日 霜 暁 昨夜亥の上刻地震

1678年 11月1日	延宝6年	9月17日	霜 暘
1678年 11月2日	延宝6年	9月18日	霜 暘
1678年 11月3日	延宝6年	9月19日	暘 風 (唐牛与右衛門が尾太御山銀40貫目持参する、狂言)
1678年 11月4日	延宝6年	9月20日	雨
1678年 11月5日	延宝6年	9月21日	暘 酉の刻雨
1678年 11月6日	延宝6年	9月22日	昨酉の刻雨 辰の刻に及び暘 (米相場1両につき:津軽7月に1石5斗・8月1石2斗、仙台米7月1石6斗2升・8月1石3斗)
1678年 11月7日	延宝6年	9月23日	暘
1678年 11月8日	延宝6年	9月24日	寅卯の刻雨 暘
1678年 11月9日	延宝6年	9月25日	暘
1678年 11月10日	延宝6年	9月26日	卯の刻雨 終日
1678年 11月11日	延宝6年	9月27日	(なぜか記録なし:前日26日の干支が甲子・翌28日が丙寅)
1678年 11月12日	延宝6年	9月28日	雨
1678年 11月13日	延宝6年	9月29日	霜 暘
1678年 11月14日	延宝6年	10月1日	暘
1678年 11月15日	延宝6年	10月2日	暘 子の刻雨
1678年 11月16日	延宝6年	10月3日	昨子の刻雨 今辰の刻に及び暘 (御家中の家来斬罪)
1678年 11月17日	延宝6年	10月4日	暘
1678年 11月18日	延宝6年	10月5日	暘
1678年 11月19日	延宝6年	10月6日	暘
1678年 11月20日	延宝6年	10月7日	雨
1678年 11月21日	延宝6年	10月8日	暘
1678年 11月22日	延宝6年	10月9日	雨
1678年 11月23日	延宝6年	10月10日	初雪 (外濱より初鱈1尺(1尾のこと)上がる)
1678年 11月24日	延宝6年	10月11日	雪 (八森(秋田県)より参る由にてはたはた上がる、去4日夜杉沢の派で火災1軒)
1678年 11月25日	延宝6年	10月12日	雪
1678年 11月26日	延宝6年	10月13日	雨
1678年 11月27日	延宝6年	10月14日	暘
1678年 11月28日	延宝6年	10月15日	雨 夜雪
1678年 11月29日	延宝6年	10月16日	暘
1678年 11月30日	延宝6年	10月17日	暘 夜雨 雷発す
1678年 12月1日	延宝6年	10月18日	雨 夜雷数発 (御家中3人斬罪)
1678年 12月2日	延宝6年	10月19日	暘
1678年 12月3日	延宝6年	10月20日	暘
1678年 12月4日	延宝6年	10月21日	暘
1678年 12月5日	延宝6年	10月22日	暘
1678年 12月6日	延宝6年	10月23日	暘 (御能・狂言)
1678年 12月7日	延宝6年	10月24日	暘
1678年 12月8日	延宝6年	10月25日	暘
1678年 12月9日	延宝6年	10月26日	雨
1678年 12月10日	延宝6年	10月27日	雨 夜雪
1678年 12月11日	延宝6年	10月28日	暘
1678年 12月12日	延宝6年	10月29日	暘
1678年 12月13日	延宝6年	10月30日	暘
1678年 12月14日	延宝6年	11月1日	雪 (人事異動)
1678年 12月15日	延宝6年	11月2日	暘
1678年 12月16日	延宝6年	11月3日	暘
1678年 12月17日	延宝6年	11月4日	暘
1678年 12月18日	延宝6年	11月5日	雨
1678年 12月19日	延宝6年	11月6日	雪
1678年 12月20日	延宝6年	11月7日	暘 夜雨
1678年 12月21日	延宝6年	11月8日	雪
1678年 12月22日	延宝6年	11月9日	雪 (人事異動)
1678年 12月23日	延宝6年	11月10日	雪
1678年 12月24日	延宝6年	11月11日	暘
1678年 12月25日	延宝6年	11月12日	暘
1678年 12月26日	延宝6年	11月13日	暘
1678年 12月27日	延宝6年	11月14日	暘
1678年 12月28日	延宝6年	11月15日	暘
1678年 12月29日	延宝6年	11月16日	暘
1678年 12月30日	延宝6年	11月17日	暘
1678年 12月31日	延宝6年	11月18日	暘

1679年	1月1日	延宝6年	11月19日	晦	(追鳥狩:雉子46など)
1679年	1月2日	延宝6年	11月20日	雪	
1679年	1月3日	延宝6年	11月21日	雪	(追鳥狩:雉子など61)
1679年	1月4日	延宝6年	11月22日	晦	(謔・狂言)
1679年	1月5日	延宝6年	11月23日	暘	
1679年	1月6日	延宝6年	11月24日	暘	
1679年	1月7日	延宝6年	11月25日	暘	
1679年	1月8日	延宝6年	11月26日	雨	
1679年	1月9日	延宝6年	11月27日	暘	
1679年	1月10日	延宝6年	11月28日	雪	
1679年	1月11日	延宝6年	11月29日	雪	
1679年	1月12日	延宝6年	11月30日	暘	
1679年	1月13日	延宝6年	12月1日	暘	
1679年	1月14日	延宝6年	12月2日	雪	
1679年	1月15日	延宝6年	12月3日	雪	
1679年	1月16日	延宝6年	12月4日	雪	
1679年	1月17日	延宝6年	12月5日	晦	
1679年	1月18日	延宝6年	12月6日	暘	(昨5日夜左比内村で御百姓家焼失)
1679年	1月19日	延宝6年	12月7日	暘	
1679年	1月20日	延宝6年	12月8日	雪	
1679年	1月21日	延宝6年	12月9日	雪	
1679年	1月22日	延宝6年	12月10日	晦	
1679年	1月23日	延宝6年	12月11日	暘	(寺に盗みに入った男・女房弟を殺した男の2人が斬罪)
1679年	1月24日	延宝6年	12月12日	暘	(昨11日金井箇沢村で火災3軒)
1679年	1月25日	延宝6年	12月13日	雪	
1679年	1月26日	延宝6年	12月14日	暘	
1679年	1月27日	延宝6年	12月15日	雪	
1679年	1月28日	延宝6年	12月16日	雪	
1679年	1月29日	延宝6年	12月17日	暘	
1679年	1月30日	延宝6年	12月18日	雪	(御拍子・狂言)
1679年	1月31日	延宝6年	12月19日	暘	
1679年	2月1日	延宝6年	12月20日	暘	(来年の暦渡す:御前・久昌院様(ここまで金表紙)・庄右衛門様・長泉院殿・善久院殿・盛岡主膳・北村弥右衛門・渡辺次太夫・進藤庄兵衛・夫外……)
1679年	2月2日	延宝6年	12月21日	雪	
1679年	2月3日	延宝6年	12月22日	暘	(御能・狂言)
1679年	2月4日	延宝6年	12月23日	暘	
1679年	2月5日	延宝6年	12月24日	暘	
1679年	2月6日	延宝6年	12月25日	雪	
1679年	2月7日	延宝6年	12月26日	雪	
1679年	2月8日	延宝6年	12月27日	暘	
1679年	2月9日	延宝6年	12月28日	雪	
1679年	2月10日	延宝6年	12月29日	雪	
1679年	2月11日	延宝7年	正月1日	雪	
1679年	2月12日	延宝7年	正月2日	暘	
1679年	2月13日	延宝7年	正月3日	暘	(御謔初)
1679年	2月14日	延宝7年	正月4日	暘	
1679年	2月15日	延宝7年	正月5日	雨	
1679年	2月16日	延宝7年	正月6日	夜中風雨	
1679年	2月17日	延宝7年	正月7日	雪	(御拍子・狂言)
1679年	2月18日	延宝7年	正月8日	雪	
1679年	2月19日	延宝7年	正月9日	暘	
1679年	2月20日	延宝7年	正月10日	暘	
1679年	2月21日	延宝7年	正月11日	暘	(人事異動あり、馬廻り組・御留守居組ができた?)
1679年	2月22日	延宝7年	正月12日	雪	
1679年	2月23日	延宝7年	正月13日	晦	
1679年	2月24日	延宝7年	正月14日	雪	
1679年	2月25日	延宝7年	正月15日	晦	
1679年	2月26日	延宝7年	正月16日	雪	
1679年	2月27日	延宝7年	正月17日	晦	
1679年	2月28日	延宝7年	正月18日	暘	(御能・狂言)

1679年 3月1日 延宝7年 正月19日 陽
 1679年 3月2日 延宝7年 正月20日 陽
 1679年 3月3日 延宝7年 正月21日 陽
 1679年 3月4日 延宝7年 正月22日 陽
 1679年 3月5日 延宝7年 正月23日 陽
 1679年 3月6日 延宝7年 正月24日 雨 (長勝寺と禅宗の寺達ともめ事・閉門多数)
 1679年 3月7日 延宝7年 正月25日 なし(日記はあるが天候なし)
 1679年 3月8日 延宝7年 正月26日 曇 (御家中の若党と中間がけんか・兩人とも斬罪)
 1679年 3月9日 延宝7年 正月27日 陰
 1679年 3月10日 延宝7年 正月28日 陽
 1679年 3月11日 延宝7年 正月29日 陰
 1679年 3月12日 延宝7年 2月1日 雪
 1679年 3月13日 延宝7年 2月2日 雪
 1679年 3月14日 延宝7年 2月3日 陽 (外浜両遣で飯米・種籾に難儀している・上磯に1200俵・下磯に300俵を差し引くよう申し渡す)
 1679年 3月15日 延宝7年 2月4日 陽
 1679年 3月16日 延宝7年 2月5日 雪 風
 1679年 3月17日 延宝7年 2月6日 陰
 1679年 3月18日 延宝7年 2月7日 陽 (今4日御銀山にて雪なて(なだれ)につきこめ羅連(られ)4人死亡)
 1679年 3月19日 延宝7年 2月8日 陽
 1679年 3月20日 延宝7年 2月9日 陽
 1679年 3月21日 延宝7年 2月10日 陰
 1679年 3月22日 延宝7年 2月11日 陽
 1679年 3月23日 延宝7年 2月12日 陽
 1679年 3月24日 延宝7年 2月13日 陰
 1679年 3月25日 延宝7年 2月14日 陽
 1679年 3月26日 延宝7年 2月15日 陰
 1679年 3月27日 延宝7年 2月16日 陰
 1679年 3月28日 延宝7年 2月17日 陰
 1679年 3月29日 延宝7年 2月18日 陰 風
 1679年 3月30日 延宝7年 2月19日 陽 (御能初・狂言)
 1679年 3月31日 延宝7年 2月20日 卯の刻雨 巳の刻に及び陰
 1679年 4月1日 延宝7年 2月21日 陽 (御能)
 1679年 4月2日 延宝7年 2月22日 陽
 1679年 4月3日 延宝7年 2月23日 陽
 1679年 4月4日 延宝7年 2月24日 陽 風
 1679年 4月5日 延宝7年 2月25日 陽
 1679年 4月6日 延宝7年 2月26日 陽
 1679年 4月7日 延宝7年 2月27日 陽 (御能・狂言「井礮」(どぶかつちり)を「とぶかつちり」と記述)
 1679年 4月8日 延宝7年 2月28日 陰 巳午の刻雨
 1679年 4月9日 延宝7年 2月29日 陰 丑の刻雨
 1679年 4月10日 延宝7年 2月30日 雨
 1679年 4月11日 延宝7年 3月1日 陽
 1679年 4月12日 延宝7年 3月2日 陽
 1679年 4月13日 延宝7年 3月3日 陽 (尾太御銀山より唐牛与右衛門が銀30貫目上げる)
 1679年 4月14日 延宝7年 3月4日 陽 風
 1679年 4月15日 延宝7年 3月5日 陽
 1679年 4月16日 延宝7年 3月6日 昼雨 陰
 1679年 4月17日 延宝7年 3月7日 昨夜大雨 陰
 1679年 4月18日 延宝7年 3月8日 陽 (関札打ち発足)
 1679年 4月19日 延宝7年 3月9日 陰 夜雨風 (辰の中刻御発駕)
 1679年 4月20日 延宝7年 3月10日 雨
 1679年 4月21日 延宝7年 3月11日 陽 風
 1679年 4月22日 延宝7年 3月12日 陰
 1679年 4月23日 延宝7年 3月13日 陽
 1679年 4月24日 延宝7年 3月14日 陽
 1679年 4月25日 延宝7年 3月15日 しゅう
 1679年 4月26日 延宝7年 3月16日 陰
 1679年 4月27日 延宝7年 3月17日 陽
 1679年 4月28日 延宝7年 3月18日 陽 大風
 1679年 4月29日 延宝7年 3月19日 陽 (御家中屋敷玄関小火)
 1679年 4月30日 延宝7年 3月20日 陽 風 (未刻茂森町に付け火あり)

1679年	5月1日	延宝7年	3月21日	陽
1679年	5月2日	延宝7年	3月22日	陽 (下之切小田川山と飯詰山の間に山火事、神明に雨請申付ける)
1679年	5月3日	延宝7年	3月23日	陽
1679年	5月4日	延宝7年	3月24日	午未の刻しゅう (下之切材木山の火鎮まらず加勢出す、最勝院・本行寺に雨祭申付ける)
1679年	5月5日	延宝7年	3月25日	未の刻雨 晦
1679年	5月6日	延宝7年	3月26日	陽 (山火事加勢帰る)
1679年	5月7日	延宝7年	3月27日	陽 (両浮田村に狼寄せ馬之子悉く喰殺すの由・狼のみを打つように命じて鉄砲打ち1人派遣)
1679年	5月8日	延宝7年	3月28日	晦 風 戌の刻雷雨 (未の刻御家中宅に投げ火・早速打鎮める)
1679年	5月9日	延宝7年	3月29日	昨夜雨 今巳の刻に及び晦 風
1679年	5月10日	延宝7年	4月1日	風雨
1679年	5月11日	延宝7年	4月2日	陽 風
1679年	5月12日	延宝7年	4月3日	陽 風 (茂森在府町の御家中宅に投げ火)
1679年	5月13日	延宝7年	4月4日	晦 (茂森在府町の御家中宅にまた投げ火)
1679年	5月14日	延宝7年	4月5日	陽 風 (投げ火の詮索始まる、茂森在府町の御家中宅にまた投げ火)
1679年	5月15日	延宝7年	4月6日	陽 風
1679年	5月16日	延宝7年	4月7日	陽 風
1679年	5月17日	延宝7年	4月8日	陽
1679年	5月18日	延宝7年	4月9日	晦 申の下刻雷雨 (十三より鯉ヶ沢へ廻る船2艘破損)
1679年	5月19日	延宝7年	4月10日	陽 風
1679年	5月20日	延宝7年	4月11日	陽 風 (先月頃より西の浜並びに目屋野沢で山鼠(やまね)が死んでいるとの風聞あり・報恩寺にも、9日小泊山に雷で山火事)
1679年	5月21日	延宝7年	4月12日	陽 風
1679年	5月22日	延宝7年	4月13日	巳の刻風雨 (小泊山雷火鎮・枯れ木24本焼失、9日飯詰山に雷・3人痛、西之濱などで山鼠夥しく種物喰とのこと)
1679年	5月23日	延宝7年	4月14日	陽 (殿様3日御参府)
1679年	5月24日	延宝7年	4月15日	なし
1679年	5月25日	延宝7年	4月16日	陽 (昨未下刻茂森町に投げ火)
1679年	5月26日	延宝7年	4月17日	なし
1679年	5月27日	延宝7年	4月18日	なし (比内領でも山鼠大分あり種物喰とのこと)
1679年	5月28日	延宝7年	4月19日	晦
1679年	5月29日	延宝7年	4月20日	なし
1679年	5月30日	延宝7年	4月21日	なし
1679年	5月31日	延宝7年	4月22日	なし
1679年	6月1日	延宝7年	4月23日	なし
1679年	6月2日	延宝7年	4月24日	なし
1679年	6月3日	延宝7年	4月25日	なし
1679年	6月4日	延宝7年	4月26日	なし (亥の刻横町に投げ火)
1679年	6月5日	延宝7年	4月27日	なし (御家中安田某の百姓斬罪)
1679年	6月6日	延宝7年	4月28日	なし
1679年	6月7日	延宝7年	4月29日	なし
1679年	6月8日	延宝7年	4月30日	なし (不当な訴えをした夕顔閣の男を斬罪)
1679年	6月9日	延宝7年	5月1日	陽 風
1679年	6月10日	延宝7年	5月2日	陽 風 申の刻雷 (早魁ゆえ用水なく難儀・百沢寺で雨乞い・百沢寺に山鼠除けのお札を作らせる)
1679年	6月11日	延宝7年	5月3日	陽 風
1679年	6月12日	延宝7年	5月4日	陽 風
1679年	6月13日	延宝7年	5月5日	陽 風
1679年	6月14日	延宝7年	5月6日	陽 風 (初き瓜7大鱈村湯ひち里より上がる)
1679年	6月15日	延宝7年	5月7日	晦 風 夜雨
1679年	6月16日	延宝7年	5月8日	雨 未の刻風
1679年	6月17日	延宝7年	5月9日	陽
1679年	6月18日	延宝7年	5月10日	陽 風
1679年	6月19日	延宝7年	5月11日	未の刻雨 (大行院と堰神禰宜に雨請を申付ける)
1679年	6月20日	延宝7年	5月12日	晦
1679年	6月21日	延宝7年	5月13日	風雨
1679年	6月22日	延宝7年	5月14日	晦
1679年	6月23日	延宝7年	5月15日	風雨
1679年	6月24日	延宝7年	5月16日	晦 夜雨
1679年	6月25日	延宝7年	5月17日	晦 (当年御登米2万7千石の外悪米を吟味して出す、土堂村で火災1軒)
1679年	6月26日	延宝7年	5月18日	晦
1679年	6月27日	延宝7年	5月19日	晦
1679年	6月28日	延宝7年	5月20日	陽 風
1679年	6月29日	延宝7年	5月21日	晦 (外濱上磯で狢を刺し殺した男斬罪)
1679年	6月30日	延宝7年	5月22日	晦

1679年	7月1日	延宝7年	5月23日	陽
1679年	7月2日	延宝7年	5月24日	晦 申の刻雷
1679年	7月3日	延宝7年	5月25日	晦 未申の刻雷数発 大雨
1679年	7月4日	延宝7年	5月26日	午の刻雨 雷数発 申の刻に及ぶ
1679年	7月5日	延宝7年	5月27日	雨
1679年	7月6日	延宝7年	5月28日	晦 (初茄子7真瓜1大鱈村より上がる)
1679年	7月7日	延宝7年	5月29日	雨
1679年	7月8日	延宝7年	6月1日	晦 風
1679年	7月9日	延宝7年	6月2日	晦 風
1679年	7月10日	延宝7年	6月3日	晦
1679年	7月11日	延宝7年	6月4日	晦
1679年	7月12日	延宝7年	6月5日	卯の刻地震
1679年	7月13日	延宝7年	6月6日	晦
1679年	7月14日	延宝7年	6月7日	晦
1679年	7月15日	延宝7年	6月8日	晦
1679年	7月16日	延宝7年	6月9日	晦 風
1679年	7月17日	延宝7年	6月10日	晦
1679年	7月18日	延宝7年	6月11日	陽
1679年	7月19日	延宝7年	6月12日	陽
1679年	7月20日	延宝7年	6月13日	陽
1679年	7月21日	延宝7年	6月14日	陽
1679年	7月22日	延宝7年	6月15日	陽 (外浜新城山石取沢から出火・人足等を出す)
1679年	7月23日	延宝7年	6月16日	陽 (新城山火事鎮火)
1679年	7月24日	延宝7年	6月17日	陽
1679年	7月25日	延宝7年	6月18日	陽 申の刻雷
1679年	7月26日	延宝7年	6月19日	晦 巳の刻大雨 雷数発 (当年早魃故沖口出米停止、碓関村で娘を争った男が喧嘩・一方死亡し他方は斬罪)
1679年	7月27日	延宝7年	6月20日	晦 午の刻地震 (下之切遣八幡村で16日晚火災3軒、大鱈村より真桑瓜5上がる)
1679年	7月28日	延宝7年	6月21日	晦 夜中大雨雷電
1679年	7月29日	延宝7年	6月22日	晦 未の刻雷
1679年	7月30日	延宝7年	6月23日	晦 未の刻雷発す
1679年	7月31日	延宝7年	6月24日	晦
1679年	8月1日	延宝7年	6月25日	晦
1679年	8月2日	延宝7年	6月26日	晦
1679年	8月3日	延宝7年	6月27日	陽
1679年	8月4日	延宝7年	6月28日	陽
1679年	8月5日	延宝7年	6月29日	陽
1679年	8月6日	延宝7年	6月30日	晦 夜雨
1679年	8月7日	延宝7年	7月1日	陽 巳の刻地震
1679年	8月8日	延宝7年	7月2日	陽
1679年	8月9日	延宝7年	7月3日	晦 風 申の刻大雨 夜中に及ぶ
1679年	8月10日	延宝7年	7月4日	陽
1679年	8月11日	延宝7年	7月5日	陽
1679年	8月12日	延宝7年	7月6日	晦 夜雨
1679年	8月13日	延宝7年	7月7日	雨
1679年	8月14日	延宝7年	7月8日	なし
1679年	8月15日	延宝7年	7月9日	陽
1679年	8月16日	延宝7年	7月10日	陽
1679年	8月17日	延宝7年	7月11日	陽
1679年	8月18日	延宝7年	7月12日	陽
1679年	8月19日	延宝7年	7月13日	陽
1679年	8月20日	延宝7年	7月14日	晦 夜雨
1679年	8月21日	延宝7年	7月15日	晦 (当年の新米大光寺遣小杉村より上がる)
1679年	8月22日	延宝7年	7月16日	晦 風
1679年	8月23日	延宝7年	7月17日	晦 巳の刻大雨
1679年	8月24日	延宝7年	7月18日	陽
1679年	8月25日	延宝7年	7月19日	晦
1679年	8月26日	延宝7年	7月20日	晦 夜雨
1679年	8月27日	延宝7年	7月21日	昨夜雨 今巳の刻に及び晦
1679年	8月28日	延宝7年	7月22日	昨夜雨 今巳の刻に及び晦
1679年	8月29日	延宝7年	7月23日	陽 (御家中の家来が下女盗み欠落・斬罪、御家中に打ちかかった家来斬罪)
1679年	8月30日	延宝7年	7月24日	陽
1679年	8月31日	延宝7年	7月25日	晦 夜雨

1679年 9月1日 延宝7年 7月26日 晦
 1679年 9月2日 延宝7年 7月27日 晦
 1679年 9月3日 延宝7年 7月28日 暘
 1679年 9月4日 延宝7年 7月29日 暘
 1679年 9月5日 延宝7年 8月1日 晦
 1679年 9月6日 延宝7年 8月2日 大雨 (7月28日駒越組田代村で火災8軒)
 1679年 9月7日 延宝7年 8月3日 晦
 1679年 9月8日 延宝7年 8月4日 暘
 1679年 9月9日 延宝7年 8月5日 卯の刻地震 午の刻風雨
 1679年 9月10日 延宝7年 8月6日 暘 申の刻雷雨
 1679年 9月11日 延宝7年 8月7日 暘 (破船の結果秋田女川で米をたたきうる・1俵8文目5分2厘)
 1679年 9月12日 延宝7年 8月8日 晦
 1679年 9月13日 延宝7年 8月9日 雨
 1679年 9月14日 延宝7年 8月10日 大雨
 1679年 9月15日 延宝7年 8月11日 雨
 1679年 9月16日 延宝7年 8月12日 暘
 1679年 9月17日 延宝7年 8月13日 暘
 1679年 9月18日 延宝7年 8月14日 暘
 1679年 9月19日 延宝7年 8月15日 暘
 1679年 9月20日 延宝7年 8月16日 暘 (大坂米の値段1石に付65文目4分の由)
 1679年 9月21日 延宝7年 8月17日 暘
 1679年 9月22日 延宝7年 8月18日 巳の刻雨 亥の刻に及ぶ (昨日蟹派より初鮭上がる・御褒美15文目)
 1679年 9月23日 延宝7年 8月19日 暘
 1679年 9月24日 延宝7年 8月20日 暘 風
 1679年 9月25日 延宝7年 8月21日 暘 風
 1679年 9月26日 延宝7年 8月22日 暘
 1679年 9月27日 延宝7年 8月23日 晦 風 夜雨
 1679年 9月28日 延宝7年 8月24日 岩木川洪水 晦
 1679年 9月29日 延宝7年 8月25日 暘
 1679年 9月30日 延宝7年 8月26日 晦
 1679年 10月1日 延宝7年 8月27日 暘
 1679年 10月2日 延宝7年 8月28日 大風雨
 1679年 10月3日 延宝7年 8月29日 晦
 1679年 10月4日 延宝7年 8月30日 暘
 1679年 10月5日 延宝7年 9月1日 暘
 1679年 10月6日 延宝7年 9月2日 暘
 1679年 10月7日 延宝7年 9月3日 暘
 1679年 10月8日 延宝7年 9月4日 暘
 1679年 10月9日 延宝7年 9月5日 暘
 1679年 10月10日 延宝7年 9月6日 晦
 1679年 10月11日 延宝7年 9月7日 晦 未の刻雨 夜風雨
 1679年 10月12日 延宝7年 9月8日 風雨 初雪
 1679年 10月13日 延宝7年 9月9日 風雨
 1679年 10月14日 延宝7年 9月10日 晦
 1679年 10月15日 延宝7年 9月11日 暘 戌の刻雨
 1679年 10月16日 延宝7年 9月12日 晦 風 (7日夜八時分より翌8日暮迄大風雨・深浦で3軒津ぶ連(つぶれ)・旅船7艘中3艘破損・漁船は残らず行方不明)
 1679年 10月17日 延宝7年 9月13日 暘 (8日大風で小泊で旅船10御当領船1艘破損・船頭など20人余死亡)
 1679年 10月18日 延宝7年 9月14日 晦 夜雨
 1679年 10月19日 延宝7年 9月15日 雨
 1679年 10月20日 延宝7年 9月16日 暘
 1679年 10月21日 延宝7年 9月17日 暘
 1679年 10月22日 延宝7年 9月18日 暘
 1679年 10月23日 延宝7年 9月19日 暘
 1679年 10月24日 延宝7年 9月20日 晦 申の刻雨 (西郭御蔵上棟祝いあり・その内容(例えばまき銭200文)などあり)
 1679年 10月25日 延宝7年 9月21日 晦 風
 1679年 10月26日 延宝7年 9月22日 晦 風
 1679年 10月27日 延宝7年 9月23日 霜 暘 (尾太御山8月分出銀20貫目などを唐牛与右衛門持参する)
 1679年 10月28日 延宝7年 9月24日 晦 夜雨
 1679年 10月29日 延宝7年 9月25日 晦 夜雨
 1679年 10月30日 延宝7年 9月26日 晦 風
 1679年 10月31日 延宝7年 9月27日 晦

1679年 11月1日 延宝7年 9月28日 巳午の刻雪雨
 1679年 11月2日 延宝7年 9月29日 暘 夜雨
 1679年 11月3日 延宝7年 9月30日 雨
 1679年 11月4日 延宝7年 10月1日 暘
 1679年 11月5日 延宝7年 10月2日 暘 夜風雨 (柏木村の御百姓家火災1軒)
 1679年 11月6日 延宝7年 10月3日 雨
 1679年 11月7日 延宝7年 10月4日 暘
 1679年 11月8日 延宝7年 10月5日 暘
 1679年 11月9日 延宝7年 10月6日 暘 夜大風雨
 1679年 11月10日 延宝7年 10月7日 暘 夜雨
 1679年 11月11日 延宝7年 10月8日 雨
 1679年 11月12日 延宝7年 10月9日 暘
 1679年 11月13日 延宝7年 10月10日 暘
 1679年 11月14日 延宝7年 10月11日 暘
 1679年 11月15日 延宝7年 10月12日 暘
 1679年 11月16日 延宝7年 10月13日 暘
 1679年 11月17日 延宝7年 10月14日 暘
 1679年 11月18日 延宝7年 10月15日 暘
 1679年 11月19日 延宝7年 10月16日 雨
 1679年 11月20日 延宝7年 10月17日 霜 暘 (当夏よりの沖口出米停止を前に戻す)
 1679年 11月21日 延宝7年 10月18日 霜 暘 夜雨
 1679年 11月22日 延宝7年 10月19日 霜 丑の刻雪
 1679年 11月23日 延宝7年 10月20日 昨夜丑の刻雪 今巳の刻に及ぶ
 1679年 11月24日 延宝7年 10月21日 暘
 1679年 11月25日 延宝7年 10月22日 暘 夜雪 (鯉ヶ沢より初はたはた上がる)
 1679年 11月26日 延宝7年 10月23日 暘 (伊左衛門様に主膳・弥右衛門が江戸の様子伝える)
 1679年 11月27日 延宝7年 10月24日 雪
 1679年 11月28日 延宝7年 10月25日 暘 夜雪 (徳才子村(浪岡組)御百姓家火災1軒)
 1679年 11月29日 延宝7年 10月26日 なし
 1679年 11月30日 延宝7年 10月27日 なし
 1679年 12月1日 延宝7年 10月28日 暘 午の刻雨雪
 1679年 12月2日 延宝7年 10月29日 暘 雨雪
 1679年 12月3日 延宝7年 11月1日 未の刻雨 (外濱より初鮭(鱈とは書いていないが多分鱈)上がる)
 1679年 12月4日 延宝7年 11月2日 雨雪
 1679年 12月5日 延宝7年 11月3日 風雨
 1679年 12月6日 延宝7年 11月4日 雪
 1679年 12月7日 延宝7年 11月5日 暘
 1679年 12月8日 延宝7年 11月6日 暘 (伊左衛門様御次男嘉津之助様昨夜御死去)
 1679年 12月9日 延宝7年 11月7日 暘
 1679年 12月10日 延宝7年 11月8日 雨 子の刻山鳴 夜雨
 1679年 12月11日 延宝7年 11月9日 暘 夜雨
 1679年 12月12日 延宝7年 11月10日 風雪
 1679年 12月13日 延宝7年 11月11日 雪
 1679年 12月14日 延宝7年 11月12日 雪
 1679年 12月15日 延宝7年 11月13日 雪 (朱土40貫目が60両なのかな? 馬盗人3人斬罪・ためし切り)
 1679年 12月16日 延宝7年 11月14日 暘
 1679年 12月17日 延宝7年 11月15日 雪
 1679年 12月18日 延宝7年 11月16日 雪 (御家中の家来を刎首)
 1679年 12月19日 延宝7年 11月17日 雪
 1679年 12月20日 延宝7年 11月18日 暘 (追い鳥狩: 出動2285人で雉子120羽)
 1679年 12月21日 延宝7年 11月19日 暘 (伊左衛門様御忌明け登城、去る17日夜飯詰村派で火災1軒)
 1679年 12月22日 延宝7年 11月20日 風雪
 1679年 12月23日 延宝7年 11月21日 雪
 1679年 12月24日 延宝7年 11月22日 雪
 1679年 12月25日 延宝7年 11月23日 暘 霰
 1679年 12月26日 延宝7年 11月24日 雪
 1679年 12月27日 延宝7年 11月25日 雪
 1679年 12月28日 延宝7年 11月26日 雪
 1679年 12月29日 延宝7年 11月27日 雪
 1679年 12月30日 延宝7年 11月28日 暘 (伊左衛門様・庄右衛門様御登城)
 1679年 12月31日 延宝7年 11月29日 雪 (丑刻長勝寺風呂屋出火)

1680年	1月1日	延宝7年	11月30日	雪
1680年	1月2日	延宝7年	12月1日	雪
1680年	1月3日	延宝7年	12月2日	雪
1680年	1月4日	延宝7年	12月3日	晦 (先月晦日の晩尾崎村で火災1軒)
1680年	1月5日	延宝7年	12月4日	巳午の刻雨
1680年	1月6日	延宝7年	12月5日	晦 昨夜中雨 午の刻霽
1680年	1月7日	延宝7年	12月6日	雪
1680年	1月8日	延宝7年	12月7日	風雪
1680年	1月9日	延宝7年	12月8日	雪
1680年	1月10日	延宝7年	12月9日	陽
1680年	1月11日	延宝7年	12月10日	陽
1680年	1月12日	延宝7年	12月11日	陽
1680年	1月13日	延宝7年	12月12日	なし
1680年	1月14日	延宝7年	12月13日	雪
1680年	1月15日	延宝7年	12月14日	雪
1680年	1月16日	延宝7年	12月15日	陽
1680年	1月17日	延宝7年	12月16日	陽
1680年	1月18日	延宝7年	12月17日	陽
1680年	1月19日	延宝7年	12月18日	陽
1680年	1月20日	延宝7年	12月19日	晦
1680年	1月21日	延宝7年	12月20日	雪
1680年	1月22日	延宝7年	12月21日	陽 (御用の暦50本下着)
1680年	1月23日	延宝7年	12月22日	雪
1680年	1月24日	延宝7年	12月23日	雪
1680年	1月25日	延宝7年	12月24日	陽
1680年	1月26日	延宝7年	12月25日	雪
1680年	1月27日	延宝7年	12月26日	雪
1680年	1月28日	延宝7年	12月27日	陽
1680年	1月29日	延宝7年	12月28日	陽 (昨27日尾太御銀山でなてつき(なだれ)・とこや(床家: 鉱石を溶解して金属にするところ)15丁だち小屋2つぶれ2人死亡22・3人負傷)
1680年	1月30日	延宝7年	12月29日	陽
1680年	1月31日	延宝7年	12月30日	陽
1680年	2月1日	延宝8年	正月1日	陽
1680年	2月2日	延宝8年	正月2日	雪
1680年	2月3日	延宝8年	正月3日	雪 (御謠初め)
1680年	2月4日	延宝8年	正月4日	陽
1680年	2月5日	延宝8年	正月5日	陽 酉の刻しゅう
1680年	2月6日	延宝8年	正月6日	陽 (御花畑にて雪厚3尺1寸)
1680年	2月7日	延宝8年	正月7日	陽 夜風
1680年	2月8日	延宝8年	正月8日	吹雪
1680年	2月9日	延宝8年	正月9日	雪 (人事異動)
1680年	2月10日	延宝8年	正月10日	雪
1680年	2月11日	延宝8年	正月11日	雪
1680年	2月12日	延宝8年	正月12日	陽
1680年	2月13日	延宝8年	正月13日	雪
1680年	2月14日	延宝8年	正月14日	吹風
1680年	2月15日	延宝8年	正月15日	晦 申の刻雨
1680年	2月16日	延宝8年	正月16日	晦 昨申の刻雨 今辰の刻に及ぶ 岩木川洪水
1680年	2月17日	延宝8年	正月17日	雪
1680年	2月18日	延宝8年	正月18日	晦
1680年	2月19日	延宝8年	正月19日	晦
1680年	2月20日	延宝8年	正月20日	大風 雪
1680年	2月21日	延宝8年	正月21日	雪 (去る16日洪水にて五所川原河除土居10間ほど破れる)
1680年	2月22日	延宝8年	正月22日	晦 夜雪 (本柳村に44・5男の死骸・20日の大吹雪にたをれ申す体)
1680年	2月23日	延宝8年	正月23日	風雪
1680年	2月24日	延宝8年	正月24日	陽
1680年	2月25日	延宝8年	正月25日	陽
1680年	2月26日	延宝8年	正月26日	陽
1680年	2月27日	延宝8年	正月27日	陽 風
1680年	2月28日	延宝8年	正月28日	陽
1680年	2月29日	延宝8年	正月29日	晦 雪 (津軽玄蕃を御家老に)

1680年	3月1日	延宝8年	2月1日	陽 (西御郭平均雪厚2尺6寸・御武者屯平地同2尺1寸)
1680年	3月2日	延宝8年	2月2日	辰の刻雨 庵
1680年	3月3日	延宝8年	2月3日	陽
1680年	3月4日	延宝8年	2月4日	庵 夜吹雪
1680年	3月5日	延宝8年	2月5日	風
1680年	3月6日	延宝8年	2月6日	陽
1680年	3月7日	延宝8年	2月7日	庵
1680年	3月8日	延宝8年	2月8日	雨 (6日紙漉沢村で田屋焼失)
1680年	3月9日	延宝8年	2月9日	庵
1680年	3月10日	延宝8年	2月10日	陽
1680年	3月11日	延宝8年	2月11日	庵 未の刻雨 終夜に及ぶ (当御町酒1升值段の覚え: 御銚子亀屋前戸(意味不明)8分・上諸白7分・次諸白5分・次酒4分)
1680年	3月12日	延宝8年	2月12日	吹雪 夜雪一尺許(ばかり)に及ぶ
1680年	3月13日	延宝8年	2月13日	庵
1680年	3月14日	延宝8年	2月14日	庵
1680年	3月15日	延宝8年	2月15日	陽 風
1680年	3月16日	延宝8年	2月16日	陽
1680年	3月17日	延宝8年	2月17日	陽
1680年	3月18日	延宝8年	2月18日	陽
1680年	3月19日	延宝8年	2月19日	陽 (卯の刻茂森袋町の家のひさしより出火・早速鎮火)
1680年	3月20日	延宝8年	2月20日	陽 (17日夜西の関岩坂村で火災1軒)
1680年	3月21日	延宝8年	2月21日	陽
1680年	3月22日	延宝8年	2月22日	庵 午の刻雨 終夜に及ぶ
1680年	3月23日	延宝8年	2月23日	雲 昨夜中大風
1680年	3月24日	延宝8年	2月24日	庵
1680年	3月25日	延宝8年	2月25日	昨夜雪
1680年	3月26日	延宝8年	2月26日	庵
1680年	3月27日	延宝8年	2月27日	陽
1680年	3月28日	延宝8年	2月28日	陽
1680年	3月29日	延宝8年	2月29日	陽
1680年	3月30日	延宝8年	2月30日	庵 昨夜中雨 今酉の刻に及ぶ
1680年	3月31日	延宝8年	3月1日	陽
1680年	4月1日	延宝8年	3月2日	陽 (先月晦日尾太御山で雪につきこめられ4人死亡・1人半死)
1680年	4月2日	延宝8年	3月3日	陽 夜雨
1680年	4月3日	延宝8年	3月4日	陽
1680年	4月4日	延宝8年	3月5日	陽 夜雨
1680年	4月5日	延宝8年	3月6日	庵
1680年	4月6日	延宝8年	3月7日	庵
1680年	4月7日	延宝8年	3月8日	陽
1680年	4月8日	延宝8年	3月9日	昨丑の刻地震 卯の刻雨 未の刻に及ぶ
1680年	4月9日	延宝8年	3月10日	庵 しゅう
1680年	4月10日	延宝8年	3月11日	陽
1680年	4月11日	延宝8年	3月12日	雨
1680年	4月12日	延宝8年	3月13日	雨
1680年	4月13日	延宝8年	3月14日	陽 風
1680年	4月14日	延宝8年	3月15日	陽
1680年	4月15日	延宝8年	3月16日	雨
1680年	4月16日	延宝8年	3月17日	雨
1680年	4月17日	延宝8年	3月18日	陽
1680年	4月18日	延宝8年	3月19日	陽
1680年	4月19日	延宝8年	3月20日	陽
1680年	4月20日	延宝8年	3月21日	陽
1680年	4月21日	延宝8年	3月22日	陽
1680年	4月22日	延宝8年	3月23日	陽 風 夜雨
1680年	4月23日	延宝8年	3月24日	陽
1680年	4月24日	延宝8年	3月25日	陽
1680年	4月25日	延宝8年	3月26日	陽
1680年	4月26日	延宝8年	3月27日	雨 (御家中の家来斬罪)
1680年	4月27日	延宝8年	3月28日	雨
1680年	4月28日	延宝8年	3月29日	雨
1680年	4月29日	延宝8年	4月1日	陽
1680年	4月30日	延宝8年	4月2日	陽

1680年	5月1日	延宝8年	4月3日	雨	(今卯の刻洪水・御作事場東之河端川除際迄水有之)
1680年	5月2日	延宝8年	4月4日	陽	
1680年	5月3日	延宝8年	4月5日	陽	風
1680年	5月4日	延宝8年	4月6日	陽	
1680年	5月5日	延宝8年	4月7日	雨	
1680年	5月6日	延宝8年	4月8日	陽	
1680年	5月7日	延宝8年	4月9日	陽	
1680年	5月8日	延宝8年	4月10日	陽	
1680年	5月9日	延宝8年	4月11日	陽	
1680年	5月10日	延宝8年	4月12日	陽	風
1680年	5月11日	延宝8年	4月13日	陽	(西の浜遣赤石村で御蔵百姓家1軒焼失)
1680年	5月12日	延宝8年	4月14日	陽	
1680年	5月13日	延宝8年	4月15日	陽	
1680年	5月14日	延宝8年	4月16日	陽	
1680年	5月15日	延宝8年	4月17日	陽	(11日昼九十九森派で火災1軒)
1680年	5月16日	延宝8年	4月18日	陰	
1680年	5月17日	延宝8年	4月19日	陰	戌の刻雨
1680年	5月18日	延宝8年	4月20日	雨	
1680年	5月19日	延宝8年	4月21日	陽	
1680年	5月20日	延宝8年	4月22日	陽	
1680年	5月21日	延宝8年	4月23日	卯の刻雨	陰
1680年	5月22日	延宝8年	4月24日	陽	夜雨
1680年	5月23日	延宝8年	4月25日	陰	寅の刻訊雷(迅雷か)大雨
1680年	5月24日	延宝8年	4月26日	陽	
1680年	5月25日	延宝8年	4月27日	陽	
1680年	5月26日	延宝8年	4月28日	陽	
1680年	5月27日	延宝8年	4月29日	陽	
1680年	5月28日	延宝8年	5月1日	陰	午の刻雷雨 終夜に及ぶ
1680年	5月29日	延宝8年	5月2日	陽	(去月29日の夜本町村で火災2軒焼失)
1680年	5月30日	延宝8年	5月3日	陽	午の刻雷 しゅう 風
1680年	5月31日	延宝8年	5月4日	陽	風
1680年	6月1日	延宝8年	5月5日	陽	風
1680年	6月2日	延宝8年	5月6日	陽	
1680年	6月3日	延宝8年	5月7日	陽	
1680年	6月4日	延宝8年	5月8日	陰	
1680年	6月5日	延宝8年	5月9日	陰	しゅう (昨戌の刻嘉瀬村で火災10軒焼失)
1680年	6月6日	延宝8年	5月10日	陽	
1680年	6月7日	延宝8年	5月11日	陽	
1680年	6月8日	延宝8年	5月12日	陽	
1680年	6月9日	延宝8年	5月13日	陽	
1680年	6月10日	延宝8年	5月14日	陽	
1680年	6月11日	延宝8年	5月15日	陰	未の刻雨
1680年	6月12日	延宝8年	5月16日	陰	
1680年	6月13日	延宝8年	5月17日	陰	
1680年	6月14日	延宝8年	5月18日	陰	風
1680年	6月15日	延宝8年	5月19日	陰	風
1680年	6月16日	延宝8年	5月20日	陰	
1680年	6月17日	延宝8年	5月21日	陰	風
1680年	6月18日	延宝8年	5月22日	陰	風
1680年	6月19日	延宝8年	5月23日	陰	風
1680年	6月20日	延宝8年	5月24日	陰	風 (昨8日未刻公方様(四代家綱)御他界)
1680年	6月21日	延宝8年	5月25日	雨	
1680年	6月22日	延宝8年	5月26日	申の刻雷電	
1680年	6月23日	延宝8年	5月27日	陰	風 午の刻しゅう 雷発す (御内分金2500両江戸江差登)
1680年	6月24日	延宝8年	5月28日	陽	
1680年	6月25日	延宝8年	5月29日	陽	風 夜雨
1680年	6月26日	延宝8年	6月1日	陽	未の刻雷
1680年	6月27日	延宝8年	6月2日	雨	風
1680年	6月28日	延宝8年	6月3日	陰	風 夜雨
1680年	6月29日	延宝8年	6月4日	卯の刻大雨	陰
1680年	6月30日	延宝8年	6月5日	雨	

1680年	7月1日	延宝8年	6月6日	なし(日記あるが天候なし)
1680年	7月2日	延宝8年	6月7日	晦 雨
1680年	7月3日	延宝8年	6月8日	晦
1680年	7月4日	延宝8年	6月9日	暁 申の刻雨
1680年	7月5日	延宝8年	6月10日	晦
1680年	7月6日	延宝8年	6月11日	暁
1680年	7月7日	延宝8年	6月12日	暁
1680年	7月8日	延宝8年	6月13日	晦 夜中雨
1680年	7月9日	延宝8年	6月14日	雨
1680年	7月10日	延宝8年	6月15日	暁
1680年	7月11日	延宝8年	6月16日	暁
1680年	7月12日	延宝8年	6月17日	暁
1680年	7月13日	延宝8年	6月18日	なし(日記あるが天候なし)
1680年	7月14日	延宝8年	6月19日	晦 未の刻雷 大雨
1680年	7月15日	延宝8年	6月20日	暁
1680年	7月16日	延宝8年	6月21日	暁
1680年	7月17日	延宝8年	6月22日	暁 風
1680年	7月18日	延宝8年	6月23日	暁 風
1680年	7月19日	延宝8年	6月24日	暁 風
1680年	7月20日	延宝8年	6月25日	暁
1680年	7月21日	延宝8年	6月26日	暁
1680年	7月22日	延宝8年	6月27日	晦 風
1680年	7月23日	延宝8年	6月28日	暁
1680年	7月24日	延宝8年	6月29日	暁
1680年	7月25日	延宝8年	6月30日	晦 未の刻雷発す 申の刻雨
1680年	7月26日	延宝8年	7月1日	晦 雨
1680年	7月27日	延宝8年	7月2日	雨
1680年	7月28日	延宝8年	7月3日	晦
1680年	7月29日	延宝8年	7月4日	晦
1680年	7月30日	延宝8年	7月5日	暁
1680年	7月31日	延宝8年	7月6日	雨 (2日高杉遣三森村明神堂で34・5男緘死)
1680年	8月1日	延宝8年	7月7日	雨
1680年	8月2日	延宝8年	7月8日	暁
1680年	8月3日	延宝8年	7月9日	雨
1680年	8月4日	延宝8年	7月10日	雨 (神明堂に雨上祭申付ける)
1680年	8月5日	延宝8年	7月11日	晦
1680年	8月6日	延宝8年	7月12日	暁 風
1680年	8月7日	延宝8年	7月13日	暁
1680年	8月8日	延宝8年	7月14日	暁
1680年	8月9日	延宝8年	7月15日	暁
1680年	8月10日	延宝8年	7月16日	晦 西の刻雨
1680年	8月11日	延宝8年	7月17日	雨 (芝の増上寺で殺人事件・殺人者内藤和泉守切腹)
1680年	8月12日	延宝8年	7月18日	暁 夜雨
1680年	8月13日	延宝8年	7月19日	晦 夜雨
1680年	8月14日	延宝8年	7月20日	晦
1680年	8月15日	延宝8年	7月21日	雨
1680年	8月16日	延宝8年	7月22日	雨
1680年	8月17日	延宝8年	7月23日	晦
1680年	8月18日	延宝8年	7月24日	晦 風 夜雨
1680年	8月19日	延宝8年	7月25日	晦 風
1680年	8月20日	延宝8年	7月26日	風
1680年	8月21日	延宝8年	7月27日	晦 風 夜雨
1680年	8月22日	延宝8年	7月28日	晦
1680年	8月23日	延宝8年	7月29日	晦
1680年	8月24日	延宝8年	8月1日	晦
1680年	8月25日	延宝8年	8月2日	晦 卯の刻細雨
1680年	8月26日	延宝8年	8月3日	晦
1680年	8月27日	延宝8年	8月4日	卯の刻細雨 晦
1680年	8月28日	延宝8年	8月5日	辰の刻細雨 終夜大雨
1680年	8月29日	延宝8年	8月6日	晦 終夜大雨 (当冬御献上の鮭を早く送れとの催促あり)
1680年	8月30日	延宝8年	8月7日	雨
1680年	8月31日	延宝8年	8月8日	雨

1680年	9月1日	延宝8年	8月9日	陽	未申の刻大雨			
1680年	9月2日	延宝8年	8月10日	陽	風			
1680年	9月3日	延宝8年	8月11日	陰	夜雨			
1680年	9月4日	延宝8年	8月12日	昨夜雨	今辰の刻に及ぶ	陰		
1680年	9月5日	延宝8年	8月13日	陽				
1680年	9月6日	延宝8年	8月14日	陽				
1680年	9月7日	延宝8年	8月15日	陰	申の刻大雨	酉の刻に及ぶ		
1680年	9月8日	延宝8年	8月16日	陰				
1680年	9月9日	延宝8年	8月17日	昨夜	寅の刻地震	卯の刻雨	辰の刻に及ぶ	
1680年	9月10日	延宝8年	8月18日	陽				
1680年	9月11日	延宝8年	8月19日	卯の刻雨	辰の刻に及ぶ			
1680年	9月12日	延宝8年	8月20日	雨	風			
1680年	9月13日	延宝8年	8月21日	雨				
1680年	9月14日	延宝8年	8月22日	雨	(今18日丑の刻松神村で火災・住家8軒と明家1軒焼失・1軒に米1俵宛遣わす)	下から続く	土手町の川で2人・先達測で1人溺死)	
1680年	9月15日	延宝8年	8月23日	雨	下から続く	上がる	・四御郭4尺5尺の水にて床まで上がるが御門悉無し・川向の御材木大分流失・戌亥の刻の高水で大橋落ちその下の小橋2つ流失・家4軒潰れる・	上に続く
1680年	9月16日	延宝8年	8月24日	卯の刻雨	下から続く	荒町大橋は橋際が崩れたが町屋を4・5軒壊し恙無し・亀甲町・大浦町・蔵人町・笹森町坂之下通・馬喰町・禰宜町・神明堂の近所まで水湛床上迄	上に続く	
1680年	9月17日	延宝8年	8月25日	陰	未の刻雨	下から続く	2尺程水上がる・新寺町ため池の水抜き作業をする・同日昼過ぎ水2尺程落ち未の刻より大雨で暮時分より一層の洪水・戌亥の刻殊の外高水・	上に続く
1680年	9月18日	延宝8年	8月26日	雨	(洪水:御殿町より三之御郭坂之下橋際迄水押・坂之下家屋残らず床之上迄水上・馬場末の橋水下に・同所御門より水押入り中・之橋流失・亀甲橋流れ落ちる・四之郭御門番所		上に続く	
1680年	9月19日	延宝8年	8月27日	一昨申の刻雨	今午の刻に及ぶ	この間時に大風	(昨日の洪水で人・牛・馬共に溺れた由)	
1680年	9月20日	延宝8年	8月28日	陽	(船を用いて洪水の様子を検分に出る、26日の洪水で鱒ヶ沢大橋2箇所落ち・御屋敷後の山崩れ数人負傷、青森でも橋・家流れる)			
1680年	9月21日	延宝8年	8月29日	陽				
1680年	9月22日	延宝8年	8月30日	陽				
1680年	9月23日	延宝8年	閏8月1日	陽				
1680年	9月24日	延宝8年	閏8月2日	陰	夜雨	(去晦日申の刻加瀬村で火災3軒焼失)		
1680年	9月25日	延宝8年	閏8月3日	雨	終夜に及ぶ			
1680年	9月26日	延宝8年	閏8月4日	陰				
1680年	9月27日	延宝8年	閏8月5日	陰	夜雨			
1680年	9月28日	延宝8年	閏8月6日	大雨	風	終夜に及ぶ	辰の刻地震	
1680年	9月29日	延宝8年	閏8月7日	陽	風	巳の刻地震		
1680年	9月30日	延宝8年	閏8月8日	陽				
1680年	10月1日	延宝8年	閏8月9日	陽				
1680年	10月2日	延宝8年	閏8月10日	陽				
1680年	10月3日	延宝8年	閏8月11日	陽	(代官より検見し直しの申し立て・そのようにする)			
1680年	10月4日	延宝8年	閏8月12日	陽				
1680年	10月5日	延宝8年	閏8月13日	陰	夜雨			
1680年	10月6日	延宝8年	閏8月14日	昨夜	大風	今終日に及ぶ	岩木山初雪	
1680年	10月7日	延宝8年	閏8月15日	風	雨			
1680年	10月8日	延宝8年	閏8月16日	陰	岩木山雪	酉の刻大雨	終夜に及ぶ	
1680年	10月9日	延宝8年	閏8月17日	昼	夜雨			
1680年	10月10日	延宝8年	閏8月18日	陰	岩木山雪			
1680年	10月11日	延宝8年	閏8月19日	陽				
1680年	10月12日	延宝8年	閏8月20日	陰	夜雨			
1680年	10月13日	延宝8年	閏8月21日	昨夜雨	終日に及ぶ			
1680年	10月14日	延宝8年	閏8月22日	岩木川	洪水	西山虹	陰	風
1680年	10月15日	延宝8年	閏8月23日	西山虹	陰	風		
1680年	10月16日	延宝8年	閏8月24日	朝	虹雨	陰		
1680年	10月17日	延宝8年	閏8月25日	雨				
1680年	10月18日	延宝8年	閏8月26日	陰	未の刻雨			
1680年	10月19日	延宝8年	閏8月27日	陽	(去る6日江戸で巳の刻より大風・大潮があり江戸中大破に及ぶ)			
1680年	10月20日	延宝8年	閏8月28日	陰				
1680年	10月21日	延宝8年	閏8月29日	陰				
1680年	10月22日	延宝8年	閏8月30日	陽				
1680年	10月23日	延宝8年	9月1日	陽				
1680年	10月24日	延宝8年	9月2日	陽	風			
1680年	10月25日	延宝8年	9月3日	霜	陽			
1680年	10月26日	延宝8年	9月4日	陰	未の刻雨			
1680年	10月27日	延宝8年	9月5日	雨				
1680年	10月28日	延宝8年	9月6日	陽				
1680年	10月29日	延宝8年	9月7日	陰				
1680年	10月30日	延宝8年	9月8日	雨				
1680年	10月31日	延宝8年	9月9日	陽	(初はたはた2西之濱より上がる)			

1680年 11月1日 延宝8年 9月10日 晦
 1680年 11月2日 延宝8年 9月11日 暘
 1680年 11月3日 延宝8年 9月12日 雨
 1680年 11月4日 延宝8年 9月13日 暘 (殿様7日御発駕、21日振りで27日御城着の由)
 1680年 11月5日 延宝8年 9月14日 暘
 1680年 11月6日 延宝8年 9月15日 晦 亥の刻雨 (関札打ち先月28日江戸発・今日下着、昨14日中畑村で火災・5軒焼失)
 1680年 11月7日 延宝8年 9月16日 暘
 1680年 11月8日 延宝8年 9月17日 霜 暘 夜雨
 1680年 11月9日 延宝8年 9月18日 雨 (弥右衛門病氣)
 1680年 11月10日 延宝8年 9月19日 昨夜諸山初雪 晦
 1680年 11月11日 延宝8年 9月20日 晦 午の刻近来稀なる地震あり(晦 午刻近来稀有地震)
 1680年 11月12日 延宝8年 9月21日 昨夜丑の刻地震 今卯の刻地震
 1680年 11月13日 延宝8年 9月22日 昨申の刻地震 晦
 1680年 11月14日 延宝8年 9月23日 今寅の刻雷雨 晦
 1680年 11月15日 延宝8年 9月24日 晦 夜雨
 1680年 11月16日 延宝8年 9月25日 晦 夜雨
 1680年 11月17日 延宝8年 9月26日 卯の上刻地震 風雪
 1680年 11月18日 延宝8年 9月27日 晦 風雪 (午の上刻御着城・着城の様子あり)
 1680年 11月19日 延宝8年 9月28日 なし
 1680年 11月20日 延宝8年 9月29日 なし
 1680年 11月21日 延宝8年 10月1日 暘
 1680年 11月22日 延宝8年 10月2日 雨
 1680年 11月23日 延宝8年 10月3日 暘
 1680年 11月24日 延宝8年 10月4日 霜 暘
 1680年 11月25日 延宝8年 10月5日 霜 暘 午の刻地震
 1680年 11月26日 延宝8年 10月6日 夜大風雨
 1680年 11月27日 延宝8年 10月7日 晦
 1680年 11月28日 延宝8年 10月8日 雨
 1680年 11月29日 延宝8年 10月9日 暘
 1680年 11月30日 延宝8年 10月10日 暘
 1680年 12月1日 延宝8年 10月11日 暘
 1680年 12月2日 延宝8年 10月12日 暘
 1680年 12月3日 延宝8年 10月13日 暘 (今日山鹿八郎左衛門弘前に着く)
 1680年 12月4日 延宝8年 10月14日 暘
 1680年 12月5日 延宝8年 10月15日 晦
 1680年 12月6日 延宝8年 10月16日 暘
 1680年 12月7日 延宝8年 10月17日 霜 暘
 1680年 12月8日 延宝8年 10月18日 霜
 1680年 12月9日 延宝8年 10月19日 雨 丑の刻雪
 1680年 12月10日 延宝8年 10月20日 昨夜丑の刻雪 今巳の刻に及ぶ
 1680年 12月11日 延宝8年 10月21日 暘
 1680年 12月12日 延宝8年 10月22日 晦 夜雪 (向後御用人勤め方一人ハ朝五登城晩八退出・二人ハ朝四登城九半退出)
 1680年 12月13日 延宝8年 10月23日 晦
 1680年 12月14日 延宝8年 10月24日 雪 晦
 1680年 12月15日 延宝8年 10月25日 晦
 1680年 12月16日 延宝8年 10月26日 雪
 1680年 12月17日 延宝8年 10月27日 晦
 1680年 12月18日 延宝8年 10月28日 晦 午の刻雨雪
 1680年 12月19日 延宝8年 10月29日 晦 雨雪
 1680年 12月20日 延宝8年 10月30日 晦
 1680年 12月21日 延宝8年 11月1日 吹雪 (御能初)
 1680年 12月22日 延宝8年 11月2日 暘
 1680年 12月23日 延宝8年 11月3日 暘
 1680年 12月24日 延宝8年 11月4日 晦
 1680年 12月25日 延宝8年 11月5日 雪一尺五寸許(ばかり) 夜地震三度 (申刻より申酉の方にあたり幅二尺長十間余雲のこくと白有之 酉の後刻見付之 御前江申上之御書院屯之間にて御覧)
 1680年 12月26日 延宝8年 11月6日 風雪 寅の刻地震 (御能)
 1680年 12月27日 延宝8年 11月7日 風雪 (御能)
 1680年 12月28日 延宝8年 11月8日 風雪 (去る5日之こくと雲相見え候に付き御前江申上げる 則御覧 5日より毎夜見え申す由に候えども(はっきり見なかったので記録しない))
 1680年 12月29日 延宝8年 11月9日 雪
 1680年 12月30日 延宝8年 11月10日 晦 雪
 1680年 12月31日 延宝8年 11月11日 晦 少し雪

1681年	1月1日	延宝8年	11月12日	陽
1681年	1月2日	延宝8年	11月13日	陽
1681年	1月3日	延宝8年	11月14日	風雪
1681年	1月4日	延宝8年	11月15日	雪 (人事異動)
1681年	1月5日	延宝8年	11月16日	雪
1681年	1月6日	延宝8年	11月17日	雪
1681年	1月7日	延宝8年	11月18日	陰 寒入り (追い鳥狩:雉子89)
1681年	1月8日	延宝8年	11月19日	風雪
1681年	1月9日	延宝8年	11月20日	雪
1681年	1月10日	延宝8年	11月21日	陽
1681年	1月11日	延宝8年	11月22日	雪
1681年	1月12日	延宝8年	11月23日	陰 未申の刻大雪
1681年	1月13日	延宝8年	11月24日	雪
1681年	1月14日	延宝8年	11月25日	雪 (下和徳村はつれに44・5男乞食倒死)
1681年	1月15日	延宝8年	11月26日	雪
1681年	1月16日	延宝8年	11月27日	陽
1681年	1月17日	延宝8年	11月28日	雪
1681年	1月18日	延宝8年	11月29日	雪
1681年	1月19日	延宝8年	11月30日	陽
1681年	1月20日	延宝8年	12月1日	雪 (人事異動)
1681年	1月21日	延宝8年	12月2日	雪 丑の下刻地震
1681年	1月22日	延宝8年	12月3日	風雪 (御能・狂言)
1681年	1月23日	延宝8年	12月4日	雪
1681年	1月24日	延宝8年	12月5日	陽
1681年	1月25日	延宝8年	12月6日	陽
1681年	1月26日	延宝8年	12月7日	陽
1681年	1月27日	延宝8年	12月8日	陽
1681年	1月28日	延宝8年	12月9日	陽
1681年	1月29日	延宝8年	12月10日	陽 夜雪 (御拍子・狂言)
1681年	1月30日	延宝8年	12月11日	陽
1681年	1月31日	延宝8年	12月12日	陰 (11日暮浪岡遣三嶋村で火災・馬5疋焼失)
1681年	2月1日	延宝8年	12月13日	陽
1681年	2月2日	延宝8年	12月14日	陽
1681年	2月3日	延宝8年	12月15日	陽
1681年	2月4日	延宝8年	12月16日	陽
1681年	2月5日	延宝8年	12月17日	陽
1681年	2月6日	延宝8年	12月18日	陰 (御能・狂言)
1681年	2月7日	延宝8年	12月19日	陽
1681年	2月8日	延宝8年	12月20日	陰
1681年	2月9日	延宝8年	12月21日	陰 昨夜雨
1681年	2月10日	延宝8年	12月22日	陽
1681年	2月11日	延宝8年	12月23日	昨夜大風雪 今午の刻に及ぶ
1681年	2月12日	延宝8年	12月24日	昨夜雪一尺余
1681年	2月13日	延宝8年	12月25日	陰
1681年	2月14日	延宝8年	12月26日	陰
1681年	2月15日	延宝8年	12月27日	陰 (鷹に疫病発生・御鷹19連(れん:鷹狩りに用いる鷹を数える言葉で1羽を1連という)死之由:最近だと鳥インフルエンザを心配するところ)
1681年	2月16日	延宝8年	12月28日	陰
1681年	2月17日	延宝8年	12月29日	陽
1681年	2月18日	延宝8年	12月30日	大吹雪
1681年	2月19日	延宝9年	正月1日	陽
1681年	2月20日	延宝9年	正月2日	陰 小雪
1681年	2月21日	延宝9年	正月3日	陰 吹雪 (酉の上刻御能初)
1681年	2月22日	延宝9年	正月4日	陰 吹雪
1681年	2月23日	延宝9年	正月5日	陰 雪
1681年	2月24日	延宝9年	正月6日	陰 吹雪
1681年	2月25日	延宝9年	正月7日	陽 雪 (御拍子・狂言・つほをり?)
1681年	2月26日	延宝9年	正月8日	陽
1681年	2月27日	延宝9年	正月9日	陽
1681年	2月28日	延宝9年	正月10日	陽

1681年	3月1日	延宝9年	正月11日	陽	(山鹿八郎左衛門殿を津軽大学と改名し御家老千石とする)
1681年	3月2日	延宝9年	正月12日	曇	
1681年	3月3日	延宝9年	正月13日	陽	
1681年	3月4日	延宝9年	正月14日	陽	
1681年	3月5日	延宝9年	正月15日	吹雪	
1681年	3月6日	延宝9年	正月16日	吹雪	
1681年	3月7日	延宝9年	正月17日	陽	
1681年	3月8日	延宝9年	正月18日	陽	(御能)
1681年	3月9日	延宝9年	正月19日	なし	
1681年	3月10日	延宝9年	正月20日	陰	風
1681年	3月11日	延宝9年	正月21日	陽	申の刻地震
1681年	3月12日	延宝9年	正月22日	陰	風
1681年	3月13日	延宝9年	正月23日	昨夜中雨	終日に及ぶ
1681年	3月14日	延宝9年	正月24日	吹雪	(昨23日辰中刻半時程古懸御不動御出汗御神楽仰せ付ける)
1681年	3月15日	延宝9年	正月25日	陰	風
1681年	3月16日	延宝9年	正月26日	陽	
1681年	3月17日	延宝9年	正月27日	吹雪	
1681年	3月18日	延宝9年	正月28日	陽	
1681年	3月19日	延宝9年	正月29日	陰	風 (昨夜戌の刻吉田町(この地名不明:村々を担当する郡奉行からの報告であり・吉田という町村名もない)で火災1軒)
1681年	3月20日	延宝9年	2月1日	陽	
1681年	3月21日	延宝9年	2月2日	陽	
1681年	3月22日	延宝9年	2月3日	陽	
1681年	3月23日	延宝9年	2月4日	陰	
1681年	3月24日	延宝9年	2月5日	晴	卯の刻大風
1681年	3月25日	延宝9年	2月6日	雪	
1681年	3月26日	延宝9年	2月7日	陽	
1681年	3月27日	延宝9年	2月8日	陽	
1681年	3月28日	延宝9年	2月9日	陽	
1681年	3月29日	延宝9年	2月10日	陽	
1681年	3月30日	延宝9年	2月11日	雨	
1681年	3月31日	延宝9年	2月12日	陽	
1681年	4月1日	延宝9年	2月13日	陰	風
1681年	4月2日	延宝9年	2月14日	霜	陽
1681年	4月3日	延宝9年	2月15日	霜	陽
1681年	4月4日	延宝9年	2月16日	陽	
1681年	4月5日	延宝9年	2月17日	陰	酉の刻雨
1681年	4月6日	延宝9年	2月18日	風	雪
1681年	4月7日	延宝9年	2月19日	陽	
1681年	4月8日	延宝9年	2月20日	陽	(今朝杉山八兵衛が江戸で病死)
1681年	4月9日	延宝9年	2月21日	陽	
1681年	4月10日	延宝9年	2月22日	陽	
1681年	4月11日	延宝9年	2月23日	陽	細雨
1681年	4月12日	延宝9年	2月24日	陽	(関札打ち発足、22日晚泉田村(岩木山の北麓で檜野木村の支村)で火災1軒馬1疋焼失)
1681年	4月13日	延宝9年	2月25日	曇	
1681年	4月14日	延宝9年	2月26日	陽	(風合瀬村で火災4軒)
1681年	4月15日	延宝9年	2月27日	陽	
1681年	4月16日	延宝9年	2月28日	陽	
1681年	4月17日	延宝9年	2月29日	陽	
1681年	4月18日	延宝9年	2月30日	陰	
1681年	4月19日	延宝9年	3月1日	陽	(御宿取り発足)
1681年	4月20日	延宝9年	3月2日	陰	
1681年	4月21日	延宝9年	3月3日	陰	終夜雨 (辰の後刻殿様御発駕)
1681年	4月22日	延宝9年	3月4日	昨夜雨	今終夜に及ぶ
1681年	4月23日	延宝9年	3月5日	陰	夜雨
1681年	4月24日	延宝9年	3月6日	陰	
1681年	4月25日	延宝9年	3月7日	陽	夜雨
1681年	4月26日	延宝9年	3月8日	陰	(4日綴子泊の予定が早口川洪水で参勤道中が1日遅れる)
1681年	4月27日	延宝9年	3月9日	陰	風
1681年	4月28日	延宝9年	3月10日	陰	風 (三千石遣下柏木の男2日晚稲を盗みつかまる・4日夜縄を抜け5日朝見つかる・十川に飛入り溺死)
1681年	4月29日	延宝9年	3月11日	陽	
1681年	4月30日	延宝9年	3月12日	陽	子の刻地震

1681年 5月1日 延宝9年 3月13日 晴
 1681年 5月2日 延宝9年 3月14日 晴
 1681年 5月3日 延宝9年 3月15日 晴
 1681年 5月4日 延宝9年 3月16日 晴 申の刻細雨 (貝之玉大小2令別村伏万五郎(日本風の名前)上之・御蔵米2俵被下之、熊皮上2中1下1の4枚同人上げる・御蔵米7俵下される)
 1681年 5月5日 延宝9年 3月17日 晴
 1681年 5月6日 延宝9年 3月18日 晴 夜雨 (昨17日夜亥の刻石川村で火災3軒)
 1681年 5月7日 延宝9年 3月19日 晴 昨夜雨 今巳の刻に及ぶ
 1681年 5月8日 延宝9年 3月20日 晴 風 夜雨
 1681年 5月9日 延宝9年 3月21日 晴 風
 1681年 5月10日 延宝9年 3月22日 晴 風
 1681年 5月11日 延宝9年 3月23日 晴
 1681年 5月12日 延宝9年 3月24日 晴
 1681年 5月13日 延宝9年 3月25日 晴
 1681年 5月14日 延宝9年 3月26日 晴
 1681年 5月15日 延宝9年 3月27日 晴 夜雨 (今26日夜碓関で火災1軒)
 1681年 5月16日 延宝9年 3月28日 細雨
 1681年 5月17日 延宝9年 3月29日 細雨
 1681年 5月18日 延宝9年 4月1日 晴
 1681年 5月19日 延宝9年 4月2日 晴 夜雨
 1681年 5月20日 延宝9年 4月3日 細雨 巳の刻大地震 (殿様昨21日申刻御参府の由)
 1681年 5月21日 延宝9年 4月4日 晴 風 申の刻雨 終夜に及ぶ
 1681年 5月22日 延宝9年 4月5日 細雨 (3日夜八幡村で火災1軒)
 1681年 5月23日 延宝9年 4月6日 晴 夜雨
 1681年 5月24日 延宝9年 4月7日 晴
 1681年 5月25日 延宝9年 4月8日 晴 巳の刻より午の刻まで地震
 1681年 5月26日 延宝9年 4月9日 晴
 1681年 5月27日 延宝9年 4月10日 晴 (4日今別で御材木目付自害)
 1681年 5月28日 延宝9年 4月11日 晴
 1681年 5月29日 延宝9年 4月12日 晴
 1681年 5月30日 延宝9年 4月13日 晴
 1681年 5月31日 延宝9年 4月14日 晴 申の刻細雨
 1681年 6月1日 延宝9年 4月15日 晴 夜雨
 1681年 6月2日 延宝9年 4月16日 晴
 1681年 6月3日 延宝9年 4月17日 細雨
 1681年 6月4日 延宝9年 4月18日 晴
 1681年 6月5日 延宝9年 4月19日 晴
 1681年 6月6日 延宝9年 4月20日 晴 午の刻大雨氷降る 午未の刻雷数発
 1681年 6月7日 延宝9年 4月21日 晴 (昨夜男卒死)
 1681年 6月8日 延宝9年 4月22日 晴 申の刻細雨
 1681年 6月9日 延宝9年 4月23日 晴 午の刻小雨
 1681年 6月10日 延宝9年 4月24日 晴
 1681年 6月11日 延宝9年 4月25日 晴
 1681年 6月12日 延宝9年 4月26日 晴
 1681年 6月13日 延宝9年 4月27日 晴
 1681年 6月14日 延宝9年 4月28日 終日雨
 1681年 6月15日 延宝9年 4月29日 晴 巳午の刻細雨
 1681年 6月16日 延宝9年 5月1日 晴 風
 1681年 6月17日 延宝9年 5月2日 晴
 1681年 6月18日 延宝9年 5月3日 晴 風
 1681年 6月19日 延宝9年 5月4日 晴
 1681年 6月20日 延宝9年 5月5日 晴 申の刻雨 終夜に及ぶ
 1681年 6月21日 延宝9年 5月6日 晴
 1681年 6月22日 延宝9年 5月7日 晴
 1681年 6月23日 延宝9年 5月8日 晴 (大鱧より黄瓜10上がる)
 1681年 6月24日 延宝9年 5月9日 晴 なし
 1681年 6月25日 延宝9年 5月10日 終日雨
 1681年 6月26日 延宝9年 5月11日 晴 風
 1681年 6月27日 延宝9年 5月12日 卯の刻細雨
 1681年 6月28日 延宝9年 5月13日 晴 風
 1681年 6月29日 延宝9年 5月14日 晴
 1681年 6月30日 延宝9年 5月15日 晴 なし (昨14日嵩湯本の小屋火事・全焼)

1681年	7月1日	延宝9年	5月16日	雨
1681年	7月2日	延宝9年	5月17日	晦
1681年	7月3日	延宝9年	5月18日	晦
1681年	7月4日	延宝9年	5月19日	暘 風 卯の刻地震
1681年	7月5日	延宝9年	5月20日	午の刻雨 雷発す 晦 風
1681年	7月6日	延宝9年	5月21日	暘 風
1681年	7月7日	延宝9年	5月22日	暘
1681年	7月8日	延宝9年	5月23日	細雨
1681年	7月9日	延宝9年	5月24日	細雨
1681年	7月10日	延宝9年	5月25日	時々小雨
1681年	7月11日	延宝9年	5月26日	晦 午未の刻大雨
1681年	7月12日	延宝9年	5月27日	晦
1681年	7月13日	延宝9年	5月28日	暘
1681年	7月14日	延宝9年	5月29日	暘
1681年	7月15日	延宝9年	6月1日	晦 (大鱈より初茄子10上がる)
1681年	7月16日	延宝9年	6月2日	晦 風
1681年	7月17日	延宝9年	6月3日	暘 風
1681年	7月18日	延宝9年	6月4日	暘
1681年	7月19日	延宝9年	6月5日	暘
1681年	7月20日	延宝9年	6月6日	昨丑の刻雨 今終日に及ぶ 岩木川洪水
1681年	7月21日	延宝9年	6月7日	終日雨
1681年	7月22日	延宝9年	6月8日	雨
1681年	7月23日	延宝9年	6月9日	晦
1681年	7月24日	延宝9年	6月10日	晦
1681年	7月25日	延宝9年	6月11日	晦
1681年	7月26日	延宝9年	6月12日	晦
1681年	7月27日	延宝9年	6月13日	卯の刻大雨 晦
1681年	7月28日	延宝9年	6月14日	なし
1681年	7月29日	延宝9年	6月15日	雨
1681年	7月30日	延宝9年	6月16日	晦 夜雨
1681年	7月31日	延宝9年	6月17日	晦
1681年	8月1日	延宝9年	6月18日	晦
1681年	8月2日	延宝9年	6月19日	晦 夜細雨 (御国廻様碓関江御着)
1681年	8月3日	延宝9年	6月20日	晦 午の下刻雷発す 未の刻に及び大雨
1681年	8月4日	延宝9年	6月21日	昨丑の刻地震 晦 午未の刻雷発す 大雨 (御国廻様弘前発足浪岡へ)
1681年	8月5日	延宝9年	6月22日	雨
1681年	8月6日	延宝9年	6月23日	暘 未の中刻雷発す 大雨 (津軽左門の家来斬罪)
1681年	8月7日	延宝9年	6月24日	暘 (御国廻様十三から小泊へ)
1681年	8月8日	延宝9年	6月25日	暘 未の刻雷発す
1681年	8月9日	延宝9年	6月26日	暘 未の刻雷発す (今日石川より東向き氷降り申す由)
1681年	8月10日	延宝9年	6月27日	暘 巳の刻雷発す 細雨
1681年	8月11日	延宝9年	6月28日	晦
1681年	8月12日	延宝9年	6月29日	晦
1681年	8月13日	延宝9年	6月30日	晦 風 未の刻大雨
1681年	8月14日	延宝9年	7月1日	曇
1681年	8月15日	延宝9年	7月2日	晦
1681年	8月16日	延宝9年	7月3日	晦 (御国廻様が卯の中刻松前へ出船)
1681年	8月17日	延宝9年	7月4日	晦 未の刻雨
1681年	8月18日	延宝9年	7月5日	暘
1681年	8月19日	延宝9年	7月6日	暘
1681年	8月20日	延宝9年	7月7日	暘
1681年	8月21日	延宝9年	7月8日	暘
1681年	8月22日	延宝9年	7月9日	暘 辰の刻小雨
1681年	8月23日	延宝9年	7月10日	暘 風
1681年	8月24日	延宝9年	7月11日	暘
1681年	8月25日	延宝9年	7月12日	暘 (御徒山上四郎兵衛が江戸で病死)
1681年	8月26日	延宝9年	7月13日	暘 未申の刻雷数発 雨
1681年	8月27日	延宝9年	7月14日	暘
1681年	8月28日	延宝9年	7月15日	暘
1681年	8月29日	延宝9年	7月16日	暘
1681年	8月30日	延宝9年	7月17日	暘
1681年	8月31日	延宝9年	7月18日	暘

1681年 9月1日 延宝9年 7月19日 陽 申の刻雨
 1681年 9月2日 延宝9年 7月20日 陽 丑の刻風雨 (御軍用金7千両を江戸に差登)
 1681年 9月3日 延宝9年 7月21日 曇 大風 小雨
 1681年 9月4日 延宝9年 7月22日 陽
 1681年 9月5日 延宝9年 7月23日 陽 (21日昼町居村で火災1軒)
 1681年 9月6日 延宝9年 7月24日 陽 (昨朝堂野沢村で火災1軒馬3疋焼失)
 1681年 9月7日 延宝9年 7月25日 陽 (薄市山で24日午後火事・足軽組などを火消しに出す)
 1681年 9月8日 延宝9年 7月26日 曇 未の刻小雨
 1681年 9月9日 延宝9年 7月27日 陽 申の刻小雨 (今泉山火事鎮とのこと(横100間長10町斗焼失))
 1681年 9月10日 延宝9年 7月28日 曇
 1681年 9月11日 延宝9年 7月29日 曇 寅の刻雨 (初鮭1尺が種里村から上がる・褒美銀30文目下される)
 1681年 9月12日 延宝9年 8月1日 昨寅の刻雨 今午の刻に及び曇
 1681年 9月13日 延宝9年 8月2日 陽
 1681年 9月14日 延宝9年 8月3日 陰 風
 1681年 9月15日 延宝9年 8月4日 陽 風
 1681年 9月16日 延宝9年 8月5日 陽
 1681年 9月17日 延宝9年 8月6日 陰 申の刻雨 終夜に及ぶ
 1681年 9月18日 延宝9年 8月7日 昨夜風雨 今巳の刻に及ぶ
 1681年 9月19日 延宝9年 8月8日 陽 風
 1681年 9月20日 延宝9年 8月9日 陽
 1681年 9月21日 延宝9年 8月10日 陽
 1681年 9月22日 延宝9年 8月11日 陽 (御国廻様青森江御帰帆)
 1681年 9月23日 延宝9年 8月12日 なし
 1681年 9月24日 延宝9年 8月13日 陽 (昨16日?御国廻様小湊から南部へ向かう)
 1681年 9月25日 延宝9年 8月14日 昨寅の刻より小雨(自昨寅刻小雨)
 1681年 9月26日 延宝9年 8月15日 昨夜雨風
 1681年 9月27日 延宝9年 8月16日 陽 風
 1681年 9月28日 延宝9年 8月17日 陽 (細越村に50余乞食倒死)
 1681年 9月29日 延宝9年 8月18日 陽
 1681年 9月30日 延宝9年 8月19日 陽
 1681年 10月1日 延宝9年 8月20日 陰
 1681年 10月2日 延宝9年 8月21日 陽
 1681年 10月3日 延宝9年 8月22日 陽
 1681年 10月4日 延宝9年 8月23日 陽 風
 1681年 10月5日 延宝9年 8月24日 陰 夜雨
 1681年 10月6日 延宝9年 8月25日 陰 (22日夜丑刻薄市村で火災9軒焼失)
 1681年 10月7日 延宝9年 8月26日 陽
 1681年 10月8日 延宝9年 8月27日 陽
 1681年 10月9日 延宝9年 8月28日 陽 酉の刻細雨
 1681年 10月10日 延宝9年 8月29日 小雨
 1681年 10月11日 延宝9年 8月30日 昨夜雨 今巳の刻に及び陰
 1681年 10月12日 延宝9年 9月1日 時々小雨
 1681年 10月13日 延宝9年 9月2日 陰 (馬の良否の判定書きあり)
 1681年 10月14日 延宝9年 9月3日 細雨
 1681年 10月15日 延宝9年 9月4日 終日終夜雨
 1681年 10月16日 延宝9年 9月5日 雨 夜大風 雷一発
 1681年 10月17日 延宝9年 9月6日 雨風
 1681年 10月18日 延宝9年 9月7日 風雨 (伊左衛門様幽閉される)
 1681年 10月19日 延宝9年 9月8日 陰 岩木山初雪 (独鈷村端に者倒死)
 1681年 10月20日 延宝9年 9月9日 陽
 1681年 10月21日 延宝9年 9月10日 陽
 1681年 10月22日 延宝9年 9月11日 陰
 1681年 10月23日 延宝9年 9月12日 陰 戌の刻地震
 1681年 10月24日 延宝9年 9月13日 陽 戌の刻地震
 1681年 10月25日 延宝9年 9月14日 陽
 1681年 10月26日 延宝9年 9月15日 陰
 1681年 10月27日 延宝9年 9月16日 陰 子の刻雨 (久昌院様を久祥院様に変更)
 1681年 10月28日 延宝9年 9月17日 陰 風
 1681年 10月29日 延宝9年 9月18日 陰 風
 1681年 10月30日 延宝9年 9月19日 陽
 1681年 10月31日 延宝9年 9月20日 陽

1681年 11月1日 延宝9年 9月21日 陽 (江戸に窺った結果御家中の家来を斬罪)
 1681年 11月2日 延宝9年 9月22日 陰
 1681年 11月3日 延宝9年 9月23日 陰 風
 1681年 11月4日 延宝9年 9月24日 陰
 1681年 11月5日 延宝9年 9月25日 卯の刻雨 陰
 1681年 11月6日 延宝9年 9月26日 陰 丑の刻雨 (28日の後に繰じられている)
 1681年 11月7日 延宝9年 9月27日 小雨 (碓関に者倒死)
 1681年 11月8日 延宝9年 9月28日 陰
 1681年 11月9日 延宝9年 9月29日 陰
 1681年 11月10日 延宝9年 10月1日 陰 酉の刻雨
 1681年 11月11日 延宝9年 10月2日 陰
 1681年 11月12日 延宝9年 10月3日 陰
 1681年 11月13日 延宝9年 10月4日 陰 夜雨
 1681年 11月14日 延宝9年 10月5日 辰酉の刻地震
 1681年 11月15日 延宝9年 10月6日 陽
 1681年 11月16日 延宝9年 10月7日 陽
 1681年 11月17日 延宝9年 10月8日 陰
 1681年 11月18日 延宝9年 10月9日 陰
 1681年 11月19日 延宝9年 10月10日 陰 初雪四方に見る
 1681年 11月20日 延宝9年 10月11日 雪
 1681年 11月21日 延宝9年 10月12日 陰
 1681年 11月22日 延宝9年 10月13日 曇
 1681年 11月23日 延宝9年 10月14日 陰
 1681年 11月24日 延宝9年 10月15日 陽
 1681年 11月25日 延宝9年 10月16日 寅の刻地震
 1681年 11月26日 延宝9年 10月17日 陰 夜雨
 1681年 11月27日 延宝9年 10月18日 陰 夜雨 (稽古拍子・狂言)
 1681年 11月28日 延宝9年 10月19日 陰 夜雨 (長勝寺門前に乞食倒死)
 1681年 11月29日 延宝9年 10月20日 陰 (ご家中の家来を成敗)
 1681年 11月30日 延宝9年 10月21日 陰 (西の后刻元寺町五丁目火災4軒焼失・1軒は消火のため壊したもの)
 1681年 12月1日 延宝9年 10月22日 陰
 1681年 12月2日 延宝9年 10月23日 陰
 1681年 12月3日 延宝9年 10月24日 陰 夜雨 (26日より「天和」と改元とのこと、改元は9月29日に行われている・この報の江戸藩邸着が10月9日当日の日記から天和としている・田舎ほど改元が遅れる?)
 1681年 12月4日 延宝9年 10月25日 陰
 1681年 12月5日 延宝9年 10月26日 陰 夜雨
 1681年 12月6日 延宝9年 10月27日 陰 夜雨
 1681年 12月7日 延宝9年 10月28日 風吹く
 1681年 12月8日 延宝9年 10月29日 雪
 1681年 12月9日 延宝9年 10月30日 陰
 1681年 12月10日 天和元年 11月1日 陰 未の刻雨 雷数発 申の刻地震
 1681年 12月11日 天和元年 11月2日 陰
 1681年 12月12日 天和元年 11月3日 陰 夜雨
 1681年 12月13日 天和元年 11月4日 終日大風雨 夜雪尺に及ぶ (風で登城の記述あり)
 1681年 12月14日 天和元年 11月5日 昨夜雪尺に及ぶ
 1681年 12月15日 天和元年 11月6日 陰
 1681年 12月16日 天和元年 11月7日 陰
 1681年 12月17日 天和元年 11月8日 陽
 1681年 12月18日 天和元年 11月9日 陰
 1681年 12月19日 天和元年 11月10日 陽
 1681年 12月20日 天和元年 11月11日 陽
 1681年 12月21日 天和元年 11月12日 陽
 1681年 12月22日 天和元年 11月13日 陽
 1681年 12月23日 天和元年 11月14日 陰
 1681年 12月24日 天和元年 11月15日 陰
 1681年 12月25日 天和元年 11月16日 雪
 1681年 12月26日 天和元年 11月17日 雪 (16日晚杉館村と館山村(共に平川市平賀)の内に50計男乞食倒死)
 1681年 12月27日 天和元年 11月18日 陰 (追い鳥狩り:雉子44(雄23・雌21)・狼2)
 1681年 12月28日 天和元年 11月19日 陰 (不足につき追加追い鳥狩り:雉子15)
 1681年 12月29日 天和元年 11月20日 雪
 1681年 12月30日 天和元年 11月21日 陰 (雉子不足につき補足:雉子37・獺(かわうそ)1)
 1681年 12月31日 天和元年 11月22日 陰

1682年	1月1日	天和元年	11月23日	庵	夜雪 (雉子96献上・江戸に登)
1682年	1月2日	天和元年	11月24日	庵	
1682年	1月3日	天和元年	11月25日	庵	
1682年	1月4日	天和元年	11月26日	庵	
1682年	1月5日	天和元年	11月27日	陽	(22日晚高野村に60余男倒死)
1682年	1月6日	天和元年	11月28日	陽	
1682年	1月7日	天和元年	11月29日	陽	寒に入る
1682年	1月8日	天和元年	11月30日	陽	
1682年	1月9日	天和元年	12月1日	庵	夜霰 雷数発
1682年	1月10日	天和元年	12月2日	庵	
1682年	1月11日	天和元年	12月3日	庵	
1682年	1月12日	天和元年	12月4日	庵	
1682年	1月13日	天和元年	12月5日	庵	(伊左衛門様末の上刻御死去)
1682年	1月14日	天和元年	12月6日	庵	
1682年	1月15日	天和元年	12月7日	庵	
1682年	1月16日	天和元年	12月8日	陽	
1682年	1月17日	天和元年	12月9日	雨	
1682年	1月18日	天和元年	12月10日	陽	
1682年	1月19日	天和元年	12月11日	庵	
1682年	1月20日	天和元年	12月12日	吹雪	
1682年	1月21日	天和元年	12月13日	庵	
1682年	1月22日	天和元年	12月14日	庵	
1682年	1月23日	天和元年	12月15日	庵	
1682年	1月24日	天和元年	12月16日	庵	
1682年	1月25日	天和元年	12月17日	庵	
1682年	1月26日	天和元年	12月18日	庵	
1682年	1月27日	天和元年	12月19日	庵	夜雪
1682年	1月28日	天和元年	12月20日	庵	夜雪
1682年	1月29日	天和元年	12月21日	庵	吹雪
1682年	1月30日	天和元年	12月22日	陽	
1682年	1月31日	天和元年	12月23日	庵	
1682年	2月1日	天和元年	12月24日	庵	
1682年	2月2日	天和元年	12月25日	陽	
1682年	2月3日	天和元年	12月26日	陽	
1682年	2月4日	天和元年	12月27日	陽	
1682年	2月5日	天和元年	12月28日	陽	
1682年	2月6日	天和元年	12月29日	小雨	夜風
1682年	2月7日	天和元年	12月30日	陽	
1682年	2月8日	天和2年	正月1日	陽	
1682年	2月9日	天和2年	正月2日	陽	
1682年	2月10日	天和2年	正月3日	陽	(酉の上刻御謔初)
1682年	2月11日	天和2年	正月4日	庵	夜雪一尺に及ぶ
1682年	2月12日	天和2年	正月5日	庵	
1682年	2月13日	天和2年	正月6日	庵	
1682年	2月14日	天和2年	正月7日	陽	
1682年	2月15日	天和2年	正月8日	陽	
1682年	2月16日	天和2年	正月9日	陽	
1682年	2月17日	天和2年	正月10日	昨夜雨	今日の刻に及ぶ
1682年	2月18日	天和2年	正月11日	吹雪	
1682年	2月19日	天和2年	正月12日	陽	
1682年	2月20日	天和2年	正月13日	庵	
1682年	2月21日	天和2年	正月14日	吹雪	
1682年	2月22日	天和2年	正月15日	霰	
1682年	2月23日	天和2年	正月16日	庵	
1682年	2月24日	天和2年	正月17日	吹雪	
1682年	2月25日	天和2年	正月18日	庵	
1682年	2月26日	天和2年	正月19日	陽	
1682年	2月27日	天和2年	正月20日	陽	
1682年	2月28日	天和2年	正月21日	陽	

1682年 3月1日 天和2年 正月22日 陽
 1682年 3月2日 天和2年 正月23日 陽
 1682年 3月3日 天和2年 正月24日 陽
 1682年 3月4日 天和2年 正月25日 吹雪
 1682年 3月5日 天和2年 正月26日 陽
 1682年 3月6日 天和2年 正月27日 陽
 1682年 3月7日 天和2年 正月28日 陽
 1682年 3月8日 天和2年 正月29日 吹雪
 1682年 3月9日 天和2年 2月1日 曇 (津軽監物を御家老に)
 1682年 3月10日 天和2年 2月2日 晴
 1682年 3月11日 天和2年 2月3日 陽
 1682年 3月12日 天和2年 2月4日 陽
 1682年 3月13日 天和2年 2月5日 なし
 1682年 3月14日 天和2年 2月6日 なし
 1682年 3月15日 天和2年 2月7日 なし
 1682年 3月16日 天和2年 2月8日 なし
 1682年 3月17日 天和2年 2月9日 なし
 1682年 3月18日 天和2年 2月10日 なし
 1682年 3月19日 天和2年 2月11日 なし
 1682年 3月20日 天和2年 2月12日 なし
 1682年 3月21日 天和2年 2月13日 なし
 1682年 3月22日 天和2年 2月14日 晴
 1682年 3月23日 天和2年 2月15日 陽
 1682年 3月24日 天和2年 2月16日 卯の刻雷発す 晴 風
 1682年 3月25日 天和2年 2月17日 陽
 1682年 3月26日 天和2年 2月18日 陽
 1682年 3月27日 天和2年 2月19日 晴 雨
 1682年 3月28日 天和2年 2月20日 陽 霜
 1682年 3月29日 天和2年 2月21日 陽
 1682年 3月30日 天和2年 2月22日 霜 陽
 1682年 3月31日 天和2年 2月23日 晴 雨昼夜に及ぶ
 1682年 4月1日 天和2年 2月24日 雪 風
 1682年 4月2日 天和2年 2月25日 陽
 1682年 4月3日 天和2年 2月26日 霜 陽
 1682年 4月4日 天和2年 2月27日 霜 陽
 1682年 4月5日 天和2年 2月28日 晴 雨昼夜に及ぶ
 1682年 4月6日 天和2年 2月29日 晴
 1682年 4月7日 天和2年 2月30日 霜 陽
 1682年 4月8日 天和2年 3月1日 陽
 1682年 4月9日 天和2年 3月2日 陽
 1682年 4月10日 天和2年 3月3日 卯の刻雷発す 小雪 午の刻小雨
 1682年 4月11日 天和2年 3月4日 陽 風
 1682年 4月12日 天和2年 3月5日 陽 風
 1682年 4月13日 天和2年 3月6日 霜 陽 風
 1682年 4月14日 天和2年 3月7日 陽 風 (2日朝浪岡遣かれい沢村で火災1軒)
 1682年 4月15日 天和2年 3月8日 霞 風
 1682年 4月16日 天和2年 3月9日 晴 卯の刻小雨
 1682年 4月17日 天和2年 3月10日 陽 風
 1682年 4月18日 天和2年 3月11日 陽
 1682年 4月19日 天和2年 3月12日 陽 風
 1682年 4月20日 天和2年 3月13日 陽
 1682年 4月21日 天和2年 3月14日 晴
 1682年 4月22日 天和2年 3月15日 霜 晴 午の刻小雨
 1682年 4月23日 天和2年 3月16日 晴 風 未の刻曇
 1682年 4月24日 天和2年 3月17日 霜 陽
 1682年 4月25日 天和2年 3月18日 霜 陽
 1682年 4月26日 天和2年 3月19日 晴 雨終日終夜に及ぶ (青森で昨巳刻本町より火事・200軒余焼失)
 1682年 4月27日 天和2年 3月20日 晴 巳の中刻小雨 風
 1682年 4月28日 天和2年 3月21日 霜 陽
 1682年 4月29日 天和2年 3月22日 陽 申の刻雨
 1682年 4月30日 天和2年 3月23日 陽 風 (18日正道尻村で火災1軒)

1682年 5月1日 天和2年 3月24日 陽 風 未の刻小雨 (御家中自害)
 1682年 5月2日 天和2年 3月25日 陽
 1682年 5月3日 天和2年 3月26日 陰 風 申の刻雨 終夜に及ぶ
 1682年 5月4日 天和2年 3月27日 昨夜雨 今巳の下刻に及び陰 午の刻風
 1682年 5月5日 天和2年 3月28日 陽 午の刻風
 1682年 5月6日 天和2年 3月29日 陽
 1682年 5月7日 天和2年 3月30日 陽
 1682年 5月8日 天和2年 4月1日 陽
 1682年 5月9日 天和2年 4月2日 辰の刻雨 終夜に及ぶ
 1682年 5月10日 天和2年 4月3日 雨 風
 1682年 5月11日 天和2年 4月4日 陰
 1682年 5月12日 天和2年 4月5日 陽 風
 1682年 5月13日 天和2年 4月6日 陽 風
 1682年 5月14日 天和2年 4月7日 昨夜雨風
 1682年 5月15日 天和2年 4月8日 陰 風
 1682年 5月16日 天和2年 4月9日 陽 風 (越後高田領の検地を命じられる)
 1682年 5月17日 天和2年 4月10日 陽 風
 1682年 5月18日 天和2年 4月11日 陽 風
 1682年 5月19日 天和2年 4月12日 陽
 1682年 5月20日 天和2年 4月13日 陽
 1682年 5月21日 天和2年 4月14日 陽 申の刻小雨
 1682年 5月22日 天和2年 4月15日 雨
 1682年 5月23日 天和2年 4月16日 陽
 1682年 5月24日 天和2年 4月17日 陽
 1682年 5月25日 天和2年 4月18日 陰
 1682年 5月26日 天和2年 4月19日 陰 午の刻風 (一昨17日十三からの小廻船が浜中沖で破船)
 1682年 5月27日 天和2年 4月20日 陽
 1682年 5月28日 天和2年 4月21日 陰 夜雨 雷発す
 1682年 5月29日 天和2年 4月22日 陰 風 (鱒ヶ沢坂本村に死骸寄せる、昨21日夜庄右衛門様御家来闇討ちされて死亡)
 1682年 5月30日 天和2年 4月23日 陽 酉の刻雷電数発 戌の刻雨
 1682年 5月31日 天和2年 4月24日 陰 夜雨
 1682年 6月1日 天和2年 4月25日 陽 夜雨
 1682年 6月2日 天和2年 4月26日 陽
 1682年 6月3日 天和2年 4月27日 陰
 1682年 6月4日 天和2年 4月28日 陽
 1682年 6月5日 天和2年 4月29日 陽
 1682年 6月6日 天和2年 5月1日 昨夜亥の刻雷雨 陽
 1682年 6月7日 天和2年 5月2日 陽
 1682年 6月8日 天和2年 5月3日 陽
 1682年 6月9日 天和2年 5月4日 陽 風
 1682年 6月10日 天和2年 5月5日 昨夜雨 今辰の刻に及び陰
 1682年 6月11日 天和2年 5月6日 陽
 1682年 6月12日 天和2年 5月7日 陽
 1682年 6月13日 天和2年 5月8日 陰
 1682年 6月14日 天和2年 5月9日 陽 昨夜小雨
 1682年 6月15日 天和2年 5月10日 陽
 1682年 6月16日 天和2年 5月11日 陽
 1682年 6月17日 天和2年 5月12日 陽 (4月26日江戸発足の関札打ち到着)
 1682年 6月18日 天和2年 5月13日 陽 (10日晚廻堰村で火災1軒)
 1682年 6月19日 天和2年 5月14日 陽 (昨13日晚百沢村で火災3軒焼失)
 1682年 6月20日 天和2年 5月15日 陰 午の上刻雨 未の刻雷数発
 1682年 6月21日 天和2年 5月16日 陽
 1682年 6月22日 天和2年 5月17日 陽
 1682年 6月23日 天和2年 5月18日 陽
 1682年 6月24日 天和2年 5月19日 陰 午の下刻雨 終夜に及ぶ (秋田から来た男を殺人に付成敗、初きふり7大鱈村より上がる)
 1682年 6月25日 天和2年 5月20日 陰
 1682年 6月26日 天和2年 5月21日 陽 巳の刻小雨 (5月3日江戸発駕・今日午上刻御城着)
 1682年 6月27日 天和2年 5月22日 陽
 1682年 6月28日 天和2年 5月23日 陽
 1682年 6月29日 天和2年 5月24日 陽
 1682年 6月30日 天和2年 5月25日 陰 寅の刻雨 申の刻に及ぶ

1682年	7月1日	天和2年	5月26日	陽
1682年	7月2日	天和2年	5月27日	雨
1682年	7月3日	天和2年	5月28日	晴
1682年	7月4日	天和2年	5月29日	陽
1682年	7月5日	天和2年	6月1日	陽 (御能・狂言)
1682年	7月6日	天和2年	6月2日	陽 (御城にまかり出る刻限辰の後刻より未刻までとする、評定出席者など明記)
1682年	7月7日	天和2年	6月3日	雨 (津軽監物子の刻過ぎ死亡)
1682年	7月8日	天和2年	6月4日	昨夜雨 今巳の刻に及び陰
1682年	7月9日	天和2年	6月5日	昨夜雨 今午の刻に及び陰
1682年	7月10日	天和2年	6月6日	陰 夜雨
1682年	7月11日	天和2年	6月7日	昼夜雨
1682年	7月12日	天和2年	6月8日	陽
1682年	7月13日	天和2年	6月9日	陰 (初茄子15大鱈村より上がる)
1682年	7月14日	天和2年	6月10日	陽 申の刻小雨
1682年	7月15日	天和2年	6月11日	陽
1682年	7月16日	天和2年	6月12日	陰 巳の下刻雨 終夜に及ぶ (初真瓜3大鱈村より上がる)
1682年	7月17日	天和2年	6月13日	陰 風
1682年	7月18日	天和2年	6月14日	陽
1682年	7月19日	天和2年	6月15日	陰 未申の刻雨
1682年	7月20日	天和2年	6月16日	陰
1682年	7月21日	天和2年	6月17日	陰 風
1682年	7月22日	天和2年	6月18日	陰 風
1682年	7月23日	天和2年	6月19日	陰
1682年	7月24日	天和2年	6月20日	陰
1682年	7月25日	天和2年	6月21日	陽
1682年	7月26日	天和2年	6月22日	陽
1682年	7月27日	天和2年	6月23日	陽
1682年	7月28日	天和2年	6月24日	陽 (山上定右衛門が津軽外記宅へ法事の使者)
1682年	7月29日	天和2年	6月25日	陽
1682年	7月30日	天和2年	6月26日	陽
1682年	7月31日	天和2年	6月27日	陽 未の刻雷電数発
1682年	8月1日	天和2年	6月28日	未の刻雷電 昼夜雨
1682年	8月2日	天和2年	6月29日	陰
1682年	8月3日	天和2年	7月1日	陽
1682年	8月4日	天和2年	7月2日	未の刻小雨
1682年	8月5日	天和2年	7月3日	申の刻小雨
1682年	8月6日	天和2年	7月4日	陽 風
1682年	8月7日	天和2年	7月5日	陽
1682年	8月8日	天和2年	7月6日	陰 未の刻雷数発 雨夜に及ぶ
1682年	8月9日	天和2年	7月7日	卯辰の刻大雨 陰
1682年	8月10日	天和2年	7月8日	陰 午の刻雷数発 小雨
1682年	8月11日	天和2年	7月9日	陰
1682年	8月12日	天和2年	7月10日	陰 夜雨
1682年	8月13日	天和2年	7月11日	陽
1682年	8月14日	天和2年	7月12日	陽
1682年	8月15日	天和2年	7月13日	陽
1682年	8月16日	天和2年	7月14日	陽
1682年	8月17日	天和2年	7月15日	陽
1682年	8月18日	天和2年	7月16日	陰
1682年	8月19日	天和2年	7月17日	陰 未申の刻大雨
1682年	8月20日	天和2年	7月18日	陰 昏に及び小雨 (申の下刻仕舞)
1682年	8月21日	天和2年	7月19日	陽
1682年	8月22日	天和2年	7月20日	陽
1682年	8月23日	天和2年	7月21日	卯の刻雷数発 大雨
1682年	8月24日	天和2年	7月22日	巳馬の刻雷数発 大雨 陰
1682年	8月25日	天和2年	7月23日	陽
1682年	8月26日	天和2年	7月24日	陽 (大光寺遣小杉村より新米上がる)
1682年	8月27日	天和2年	7月25日	陽
1682年	8月28日	天和2年	7月26日	陽
1682年	8月29日	天和2年	7月27日	陰
1682年	8月30日	天和2年	7月28日	陰 巳の刻雨 午の刻に及ぶ (御能・狂言)
1682年	8月31日	天和2年	7月29日	陽

1682年	9月1日	天和2年	7月30日	陽	(鯉ヶ沢御蔵米盗み出した男斬罪)
1682年	9月2日	天和2年	8月1日	陽	夜に入り雨 (この月から御用番(役職名なし)氏名が月初めに明記される) (今晚謡・鼓・笛)
1682年	9月3日	天和2年	8月2日	晴	午の刻雨降
1682年	9月4日	天和2年	8月3日	晴	
1682年	9月5日	天和2年	8月4日	曇	(渡辺弥五右衛門・その子茂右衛門・池田介太夫預け)
1682年	9月6日	天和2年	8月5日	晴	
1682年	9月7日	天和2年	8月6日	晴	
1682年	9月8日	天和2年	8月7日	晴	
1682年	9月9日	天和2年	8月8日	晴	
1682年	9月10日	天和2年	8月9日	晴	
1682年	9月11日	天和2年	8月10日	晴	午の刻雨降 (越後から御検地役人が届き始める)
1682年	9月12日	天和2年	8月11日	晴	(弘前八幡御祭礼が15日に決まる・鯉ヶ沢八幡はもっと前から同日)
1682年	9月13日	天和2年	8月12日	晴	(越後から検地を終えて御竿奉行が帰る)
1682年	9月14日	天和2年	8月13日	晴	
1682年	9月15日	天和2年	8月14日	晴	
1682年	9月16日	天和2年	8月15日	晴	(八幡宮祭礼の覚えあり)
1682年	9月17日	天和2年	8月16日	曇	昨申の刻雨降 (初鯉1尺(15日昼のもの)目内崎村から上がる・ご褒美白銀1枚)
1682年	9月18日	天和2年	8月17日	曇	昨申の刻雨 今巳の刻に及ぶ
1682年	9月19日	天和2年	8月18日	晴	(御家中が庭前の青梨子30上げる)
1682年	9月20日	天和2年	8月19日	陽	
1682年	9月21日	天和2年	8月20日	陽	
1682年	9月22日	天和2年	8月21日	曇	雨降 (水瓜3上がる、人事異動あり)
1682年	9月23日	天和2年	8月22日	曇	雨
1682年	9月24日	天和2年	8月23日	曇	辰の刻雷
1682年	9月25日	天和2年	8月24日	曇	雨
1682年	9月26日	天和2年	8月25日	晴	
1682年	9月27日	天和2年	8月26日	晴	
1682年	9月28日	天和2年	8月27日	晴	(預けの渡辺弥五右衛門・その子茂右衛門・池田介太夫の3人切腹・介太夫の男子2人生害・妻女・女子の分はお構いなし、去年青門様ご馳走の節に口論、弥五右衛門の甥岡部某もお預け)
1682年	9月29日	天和2年	8月28日	晴	(鯉1尺御家中が差上げる)
1682年	9月30日	天和2年	8月29日	晴	
1682年	10月1日	天和2年	9月1日	陽	(御用番記述なし)
1682年	10月2日	天和2年	9月2日	陽	
1682年	10月3日	天和2年	9月3日	曇	
1682年	10月4日	天和2年	9月4日	陽	
1682年	10月5日	天和2年	9月5日	陽	
1682年	10月6日	天和2年	9月6日	陽	(御家中が庭前の青梨子30上げる)
1682年	10月7日	天和2年	9月7日	陽	
1682年	10月8日	天和2年	9月8日	曇	雨 (昨夜酉中刻より寅中刻過迄強風雨)
1682年	10月9日	天和2年	9月9日	陽	
1682年	10月10日	天和2年	9月10日	陽	
1682年	10月11日	天和2年	9月11日	曇	夜雨
1682年	10月12日	天和2年	9月12日	陽	
1682年	10月13日	天和2年	9月13日	曇	雨
1682年	10月14日	天和2年	9月14日	曇	雨
1682年	10月15日	天和2年	9月15日	陽	
1682年	10月16日	天和2年	9月16日	曇	雨
1682年	10月17日	天和2年	9月17日	曇	
1682年	10月18日	天和2年	9月18日	曇	
1682年	10月19日	天和2年	9月19日	陽	
1682年	10月20日	天和2年	9月20日	陽	
1682年	10月21日	天和2年	9月21日	陽	
1682年	10月22日	天和2年	9月22日	陽	
1682年	10月23日	天和2年	9月23日	陽	
1682年	10月24日	天和2年	9月24日	陽	
1682年	10月25日	天和2年	9月25日	陽	(池田介太夫の母と妻女は庄内に帰りたいと申し立てる)
1682年	10月26日	天和2年	9月26日	曇	雨 (御能・狂言)
1682年	10月27日	天和2年	9月27日	曇	雨
1682年	10月28日	天和2年	9月28日	曇	雨
1682年	10月29日	天和2年	9月29日	雨	小雪
1682年	10月30日	天和2年	9月30日	陽	(御能)
1682年	10月31日	天和2年	10月1日	晴	(御用番氏名あり)

1682年 11月1日 天和2年	10月2日 陽
1682年 11月2日 天和2年	10月3日 陽 (御家中の家来刎首)
1682年 11月3日 天和2年	10月4日 陽
1682年 11月4日 天和2年	10月5日 陽
1682年 11月5日 天和2年	10月6日 曇 未申の刻雨
1682年 11月6日 天和2年	10月7日 陽
1682年 11月7日 天和2年	10月8日 曇 (御家中の家来欠落首刎、池田介太夫の母と妻子を勝手次第本国に帰す)
1682年 11月8日 天和2年	10月9日 陽
1682年 11月9日 天和2年	10月10日 霜 昨夜雨 今辰の刻に及ぶ
1682年 11月10日 天和2年	10月11日 晴 未の刻雷数発 (御能、見物人の町名・氏名あり・町民にも姓を持つ者あり)
1682年 11月11日 天和2年	10月12日 陽
1682年 11月12日 天和2年	10月13日 曇 夜に入り雨 雷電数発 雪風 (10月4日御部屋様御遠行(江戸に常駐の奥様が亡くなったとのこと))
1682年 11月13日 天和2年	10月14日 卯の刻より小雪
1682年 11月14日 天和2年	10月15日 曇 小雪 (御材木場の明き屋二階の上に13・4の女子死んでいる)
1682年 11月15日 天和2年	10月16日 陽
1682年 11月16日 天和2年	10月17日 陽
1682年 11月17日 天和2年	10月18日 曇
1682年 11月18日 天和2年	10月19日 陽
1682年 11月19日 天和2年	10月20日 曇 未の刻雨
1682年 11月20日 天和2年	10月21日 晴 酉の刻雨
1682年 11月21日 天和2年	10月22日 吹雪
1682年 11月22日 天和2年	10月23日 陽
1682年 11月23日 天和2年	10月24日 霜 陽
1682年 11月24日 天和2年	10月25日 陽 小雪
1682年 11月25日 天和2年	10月26日 霜 陽
1682年 11月26日 天和2年	10月27日 霜 陽
1682年 11月27日 天和2年	10月28日 霜 陽 (初鰯鯨ヶ沢より上がる、岡部父子追放)
1682年 11月28日 天和2年	10月29日 陽 (外浜より初鯉(鱧ではないかな)上がる)
1682年 11月29日 天和2年	11月1日 曇 (御用番氏名あり) (人事異動、今朝男牢死、徳田町と和徳町の間の溝に50余乞食倒死)
1682年 11月30日 天和2年	11月2日 陽 未申の刻細雨
1682年 12月1日 天和2年	11月3日 曇 昨夜雪
1682年 12月2日 天和2年	11月4日 曇 雪
1682年 12月3日 天和2年	11月5日 曇 雪
1682年 12月4日 天和2年	11月6日 曇 雪 (御小納戸金年々3000両差上げる、4日夜亥の刻清水村で馬屋より出火・馬5疋焼失)
1682年 12月5日 天和2年	11月7日 曇 雪
1682年 12月6日 天和2年	11月8日 陽
1682年 12月7日 天和2年	11月9日 曇 雨
1682年 12月8日 天和2年	11月10日 陽
1682年 12月9日 天和2年	11月11日 陽
1682年 12月10日 天和2年	11月12日 曇 曇
1682年 12月11日 天和2年	11月13日 曇 小雪
1682年 12月12日 天和2年	11月14日 曇 丑の刻大地震
1682年 12月13日 天和2年	11月15日 曇 雪 (津軽大学の知行1000石を2000石・与力10人を20人に増員、人事異動)
1682年 12月14日 天和2年	11月16日 大吹風
1682年 12月15日 天和2年	11月17日 曇
1682年 12月16日 天和2年	11月18日 曇 雪 (御家老に無作法をした御家中の子を呼び出し成敗・親は追放)
1682年 12月17日 天和2年	11月19日 曇
1682年 12月18日 天和2年	11月20日 陽 風雨 (甚左衛門様(山鹿素行)に様を付している)
1682年 12月19日 天和2年	11月21日 陽 夜に入り雨 (雉子66羽・鼯1・狼1・兎1取れたらしい)
1682年 12月20日 天和2年	11月22日 曇
1682年 12月21日 天和2年	11月23日 晴 申の刻地震
1682年 12月22日 天和2年	11月24日 陽 丑の刻二度地震
1682年 12月23日 天和2年	11月25日 風 吹雪
1682年 12月24日 天和2年	11月26日 曇 雨
1682年 12月25日 天和2年	11月27日 曇 (男牢死)
1682年 12月26日 天和2年	11月28日 曇
1682年 12月27日 天和2年	11月29日 陽
1682年 12月28日 天和2年	11月30日 陽
1682年 12月29日 天和2年	12月1日 陽 (御用番氏名のみ) (人事異動)
1682年 12月30日 天和2年	12月2日 陽
1682年 12月31日 天和2年	12月3日 陽 (男牢死)

1683年	1月1日	天和2年	12月4日	陽	(青森浜町の24人の御役銀(半分)免除願い・3月18日に火災にあったため、諸手足軽警護無筆で御用埒あきかねる者あり・物書きを任命する)
1683年	1月2日	天和2年	12月5日	曇	雨
1683年	1月3日	天和2年	12月6日	陽	
1683年	1月4日	天和2年	12月7日	なし	
1683年	1月5日	天和2年	12月8日	曇	(細辛(さいしん・薬草)をたくさん(65貫余)採取している、10月18日五倫村で女房惨殺した者あり他国江追放)
1683年	1月6日	天和2年	12月9日	曇	
1683年	1月7日	天和2年	12月10日	陽	夜に入り雨 (御能・狂言)
1683年	1月8日	天和2年	12月11日	陽	
1683年	1月9日	天和2年	12月12日	陽	夜に入り雪 (今6日晩小泊村で水呑百姓(初見これまで高無)から出火・家2軒稲2400束焼失、男牢死)
1683年	1月10日	天和2年	12月13日	陽	夜に入り雪
1683年	1月11日	天和2年	12月14日	陽	
1683年	1月12日	天和2年	12月15日	陽	卯の刻小雪
1683年	1月13日	天和2年	12月16日	曇	(男牢死)
1683年	1月14日	天和2年	12月17日	曇	
1683年	1月15日	天和2年	12月18日	陽	小雪
1683年	1月16日	天和2年	12月19日	陽	小雪 (取上で稲盗み取り1人磔・2人成敗・籠屋の内で14人成敗、刀・脇差様シ(ためし)もする)
1683年	1月17日	天和2年	12月20日	曇	雪
1683年	1月18日	天和2年	12月21日	曇	雪
1683年	1月19日	天和2年	12月22日	曇	雪 (16日夜外濱下磯三内村で御百姓家火災1軒・稲600束馬1疋焼失)
1683年	1月20日	天和2年	12月23日	曇	雪
1683年	1月21日	天和2年	12月24日	曇	雪
1683年	1月22日	天和2年	12月25日	曇	雪 吹風
1683年	1月23日	天和2年	12月26日	曇	雪 吹風 (蠟燭10匁が500目・84貫946匁の代1貫698匁9分2厘、籠屋内で3人斬罪・様シを予定していたが昨日切り手が病気で止める)
1683年	1月24日	天和2年	12月27日	曇	吹風 (今日取上で磔4人)
1683年	1月25日	天和2年	12月28日	曇	吹風
1683年	1月26日	天和2年	12月29日	陽	
1683年	1月27日	天和2年	12月30日	曇	
1683年	1月28日	天和3年	正月1日	曇	夜に入り雨 (御用番氏名のみ)
1683年	1月29日	天和3年	正月2日	曇	午の刻雪 (年始の飛脚を未明に立てる・吉例として200両登)
1683年	1月30日	天和3年	正月3日	曇	風雪吹く (今晚御謡初)
1683年	1月31日	天和3年	正月4日	曇	
1683年	2月1日	天和3年	正月5日	晴	
1683年	2月2日	天和3年	正月6日	曇	
1683年	2月3日	天和3年	正月7日	曇	(御拍子、男牢死)
1683年	2月4日	天和3年	正月8日	曇	風雪吹く
1683年	2月5日	天和3年	正月9日	曇	終日雪
1683年	2月6日	天和3年	正月10日	曇	終日雪 (今朝7半時御家中屋敷の物置焼失)
1683年	2月7日	天和3年	正月11日	曇	終日雪
1683年	2月8日	天和3年	正月12日	曇	
1683年	2月9日	天和3年	正月13日	晴	
1683年	2月10日	天和3年	正月14日	晴	
1683年	2月11日	天和3年	正月15日	曇	風 吹雪
1683年	2月12日	天和3年	正月16日	晴	未の刻より曇
1683年	2月13日	天和3年	正月17日	曇	午の下刻雪 夜に及ぶ
1683年	2月14日	天和3年	正月18日	晴	小雪 (御能・狂言)
1683年	2月15日	天和3年	正月19日	曇	終日雪
1683年	2月16日	天和3年	正月20日	晴	
1683年	2月17日	天和3年	正月21日	曇	申の刻より大風 吹雪
1683年	2月18日	天和3年	正月22日	曇	小風
1683年	2月19日	天和3年	正月23日	晴	
1683年	2月20日	天和3年	正月24日	曇	風 吹雪 (御手廻山上定右衛門兵学の磯谷新八の門弟に、御家中の家来2人斬罪)
1683年	2月21日	天和3年	正月25日	曇	
1683年	2月22日	天和3年	正月26日	晴	
1683年	2月23日	天和3年	正月27日	晴	
1683年	2月24日	天和3年	正月28日	晴	(鱒ヶ沢長浜の内ひらたきに鯨寄せる)
1683年	2月25日	天和3年	正月29日	晴	
1683年	2月26日	天和3年	正月30日	晴	(御家中の家来斬罪)
1683年	2月27日	天和3年	2月1日	曇	小雪 (御用番氏名のみ)
1683年	2月28日	天和3年	2月2日	陽	酉の刻雷電 小雨

1683年	3月1日	天和3年	2月3日	晴
1683年	3月2日	天和3年	2月4日	晴 風 小風 亥の刻地震
1683年	3月3日	天和3年	2月5日	晴 午の刻地震
1683年	3月4日	天和3年	2月6日	曇 辰の刻雨
1683年	3月5日	天和3年	2月7日	曇 雨 夜に入り風 吹雪 戌の刻地震
1683年	3月6日	天和3年	2月8日	大風 吹雪
1683年	3月7日	天和3年	2月9日	大風 吹雪 (御囃子)
1683年	3月8日	天和3年	2月10日	風吹
1683年	3月9日	天和3年	2月11日	晴 (今6日昼今別御山で出火300間×100間焼く)
1683年	3月10日	天和3年	2月12日	曇
1683年	3月11日	天和3年	2月13日	晴 (先月26日江戸発の飛脚が昨夜戌の刻下着・14日振りの仰せ付けが道中雪風吹17日振りに着、16日青森籠屋之内で斬罪3人・見物人・親類とを1町四方に入れない)
1683年	3月12日	天和3年	2月14日	晴
1683年	3月13日	天和3年	2月15日	晴 巳の刻地震 (この度お供の江戸詰め中御家割に山上左太右衛門と山上羽左衛門あり)
1683年	3月14日	天和3年	2月16日	晴
1683年	3月15日	天和3年	2月17日	晴
1683年	3月16日	天和3年	2月18日	晴 酉の刻小雨
1683年	3月17日	天和3年	2月19日	曇
1683年	3月18日	天和3年	2月20日	晴
1683年	3月19日	天和3年	2月21日	曇 未の刻雨 終夜に及ぶ (人事異動)
1683年	3月20日	天和3年	2月22日	晴
1683年	3月21日	天和3年	2月23日	晴 (御能・狂言)
1683年	3月22日	天和3年	2月24日	曇 雪
1683年	3月23日	天和3年	2月25日	曇 雪 (御能・狂言)
1683年	3月24日	天和3年	2月26日	晴
1683年	3月25日	天和3年	2月27日	晴 雪 午の刻曇
1683年	3月26日	天和3年	2月28日	晴
1683年	3月27日	天和3年	2月29日	晴 (他村者多数を通した碓関脇道の案内人籠前で刎首・討手は細越村左五左衛門)
1683年	3月28日	天和3年	3月1日	晴 辰の刻より雨終日(晴 從辰刻雨終日) (東長町表10間裏江20間に付地代銀子年1枚)
1683年	3月29日	天和3年	3月2日	晴 風 (御家中の中間・若党の2人斬罪、庄右衛門様御家来切腹)
1683年	3月30日	天和3年	3月3日	曇
1683年	3月31日	天和3年	3月4日	晴 (当年ハ雪大分にて碓関峠迄雪剪……)
1683年	4月1日	天和3年	3月5日	晴 午の下刻小雨
1683年	4月2日	天和3年	3月6日	晴
1683年	4月3日	天和3年	3月7日	晴 (今日御発駕)
1683年	4月4日	天和3年	3月8日	晴 辰小雨
1683年	4月5日	天和3年	3月9日	曇 風 (御手廻山上定右衛門6日に関札打ちに発足・鎧持ちとけんかした挟箱持ちを切り殺し本人も少し手傷を負う・御奉公遠慮)
1683年	4月6日	天和3年	3月10日	曇 辰の刻細雨 則時晴
1683年	4月7日	天和3年	3月11日	晴 申の刻雨降
1683年	4月8日	天和3年	3月12日	晴
1683年	4月9日	天和3年	3月13日	晴 午の刻雨 夜に及ぶ
1683年	4月10日	天和3年	3月14日	晴
1683年	4月11日	天和3年	3月15日	晴
1683年	4月12日	天和3年	3月16日	晴 風
1683年	4月13日	天和3年	3月17日	晴 昨夜より雨降
1683年	4月14日	天和3年	3月18日	晴 風吹く 申の刻小雪 則時止む
1683年	4月15日	天和3年	3月19日	晴
1683年	4月16日	天和3年	3月20日	晴 霜
1683年	4月17日	天和3年	3月21日	晴 霜
1683年	4月18日	天和3年	3月22日	晴 風 昨夜より雨 辰の刻晴 (今申上刻青森上町で火事・13・4軒焼失)
1683年	4月19日	天和3年	3月23日	晴 霜 (21日青森の火災で家の間から火が出たので両方を火元として両方入寺)
1683年	4月20日	天和3年	3月24日	晴 霜 (22日下之切戸沢村で火災3軒)
1683年	4月21日	天和3年	3月25日	晴 午の刻雪 風吹 (24日午后刻外濱高田村で火事・14軒馬2疋焼失)
1683年	4月22日	天和3年	3月26日	晴
1683年	4月23日	天和3年	3月27日	晴
1683年	4月24日	天和3年	3月28日	晴
1683年	4月25日	天和3年	3月29日	晴
1683年	4月26日	天和3年	3月30日	晴 (御家中が倅を切り殺す)
1683年	4月27日	天和3年	4月1日	晴
1683年	4月28日	天和3年	4月2日	晴 申の刻小雨
1683年	4月29日	天和3年	4月3日	晴 (昨2日未刻浪岡御立山に野火・暮六つに留める)
1683年	4月30日	天和3年	4月4日	曇 巳の下刻より小雨

1683年	5月1日	天和3年	4月5日	晴	
1683年	5月2日	天和3年	4月6日	晴	
1683年	5月3日	天和3年	4月7日	晴	
1683年	5月4日	天和3年	4月8日	晴	(3月26日に殿様御着座)
1683年	5月5日	天和3年	4月9日	晴	(朔日下之切神山村で1軒・7日晩下之切杉新田で1軒それぞれ焼失)
1683年	5月6日	天和3年	4月10日	晴	(大俵村で殺人・田の所有争い)
1683年	5月7日	天和3年	4月11日	晴	
1683年	5月8日	天和3年	4月12日	晴	午の刻雨
1683年	5月9日	天和3年	4月13日	晴	巳の刻より雨 終夜に及ぶ(下之切川倉山に入火・早速鎮める、下之切中里山に火入る・人夫を出す、外浜下磯瀧澤御留山近所で出火)
1683年	5月10日	天和3年	4月14日	曇	未の刻小雨 夜に及ぶ(中里山の火鎮める)
1683年	5月11日	天和3年	4月15日	曇	昨夜より雨 辰の刻止む 午の刻風
1683年	5月12日	天和3年	4月16日	晴	(定右衛門に暇)
1683年	5月13日	天和3年	4月17日	曇	午の刻より(雨) 終日終夜に及ぶ(江戸に77種の木を登す:当時領内に有った木として重要か)
1683年	5月14日	天和3年	4月18日	曇	昨午の刻より雨 今午の刻に及び風(曇從昨午刻雨及今午刻風)
1683年	5月15日	天和3年	4月19日	曇	(御代官に山上五郎右衛門)
1683年	5月16日	天和3年	4月20日	曇	
1683年	5月17日	天和3年	4月21日	晴	
1683年	5月18日	天和3年	4月22日	晴	
1683年	5月19日	天和3年	4月23日	晴	
1683年	5月20日	天和3年	4月24日	曇	辰の上刻より雨 夜に入(和徳遣小栗山村に狼下り馬喰・鉄砲打ち1人申付ける)
1683年	5月21日	天和3年	4月25日	晴	(銃75貫目代銀107匁1分4厘)
1683年	5月22日	天和3年	4月26日	晴	
1683年	5月23日	天和3年	4月27日	曇	申の刻雨 終日に及ぶ
1683年	5月24日	天和3年	4月28日	曇	小雨
1683年	5月25日	天和3年	4月29日	晴	
1683年	5月26日	天和3年	5月1日	曇	申の刻雨 夜に及ぶ(御用番氏名のみ)(蟹田に材木流れ寄せる、江戸で類火にあった御家中に材木を借(貸)す)
1683年	5月27日	天和3年	5月2日	終日雨	
1683年	5月28日	天和3年	5月3日	時々小雨	
1683年	5月29日	天和3年	5月4日	時々小雨	(先日蟹田に寄せた材木数8700余)
1683年	5月30日	天和3年	5月5日	晴	(昨夜籠之内で籠破り談合あり・参加しない男の首を絞める)
1683年	5月31日	天和3年	5月6日	晴	(蟹田中の者共飯米なく……毎年の通り御蔵米70俵の拝借願い・了解)
1683年	6月1日	天和3年	5月7日	晴	
1683年	6月2日	天和3年	5月8日	晴	(尾太銅山が水浸しか)
1683年	6月3日	天和3年	5月9日	晴	
1683年	6月4日	天和3年	5月10日	晴	
1683年	6月5日	天和3年	5月11日	晴	
1683年	6月6日	天和3年	5月12日	晴	
1683年	6月7日	天和3年	5月13日	晴	(板屋野木(岩木川交通の要衝)に水なく(十三方面へ)御蔵米を下げられない、十三で濡米(ぬれまい:水に濡れた米で商品価値が下る)入札(1俵):小濡米8匁5分・大濡米7匁3分)
1683年	6月8日	天和3年	5月14日	晴	風
1683年	6月9日	天和3年	5月15日	晴	夜二入小雨
1683年	6月10日	天和3年	5月16日	晴	時々小雨
1683年	6月11日	天和3年	5月17日	晴	
1683年	6月12日	天和3年	5月18日	晴	終日雨
1683年	6月13日	天和3年	5月19日	晴	夜中より雷電 大雨 今午の刻に及ぶ
1683年	6月14日	天和3年	5月20日	晴	巳の下刻雨
1683年	6月15日	天和3年	5月21日	晴	巳の刻雷(一昨19日の洪水で外瀬堰痛む)
1683年	6月16日	天和3年	5月22日	晴	卯の刻雷電 雨申の刻に及ぶ
1683年	6月17日	天和3年	5月23日	晴	(19日の雷で飯詰村の百姓(44男)昼八半頃落雷が直撃し死亡、18日夜黒石の大雷で夫婦落雷死亡)
1683年	6月18日	天和3年	5月24日	晴	時々雨(帆柱1本値段:十三尋80目・12尋50目・11尋35匁・10尋25匁)
1683年	6月19日	天和3年	5月25日	晴	
1683年	6月20日	天和3年	5月26日	晴	未の刻小雨
1683年	6月21日	天和3年	5月27日	晴	
1683年	6月22日	天和3年	5月28日	晴	
1683年	6月23日	天和3年	5月29日	晴	
1683年	6月24日	天和3年	5月30日	晴	(大鰐より初胡瓜5上がる)
1683年	6月25日	天和3年	閏5月1日	晴	(御用番氏名のみ)
1683年	6月26日	天和3年	閏5月2日	晴	(大浦町より四御郭へ女出入りとのこと・止める、目屋野沢遣に狼多く鉄砲打ちを出す・昨晩帰る)
1683年	6月27日	天和3年	閏5月3日	晴	(足軽用の羽織の値段:千人前で16貫700目)
1683年	6月28日	天和3年	閏5月4日	晴	
1683年	6月29日	天和3年	閏5月5日	晴	
1683年	6月30日	天和3年	閏5月6日	晴	

1683年 7月1日 天和3年 閏5月7日 晴
 1683年 7月2日 天和3年 閏5月8日 晴
 1683年 7月3日 天和3年 閏5月9日 晴
 1683年 7月4日 天和3年 閏5月10日 晦 申の刻より雨降 (山上定右衛門ところ払い、三馬屋に鯨寄せる)
 1683年 7月5日 天和3年 閏5月11日 晴 (取上で殺人者斬罪、去月25日土居能登守様御遠行)
 1683年 7月6日 天和3年 閏5月12日 酉の上刻より小雨 (男卒役)
 1683年 7月7日 天和3年 閏5月13日 終日雨降
 1683年 7月8日 天和3年 閏5月14日 卯の刻より雨 巳の刻止む (朔日主殿様が那須遠江守様江御養子に)
 1683年 7月9日 天和3年 閏5月15日 晴
 1683年 7月10日 天和3年 閏5月16日 晦 時々雨降
 1683年 7月11日 天和3年 閏5月17日 晴
 1683年 7月12日 天和3年 閏5月18日 晴
 1683年 7月13日 天和3年 閏5月19日 晴 未の刻より小雨 (初茄子7・初真瓜3が大鰐湯ひちり(聖)より上がる、18日昼飯詰村で火災2軒)
 1683年 7月14日 天和3年 閏5月20日 晴
 1683年 7月15日 天和3年 閏5月21日 終日雨 午の刻雷数発
 1683年 7月16日 天和3年 閏5月22日 晴 午の刻雨 申の刻より晴
 1683年 7月17日 天和3年 閏5月23日 巳の刻より午の刻まで大雨 暫時止む
 1683年 7月18日 天和3年 閏5月24日 雨降 午の刻より晴
 1683年 7月19日 天和3年 閏5月25日 晴
 1683年 7月20日 天和3年 閏5月26日 晴
 1683年 7月21日 天和3年 閏5月27日 終日晦 今日より土用に入る
 1683年 7月22日 天和3年 閏5月28日 晴 申の刻過雨降
 1683年 7月23日 天和3年 閏5月29日 終日雨降
 1683年 7月24日 天和3年 6月1日 曇 (御用番氏名のみ)
 1683年 7月25日 天和3年 6月2日 陽 申の刻より雨
 1683年 7月26日 天和3年 6月3日 晦 昨夜より雨降続き未の刻止む
 1683年 7月27日 天和3年 6月4日 陽 (御家中の家来成敗、山上五郎右衛門免代官・養生を命じられる)
 1683年 7月28日 天和3年 6月5日 曇 (敦賀における閏5月13日の米相場銀100目に付: 黒米3石~3石1斗・小蔵米3石5升~3石1斗・町米3石2斗5升~3石3斗5升)
 1683年 7月29日 天和3年 6月6日 曇 辰の下刻雷発す 雨降
 1683年 7月30日 天和3年 6月7日 陽
 1683年 7月31日 天和3年 6月8日 陽
 1683年 8月1日 天和3年 6月9日 陽 (初真瓜買い上げる)
 1683年 8月2日 天和3年 6月10日 陽 (閏5月28日夜 若殿様御世界)
 1683年 8月3日 天和3年 6月11日 なし (庄右衛門殿瘧乱気二付御登 城なし)
 1683年 8月4日 天和3年 6月12日 なし
 1683年 8月5日 天和3年 6月13日 なし
 1683年 8月6日 天和3年 6月14日 なし
 1683年 8月7日 天和3年 6月15日 なし
 1683年 8月8日 天和3年 6月16日 なし (昨日暮堀越村で水呑の家来夫婦自害)
 1683年 8月9日 天和3年 6月17日 なし
 1683年 8月10日 天和3年 6月18日 なし 下から続く ・出雲米28匁3分・村上米(8斗3・4升)30目5分・岡大豆50目3分・小判58匁5厘・銭11匁9分5厘)
 1683年 8月11日 天和3年 6月19日 陽 (6月朔日大坂の相場: 肥後米43匁6分(多分1石9升入り)・讃岐米(1石1斗)43匁9分・中国米(8斗5升)33匁9分・伊予米(8斗8・9升)33匁4分・備前米(9斗7升8合)38匁1分 上に続く
 1683年 8月12日 天和3年 6月20日 陽 午の下刻雷
 1683年 8月13日 天和3年 6月21日 陽 酉の刻雨 (小杉村から新米差上げる)
 1683年 8月14日 天和3年 6月22日 晦 昨酉の刻大雨 午の刻に及ぶ
 1683年 8月15日 天和3年 6月23日 昨夜雨 申の刻迅雷数発 (藤崎・大光寺など18か村1405人役(面積の単位だが詳細不明)の稲虫喰、22日御家中の子(27男)自害)
 1683年 8月16日 天和3年 6月24日 雨 未の刻に及ぶ 申の刻電 (石渡橋・和徳堰が今日の水で痛む)
 1683年 8月17日 天和3年 6月25日 晦
 1683年 8月18日 天和3年 6月26日 晦
 1683年 8月19日 天和3年 6月27日 晦 辰の刻雨 巳の上刻に及ぶ 午の刻南風吹き未の刻に及ぶ (小泊・戸沢村で百姓3人渴命、鱈ヶ沢代銀100目の米相場: 町米3石3斗より4斗、稲虫対策に御祈禱)
 1683年 8月20日 天和3年 6月28日 陽
 1683年 8月21日 天和3年 6月29日 陽 (外浜御百姓15軒の走跡(夜逃げ者の元所有地)を入札: 117匁7分)
 1683年 8月22日 天和3年 7月1日 陽 (御用番氏名のみ)
 1683年 8月23日 天和3年 7月2日 陽
 1683年 8月24日 天和3年 7月3日 陽
 1683年 8月25日 天和3年 7月4日 陽
 1683年 8月26日 天和3年 7月5日 曇 辰の下刻小雨 午の刻小雨 (酒のをり1升が1匁2分)
 1683年 8月27日 天和3年 7月6日 曇 辰の下刻大雨 午の刻小雨
 1683年 8月28日 天和3年 7月7日 陽
 1683年 8月29日 天和3年 7月8日 晴 (5日晚土手町から取上の間の松23本伐られる)
 1683年 8月30日 天和3年 7月9日 晴
 1683年 8月31日 天和3年 7月10日 陽 (江戸御小納戸に600両差登)

1683年	9月1日	天和3年	7月11日	曇	午の下刻雷 未の上刻大雨 申の下刻に及ぶ (松盗人見つかる)
1683年	9月2日	天和3年	7月12日	曇	午の刻小雨 (上磯空家4軒を85匁5分5厘で入札)
1683年	9月3日	天和3年	7月13日	晴	
1683年	9月4日	天和3年	7月14日	曇	
1683年	9月5日	天和3年	7月15日	曇	
1683年	9月6日	天和3年	7月16日	曇	雨
1683年	9月7日	天和3年	7月17日	曇	
1683年	9月8日	天和3年	7月18日	曇	(御蔵下米1俵14匁・但3石1斗9升2合)
1683年	9月9日	天和3年	7月19日	曇	申の刻小雨
1683年	9月10日	天和3年	7月20日	曇	辰の刻小雨 夜雨
1683年	9月11日	天和3年	7月21日	曇	
1683年	9月12日	天和3年	7月22日	曇	
1683年	9月13日	天和3年	7月23日	曇	夜中大雨
1683年	9月14日	天和3年	7月24日	晴	卯の下刻小雨
1683年	9月15日	天和3年	7月25日	曇	寅の刻大雨 卯の刻に及ぶ (11日主殿様を与市様と御改)
1683年	9月16日	天和3年	7月26日	曇	夜に入り雨
1683年	9月17日	天和3年	7月27日	曇	昨夜雨 酉の下刻雷電 今辰の刻に及ぶ 午の尅大風 未の刻に及ぶ (巳の刻より午の刻まで大風烈・総登城・城内若干被害)
1683年	9月18日	天和3年	7月28日	曇	夜に入り雨 戌の刻雷電
1683年	9月19日	天和3年	7月29日	曇	昨夜雨 今卯の刻に及ぶ
1683年	9月20日	天和3年	7月30日	曇	(轟木村に破船3艘、26日夜新岡村で火災1軒(水呑))
1683年	9月21日	天和3年	8月1日	曇	巳の下刻雨 午の下刻止む (御用番氏名のみ) (初鮭1尺上がる)
1683年	9月22日	天和3年	8月2日	曇	(30日晚本津軽野村に70斗女乞食倒死)
1683年	9月23日	天和3年	8月3日	曇	巳の下刻少し風 夜に入り雨降
1683年	9月24日	天和3年	8月4日	曇	昨夜雨降り続 終日に及ぶ (今日未の刻女房牢死・子供2人町屋江預ける)
1683年	9月25日	天和3年	8月5日	曇	
1683年	9月26日	天和3年	8月6日	曇	
1683年	9月27日	天和3年	8月7日	曇	(銀100目に付3斛(こく:古代中国の単位で石と同じ)5斗又は3石9斗)
1683年	9月28日	天和3年	8月8日	曇	夜小雨
1683年	9月29日	天和3年	8月9日	曇	
1683年	9月30日	天和3年	8月10日	曇	戌之上刻雨 終夜に及ぶ (6日晚碓関海道の並木松17本伐った者あり)
1683年	10月1日	天和3年	8月11日	曇	巳の中刻雨(記述ないが雨) 終日終夜に及ぶ
1683年	10月2日	天和3年	8月12日	曇	大雨終夜に及ぶ
1683年	10月3日	天和3年	8月13日	曇	
1683年	10月4日	天和3年	8月14日	曇	
1683年	10月5日	天和3年	8月15日	曇	午の刻雨 夜に及ぶ
1683年	10月6日	天和3年	8月16日	曇	昼夜雨
1683年	10月7日	天和3年	8月17日	曇	風
1683年	10月8日	天和3年	8月18日	曇	
1683年	10月9日	天和3年	8月19日	晴	
1683年	10月10日	天和3年	8月20日	晴	
1683年	10月11日	天和3年	8月21日	曇	辰の下刻雷 巳の刻雷 巳の中刻ヨリ雨 夜に及ぶ
1683年	10月12日	天和3年	8月22日	曇	昨夜より雨 未の刻に及ぶ
1683年	10月13日	天和3年	8月23日	曇	辰の刻雨 終夜に及ぶ
1683年	10月14日	天和3年	8月24日	曇	岩木山江初雪見る
1683年	10月15日	天和3年	8月25日	曇	
1683年	10月16日	天和3年	8月26日	曇	辰の上刻雷数発 雨終夜に及ぶ 未の上刻風
1683年	10月17日	天和3年	8月27日	曇	風雨 巳の上刻に及ぶ 夜雨
1683年	10月18日	天和3年	8月28日	曇	
1683年	10月19日	天和3年	8月29日	曇	
1683年	10月20日	天和3年	9月1日	曇	小雨 (御用番氏名のみ) (御家中の家来斬罪)
1683年	10月21日	天和3年	9月2日	曇	(二双子村で親子けんか・子死亡、外浜上磯に材木11400余本寄せる)
1683年	10月22日	天和3年	9月3日	曇	辰の刻雨 午の上刻に及ぶ
1683年	10月23日	天和3年	9月4日	曇	(7日に青森で4人斬罪)
1683年	10月24日	天和3年	9月5日	晴	(籠を破る計画の4人を町中引渡し・1日さらしの上礫とする・礫の実施は7日)
1683年	10月25日	天和3年	9月6日	曇	少し風 辰の下刻小雨
1683年	10月26日	天和3年	9月7日	曇	午の上刻風 (礫4人・斬罪3人この内2人は獄門、昨6日五代村で子が母を打殺す)
1683年	10月27日	天和3年	9月8日	曇	(五代村の母殺しが捕らえられ縄下で帰る途中足を踏み外し死亡)
1683年	10月28日	天和3年	9月9日	曇	
1683年	10月29日	天和3年	9月10日	晴	
1683年	10月30日	天和3年	9月11日	曇	卯の上刻雷数発 辰の刻雨 午後刻に及ぶ (火付と破籠計画の男町中引渡し火阿ふり(火あぶり))
1683年	10月31日	天和3年	9月12日	晴	

1683年 11月1日 天和3年 9月13日 晴 大霜
 1683年 11月2日 天和3年 9月14日 陽 酉の刻雨 (東大工町から男走る)
 1683年 11月3日 天和3年 9月15日 曇 終日雨
 1683年 11月4日 天和3年 9月16日 曇
 1683年 11月5日 天和3年 9月17日 曇 大霜
 1683年 11月6日 天和3年 9月18日 晴 子の下刻地震
 1683年 11月7日 天和3年 9月19日 晴 申の上刻風 (17日鯉ヶ沢前渡村で火災2軒)
 1683年 11月8日 天和3年 9月20日 陽
 1683年 11月9日 天和3年 9月21日 曇 夜雨 (15日七より16日巳刻まで洪水で飛脚足止め)
 1683年 11月10日 天和3年 9月22日 曇
 1683年 11月11日 天和3年 9月23日 陽 午の刻雨 夜雨
 1683年 11月12日 天和3年 9月24日 曇 未の刻雨 終日終夜
 1683年 11月13日 天和3年 9月25日 曇 終日雨
 1683年 11月14日 天和3年 9月26日 曇 丸雪 初雹
 1683年 11月15日 天和3年 9月27日 曇 午の下刻雨 夜に及ぶ
 1683年 11月16日 天和3年 9月28日 曇 丸雪 曇 風
 1683年 11月17日 天和3年 9月29日 曇 雨
 1683年 11月18日 天和3年 9月30日 雪風 終夜に及ぶ (28日晚上高木村(後の李平村)に40女乞食相果てる)
 1683年 11月19日 天和3年 10月1日 晴 夜に入り雨降 (御用番氏名のみ)
 1683年 11月20日 天和3年 10月2日 曇 卯の刻雷雨 未の上刻より大風雪
 1683年 11月21日 天和3年 10月3日 曇
 1683年 11月22日 天和3年 10月4日 陽 (9月3日夜中館村で火災・火元走る、去る13日津軽左京様御死去)
 1683年 11月23日 天和3年 10月5日 霜 陽
 1683年 11月24日 天和3年 10月6日 晴 (朔日沖館村で火災1軒)
 1683年 11月25日 天和3年 10月7日 曇 夜雪
 1683年 11月26日 天和3年 10月8日 晴
 1683年 11月27日 天和3年 10月9日 夜雪
 1683年 11月28日 天和3年 10月10日 曇 夜雪
 1683年 11月29日 天和3年 10月11日 曇
 1683年 11月30日 天和3年 10月12日 曇
 1683年 12月1日 天和3年 10月13日 曇
 1683年 12月2日 天和3年 10月14日 陽
 1683年 12月3日 天和3年 10月15日 陽
 1683年 12月4日 天和3年 10月16日 陽
 1683年 12月5日 天和3年 10月17日 曇 雨降
 1683年 12月6日 天和3年 10月18日 陽 (御日記書写役召抱え・3両3人扶持、御家中の家来7月20日のけんか手負いにつき成敗)
 1683年 12月7日 天和3年 10月19日 曇 卯の上刻大風雨
 1683年 12月8日 天和3年 10月20日 曇
 1683年 12月9日 天和3年 10月21日 曇
 1683年 12月10日 天和3年 10月22日 曇 申の刻より雨降
 1683年 12月11日 天和3年 10月23日 曇 昨夜より雨 今巳の下刻に及ぶ 酉の刻大風 雷雨
 1683年 12月12日 天和3年 10月24日 曇 卯の刻大風雪 辰の刻曇
 1683年 12月13日 天和3年 10月25日 陽
 1683年 12月14日 天和3年 10月26日 曇
 1683年 12月15日 天和3年 10月27日 曇 小雪 (昨26日浪岡御代官所御新田で火災・3軒焼失)
 1683年 12月16日 天和3年 10月28日 曇 小雪 (鯉ヶ沢より初鯉巻尺上がる)
 1683年 12月17日 天和3年 10月29日 曇 小雪
 1683年 12月18日 天和3年 11月1日 陽 (御用番氏名のみ)
 1683年 12月19日 天和3年 11月2日 陽
 1683年 12月20日 天和3年 11月3日 陽 (碓関町はつ連(はずれ)でばくち打ち関所脇道通り礫、御家中2人と手代1人を当春鯨紛失に付籠屋前で志者”り首(縛り首)、久保田(秋田)の男碓関脇道通り刎首)
 1683年 12月21日 天和3年 11月4日 曇
 1683年 12月22日 天和3年 11月5日 曇 曇 (米の下り値段1俵14匁、4日夜下広船村で火災1軒)
 1683年 12月23日 天和3年 11月6日 陽
 1683年 12月24日 天和3年 11月7日 曇 小雪
 1683年 12月25日 天和3年 11月8日 陽
 1683年 12月26日 天和3年 11月9日 曇 (庄右衛門様にて浪岡村の者拷問)
 1683年 12月27日 天和3年 11月10日 陽 (去月23日江戸発足の飛脚が雪で2日遅れる)
 1683年 12月28日 天和3年 11月11日 曇 夜に入り雪
 1683年 12月29日 天和3年 11月12日 曇 午の下刻雨 大風 吹雪 申の下刻止む (未の上刻大風吹雪 申の中刻に及ぶ 城内に若干の被害)
 1683年 12月30日 天和3年 11月13日 曇 小雪
 1683年 12月31日 天和3年 11月14日 曇 小雪

1684年	1月1日	天和3年	11月15日	曇	小雪
1684年	1月2日	天和3年	11月16日	曇	小雪 (今日追い鳥狩り、江戸朔日発の飛脚が最上領の雪で2日遅れる)
1684年	1月3日	天和3年	11月17日	陽	
1684年	1月4日	天和3年	11月18日	陰晴	(追い鳥狩り)
1684年	1月5日	天和3年	11月19日	曇	小雪
1684年	1月6日	天和3年	11月20日	陽	
1684年	1月7日	天和3年	11月21日	陽	
1684年	1月8日	天和3年	11月22日	陽	
1684年	1月9日	天和3年	11月23日	陽	
1684年	1月10日	天和3年	11月24日	陽	
1684年	1月11日	天和3年	11月25日	陽	夜に入り雨降
1684年	1月12日	天和3年	11月26日	曇	風雪
1684年	1月13日	天和3年	11月27日	酉の刻より雨	戌の上刻より大風雪 子の下刻雷電数発
1684年	1月14日	天和3年	11月28日	曇	小雨
1684年	1月15日	天和3年	11月29日	曇	小雪
1684年	1月16日	天和3年	11月30日	曇	小雪
1684年	1月17日	天和3年	12月1日	晦	雪 (御用番氏名のみ) (御町酒値段の1升の覚え:上諸白8分・中諸白5分宛・米代銀1俵14匁)
1684年	1月18日	天和3年	12月2日	晦	雪
1684年	1月19日	天和3年	12月3日	陽	
1684年	1月20日	天和3年	12月4日	陽	(先月晦日鯨ヶ沢町で60余男乞食雪倒、同日青森で海に身投げ男死亡)
1684年	1月21日	天和3年	12月5日	陽	
1684年	1月22日	天和3年	12月6日	夜雪	
1684年	1月23日	天和3年	12月7日	陽	
1684年	1月24日	天和3年	12月8日	陽	
1684年	1月25日	天和3年	12月9日	陽	
1684年	1月26日	天和3年	12月10日	晦	卯の上刻地震 申の刻より雨
1684年	1月27日	天和3年	12月11日	昨夜中より大風雨大雪終日	(昨晚大風城内に若干の被害、昨夜中親方町に14・5男子餓死、昨晚の洪水で石川の橋流れる)
1684年	1月28日	天和3年	12月12日	晦	大雪風終日
1684年	1月29日	天和3年	12月13日	雪風	
1684年	1月30日	天和3年	12月14日	晦	戌の刻大風雪
1684年	1月31日	天和3年	12月15日	陽	小雪
1684年	2月1日	天和3年	12月16日	陽	小雪
1684年	2月2日	天和3年	12月17日	陽	(朔日江戸発足の飛脚が舟形・神宮寺渡の洪水で2日遅れる)
1684年	2月3日	天和3年	12月18日	陽	
1684年	2月4日	天和3年	12月19日	陽	辰の刻より少々雪
1684年	2月5日	天和3年	12月20日	陽	辰巳の刻少々雪
1684年	2月6日	天和3年	12月21日	晦	雪 午の下刻より晴
1684年	2月7日	天和3年	12月22日	晦	巳の刻少し雪 午の下刻より晴 (御買米値段(銀100匁):4石4斗)
1684年	2月8日	天和3年	12月23日	晦	巳の上刻雨
1684年	2月9日	天和3年	12月24日	陽	
1684年	2月10日	天和3年	12月25日	晦	雪 (今22日外浜上磯内真辺村に54・5男乞食死亡)
1684年	2月11日	天和3年	12月26日	陽	夜に入り雪 (小正月無用の申渡し)
1684年	2月12日	天和3年	12月27日	晦	時々雪
1684年	2月13日	天和3年	12月28日	晦	少々雪
1684年	2月14日	天和3年	12月29日	晦	時々雪
1684年	2月15日	天和3年	12月30日	陽	(山上五郎右衛門隠居・家督は倅勤兵衛に)
1684年	2月16日	天和4年	正月1日	曇	終日風雪 (御用番氏名のみ) (津軽庄右衛門殿御登 城)
1684年	2月17日	天和4年	正月2日	曇	雪
1684年	2月18日	天和4年	正月3日	午の下刻より曇	雪
1684年	2月19日	天和4年	正月4日	曇	辰の中刻より雨終日
1684年	2月20日	天和4年	正月5日	曇	昨夜より雪 巳の下刻より天晴
1684年	2月21日	天和4年	正月6日	曇	辰の下刻より小雪 巳の下刻止む 午の刻より小雪
1684年	2月22日	天和4年	正月7日	曇	時々小雪 未の上刻より晴
1684年	2月23日	天和4年	正月8日	曇	大雪終日終夜 (両替銀65匁、今朝男牢死)
1684年	2月24日	天和4年	正月9日	曇	雪 未の下刻より風吹く
1684年	2月25日	天和4年	正月10日	曇	雪 風吹く 未の下刻より少しの時晴 申の刻雪
1684年	2月26日	天和4年	正月11日	陽	
1684年	2月27日	天和4年	正月12日	晦	雪雨 (雪の深さ:武者屯平地3尺5寸・弘前より藤崎村田中まで極月10日頃迄に雪の深さ1尺7寸・同29日2尺3寸深き所3尺・当正月10日迄2尺8・9寸深き所4尺3寸所により5尺7・8寸迄)
1684年	2月28日	天和4年	正月13日	陽	少し雪
1684年	2月29日	天和4年	正月14日	晦	小雪 (12日晩上おつこの木村(追子野木村)の道添いに40女乞食倒死)

1684年	3月1日	天和4年	正月15日	陽	
1684年	3月2日	天和4年	正月16日	陽	
1684年	3月3日	天和4年	正月17日	陽	
1684年	3月4日	天和4年	正月18日	曇	終日雪
1684年	3月5日	天和4年	正月19日	陽	昨夜丑の刻地震 小雪
1684年	3月6日	天和4年	正月20日	曇	小雪
1684年	3月7日	天和4年	正月21日	陽	戌の刻電
1684年	3月8日	天和4年	正月22日	陽	午の下刻より曇 雪 未の刻丸雪
1684年	3月9日	天和4年	正月23日	陽	
1684年	3月10日	天和4年	正月24日	曇	時々小雪 午の刻より晴天
1684年	3月11日	天和4年	正月25日	陽	
1684年	3月12日	天和4年	正月26日	陽	
1684年	3月13日	天和4年	正月27日	曇	申の刻雨 終夜に及ぶ (25日昼十三に鯨寄せる)
1684年	3月14日	天和4年	正月28日	曇	辰の刻小雨 巳の刻より曇 午の下刻晴 申の刻より風雪
1684年	3月15日	天和4年	正月29日	曇	午の下刻より曇
1684年	3月16日	天和4年	2月1日		(1ヶ月間日記の保存なし)
1684年	3月17日	天和4年	2月2日		
1684年	3月18日	天和4年	2月3日		
1684年	3月19日	天和4年	2月4日		
1684年	3月20日	天和4年	2月5日		
1684年	3月21日	天和4年	2月6日		
1684年	3月22日	天和4年	2月7日		
1684年	3月23日	天和4年	2月8日		
1684年	3月24日	天和4年	2月9日		
1684年	3月25日	天和4年	2月10日		
1684年	3月26日	天和4年	2月11日		
1684年	3月27日	天和4年	2月12日		
1684年	3月28日	天和4年	2月13日		
1684年	3月29日	天和4年	2月14日		
1684年	3月30日	天和4年	2月15日		
1684年	3月31日	天和4年	2月16日		
1684年	4月1日	天和4年	2月17日		
1684年	4月2日	天和4年	2月18日		
1684年	4月3日	天和4年	2月19日		
1684年	4月4日	天和4年	2月20日		
1684年	4月5日	天和4年	2月21日		(ここから改元のはず)
1684年	4月6日	天和4年	2月22日		
1684年	4月7日	天和4年	2月23日		
1684年	4月8日	天和4年	2月24日		
1684年	4月9日	天和4年	2月25日		
1684年	4月10日	天和4年	2月26日		
1684年	4月11日	天和4年	2月27日		
1684年	4月12日	天和4年	2月28日		
1684年	4月13日	天和4年	2月29日		
1684年	4月14日	天和4年	2月30日		
1684年	4月15日	貞享元年	3月1日	晴	午の刻より東風終日吹く (御用番氏名のみ)
1684年	4月16日	貞享元年	3月2日	晴	巳の刻より東風終日 (2月晦日下左比内村の庄屋宅に刃物を持った盗人団入る・庄屋が応戦したが負傷する)
1684年	4月17日	貞享元年	3月3日	晴	午の尅(こく:刻と同じ)曇 雨 夜に及ぶ (昨夜青森善知鳥町で火災・43軒焼失、今夕男牢死)
1684年	4月18日	貞享元年	3月4日	陽	夜に入り雨
1684年	4月19日	貞享元年	3月5日	曇	昨夜より雨
1684年	4月20日	貞享元年	3月6日	陰	時々少し雨
1684年	4月21日	貞享元年	3月7日	曇	申の下刻雨 夜に及ぶ
1684年	4月22日	貞享元年	3月8日	曇	昨夜未の上刻晴 風 (山上勤兵衛を三世寺御材木奉行に)
1684年	4月23日	貞享元年	3月9日	晴	昨夜中風 (2日晩の青森火災は焼失50軒・1軒に米2俵貸す、昨8日夜上浅瀬石村から出火・3軒馬3疋焼失)
1684年	4月24日	貞享元年	3月10日	晴	
1684年	4月25日	貞享元年	3月11日	晴	風
1684年	4月26日	貞享元年	3月12日	晴	風 (11日夜沢内遺居土村で殺人・犯人縄に)
1684年	4月27日	貞享元年	3月13日	曇	辰の尅小雨
1684年	4月28日	貞享元年	3月14日		(月末まで日記の保存なし)
1684年	4月29日	貞享元年	3月15日		
1684年	4月30日	貞享元年	3月16日		

1684年	5月1日	貞享元年	3月17日
1684年	5月2日	貞享元年	3月18日
1684年	5月3日	貞享元年	3月19日
1684年	5月4日	貞享元年	3月20日
1684年	5月5日	貞享元年	3月21日
1684年	5月6日	貞享元年	3月22日
1684年	5月7日	貞享元年	3月23日
1684年	5月8日	貞享元年	3月24日
1684年	5月9日	貞享元年	3月25日
1684年	5月10日	貞享元年	3月26日
1684年	5月11日	貞享元年	3月27日
1684年	5月12日	貞享元年	3月28日
1684年	5月13日	貞享元年	3月29日
1684年	5月14日	貞享元年	3月30日
1684年	5月15日	貞享元年	4月1日 陰晴 (御用番氏名のみ) (殿様はすでに帰っている)
1684年	5月16日	貞享元年	4月2日 晴
1684年	5月17日	貞享元年	4月3日 陰晴 卯辰の刻雨降 (江戸から7日振りに仰せ付けられた飛脚が山形の洪水で8日振りに昨夜丑の刻下着、御馬屋中町に12・3男子乞食倒死)
1684年	5月18日	貞享元年	4月4日 晴 (外浜領浜田村で24・5男乞食餓死、浮田村に男乞食餓死、大学殿より桜1枝など差上げる)
1684年	5月19日	貞享元年	4月5日 晴
1684年	5月20日	貞享元年	4月6日 晴 卯の上刻地震 夜に入り雨
1684年	5月21日	貞享元年	4月7日 辰の刻地震 昨夜雨 今日の中刻止み晴
1684年	5月22日	貞享元年	4月8日 曇 巳の刻しゅう 午の上刻止む (女房卒死)
1684年	5月23日	貞享元年	4月9日 曇 卯辰の刻細雨
1684年	5月24日	貞享元年	4月10日 晴 (御家中が屋敷内のものに殺される)
1684年	5月25日	貞享元年	4月11日 晴 丑の刻雷電雨降
1684年	5月26日	貞享元年	4月12日 晴
1684年	5月27日	貞享元年	4月13日 陰晴 昨丑の刻雨 今日巳の刻に及ぶ 夜に入り雨
1684年	5月28日	貞享元年	4月14日 曇
1684年	5月29日	貞享元年	4月15日 陰晴 卯の刻より巳の刻まで雨
1684年	5月30日	貞享元年	4月16日 晴 巳の刻より風 申の刻止む
1684年	5月31日	貞享元年	4月17日 晴
1684年	6月1日	貞享元年	4月18日 晴
1684年	6月2日	貞享元年	4月19日 晴
1684年	6月3日	貞享元年	4月20日 晴 午の刻より風 夜中吹く
1684年	6月4日	貞享元年	4月21日 曇 風吹
1684年	6月5日	貞享元年	4月22日 晴 巳の刻より風吹く
1684年	6月6日	貞享元年	4月23日 陰晴 卯辰の刻雨
1684年	6月7日	貞享元年	4月24日 晴
1684年	6月8日	貞享元年	4月25日 晴
1684年	6月9日	貞享元年	4月26日 晴 巳の刻より風吹く
1684年	6月10日	貞享元年	4月27日 晴 亥の刻雷発す (昨26日昼五本松新田で火災・御百姓宅4軒焼失)
1684年	6月11日	貞享元年	4月28日 晴
1684年	6月12日	貞享元年	4月29日 晴
1684年	6月13日	貞享元年	5月1日 晴 (御用番氏名のみ)
1684年	6月14日	貞享元年	5月2日 晴 (旱魃に付雨乞祭を百沢寺に仰付ける)
1684年	6月15日	貞享元年	5月3日 曇 細雨
1684年	6月16日	貞享元年	5月4日 晴 (初き瓜8大鱈村より上がる)
1684年	6月17日	貞享元年	5月5日 曇 小風 夜に入り小雨降
1684年	6月18日	貞享元年	5月6日 晴
1684年	6月19日	貞享元年	5月7日 曇 巳の上刻より雨降 (御着城御祝儀の御能)
1684年	6月20日	貞享元年	5月8日 晴
1684年	6月21日	貞享元年	5月9日 陰晴
1684年	6月22日	貞享元年	5月10日 晴 (東長町で今朝女が自害、3月に御家中の家来が妻子引き連れ逃げる・今日2日搦捕る・親子共斬罪)
1684年	6月23日	貞享元年	5月11日 晴
1684年	6月24日	貞享元年	5月12日 晴
1684年	6月25日	貞享元年	5月13日 曇 巳の上刻より雨降
1684年	6月26日	貞享元年	5月14日 曇
1684年	6月27日	貞享元年	5月15日 晴
1684年	6月28日	貞享元年	5月16日 晴
1684年	6月29日	貞享元年	5月17日 晴
1684年	6月30日	貞享元年	5月18日 晴 夜に入り雨降

1684年	7月1日	貞享元年	5月19日	曇	寅の刻より雨 終日降る
1684年	7月2日	貞享元年	5月20日	曇	昨日より雨 終日降る (御家中の家来夫婦斬罪)
1684年	7月3日	貞享元年	5月21日	曇	一昨日より雨降 午の刻止む 同下刻より夜中風吹く(曇従一昨日雨降午刻止従同下刻風吹夜中)
1684年	7月4日	貞享元年	5月22日	晴	昨日より風 辰の刻まで (大鱈村より真瓜2上がる)
1684年	7月5日	貞享元年	5月23日	晴	
1684年	7月6日	貞享元年	5月24日	晴	
1684年	7月7日	貞享元年	5月25日	晴	(大鱈より初茄子9上がる、下之切より上がった鶴の卵を鶴に抱かせる)
1684年	7月8日	貞享元年	5月26日	晴	
1684年	7月9日	貞享元年	5月27日	曇	卯の刻より雨 終日降る (昨夜の風で城内・八幡宮などに被害若干あり)
1684年	7月10日	貞享元年	5月28日	曇	昨日より雨 午の上刻止む (今別の狢が真珠4差上げる・米3俵渡す)
1684年	7月11日	貞享元年	5月29日	陰晴	小風
1684年	7月12日	貞享元年	5月30日	曇	昨夜より雨 巳の下刻止む (御能)
1684年	7月13日	貞享元年	6月1日	辰	辰の下刻より小雨 則時晴 (御用番氏名のみ)
1684年	7月14日	貞享元年	6月2日	晴	
1684年	7月15日	貞享元年	6月3日	晴	夜に入り雨
1684年	7月16日	貞享元年	6月4日	曇	昨夜より雨 申の中刻止む
1684年	7月17日	貞享元年	6月5日	陰晴	
1684年	7月18日	貞享元年	6月6日	晴	夜に入り雨
1684年	7月19日	貞享元年	6月7日	曇	昨夜より雨 今巳の刻止む (御能)
1684年	7月20日	貞享元年	6月8日	曇	
1684年	7月21日	貞享元年	6月9日	陰晴	
1684年	7月22日	貞享元年	6月10日	晴	(御米駄賃1里に付2分5厘3毛:弘前から鱒ヶ沢道程7里半で1匁9分・広須から鱒ヶ沢1匁)
1684年	7月23日	貞享元年	6月11日	晴	(申の下刻お城の堀に56・7男死亡、御家中乱気で草履取りを手打ちにする)
1684年	7月24日	貞享元年	6月12日	晴	
1684年	7月25日	貞享元年	6月13日	晴	
1684年	7月26日	貞享元年	6月14日	晴	申の刻雷発す
1684年	7月27日	貞享元年	6月15日	晴	
1684年	7月28日	貞享元年	6月16日	晴	
1684年	7月29日	貞享元年	6月17日	晴	(初真桑瓜20大鱈御菜園畑より出来)
1684年	7月30日	貞享元年	6月18日	曇	巳の下刻より小雨 未の刻止む
1684年	7月31日	貞享元年	6月19日	晴	
1684年	8月1日	貞享元年	6月20日	晴	
1684年	8月2日	貞享元年	6月21日	晴	
1684年	8月3日	貞享元年	6月22日	晴	
1684年	8月4日	貞享元年	6月23日	晴	
1684年	8月5日	貞享元年	6月24日	晴	
1684年	8月6日	貞享元年	6月25日	晴	
1684年	8月7日	貞享元年	6月26日	晴	
1684年	8月8日	貞享元年	6月27日	晴	
1684年	8月9日	貞享元年	6月28日	晴	
1684年	8月10日	貞享元年	6月29日	曇	
1684年	8月11日	貞享元年	7月1日	曇	辰の刻雨降 巳の刻止む (御用番氏名のみ)
1684年	8月12日	貞享元年	7月2日	晴	
1684年	8月13日	貞享元年	7月3日	曇	辰の刻小雨 午の刻止み晴
1684年	8月14日	貞享元年	7月4日	晴	
1684年	8月15日	貞享元年	7月5日	曇	(土手町の後品川新田に喉などに疵がある40男の死骸あり)
1684年	8月16日	貞享元年	7月6日	晴	
1684年	8月17日	貞享元年	7月7日	晴	午の刻雷鳴動
1684年	8月18日	貞享元年	7月8日	晴	巳の下刻雷 午の上刻曇 大雷電 俄(にわか)に大雨交じる 同中刻三四分の氷降る 午の刻晴
1684年	8月19日	貞享元年	7月9日	晴	午の中刻雷 小雨 則時に晴
1684年	8月20日	貞享元年	7月10日	晴	午の下刻雷電 未の刻雨降 (小杉村より新米上がる)
1684年	8月21日	貞享元年	7月11日	晴	
1684年	8月22日	貞享元年	7月12日	晴	
1684年	8月23日	貞享元年	7月13日	晴	(常海橋村の郷足軽が妻子とも欠落)
1684年	8月24日	貞享元年	7月14日	晴	申の刻雷 細雨
1684年	8月25日	貞享元年	7月15日	曇	暁より雨降 辰の刻晴 申の刻雷 細雨 (昨夜男牢死)
1684年	8月26日	貞享元年	7月16日	晴	
1684年	8月27日	貞享元年	7月17日	晴	
1684年	8月28日	貞享元年	7月18日	晴	(間宮求馬に三御郭大手御門内高倉主計元屋敷を:三の丸に大手門が初出?)
1684年	8月29日	貞享元年	7月19日	晴	(岩木参詣は8月2日にする・1日は無用)
1684年	8月30日	貞享元年	7月20日	晴	巳の中刻小雨 則時晴 (御家中の家来盗人1人成敗、女牢死、延宝2年は飢饉だったとのこと)
1684年	8月31日	貞享元年	7月21日	晴	(御家中の家来2人喧嘩・成敗)

1684年	9月1日	貞享元年	7月22日	晴	夜に入り南風 小雨
1684年	9月2日	貞享元年	7月23日	晴	
1684年	9月3日	貞享元年	7月24日	晴	
1684年	9月4日	貞享元年	7月25日	晴	
1684年	9月5日	貞享元年	7月26日	晴	
1684年	9月6日	貞享元年	7月27日	晴	
1684年	9月7日	貞享元年	7月28日	晴	(検地始める)
1684年	9月8日	貞享元年	7月29日	曇	辰の中刻雨降 巳の下刻晴
1684年	9月9日	貞享元年	7月30日	晴	
1684年	9月10日	貞享元年	8月1日	晴	(御用番氏名のみ)
1684年	9月11日	貞享元年	8月2日	晴	
1684年	9月12日	貞享元年	8月3日	晴	(検地の場で御家中を討った御家中を斬罪)
1684年	9月13日	貞享元年	8月4日	晴	
1684年	9月14日	貞享元年	8月5日	晴	
1684年	9月15日	貞享元年	8月6日	初霜	晴
1684年	9月16日	貞享元年	8月7日	晴	
1684年	9月17日	貞享元年	8月8日	曇	辰の刻より終日雨
1684年	9月18日	貞享元年	8月9日	晴	(御歩行山上太兵衛3日の件に伴い遠慮)
1684年	9月19日	貞享元年	8月10日	晴	夜に入り雨
1684年	9月20日	貞享元年	8月11日	晴	時々小雨 (御家中の家来が不屈きにつき成敗、昨日男牢死)
1684年	9月21日	貞享元年	8月12日	晴	夜に入り雨
1684年	9月22日	貞享元年	8月13日	曇	昨夜より雨 今未の刻に及ぶ
1684年	9月23日	貞享元年	8月14日	晴	
1684年	9月24日	貞享元年	8月15日	曇	
1684年	9月25日	貞享元年	8月16日	晴	
1684年	9月26日	貞享元年	8月17日	晦	卯の下刻より雨 戌の刻雷発す (砂ヶ森状に清五郎あり)
1684年	9月27日	貞享元年	8月18日	晴	
1684年	9月28日	貞享元年	8月19日	晦	卯の刻雨 辰の刻止む 巳の刻風雨 (初茸3本差上げる、金井ヶ沢村より初鮭1本献上する)
1684年	9月29日	貞享元年	8月20日	晴	夜に入り雨
1684年	9月30日	貞享元年	8月21日	晦	昨夜より雨 今日午の刻止む (御家中の妹不義につき成敗、その相手の青女子村の水呑百姓成敗)
1684年	10月1日	貞享元年	8月22日	晴	(三番鮭1尺新里村から献上)
1684年	10月2日	貞享元年	8月23日	晴	
1684年	10月3日	貞享元年	8月24日	晴	戌の刻雷電 小雨 (駒越町に15・6乞食死亡)
1684年	10月4日	貞享元年	8月25日	晴	午の刻風 子の刻雷電 風雨
1684年	10月5日	貞享元年	8月26日	晴	
1684年	10月6日	貞享元年	8月27日	晴	風 子丑の刻雨
1684年	10月7日	貞享元年	8月28日	晴	子の刻より雨
1684年	10月8日	貞享元年	8月29日	曇	昨夜より雨 卯の下刻止む 岩木嵩江初雪降
1684年	10月9日	貞享元年	9月1日	晴	卯の下刻細雨 辰の刻止む (御用番氏名のみ)
1684年	10月10日	貞享元年	9月2日	曇	午の下刻より雨 夜に及ぶ
1684年	10月11日	貞享元年	9月3日	曇	辰の下刻より雨 夜に及ぶ
1684年	10月12日	貞享元年	9月4日	曇	昨日より雨降続き 今年の刻に及ぶ (御家中の家来成敗)
1684年	10月13日	貞享元年	9月5日	晴	
1684年	10月14日	貞享元年	9月6日	晴	
1684年	10月15日	貞享元年	9月7日	晴	
1684年	10月16日	貞享元年	9月8日	晴	夜に入り小雨 (江戸を8月28日発足の飛脚下着・稲葉某が乱心堀田筑前を討ち留める・稲葉も討ち留められる)
1684年	10月17日	貞享元年	9月9日	晴	未の刻風 夜に入り小雨 (今日男牢死)
1684年	10月18日	貞享元年	9月10日	晴	
1684年	10月19日	貞享元年	9月11日	晴	
1684年	10月20日	貞享元年	9月12日	晴	
1684年	10月21日	貞享元年	9月13日	晴	夜に入り雨
1684年	10月22日	貞享元年	9月14日	曇	辰の下刻より曇 申の刻より雨 夜に及ぶ (上湯口村で昨13日巳の刻火災・御蔵百姓1軒)
1684年	10月23日	貞享元年	9月15日	晴	
1684年	10月24日	貞享元年	9月16日	晴	大霜
1684年	10月25日	貞享元年	9月17日	晴	(銀1匁に付き4升3合: 予算価格か)
1684年	10月26日	貞享元年	9月18日	晴	午の刻より小風
1684年	10月27日	貞享元年	9月19日	晴	霜
1684年	10月28日	貞享元年	9月20日	曇	暁より雨 卯の下刻雷発す (10日江戸発足の飛脚が9日振りの命に10日振りに下着・道中の大雨・洪水)
1684年	10月29日	貞享元年	9月21日	晴	
1684年	10月30日	貞享元年	9月22日	晴	昨夜雨 午の下刻小風
1684年	10月31日	貞享元年	9月23日	晴	午の上刻曇 則時二止む

1684年	11月1日	貞享元年	9月24日	晴	
1684年	11月2日	貞享元年	9月25日	晴	昨夜初雪
1684年	11月3日	貞享元年	9月26日	曇	昨夜より曇 未の刻に及ぶ
1684年	11月4日	貞享元年	9月27日	曇	昨夜より雪 午の上刻に及ぶ (御家中の家来密通斬罪、碓関で男自害)
1684年	11月5日	貞享元年	9月28日	晴	昨夜雪 未の刻曇 雪 (南部から切手等なしに關所を通ろうとした者2人斬罪、長泉院殿より梨子差上げる)
1684年	11月6日	貞享元年	9月29日	晴	昨夜雪 (柳川某様(藩に預けられていた人)重病)
1684年	11月7日	貞享元年	10月1日		(今後1ヶ月日記の保存なし)
1684年	11月8日	貞享元年	10月2日		
1684年	11月9日	貞享元年	10月3日		
1684年	11月10日	貞享元年	10月4日		
1684年	11月11日	貞享元年	10月5日		
1684年	11月12日	貞享元年	10月6日		
1684年	11月13日	貞享元年	10月7日		
1684年	11月14日	貞享元年	10月8日		
1684年	11月15日	貞享元年	10月9日		
1684年	11月16日	貞享元年	10月10日		
1684年	11月17日	貞享元年	10月11日		
1684年	11月18日	貞享元年	10月12日		
1684年	11月19日	貞享元年	10月13日		
1684年	11月20日	貞享元年	10月14日		
1684年	11月21日	貞享元年	10月15日		
1684年	11月22日	貞享元年	10月16日		
1684年	11月23日	貞享元年	10月17日		
1684年	11月24日	貞享元年	10月18日		
1684年	11月25日	貞享元年	10月19日		
1684年	11月26日	貞享元年	10月20日		
1684年	11月27日	貞享元年	10月21日		
1684年	11月28日	貞享元年	10月22日		
1684年	11月29日	貞享元年	10月23日		
1684年	11月30日	貞享元年	10月24日		
1684年	12月1日	貞享元年	10月25日		
1684年	12月2日	貞享元年	10月26日		
1684年	12月3日	貞享元年	10月27日		
1684年	12月4日	貞享元年	10月28日		
1684年	12月5日	貞享元年	10月29日		
1684年	12月6日	貞享元年	10月30日		
1684年	12月7日	貞享元年	11月1日	晴	(御用番氏名のみ) (御拍子・仕舞、例年の通り御城中所々に火鉢出す、西浜より初鱈2上がる)
1684年	12月8日	貞享元年	11月2日	晴	
1684年	12月9日	貞享元年	11月3日	陰	卯の刻より細雨降 午の上刻晴
1684年	12月10日	貞享元年	11月4日	陰	終日雪降 (先月23日柳川豊前殿の死骸検使が江戸を出ている)
1684年	12月11日	貞享元年	11月5日	陰	雪風終日
1684年	12月12日	貞享元年	11月6日	時々小雪	
1684年	12月13日	貞享元年	11月7日	晴	
1684年	12月14日	貞享元年	11月8日	晴	未中刻より曇 雨降
1684年	12月15日	貞享元年	11月9日	陰	
1684年	12月16日	貞享元年	11月10日	陰	
1684年	12月17日	貞享元年	11月11日	陰	申の刻より雨降
1684年	12月18日	貞享元年	11月12日	陰	雪風
1684年	12月19日	貞享元年	11月13日	陰	
1684年	12月20日	貞享元年	11月14日	曇	小雪
1684年	12月21日	貞享元年	11月15日	晴	
1684年	12月22日	貞享元年	11月16日	晴	卯の刻小雨
1684年	12月23日	貞享元年	11月17日	晴	
1684年	12月24日	貞享元年	11月18日	陰	巳の刻より 雪降 未の刻晴
1684年	12月25日	貞享元年	11月19日	陰	辰の刻雪 巳の刻晴 午の下刻曇 未の刻地震
1684年	12月26日	貞享元年	11月20日	陰	未の上刻より雪降 (男牢死)
1684年	12月27日	貞享元年	11月21日	晴	申の刻雪降 (追い鳥狩り: 雉子70(雌雄とも35)上がる)
1684年	12月28日	貞享元年	11月22日	晴	
1684年	12月29日	貞享元年	11月23日	晴	子の刻地震
1684年	12月30日	貞享元年	11月24日	陰	
1684年	12月31日	貞享元年	11月25日	陰	小雪

1685年	1月1日	貞享元年	11月26日	晦	雪降
1685年	1月2日	貞享元年	11月27日	晦	雪降
1685年	1月3日	貞享元年	11月28日	晦	時々小雪
1685年	1月4日	貞享元年	11月29日	晦	大雪風 終日 (24日晚上夕顔開村で火災・御蔵百姓1軒、大間越村家数30軒に御蔵米150俵拝借願い・来春米値段御究次第きつと上納するとの条件で了解)
1685年	1月5日	貞享元年	12月1日	晴	卯の刻小雪 (御用番氏名のみ)
1685年	1月6日	貞享元年	12月2日	晴	
1685年	1月7日	貞享元年	12月3日	晴	(十面沢で雉子狩・雉子なく免6、浅瀬石でも雉子なし)
1685年	1月8日	貞享元年	12月4日	曇	小雪 (西浜より雉子8・兎1上がる、三世寺御材木奉行に山上勘兵衛)
1685年	1月9日	貞享元年	12月5日	晴	午の刻より曇 雪降
1685年	1月10日	貞享元年	12月6日	曇	辰の刻より雪降 午の下刻に及ぶ
1685年	1月11日	貞享元年	12月7日	曇	雪降
1685年	1月12日	貞享元年	12月8日	曇	小雪 (12日振りに仰せ付けられた飛脚が大雪で16日振りに到着)
1685年	1月13日	貞享元年	12月9日	晴	
1685年	1月14日	貞享元年	12月10日	晴	
1685年	1月15日	貞享元年	12月11日	曇	大雪風
1685年	1月16日	貞享元年	12月12日	晴	午の上刻雪 則刻晴
1685年	1月17日	貞享元年	12月13日	曇	小雪
1685年	1月18日	貞享元年	12月14日	曇	小雪
1685年	1月19日	貞享元年	12月15日	曇	小雪 (津軽外記五百石から千石に等大勢に御加増)
1685年	1月20日	貞享元年	12月16日	曇	小雪 午の刻地震 (碓関外で礫4人)
1685年	1月21日	貞享元年	12月17日	曇	小雪
1685年	1月22日	貞享元年	12月18日	曇	小雪 (御家中2人と村人1人獄屋の前で斬罪、外浜野内で1人・切明村で1人礫、御家中1人成敗)
1685年	1月23日	貞享元年	12月19日	晴	(御朱印が届く)
1685年	1月24日	貞享元年	12月20日	曇	大雪風 (江戸からの路銀は1人に付24匁(16日分)・馬1疋に114匁がお定めである、洪水で6日逗留した・1人9匁宛不足した・不足分を出せ、了解)
1685年	1月25日	貞享元年	12月21日	晴	(造酒丞殿に50人扶持遣わず、人事異動、3日間土手町に晒し取上で礫2人・卒死男2人・同所で成敗獄門3人)
1685年	1月26日	貞享元年	12月22日	曇	大風雪
1685年	1月27日	貞享元年	12月23日	小雪	辰の下刻より晴 (今日御能)
1685年	1月28日	貞享元年	12月24日	曇	西の下刻雨降 (碓関の外で礫1人)
1685年	1月29日	貞享元年	12月25日	晴	(大雪で江戸からの飛脚が遅れて下着、御徒山上太兵衛が御赦免)
1685年	1月30日	貞享元年	12月26日	晴	
1685年	1月31日	貞享元年	12月27日	曇	雪降 午の下刻地震 (御家中の小者欠落・成敗、五所川原で(検地逃れか)庄屋など3人礫(3人中2人はすでに病死)・その男子5人成敗・男の兄弟5人領分追放・親妻姉妹娘等所追放)
1685年	2月1日	貞享元年	12月28日	曇	雪降 (郷足軽成敗)
1685年	2月2日	貞享元年	12月29日	晦	大雪風
1685年	2月3日	貞享元年	12月30日	晴	
1685年	2月4日	貞享2年	正月1日	曇	午の上刻より晴 (御用番氏名のみ) (御廻船方御用10人ほど追加)
1685年	2月5日	貞享2年	正月2日	晴	午の下刻より曇 小雪降
1685年	2月6日	貞享2年	正月3日	曇	雪
1685年	2月7日	貞享2年	正月4日	曇	雪風 午の刻より止み晴 (今日は当番の面々裏付上下着る)
1685年	2月8日	貞享2年	正月5日	曇	小雪 巳の下刻より晴
1685年	2月9日	貞享2年	正月6日	晴	
1685年	2月10日	貞享2年	正月7日	晴	
1685年	2月11日	貞享2年	正月8日	晴	
1685年	2月12日	貞享2年	正月9日	曇	雪風 巳の刻より晴 (御家中の家来が主人のせがれを切り自害)
1685年	2月13日	貞享2年	正月10日	晴	午の下刻雪 未の上刻止む
1685年	2月14日	貞享2年	正月11日	晴	午の下刻雪 則刻止む
1685年	2月15日	貞享2年	正月12日	曇	小雪降
1685年	2月16日	貞享2年	正月13日	晴	
1685年	2月17日	貞享2年	正月14日	晴	
1685年	2月18日	貞享2年	正月15日	曇	
1685年	2月19日	貞享2年	正月16日	晴	
1685年	2月20日	貞享2年	正月17日	晴	
1685年	2月21日	貞享2年	正月18日	曇	小雪 (兵庫殿・造酒丞殿・甚五右衛門様御家老が箱着差上げている、御能・狂言)
1685年	2月22日	貞享2年	正月19日	晴	
1685年	2月23日	貞享2年	正月20日	晴	
1685年	2月24日	貞享2年	正月21日	曇	
1685年	2月25日	貞享2年	正月22日	曇	
1685年	2月26日	貞享2年	正月23日	曇	雪降 午の刻止む
1685年	2月27日	貞享2年	正月24日	曇	昨夜中より雪降り続く
1685年	2月28日	貞享2年	正月25日	曇	雪 辰の下刻止む 巳の刻降る

1685年	3月1日	貞享2年	正月26日	晴	
1685年	3月2日	貞享2年	正月27日	晴	巳の刻少雪 則時止む 未の刻小雪 (若様御官位御祝儀の御能・狂言)
1685年	3月3日	貞享2年	正月28日	晴	
1685年	3月4日	貞享2年	正月29日	晴	(亀ヶ岡村で火災・足軽警固家焼失)
1685年	3月5日	貞享2年	2月1日	晦	雪降 未の刻止む (御用番氏名のみ)
1685年	3月6日	貞享2年	2月2日	晦	
1685年	3月7日	貞享2年	2月3日	曇	風雪
1685年	3月8日	貞享2年	2月4日	晴	
1685年	3月9日	貞享2年	2月5日	午の刻より曇	雲 未の刻雨に変わり申の中刻止む
1685年	3月10日	貞享2年	2月6日	申の刻より曇	雪颯る(揚る)
1685年	3月11日	貞享2年	2月7日	晴	午の下刻雪颯る
1685年	3月12日	貞享2年	2月8日	晴	
1685年	3月13日	貞享2年	2月9日	晴	霜
1685年	3月14日	貞享2年	2月10日	晴	霜
1685年	3月15日	貞享2年	2月11日	晴	卯の上刻地震 未の刻風小雨
1685年	3月16日	貞享2年	2月12日	未の下刻より風	夜に及ぶ 雨夜中
1685年	3月17日	貞享2年	2月13日	晦	曇
1685年	3月18日	貞享2年	2月14日	霜	晴
1685年	3月19日	貞享2年	2月15日	霜	晴
1685年	3月20日	貞享2年	2月16日	晴	
1685年	3月21日	貞享2年	2月17日	晦	昨夜より雨終日 (12日新寺町から・14日東桶屋町から男2人欠落ち)
1685年	3月22日	貞享2年	2月18日	晴	夜に入り雨降 (新土手町で小屋焼失)
1685年	3月23日	貞享2年	2月19日	陰晴	昨夜より雨 辰の下刻晴 夜に入り雪降 (尾崎村で火災・3軒焼失)
1685年	3月24日	貞享2年	2月20日	晦	小雪 (去年10月(日記の保存なし)足軽警固を斬罪)
1685年	3月25日	貞享2年	2月21日	晴	霜 (藤崎川渡し長船7尋(ひろ:長さの単位で用途により5尺か6尺)2尺・代銀80目)
1685年	3月26日	貞享2年	2月22日	晴	山鳴 霜
1685年	3月27日	貞享2年	2月23日	晴	霜
1685年	3月28日	貞享2年	2月24日	晴	霜 (去年11月19日足軽が妹婿を差殺し自害(その頃の日記には記録なし))
1685年	3月29日	貞享2年	2月25日	陰晴	辰の下刻小雪降 未の刻雹
1685年	3月30日	貞享2年	2月26日	晴	夜に入り雪 (25日晚上石川渡し付近に44・5男乞食倒死か)
1685年	3月31日	貞享2年	2月27日	陰晴	辰の刻雪
1685年	4月1日	貞享2年	2月28日	陰晴	雪
1685年	4月2日	貞享2年	2月29日	晴	
1685年	4月3日	貞享2年	2月30日	晴	
1685年	4月4日	貞享2年	3月1日	晴	(御用番氏名のみ) (2月28に亀田村で道心者溺れ・死亡)
1685年	4月5日	貞享2年	3月2日	霜	曇
1685年	4月6日	貞享2年	3月3日	霜	晴 辰の刻より終日少し風 (殿様御遠慮御免)
1685年	4月7日	貞享2年	3月4日	晴	
1685年	4月8日	貞享2年	3月5日	晴	
1685年	4月9日	貞享2年	3月6日	晴	(福寿草20本沢内代官差上げる、藤崎支配畑中村に55・6男乞食自害)
1685年	4月10日	貞享2年	3月7日	晴	申の刻より風 夜に入り雨
1685年	4月11日	貞享2年	3月8日	曇	昨夜より風雨 今年の刻止み晴 (御用金一切なく御切米も渡せない・郡奉行に上納金の催促)
1685年	4月12日	貞享2年	3月9日	霜	晴
1685年	4月13日	貞享2年	3月10日	霜	晴 (7・8日の洪水で五所川原で堤破損・8日の水で石渡御蔵廻り土少々崩れる)
1685年	4月14日	貞享2年	3月11日	霜	晴
1685年	4月15日	貞享2年	3月12日	霜	晴 小風 (白畑野新田の者共薪山で熊を打殺す)
1685年	4月16日	貞享2年	3月13日	晴	(柏木館林に野火入る)
1685年	4月17日	貞享2年	3月14日	曇	(津軽坂牧で火災・12軒焼失、一昨12日夜本郷村で田屋焼失・馬19疋焼死)
1685年	4月18日	貞享2年	3月15日	陰晴	少し雨
1685年	4月19日	貞享2年	3月16日	晴	
1685年	4月20日	貞享2年	3月17日	霞	霧
1685年	4月21日	貞享2年	3月18日	晴	
1685年	4月22日	貞享2年	3月19日	曇	
1685年	4月23日	貞享2年	3月20日	晦	昨申の下刻より雨続く(晦従昨申下刻雨続) (昨今の雨で駒越川洪水・往来留める、昨19日晚種市村で火災・郷足軽家焼失)
1685年	4月24日	貞享2年	3月21日	晦	夜に入り風雨
1685年	4月25日	貞享2年	3月22日	昨夜より風雨	曇 午の刻止む (昨22日岩村庄屋家で聾が狂気相聾を伐殺す)
1685年	4月26日	貞享2年	3月23日	晴	(今晚御慰の御拍子)
1685年	4月27日	貞享2年	3月24日	晴	夜に入り雨 (岩村の乱気男を同村で首討に申渡)
1685年	4月28日	貞享2年	3月25日	昨夜より雨続く	(鱒ヶ沢で鱒少々出申し候)
1685年	4月29日	貞享2年	3月26日	一昨夜より雨打ち続き降る	(一昨夜ヨリ雨打続降)
1685年	4月30日	貞享2年	3月27日	晴	辰の下刻風吹く

1685年	5月1日	貞享2年	3月28日	晴	終日風 (多数に御加増、御家中の家来斬罪)
1685年	5月2日	貞享2年	3月29日	晴	(蓬田村で女房を斧で打殺し死罪)
1685年	5月3日	貞享2年	4月1日	晴	巳の刻小雨降則時止む (御用番の記述なし) (御加増沢山)
1685年	5月4日	貞享2年	4月2日	曇	
1685年	5月5日	貞享2年	4月3日	曇	
1685年	5月6日	貞享2年	4月4日	曇	時々小雨 夜に入り大雨
1685年	5月7日	貞享2年	4月5日	曇	時々小雨 夜に入り大雨
1685年	5月8日	貞享2年	4月6日	曇	昨夜雨 今午の刻晴
1685年	5月9日	貞享2年	4月7日	晴	巳の刻地震
1685年	5月10日	貞享2年	4月8日	晴	未の上刻雨 同下刻曇雷電 大雨
1685年	5月11日	貞享2年	4月9日	曇	卯の刻より雨 辰の刻晴 夜に入り雨
1685年	5月12日	貞享2年	4月10日	曇	昨夜より雨 今巳の刻止み晴 (火付を町中引渡し・明日火炙り)
1685年	5月13日	貞享2年	4月11日	晴	小風
1685年	5月14日	貞享2年	4月12日	曇	巳の刻小雨
1685年	5月15日	貞享2年	4月13日	霜	晴 (土手町火事の火元入寺御赦免、11日夜外浜宮崎村で火災6軒)
1685年	5月16日	貞享2年	4月14日	晴	(日記の保存なし:このような場合は、当日に記載された事項が前日のように見えることもありうる)
1685年	5月17日	貞享2年	4月15日	曇	申の刻雨降
1685年	5月18日	貞享2年	4月16日	曇	昨夜より雨 終日に及ぶ
1685年	5月19日	貞享2年	4月17日	晴	
1685年	5月20日	貞享2年	4月18日	晴	(鯉ヶ沢で水主口論・殺人・殺人者籠舎)
1685年	5月21日	貞享2年	4月19日	曇	辰の下刻雨 未の刻雷
1685年	5月22日	貞享2年	4月20日	曇	雨
1685年	5月23日	貞享2年	4月21日	晴	
1685年	5月24日	貞享2年	4月22日	晴	
1685年	5月25日	貞享2年	4月23日	辰の刻より雨 未の刻止む 申の刻大風 酉の刻雨風	
1685年	5月26日	貞享2年	4月24日	曇	昨日より風雨 未の刻和らぐ(曇從昨日風雨未刻和)
1685年	5月27日	貞享2年	4月25日	曇	昨夜より風小雨打ち続く 今午の下刻止む
1685年	5月28日	貞享2年	4月26日	晴	
1685年	5月29日	貞享2年	4月27日	晴	卯の中刻細雨 (若殿様御官位御祝儀の御能)
1685年	5月30日	貞享2年	4月28日	晴	
1685年	5月31日	貞享2年	4月29日	晴	午の中刻雨 (1両に付77匁5分替、23日の大風で青森浦町の外浜下磯代官所屋祢吹はき候・浅虫御本陣にも若干被害)
1685年	6月1日	貞享2年	4月30日	陰晴	卯の中刻雨 巳の刻止む 午の中刻より小風
1685年	6月2日	貞享2年	5月1日	晴	(御用番記述なし)
1685年	6月3日	貞享2年	5月2日	晴	
1685年	6月4日	貞享2年	5月3日	晴	
1685年	6月5日	貞享2年	5月4日	晴	(今別の狛清八員の玉1差上げる、今朝足軽目付自害)
1685年	6月6日	貞享2年	5月5日	陰晴	申の刻より雨 則時止む 酉の刻より雨 (一両年不作・御家中数人から金拝借願ひ、一昨日男が溜池に投身死、3月末より4月14日迄に下之切高野村之地子新町で8軒中7軒走る)
1685年	6月7日	貞享2年	5月6日	曇	昨夜より雨降続く
1685年	6月8日	貞享2年	5月7日	一	昨夜より雨降続く 巳の刻晴
1685年	6月9日	貞享2年	5月8日	陰	巳の中刻より小雨 則時止む
1685年	6月10日	貞享2年	5月9日	晴	(殿様御発駕・見送りの場所あり)
1685年	6月11日	貞享2年	5月10日	陰	卯の下刻より雨降 申の刻止む (金子取込み欠落の飾屋が籠前で斬罪)
1685年	6月12日	貞享2年	5月11日	晴	
1685年	6月13日	貞享2年	5月12日	陰晴	午の刻より細雨 則時止む
1685年	6月14日	貞享2年	5月13日	晴	酉の刻細雨
1685年	6月15日	貞享2年	5月14日	晴	
1685年	6月16日	貞享2年	5月15日	晴	(昨14日和徳町から男走る)
1685年	6月17日	貞享2年	5月16日	晴	
1685年	6月18日	貞享2年	5月17日	陰晴	
1685年	6月19日	貞享2年	5月18日	霧	晴 (14日堀替村板木沢に45・6男裸身で縄で首×倒死亡)
1685年	6月20日	貞享2年	5月19日	霧	陰
1685年	6月21日	貞享2年	5月20日	晴	夜に入り雨 (18日郷沢村と塩木川村の間に強盗・駄賃付け逃げ切る、外浜下磯鬮浜で加賀の男打殺される)
1685年	6月22日	貞享2年	5月21日	晴	巳の刻より雨降続く
1685年	6月23日	貞享2年	5月22日	晴	昨夜より雨降続く 午の上刻晴
1685年	6月24日	貞享2年	5月23日	晴	
1685年	6月25日	貞享2年	5月24日	卯の刻より雨降 巳の刻止む	
1685年	6月26日	貞享2年	5月25日	陰	辰の刻より雨
1685年	6月27日	貞享2年	5月26日	陰	時々小雨
1685年	6月28日	貞享2年	5月27日	陰	巳の下刻小雨
1685年	6月29日	貞享2年	5月28日	陰	(当月3日尾崎村で水飲走る、昨晚東桶屋町で走る)
1685年	6月30日	貞享2年	5月29日	晴	夜に入り雨

1685年	7月1日	貞享2年	5月30日	昨夜より雨降 午の上刻晴
1685年	7月2日	貞享2年	6月1日	晴 (表紙に「甲第九号証」との記載あり、御用番氏名のみ)
1685年	7月3日	貞享2年	6月2日	晴
1685年	7月4日	貞享2年	6月3日	晴
1685年	7月5日	貞享2年	6月4日	晴
1685年	7月6日	貞享2年	6月5日	晴
1685年	7月7日	貞享2年	6月6日	晴
1685年	7月8日	貞享2年	6月7日	晴 (先月22日殿様御参府)
1685年	7月9日	貞享2年	6月8日	晦
1685年	7月10日	貞享2年	6月9日	晴
1685年	7月11日	貞享2年	6月10日	晴
1685年	7月12日	貞享2年	6月11日	午の上刻よりしゅう 則時止む 未の刻大雨 雷発す
1685年	7月13日	貞享2年	6月12日	晦 申の刻雨 巳の刻止み晴
1685年	7月14日	貞享2年	6月13日	晦
1685年	7月15日	貞享2年	6月14日	晴
1685年	7月16日	貞享2年	6月15日	晴
1685年	7月17日	貞享2年	6月16日	晴
1685年	7月18日	貞享2年	6月17日	晴
1685年	7月19日	貞享2年	6月18日	晴
1685年	7月20日	貞享2年	6月19日	昨夜より雨 卯の下刻止む 辰の下刻雨 午の中刻止む
1685年	7月21日	貞享2年	6月20日	晴
1685年	7月22日	貞享2年	6月21日	晴
1685年	7月23日	貞享2年	6月22日	晴
1685年	7月24日	貞享2年	6月23日	晴 (御家中の家来成敗)
1685年	7月25日	貞享2年	6月24日	晴
1685年	7月26日	貞享2年	6月25日	晴
1685年	7月27日	貞享2年	6月26日	晴
1685年	7月28日	貞享2年	6月27日	晴 (目屋野沢馳森より山火事出火・昨夜中消す)
1685年	7月29日	貞享2年	6月28日	晴 (昨日の山火事再起)
1685年	7月30日	貞享2年	6月29日	晴
1685年	7月31日	貞享2年	7月1日	曇 辰の刻雨 則時止み晴 (御用番氏名のみ) (昨夜黒石町の女房が井に身投げ死亡、6月29日晩下之切御山で出火・鎮める)
1685年	8月1日	貞享2年	7月2日	晴
1685年	8月2日	貞享2年	7月3日	晴
1685年	8月3日	貞享2年	7月4日	晴
1685年	8月4日	貞享2年	7月5日	晴 申の下刻より雨
1685年	8月5日	貞享2年	7月6日	曇 昨申の下刻より雨降続
1685年	8月6日	貞享2年	7月7日	晴 (御家中の中間成敗)
1685年	8月7日	貞享2年	7月8日	晴
1685年	8月8日	貞享2年	7月9日	晴 夜に入り大雨
1685年	8月9日	貞享2年	7月10日	晴
1685年	8月10日	貞享2年	7月11日	晴
1685年	8月11日	貞享2年	7月12日	曇 辰の下刻より雨終日
1685年	8月12日	貞享2年	7月13日	晴
1685年	8月13日	貞享2年	7月14日	晴
1685年	8月14日	貞享2年	7月15日	陰晴 暁大雨 巳の刻雷
1685年	8月15日	貞享2年	7月16日	晴
1685年	8月16日	貞享2年	7月17日	晴
1685年	8月17日	貞享2年	7月18日	晴 (17日樽沢新田で火災1軒)
1685年	8月18日	貞享2年	7月19日	晴
1685年	8月19日	貞享2年	7月20日	晴 (御家中に病死2人・長病もある)
1685年	8月20日	貞享2年	7月21日	晴
1685年	8月21日	貞享2年	7月22日	晴 午の刻風 (御検地場に病人40人余)
1685年	8月22日	貞享2年	7月23日	曇 辰の刻雷雨
1685年	8月23日	貞享2年	7月24日	晴
1685年	8月24日	貞享2年	7月25日	晴 申の下刻雨
1685年	8月25日	貞享2年	7月26日	曇 昨申の下刻より雨降続 (12日振りに仰せ付けられた飛脚が13日振りに到着・理由は路銀不足と言っている)
1685年	8月26日	貞享2年	7月27日	晴 夜に入り大雨 (西御郭に無断で入った小人とその伯父・5月16日に加賀の男を殺した男・6月12日に道心を切り殺した男の4人を籠屋前で成敗)
1685年	8月27日	貞享2年	7月28日	晴 昨夜雨降続 辰の中刻止む 巳の中刻雨降 午の中刻止む
1685年	8月28日	貞享2年	7月29日	晴
1685年	8月29日	貞享2年	7月30日	晴
1685年	8月30日	貞享2年	8月1日	(8・9月の2ヶ月間日記の保存なし)
1685年	8月31日	貞享2年	8月2日	

1685年	9月1日	貞享2年	8月3日	(8・9月の2ヶ月間日記の保存なし)
1685年	9月2日	貞享2年	8月4日	
1685年	9月3日	貞享2年	8月5日	
1685年	9月4日	貞享2年	8月6日	
1685年	9月5日	貞享2年	8月7日	
1685年	9月6日	貞享2年	8月8日	
1685年	9月7日	貞享2年	8月9日	
1685年	9月8日	貞享2年	8月10日	
1685年	9月9日	貞享2年	8月11日	
1685年	9月10日	貞享2年	8月12日	
1685年	9月11日	貞享2年	8月13日	
1685年	9月12日	貞享2年	8月14日	
1685年	9月13日	貞享2年	8月15日	
1685年	9月14日	貞享2年	8月16日	
1685年	9月15日	貞享2年	8月17日	
1685年	9月16日	貞享2年	8月18日	
1685年	9月17日	貞享2年	8月19日	
1685年	9月18日	貞享2年	8月20日	
1685年	9月19日	貞享2年	8月21日	
1685年	9月20日	貞享2年	8月22日	
1685年	9月21日	貞享2年	8月23日	
1685年	9月22日	貞享2年	8月24日	
1685年	9月23日	貞享2年	8月25日	
1685年	9月24日	貞享2年	8月26日	
1685年	9月25日	貞享2年	8月27日	
1685年	9月26日	貞享2年	8月28日	
1685年	9月27日	貞享2年	8月29日	
1685年	9月28日	貞享2年	9月1日	
1685年	9月29日	貞享2年	9月2日	
1685年	9月30日	貞享2年	9月3日	
1685年	10月1日	貞享2年	9月4日	
1685年	10月2日	貞享2年	9月5日	
1685年	10月3日	貞享2年	9月6日	
1685年	10月4日	貞享2年	9月7日	
1685年	10月5日	貞享2年	9月8日	
1685年	10月6日	貞享2年	9月9日	
1685年	10月7日	貞享2年	9月10日	
1685年	10月8日	貞享2年	9月11日	
1685年	10月9日	貞享2年	9月12日	
1685年	10月10日	貞享2年	9月13日	
1685年	10月11日	貞享2年	9月14日	
1685年	10月12日	貞享2年	9月15日	
1685年	10月13日	貞享2年	9月16日	
1685年	10月14日	貞享2年	9月17日	
1685年	10月15日	貞享2年	9月18日	
1685年	10月16日	貞享2年	9月19日	
1685年	10月17日	貞享2年	9月20日	
1685年	10月18日	貞享2年	9月21日	
1685年	10月19日	貞享2年	9月22日	
1685年	10月20日	貞享2年	9月23日	
1685年	10月21日	貞享2年	9月24日	
1685年	10月22日	貞享2年	9月25日	
1685年	10月23日	貞享2年	9月26日	
1685年	10月24日	貞享2年	9月27日	
1685年	10月25日	貞享2年	9月28日	
1685年	10月26日	貞享2年	9月29日	
1685年	10月27日	貞享2年	9月30日	
1685年	10月28日	貞享2年	10月1日	晴 卯の上刻細雨 同下刻晴 (御用番氏名のみ)
1685年	10月29日	貞享2年	10月2日	晴
1685年	10月30日	貞享2年	10月3日	晴 霜
1685年	10月31日	貞享2年	10月4日	曇

1685年	11月1日	貞享2年	10月5日	曇
1685年	11月2日	貞享2年	10月6日	晴
1685年	11月3日	貞享2年	10月7日	晴 (御家中が乱気で4歳の子供を切り殺す・親類預け)
1685年	11月4日	貞享2年	10月8日	霜 晴
1685年	11月5日	貞享2年	10月9日	晴
1685年	11月6日	貞享2年	10月10日	霜 晴
1685年	11月7日	貞享2年	10月11日	霜 晴 (昨夜三馬屋の先釜野沢の狄初鱈上げる・銭一貫文遣わず、御家中の家来が用事に出され酒飲んで帰った・しかつた上司を切り殺した・家来を成敗)
1685年	11月8日	貞享2年	10月12日	陰晴 辰の上刻細雨 巳の刻晴 未の上刻雨降 申の刻雷発す (去月26日山鹿基五左衛門様御死去、10月9日夜御家中が酒狂いで町人宅に押し込む)
1685年	11月9日	貞享2年	10月13日	晴 夜に入り雨
1685年	11月10日	貞享2年	10月14日	晴 未の上刻より曇 雨降
1685年	11月11日	貞享2年	10月15日	曇 卯の下刻初雪降 辰の上刻止む
1685年	11月12日	貞享2年	10月16日	晴 大霜 夜に入り雨 (酒値段1升:次酒5分から4分に・諸白8分から7分にする)
1685年	11月13日	貞享2年	10月17日	曇
1685年	11月14日	貞享2年	10月18日	晴 戌の刻より雨 (12日夜東大工町より男走る)
1685年	11月15日	貞享2年	10月19日	曇 昨夜より雨時々 未の上刻より雪風
1685年	11月16日	貞享2年	10月20日	曇 小雪 午の上刻晴
1685年	11月17日	貞享2年	10月21日	曇 昨夜雨降続 辰の刻小雪 巳の刻より雪 終日降
1685年	11月18日	貞享2年	10月22日	曇
1685年	11月19日	貞享2年	10月23日	晴 夜に入り雨降
1685年	11月20日	貞享2年	10月24日	晴 辰の下刻雨 巳の刻止む 申の上刻地震
1685年	11月21日	貞享2年	10月25日	曇 辰の中刻雨 未の刻止む
1685年	11月22日	貞享2年	10月26日	晴
1685年	11月23日	貞享2年	10月27日	曇 辰の上刻雨 未の刻止む
1685年	11月24日	貞享2年	10月28日	晴
1685年	11月25日	貞享2年	10月29日	晴 大霜
1685年	11月26日	貞享2年	11月1日	晴 (御用番氏名のみ)
1685年	11月27日	貞享2年	11月2日	晴 大雪 申の下刻小雨
1685年	11月28日	貞享2年	11月3日	陰晴 時々しゅう降 (御家中乱気自害)
1685年	11月29日	貞享2年	11月4日	曇 夜に入り雪
1685年	11月30日	貞享2年	11月5日	曇
1685年	12月1日	貞享2年	11月6日	晴 卯の刻小雪
1685年	12月2日	貞享2年	11月7日	曇 時々小雪
1685年	12月3日	貞享2年	11月8日	曇 卯の中刻より雪降
1685年	12月4日	貞享2年	11月9日	曇 時々小雪
1685年	12月5日	貞享2年	11月10日	曇 雪終日降 (一昨8日夜深浦地子新田で火災3軒馬1疋焼失)
1685年	12月6日	貞享2年	11月11日	陰晴 時々雪
1685年	12月7日	貞享2年	11月12日	晴 夜に入り雪
1685年	12月8日	貞享2年	11月13日	晴 (昨12日晚種市村で火災・水飲の家1軒焼失)
1685年	12月9日	貞享2年	11月14日	曇 終日雨 夜に入り風
1685年	12月10日	貞享2年	11月15日	曇 昨日より雨降続
1685年	12月11日	貞享2年	11月16日	晴 (炭1俵(10貫目)の代銀1匁4分)
1685年	12月12日	貞享2年	11月17日	霜 夜に入り雨降
1685年	12月13日	貞享2年	11月18日	晴
1685年	12月14日	貞享2年	11月19日	曇 大風 雪降
1685年	12月15日	貞享2年	11月20日	曇 雪終日降
1685年	12月16日	貞享2年	11月21日	晴 時々小雪
1685年	12月17日	貞享2年	11月22日	曇 (18日種里村で寺の隠居所焼失、炭値段1俵(4斗入り)1匁8分)
1685年	12月18日	貞享2年	11月23日	晴 (昨日の追い鳥狩りで雉子109・兎3・御台所に差上げる)
1685年	12月19日	貞享2年	11月24日	晴 (昨日の追い鳥狩りで雉子40など御台所に)
1685年	12月20日	貞享2年	11月25日	晴 (昨日雉子狩りで雉子32御台所に)
1685年	12月21日	貞享2年	11月26日	晴
1685年	12月22日	貞享2年	11月27日	曇 卯の刻雪 未の上刻より丸雪 申の刻大風 烈しい雪 夜に及ぶ(曇卯刻雪従未上刻丸雪申刻大風烈雪及夜 (御献上などの雉子147江戸へ送る))
1685年	12月23日	貞享2年	11月28日	曇 申の刻より大風烈しい雪 巳の中刻少し和らぐ
1685年	12月24日	貞享2年	11月29日	曇 時々小雪 未の上刻より曇
1685年	12月25日	貞享2年	11月30日	曇 昨日より曇 今午の刻止み晴 (10月9日町人宅に押し込んだ大湯次郎左衛門斬罪)
1685年	12月26日	貞享2年	12月1日	晴 (御用番氏名のみ)
1685年	12月27日	貞享2年	12月2日	晴 夜に入り雨降
1685年	12月28日	貞享2年	12月3日	曇 終日雪降 (今日小栗山で殺人)
1685年	12月29日	貞享2年	12月4日	曇 終日雪降
1685年	12月30日	貞享2年	12月5日	晴 申の刻雷 小雪
1685年	12月31日	貞享2年	12月6日	曇 終日雪

1686年	1月1日	貞享2年	12月7日	曇	大吹雪 風
1686年	1月2日	貞享2年	12月8日	曇	大吹雪 風
1686年	1月3日	貞享2年	12月9日	曇	吹雪 風
1686年	1月4日	貞享2年	12月10日	曇	辰の刻より雪降
1686年	1月5日	貞享2年	12月11日	曇	終日雪降
1686年	1月6日	貞享2年	12月12日	曇	時々雪降
1686年	1月7日	貞享2年	12月13日	曇	終日雪降
1686年	1月8日	貞享2年	12月14日	曇	終日雪降
1686年	1月9日	貞享2年	12月15日	晴	
1686年	1月10日	貞享2年	12月16日	曇	
1686年	1月11日	貞享2年	12月17日	晴	
1686年	1月12日	貞享2年	12月18日	曇	午の刻雪風 (昨晚福野田村に44・5男乞食倒死)
1686年	1月13日	貞享2年	12月19日	晴	(今8日今別で大荒れ・大風・材木流出)
1686年	1月14日	貞享2年	12月20日	曇	
1686年	1月15日	貞享2年	12月21日	晴	
1686年	1月16日	貞享2年	12月22日	晴	
1686年	1月17日	貞享2年	12月23日	曇	大雪 午の刻より大風吹 (22日夜広須の川崎村で火災・1軒馬3疋焼失)
1686年	1月18日	貞享2年	12月24日	曇	大雪風
1686年	1月19日	貞享2年	12月25日	曇	雪降
1686年	1月20日	貞享2年	12月26日	曇	雪
1686年	1月21日	貞享2年	12月27日	晴	
1686年	1月22日	貞享2年	12月28日	晴	小雪
1686年	1月23日	貞享2年	12月29日	晴	小雪
1686年	1月24日	貞享3年	正月1日	晴	午の刻小雪 (御用番氏名のみ)
1686年	1月25日	貞享3年	正月2日	晴	(男牢死)
1686年	1月26日	貞享3年	正月3日	晴	(江戸御小納戸に吉例の通り200両差登)
1686年	1月27日	貞享3年	正月4日	曇	巳の下刻より雪降
1686年	1月28日	貞享3年	正月5日	晴	辰巳の刻小雪
1686年	1月29日	貞享3年	正月6日	晴	(猿賀神宮寺の僧昨日自害)
1686年	1月30日	貞享3年	正月7日	晴	辰巳の刻小雪
1686年	1月31日	貞享3年	正月8日	晴	(今月3日外浜瀬辺地の男木割りて女房を打殺す)
1686年	2月1日	貞享3年	正月9日	晴	
1686年	2月2日	貞享3年	正月10日	曇	卯辰の刻雪 巳の刻より雨 午の刻曇 風申の上刻に及ぶ
1686年	2月3日	貞享3年	正月11日	曇	昨夜より雪降り続く 巳の下刻より晴(曇從昨夜雪降続從巳下刻晴)
1686年	2月4日	貞享3年	正月12日	曇	午の下刻より時々小雪降
1686年	2月5日	貞享3年	正月13日	曇	終日風雪大いに吹く(終日大吹風雪)
1686年	2月6日	貞享3年	正月14日	曇	終日風雪大いに吹く(曇終日大吹風雪)
1686年	2月7日	貞享3年	正月15日	曇	小雪
1686年	2月8日	貞享3年	正月16日	晴	(御家中召抱え奉公人の給分:草履取り40目・下の中間50目・中の中間60目・上の中間70目・上上の中間80目(ここまで江戸では10目増し)・若党奉公人100目~130目迄)
1686年	2月9日	貞享3年	正月17日	晴	申の下刻小雪
1686年	2月10日	貞享3年	正月18日	曇	卯の刻曇 辰の中刻より雨 (下之切原子村に44・5男吹倒相果)
1686年	2月11日	貞享3年	正月19日	曇	終日曇
1686年	2月12日	貞享3年	正月20日	曇	卯の下刻小雪 辰の下刻より止む
1686年	2月13日	貞享3年	正月21日	曇	終日風雪 (会所で稽古囃子)
1686年	2月14日	貞享3年	正月22日	陰晴	時々小雪
1686年	2月15日	貞享3年	正月23日	曇	雪降
1686年	2月16日	貞享3年	正月24日	晴	
1686年	2月17日	貞享3年	正月25日	曇	時々雪風
1686年	2月18日	貞享3年	正月26日	曇	時々小雪
1686年	2月19日	貞享3年	正月27日	曇	
1686年	2月20日	貞享3年	正月28日	晴	霜
1686年	2月21日	貞享3年	正月29日	曇	
1686年	2月22日	貞享3年	正月30日	曇	
1686年	2月23日	貞享3年	2月1日	晴	午の刻より曇時々雪 (御用番氏名のみ)
1686年	2月24日	貞享3年	2月2日	晴	卯の下刻より時々小雪 下から続く 内10匁返し・但し江戸詰めの節は10匁増銀)
1686年	2月25日	貞享3年	2月3日	晴	午の下刻より曇時々小雪 (御中間の給分1年季(2年季):上中間70目(140目内17匁返し)・中中間60目(120目内14匁返し)・下中間50目(100目内11匁返し)・草履取り40目(80目 上に続く)
1686年	2月26日	貞享3年	2月4日	晴	小風 (出銀押米4斗3升5合1俵に付代銀8匁7分・米自体の代銀ではないのかな)
1686年	2月27日	貞享3年	2月5日	晴	
1686年	2月28日	貞享3年	2月6日	晴	(石渡橋工事中に事故死男1人)

1686年	3月1日	貞享3年	2月7日	晴	雪 巳の刻より曇降
1686年	3月2日	貞享3年	2月8日	曇	時々小雪
1686年	3月3日	貞享3年	2月9日	晴	(小栗山の乱気殺人者(昨年12月3日記述)籠前で成敗、領内追放されて帰り馬を盗み売った御家中の家来が取上で磔)
1686年	3月4日	貞享3年	2月10日	曇	午の刻より雪降
1686年	3月5日	貞享3年	2月11日	曇	雪降
1686年	3月6日	貞享3年	2月12日	晴	午の刻小雪
1686年	3月7日	貞享3年	2月13日	晴	
1686年	3月8日	貞享3年	2月14日	晴	暁より風吹く 辰の刻より小雨 巳の刻止む
1686年	3月9日	貞享3年	2月15日	晴	(乱気で倅を切殺した御家中(昨年10月7日記述)を所追放)
1686年	3月10日	貞享3年	2月16日	曇	午の刻より雨降 (今朝去年籠舎の男牢死、ところ追放の十兵衛が高屋村で乱気)
1686年	3月11日	貞享3年	2月17日	曇	雨降
1686年	3月12日	貞享3年	2月18日	晴	申の刻より雪降 (下日沼村より林檎木村や林檎木堰あり)
1686年	3月13日	貞享3年	2月19日	曇	雪降
1686年	3月14日	貞享3年	2月20日	晴	
1686年	3月15日	貞享3年	2月21日	晴	
1686年	3月16日	貞享3年	2月22日	晴	
1686年	3月17日	貞享3年	2月23日	曇	午の刻より雨 夜に及ぶ
1686年	3月18日	貞享3年	2月24日	曇	卯の下刻時々雨降 夜に入り風吹く (今月20日晩白沢新田の百姓5人走る、昨23日夜石川渡洪水・橋板など流れる)
1686年	3月19日	貞享3年	2月25日	曇	昨夜より雪風吹く (昨夜中より風余程強く吹いたので御城廻りを検分させた)
1686年	3月20日	貞享3年	2月26日	曇	
1686年	3月21日	貞享3年	2月27日	晴	
1686年	3月22日	貞享3年	2月28日	曇	
1686年	3月23日	貞享3年	2月29日	曇	卯の刻より時々小雨 申の刻大雨 戌の刻山鳴
1686年	3月24日	貞享3年	3月1日		(1ヶ月間日記の保存なし)
1686年	3月25日	貞享3年	3月2日		
1686年	3月26日	貞享3年	3月3日		
1686年	3月27日	貞享3年	3月4日		
1686年	3月28日	貞享3年	3月5日		
1686年	3月29日	貞享3年	3月6日		
1686年	3月30日	貞享3年	3月7日		
1686年	3月31日	貞享3年	3月8日		
1686年	4月1日	貞享3年	3月9日		
1686年	4月2日	貞享3年	3月10日		
1686年	4月3日	貞享3年	3月11日		
1686年	4月4日	貞享3年	3月12日		
1686年	4月5日	貞享3年	3月13日		
1686年	4月6日	貞享3年	3月14日		
1686年	4月7日	貞享3年	3月15日		
1686年	4月8日	貞享3年	3月16日		
1686年	4月9日	貞享3年	3月17日		
1686年	4月10日	貞享3年	3月18日		
1686年	4月11日	貞享3年	3月19日		
1686年	4月12日	貞享3年	3月20日		
1686年	4月13日	貞享3年	3月21日		
1686年	4月14日	貞享3年	3月22日		
1686年	4月15日	貞享3年	3月23日		
1686年	4月16日	貞享3年	3月24日		
1686年	4月17日	貞享3年	3月25日		
1686年	4月18日	貞享3年	3月26日		
1686年	4月19日	貞享3年	3月27日		
1686年	4月20日	貞享3年	3月28日		
1686年	4月21日	貞享3年	3月29日		
1686年	4月22日	貞享3年	3月30日		
1686年	4月23日	貞享3年	閏3月1日	なし	(1ヶ月間は「御用留書」とあり正式な日記はない・堀伝左衛門(御用人)という記名がある)
1686年	4月24日	貞享3年	閏3月2日	なし	
1686年	4月25日	貞享3年	閏3月3日	なし	
1686年	4月26日	貞享3年	閏3月4日	なし	(昨夜中より今日迄風雨、石渡川洪水・申の下刻水落ちる)
1686年	4月27日	貞享3年	閏3月5日	なし	(昨4日の洪水で西大工町の和徳堰橋落ち……)
1686年	4月28日	貞享3年	閏3月6日	なし	(先月晦日足軽の子供の女房縊死、本新城村で30男縊死)
1686年	4月29日	貞享3年	閏3月7日	なし	(閏3月5日朝鶴ヶ岡で洪水堤60間押し破る・2月24日に破られたところ)
1686年	4月30日	貞享3年	閏3月8日	なし	(昨7日朝浪岡村の28男縊死(足軽))

1686年	5月1日	貞享3年	閏3月9日	なし
1686年	5月2日	貞享3年	閏3月10日	なし
1686年	5月3日	貞享3年	閏3月11日	なし
1686年	5月4日	貞享3年	閏3月12日	なし
1686年	5月5日	貞享3年	閏3月13日	なし (10日夜五つ時長河山(今別町)に火事、昨12日御家中自害)
1686年	5月6日	貞享3年	閏3月14日	なし (鶴岡で破船1艘)
1686年	5月7日	貞享3年	閏3月15日	なし
1686年	5月8日	貞享3年	閏3月16日	なし (大泊と申すところで破船1艘)
1686年	5月9日	貞享3年	閏3月17日	なし (四年酒1升到付錢4分5厘・三年酒4分)
1686年	5月10日	貞享3年	閏3月18日	曇 (先月27日藤崎支配水沼村庄屋走)
1686年	5月11日	貞享3年	閏3月19日	なし (昨夜九時半分御家中の家小火・遠慮)
1686年	5月12日	貞享3年	閏3月20日	なし
1686年	5月13日	貞享3年	閏3月21日	なし
1686年	5月14日	貞享3年	閏3月22日	なし (土手町で21日下女首くくり(くひかかり)相果)
1686年	5月15日	貞享3年	閏3月23日	なし
1686年	5月16日	貞享3年	閏3月24日	なし (昨23日東長町で投げ火・少し焼く)
1686年	5月17日	貞享3年	閏3月25日	なし (21日夜加瀬村で水呑家1軒焼失。清野袋村・外瀬村に主なし犬が3疋おり馬の子5疋喰殺す・鉄砲打ちを遣わす)
1686年	5月18日	貞享3年	閏3月26日	なし
1686年	5月19日	貞享3年	閏3月27日	なし
1686年	5月20日	貞享3年	閏3月28日	なし (27日夜御家中の家来細引きで首を絞めて死亡)
1686年	5月21日	貞享3年	閏3月29日	なし
1686年	5月22日	貞享3年	4月1日	晴 (御用番氏名のみ)
1686年	5月23日	貞享3年	4月2日	晴
1686年	5月24日	貞享3年	4月3日	晴
1686年	5月25日	貞享3年	4月4日	卯の上刻より雨 未の刻止む 夜に入り雨 (上麦値段:銀1匁に2升9合から3升が4升2・3合になる)
1686年	5月26日	貞享3年	4月5日	晴
1686年	5月27日	貞享3年	4月6日	晴
1686年	5月28日	貞享3年	4月7日	曇 (閏27日洪水)
1686年	5月29日	貞享3年	4月8日	晴 (下之切支配尾別村で火災3軒焼失)
1686年	5月30日	貞享3年	4月9日	晴 夜に入り雨降
1686年	5月31日	貞享3年	4月10日	曇 時々小雨
1686年	6月1日	貞享3年	4月11日	曇 辰の刻より雷数発 午の刻大雨 則時止む 未の刻雷発し大雨
1686年	6月2日	貞享3年	4月12日	晴 午の刻より小風 (漆1貫目代錢80目・赫土300目代銀24匁7分8厘)
1686年	6月3日	貞享3年	4月13日	晴 夜に入り雨
1686年	6月4日	貞享3年	4月14日	晴 辰の刻西南の間虹あり 曇 小雨 (一昨12日夜外浜上磯支配横田村で火災12軒焼失)
1686年	6月5日	貞享3年	4月15日	曇 申の下刻より小雨
1686年	6月6日	貞享3年	4月16日	陰晴
1686年	6月7日	貞享3年	4月17日	曇 巳の刻大雨 則時止む
1686年	6月8日	貞享3年	4月18日	曇 巳の刻より小雨 則時止む
1686年	6月9日	貞享3年	4月19日	曇 辰の刻より晴
1686年	6月10日	貞享3年	4月20日	晴 昨夜子の刻地震
1686年	6月11日	貞享3年	4月21日	晴 申の刻小風
1686年	6月12日	貞享3年	4月22日	晴
1686年	6月13日	貞享3年	4月23日	晴 (外浜下磯支配八幡林村で21日昼火災1軒)
1686年	6月14日	貞享3年	4月24日	晴 未の刻より雨降
1686年	6月15日	貞享3年	4月25日	昨夜より雨降続く
1686年	6月16日	貞享3年	4月26日	晴 未の刻より曇 小雨
1686年	6月17日	貞享3年	4月27日	曇 時々雨降
1686年	6月18日	貞享3年	4月28日	晴
1686年	6月19日	貞享3年	4月29日	晴
1686年	6月20日	貞享3年	4月30日	卯の上刻より雷数発 申の下刻雨 夜中降る
1686年	6月21日	貞享3年	5月1日	晴 (御用番氏名のみ) (大鱈御菜園畑より初きふり(胡瓜)7上がる)
1686年	6月22日	貞享3年	5月2日	曇 申の刻より雨降 夜に及ぶ
1686年	6月23日	貞享3年	5月3日	曇 昨申の下刻より雨降続 風吹
1686年	6月24日	貞享3年	5月4日	曇 一昨申の下刻より雨降続
1686年	6月25日	貞享3年	5月5日	曇 卯の上刻小雨 午の刻雷発す 大雨
1686年	6月26日	貞享3年	5月6日	曇 (外浜上磯支配裏付村砂浜に50斗乞食倒死、頃日の大雨で藤崎等12ヶ村で植付け水いかり(怒りか)候)
1686年	6月27日	貞享3年	5月7日	陰晴 酉の刻より雨降
1686年	6月28日	貞享3年	5月8日	曇 午の刻より晴 (外浜上磯支配野田村の20軒飯米なし・2俵ずつ拝借願い・了承)
1686年	6月29日	貞享3年	5月9日	晴 (先月27日御隠居様御逝去)
1686年	6月30日	貞享3年	5月10日	晴 夜に入り雨 (御隠居様は慶林院殿……大姉)

1686年	7月1日	貞享3年	5月11日	晴
1686年	7月2日	貞享3年	5月12日	晴 (去月21・2日と今月2・3日大阿連・破船があったのか材木が浜に寄せる)
1686年	7月3日	貞享3年	5月13日	晴 (外濱上磯幌月村に乞食倒死)
1686年	7月4日	貞享3年	5月14日	晴 夜に入り雨降
1686年	7月5日	貞享3年	5月15日	曇 昨夜より雨降続く (大鰐の湯ひち里(ひじり:聖か)初真瓜上げる)
1686年	7月6日	貞享3年	5月16日	曇 一昨夜より雨降続く (阿芙蓉を取置くよう中村道救・松山玄三に申し付ける)
1686年	7月7日	貞享3年	5月17日	晴 午の刻より雨降続く
1686年	7月8日	貞享3年	5月18日	晴
1686年	7月9日	貞享3年	5月19日	晴 夜に入り雨降
1686年	7月10日	貞享3年	5月20日	曇 午の刻より晴 (10日最勝院中西善院が夜逃げ)
1686年	7月11日	貞享3年	5月21日	晴 (藤崎など12ヶ村が18日よりの洪水で植田潰れる)
1686年	7月12日	貞享3年	5月22日	晴
1686年	7月13日	貞享3年	5月23日	曇 午の刻小雨 (在々にて阿芙蓉取に表坊主6人などを遣わす)
1686年	7月14日	貞享3年	5月24日	曇 昨未の刻雨降続き午の刻止む 夜に入り雨降
1686年	7月15日	貞享3年	5月25日	陰 昨夜より雨降続く
1686年	7月16日	貞享3年	5月26日	曇
1686年	7月17日	貞享3年	5月27日	陰 巳の刻雨 雷数発 大雨 則時止む 申の刻大雨 雷発し終夜に及ぶ
1686年	7月18日	貞享3年	5月28日	曇 昨巳の中刻より雨降続く (大鰐御菜園から初茄子7上がる)
1686年	7月19日	貞享3年	5月29日	曇 卯の上刻より雨降 (4月21日鯨ヶ沢を出た船が今月2日能登の国福浦で破船・濡米1342俵3斗6升6合の代銀は6貫844匁2分8厘)
1686年	7月20日	貞享3年	6月1日	(6・7月は日記の保存なし)
1686年	7月21日	貞享3年	6月2日	
1686年	7月22日	貞享3年	6月3日	
1686年	7月23日	貞享3年	6月4日	
1686年	7月24日	貞享3年	6月5日	
1686年	7月25日	貞享3年	6月6日	
1686年	7月26日	貞享3年	6月7日	
1686年	7月27日	貞享3年	6月8日	
1686年	7月28日	貞享3年	6月9日	
1686年	7月29日	貞享3年	6月10日	
1686年	7月30日	貞享3年	6月11日	
1686年	7月31日	貞享3年	6月12日	
1686年	8月1日	貞享3年	6月13日	
1686年	8月2日	貞享3年	6月14日	
1686年	8月3日	貞享3年	6月15日	
1686年	8月4日	貞享3年	6月16日	
1686年	8月5日	貞享3年	6月17日	
1686年	8月6日	貞享3年	6月18日	
1686年	8月7日	貞享3年	6月19日	
1686年	8月8日	貞享3年	6月20日	
1686年	8月9日	貞享3年	6月21日	
1686年	8月10日	貞享3年	6月22日	
1686年	8月11日	貞享3年	6月23日	
1686年	8月12日	貞享3年	6月24日	
1686年	8月13日	貞享3年	6月25日	
1686年	8月14日	貞享3年	6月26日	
1686年	8月15日	貞享3年	6月27日	
1686年	8月16日	貞享3年	6月28日	
1686年	8月17日	貞享3年	6月29日	
1686年	8月18日	貞享3年	6月30日	
1686年	8月19日	貞享3年	7月1日	
1686年	8月20日	貞享3年	7月2日	
1686年	8月21日	貞享3年	7月3日	
1686年	8月22日	貞享3年	7月4日	
1686年	8月23日	貞享3年	7月5日	
1686年	8月24日	貞享3年	7月6日	
1686年	8月25日	貞享3年	7月7日	
1686年	8月26日	貞享3年	7月8日	
1686年	8月27日	貞享3年	7月9日	
1686年	8月28日	貞享3年	7月10日	
1686年	8月29日	貞享3年	7月11日	
1686年	8月30日	貞享3年	7月12日	
1686年	8月31日	貞享3年	7月13日	

1686年	9月1日	貞享3年	7月14日	(6・7月は日記の保存なし)
1686年	9月2日	貞享3年	7月15日	
1686年	9月3日	貞享3年	7月16日	
1686年	9月4日	貞享3年	7月17日	
1686年	9月5日	貞享3年	7月18日	
1686年	9月6日	貞享3年	7月19日	
1686年	9月7日	貞享3年	7月20日	
1686年	9月8日	貞享3年	7月21日	
1686年	9月9日	貞享3年	7月22日	
1686年	9月10日	貞享3年	7月23日	
1686年	9月11日	貞享3年	7月24日	
1686年	9月12日	貞享3年	7月25日	
1686年	9月13日	貞享3年	7月26日	
1686年	9月14日	貞享3年	7月27日	
1686年	9月15日	貞享3年	7月28日	
1686年	9月16日	貞享3年	7月29日	
1686年	9月17日	貞享3年	7月30日	
1686年	9月18日	貞享3年	8月1日	晴 (御用番氏名のみ)
1686年	9月19日	貞享3年	8月2日	晴
1686年	9月20日	貞享3年	8月3日	晦 辰の刻より時雨 (御慰御囃子・仕舞・狂言)
1686年	9月21日	貞享3年	8月4日	晦 辰の中刻より雨終日降る (千年山より初茸上がる、先月15日の洪水で藤崎渡川広になる、7月14日の洪水で鯉ヶ沢海道町田村の堰欠落)
1686年	9月22日	貞享3年	8月5日	晦 昨日より雨降続く
1686年	9月23日	貞享3年	8月6日	晦 霖雨 (7月25・6日大風(稲の作毛悪い)あり)
1686年	9月24日	貞享3年	8月7日	晦 卯の刻より風吹く
1686年	9月25日	貞享3年	8月8日	晴 午の下刻俄かに大雨 則止む 少し風 (御着城以後御料理に差上げ候豆腐御意に申さず候間……、今晚未の中刻より西御郭で御相撲御覧)
1686年	9月26日	貞享3年	8月9日	晦 昨夜より雨 今巳の刻に及ぶ
1686年	9月27日	貞享3年	8月10日	晴 巳の刻しゅう (御着城御祝儀御能、初鮭1尺外浜の漁師上げる)
1686年	9月28日	貞享3年	8月11日	晴 (新法師村の茶屋に昨11日の夜4・5人の強盗入る)
1686年	9月29日	貞享3年	8月12日	晦 巳の下刻より雨降 午の中刻晴
1686年	9月30日	貞享3年	8月13日	晦 (7月晦日御城着・年始の御礼初を行う)
1686年	10月1日	貞享3年	8月14日	晦 辰の下刻より雨降 午の下刻晴
1686年	10月2日	貞享3年	8月15日	晴 辰の下刻しゅう 則止む 午の下刻より申の下刻まで時々雨降 (八幡御祭礼)
1686年	10月3日	貞享3年	8月16日	晦 岩木山へ初雪積る 昨夜よりしゅう 巳の刻少し風吹く
1686年	10月4日	貞享3年	8月17日	晴
1686年	10月5日	貞享3年	8月18日	時々雨降 風吹く
1686年	10月6日	貞享3年	8月19日	晴
1686年	10月7日	貞享3年	8月20日	晴 (閏3月11日外浜の内辺田貝山の火事(長さ500間余×120間余焼失))
1686年	10月8日	貞享3年	8月21日	晴
1686年	10月9日	貞享3年	8月22日	夜に入り雷発す 雨降 (深浦より初鱈上がる)
1686年	10月10日	貞享3年	8月23日	晴
1686年	10月11日	貞享3年	8月24日	晦 夜に入り小雨
1686年	10月12日	貞享3年	8月25日	晦 巳の刻より晴 風少々吹く
1686年	10月13日	貞享3年	8月26日	初雪積 晴
1686年	10月14日	貞享3年	8月27日	晴 (浪岡支配高館村の御蔵百姓で獵師51歳が黒石領で頓死)
1686年	10月15日	貞享3年	8月28日	巳の刻より雨降
1686年	10月16日	貞享3年	8月29日	晦 時雨 未の刻より雷数発
1686年	10月17日	貞享3年	9月1日	曇 昨夜より雨降続く 辰の刻西方に虹あり(曇從昨夜雨降続辰刻西方二虹有之) (御用番氏名のみ)
1686年	10月18日	貞享3年	9月2日	陰晴 時々雨降 (青森馬口労町に40男(町民)倒死)
1686年	10月19日	貞享3年	9月3日	晴 午の刻しゅう
1686年	10月20日	貞享3年	9月4日	晴 午の中刻しゅう
1686年	10月21日	貞享3年	9月5日	晴
1686年	10月22日	貞享3年	9月6日	晴 (御能)
1686年	10月23日	貞享3年	9月7日	晴
1686年	10月24日	貞享3年	9月8日	晴 申の下刻より雨降
1686年	10月25日	貞享3年	9月9日	曇 昨申の刻より今辰の刻まで雨降 少し風 (野里村で火災1軒)
1686年	10月26日	貞享3年	9月10日	晴 昨夜岩木山へ雪降
1686年	10月27日	貞享3年	9月11日	晴 大霜 夜に入り雨降
1686年	10月28日	貞享3年	9月12日	曇 時々雨降
1686年	10月29日	貞享3年	9月13日	曇 辰の刻より雨降
1686年	10月30日	貞享3年	9月14日	曇 昨日より雨降続く 少し風
1686年	10月31日	貞享3年	9月15日	晴 大霜

1686年 11月1日 貞享3年	9月16日 快晴 大霜
1686年 11月2日 貞享3年	9月17日 晴天
1686年 11月3日 貞享3年	9月18日 晴 西の下刻より雨降
1686年 11月4日 貞享3年	9月19日 陰晴 昨夜雨 今巳の刻に及ぶ
1686年 11月5日 貞享3年	9月20日 曇
1686年 11月6日 貞享3年	9月21日 晴 夜に入り雷発す 小雨
1686年 11月7日 貞享3年	9月22日 晴
1686年 11月8日 貞享3年	9月23日 晴 夜に入り雨降
1686年 11月9日 貞享3年	9月24日 曇 雨降
1686年 11月10日 貞享3年	9月25日 曇 夜に入り雨降
1686年 11月11日 貞享3年	9月26日 曇 昨夜より雨 今辰の刻に及ぶ
1686年 11月12日 貞享3年	9月27日 曇 午の刻より小風
1686年 11月13日 貞享3年	9月28日 曇
1686年 11月14日 貞享3年	9月29日 晴
1686年 11月15日 貞享3年	9月30日 晴 夜に入り雨降 (盗人1人町中引渡し獄舎の前で斬罪・獄門・6日に実行)
1686年 11月16日 貞享3年	10月1日 曇 辰の刻より雨降 (御用番氏名のみ) (御囃子)
1686年 11月17日 貞享3年	10月2日 曇 昨日より雨降続く
1686年 11月18日 貞享3年	10月3日 晴
1686年 11月19日 貞享3年	10月4日 晴 夜に入り雨降 丑の刻雷発す
1686年 11月20日 貞享3年	10月5日 曇 卯の中刻雷発す 辰の刻曇 巳の刻雪降
1686年 11月21日 貞享3年	10月6日 曇 昨夜より雨降 (御囃子、斬罪・獄門あり)
1686年 11月22日 貞享3年	10月7日 晴 夜に入り雨降 (御家中が庭前の柿18差上げる)
1686年 11月23日 貞享3年	10月8日 曇 時々しゅう 午の刻曇
1686年 11月24日 貞享3年	10月9日 曇 昨日より雪降
1686年 11月25日 貞享3年	10月10日 曇 小風 (蚕紙(さんし: 蚕に卵を産み付けさせる紙)1枚に付代銭3匁)
1686年 11月26日 貞享3年	10月11日 晴 夜に入り雨
1686年 11月27日 貞享3年	10月12日 曇 昨夜より雨降
1686年 11月28日 貞享3年	10月13日 曇 昨日より雨降続く 午の刻曇 (紅花の種4斗入り70俵が一昨晚参り候) 下から続く 横沢村に37・8男乞食倒死)
1686年 11月29日 貞享3年	10月14日 曇 昨夜より大雪終日降る (今13日昼八つ半小友村で御蔵百姓家火災・4間半×11間・稲500束・大豆京拵5斗入り7俵・釜1・鍋大小3・粟50束・着類11焼失、昨13日藤崎支配 上に続く
1686年 11月30日 貞享3年	10月15日 曇 一昨日より雪降り続く
1686年 12月1日 貞享3年	10月16日 晴 辰の刻小雪
1686年 12月2日 貞享3年	10月17日 晴
1686年 12月3日 貞享3年	10月18日 晴 夜に入り小雪
1686年 12月4日 貞享3年	10月19日 晴
1686年 12月5日 貞享3年	10月20日 曇
1686年 12月6日 貞享3年	10月21日 曇 (今朝巳の刻男卒死)
1686年 12月7日 貞享3年	10月22日 晴
1686年 12月8日 貞享3年	10月23日 曇
1686年 12月9日 貞享3年	10月24日 晴 霜 午の刻小雨
1686年 12月10日 貞享3年	10月25日 晴
1686年 12月11日 貞享3年	10月26日 曇 巳の刻より雨降
1686年 12月12日 貞享3年	10月27日 晴
1686年 12月13日 貞享3年	10月28日 曇 午の下刻小雪 (江戸に飛脚・早道の者立てる・8日振りに申付ける) 下から続く 「くそうず」(原油のこと)出る、11月5日に昨夜半助を召し捕る、御家中の家来欠落・成敗)
1686年 12月14日 貞享3年	10月29日 晴 (浪岡代官所から縄を切り逃げた三嶋平新田の水飲半助指名手配、10月25日西中刻横磯村渚から半町ばかり沖で鱒漁舟大波で打返(転覆)・13人中9人死亡、大光寺に 上に続く
1686年 12月15日 貞享3年	11月1日 雪降 (御用番氏名のみ) (銭遣いの儀1匁に就き60文遣いに申し渡す、例年は11月朔日より御城中所々に火鉢出す・今年は暖気につき火鉢出さない)
1686年 12月16日 貞享3年	11月2日 卯の刻より雪降
1686年 12月17日 貞享3年	11月3日 終日雪降 (金木村の郷足軽10月29日晩走る)
1686年 12月18日 貞享3年	11月4日 雪降 (宮地村で百姓家火災・1軒馬1疋焼失)
1686年 12月19日 貞享3年	11月5日 晴
1686年 12月20日 貞享3年	11月6日 雪降 (本行寺門内に43・4男縊死)
1686年 12月21日 貞享3年	11月7日 雪降 (所々に火鉢出す)
1686年 12月22日 貞享3年	11月8日 晴
1686年 12月23日 貞享3年	11月9日 晴
1686年 12月24日 貞享3年	11月10日 晴 寅の下刻地震
1686年 12月25日 貞享3年	11月11日 晴 (くそうずの普請申付ける)
1686年 12月26日 貞享3年	11月12日 曇 時々雪降
1686年 12月27日 貞享3年	11月13日 大雪積
1686年 12月28日 貞享3年	11月14日 晴
1686年 12月29日 貞享3年	11月15日 晴
1686年 12月30日 貞享3年	11月16日 辰の刻より雪積
1686年 12月31日 貞享3年	11月17日 雪降

1687年 1月1日 貞享3年 11月18日 終日雪降 (相番の用事中に寝入った足軽・番所に出動しなかった足軽・10月29日指名手配された男を籠屋の前で成敗)
 1687年 1月2日 貞享3年 11月19日 雪降 (元大組足軽頭の上げ屋敷を田村源太兵衛に、追い鳥狩り: 雉子107(牡73・雌34))
 1687年 1月3日 貞享3年 11月20日 晴
 1687年 1月4日 貞享3年 11月21日 晦
 1687年 1月5日 貞享3年 11月22日 晴 寒に入る 未の刻より雨 夜中降続 丑の刻雷発す
 1687年 1月6日 貞享3年 11月23日 辰の刻より雨 西南間に虹あり
 1687年 1月7日 貞享3年 11月24日 午の刻より雪降
 1687年 1月8日 貞享3年 11月25日 時々雪積 (關所(けっしょ): 刑として没収された) 馬入札3疋119匁、豕4を犬喰殺す)
 1687年 1月9日 貞享3年 11月26日 晴 未の刻より雪積
 1687年 1月10日 貞享3年 11月27日 晦 時々小雪積
 1687年 1月11日 貞享3年 11月28日 晦
 1687年 1月12日 貞享3年 11月29日 晴 夜に入り雨降
 1687年 1月13日 貞享3年 11月30日 晦 辰の刻よりしゅう
 1687年 1月14日 貞享3年 12月1日 卯の上刻より風吹く 同中刻より雪 (御用番氏名のみ) (追い鳥狩り: 雉子11(雄9・雌2))
 1687年 1月15日 貞享3年 12月2日 曇 時々小雪 (昨晚9日? 浪岡大橋脇に44・5男婦き倒(吹き倒れか)1人)
 1687年 1月16日 貞享3年 12月3日 曇 時々小雪 (追い鳥狩り: 雉子27(牡14・雌13))
 1687年 1月17日 貞享3年 12月4日 曇 午の刻より雪積
 1687年 1月18日 貞享3年 12月5日 曇 雪終日積
 1687年 1月19日 貞享3年 12月6日 曇 昨日より雪 終日降り続く (御能、追い鳥狩り: 雉子9(雄7・雌2)・兎1)
 1687年 1月20日 貞享3年 12月7日 晴 (小田川村に50男倒死)
 1687年 1月21日 貞享3年 12月8日 曇 (追い鳥狩り: 雉子5)
 1687年 1月22日 貞享3年 12月9日 晴 午の中刻より雪 申の上刻晴 (御能・狂言)
 1687年 1月23日 貞享3年 12月10日 晴 (昨日紺屋町で22男縊死(借金苦?)、盛岡主膳700石から1000石の御城代に)
 1687年 1月24日 貞享3年 12月11日 晴 夜に入り大雪積 今日はず
 1687年 1月25日 貞享3年 12月12日 曇 昨夜より大雪積 (下銅屋町に50男倒死)
 1687年 1月26日 貞享3年 12月13日 曇 巳の刻より大雪積
 1687年 1月27日 貞享3年 12月14日 曇 終日雪積
 1687年 1月28日 貞享3年 12月15日 曇 小雪
 1687年 1月29日 貞享3年 12月16日 晴 午の刻より曇 雪積 (大久保村に60余男倒死)
 1687年 1月30日 貞享3年 12月17日 曇 終日風雪
 1687年 1月31日 貞享3年 12月18日 曇 昨夜より雪積
 1687年 2月1日 貞享3年 12月19日 晴 (御蔵米1俵値段: 銀15匁4分・銭16匁6分5厘)
 1687年 2月2日 貞享3年 12月20日 曇 終日雪積 (深浦町の15軒に御蔵米50俵・西浜の嶋・加茂村の漁師42軒に84俵・鯉ヶ沢漁師48軒に96俵貸し付ける)
 1687年 2月3日 貞享3年 12月21日 曇 終日雪積
 1687年 2月4日 貞享3年 12月22日 曇 雪積
 1687年 2月5日 貞享3年 12月23日 曇 (江戸から13日振りに命じられた飛脚が雪で15日振りに着く、御能)
 1687年 2月6日 貞享3年 12月24日 晴
 1687年 2月7日 貞享3年 12月25日 曇 時々雪
 1687年 2月8日 貞享3年 12月26日 晴 (昨25日紺屋町の湯の内で郷警固(郷足軽の小頭)頓死)
 1687年 2月9日 貞享3年 12月27日 雪積
 1687年 2月10日 貞享3年 12月28日 晴
 1687年 2月11日 貞享3年 12月29日 曇 小雪 (当月22日迄の小判両替相場64匁1分、27日暮外濱下磯支配玉清水物に60余男倒死)
 1687年 2月12日 貞享4年 正月1日 雪降 (御用番氏名のみ)
 1687年 2月13日 貞享4年 正月2日 小雪
 1687年 2月14日 貞享4年 正月3日 雪終日降 (御謡初)
 1687年 2月15日 貞享4年 正月4日 雪降
 1687年 2月16日 貞享4年 正月5日 雪降
 1687年 2月17日 貞享4年 正月6日 曇 (当月2日夜外浜上磯後湯村で姉を打殺した乱気男あり・籠舎申付け、大鱈の御菜園の者共七種(ななくさ: 大豆もやしなど)差上げる)
 1687年 2月18日 貞享4年 正月7日 晴 午の刻より雪降
 1687年 2月19日 貞享4年 正月8日 雪終日降
 1687年 2月20日 貞享4年 正月9日 雪降 (今夜四時前報恩寺全焼)
 1687年 2月21日 貞享4年 正月10日 雪降
 1687年 2月22日 貞享4年 正月11日 陰晴 時々雪降 (田村藤太夫に御加増300石・御家老に)
 1687年 2月23日 貞享4年 正月12日 晴
 1687年 2月24日 貞享4年 正月13日 雪降
 1687年 2月25日 貞享4年 正月14日 雪降
 1687年 2月26日 貞享4年 正月15日 晴
 1687年 2月27日 貞享4年 正月16日 寅の下刻より雨降 則時止み晴
 1687年 2月28日 貞享4年 正月17日 曇 時々小雨

1687年	3月1日	貞享4年	正月18日	晴 (御嘉例年始の御能)
1687年	3月2日	貞享4年	正月19日	晴 霜降 (3日に13日振りに弘前に着くよう命じられた飛脚が小坂苅羽野間の雪風でようやく今日(17日振り)着く)
1687年	3月3日	貞享4年	正月20日	晴
1687年	3月4日	貞享4年	正月21日	晴
1687年	3月5日	貞享4年	正月22日	晴
1687年	3月6日	貞享4年	正月23日	晴 (御能)
1687年	3月7日	貞享4年	正月24日	寅の下刻より小雨
1687年	3月8日	貞享4年	正月25日	雪終日降
1687年	3月9日	貞享4年	正月26日	雪降 (御家中自害)
1687年	3月10日	貞享4年	正月27日	雪降
1687年	3月11日	貞享4年	正月28日	曇 巳の下刻より晴 (去年不作・餓死に及ぶ者も・雑穀等を大切にとの指示)
1687年	3月12日	貞享4年	正月29日	寅の下刻より雨 辰の中刻雷発す 風雨終日 (小泊村の者共去年不作73軒中11軒年内海藻ばかり食へ餓えに及ぶ・当面1俵宛渡す)
1687年	3月13日	貞享4年	正月30日	晴
1687年	3月14日	貞享4年	2月1日	晴 (御用番氏名のみ)
1687年	3月15日	貞享4年	2月2日	晴 小風
1687年	3月16日	貞享4年	2月3日	晴 午の刻より雨
1687年	3月17日	貞享4年	2月4日	雪降
1687年	3月18日	貞享4年	2月5日	晴
1687年	3月19日	貞享4年	2月6日	晴
1687年	3月20日	貞享4年	2月7日	晴
1687年	3月21日	貞享4年	2月8日	卯の上刻より雨 終日に及ぶ (小国7か村去年不熟故稲青立ち・148軒中42軒立退く・何を申し立てているのか不明確、青森蜷貝安方町でも渴命・これに対し御蔵悪粃の内から12俵貸す)
1687年	3月22日	貞享4年	2月9日	曇
1687年	3月23日	貞享4年	2月10日	晴 巳の刻より晴 (鯨ヶ沢で御家中自害)
1687年	3月24日	貞享4年	2月11日	寅の刻より雨 今日より彼岸に入る
1687年	3月25日	貞享4年	2月12日	曇
1687年	3月26日	貞享4年	2月13日	雪 (11日夜八つ時分外濱下礮で火災・家1軒・米4俵・粃6俵・稲500束・大豆1俵焼失・馬8疋焼死)
1687年	3月27日	貞享4年	2月14日	晴
1687年	3月28日	貞享4年	2月15日	晴 午の刻より小風 (青森安方町・蜷貝の118軒631人に来月20日ころまでの飯米1日1人3合として75石7斗2升の拝借を仰せ付ける、小泊村73軒372人が渴命・御救御山仰せ付ける)
1687年	3月29日	貞享4年	2月16日	晴 午の刻より曇 (八幡村で15日晚亥の刻火災・家1軒・種粃4俵・稲300束焼失)
1687年	3月30日	貞享4年	2月17日	昨夜より時々小雨 (15日夜外濱上礮の内野崎村で火災1軒)
1687年	3月31日	貞享4年	2月18日	曇 (小国新田7か村157軒中33軒逐電・124軒689人馬98疋牛10頭中19軒88人に1日に3合で6日分貸す)
1687年	4月1日	貞享4年	2月19日	晴 午の中刻より雨 (今屋過ぎ上湯口村で火災・家1軒・米5俵・種粃5俵・稲430束焼失、鶴田村で昨晩七時分洪水で堤押し破る)
1687年	4月2日	貞享4年	2月20日	曇 (18日石川渡と福島渡の橋板が洪水で流される・浪岡村と白銀村の間の橋が19日に橋詰川欠け・18日に津軽坂村でも)
1687年	4月3日	貞享4年	2月21日	晴 (御家中の面々に先頃江戸で仰せ渡しの趣を申し渡す・生類あわれみの令か、小国の対応宜しからずとして蟹田町奉行2人の知行召上げ弘前払い)
1687年	4月4日	貞享4年	2月22日	霜 霽(せい:晴と同義)
1687年	4月5日	貞享4年	2月23日	辰の刻より雨
1687年	4月6日	貞享4年	2月24日	霽
1687年	4月7日	貞享4年	2月25日	霽
1687年	4月8日	貞享4年	2月26日	晴 午の刻より小風
1687年	4月9日	貞享4年	2月27日	晴
1687年	4月10日	貞享4年	2月28日	晴 小風 (御加増・新地6人650石)
1687年	4月11日	貞享4年	2月29日	晴 申の上刻より雨 (深浦御飯屋御庭前の椿の花差し上げる、昨28日未刻過ぎ青森安方町濱の方で火災・家18軒・湊御番所1軒焼失)
1687年	4月12日	貞享4年	3月1日	晴 巳の刻より曇 小風 (御用番氏名のみ) (昨酉刻高杉村に44・5男乞食倒死)
1687年	4月13日	貞享4年	3月2日	霽
1687年	4月14日	貞享4年	3月3日	晴 (先月15日江戸本町より火出・四町焼失)
1687年	4月15日	貞享4年	3月4日	霽 午の刻より雨 (御拍子、昨3日夜九時分八幡館村で火災・足軽家1軒・御百姓1軒・水飲1軒・馬2疋焼失)
1687年	4月16日	貞享4年	3月5日	晴 昨午の刻より雨 今日巳の刻に及び甚だしい風雨 申の刻止む(従昨午刻雨及今巳刻甚風雨申刻止) (今日の風で藤崎村御蔵屋柵吹き剥ける)
1687年	4月17日	貞享4年	3月6日	晴 風
1687年	4月18日	貞享4年	3月7日	晴 少々風 (外濱上礮支配中沢村に64・5男倒死、昨6日下之切支配市ノ坪村で百姓家火災・家1軒・馬1疋・米3俵焼失)
1687年	4月19日	貞享4年	3月8日	晴 小風
1687年	4月20日	貞享4年	3月9日	晴 午の刻より小風 (御能)
1687年	4月21日	貞享4年	3月10日	辰の下刻より雨 (十三町奉行から町中の者共渴命・救いたいとの報・了承)
1687年	4月22日	貞享4年	3月11日	晴
1687年	4月23日	貞享4年	3月12日	晴 小風 未の刻より雨 終夜に及ぶ
1687年	4月24日	貞享4年	3月13日	晴 (1両60目替えて旅費渡す、一昨11日昼高杉村の竹藪に野火入る)
1687年	4月25日	貞享4年	3月14日	曇
1687年	4月26日	貞享4年	3月15日	晴 (多分正月6日に記述の姉を殺して籠舎中の男今13日牢死)
1687年	4月27日	貞享4年	3月16日	晴 少々風
1687年	4月28日	貞享4年	3月17日	晴 少々風
1687年	4月29日	貞享4年	3月18日	晴 (殿様辰上刻江戸へ御発駕)
1687年	4月30日	貞享4年	3月19日	晴 風

1687年	5月1日	貞享4年	3月20日	晴 風
1687年	5月2日	貞享4年	3月21日	晴
1687年	5月3日	貞享4年	3月22日	真の下刻より雨
1687年	5月4日	貞享4年	3月23日	曇 卯の刻より霧霞 辰の刻止む
1687年	5月5日	貞享4年	3月24日	昨夜より雨 巳の刻に及ぶ 午の刻止み庵
1687年	5月6日	貞享4年	3月25日	晴
1687年	5月7日	貞享4年	3月26日	晴 (今夕五つ過ぎ報恩寺内勤明院無住)出火)
1687年	5月8日	貞享4年	3月27日	卯の刻より雨 午の刻止む (午刻過ぎ御家中の家火災)
1687年	5月9日	貞享4年	3月28日	晴 少し風
1687年	5月10日	貞享4年	3月29日	卯の下刻より少し風雨 巳の上刻雷発す 巳の後刻地震 (昨今郷足軽の欠落多い・27日だけで5人)
1687年	5月11日	貞享4年	4月1日	晴 風 午の刻より時々小雨 (御用番氏名のみ)
1687年	5月12日	貞享4年	4月2日	晴
1687年	5月13日	貞享4年	4月3日	晴 巳の刻より小風 午の刻より大風 申の刻止む
1687年	5月14日	貞享4年	4月4日	快晴 (3日岩崎村で出火・風強く今でも鎮まらず)
1687年	5月15日	貞享4年	4月5日	曇 巳の刻より雨 未申の刻雨 雷発す
1687年	5月16日	貞享4年	4月6日	晴 午の刻より風 未の下刻より雨 夜に及ぶ
1687年	5月17日	貞享4年	4月7日	曇 巳の刻より晴
1687年	5月18日	貞享4年	4月8日	曇 霧霞 辰の中刻より晴
1687年	5月19日	貞享4年	4月9日	曇 巳の刻より晴 小風 (青森安方町火事にあつた者共に飯米1軒1俵宛貸し渡す(意味は貸すなのだろうが文字は借渡とある・この例多数))
1687年	5月20日	貞享4年	4月10日	晴 小風 (4日記述の岩崎村の火災57軒(百姓27・水飲28)・百姓の母焼死・牛1頭焼死)
1687年	5月21日	貞享4年	4月11日	卯の上刻より霧霞 細雨時々 夜に及ぶ
1687年	5月22日	貞享4年	4月12日	雨 未の刻止む 小風 (下磯組馬屋野尻村で火災1軒、4月4日晚田舎庄下切組飯詰で山火事(100間×50間))
1687年	5月23日	貞享4年	4月13日	快晴 (昨12日三千石組大川端で胡桃館村庄屋自害)
1687年	5月24日	貞享4年	4月14日	快晴
1687年	5月25日	貞享4年	4月15日	晴
1687年	5月26日	貞享4年	4月16日	曇 未の刻より雨 雷発す
1687年	5月27日	貞享4年	4月17日	晴 巳の刻より小風 (6日殿様御着府)
1687年	5月28日	貞享4年	4月18日	快晴
1687年	5月29日	貞享4年	4月19日	曇 時々雨
1687年	5月30日	貞享4年	4月20日	卯の刻より雨
1687年	5月31日	貞享4年	4月21日	昨夜より時々雨 今卯の刻に及ぶ (松前から米を求められたが不作であり江戸の殿様の承認で断る、12日西浜組鯉ヶ沢の漁師が罟網さしに出て3人相果)
1687年	6月1日	貞享4年	4月22日	曇 辰の下刻より晴 (昨夕丑刻百沢寺で水飲百姓の家焼失)
1687年	6月2日	貞享4年	4月23日	曇 辰の後刻小雨
1687年	6月3日	貞享4年	4月24日	快晴
1687年	6月4日	貞享4年	4月25日	巳の中刻より曇 同下刻に雷数発 雨 未の上刻止む(従巳中刻曇同下刻に雷数発雨未上刻止)
1687年	6月5日	貞享4年	4月26日	晴 (昨25日今別増川山出火)
1687年	6月6日	貞享4年	4月27日	快晴 巳の下刻雷発し小雨 則時止む (一昨25日午刻田舎庄五所川原組の内田川村で落雷・2間四方焼失馬3疋焼死、25日午刻田舎庄外濱上磯組小橋村に落雷・死者男1人)
1687年	6月7日	貞享4年	4月28日	曇 辰の刻小雨 則時止む (生類阿己れみの儀3通あり・病馬捨て死罪も・捨子対策・病付の鳥類畜類等対応・主なし犬対応など、山上四郎右衛門など代官に、今別増川山火事27日に消える)
1687年	6月8日	貞享4年	4月29日	陰晴 小風
1687年	6月9日	貞享4年	4月30日	陰晴 小風 (領内の乞食が145人(弘前94・青森34・鯉ヶ沢17・その他0))
1687年	6月10日	貞享4年	5月1日	酉の下刻より雨 夜に入り大雨 (御用番氏名のみ)
1687年	6月11日	貞享4年	5月2日	昨夜より雨降 今辰の下刻に及び止む
1687年	6月12日	貞享4年	5月3日	陰晴
1687年	6月13日	貞享4年	5月4日	卯の中刻より雷数発 雨降
1687年	6月14日	貞享4年	5月5日	陰晴 未の刻より甚だしい風 黄昏に及び止む
1687年	6月15日	貞享4年	5月6日	陰晴 少々風吹く
1687年	6月16日	貞享4年	5月7日	陰晴 酉の刻より雨降
1687年	6月17日	貞享4年	5月8日	昨夜より雨 終夜に及ぶ
1687年	6月18日	貞享4年	5月9日	卯の刻より霞霧 寅の刻より雨降
1687年	6月19日	貞享4年	5月10日	陰晴 午の刻より大雨降
1687年	6月20日	貞享4年	5月11日	陰晴 (昨10日田舎庄赤田組板屋野木村に50斗男乞食死亡)
1687年	6月21日	貞享4年	5月12日	卯の刻より雨降 (11日町医者の家来給死)
1687年	6月22日	貞享4年	5月13日	辰の刻より雨降 則時止む
1687年	6月23日	貞享4年	5月14日	辰の刻少しの内小雨
1687年	6月24日	貞享4年	5月15日	快晴
1687年	6月25日	貞享4年	5月16日	晴天
1687年	6月26日	貞享4年	5月17日	晴 巳の刻より晴天
1687年	6月27日	貞享4年	5月18日	晴天
1687年	6月28日	貞享4年	5月19日	昨子の刻より今日まで雨 巳の刻より未の刻過ぎまで甚だしい雨 申の刻止む
1687年	6月29日	貞享4年	5月20日	陰晴 (大鱈村御菜園畑より初真瓜上がる)
1687年	6月30日	貞享4年	5月21日	晴 巳の刻より雨降 同下刻止む

1687年 7月1日 貞享4年 5月22日 晴天
 1687年 7月2日 貞享4年 5月23日 晦 辰の后刻より雨降 (大鰐御菜園より真瓜2・胡瓜4上がる)
 1687年 7月3日 貞享4年 5月24日 陰晴
 1687年 7月4日 貞享4年 5月25日 卯の上刻より雨降
 1687年 7月5日 貞享4年 5月26日 陰晴 卯の下刻より雨 終夜降り続く
 1687年 7月6日 貞享4年 5月27日 昨夜より雨降続く 辰の刻より甚だしい雨 夜中降る (大鰐御菜園より真瓜大小5上がる、5月27日和徳組撫牛子村に60斗男給死)
 1687年 7月7日 貞享4年 5月28日 曇 巳の刻より大雨 夜中降り続く 戌の刻より大風 亥のした刻止む
 1687年 7月8日 貞享4年 5月29日 今日も大雨 巳の刻より止む 風吹く(頃日打続き雨降御本城西埋御門前土居破損、26日今別で御材木流れる、藤代組・猿賀組で水押し上げる)
 1687年 7月9日 貞享4年 6月1日 陰晴 巳の刻より風 申の刻止む (御用番氏名のみ) (和徳組小沢村に34・5男倒・死、油川新田沖で青森の小船救助される・1人死亡1人生死不定、鶴岡村で住家1軒流失)
 1687年 7月10日 貞享4年 6月2日 曇 未の刻小地震
 1687年 7月11日 貞享4年 6月3日 陰晴 (毛内有右衛門病死、胡瓜8・真瓜2大鰐御菜園畑より上がる)
 1687年 7月12日 貞享4年 6月4日 曇 辰の半刻より雨 未の下刻止む (越瓜4・茄子5大鰐御菜園より上がる)
 1687年 7月13日 貞享4年 6月5日 晦 巳の刻より霧
 1687年 7月14日 貞享4年 6月6日 曇 酉の下刻より雨
 1687年 7月15日 貞享4年 6月7日 曇 卯の中刻より下刻まで雨 午の刻晴 (御家中斬罪、日雇頭成敗)
 1687年 7月16日 貞享4年 6月8日 曇 (御本城に盗人・おそらく実害なし)
 1687年 7月17日 貞享4年 6月9日 晦 巳の下刻より陰晴
 1687年 7月18日 貞享4年 6月10日 晦 卯の刻より辰の中刻まで雨 辰の下刻より風 (東大工町に50余女乞食倒死)
 1687年 7月19日 貞享4年 6月11日 陰晴 時々小雨 未の刻より申の中刻まで甚だしい雨 雷電数発
 1687年 7月20日 貞享4年 6月12日 晦 (田舎庄浦町と青森大工町の間)に45・6男乞食倒死)
 1687年 7月21日 貞享4年 6月13日 卯の刻より雨 辰の下刻止む (昨日尾崎村への道長峰の下で落雷・人馬負傷、今11日晚五時分樋子野木村で洪水・1軒流失4人死亡、当春御切米182両1分・7月御扶持米607俵不足)
 1687年 7月22日 貞享4年 6月14日 卯の刻より雨 辰の半時より甚だしい雨 辰の下刻より細雨 巳の刻止む 巳の中刻より雨
 1687年 7月23日 貞享4年 6月15日 卯の刻より雨 巳の后刻止む
 1687年 7月24日 貞享4年 6月16日 陰晴 (蟹田沖に田名部よりの材木寄せる)
 1687年 7月25日 貞享4年 6月17日 陰晴 巳の半時過ぎ細雨 則時止む
 1687年 7月26日 貞享4年 6月18日 今朝寅の刻より卯の刻まで雨
 1687年 7月27日 貞享4年 6月19日 陰晴 申の下刻より雨
 1687年 7月28日 貞享4年 6月20日 昨申の下刻より今日辰の下刻まで雨降続く 巳の刻止む (6月15日平館沖?で客を殺した水主を指名手配)
 1687年 7月29日 貞享4年 6月21日 陰晴 (当月18日朝青森町で32男自害)
 1687年 7月30日 貞享4年 6月22日 曇 巳の下刻より雨 夜中に及ぶ
 1687年 7月31日 貞享4年 6月23日 晦 巳の后刻より細雨 夜中に及ぶ (21日男牢死)
 1687年 8月1日 貞享4年 6月24日 晦 巳の中刻より陰晴 酉の下刻より雨 夜中に及ぶ
 1687年 8月2日 貞享4年 6月25日 昨寅の刻より今辰の刻まで甚だしい雨 虹 巳の刻より時々雨
 1687年 8月3日 貞享4年 6月26日 昨酉の刻より夜中雨 今寅の刻より卯の刻まで甚だしい雨
 1687年 8月4日 貞享4年 6月27日 晴 (昨26日朝小泊村に山崩れ・11歳男子死亡・家大破、苦木村渡で2人溺死)
 1687年 8月5日 貞享4年 6月28日 晦 辰の刻より雨 同下刻止む
 1687年 8月6日 貞享4年 6月29日 霧
 1687年 8月7日 貞享4年 6月30日 辰の下刻雨 則時止む 巳の下刻より夜中に至り時々雨 (御家中とその親の2人礫・公文書偽造と役人にたてついたため・礫柱も死骸も崩れ次第その俵にするよう申付けける)
 1687年 8月8日 貞享4年 7月1日 曇 辰の刻より小雨 (御用番氏名のみ)
 1687年 8月9日 貞享4年 7月2日 陰晴
 1687年 8月10日 貞享4年 7月3日 晴 (初熟瓜3市に出る、百石町に33女身投げ)
 1687年 8月11日 貞享4年 7月4日 晴
 1687年 8月12日 貞享4年 7月5日 晴
 1687年 8月13日 貞享4年 7月6日 細雨 辰の刻より晴 未の下刻雷発し雨降 則時止む (3日朝青森蜷貝町外に20斗女倒死)
 1687年 8月14日 貞享4年 7月7日 晴 未の上刻より雷発す 同下刻雨降 雷数発
 1687年 8月15日 貞享4年 7月8日 陰晴 午の刻より雷数発雨降 同下刻止む
 1687年 8月16日 貞享4年 7月9日 晴 (初真桑瓜9大鰐御菜園畑より上がる、千年山に初苺)
 1687年 8月17日 貞享4年 7月10日 陰晴
 1687年 8月18日 貞享4年 7月11日 曇 卯の下刻より細雨 未の下刻より時々雨 (7日晚瀧澤村郷足軽出奔)
 1687年 8月19日 貞享4年 7月12日 陰晴 午の刻雷発し小雨降る 則時止む
 1687年 8月20日 貞享4年 7月13日 晴
 1687年 8月21日 貞享4年 7月14日 晴
 1687年 8月22日 貞享4年 7月15日 陰晴
 1687年 8月23日 貞享4年 7月16日 陰晴 申の下刻小雨 則時止む 小風 (14日昼九時鼻和庄西浜赤石組之内種里村で火災1軒)
 1687年 8月24日 貞享4年 7月17日 晴 申の刻より曇
 1687年 8月25日 貞享4年 7月18日 終日曇
 1687年 8月26日 貞享4年 7月19日 陰晴
 1687年 8月27日 貞享4年 7月20日 快晴 (尾崎組四屋村より初米上がる)
 1687年 8月28日 貞享4年 7月21日 晴
 1687年 8月29日 貞享4年 7月22日 快晴 (例年八月朔日より参詣の岩木山を20日過ぎまで参詣無用のおふれ)
 1687年 8月30日 貞享4年 7月23日 陰晴 (大鰐御菜園より初春ひく王(初スイカ)4差し上げる)
 1687年 8月31日 貞享4年 7月24日 曇 辰の刻小風 巳の中刻より雨 未の下刻雷発す 夜に入り大雨 (22日青森蜷貝町の舟の下に34・5男乞食坊主倒死)

1687年	9月1日	貞享4年	7月25日	曇 (百沢寺は例年通り朔日岩木登山)
1687年	9月2日	貞享4年	7月26日	快晴 未の刻雷発す 曇 (24日晚黒石町で32歳女房縊死)
1687年	9月3日	貞享4年	7月27日	曇 未の刻より雨降 申の刻止む
1687年	9月4日	貞享4年	7月28日	陰晴 (去る16日尾崎組四屋村・去る9日大鱈御菜園畑より初米上げる)
1687年	9月5日	貞享4年	7月29日	曇 未の刻小雨
1687年	9月6日	貞享4年	7月30日	陰晴 申の下刻より雨 夜中降り続く
1687年	9月7日	貞享4年	8月1日	曇 (御用番氏名のみ) (青森町で飢者7軒あり・1軒につき米半俵ずつ拝借申し付ける)
1687年	9月8日	貞享4年	8月2日	曇
1687年	9月9日	貞享4年	8月3日	陰晴 (今別の狛が貝の玉二つ差上げたので御褒美として御米2俵下し置かれる)
1687年	9月10日	貞享4年	8月4日	曇 巳の下刻晴 子の刻より雨
1687年	9月11日	貞享4年	8月5日	昨夜より雨続き午の刻止む 酉の下刻より甚だしい風 亥の刻止む (昨日未刻田舎の庄赤田組種田村に60男溺死し見つかる)
1687年	9月12日	貞享4年	8月6日	陰晴
1687年	9月13日	貞享4年	8月7日	陰晴
1687年	9月14日	貞享4年	8月8日	陰晴 小風
1687年	9月15日	貞享4年	8月9日	寅の下刻雨 則時止み晴 申の下刻雨 則時止む (8日四時分田舎庄柏木組夕顔間枝村に70余男乞食倒死) 下から続く 入札高値段の覚え:御膳米粉米9斗8升 欄外(*)に続く
1687年	9月16日	貞享4年	8月10日	陰晴 巳の刻雨 則時止む (野内町奉行所に足軽25人居て全員無筆・少々物書く者に入れ替える、鱈ヶ沢町で172軒が飢える・200俵貸し渡す、両替:67匁5分・62匁5分、諸色 上に続く
1687年	9月17日	貞享4年	8月11日	陰晴 (上小判64匁・中小判61匁替)
1687年	9月18日	貞享4年	8月12日	快晴
1687年	9月19日	貞享4年	8月13日	快晴 (鼻和庄赤石組田浦村の外に50男倒死)
1687年	9月20日	貞享4年	8月14日	陰晴 夜に入り雷数発 甚だしい雨
1687年	9月21日	貞享4年	8月15日	陰晴 (奥内鉄吹の者共渴命・150軒に1斗宛貸し渡す)
1687年	9月22日	貞享4年	8月16日	快晴
1687年	9月23日	貞享4年	8月17日	快晴
1687年	9月24日	貞享4年	8月18日	寅の刻より雨終日に及ぶ(従寅尅雨及終日) (初鮭1尺が鱈ヶ沢から上がる)
1687年	9月25日	貞享4年	8月19日	昨夜より雨 今卯の刻まで 同下刻止み曇 岩木山へ初雪積る (田舎庄藤崎村に66・7女乞食倒死、二番鮭1尺十三町奉行より差上げる)
1687年	9月26日	貞享4年	8月20日	曇 時々雨
1687年	9月27日	貞享4年	8月21日	陰晴 亥の刻より雨 雷発す (昨19日田舎庄広須組鶴田村の外に70道心倒死)
1687年	9月28日	貞享4年	8月22日	陰晴 夜に入り甚だしい雨 (平賀庄大鱈組大沢村山の内に40男縊死・今日見届ける)
1687年	9月29日	貞享4年	8月23日	曇 午の刻より雨 (千歳山御菜園よりすいくわ(スイカ?)3上がる、平賀庄和徳組堅田村に50男倒死)
1687年	9月30日	貞享4年	8月24日	陰晴 (8月23日野内村に37・8男疵付いた死人あり)
1687年	10月1日	貞享4年	8月25日	快晴 酉の刻より速雨夜中 (青森堤川の濁者1軒に半俵宛拝借申付ける)
1687年	10月2日	貞享4年	8月26日	昨夜より雨 今辰の刻に及ぶ 終日大雨 (3日に魚売りに蟹田を出た男が水木村で殺される)
1687年	10月3日	貞享4年	8月27日	曇 少々風吹く 時々少し雨 終夜に及ぶ
1687年	10月4日	貞享4年	8月28日	曇 時々少し雨
1687年	10月5日	貞享4年	8月29日	陰晴 (田舎庄横内組新平田村の宿外に者倒死、田舎庄浦町組新町野村三枚原に倒死、8月23日野内小浦に者倒死、8月22日大沢村館山に者縊死)
1687年	10月6日	貞享4年	9月1日	(今後1ヶ月間日記の保存なし)
1687年	10月7日	貞享4年	9月2日	
1687年	10月8日	貞享4年	9月3日	
1687年	10月9日	貞享4年	9月4日	
1687年	10月10日	貞享4年	9月5日	
1687年	10月11日	貞享4年	9月6日	
1687年	10月12日	貞享4年	9月7日	
1687年	10月13日	貞享4年	9月8日	
1687年	10月14日	貞享4年	9月9日	
1687年	10月15日	貞享4年	9月10日	
1687年	10月16日	貞享4年	9月11日	
1687年	10月17日	貞享4年	9月12日	
1687年	10月18日	貞享4年	9月13日	
1687年	10月19日	貞享4年	9月14日	
1687年	10月20日	貞享4年	9月15日	
1687年	10月21日	貞享4年	9月16日	
1687年	10月22日	貞享4年	9月17日	
1687年	10月23日	貞享4年	9月18日	
1687年	10月24日	貞享4年	9月19日	
1687年	10月25日	貞享4年	9月20日	
1687年	10月26日	貞享4年	9月21日	
1687年	10月27日	貞享4年	9月22日	
1687年	10月28日	貞享4年	9月23日	
1687年	10月29日	貞享4年	9月24日	
1687年	10月30日	貞享4年	9月25日	
1687年	10月31日	貞享4年	9月26日	

(*) 代43匁6分3厘・次米の粉米2石8斗代61匁3分3厘・上大豆19俵4斗1升2夕代233匁5分9厘・撰大豆4俵3斗9合8夕代57匁5分7厘・次餅米2俵代32匁6分6厘・青大豆1俵代9匁1分8厘・小豆2俵1斗7升5合代30目6分2厘・大麦屑3升3合代2分・大麦2俵代19匁)

1687年 11月1日 貞享4年	9月27日
1687年 11月2日 貞享4年	9月28日
1687年 11月3日 貞享4年	9月29日
1687年 11月4日 貞享4年	9月30日 (九月中の保存なし)
1687年 11月5日 貞享4年	10月1日 晦 未の刻より時々夜に及ぶ雨 (御用番氏名のみ) (先月29日晚田舎館組堂野前村と境松村の間の海道脇に60余男乞食倒死、稲盗人籠舎に)
1687年 11月6日 貞享4年	10月2日 陰晴
1687年 11月7日 貞享4年	10月3日 晦 酉の刻より終夜時々雨
1687年 11月8日 貞享4年	10月4日 陰晴 昨夜岩木山へ雪見る 今朝辰の刻暫時曇 則時止む (藤崎村に男縊死)
1687年 11月9日 貞享4年	10月5日 晦 岩木山へ雪見る 四方山へも雪見る 巳の刻より雨降 午の上刻止む (3日朝田舎庄常盤組水沼村に40女乞食倒死)
1687年 11月10日 貞享4年	10月6日 霜 晴 (町居村山本に50余男倒死)
1687年 11月11日 貞享4年	10月7日 卯の后刻より終日雨 酉の刻止む (今朝卯刻より辰刻まで古懸不動御腰より下出汗)
1687年 11月12日 貞享4年	10月8日 陰晴
1687年 11月13日 貞享4年	10月9日 陰晴 霜 申の刻より夜によるに及び陰雨(陰晴霜従申刻及夜陰雨)
1687年 11月14日 貞享4年	10月10日 昨夜より今朝まで雨 辰の刻里へ初雪 (下切川蔵村で昨7日家1軒焼失、1日に瀬辺地村の鉄吹き逐電)
1687年 11月15日 貞享4年	10月11日 昨未の下刻より夜を通じて今日の下刻まで雪 午の刻止む
1687年 11月16日 貞享4年	10月12日 快晴
1687年 11月17日 貞享4年	10月13日 大霜 快晴 酉の刻より雨 則時止む
1687年 11月18日 貞享4年	10月14日 陰晴 酉の上刻より雨 通夜に及ぶ (初鱈1青森町奉行より・初はたはた3鱈ヶ沢町奉行より上がる)
1687年 11月19日 貞享4年	10月15日 卯の中刻より初霰 疾風
1687年 11月20日 貞享4年	10月16日 陰晴 (熊野権現林に64・5男乞食倒死)
1687年 11月21日 貞享4年	10月17日 辰の刻より雨 終日に及ぶ
1687年 11月22日 貞享4年	10月18日 晦 (外瀬袋の川除け普請中川舟に引き込まれ1人死亡)
1687年 11月23日 貞享4年	10月19日 陰晴
1687年 11月24日 貞享4年	10月20日 曇 丑の刻より雨 (瀬辺地村の水飲2人が12・13日に逐電・これらの家は4間×5間と4間×6間馬屋2間四方)
1687年 11月25日 貞享4年	10月21日 昨丑の刻より雨 今日終日終夜に及ぶ
1687年 11月26日 貞享4年	10月22日 今朝丑の刻より雪 卯の刻止む 同下刻より雨 辰の刻より止む 少し風 (昨戌刻和徳町で51男縊死)
1687年 11月27日 貞享4年	10月23日 天気能 但し戌の中刻より鳴動 方角知れず 丑の刻より雨
1687年 11月28日 貞享4年	10月24日 昨丑の刻より雨 今日未の下刻止む (那須家に実子あり・殿様御閉門)
1687年 11月29日 貞享4年	10月25日 昨戌の刻より辰の刻まで一寸ほど雪 終日に及ぶ (藤代組長浜村で火災・7軒焼失、10月23日田舎庄油川組新城村に70男倒死)
1687年 11月30日 貞享4年	10月26日 曇 未の刻より細雨 夜陰に及ぶ
1687年 12月1日 貞享4年	10月27日 卯の中刻雪 辰の下刻雷雨鳴発 (御領内不熟につき……、23日?に逃げた川原平村の女下倒死)
1687年 12月2日 貞享4年	10月28日 晴 夜に入り雹 雷発す
1687年 12月3日 貞享4年	10月29日 快霽
1687年 12月4日 貞享4年	10月30日 霽 夜に入り雷数発 終夜雨 (27日五所川原から十三に米を下ろす船が十三湍で破船、田舎庄広田組広田村で50男乞食倒死、10月23日晚蟹田新田町で欠落)
1687年 12月5日 貞享4年	11月1日 晦 (御用番氏名のみ) (鱈ヶ沢より初鱈上がる、昨夜甚風・城内に破損あり)
1687年 12月6日 貞享4年	11月2日 卯の中刻より時々小雪 夜更けに及ぶ (昨朔日平賀庄和徳組和徳村に17・8女乞食倒死)
1687年 12月7日 貞享4年	11月3日 快晴 (昨2日鼻和庄藤代組町田村に50男乞食倒死、昨2日広田組平井村で火災1軒)
1687年 12月8日 貞享4年	11月4日 晦 小風 申の下刻より雨夜中
1687年 12月9日 貞享4年	11月5日 昨夜より雨降続く 午の后刻より大風 夜中吹く 夜に入り雪積る (今日巳半時古懸不動明王出汗、兵庫殿御蔵米240俵等拝借)
1687年 12月10日 貞享4年	11月6日 雪積る
1687年 12月11日 貞享4年	11月7日 少々雪 夜に及ぶ
1687年 12月12日 貞享4年	11月8日 陰晴 (27日の大風で十三沖で6人乗りの船行方不明、田舎庄飯詰組飯詰村に70者道心倒死)
1687年 12月13日 貞享4年	11月9日 晦
1687年 12月14日 貞享4年	11月10日 昨夜より大雪積る 小風 (田舎庄後湊組中沢村に57・8男乞食倒死、6日夜蟹田町で1家5人逃散、逐電7人分の家入札:2分~1匁、8日新町で欠落、10月13・25・28・29日それぞれ逐電等4人)
1687年 12月15日 貞享4年	11月11日 昨夜より吹雪終日
1687年 12月16日 貞享4年	11月12日 晦 夜に入り小雪
1687年 12月17日 貞享4年	11月13日 晦 夜に入り雨降 (田舎庄飯詰組高野村と地下新田の間に54・5男倒死)
1687年 12月18日 貞享4年	11月14日 晦 未の刻より小雪
1687年 12月19日 貞享4年	11月15日 晦 未の刻より雨 夜中降る
1687年 12月20日 貞享4年	11月16日 晦 時々小雨 (田舎庄飯詰組松野木村枝村若山村で14日夜七時分火災1軒)
1687年 12月21日 貞享4年	11月17日 昨夜より雨降続く 辰の刻より大風曇 巳の刻より雹 午の刻風止む
1687年 12月22日 貞享4年	11月18日 晦 未の刻より小雪
1687年 12月23日 貞享4年	11月19日 晦 辰の刻より雪降る 午の刻止む
1687年 12月24日 貞享4年	11月20日 陰晴 夜に入り雪積る
1687年 12月25日 貞享4年	11月21日 晦 (近年打ち続く不熟・知行の1割借り上げ)
1687年 12月26日 貞享4年	11月22日 晦 巳の刻より少し雨 未の刻止む
1687年 12月27日 貞享4年	11月23日 陰晴
1687年 12月28日 貞享4年	11月24日 晦 卯の刻より雪揚る(晦従卯刻雪颯) (21日御家中屋敷前に7歳男子捨子、19日夜飯詰組松野木村で火災1軒)
1687年 12月29日 貞享4年	11月25日 昨夜より雪積る
1687年 12月30日 貞享4年	11月26日 終日雪積る (米値段1俵に付銀18匁5分、御献上上鮭1尺に付銭7匁・中鮭1尺代5匁)
1687年 12月31日 貞享4年	11月27日 雪積る

1688年	1月1日	貞享4年	11月28日	昨夜より雪降り続く
1688年	1月2日	貞享4年	11月29日	今日も雪降り続く
1688年	1月3日	貞享4年	12月1日	晴 夜に入り雨 (御用番氏名のみ)
1688年	1月4日	貞享4年	12月2日	曇 雪 少し風 (大野村で7歳女子吹雪(文字は「凧」から「止」を除き替わりに「雪」を入れたもの)に遭い死亡)
1688年	1月5日	貞享4年	12月3日	曇 雪 未の刻より吹雪 (去朔日田舎庄赤田組大巻に40男と37・8男乞食倒死)
1688年	1月6日	貞享4年	12月4日	曇 吹雪 昨戌の七刻より寒に入る
1688年	1月7日	貞享4年	12月5日	曇 少し雪 午の刻より止む (昨3日田舎庄藤崎組藤崎村に57・8男乞食倒死)
1688年	1月8日	貞享4年	12月6日	晴 辰の下刻地震 (さらに1割(計2割)と役料半分差上げる)
1688年	1月9日	貞享4年	12月7日	曇 午の下刻より雪 (青森濱町に11歳男子乞食倒死、塩町に50男倒死)
1688年	1月10日	貞享4年	12月8日	晴 未の刻より雪 少し風 申の刻より吹雪 (今日5日晚平賀庄大光寺組小和森村に56・7男乞食倒・(その後)死)
1688年	1月11日	貞享4年	12月9日	曇 辰の上刻甚だしい雪 同下刻止む
1688年	1月12日	貞享4年	12月10日	陰晴 (平賀庄堀越組高田村外に50男乞食倒死、昨夜男卒死)
1688年	1月13日	貞享4年	12月11日	曇 夜に入り雨風 (昨9日喰川村で百姓が女房を刺し殺し自害、田舎庄油川組新城村外に50男乞食倒死)
1688年	1月14日	貞享4年	12月12日	曇 未の上刻より雪吹き 少し風 (青森堤町・荻岩町・松森町の飢者23軒に御米15俵拝借を申付ける、平賀庄尾崎組切明村20軒に都合10俵遣わす)
1688年	1月15日	貞享4年	12月13日	曇 少々雪 (10日田舎庄金木組福甲田村の郷足軽逐電)
1688年	1月16日	貞享4年	12月14日	時々雪 (一昨9日夜喰川村で男自害)
1688年	1月17日	貞享4年	12月15日	昨夜より甚だしく雪吹き時々雪
1688年	1月18日	貞享4年	12月16日	曇 雪 (塩1俵に付3匁1分、昨15日暮六つ時猿賀組八幡崎村に27・8男倒死(吹雪倒れ))
1688年	1月19日	貞享4年	12月17日	曇 終日雪吹く (青森善知鳥町磯岸に60坊主倒死)
1688年	1月20日	貞享4年	12月18日	陰晴 (百石町入り口に12・3男乞食倒死、広須新田下相野村に40男乞食倒死)
1688年	1月21日	貞享4年	12月19日	曇 (13日鯉ヶ沢の鱈漁師4人死亡、田舎庄後潟組浜松村外に30女乞食倒死)
1688年	1月22日	貞享4年	12月20日	快晴 (14日夜田舎庄広田組平井村に30男倒死・少々疵あり)
1688年	1月23日	貞享4年	12月21日	晴 酉の下刻少し雨 (籾入札:2斗9升7合で1匁)
1688年	1月24日	貞享4年	12月22日	陰晴 (久祥院様へ年100両・兵庫様へ年250両渡していたらしい)
1688年	1月25日	貞享4年	12月23日	陰晴 少々雪 未の上刻より甚だしい雪 (青森舘貝町24軒119人・松森町荻岩町24軒104人から御米24俵拝借願い・了承)
1688年	1月26日	貞享4年	12月24日	快晴
1688年	1月27日	貞享4年	12月25日	曇 卯の中刻より吹雪
1688年	1月28日	貞享4年	12月26日	曇 少し雪
1688年	1月29日	貞享4年	12月27日	曇 少し雪 (深浦町御救い米の値段1俵18匁)
1688年	1月30日	貞享4年	12月28日	曇 卯の中刻より甚だしい雪 少し風 午の下刻少し止む (19日相打村の郷足軽欠落)
1688年	1月31日	貞享4年	12月29日	昨日より甚だしい雪 夜中 今日迄降り積もる
1688年	2月1日	貞享4年	12月30日	昨日夜中より今日迄吹雪降り積もる (青森三内村で女房が雪風に遭い死亡)
1688年	2月2日	貞享5年	正月1日	終日大雪 (御用番氏名のみ)
1688年	2月3日	貞享5年	正月2日	雪 巳の刻より止み陰晴 夜に入り雪
1688年	2月4日	貞享5年	正月3日	晴天 (吉例の御金200両差登)
1688年	2月5日	貞享5年	正月4日	曇 夜に入り雪
1688年	2月6日	貞享5年	正月5日	陰晴
1688年	2月7日	貞享5年	正月6日	辰の刻より雪
1688年	2月8日	貞享5年	正月7日	昨夜より雪 (高根御蔵米を十三まで小廻り船での運賃1俵12文)
1688年	2月9日	貞享5年	正月8日	陰晴
1688年	2月10日	貞享5年	正月9日	昨夜より雪 巳の刻止む 夜に入り雪
1688年	2月11日	貞享5年	正月10日	卯の中刻吹雪 巳の刻止む 少し風
1688年	2月12日	貞享5年	正月11日	昨夜中より吹雪 今朝巳の刻に及び止む
1688年	2月13日	貞享5年	正月12日	晴
1688年	2月14日	貞享5年	正月13日	昨夜雪 陰晴 時々雪 (御材木場に18・9男乞食倒死)
1688年	2月15日	貞享5年	正月14日	昨未の刻より吹雪 終日終夜に及ぶ
1688年	2月16日	貞享5年	正月15日	昨夜中より今日迄吹雪降り続く
1688年	2月17日	貞享5年	正月16日	昨夜中より吹雪甚だしい 午の刻より少々雪 (生類・畜類は獵師以外とるな等の命令あり)
1688年	2月18日	貞享5年	正月17日	昨亥の下刻より時々雪 (16日晚横沢村に54・5男乞食倒死、昨申中刻百沢に大風被害)
1688年	2月19日	貞享5年	正月18日	昨未の刻より夜中大雪 卯の刻止む
1688年	2月20日	貞享5年	正月19日	晴
1688年	2月21日	貞享5年	正月20日	快晴
1688年	2月22日	貞享5年	正月21日	陰晴 昨夜より辰の下刻まで雪 (20日晚横沢村に64・5男乞食死亡)
1688年	2月23日	貞享5年	正月22日	陰晴 午の刻より雪揚る
1688年	2月24日	貞享5年	正月23日	陰晴
1688年	2月25日	貞享5年	正月24日	晴 午の刻より少し雪
1688年	2月26日	貞享5年	正月25日	陰晴 酉の刻より夜中に及び甚だしい雪
1688年	2月27日	貞享5年	正月26日	時々少し雪 申の刻より甚だしい吹雪 (24日田舎庄浪岡組高屋敷村に48・9男ふき倒死、青森松森町と柳町の12軒47人に救い米6俵(1軒に半俵)渡す)
1688年	2月28日	貞享5年	正月27日	昨日より今日に及び終日少々吹雪
1688年	2月29日	貞享5年	正月28日	陰晴

1688年	3月1日	貞享5年	正月29日	陰晴	酉の下刻より風雨 (御城中御番所の火鉢は例年正月晦日まで・今年もそうする)
1688年	3月2日	貞享5年	2月1日	晴	(御用番氏名のみ)
1688年	3月3日	貞享5年	2月2日	快晴	
1688年	3月4日	貞享5年	2月3日	快晴	酉の刻より小雪 戌の下刻より亥の刻まで細雨
1688年	3月5日	貞享5年	2月4日	晦	雪揚る 夜に入り少し雪風 終夜に及ぶ (朔日縶ヶ沢で男縊死)
1688年	3月6日	貞享5年	2月5日	晴	
1688年	3月7日	貞享5年	2月6日	陰晴	午の刻細雨 則時止む (一昨4日青森上浜町に25・6男倒死)
1688年	3月8日	貞享5年	2月7日	卯の刻より雪	巳の刻甚だしい雪風 則時止む 戌の刻より吹雪 同下刻止む
1688年	3月9日	貞享5年	2月8日	小雪	終日に及ぶ (昨7日高杉組高屋村に54・5女乞食倒死)
1688年	3月10日	貞享5年	2月9日	快晴	(尾崎組小国村の11軒に糶1俵宛飢渴対応として遣わず、浪岡組相沢・細野・五本松村の46軒にも同様)
1688年	3月11日	貞享5年	2月10日	卯の刻より辰の中刻まで泡雪	同下刻止む (江戸より10日振りの命の飛脚が雪で13日振りに着く)
1688年	3月12日	貞享5年	2月11日	晦	巳の刻より雨 未の刻より甚だしい風雨 酉の刻止む (青森上町に57・8男・同浜町に54・5男それぞれ倒死)
1688年	3月13日	貞享5年	2月12日	陰晴	丑の刻小雪 (大間越・黒崎など6か村40軒が湯命・救い米として1軒に米1俵宛を遣わず、昨年火事の長浜村の7軒に救い米計10俵遣わず、9日田舎庄広須組懸落林村に60男倒死)
1688年	3月14日	貞享5年	2月13日	卯の上刻雪	辰の后刻甚だしい吹雪 則時止む 午の刻より雪 (11日横内組諏訪村に48・9男乞食倒死)
1688年	3月15日	貞享5年	2月14日	卯の刻より淡雪	同下刻止む 陰晴 (12日平賀庄大鰐組石川村に40男乞食倒死、12日平賀庄尾崎組堤崎村で炭売り親子(男)ふき倒死亡、11日雪風で尾太銀山の男2人倒死)
1688年	3月16日	貞享5年	2月15日	晦	下から続く 歩行橋・境関橋が流失・破損
1688年	3月17日	貞享5年	2月16日	卯の刻より辰の中刻まで雪	同下刻止む (11日の風雨で金井ヶ沢村で漁船3人・浮田村で船7人・岩木の薪取り6人・高薪取り5人・浅瀬石山で雪なて(なだれ)1人死亡、藤崎渡 上に続く)
1688年	3月18日	貞享5年	2月17日	陰晴	(16日青森堤町に57・8男・同中町に14・5男倒死) 下から続く 組大野村の1軒に救米2俵遣す
1688年	3月19日	貞享5年	2月18日	陰晴	(瀬辺地村の鉄吹湯命・救米2俵遣す、16日朝田舎庄横内組大矢沢村で火災1軒、16日田舎庄横内組泉野村に47・8男乞食倒死、広須組牛湯の13軒湯命・救米1俵宛、浦町 上に続く)
1688年	3月20日	貞享5年	2月19日	午の刻より雹	暫くありて雪
1688年	3月21日	貞享5年	2月20日	晦	
1688年	3月22日	貞享5年	2月21日	晦	(神明の社人7人湯命・救い米半俵宛、金木組相打村・板割沢村の10軒に救い米2俵宛)
1688年	3月23日	貞享5年	2月22日	晴	彼岸に入る
1688年	3月24日	貞享5年	2月23日	晦	巳の中刻より雨 終日終夜に及ぶ (奥内村・清水村の鉄吹き3人湯命・救い米1俵半) 下から続く 糶1俵宛追加、赤石組種里村などの3軒が湯命・救い米1俵宛)
1688年	3月25日	貞享5年	2月24日	卯の刻よりしゅう	巳の中刻より雨 午の刻止む 未の刻少し風 申の刻止む (新館・大坊・唐竹村の37軒に救い米1俵宛、青森町の27軒に半俵宛、油川組漁師新田の26軒に 上に続く)
1688年	3月26日	貞享5年	2月25日	晴	
1688年	3月27日	貞享5年	2月26日	晴	(新城村27軒に救糶2俵宛・大川平村の31軒と後湯組?軒に救糶1俵宛)
1688年	3月28日	貞享5年	2月27日	卯の刻より小雪	同下刻より辰の中刻甚だしい雪 則時止む (三世寺より板屋野木まで船1艘の運賃100日)
1688年	3月29日	貞享5年	2月28日	晦	午の刻より陰晴
1688年	3月30日	貞享5年	2月29日	快晴	
1688年	3月31日	貞享5年	2月30日	晴	
1688年	4月1日	貞享5年	3月1日	寅の刻より雨	巳の刻より止む (御用番氏名のみ)
1688年	4月2日	貞享5年	3月2日	快晴	小風 (浪岡組王余魚沢村新田18軒に御救糶1俵宛、大鰐組68軒に半俵宛、駒越組宮地村で火災3軒・馬4疋・種糶10俵など焼失、煎茶という用語あり)
1688年	4月3日	貞享5年	3月3日	快晴	
1688年	4月4日	貞享5年	3月4日	曇	巳の刻細雨 則時止む 未の刻より時々小雨 夜に及ぶ (今朝田舎庄広田組新宮村で火災1軒、昨申刻過ぎ田舎庄常盤組俵升村で74・5女乞食倒死、鉄吹14軒に半俵宛救い米)
1688年	4月5日	貞享5年	3月5日	巳の刻まで陰晴	同下刻より晴 小風
1688年	4月6日	貞享5年	3月6日	陰晴	午の刻小雨 則時止む (広須組大畑村など24軒に悪糶2俵宛救い米、4日夜子刻平賀庄大鰐組石川で洪水・橋板3枚流失)
1688年	4月7日	貞享5年	3月7日	晴	(6日元寺町で大工自害、広田組平井・赤堀・川山・種井村の百姓10人に悪糶1俵宛・水飲9人に半俵宛救い米、去冬火事の2人に3俵宛救い米)
1688年	4月8日	貞享5年	3月8日	今朝寅の下刻より雨	辰の刻に及び曇 戌の刻より雨 丑の刻雷発す (昨冬尾崎村と新屋村で雪に押潰された家2軒、2月11日の大風に高木村で潰れ家1軒、大光寺組36軒に悪糶1俵宛)
1688年	4月9日	貞享5年	3月9日	陰晴	辰の中刻雹降る 則時止む 卯の中刻より終日甚だしい風
1688年	4月10日	貞享5年	3月10日	晴	風吹く (新寺町22軒に3軒に1俵の救い米、五番組御歩行山上太兵衛病死)
1688年	4月11日	貞享5年	3月11日	曇	申の下刻より時々雨 同中刻より風 酉の刻止む (青森町の37軒に半俵宛、江戸に御用金800両差登)
1688年	4月12日	貞享5年	3月12日	曇	辰の刻より晴 未の下刻雨 申の下刻止む 夜に入り風吹く 雲地に見る (金木組3人に悪糶1俵宛、昨晚六つ半時分の風で熊野堂などに被害あり)
1688年	4月13日	貞享5年	3月13日	陰晴	午の刻より曇 雪 小風 (昨日城の堀に9・10女乞食死亡、茂森新町の32軒に1俵宛)
1688年	4月14日	貞享5年	3月14日	陰晴	夜に入り風雨 (青森に乱風の火付女、野内町23軒に救い米半俵宛)
1688年	4月15日	貞享5年	3月15日	曇	時々雨 雹 風 (後湯組野田村25軒に救糶1俵宛、平館村18軒に救糶1俵宛・出作人32軒に半俵宛、堀越組193人に御救米1俵宛)
1688年	4月16日	貞享5年	3月16日	曇	(茂森新町18軒に救い米・3軒に1俵)
1688年	4月17日	貞享5年	3月17日	晴	霜 (14日平賀庄尾崎組尾崎村山道に50斗男乞食倒死) 下から続く 油川組22軒に1俵宛・羽白村5軒に2俵宛、広田組百姓54軒に1俵・水飲7軒に半俵宛)
1688年	4月18日	貞享5年	3月18日	快晴	(大光寺組金屋村の百姓共熊飛懸申に付是非なく打殺す・皮胆お蔵に差上げる、弘前の座等(座当)16人に救い米3人に1俵、4日新宮村の火元湯命・悪糶3俵を救い米、 上に続く)
1688年	4月19日	貞享5年	3月19日	陰晴	(昨夜子刻誓願寺焼失、16日晚横内村で火災3軒)
1688年	4月20日	貞享5年	3月20日	陰晴	(青森町の189軒に救い米・3軒に1俵、平賀庄猿賀組尾上村に64・5男乞食倒死)
1688年	4月21日	貞享5年	3月21日	曇	時々雨 少し風 (江戸に500両差登)
1688年	4月22日	貞享5年	3月22日	昨子の刻雷発す	時々雨 甚だしい風 今辰の刻に及び 巳の刻雹時々雨 同下刻より風吹く (昨日の洪水で石渡の橋が流失、去年2月油川組石神村の火元に御救い米3俵)
1688年	4月23日	貞享5年	3月23日	陰晴	少し風 (藤代組4軒に悪糶1俵宛、後湯組広瀬村の28軒に既に15軒走り残りの13軒に悪糶1俵宛、5日晚深浦町から逐電)
1688年	4月24日	貞享5年	3月24日	晴	夜に入り雨 (江戸に500両差上)
1688年	4月25日	貞享5年	3月25日	曇	小風 (青森町16軒に救い米3軒に1俵)
1688年	4月26日	貞享5年	3月26日	陰晴	
1688年	4月27日	貞享5年	3月27日	寅の刻より雨	辰の刻止む 曇 時々細雨
1688年	4月28日	貞享5年	3月28日	陰晴	
1688年	4月29日	貞享5年	3月29日	寅の刻より雨	終日
1688年	4月30日	貞享5年	4月1日	陰晴	(御用番氏名のみ)

1688年	5月1日	貞享5年	4月2日	陰晴	未の刻より風 亥の刻より夜中甚だしい風 (江戸へ500両差登)	
1688年	5月2日	貞享5年	4月3日	陰晴	風吹く (今朝男牢死、昨日の風被害の記述あり)	
1688年	5月3日	貞享5年	4月4日	晴	巳の中刻より風吹く 夜に入り雨風 (紺屋町・新町の49軒に救い米・4軒に1俵)	
1688年	5月4日	貞享5年	4月5日	陰晴	風少々 (奥内・蓬田村の4人に救米・4人に米1俵、松野木平村の2人に1俵、田舎庄横内組の百姓共米260俵無利息で拝借、大豆を拝借の例が多くなる、藤代組出来嶋村5軒に半俵宛)	
1688年	5月5日	貞享5年	4月6日	快晴	午の刻より少し風 (広須御新田の米値段:去年4斗入り1俵14匁・当年12匁5分)	
1688年	5月6日	貞享5年	4月7日	晴	少し風 (昨日相馬山出火、6日常盤組水木村で火災、大罾組もちのき村で火災2軒)	
1688年	5月7日	貞享5年	4月8日	快晴	(一昨6日十面沢村で火災1軒、6日七時分金木組喜良市山で出火(8町×4町)、小田川山切明で山火(8町×5町))	
1688年	5月8日	貞享5年	4月9日	陰晴	(今日江戸へ700両差登)	
1688年	5月9日	貞享5年	4月10日	陰晴	(今別町の62軒に救い米半俵宛、2日の大風で3軒破損)	
1688年	5月10日	貞享5年	4月11日	陰晴	少し風 (2日の大風で藤代組で倒家1軒、飯詰山から野火(60間×40間))	
1688年	5月11日	貞享5年	4月12日	陰晴	少し風 (胴治町12軒に救い米3軒に1俵)	
1688年	5月12日	貞享5年	4月13日	快晴	(横内組で火事に遭った3軒に救い米4俵)	
1688年	5月13日	貞享5年	4月14日	曇	午の刻より雨 酉の刻止む	
1688年	5月14日	貞享5年	4月15日	曇	(茂森町の月行事2人に救い米合せて1俵)	
1688年	5月15日	貞享5年	4月16日	なし	(天気の記事なし・それ以外の重要事項なし)	
1688年	5月16日	貞享5年	4月17日	曇	巳の刻雨 則時止む 午の刻より風 (昨日高杉村で行方不明者の死骸発見)	
1688年	5月17日	貞享5年	4月18日	陰晴	巳の刻より時々雨 風吹く (12日晚唐川村庄屋逃散、3月14日の行方不明者の詳細あり・下ばの中程内の方二そへばあり(下歯の中程内の方に添え歯あり)など)	
1688年	5月18日	貞享5年	4月19日	晴	少し風 (昨夜倉(蔵か)館大日堂の宗海寺焼失・1人焼死、平賀庄堀越組松野木平村の山で37・8男総死)	
1688年	5月19日	貞享5年	4月20日	陰晴	午の刻少し風 (昨日藤代組三世寺村に35・6男乞食倒死)	
1688年	5月20日	貞享5年	4月21日	快晴		
1688年	5月21日	貞享5年	4月22日	快晴	(昨日七時分外蓬蓬田山で山火事) 下から続く 赤田組137軒に半俵宛、東長町・土手町の11軒に3軒に1俵のお救い米)	
1688年	5月22日	貞享5年	4月23日	曇	申の中刻より雨 終夜に及ぶ (蓬田山の火事鎮(200間×50間)) 下から続く 救い米都合14俵、猿賀組6軒に1俵宛、飯詰山之内で出火(6町×2町)、駒越川洪水、	上に続く
1688年	5月23日	貞享5年	4月24日	昨夜より雨 今巳の刻まで及び止む 陰晴	(増縦組81軒に悪糶1俵宛無利で拝借、荒川村庄屋悪糶4俵救い米申付ける、広田組の百姓9軒に悪糶1俵宛・水呑10軒に半俵宛	上に続く
1688年	5月24日	貞享5年	4月25日	快晴	午の刻風吹く (17日遠慮御赦免)	
1688年	5月25日	貞享5年	4月26日	晴	(今朝男牢死)	
1688年	5月26日	貞享5年	4月27日	晴	少し風	
1688年	5月27日	貞享5年	4月28日	晴	少し風	
1688年	5月28日	貞享5年	4月29日	辰の下刻より雨 雷発す 巳の下刻止み陰晴	申の下刻地震	
1688年	5月29日	貞享5年	5月1日	晦	(御用番氏名のみ)	
1688年	5月30日	貞享5年	5月2日	晦	(26日新寺町溜池に女房入水)	
1688年	5月31日	貞享5年	5月3日	快晴		
1688年	6月1日	貞享5年	5月4日	快晴	(先月27日深浦沖で能登船破船、鼻和庄赤石組田浦村に54・5乞食男倒死)	
1688年	6月2日	貞享5年	5月5日	快晴		
1688年	6月3日	貞享5年	5月6日	晦	辰の中刻より雨 終日に及ぶ	
1688年	6月4日	貞享5年	5月7日	申の刻より大雨 終夜に及ぶ		
1688年	6月5日	貞享5年	5月8日	晦	時々雨 酉の刻雷数発 大雨終夜に及ぶ	
1688年	6月6日	貞享5年	5月9日	昨夜より今辰の刻まで雨 巳の刻より陰晴	(和徳組百田村御伝馬所48軒中13軒に救い米半俵宛、浦町組の48軒に救い米半俵宛)	
1688年	6月7日	貞享5年	5月10日	快晴		
1688年	6月8日	貞享5年	5月11日	陰晴	(昨10日申刻北浮田領赤平の磯辺に鯨少し寄る)	
1688年	6月9日	貞享5年	5月12日	陰晴	酉の刻より雨 終夜に及ぶ	
1688年	6月10日	貞享5年	5月13日	昨夜より雨 今卯の刻に及び止む 陰晴		
1688年	6月11日	貞享5年	5月14日	晴	未の刻より風吹く (藤崎村御伝馬所の22軒に半俵宛、浪岡組183軒に悪糶200俵を無利で拝借申付ける)	
1688年	6月12日	貞享5年	5月15日	快晴	(今朝男牢死)	
1688年	6月13日	貞享5年	5月16日	快晴		
1688年	6月14日	貞享5年	5月17日	快晴		
1688年	6月15日	貞享5年	5月18日	快晴	午の刻より小風 (西大工町の10軒に御救い米3軒に1俵)	
1688年	6月16日	貞享5年	5月19日	快晴	小風 (昨18日乞食倒死、17日夜九時半横内組駒籠村で火災4軒、今別状熊皮4枚差上げる・先格のごとく代銭160目遣わず)	
1688年	6月17日	貞享5年	5月20日	快晴		
1688年	6月18日	貞享5年	5月21日	快晴		
1688年	6月19日	貞享5年	5月22日	陰晴	(今日男牢死)	
1688年	6月20日	貞享5年	5月23日	快晴	午の刻より風吹く (駒籠村で火事に遭った百姓2軒に3俵宛・水呑2軒に1俵宛救い米、瀧澤20軒に半俵宛救い米、大森御伝馬所11軒中6軒が走(多分夜逃げ)った)	
1688年	6月21日	貞享5年	5月24日	快晴		
1688年	6月22日	貞享5年	5月25日	快晴	小風	
1688年	6月23日	貞享5年	5月26日	快晴		
1688年	6月24日	貞享5年	5月27日	晦	午の下刻より雨 終夜に及び止む (外浜小国新田83軒に救い米半俵宛)	
1688年	6月25日	貞享5年	5月28日	陰晴	(御家中の小姓が女を切り殺し自害、一昨26日夜藤代組廻堰村で火災1軒)	
1688年	6月26日	貞享5年	5月29日	晴	終日風吹く (大罾御菜園より胡瓜5上がる)	
1688年	6月27日	貞享5年	5月30日	晦	酉の上刻より雨 同下刻止む (28日夜田舎庄後瀧組左堰村で火災1軒)	
1688年	6月28日	貞享5年	6月1日	寅の刻より雨 巳の刻に及び止む	(御用番氏名のみ)	
1688年	6月29日	貞享5年	6月2日	晴	未の刻より風 (先月晦日夜子刻田舎庄広田組姥范村で火災1軒)	
1688年	6月30日	貞享5年	6月3日	晴	(28日後瀧組左関村の火元に救い米3俵、一昨朔日青森牢舎から逐電した男あり)	

1688年 7月1日 貞享5年 6月4日 快晴
 1688年 7月2日 貞享5年 6月5日 陰晴
 1688年 7月3日 貞享5年 6月6日 陰晴 子の刻より時々雨
 1688年 7月4日 貞享5年 6月7日 陰晴 寅の刻より雨 巳の中刻止む (御館神禰宜に救い米1俵、昨日戌刻鰯ヶ沢で火災1軒)
 1688年 7月5日 貞享5年 6月8日 陰晴 (飛鳥村で塩81俵入札:1俵2匁1分宛)
 1688年 7月6日 貞享5年 6月9日 陰晴 酉の下刻より細雨 終夜に及ぶ (御小納戸へ御用金200両差登)
 1688年 7月7日 貞享5年 6月10日 卯の刻より同下刻まで小雨 辰の刻より陰晴 (十三より鰯ヶ沢への御米運賃1俵に付3分宛が貞享2年3月から4分になった)
 1688年 7月8日 貞享5年 6月11日 快晴 (10日金木組野崎村で火災7軒)
 1688年 7月9日 貞享5年 6月12日 陰晴 少し風 戌の下刻より夜中時々雨 (大鱈御菜園より初真瓜3上がる、昨11日田舎庄金木組金木村で火災1軒)
 1688年 7月10日 貞享5年 6月13日 曇 (尾太銀山15軒に救い米3軒に1俵宛)
 1688年 7月11日 貞享5年 6月14日 陰晴 午の后刻より雨少し 雷発す 暫く在って甚だしい雷数発
 1688年 7月12日 貞享5年 6月15日 陰 巳の下刻より雨 雷発す 未の下刻止む
 1688年 7月13日 貞享5年 6月16日 曇
 1688年 7月14日 貞享5年 6月17日 快晴 (15日の洪水・福島渡仮橋・大鱈湯の川原橋落・1人死亡)
 1688年 7月15日 貞享5年 6月18日 快晴 (金木組野崎(11日記述)・金木(12日記述)村の火災の百姓5人に3俵宛・水呑3人に1俵宛の救い米)
 1688年 7月16日 貞享5年 6月19日 卯の刻より霧 同中刻止む 快晴 (大鱈御菜園より茄子5・白ふり(白瓜か)2・隠元など差上げる)
 1688年 7月17日 貞享5年 6月20日 曇 申の下刻より雨 終夜に及ぶ (払塩1俵につき2匁5分で入札)
 1688年 7月18日 貞享5年 6月21日 昨申の下刻より雨 今辰の刻に及ぶ 同后刻より大雨 未の刻に止み曇
 1688年 7月19日 貞享5年 6月22日 曇 霧 亥の刻雷発し大雨 終夜に及ぶ
 1688年 7月20日 貞享5年 6月23日 曇 辰の中刻より雨 午の下刻止む (5月17・18日頃より田地植付・日照りで用水なし)
 1688年 7月21日 貞享5年 6月24日 曇 夜に入り時々小雨
 1688年 7月22日 貞享5年 6月25日 陰 夜に入り雨
 1688年 7月23日 貞享5年 6月26日 昨丑の刻より雨 今卯の刻に及び止む 辰の刻より同下刻まで雨 止み曇
 1688年 7月24日 貞享5年 6月27日 昨夜より雨 今巳の刻に及び止み曇 未の刻より陰晴
 1688年 7月25日 貞享5年 6月28日 晴
 1688年 7月26日 貞享5年 6月29日 快晴 (昨28日高杉組西山村で火災1軒)
 1688年 7月27日 貞享5年 7月1日 曇 西南へ虹あり (御用番氏名のみ) (大鱈御菜園より真瓜3・越瓜2上がる)
 1688年 7月28日 貞享5年 7月2日 陰晴 午の刻より晴 風
 1688年 7月29日 貞享5年 7月3日 快晴
 1688年 7月30日 貞享5年 7月4日 快晴
 1688年 7月31日 貞享5年 7月5日 快晴 少し風 (平賀庄尾崎組沖館村の山に50斗男総死・苦木村の男と翌日判明)
 1688年 8月1日 貞享5年 7月6日 快晴 (西桶屋町などの6軒に救い米3軒に1俵宛、大鱈御菜園場より唐茄子15上がる)
 1688年 8月2日 貞享5年 7月7日 快晴
 1688年 8月3日 貞享5年 7月8日 快晴 (5日夜九時分田舎庄後潟組長科村で火災4軒、6日夜吉田(賀田か)村で火災1軒)
 1688年 8月4日 貞享5年 7月9日 快晴
 1688年 8月5日 貞享5年 7月10日 快晴
 1688年 8月6日 貞享5年 7月11日 卯の刻霧 快晴 (3日福岡村で男自害)
 1688年 8月7日 貞享5年 7月12日 快晴 (大鱈御菜園より初真桑瓜5上がる)
 1688年 8月8日 貞享5年 7月13日 快晴 (昨夜田舎庄横内組三本木村で火災1軒)
 1688年 8月9日 貞享5年 7月14日 陰晴 丑の刻小雨 則時止む
 1688年 8月10日 貞享5年 7月15日 巳の刻まで陰 同后刻より快晴
 1688年 8月11日 貞享5年 7月16日 快晴
 1688年 8月12日 貞享5年 7月17日 快晴 (馬盗人が切り殺される)
 1688年 8月13日 貞享5年 7月18日 陰晴 亥の刻風 子の刻止む
 1688年 8月14日 貞享5年 7月19日 寅の刻より少し雨 卯の刻止み陰晴 午の中刻風
 1688年 8月15日 貞享5年 7月20日 曇 辰の刻より晴
 1688年 8月16日 貞享5年 7月21日 陰晴
 1688年 8月17日 貞享5年 7月22日 昨丑の刻より雨 今日の刻に及び止み晴
 1688年 8月18日 貞享5年 7月23日 陰晴
 1688年 8月19日 貞享5年 7月24日 晴
 1688年 8月20日 貞享5年 7月25日 快晴
 1688年 8月21日 貞享5年 7月26日 陰晴
 1688年 8月22日 貞享5年 7月27日 快晴 (平賀庄尾崎組柏木町に15・6男乞食倒死)
 1688年 8月23日 貞享5年 7月28日 快晴 (猿賀組四屋村の彦左衛門新米差上げる・大鱈御菜園からも上がる、御用金200両差登、田舎庄横内組濱館村の外に24・5女乞食倒死)
 1688年 8月24日 貞享5年 7月29日 快晴 午の下刻より陰 戌の刻雷発す 亥より雨 夜に及ぶ (鼻和庄駒越村川原に50斗男乞食倒死、浦町組代官に山上四郎兵衛)
 1688年 8月25日 貞享5年 7月30日 陰晴
 1688年 8月26日 貞享5年 8月1日 快晴 (御用番氏名のみ) (昨夜八時鷹匠町に付け火・小火)
 1688年 8月27日 貞享5年 8月2日 快晴 (百沢寺が苔の実御城へ差上げる)
 1688年 8月28日 貞享5年 8月3日 快晴 (和徳町34軒に救い米3軒に1俵宛)
 1688年 8月29日 貞享5年 8月4日 快晴
 1688年 8月30日 貞享5年 8月5日 晴
 1688年 8月31日 貞享5年 8月6日 曇 辰の中刻より雨 巳の中刻に及び止む それより時々雨 戌の刻地震 夜中時々雨

1688年 9月1日 貞享5年 8月7日 晦 辰の刻雷数発 同后刻より雨 巳の上刻止む 同午刻より陰晴小雷発す 時々風雨
 1688年 9月2日 貞享5年 8月8日 快晴
 1688年 9月3日 貞享5年 8月9日 陰晴 酉の上刻より雨 終夜に及ぶ
 1688年 9月4日 貞享5年 8月10日 曇 昨夜より雨 今辰の刻に及び止む 巳の下刻より風雨 午の刻止む 夜に入り小雨
 1688年 9月5日 貞享5年 8月11日 曇 時々小風雨 (江戸の屋敷が神田から浅草に移った)
 1688年 9月6日 貞享5年 8月12日 快晴 (鮭入札の覚え: つなしらず(不知綱)300目・荒川38匁5分5厘・堤川75匁3分5厘・新田川22匁5分5厘・?8匁1分5厘、船水村に64・5男乞食倒死)
 1688年 9月7日 貞享5年 8月13日 曇 酉の後刻より雨時々 終夜に及ぶ (御蔵古籾1俵12匁で入札、12日昼田舎庄浦町組小館村に男縊死)
 1688年 9月8日 貞享5年 8月14日 曇 午の中刻より時々小雨 (大円寺内に40斗男乞食倒死)
 1688年 9月9日 貞享5年 8月15日 快晴
 1688年 9月10日 貞享5年 8月16日 陰晴
 1688年 9月11日 貞享5年 8月17日 陰晴 酉の刻より夜中時々小雨 (13日夜九頃浦町組上野村庄屋家焼失軒)
 1688年 9月12日 貞享5年 8月18日 卯の刻より雨 終日終夜に及ぶ (去年8月牢舎の馬盗人今日病死、昨17日綱しらす沖であさらし(アザラシ)上がる)
 1688年 9月13日 貞享5年 8月19日 昨日より雨 終日 戌の下刻より雷電数発 大雨 終夜に及ぶ
 1688年 9月14日 貞享5年 8月20日 昨日より雨 今巳の刻に及び止む 夜に入り雨
 1688年 9月15日 貞享5年 8月21日 曇 午の下刻より雨 終日終夜に及ぶ
 1688年 9月16日 貞享5年 8月22日 曇 未の上刻より雨 終日に及ぶ
 1688年 9月17日 貞享5年 8月23日 陰晴 未の中刻より甚だしい雨 申の下刻止む
 1688年 9月18日 貞享5年 8月24日 曇 午の下刻雷発す 同刻より雨 則時止む
 1688年 9月19日 貞享5年 8月25日 晴
 1688年 9月20日 貞享5年 8月26日 晴 (昨日土器町矢場入り口に女乞食倒死)
 1688年 9月21日 貞享5年 8月27日 晴 夜に入り雨 雷数発 (初鮭1尺青森漁師頭差上げる)
 1688年 9月22日 貞享5年 8月28日 陰晴 午の下刻雨 則時止む (昨27日御家中が酒で喧嘩負傷1人、二番鮭十三より上がる)
 1688年 9月23日 貞享5年 8月29日 曇 (25日八幡崎村に水飲縊死、赤石組金井ヶ沢村に者乞食倒死)
 1688年 9月24日 貞享5年 9月1日 晦 巳の刻少し雨 (御用番氏名のみ)
 1688年 9月25日 貞享5年 9月2日 晴 午の中刻より晦 (昨29日田舎庄飯詰組原子村に50斗男乞食倒死)
 1688年 9月26日 貞享5年 9月3日 晦 夜に入り雨 (尾崎組四屋村より新米上がる)
 1688年 9月27日 貞享5年 9月4日 終日晦 午の下刻より細雨 酉の刻より甚だしい雨
 1688年 9月28日 貞享5年 9月5日 昨夜より甚だしい雨夜中 今辰の刻に及ぶ 今日も時々雨(従昨夜甚雨夜中及辰刻今日茂時々雨)
 1688年 9月29日 貞享5年 9月6日 陰晴 (元寺町に50斗男乞食倒死)
 1688年 9月30日 貞享5年 9月7日 陰晴 初大霜 (新寺町大橋の下に女乞食死亡・10~15日も前に死んだらしい、古懸山不動三尊とも御出汗)
 1688年 10月1日 貞享5年 9月8日 陰晴
 1688年 10月2日 貞享5年 9月9日 晦 午の刻より時々雨
 1688年 10月3日 貞享5年 9月10日 曇 (9日大鱈組石川村に18斗女乞食倒死)
 1688年 10月4日 貞享5年 9月11日 晦 酉の刻より雷発す 夜に入り少々雨 (馬場尻村に55・6男乞食倒死)
 1688年 10月5日 貞享5年 9月12日 曇 午の刻より雨時々 辰の刻西より北へ虹あり 夜中時々雨 (今日鱈ヶ沢の男病死)
 1688年 10月6日 貞享5年 9月13日 晴 (田舎庄赤田組灰沼村に60斗男乞食倒死)
 1688年 10月7日 貞享5年 9月14日 快晴 大霜
 1688年 10月8日 貞享5年 9月15日 晴 夜に入り雨 終夜に及ぶ
 1688年 10月9日 貞享5年 9月16日 昨夜より雨降続く 午の刻止み曇 同刻地震
 1688年 10月10日 貞享5年 9月17日 終日晦
 1688年 10月11日 貞享5年 9月18日 快晴
 1688年 10月12日 貞享5年 9月19日 快晴 霜
 1688年 10月13日 貞享5年 9月20日 陰晴
 1688年 10月14日 貞享5年 9月21日 曇 未の刻より雨 終夜に及ぶ 亥の刻風 則時止む
 1688年 10月15日 貞享5年 9月22日 昨未の刻より雨 今卯の刻に及び曇 夜に入り時々雨
 1688年 10月16日 貞享5年 9月23日 晦 午の刻より少し風
 1688年 10月17日 貞享5年 9月24日 陰晴 岩木山頂上へ初雪積る (平賀庄猿賀組高木村に60斗男乞食倒死)
 1688年 10月18日 貞享5年 9月25日 快晴 午の中刻少し風 夜に入り雨
 1688年 10月19日 貞享5年 9月26日 晦 巳の刻より雨 午の下刻止む
 1688年 10月20日 貞享5年 9月27日 快晴 大霜
 1688年 10月21日 貞享5年 9月28日 曇 酉の刻より雨 雷数発 雨 終夜に及ぶ
 1688年 10月22日 貞享5年 9月29日 陰晴 夜に入り雨 (今朝男卒死)
 1688年 10月23日 貞享5年 9月30日 陰晴
 1688年 10月24日 貞享5年 10月1日 陰晴 申の中刻より雨 終夜に及ぶ (御用番氏名のみ)
 1688年 10月25日 貞享5年 10月2日 昨夜より雨 今辰の刻に及び止む 午の刻より時々雨 終夜に及ぶ
 1688年 10月26日 貞享5年 10月3日 晦 辰の刻より少し雨 午の刻より止み陰晴
 1688年 10月27日 貞享5年 10月4日 快晴 戌の下刻より甚だしい風雨 終夜に及ぶ (鱈ヶ沢御蔵残米60俵・1俵15匁8分宛)
 1688年 10月28日 貞享5年 10月5日 曇 時々雨 少し風 未の刻より初霜 申の刻止む 夜に入り風
 1688年 10月29日 貞享5年 10月6日 晴 岩木山へ雪積る
 1688年 10月30日 貞享5年 10月7日 晴 午の刻雨 則時止む
 1688年 10月31日 貞享5年 10月8日 卯の刻より雷数発 少し風雨 巳の上刻に及び止む 午の刻より陰晴 (鎌田木工太夫(8月28日記述の事件)の知行召上げ)

1688年 11月1日 貞享5年	10月9日 酉の刻より雨 雷発す 辰の刻より甚だしい風雨 午の刻よりしゅう 未の刻より風止む
1688年 11月2日 貞享5年	10月10日 晦 夜に入り少し雪所々 山々へも雪積る (御年貢代銭1俵14匁宛、3月に牢舎の火付けの妻牢死、元寺町に40斗者乞食倒死)
1688年 11月3日 貞享5年	10月11日 快晴 子の刻大地震
1688年 11月4日 貞享5年	10月12日 霜 陰晴
1688年 11月5日 貞享5年	10月13日 晦
1688年 11月6日 貞享5年	10月14日 晦 午の刻より少し風 (御家中が他家の家来を手打ち、10日昼八時頃藤崎村に53・4男倒・(まもなく)死、昨夜親方町で倅自害)
1688年 11月7日 貞享5年	10月15日 陰晴
1688年 11月8日 貞享5年	10月16日 陰晴 酉の刻より雨 終夜に及ぶ
1688年 11月9日 貞享5年	10月17日 昨夜中より雨 今日巳の刻に及び止み陰晴 (当月6日改元・元禄と江戸で仰せ渡し)
1688年 11月10日 貞享5年	10月18日 晦
1688年 11月11日 貞享5年	10月19日 大霜 陰晴 夜に入り雨
1688年 11月12日 貞享5年	10月20日 晦 未の上刻より西より東へ虹あり 寅の刻地震
1688年 11月13日 貞享5年	10月21日 晴 午の下刻より曇
1688年 11月14日 貞享5年	10月22日 陰晴 午の刻より晦
1688年 11月15日 貞享5年	10月23日 晦 未の刻より雨 夜中に及ぶ
1688年 11月16日 貞享5年	10月24日 昨夜より弘前における初雪 時々少し雪 終日に及ぶ
1688年 11月17日 貞享5年	10月25日 晦 (亀甲町の24坪の所1ヶ月に8匁宛の宿賃)
1688年 11月18日 貞享5年	10月26日 大霜 晦 午の下刻より雨 夜に及ぶ
1688年 11月19日 貞享5年	10月27日 昨夜中より少し雪 今日終日に及ぶ
1688年 11月20日 貞享5年	10月28日 陰晴 夜に入り時々雨
1688年 11月21日 貞享5年	10月29日 晦 (初鱈1尾青森漁師頭上げる)
1688年 11月22日 貞享5年	10月30日 晦
1688年 11月23日 元禄元年	11月1日 曇 戌の中刻より雨 終夜に及ぶ 丑の刻雷数発 (御用番氏名のみ)
1688年 11月24日 元禄元年	11月2日 昨夜より雨 今日巳の刻に及ぶ 同后刻より甚だしい雪風 (二番鱈青森より上がる)
1688年 11月25日 元禄元年	11月3日 昨夜より甚だしい雪 終日に及ぶ 夜に入り止む
1688年 11月26日 元禄元年	11月4日 曇 辰の中刻少し雪 (当夏所々へ御売賃(意味不明)米値段1俵:当7月高値段代銭21匁6分5厘銀に \times 19匁4分1厘7毛・当月の値段代銭10匁銀に締め14匁6分5厘)
1688年 11月27日 元禄元年	11月5日 曇 午の上刻より陰晴 同中刻より快晴 (2日の大風雨・波で深浦の住家7軒潰れ破船4艘・鯉ヶ沢にも被害あり、3日未刻猿賀組高木村で火災1軒)
1688年 11月28日 元禄元年	11月6日 快晴 (2・3日の嵐で轟木・金井ヶ沢村で3軒破損)
1688年 11月29日 元禄元年	11月7日 晴 巳の下刻より雨 終日終夜に及ぶ (初鱈110鱈ヶ沢より上がる)
1688年 11月30日 元禄元年	11月8日 陰晴
1688年 12月1日 元禄元年	11月9日 曇天
1688年 12月2日 元禄元年	11月10日 陰晴
1688年 12月3日 元禄元年	11月11日 陰晴
1688年 12月4日 元禄元年	11月12日 晴 夜に入り少し雪 (2日3日の大風で家が潰れた百姓1軒に3俵・水呑2軒に1俵宛救い米)
1688年 12月5日 元禄元年	11月13日 陰晴
1688年 12月6日 元禄元年	11月14日 昨夜より時々雨 午の下刻甚だしい雨 則時止む
1688年 12月7日 元禄元年	11月15日 晴
1688年 12月8日 元禄元年	11月16日 曇 午の下刻雨 則時止む (脇差盗んだ男牢死)
1688年 12月9日 元禄元年	11月17日 晴 未の刻より少し風 (猫右衛門町の大工が今朝牢死、馬盗人男牢死)
1688年 12月10日 元禄元年	11月18日 陰晴
1688年 12月11日 元禄元年	11月19日 曇 午の下刻より雨 夜に及び止む
1688年 12月12日 元禄元年	11月20日 卯の刻より時々雪 終日終夜に及ぶ
1688年 12月13日 元禄元年	11月21日 昨夜より時々雪 終日に及ぶ
1688年 12月14日 元禄元年	11月22日 酉の刻より少し雨 辰の刻止み曇 (2日・3日の深浦の大風被害者に拝借米1軒に3俵半など)
1688年 12月15日 元禄元年	11月23日 曇 午の下刻より少し雪 (追い鳥狩:雉子206・免2・梟1、去年9月22日牢舎の男牢死)
1688年 12月16日 元禄元年	11月24日 昨夜より雪 終日終夜に及ぶ (和徳村はつれに50斗男倒死、2・3日の大風大波で今別の稲1020束流失)
1688年 12月17日 元禄元年	11月25日 晴 午の中刻雪 夜に入り大雪積
1688年 12月18日 元禄元年	11月26日 曇 時々少し雪 (23日広田組唐笠柳村と吹畑村の間に40斗男乞食倒死)
1688年 12月19日 元禄元年	11月27日 陰晴 少し雪
1688年 12月20日 元禄元年	11月28日 曇 時々少し雪
1688年 12月21日 元禄元年	11月29日 快晴 (28日田舎庄浪岡組八幡林に48・9男乞食倒死、茂森町に50余男乞食倒死)
1688年 12月22日 元禄元年	11月30日 陰晴
1688年 12月23日 元禄元年	12月1日 晦 (御用番氏名のみ)
1688年 12月24日 元禄元年	12月2日 晴 (御家中の家来成敗)
1688年 12月25日 元禄元年	12月3日 陰晴 酉の刻より夜中雨
1688年 12月26日 元禄元年	12月4日 卯の刻より少し雪時々 終日に及ぶ
1688年 12月27日 元禄元年	12月5日 晦 未の上刻雪 夜に入り風 (新町に12・3男子乞食倒死)
1688年 12月28日 元禄元年	12月6日 曇 昨夜より雪 終日終夜に及ぶ 少し風
1688年 12月29日 元禄元年	12月7日 昨夜より雪 終日に及ぶ
1688年 12月30日 元禄元年	12月8日 晦 時々雪
1688年 12月31日 元禄元年	12月9日 陰晴 少し雪時々 夜に及ぶ

1689年 1月1日 元禄元年 12月10日 曇 午の下刻より雪 (御用金300両差上げる、和徳組和徳村御歩行町先川端に40斗男乞食倒死) 下から続く 町の男走る、12月8日雪で屋敷潰れる)
 1689年 1月2日 元禄元年 12月11日 昨夜より大雪積 終日終夜に及ぶ (霜月2・3日の大波に家屋敷流失の小泊村の3人に1俵宛救い米、赤石組で稲流れ7100束・百姓15軒に救い米35俵2斗4合、11月9日土手 上に続く
 1689年 1月3日 元禄元年 12月12日 曇 時々少し雪
 1689年 1月4日 元禄元年 12月13日 曇 時々少し雪
 1689年 1月5日 元禄元年 12月14日 快晴
 1689年 1月6日 元禄元年 12月15日 快晴 戌の刻より少し雨 (御用金300両差上げる)
 1689年 1月7日 元禄元年 12月16日 曇 昨夜より小雨時々 終日に及ぶ (昨15日酉下刻貞昌寺内西福寺焼失)
 1689年 1月8日 元禄元年 12月17日 曇 時々雪 (黒大豆2斗1升代錢6匁8分、後湯組前田村で12月5日火災・家1軒軋9俵稲800束焼失、赤石組御売借米1俵に付15匁5分5厘)
 1689年 1月9日 元禄元年 12月18日 曇 時々雪 (4斗3升5合入り1俵17匁8分9厘、同入り大豆1俵17匁5分4厘、餅米1俵17匁8分9厘)
 1689年 1月10日 元禄元年 12月19日 曇 時々小雪
 1689年 1月11日 元禄元年 12月20日 曇 終日雪吹 (和徳組富田村に34・5男乞食倒死、火付け道具持った男牢死)
 1689年 1月12日 元禄元年 12月21日 曇 時々雪 (川向の御材木場仮小屋に者乞食倒死)
 1689年 1月13日 元禄元年 12月22日 陰晴
 1689年 1月14日 元禄元年 12月23日 時々雪吹 終日終夜に及ぶ
 1689年 1月15日 元禄元年 12月24日 時々雪
 1689年 1月16日 元禄元年 12月25日 陰晴
 1689年 1月17日 元禄元年 12月26日 曇 時々雪吹く 終日に及ぶ (押米値段当月20日まで平均1俵に付銀にて16匁4厘・錢にて17匁4分、大豆1俵銀にて12匁8分1厘錢にて13匁8分9厘8毛、深浦の拝借米1俵につき代錢18匁)
 1689年 1月18日 元禄元年 12月27日 陰晴
 1689年 1月19日 元禄元年 12月28日 曇 西の中刻地震
 1689年 1月20日 元禄元年 12月29日 曇 時々小雪 夜に入り甚だしい雪風
 1689年 1月21日 元禄2年 正月1日 昨夜より雪積る 今日終日に及ぶ (御用番氏名のみ)
 1689年 1月22日 元禄2年 正月2日 昨夜より甚だしい雪 今日終日終夜吹雪
 1689年 1月23日 元禄2年 正月3日 曇天 (東長町に者乞食倒死、御吉例として200両差登)
 1689年 1月24日 元禄2年 正月4日 陰晴
 1689年 1月25日 元禄2年 正月5日 曇 雪颯る
 1689年 1月26日 元禄2年 正月6日 陰晴 時々小雪 申の上刻止む
 1689年 1月27日 元禄2年 正月7日 昨夜より吹雪 今日終日に及ぶ
 1689年 1月28日 元禄2年 正月8日 曇 時々小雪 午の下刻より晴 (御家中屋敷前に倒死1人)
 1689年 1月29日 元禄2年 正月9日 曇 時々小雪
 1689年 1月30日 元禄2年 正月10日 昨夜より雪 今日夜に入り吹雪 (旧臘(きゅうろう:去年12月)14日独狐村で37・8乞食大雪に遭い倒・今8日晚死)
 1689年 1月31日 元禄2年 正月11日 吹雪 今日終日終夜に及ぶ
 1689年 2月1日 元禄2年 正月12日 吹雪甚だしい 終日終夜に及ぶ
 1689年 2月2日 元禄2年 正月13日 曇 小雪
 1689年 2月3日 元禄2年 正月14日 陰晴 時々小雪
 1689年 2月4日 元禄2年 正月15日 陰晴
 1689年 2月5日 元禄2年 正月16日 晴 巳の刻より時々吹雪 (去年11月朔日・2日の大潮に付流れ家18軒・破損225軒・塩竈流失13箇所・破損16箇所・田地永荒1反8畝・牛4頭流死、江戸より米を出せとの指示)
 1689年 2月6日 元禄2年 正月17日 陰晴 時々小雪
 1689年 2月7日 元禄2年 正月18日 晴 午の中刻より小雨 夜に入り止む
 1689年 2月8日 元禄2年 正月19日 快晴
 1689年 2月9日 元禄2年 正月20日 曇 時々しゅう 夜に及び止む (愛宕山の鱧口盗み去年6月牢舎の男牢死)
 1689年 2月10日 元禄2年 正月21日 曇 辰の刻よりしゅう 巳の中刻より止む
 1689年 2月11日 元禄2年 正月22日 快晴 戌の中刻より大雪 終夜に及ぶ
 1689年 2月12日 元禄2年 正月23日 曇 (一昨21日晚五所川原の内赤堀村で出家殺害される)
 1689年 2月13日 元禄2年 正月24日 晴
 1689年 2月14日 元禄2年 正月25日 陰晴 夜に入り雪積る
 1689年 2月15日 元禄2年 正月26日 曇 時々雪
 1689年 2月16日 元禄2年 正月27日 快晴
 1689年 2月17日 元禄2年 正月28日 曇 吹雪 夜に入り大雪 終夜に及ぶ
 1689年 2月18日 元禄2年 正月29日 昨夜より吹雪 今日巳の刻に及び止み陰晴
 1689年 2月19日 元禄2年 正月30日 晴 小風 (28日夜藤代組床前村の大風で家潰れ男1人死亡、染屋町枅形の内に54・5男乞食倒死)
 1689年 2月20日 元禄2年 閏正月1日 快晴 (御用番氏名のみ)
 1689年 2月21日 元禄2年 閏正月2日 曇 雪颯る (去月28日の大雪で高根村の男十三湯の内で吹き倒れ死亡)
 1689年 2月22日 元禄2年 閏正月3日 陰晴 雪颯る
 1689年 2月23日 元禄2年 閏正月4日 陰晴 時々少し雪 西の刻より吹雪 終夜に及ぶ (先月27日晚枯木平牧から欠落)
 1689年 2月24日 元禄2年 閏正月5日 晴 少し雪
 1689年 2月25日 元禄2年 閏正月6日 陰晴 (藤代組町田村に50斗男乞食倒死)
 1689年 2月26日 元禄2年 閏正月7日 快晴 (先月28日晚赤石組鴨村で雪なて(なだれ)・家1軒・馬2疋・牛2頭斃)
 1689年 2月27日 元禄2年 閏正月8日 陰晴 午の刻より曇 少し雨
 1689年 2月28日 元禄2年 閏正月9日 快晴 (津軽外記病死)

1689年 3月1日 元禄2年 閏正月10日寅の刻より雨天 終日に及ぶ 夜に入り大風吹き終夜に及ぶ
 1689年 3月2日 元禄2年 閏正月11日時々少し雪 少し風 (東大工町に44・5女乞食倒死)
 1689年 3月3日 元禄2年 閏正月12日陰晴 (10日の雨で石川渡・藤崎渡の橋に被害、大鱈組石川村で火災1軒)
 1689年 3月4日 元禄2年 閏正月13日曇 酉の刻より吹雪 終夜に及ぶ
 1689年 3月5日 元禄2年 閏正月14日曇 吹雪
 1689年 3月6日 元禄2年 閏正月15日昨夜より吹雪 終日に及ぶ
 1689年 3月7日 元禄2年 閏正月16日今日も吹雪 午の刻に及び止む
 1689年 3月8日 元禄2年 閏正月17日快晴 (10日御家中の家来婦き倒(吹き倒れ)死)
 1689年 3月9日 元禄2年 閏正月18日快晴 (和徳組堅田村に40斗男乞食倒死)
 1689年 3月10日 元禄2年 閏正月19日快晴
 1689年 3月11日 元禄2年 閏正月20日晴 (去年7月の馬盗人男牢死)
 1689年 3月12日 元禄2年 閏正月21日快晴
 1689年 3月13日 元禄2年 閏正月22日快晴 小風 夜に入り小雨
 1689年 3月14日 元禄2年 閏正月23日曇 午の上刻より風雨 同下刻より曇 終日に及ぶ
 1689年 3月15日 元禄2年 閏正月24日晴
 1689年 3月16日 元禄2年 閏正月25日快晴
 1689年 3月17日 元禄2年 閏正月26日晴 戌の上刻より甚だしい風雨 終夜に及ぶ
 1689年 3月18日 元禄2年 閏正月27日昨夜より雨 巳の刻に及ぶ 終日曇天 (藤崎渡に長船・桂・長さ8尋3尺・敷(船の幅?)2尺3寸・高さ1尺2寸・この代銭100目など)
 1689年 3月19日 元禄2年 閏正月28日陰晴 未の上刻より時々少し雨 夜に入り雪積る
 1689年 3月20日 元禄2年 閏正月29日昨夜より雪 今朝辰の刻より甚だしい風雪 終日に及ぶ
 1689年 3月21日 元禄2年 2月1日 時々小雪 (御用番氏名のみ)
 1689年 3月22日 元禄2年 2月2日 晴 (昨朔日常盤組榊村に62・3男(乞食ではない)倒死)
 1689年 3月23日 元禄2年 2月3日 陰晴
 1689年 3月24日 元禄2年 2月4日 辰の中刻より雨 終日終夜に及ぶ 今日彼岸に入る
 1689年 3月25日 元禄2年 2月5日 晴 申の下刻より雨 終夜に及ぶ 丑の刻より風 (一昨夜深浦で火事、赤石組風合瀬村の水飲に救い米5斗7合、広須組5ヶ村の百姓20軒に2俵宛・水飲36軒に1俵宛救い米・悪靱の内にて)
 1689年 3月26日 元禄2年 2月6日 昨夜より雨 今朝卯の刻しゅう 同下刻より雨 終日に及ぶ (去年2月入牢の盗人男牢死、3日夜の深浦大火・99軒(内百姓33・町の者66)・馬4疋焼失・1軒に1俵の御救い米)
 1689年 3月27日 元禄2年 2月7日 昨夜より雨 今日時々小雨 終日に及ぶ
 1689年 3月28日 元禄2年 2月8日 昨日より雨 未の刻止み風吹く 巳の中刻雷発す (6日夜油川組十三森村で火災1軒)
 1689年 3月29日 元禄2年 2月9日 寅の刻地震 辰の中刻地震 陰晴 (尾崎組小国切明村の百姓30軒に救い米悪靱1俵宛)
 1689年 3月30日 元禄2年 2月10日 快晴 夜に入り雨 終夜に及ぶ
 1689年 3月31日 元禄2年 2月11日 陰晴 (昨夜鷹匠町に小火)
 1689年 4月1日 元禄2年 2月12日 曇天 (浪岡組4か村65軒に御救い米・悪靱の内・百姓7軒に1俵宛・水飲58軒に半俵宛)
 1689年 4月2日 元禄2年 2月13日 卯の刻より細雨 午の中刻止む 終日曇
 1689年 4月3日 元禄2年 2月14日 陰晴 巳の下刻より雨 (深浦火災の救い米を2俵追加して3俵宛にする)
 1689年 4月4日 元禄2年 2月15日 陰晴 戌の中刻地震
 1689年 4月5日 元禄2年 2月16日 快晴 (一昨13日屋広田組姥ヶ菴村で雪水で橋流れる)
 1689年 4月6日 元禄2年 2月17日 昨夜より雨 終日に及ぶ
 1689年 4月7日 元禄2年 2月18日 晴 風 夜に入り細雨 則刻止む (深浦町類火に逢った借宅の者11人に半俵宛の御救米) 下から続く 御伝馬役27軒に2俵宛救い米、鯉ヶ沢町年寄りから200俵拝借願ひ・1俵17匁で)
 1689年 4月8日 元禄2年 2月19日 快晴 小風 (比内大館より去秋来た馬盗人を取上で磔、閏正月28日鴨村の雪にて被害者に御救い米2俵、藤代組出来嶋村4軒に1俵宛・長浜村9軒に2俵宛救い米、十腰内村 上に続く
 1689年 4月9日 元禄2年 2月20日 霽 夜に入り雨 終夜に及ぶ
 1689年 4月10日 元禄2年 2月21日 昨夜より雨 辰の中刻に及び止む 巳の刻より陰晴 亥の刻より風雨
 1689年 4月11日 元禄2年 2月22日 晴 午の中刻曇 雷発す 則時止む (三世寺と板屋野木の間で御蔵米運送の船破船、猿賀組沖浦村の百姓6軒に1俵宛・長崎村の百姓3軒に2俵宛御救い米)
 1689年 4月12日 元禄2年 2月23日 快晴 小風 (昨22日屋未尅後潟組六枚橋村の庄屋家火災・7軒年貢米57俵と馬2疋焼失) 下から続く ・銭530目・銀金7両分・木綿37反・古手11・味噌3樽焼失)
 1689年 4月13日 元禄2年 2月24日 霽 小風 (2月22日俄が大風・三つ屋村などの2艘破船5人死亡、22日の後潟組六枚橋村で火災・9斗入り年貢米57俵・種粃3斗入り74俵・馬2疋・大豆5俵・塩49俵・たばこ430斤 上に続く
 1689年 4月14日 元禄2年 2月25日 卯の刻より辰の刻まで霽 陰晴 (十三に鯨寄せる)
 1689年 4月15日 元禄2年 2月26日 陰晴 風
 1689年 4月16日 元禄2年 2月27日 寅の中刻より雨 卯の刻雷数発 上刻より止む それより陰晴 風吹く (枯木平村の8軒に種粃と飯米各1俵宛、22日六枚橋の遭火百姓に3俵・手代に2俵・水飲に1俵宛都合14俵の御救い米)
 1689年 4月17日 元禄2年 2月28日 大霜 快晴
 1689年 4月18日 元禄2年 2月29日 曇 午の刻より雨 同中刻地震 申の刻雨止む (28日田舎庄後潟村で火災1軒・馬2疋・種粃2俵焼失)
 1689年 4月19日 元禄2年 2月30日 霽 小風
 1689年 4月20日 元禄2年 3月1日 晴 (御用番氏名のみ)
 1689年 4月21日 元禄2年 3月2日 晴 小風
 1689年 4月22日 元禄2年 3月3日 晴 午の刻風 未の刻より止む (藤代組唐川村の4軒中去年庄屋など2軒が逐電・その後残る2軒も出奔)
 1689年 4月23日 元禄2年 3月4日 霜 快晴 (飯詰組433軒の663石9斗6升ある御収納米の悪靱中3ヶ1を御救米として拝借申付、金木組467軒の1649石4斗6升7合の3ヶ1・広田組445軒の2185石1斗4升6合4夕の3ヶ1も同様)
 1689年 4月24日 元禄2年 3月5日 曇 巳の刻より晴 風吹く (浪岡組吉内村に朔日午刻火付け・70間×10間)
 1689年 4月25日 元禄2年 3月6日 快晴
 1689年 4月26日 元禄2年 3月7日 霜 快晴 (赤石組の百姓に3俵宛・水飲に2俵宛都合584俵の種粃を救い米に遣わず、昨夜堀越組高田村に窃盗団)
 1689年 4月27日 元禄2年 3月8日 大霜 快晴 (日光に赫土500貫目求められる)
 1689年 4月28日 元禄2年 3月9日 快晴 (昨日後潟組奥内山に山火事、和徳組堅田村に殺人14・5男死亡、昨8日夜駒越組中畑村で火災・家1軒馬4疋焼失、2月28日出火の後潟村の火元に御救い米2俵)
 1689年 4月29日 元禄2年 3月10日 晴 四方山々霞 小風 夜に入り雨
 1689年 4月30日 元禄2年 3月11日 昨夜より雨 今日巳の刻に及び止む 午の刻大雨 則時止み曇 (7日屋中師村の後山に野火)

1689年 5月1日 元禄2年 3月12日 晴 小風 (一昨10日夜鰐ヶ沢で火災1軒、柏木組村々の日雇い39軒に半俵宛御救い米、赤田組村々百姓30軒に1俵宛水飲48軒に半俵宛御救い米)
 1689年 5月2日 元禄2年 3月13日 晴 巳の下刻より甚だしい風 申の下刻止む (昨12日申半刻頃高杉組熊嶋村で火災2軒焼失、千歳山奥権現堂近所・小栗山近所の松山に野火、虹貝早瀬野山に野火)
 1689年 5月3日 元禄2年 3月14日 晴 四方山々霞 (碓沢へ野火、相馬山へ野火、9日の野火で(碓関?)平山で杉463本焼失)
 1689年 5月4日 元禄2年 3月15日 快晴 (染屋町枳形の外の川原に40斗男乞食倒死)
 1689年 5月5日 元禄2年 3月16日 晴 午の刻より陰晴
 1689年 5月6日 元禄2年 3月17日 晴 小風 (赤石組鴨村の雪にて対策・住民の申し出による、16日夜浪岡組大釈迦村で火災1軒)
 1689年 5月7日 元禄2年 3月18日 快晴
 1689年 5月8日 元禄2年 3月19日 晴 四方山々霞 小風
 1689年 5月9日 元禄2年 3月20日 晴 四方山々霞
 1689年 5月10日 元禄2年 3月21日 晴 四方山々霞 小風 (飯詰・金木・広田組に御救い米増加・悪粃4498石余と御蔵米450石)
 1689年 5月11日 元禄2年 3月22日 晴 四方山々霞 午の刻より陰晴 (尾崎組340軒に悪粃302石9斗余の半分貸し渡す、一昨20日晚赤石組轟木村で火災10軒(庄屋1・百姓5・水飲4)・種枳18俵焼失)
 1689年 5月12日 元禄2年 3月23日 昨酉の上刻より雨 今日に及ぶ、午の刻より止み曇 (当春の大風で家潰れの床舞村百姓に救い米2俵)
 1689年 5月13日 元禄2年 3月24日 曇 時々細雨 (御家中の下女総死、20日轟木村の火災に関し百姓に3俵・水飲に2俵宛救い米、21日十三より鰐ヶ沢への小廻船破船10艘、鰐ヶ沢赤平で破船1艘)
 1689年 5月14日 元禄2年 3月25日 曇 巳の下刻より小風 雨
 1689年 5月15日 元禄2年 3月26日 陰晴 昨夜寅の刻雨
 1689年 5月16日 元禄2年 3月27日 快晴 巳の刻より小風
 1689年 5月17日 元禄2年 3月28日 曇 巳の下刻より雨 酉の刻に及ぶ (昨27日金木組川倉村で火災2軒、一昨26日晚赤石組種里村薬師堂内に野火・杉30本焼失)
 1689年 5月18日 元禄2年 3月29日 曇
 1689年 5月19日 元禄2年 4月1日 晴 (御用番氏名のみ)
 1689年 5月20日 元禄2年 4月2日 曇 巳の刻雷発す 小雨 則時止む 午の下刻より陰晴 酉の下刻雨 (一昨29日赤石組大然村で火災2軒、和徳組富田に50余男乞食倒死)
 1689年 5月21日 元禄2年 4月3日 陰晴 申の刻より小雨 則時止む 東北へ虹あり
 1689年 5月22日 元禄2年 4月4日 快晴
 1689年 5月23日 元禄2年 4月5日 晴
 1689年 5月24日 元禄2年 4月6日 快晴 午の下刻より陰晴 戌の刻より雨 終夜に及ぶ (増館・高杉・赤石・広須組に仕付飯米として無利で悪粃90石と970俵拝借申付ける)
 1689年 5月25日 元禄2年 4月7日 昨戌の刻より雨 今日巳の刻に及び止む 午の中刻より陰晴
 1689年 5月26日 元禄2年 4月8日 陰晴
 1689年 5月27日 元禄2年 4月9日 曇
 1689年 5月28日 元禄2年 4月10日 曇 巳の中刻より晴 (御家中の家来が火付け・12日まで晒し火罪、赤石組大然の被災者2軒に御救い米2俵宛、当月2日後湯組前田・奥内・瀬戸子村と油川組飛鳥村に氷降る)
 1689年 5月29日 元禄2年 4月11日 晴 風少し (赤石組風合瀬以南16村の159人に仕付飯米として深浦の米150俵を無利で貸し渡す)
 1689年 5月30日 元禄2年 4月12日 陰晴 (浪岡・大罾組の仕付飯米に悪粃542俵余を無利で拝借申付ける、火罪実施)
 1689年 5月31日 元禄2年 4月13日 晴
 1689年 6月1日 元禄2年 4月14日 陰晴 酉の上刻より雨 終夜に及ぶ
 1689年 6月2日 元禄2年 4月15日 曇 卯の中刻南より北へ虹あり 巳の刻より陰晴 同刻より風 未の刻止む (昨14日駒越組葛原村で火災1軒、御金奉行役所の壁破られる)
 1689年 6月3日 元禄2年 4月16日 晴 (御館神禰宜に御救い米1俵)
 1689年 6月4日 元禄2年 4月17日 晴 (広須御新田去年米値段1俵銭にて12匁5軒、尾崎組に夫喰米151石4斗余無利で拝借申付ける)
 1689年 6月5日 元禄2年 4月18日 卯の中刻四方山霞む 辰の刻に及び快晴
 1689年 6月6日 元禄2年 4月19日 快晴 午の中刻より小風 (御献上の赫土30箱(10貫200目入り)相立てる)
 1689年 6月7日 元禄2年 4月20日 快晴
 1689年 6月8日 元禄2年 4月21日 晴 小風 酉の刻より雷発す 夜に入り小雨 (田舎館組に仕付飯米として御蔵に納め置いた粃(悪は付いていない)289俵(7斗2升5合入り)余を拝借申付ける)
 1689年 6月9日 元禄2年 4月22日 卯の中刻より雷発す 時々雨 午の下刻止み陰晴
 1689年 6月10日 元禄2年 4月23日 陰晴
 1689年 6月11日 元禄2年 4月24日 曇 卯の中刻より雷発す 大雨 則時止む それより時々雨 酉の上刻大雨 則時止む (19日十面沢の庄屋が久保田で自害)
 1689年 6月12日 元禄2年 4月25日 曇 午の刻より陰晴 (赤田組に仕付飯米粃247俵5斗(無利など同じ)拝借申付ける)
 1689年 6月13日 元禄2年 4月26日 寅の刻より雨 終日に及ぶ (久保田に十面沢の庄屋を引取りに出す)
 1689年 6月14日 元禄2年 4月27日 曇 小風 未の刻より止む (23日鰐ヶ沢で御雇船の水主頓死)
 1689年 6月15日 元禄2年 4月28日 陰晴
 1689年 6月16日 元禄2年 4月29日 陰晴 小風
 1689年 6月17日 元禄2年 5月1日 曇 巳の刻より晴 小風 (御用番氏名のみ) (大罾御菜園より初胡瓜7差上げる)
 1689年 6月18日 元禄2年 5月2日 快晴
 1689年 6月19日 元禄2年 5月3日 辰の刻より雨 午の刻止み曇
 1689年 6月20日 元禄2年 5月4日 曇 (一昨2日子刻蟹田町で火災・46軒と道心寮2カ所・1軒に3俵宛救い米、材木も拝借申付ける、4月29日夜広田組広田村に強盗・捕まる)
 1689年 6月21日 元禄2年 5月5日 曇
 1689年 6月22日 元禄2年 5月6日 辰の上刻より小雨 同下刻まで曇天 (紙御払い代:半紙1丸14匁・下厚紙5束32匁5分・縁厚紙2束で9匁、田舎庄小国新田3村に仕付飯米として御救い米2軒に1俵宛)
 1689年 6月23日 元禄2年 5月7日 曇 午の上刻より晴 小風
 1689年 6月24日 元禄2年 5月8日 曇 午の上刻より晴 小風
 1689年 6月25日 元禄2年 5月9日 陰晴 (蟹田町の大火に伴う追加支援あり)
 1689年 6月26日 元禄2年 5月10日 陰晴 巳の刻より雨 同中刻より大雨 終日 (2月3日深浦町焼失(99軒)の火元入寺御免)
 1689年 6月27日 元禄2年 5月11日 陰晴 (昨10日未刻石渡川洪水・橋流れず、一昨9日未刻赤石組追良瀬村で火災・水飲7軒焼失)
 1689年 6月28日 元禄2年 5月12日 曇 申の下刻より雨時々 夜中に及ぶ
 1689年 6月29日 元禄2年 5月13日 終日曇天
 1689年 6月30日 元禄2年 5月14日 辰の後刻より霞霧 巳の刻に及び止む 終日曇

1689年	7月1日	元禄2年	5月15日	晴
1689年	7月2日	元禄2年	5月16日	晦
1689年	7月3日	元禄2年	5月17日	快晴 (常盤組360軒に郷蔵内の悪粃554俵1斗の半分を草取り飯米として無利で貸す、19日青森でばくち打ち斬罪)
1689年	7月4日	元禄2年	5月18日	曇 時々小雨 (大鰐御菜園より初真瓜2上がる)
1689年	7月5日	元禄2年	5月19日	陰晴
1689年	7月6日	元禄2年	5月20日	曇 未の刻より雨 夜に及ぶ
1689年	7月7日	元禄2年	5月21日	陰晴 小風 (山守3人に救い米1俵宛)
1689年	7月8日	元禄2年	5月22日	曇 巳の刻より雨 午の刻止む
1689年	7月9日	元禄2年	5月23日	晴 (碓関道奉行手付けに御救い米2俵)
1689年	7月10日	元禄2年	5月24日	陰晴 巳の刻より風 酉の上刻より雨 夜に及ぶ (昨日男牢死、青森湊に281・平館港に603本の寄せ材木)
1689年	7月11日	元禄2年	5月25日	昨酉の上刻より雨 辰の后刻に及ぶ 未の刻より雨 酉の刻に及ぶ (一昨23日巳刻時分金木組相打村で火災・3軒と牛1頭焼失)
1689年	7月12日	元禄2年	5月26日	曇 午の中刻より雨時々 夜に及ぶ
1689年	7月13日	元禄2年	5月27日	晦 巳の刻より小雨 午の后刻に及び止む
1689年	7月14日	元禄2年	5月28日	昨夜より雨 今巳の刻に及ぶ 終日曇 夜に入り雨
1689年	7月15日	元禄2年	5月29日	曇 午の刻雷発す (藤崎・浪岡・増館・広須・藤代・柏木組郷蔵中の悪粃1844俵余を草取り飯米に無利拝借、青森で男牢死、江戸から御葉御用として阿芙蓉(あへんのこと)を求められる)
1689年	7月16日	元禄2年	5月30日	陰晴 (昨29日大鰐組唐牛村古館の堀に55・6男縊死、今日男牢死)
1689年	7月17日	元禄2年	6月1日	陰晴 (御用番氏名のみ) (外濱中鮭川御役銀入札 野内川7両2銭25匁3分5厘(去年より54匁6分5厘下値・7両は銭に×560目)・原別川1貫255匁(255匁高値)・荒川31匁(7匁5分5厘下値))
1689年	7月18日	元禄2年	6月2日	快晴
1689年	7月19日	元禄2年	6月3日	快晴
1689年	7月20日	元禄2年	6月4日	晴
1689年	7月21日	元禄2年	6月5日	陰晴 未の刻より曇 申の刻過ぎ雨 則時止む (弘前町中にて取り候阿芙蓉正味17匁3分と御歩行目付申し立てる・阿へん取りに在々へ表坊主を遣わし候)
1689年	7月22日	元禄2年	6月6日	快晴
1689年	7月23日	元禄2年	6月7日	曇 巳の刻より晴 (先月23日金木組相打村の被災者百姓2軒に3俵宛・水呑に2俵、5月9日赤石組追良瀬村の火災の水呑7軒に2俵宛救い米)
1689年	7月24日	元禄2年	6月8日	曇 巳の中刻より晴
1689年	7月25日	元禄2年	6月9日	陰晴
1689年	7月26日	元禄2年	6月10日	陰晴 小風 未の刻より甚だしい風
1689年	7月27日	元禄2年	6月11日	辰の刻より雨 陰晴 酉の刻より雨 則時止む
1689年	7月28日	元禄2年	6月12日	陰晴 巳の刻より雨 則時止む 午の刻小風 (10日夜浪岡組五本松村で火災1軒)
1689年	7月29日	元禄2年	6月13日	快晴 (薬王院へ盗人入り捕まる)
1689年	7月30日	元禄2年	6月14日	陰晴 申の刻より雨 終夜に及ぶ 夜に入り雷発す
1689年	7月31日	元禄2年	6月15日	昨夜より雨 終日終夜に及ぶ (常盤組360軒に草取り飯米として郷蔵中の真年(1686)御取納米の5月17日拝借の残りの半分無利で拝借・浦町組雲谷村の64軒に御蔵米64俵拝借申付る)
1689年	8月1日	元禄2年	6月16日	昨夜より雨 今午の刻に及び止む 陰晴 (一昨14日晚より今朝までの大雨で藤崎川洪水・水高3尺5寸程)
1689年	8月2日	元禄2年	6月17日	陰晴 (阿芙蓉正味2匁9分寺社方・同38匁9分在々より)
1689年	8月3日	元禄2年	6月18日	陰晴
1689年	8月4日	元禄2年	6月19日	陰晴
1689年	8月5日	元禄2年	6月20日	晴 (蟹田町出火(5月2日)の火元入寺赦免)
1689年	8月6日	元禄2年	6月21日	晴
1689年	8月7日	元禄2年	6月22日	陰晴 巳の刻より小雨 午の刻に及び止む
1689年	8月8日	元禄2年	6月23日	曇 巳の中刻より雨 (公文書偽造の足軽斬罪)
1689年	8月9日	元禄2年	6月24日	曇 午の下刻より晴 (大鰐御菜園より初焼き米?上がる)
1689年	8月10日	元禄2年	6月25日	曇 午の上刻より陰晴
1689年	8月11日	元禄2年	6月26日	陰晴 午の上刻雨 終夜に及ぶ
1689年	8月12日	元禄2年	6月27日	曇 辰の中刻より雨 巳の下刻より止む 終日曇
1689年	8月13日	元禄2年	6月28日	陰晴
1689年	8月14日	元禄2年	6月29日	快晴
1689年	8月15日	元禄2年	7月1日	陰晴 寅の上刻雨 則時止む (御用番氏名のみ) (今朔日辰刻頃兵庫殿一行越境)
1689年	8月16日	元禄2年	7月2日	陰晴 午の刻より小風 (堀越組取上村に44・5男倒死)
1689年	8月17日	元禄2年	7月3日	快晴
1689年	8月18日	元禄2年	7月4日	晴
1689年	8月19日	元禄2年	7月5日	曇 卯の中刻より時々小雨終日 夜に入り雨降
1689年	8月20日	元禄2年	7月6日	曇
1689年	8月21日	元禄2年	7月7日	曇 巳の下刻より雨時々 終夜に及ぶ
1689年	8月22日	元禄2年	7月8日	晦 午の刻より陰晴 (初茸9小栗山よりあがる)
1689年	8月23日	元禄2年	7月9日	曇 (今度御献上の赫土色悪しく御用立ち申さず)
1689年	8月24日	元禄2年	7月10日	寅の刻より雨 辰の下刻止み陰晴 (7日に御家中が乱気の上妻女を切り殺す、津軽毅負与力に山上勤兵衛)
1689年	8月25日	元禄2年	7月11日	快晴
1689年	8月26日	元禄2年	7月12日	霧 霞 辰の后刻に及び快晴 (小杉村(7月9日)・大鰐御菜園(6月24日)より初米)
1689年	8月27日	元禄2年	7月13日	陰晴 (生類憐みの令を各月番に言い渡す)
1689年	8月28日	元禄2年	7月14日	陰晴 午の刻小雨 則時止む
1689年	8月29日	元禄2年	7月15日	(半月間日記の保存なし)
1689年	8月30日	元禄2年	7月16日	
1689年	8月31日	元禄2年	7月17日	

1689年	9月1日	元禄2年	7月18日	(半月間日記保存なし)
1689年	9月2日	元禄2年	7月19日	
1689年	9月3日	元禄2年	7月20日	
1689年	9月4日	元禄2年	7月21日	
1689年	9月5日	元禄2年	7月22日	
1689年	9月6日	元禄2年	7月23日	
1689年	9月7日	元禄2年	7月24日	
1689年	9月8日	元禄2年	7月25日	
1689年	9月9日	元禄2年	7月26日	
1689年	9月10日	元禄2年	7月27日	
1689年	9月11日	元禄2年	7月28日	
1689年	9月12日	元禄2年	7月29日	
1689年	9月13日	元禄2年	7月30日	
1689年	9月14日	元禄2年	8月1日	終日晦 申の上刻より雨 終夜に及ぶ (御用番氏名のみ)
1689年	9月15日	元禄2年	8月2日	昨夜より雨 今巳の中刻より大雨 終日終夜に及ぶ (八朔の朝百沢寺岩木登山、初鮭1尺西之濱漁師頭より上がる)
1689年	9月16日	元禄2年	8月3日	今日も雨 午の中刻に及ぶ (7月晦日兵庫殿久保田着、古懸山不動尊御出汗)
1689年	9月17日	元禄2年	8月4日	陰晴
1689年	9月18日	元禄2年	8月5日	卯の上刻雨 則時止み晴 (今朝男牢死)
1689年	9月19日	元禄2年	8月6日	晦 巳の刻より快晴
1689年	9月20日	元禄2年	8月7日	晴
1689年	9月21日	元禄2年	8月8日	丑の刻より甚だしい雨 午の刻に及ぶ 終日曇
1689年	9月22日	元禄2年	8月9日	陰晴 (3日浅虫などで洪水被害)
1689年	9月23日	元禄2年	8月10日	昨戌の刻より夜中雨 卯の上刻より辰の刻まで甚だしい雨 それより時々雨 午の刻より止む (鱒ヶ沢より二番鮭上がる、今朝の大雨で馬屋町御番所後欠落)
1689年	9月24日	元禄2年	8月11日	快晴 辰の刻風 則時止む (今朝日の晩より2日までの大雨・洪水で相打村川口の材木流出、一昨日日高杉組立石村に57・8男乞食倒死、鱒ヶ沢に破船2艘)
1689年	9月25日	元禄2年	8月12日	陰晴 午の刻小雨 則時止む (田畑当作頃日に至り作毛半作の見通し)
1689年	9月26日	元禄2年	8月13日	晴
1689年	9月27日	元禄2年	8月14日	快晴
1689年	9月28日	元禄2年	8月15日	晴 未の刻より晦 申の上刻雷発し雨 (かつはという男が出ている)
1689年	9月29日	元禄2年	8月16日	晴 巳の刻より晦 小雨 則時止み晴 (例年の通り昨15日八幡宮で御神楽、14日酉刻兵庫殿を湊町で請取)
1689年	9月30日	元禄2年	8月17日	晴 風吹く
1689年	10月1日	元禄2年	8月18日	晦 午の刻より雨 則止む 終日曇 (兵庫殿父子弘前着)
1689年	10月2日	元禄2年	8月19日	晦 午の下刻小雨 則時止む 同下刻より陰晴
1689年	10月3日	元禄2年	8月20日	晴
1689年	10月4日	元禄2年	8月21日	晴
1689年	10月5日	元禄2年	8月22日	晦 辰の刻より雨時々 終夜に及ぶ
1689年	10月6日	元禄2年	8月23日	晦 未の刻より陰晴
1689年	10月7日	元禄2年	8月24日	終日晦
1689年	10月8日	元禄2年	8月25日	昨夜より雨 今日未の刻に及ぶ
1689年	10月9日	元禄2年	8月26日	陰晴 (一之渡御番人6人に御米1俵宛借(貸か)渡す)
1689年	10月10日	元禄2年	8月27日	晦 巳の刻より晴 (八幡林内に40斗男乞食倒死、22・23日赤石組で大風)
1689年	10月11日	元禄2年	8月28日	晴
1689年	10月12日	元禄2年	8月29日	陰晴 巳の刻より小風
1689年	10月13日	元禄2年	9月1日	今朝岩木山へ初雪見る 晴 (御用番氏名のみ)
1689年	10月14日	元禄2年	9月2日	陰晴
1689年	10月15日	元禄2年	9月3日	陰晴
1689年	10月16日	元禄2年	9月4日	陰晴 四方山々晦
1689年	10月17日	元禄2年	9月5日	霜 快晴 四方山曇
1689年	10月18日	元禄2年	9月6日	大霜 快晴 四方晦 (御払い馬値段:133匁3分~15匁6分、新寺町茂森間に36・7女乞食倒死、先月27日夜青森新町ととばく喧嘩・4人捕まり1人走る)
1689年	10月19日	元禄2年	9月7日	晴 四方山々曇
1689年	10月20日	元禄2年	9月8日	晦 申の刻より雨 子の后刻止む
1689年	10月21日	元禄2年	9月9日	陰晴
1689年	10月22日	元禄2年	9月10日	陰晴
1689年	10月23日	元禄2年	9月11日	陰晴
1689年	10月24日	元禄2年	9月12日	昨戌の中刻より雨 終夜に及ぶ 今巳の刻大雨 則時止み終日晦 夜に入り時々雨
1689年	10月25日	元禄2年	9月13日	曇 巳の刻より晴 少し風 酉の刻より雨 終夜に及ぶ 同刻より亥の刻まで雷数発
1689年	10月26日	元禄2年	9月14日	昨夜より雨 今辰の刻に及ぶ 同刻西より北へ虹あり 巳の刻より陰晴
1689年	10月27日	元禄2年	9月15日	陰晴 戌の刻より雨 終夜に及ぶ 同刻雷発す 則時止む
1689年	10月28日	元禄2年	9月16日	昨夜より雨 終日終夜に及ぶ 夜に入り雷発す (野田村12軒平館村14軒に1俵宛無利拝借申付け)
1689年	10月29日	元禄2年	9月17日	昨夜より雨 終日終夜に及ぶ
1689年	10月30日	元禄2年	9月18日	晦 岩木山へ雪積る 山半分ほどに及ぶ(晦岩木山江雪積山及半分程)
1689年	10月31日	元禄2年	9月19日	晦

1689年 11月1日 元禄2年 9月20日 霜 晴 夜に入り雨 終夜に及ぶ
 1689年 11月2日 元禄2年 9月21日 陰晴 午の刻より晦 同刻より風 未の刻雷発す 雨終夜に及ぶ
 1689年 11月3日 元禄2年 9月22日 昨夜より雨 巳の刻に及ぶ 終日曇 夜に入り雨 終夜に及ぶ
 1689年 11月4日 元禄2年 9月23日 昨夜より雨 辰の后刻に及び止む 午の刻より甚だしい雨 岩木山へ雪 四方山へも雪見る 雨終夜に及ぶ
 1689年 11月5日 元禄2年 9月24日 陰晴 (7月5日牢舎の男牢死)
 1689年 11月6日 元禄2年 9月25日 霜 晴 (手作り所なし弘前住の郷足軽4人に2俵宛先渡し)
 1689年 11月7日 元禄2年 9月26日 晦 午の上刻より雨 則刻止む
 1689年 11月8日 元禄2年 9月27日 曇 巳の中刻雪しゅう 則時止む 終日晦 (今朝男牢死)
 1689年 11月9日 元禄2年 9月28日 晦
 1689年 11月10日 元禄2年 9月29日 陰晴
 1689年 11月11日 元禄2年 9月30日 晴
 1689年 11月12日 元禄2年 10月1日 昨夜亥の中刻より雨 今日も終日雨 (御用番氏名のみ)
 1689年 11月13日 元禄2年 10月2日 昨日よりの雨今日巳の刻止む 午の刻雷 則時止む それより雨時々降る 戌の刻雷発す 夜に入り雪降
 1689年 11月14日 元禄2年 10月3日 辰の刻より時々雪 四方山へ雪積る 巳の刻より時々曇 未の上刻止む
 1689年 11月15日 元禄2年 10月4日 終日晦 少し風
 1689年 11月16日 元禄2年 10月5日 陰晴 少し風 夜に入り雨 雷発す
 1689年 11月17日 元禄2年 10月6日 昨夜より雨降続く 午の刻より時々風雨 午の下刻曇
 1689年 11月18日 元禄2年 10月7日 昨夜里へ雪積もる 午の刻より雪 終夜に及ぶ
 1689年 11月19日 元禄2年 10月8日 卯の上刻より雨 巳の刻止む 終日晦 夜に入り小雪積る (御家中が家来を手討)
 1689年 11月20日 元禄2年 10月9日 昨夜より雪降 夜中風吹く 辰の刻より雪 終日に及ぶ
 1689年 11月21日 元禄2年 10月10日 昨夜少々雪 今日陰晴 時々小雪
 1689年 11月22日 元禄2年 10月11日 陰晴 (十三杣取拝借米一昨年納米1俵17匁・昨年納米1俵18匁3分)
 1689年 11月23日 元禄2年 10月12日 陰晴 (兵庫殿馬入札:175匁1分から小荷駄の20目まで5疋)
 1689年 11月24日 元禄2年 10月13日 霜 今日快晴 夜に入り少し雪降る
 1689年 11月25日 元禄2年 10月14日 昨夜より少し雨 卯の中刻に及び止み晦
 1689年 11月26日 元禄2年 10月15日 今日終日晦
 1689年 11月27日 元禄2年 10月16日 晦 巳の刻より泡雪 則時止む 夜に入り時々曇
 1689年 11月28日 元禄2年 10月17日 今日終日晦
 1689年 11月29日 元禄2年 10月18日 時々少し雪 終日に及ぶ 夜に入り雪降
 1689年 11月30日 元禄2年 10月19日 昨夜よりの小雪 終日に及ぶ 夜に入り雪積る
 1689年 12月1日 元禄2年 10月20日 辰の中刻より雪 終日に及ぶ
 1689年 12月2日 元禄2年 10月21日 今日終日陰晴
 1689年 12月3日 元禄2年 10月22日 快晴
 1689年 12月4日 元禄2年 10月23日 霜 今日晴 夜に入り雨降 (初鱈1尾外濱より差上)
 1689年 12月5日 元禄2年 10月24日 昨夜より雨 今日時々降 (二番鱈・三番鱈上がる、秋田領に「角野館」)
 1689年 12月6日 元禄2年 10月25日 昨夜より雪時々積る 夜に入り雪 終夜に及ぶ(昨夜ヨリ雪時々積夜二入雪及終夜)
 1689年 12月7日 元禄2年 10月26日 晦 夜に入り雨降
 1689年 12月8日 元禄2年 10月27日 昨夜雨 夜中降る 今日も雨
 1689年 12月9日 元禄2年 10月28日 陰晴 夜に入り雪降
 1689年 12月10日 元禄2年 10月29日 昨夜より大雪 今日巳の刻に及び止む それより時々雪吹(従昨夜大雪今日及巳刻止夫ヨリ時々雪吹)
 1689年 12月11日 元禄2年 10月30日 時々雪降
 1689年 12月12日 元禄2年 11月1日 陰晴 時々雪 (御用番氏名のみ) (和徳新町に50斗男乞食倒死)
 1689年 12月13日 元禄2年 11月2日 曇天 夜に入り雨
 1689年 12月14日 元禄2年 11月3日 晦 時々雪
 1689年 12月15日 元禄2年 11月4日 辰の刻雪 則時止む 終日晦
 1689年 12月16日 元禄2年 11月5日 卯の刻小雨 則時止む 終日晦
 1689年 12月17日 元禄2年 11月6日 昨夜より雨 今朝卯の上刻に及び陰晴 未の刻より晦
 1689年 12月18日 元禄2年 11月7日 快晴 夜に入り雨
 1689年 12月19日 元禄2年 11月8日 晴
 1689年 12月20日 元禄2年 11月9日 昨夜より雨 今日卯の中刻に及び止む 終日晦
 1689年 12月21日 元禄2年 11月10日 終日晦 時々少し雪
 1689年 12月22日 元禄2年 11月11日 晦 時々雪
 1689年 12月23日 元禄2年 11月12日 晦
 1689年 12月24日 元禄2年 11月13日 昨日より雪 今日終日に及ぶ 午の刻より吹雪
 1689年 12月25日 元禄2年 11月14日 昨夜より雪吹 今日時々 終日に及ぶ (昨13日本大工町に男給死)
 1689年 12月26日 元禄2年 11月15日 今日吹雪 終日に及ぶ 夜に入り甚だしい雪風 (流木入札:100本に付き3合増・辰年2合増・巳(今)年3合増)
 1689年 12月27日 元禄2年 11月16日 昨夜より吹雪 終日終夜に及ぶ (ご家中が3日?に欠落)
 1689年 12月28日 元禄2年 11月17日 曇天 夜に入り小雪
 1689年 12月29日 元禄2年 11月18日 晦 (和徳組堅田村に50斗男乞食倒死)
 1689年 12月30日 元禄2年 11月19日 晦
 1689年 12月31日 元禄2年 11月20日 陰晴

1690年 1月1日 元禄2年 11月21日 晦 時々小雪 昨夜丑の刻地震 申の刻より大吹雪 戌の刻に及ぶ (御家中10日逐電)
 1690年 1月2日 元禄2年 11月22日 昨夜より雪 今辰の刻に及び晦
 1690年 1月3日 元禄2年 11月23日 陰晴 (横鍛冶町に55・6男乞食倒死、造酒丞殿・左内殿今日移し替え)
 1690年 1月4日 元禄2年 11月24日 晴
 1690年 1月5日 元禄2年 11月25日 快晴
 1690年 1月6日 元禄2年 11月26日 快晴 酉の中刻地震 (和徳組大久保村に42・3男乞食倒死)
 1690年 1月7日 元禄2年 11月27日 晦 時々小雪
 1690年 1月8日 元禄2年 11月28日 陰晴 時々小雪
 1690年 1月9日 元禄2年 11月29日 晦 (20日夜飯詰組羽野木沢村に盗人・2人召し捕る)
 1690年 1月10日 元禄2年 11月30日 卯の刻より雪 則時止む 辰の中刻より小雨 (今度在々にて取った雉子数94(雄58・雌35・山鳥1))
 1690年 1月11日 元禄2年 12月1日 陰晴 (御用番氏名のみ) (昨晚駒越組番館村で火災1軒・粃5俵・米1俵・粟2俵・大豆2俵・稲700束・馬2疋焼失)
 1690年 1月12日 元禄2年 12月2日 曇 (先月21日青森浜町に14・5男乞食倒死)
 1690年 1月13日 元禄2年 12月3日 快晴
 1690年 1月14日 元禄2年 12月4日 陰晴 夜に入り小雪
 1690年 1月15日 元禄2年 12月5日 晦 昨夜より時々小雪 今辰の中刻に及び止む 終日曇
 1690年 1月16日 元禄2年 12月6日 陰晴
 1690年 1月17日 元禄2年 12月7日 陰晴
 1690年 1月18日 元禄2年 12月8日 卯の上刻より小雪 辰の中刻に及び止む 陰晴
 1690年 1月19日 元禄2年 12月9日 昨夜深更より雪 今日も時々 終日に及ぶ
 1690年 1月20日 元禄2年 12月10日 昨夜より雪 終日に及ぶ
 1690年 1月21日 元禄2年 12月11日 陰晴
 1690年 1月22日 元禄2年 12月12日 昨夜より雪 今日も終日に及ぶ
 1690年 1月23日 元禄2年 12月13日 晦 昨日より雪 今日も終日に及ぶ (今11日広須組川端村に30斗男乞食倒死)
 1690年 1月24日 元禄2年 12月14日 曇 昨夜深更より雪 今日も終日に及ぶ
 1690年 1月25日 元禄2年 12月15日 陰晴
 1690年 1月26日 元禄2年 12月16日 快晴 (去14日兼平村に男倒死・狼が喰い散らしている)
 1690年 1月27日 元禄2年 12月17日 快晴
 1690年 1月28日 元禄2年 12月18日 晦 未の刻より雪 終夜に及ぶ
 1690年 1月29日 元禄2年 12月19日 昨夜より吹雪 終日に及ぶ
 1690年 1月30日 元禄2年 12月20日 昨夜より今日も終日吹雪
 1690年 1月31日 元禄2年 12月21日 快晴
 1690年 2月1日 元禄2年 12月22日 快晴 午の上刻より晦 午の后刻より雪 終夜に及ぶ
 1690年 2月2日 元禄2年 12月23日 晦 昨夜より雪 今日も時々吹雪
 1690年 2月3日 元禄2年 12月24日 曇 時々雪
 1690年 2月4日 元禄2年 12月25日 快晴
 1690年 2月5日 元禄2年 12月26日 晴 (当月江戸で申し渡し:津軽伊織上ヶ知の内黒石領の分……)
 1690年 2月6日 元禄2年 12月27日 晴
 1690年 2月7日 元禄2年 12月28日 陰晴 申の刻雪 則時止む
 1690年 2月8日 元禄2年 12月29日 陰晴
 1690年 2月9日 元禄3年 正月1日 陰 (御用番氏名のみ)
 1690年 2月10日 元禄3年 正月2日 晦 辰の中刻より小雨 申の上刻に及び止む
 1690年 2月11日 元禄3年 正月3日 終日陰 夜に入り雪積る (吉例として200両・他に100両江戸に差登)
 1690年 2月12日 元禄3年 正月4日 昨夜より小雪 今日巳の刻に及ぶ それより時々雪積る
 1690年 2月13日 元禄3年 正月5日 晦 午の上刻より時々吹雪 終日に及ぶ
 1690年 2月14日 元禄3年 正月6日 陰 昨夜より時々雪
 1690年 2月15日 元禄3年 正月7日 陰 終日に及ぶ
 1690年 2月16日 元禄3年 正月8日 昨夜より雪 陰晴
 1690年 2月17日 元禄3年 正月9日 晦 終日小雨 (旧臘(昨年12月)27日殿様遠慮に及ばずとの飛脚至着)
 1690年 2月18日 元禄3年 正月10日 卯の上刻より曇 同下刻止む 巳の刻より時々雪風 申の刻に及び止む
 1690年 2月19日 元禄3年 正月11日 晴 昨夜小雪 申の刻大雪 則時止む
 1690年 2月20日 元禄3年 正月12日 晦 辰の刻より時々小雪 午の刻より小雨
 1690年 2月21日 元禄3年 正月13日 晴 (深浦の内江戸村に鯨寄せる・分配内容あり、昨夜足軽自害)
 1690年 2月22日 元禄3年 正月14日 陰晴 巳の下刻より快晴
 1690年 2月23日 元禄3年 正月15日 晦
 1690年 2月24日 元禄3年 正月16日 昨夜深更より雪 今日巳の刻に及び止む 終日晦
 1690年 2月25日 元禄3年 正月17日 晦 午の刻より晴
 1690年 2月26日 元禄3年 正月18日 快晴 夜に及ぶ 深更甚だしい風(快晴及夜深更甚風:「快晴 夜深更に及び甚だしい風」となるのかな)
 1690年 2月27日 元禄3年 正月19日 寅の刻より雨 今日巳の刻に及び止む 午の刻より雨 終日に及ぶ 夜に入り甚だしい風
 1690年 2月28日 元禄3年 正月20日 寅の下刻より小雪時々 終日終夜に及ぶ (昨夜の風で百沢寺に被害)

1690年 3月1日 元禄3年 正月21日 快晴
 1690年 3月2日 元禄3年 正月22日 快晴 未の刻より雨時々 夜に及ぶ 深更少し雪 (博打打の足軽3人弘前追放・同町人8人所払い・10人に慎み)
 1690年 3月3日 元禄3年 正月23日 快晴 亥の刻より小雪 終夜に及ぶ
 1690年 3月4日 元禄3年 正月24日 昨夜より雪 今巳の刻に及び止む 終日晦 夜に入り小雪 終夜に及ぶ
 1690年 3月5日 元禄3年 正月25日 快晴
 1690年 3月6日 元禄3年 正月26日 快晴
 1690年 3月7日 元禄3年 正月27日 快晴
 1690年 3月8日 元禄3年 正月28日 快晴 夜に入り小雨時々 終夜に及ぶ
 1690年 3月9日 元禄3年 正月29日 昨夜より小雨 今巳の刻に及ぶ 終日晦
 1690年 3月10日 元禄3年 正月30日 霜 陰晴
 1690年 3月11日 元禄3年 2月1日 昨夜より深更に及び小雨 今日申の上刻に及び止む 夜に入り小雪 (御用番氏名のみ)
 1690年 3月12日 元禄3年 2月2日 昨夜より小雪 今巳の刻に及ぶ 同中刻より風 終日に及ぶ
 1690年 3月13日 元禄3年 2月3日 陰晴
 1690年 3月14日 元禄3年 2月4日 快晴 巳の刻小風 則時止む
 1690年 3月15日 元禄3年 2月5日 晴 巳の刻霽 則時止む 小風 (2日夜田舎庄飯詰村地子新田で火災1軒・14歳と6歳の女子2人焼死)
 1690年 3月16日 元禄3年 2月6日 快晴
 1690年 3月17日 元禄3年 2月7日 卯の中刻より小雪 辰の下刻止む 巳の刻より小雨 則刻止む 午の刻より陰晴
 1690年 3月18日 元禄3年 2月8日 晴 小風
 1690年 3月19日 元禄3年 2月9日 霜 快晴 (7日駒越組兼平村石森のまぶ口(まぶ口: 鉱山の坑道の入り口: 兼平石を採っていた所か)で34・5男死亡・狼に喰われている)
 1690年 3月20日 元禄3年 2月10日 晦 申の刻より小雨 終夜に及ぶ
 1690年 3月21日 元禄3年 2月11日 昨夜より小雨 今辰の刻に及び止む 曇 (昨夜飯詰組代官自害)
 1690年 3月22日 元禄3年 2月12日 晴 小風
 1690年 3月23日 元禄3年 2月13日 快晴
 1690年 3月24日 元禄3年 2月14日 卯の後刻より丸雪 巳の刻に及び風 酉の刻より小雪 夜に及ぶ (津軽伊織様御上地4か村の百姓種糶なし・6斗入り160俵を無利息で拝借申付ける)
 1690年 3月25日 元禄3年 2月15日 昨夜より雪 今日時々 終日に及ぶ
 1690年 3月26日 元禄3年 2月16日 昨夜より雪 今日時々 終日に及ぶ (古懸社の杉から火・乞食のたばこの火が移ったもの)
 1690年 3月27日 元禄3年 2月17日 晦
 1690年 3月28日 元禄3年 2月18日 晴
 1690年 3月29日 元禄3年 2月19日 陰晴 夜に入り雨 終夜に及ぶ
 1690年 3月30日 元禄3年 2月20日 曇 昨夜より雨 卯の中刻に及ぶ
 1690年 3月31日 元禄3年 2月21日 昨夜戌の上刻より雨 夜に入り止む 晴 小風
 1690年 4月1日 元禄3年 2月22日 晴 亥の刻より雨 終夜に及ぶ
 1690年 4月2日 元禄3年 2月23日 今日も雨時々 終日に及ぶ 午の中刻小風
 1690年 4月3日 元禄3年 2月24日 今日も昨夜より雨 終日に及ぶ
 1690年 4月4日 元禄3年 2月25日 晦 未の刻より雨 終夜に及ぶ
 1690年 4月5日 元禄3年 2月26日 曇
 1690年 4月6日 元禄3年 2月27日 晦
 1690年 4月7日 元禄3年 2月28日 快晴 (22日夜油川組石神村で火災1軒)
 1690年 4月8日 元禄3年 2月29日 霜 快晴
 1690年 4月9日 元禄3年 3月1日 快晴 (御用番氏名のみ)
 1690年 4月10日 元禄3年 3月2日 快晴
 1690年 4月11日 元禄3年 3月3日 曇 午の刻より時々雨
 1690年 4月12日 元禄3年 3月4日 昨夜中より時々雨 今日時々雨 (昨3日未下刻駒越組兼平村で火災2軒)
 1690年 4月13日 元禄3年 3月5日 快晴 巳の下刻より曇 午の下刻小雨 (昨戌刻赤田組相川村で火災1軒・馬3疋焼失)
 1690年 4月14日 元禄3年 3月6日 快晴
 1690年 4月15日 元禄3年 3月7日 霜 快晴
 1690年 4月16日 元禄3年 3月8日 陰晴 甚だしい風 午の下刻止む (浪岡組59軒に悪靄28俵の救い米か・鎌・鎌共に質に入れ蕨の根も握れない、去月19日十三湯で破船)
 1690年 4月17日 元禄3年 3月9日 晴 風吹 (一昨7日申刻駒越組新岡村で火災3軒、8日十三湯で破船2艘、酒狂いの足軽1人弘前追放)
 1690年 4月18日 元禄3年 3月10日 晴 風吹
 1690年 4月19日 元禄3年 3月11日 快晴
 1690年 4月20日 元禄3年 3月12日 昨夜丑の刻より今日午の刻に及び晦 風吹く 終夜甚だしい風
 1690年 4月21日 元禄3年 3月13日 晴 小風
 1690年 4月22日 元禄3年 3月14日 晴
 1690年 4月23日 元禄3年 3月15日 昨戌の刻より雨 今日も時々 終日に及ぶ 風(従昨戌刻雨今日も時々及終日風)
 1690年 4月24日 元禄3年 3月16日 晴 甚だしい風
 1690年 4月25日 元禄3年 3月17日 晴 風吹
 1690年 4月26日 元禄3年 3月18日 晴 風吹
 1690年 4月27日 元禄3年 3月19日 卯の刻より雨 同下刻に至り霰 則時止む 時々風雨 終日に及ぶ
 1690年 4月28日 元禄3年 3月20日 昨夜より雨 今朝卯の刻より辰の刻まで霰 同后刻霰 時々風吹く 午の刻より丸雪止む
 1690年 4月29日 元禄3年 3月21日 辰の刻より雨時々 午の後刻雷雨度々発す (碓関山の内鍋倉沢で尾崎組の百姓14人が熊之獅子(牡熊か大きな熊か)を鑊(多分「ばん」と読み鉈か山刀のような護身・作業用の刃物)で殺す)
 1690年 4月30日 元禄3年 3月22日 昨夜より時々雨 今朝辰の後刻に及び止む 小風 晦 (浪岡組増館村に御救い米悪靄45俵、12日の大風で蓬田村遠見番所など破損、16日の風で橋雲寺愛宕堂破損)

1690年 5月1日 元禄3年 3月23日 昨夜より雨時々 辰の中刻に及び風吹く 午の下刻より陰晴
 1690年 5月2日 元禄3年 3月24日 昨夜甚だしい風 今朝卯の刻に及ぶ 辰の中刻より雨
 1690年 5月3日 元禄3年 3月25日 快晴 午の后刻より小雨
 1690年 5月4日 元禄3年 3月26日 陰晴 小風 申の中刻より雨 夜に入り甚だしい雨 終夜に及ぶ (昨25日屋四時横内組筒井村で火災10軒)
 1690年 5月5日 元禄3年 3月27日 陰晴 小風 午の刻より快晴
 1690年 5月6日 元禄3年 3月28日 快晴 (今日午刻時分後湯組前田村で火災2軒)
 1690年 5月7日 元禄3年 3月29日 快晴 時々風
 1690年 5月8日 元禄3年 3月30日 陰晴 夜に入り風雨
 1690年 5月9日 元禄3年 4月1日 快晴 風吹 (御用番氏名のみ)
 1690年 5月10日 元禄3年 4月2日 快晴 風吹 (昨朔日鯉ヶ沢の鯉魚船10艘余沖に出・夜五つ時分俄かに風強まり1艘転4人行方不明) 下から続く 逃げられた籠番2人・盗人3人・喧嘩殺人者1人の計6人斬罪)
 1690年 5月11日 元禄3年 4月3日 晴 午の刻雨 則時止む 同刻より細雨 下から続く 馬売り人の首を絞めて殺した男・盗人2人の計3人斬罪。去年8月脇道を通った者1人磔、貞享元年3月青森籠者から 上に続く
 1690年 5月12日 元禄3年 4月4日 曇 辰の后刻小雨 則時止む 風吹く (25日筒井村の被災者百姓に3俵・水吞に2俵宛種籾を救い米に、女房を切り殺した御家中切腹・乱気なので首を討つ覚悟で、貞享元年3月 上に続く
 1690年 5月13日 元禄3年 4月5日 快晴 風吹
 1690年 5月14日 元禄3年 4月6日 晴 風吹 (今日八時分御家中の家来が御家中の家に火付け・少々焼く)
 1690年 5月15日 元禄3年 4月7日 快晴 (後湯組小橋村に52・3男縊死、松前で149軒焼失とか)
 1690年 5月16日 元禄3年 4月8日 快晴 戌の刻雨降 風吹
 1690年 5月17日 元禄3年 4月9日 快晴 風吹
 1690年 5月18日 元禄3年 4月10日 陰晴 戌の刻より雨降 深更に及び止む 下から続く 町居村に土油(原油か))
 1690年 5月19日 元禄3年 4月11日 晴 辰の下刻より晴 小風 (遠見番所6カ所あり、28日前田村の被災百姓1軒に3俵・水吞1軒に2俵の救い米) 下から続く 1俵宛御救い米、外濱郷足軽警固28人に 上に続く
 1690年 5月20日 元禄3年 4月12日 晴 小風 午の刻より暮に及ぶまで大風 未の后刻地震 (去9日浪岡村で出火45間(軒のつもりか)の内庄屋百姓16間に3俵宛・出作人17間に2俵宛・水吞座当等11間に 上に続く
 1690年 5月21日 元禄3年 4月13日 晴 卯の下刻小雨 則時止む 小風 (兵庫殿奥方女中が針を呑む)
 1690年 5月22日 元禄3年 4月14日 晴 午の刻より風吹
 1690年 5月23日 元禄3年 4月15日 快晴 (寺町で唐傘柳村の男自害)
 1690年 5月24日 元禄3年 4月16日 晴 辰の下刻より細雨 終日に及ぶ
 1690年 5月25日 元禄3年 4月17日 快晴
 1690年 5月26日 元禄3年 4月18日 晴 巳の刻より快晴
 1690年 5月27日 元禄3年 4月19日 雨天 午の刻止む
 1690年 5月28日 元禄3年 4月20日 昨夜中雨降 今日朝風吹く (十三より鯉ヶ沢への小廻り船2艘が鯉ヶ沢で破船)
 1690年 5月29日 元禄3年 4月21日 快晴 風吹
 1690年 5月30日 元禄3年 4月22日 快晴 午の刻より曇 小風 未の下刻小雨 則時止む
 1690年 5月31日 元禄3年 4月23日 快晴 風吹
 1690年 6月1日 元禄3年 4月24日 快晴 (11日の遠見番所以外に2カ所)
 1690年 6月2日 元禄3年 4月25日 快晴 (濡れ米入札:815俵が10貫123匁1分5厘(1俵12匁4分1厘))
 1690年 6月3日 元禄3年 4月26日 晴 午の刻風雨 未の刻止む
 1690年 6月4日 元禄3年 4月27日 霽 (高杉組十腰内村の水吞伝馬役27軒に3斗5升入り2俵宛・来春も)
 1690年 6月5日 元禄3年 4月28日 快霽
 1690年 6月6日 元禄3年 4月29日 晴天
 1690年 6月7日 元禄3年 5月1日 快晴 (御用番氏名のみ)
 1690年 6月8日 元禄3年 5月2日 晴 風 時々雨
 1690年 6月9日 元禄3年 5月3日 快晴 (走り跡家入札:代銭7分~2匁3分、御家中の家来縊死、与力が怪我・死亡) 下から続く ・塩4斗入り1樽・折敷40枚・椀90具・皿40枚・鎌?9丁・駒1疋焼失)
 1690年 6月10日 元禄3年 5月4日 晴 細雨 巳の刻より晴 (一昨2日藤崎組境盛村で火災2軒(庄屋家1・白米8斗入2俵・粳6斗入3俵・大豆4斗入3俵・小豆4斗入1俵・粟4斗入2俵・稗6斗入1俵・味噌3石5斗 上に続く
 1690年 6月11日 元禄3年 5月5日 曇 巳の中刻より雨 午の刻止む 終日曇
 1690年 6月12日 元禄3年 5月6日 晴 午の下刻より陰晴 (4月18日柏木組松倉村の庄屋行方不明)
 1690年 6月13日 元禄3年 5月7日 陰晴
 1690年 6月14日 元禄3年 5月8日 晴
 1690年 6月15日 元禄3年 5月9日 快晴
 1690年 6月16日 元禄3年 5月10日 快晴 小風 (2日の火元庄屋に4俵・類火百姓に3俵、増館組福館村で傷寒(チフスかな)で人手不足・悪糶3俵を飯米に与えて作業を助けさせる、夫食米などを貸し出している)
 1690年 6月17日 元禄3年 5月11日 曇 時々小雨
 1690年 6月18日 元禄3年 5月12日 雨天 (貞享4年に参勤の節御金不足・若殿様御銀・与一様御銀から19貫ほど御用払い、昨夜藤代組床舞村で火災2軒)
 1690年 6月19日 元禄3年 5月13日 晴 巳の中刻より時々雨
 1690年 6月20日 元禄3年 5月14日 曇 巳の刻より陰晴
 1690年 6月21日 元禄3年 5月15日 曇 未の刻雷数発 申の后刻より雨 終夜に及ぶ (大鱈組湯川原屋敷より胡瓜5上がる)
 1690年 6月22日 元禄3年 5月16日 昨夜より雨時々 終日に及ぶ (郷蔵納めの悪糶を願いによって草取り夫食米に出している)
 1690年 6月23日 元禄3年 5月17日 曇 午の刻より陰晴 (御中小姓小泉某病死・切支丹類族・葬儀始終見届け)
 1690年 6月24日 元禄3年 5月18日 快晴 (猿賀組百姓7人に御救い米2俵宛)
 1690年 6月25日 元禄3年 5月19日 陰晴
 1690年 6月26日 元禄3年 5月20日 快晴
 1690年 6月27日 元禄3年 5月21日 陰晴
 1690年 6月28日 元禄3年 5月22日 晴 巳の下刻より晴 (18日夜和徳組湯口村の山で馬2疋狼に喰われる)
 1690年 6月29日 元禄3年 5月23日 快晴 (破損奉行傷寒病死)
 1690年 6月30日 元禄3年 5月24日 曇 巳の下刻より雨 午の刻より甚だしい雨 同刻より止む 酉の刻より時々雨 終夜に及ぶ

1690年	7月1日	元禄3年	5月25日	曇	辰の后刻より時々雨 (御家中屋敷前に2歳斗男子死亡)
1690年	7月2日	元禄3年	5月26日	晦	終日に及ぶ
1690年	7月3日	元禄3年	5月27日	陰晴	午の刻より曇
1690年	7月4日	元禄3年	5月28日	晦	
1690年	7月5日	元禄3年	5月29日	陰晴	
1690年	7月6日	元禄3年	6月1日	曇	巳の刻より晴 (御用番氏名のみ) (御葉御用の阿芙蓉取りの賄申付ける)
1690年	7月7日	元禄3年	6月2日	晴	申の下刻より戌の刻まで時々雨 夜中に及ぶ
1690年	7月8日	元禄3年	6月3日	曇	巳の后刻より快晴
1690年	7月9日	元禄3年	6月4日	陰晴	
1690年	7月10日	元禄3年	6月5日	快晴	
1690年	7月11日	元禄3年	6月6日	快晴	
1690年	7月12日	元禄3年	6月7日	快晴	
1690年	7月13日	元禄3年	6月8日	曇	巳の后刻より快晴
1690年	7月14日	元禄3年	6月9日	晦	辰の后刻より快晴
1690年	7月15日	元禄3年	6月10日	快晴	
1690年	7月16日	元禄3年	6月11日	快晴	午の后刻より小風
1690年	7月17日	元禄3年	6月12日	快晴	
1690年	7月18日	元禄3年	6月13日	曇	巳の刻より時々雨 (原別村の男野内村にて打殺される)
1690年	7月19日	元禄3年	6月14日	晦	巳の后刻より陰晴 (炭4斗入り1俵値段が9分2厘宛)
1690年	7月20日	元禄3年	6月15日	晴	
1690年	7月21日	元禄3年	6月16日	曇	巳の刻より晴 (6日に殺された原別村の男(13日記述)の殺人者捕まる)
1690年	7月22日	元禄3年	6月17日	曇	辰の下刻より陰晴
1690年	7月23日	元禄3年	6月18日	曇	(5月25日姥ヶ窪村に火付け)
1690年	7月24日	元禄3年	6月19日	曇	卯の中刻より時々細雨 午の后刻より陰晴
1690年	7月25日	元禄3年	6月20日	曇	巳の刻より快晴 (16日上福原村に盗人・捕まる)
1690年	7月26日	元禄3年	6月21日	曇	巳の刻より快晴
1690年	7月27日	元禄3年	6月22日	晦	辰の后刻より快晴
1690年	7月28日	元禄3年	6月23日	快晴	
1690年	7月29日	元禄3年	6月24日	曇	巳の刻より雨 則時止む 夜に入り雨 則時止む
1690年	7月30日	元禄3年	6月25日	曇	巳の刻より陰晴
1690年	7月31日	元禄3年	6月26日	晦	辰の中刻より雨 巳の后刻止む
1690年	8月1日	元禄3年	6月27日	曇	巳の下刻より晴
1690年	8月2日	元禄3年	6月28日	陰晴	(大鱈御菜園より初真桑瓜10差上げる)
1690年	8月3日	元禄3年	6月29日	陰晴	午の后刻より小風
1690年	8月4日	元禄3年	6月30日	快晴	
1690年	8月5日	元禄3年	7月1日	晴	(御用番氏名のみ)
1690年	8月6日	元禄3年	7月2日	曇	巳の后刻より快晴
1690年	8月7日	元禄3年	7月3日	陰晴	申の下刻より雨 終夜に及ぶ
1690年	8月8日	元禄3年	7月4日	陰晴	昨夜より雨 巳の刻止む
1690年	8月9日	元禄3年	7月5日	陰晴	
1690年	8月10日	元禄3年	7月6日	陰晴	
1690年	8月11日	元禄3年	7月7日	陰晴	(昨夜大光寺組金屋村で庄屋家火災1軒)
1690年	8月12日	元禄3年	7月8日	曇	
1690年	8月13日	元禄3年	7月9日	曇	酉の刻より雨 終夜に及ぶ (大鱈御菜園より初米上がる)
1690年	8月14日	元禄3年	7月10日	晦	
1690年	8月15日	元禄3年	7月11日	陰晴	(小杉村・館田村から例年の通り初米上がる)
1690年	8月16日	元禄3年	7月12日	快晴	
1690年	8月17日	元禄3年	7月13日	晴	
1690年	8月18日	元禄3年	7月14日	快晴	
1690年	8月19日	元禄3年	7月15日	快晴	
1690年	8月20日	元禄3年	7月16日	曇	巳の后刻より快晴
1690年	8月21日	元禄3年	7月17日	曇	申の中刻より雨 夜に入り雷電 甚だしい雨 終夜に及ぶ (碓関町でくず小屋(4坪)焼く)
1690年	8月22日	元禄3年	7月18日	曇	酉の刻より雨時々 終夜に及ぶ (昨夜石渡橋が洪水で20間余落ちる)
1690年	8月23日	元禄3年	7月19日	今朝細雨	辰の刻止む 巳の下刻より陰晴
1690年	8月24日	元禄3年	7月20日	陰晴	酉の刻より雨 終夜に及ぶ (津軽坂から出た悪馬入札:42匆~50目)
1690年	8月25日	元禄3年	7月21日	曇	昨夜より雨 辰の后刻に及ぶ 夜に入り時々雨
1690年	8月26日	元禄3年	7月22日	曇	夜に入り雨 終夜に及ぶ
1690年	8月27日	元禄3年	7月23日	曇	今朝細雨 辰の中刻止む (18日の洪水で岩木川の流木あり、今度御貸銀銭押米値段:銭100目に付き4石3斗(巳(昨年)11月より午(今年)11月まで)・銀100目に付き4石9斗4升5合)
1690年	8月28日	元禄3年	7月24日	曇	巳の后刻より晴
1690年	8月29日	元禄3年	7月25日	曇	巳の下刻より陰晴
1690年	8月30日	元禄3年	7月26日	晴	昨夜戌の刻より雨時々 終夜に及ぶ
1690年	8月31日	元禄3年	7月27日	快晴	(今朝六時男卒死)

1690年	9月1日	元禄3年	7月28日	快晴 (昨26日明け六つ浦町組入内牧に23・4男手負いで茶屋に助けを求める)
1690年	9月2日	元禄3年	7月29日	晴
1690年	9月3日	元禄3年	8月1日	陰晴 (御用番氏名のみ)
1690年	9月4日	元禄3年	8月2日	晴 小風 辰の中刻地震
1690年	9月5日	元禄3年	8月3日	曇
1690年	9月6日	元禄3年	8月4日	晦 亥の刻小雨 則時止む 亥の刻より雨 終夜に及ぶ
1690年	9月7日	元禄3年	8月5日	昨亥の刻より雨 今日終日に及ぶ
1690年	9月8日	元禄3年	8月6日	晴 巳の刻より陰晴 同下刻時々雨 則時止む (赤石組金井ヶ沢・風合瀬・船作(へなし)の3ヶ所に遠見番所)
1690年	9月9日	元禄3年	8月7日	陰晴
1690年	9月10日	元禄3年	8月8日	陰晴
1690年	9月11日	元禄3年	8月9日	曇 午の刻より雨 亥の刻雷数発 雨終夜に及ぶ (後湯組清水村に54・5男乞食倒死)
1690年	9月12日	元禄3年	8月10日	昨夜より雨 今日時々雨 午の中刻甚だしい雨 則時止む
1690年	9月13日	元禄3年	8月11日	陰晴 小風 (三馬屋村勘兵衛庭の梨子が当年も少々なる・例年15日より20日までに取るが最早時分との報告・目付立会いでとり差し上げることとする:これが三馬屋梨子の初出か)
1690年	9月14日	元禄3年	8月12日	晴 小風
1690年	9月15日	元禄3年	8月13日	快晴 午の刻より曇 (八幡御祭礼は9月15日に仰せ付ける、御家中を取上村で斬罪)
1690年	9月16日	元禄3年	8月14日	晦 辰の刻より雨 未の刻止む 夜に入り雨 終夜に及ぶ
1690年	9月17日	元禄3年	8月15日	昨夜より雨 今申の刻に及び止む
1690年	9月18日	元禄3年	8月16日	晦 終日に及ぶ (9日晚御家中宅に盗人・捕まる)
1690年	9月19日	元禄3年	8月17日	快晴 (9日御家中宅への盗人籠舎)
1690年	9月20日	元禄3年	8月18日	陰晴 夜に入り時々雨 夜に及ぶ (午中刻殿様御着城)
1690年	9月21日	元禄3年	8月19日	昨夜より時々雨 今日終日に及ぶ
1690年	9月22日	元禄3年	8月20日	晦 夜に入り時々雨
1690年	9月23日	元禄3年	8月21日	昨夜より雨 今日未の上刻に及ぶ
1690年	9月24日	元禄3年	8月22日	陰晴
1690年	9月25日	元禄3年	8月23日	昨夜より時々雨○(カタカナのしの様な記述) (八幡御祭礼は時分も過ぎ候間当年は延引申すべしとのこと、今別状員の玉3差上げる)
1690年	9月26日	元禄3年	8月24日	晴 (増館組吉野田村で狼が子供3人を喰らい内1人死亡・狼打ちの申し出でに獵師を出す)
1690年	9月27日	元禄3年	8月25日	快晴 (初鯉2本昨晚金井ヶ沢より上がる、増館組の狼対策は足軽がから鉄砲を打つ)
1690年	9月28日	元禄3年	8月26日	終日曇
1690年	9月29日	元禄3年	8月27日	晦 巳の刻より時々雨
1690年	9月30日	元禄3年	8月28日	晴
1690年	10月1日	元禄3年	8月29日	陰晴 風吹 夜に入り雨
1690年	10月2日	元禄3年	9月1日	昨夜より時々雨 終日に及ぶ 未の上刻雷発大風雨 則時止む (御用番氏名のみ)
1690年	10月3日	元禄3年	9月2日	昨夜より雨時々 巳の刻に及ぶ 卯の刻雷数発 (津軽玄蕃より梨子13差上げる)
1690年	10月4日	元禄3年	9月3日	時々雨 終日に及ぶ 夜に入り雨 雷数発
1690年	10月5日	元禄3年	9月4日	晦 巳の刻雷数発 雨降 則時止む
1690年	10月6日	元禄3年	9月5日	陰晴 (昨4日蟹田町で火災1軒(4間×10間))
1690年	10月7日	元禄3年	9月6日	晴 申の下刻地震
1690年	10月8日	元禄3年	9月7日	晦 巳の刻より雨時々 終日に及ぶ
1690年	10月9日	元禄3年	9月8日	晴
1690年	10月10日	元禄3年	9月9日	晦
1690年	10月11日	元禄3年	9月10日	晦
1690年	10月12日	元禄3年	9月11日	晦
1690年	10月13日	元禄3年	9月12日	晦
1690年	10月14日	元禄3年	9月13日	晦 午の刻より晴
1690年	10月15日	元禄3年	9月14日	晴
1690年	10月16日	元禄3年	9月15日	晴
1690年	10月17日	元禄3年	9月16日	快晴 夜に入り雨 暫くして止む
1690年	10月18日	元禄3年	9月17日	晦 巳の下刻細雨 則時止む 申の刻より時々雨 (昨16日油川組古川新田村で火災1軒)
1690年	10月19日	元禄3年	9月18日	陰晴
1690年	10月20日	元禄3年	9月19日	快晴
1690年	10月21日	元禄3年	9月20日	快晴 夜に入り時々雨
1690年	10月22日	元禄3年	9月21日	晦 昨夜より雨時々 午后刻に及ぶ (今朝男牢死)
1690年	10月23日	元禄3年	9月22日	快晴
1690年	10月24日	元禄3年	9月23日	快晴 霜
1690年	10月25日	元禄3年	9月24日	陰晴 霜
1690年	10月26日	元禄3年	9月25日	陰晴 卯の刻より時々小雨 同下刻止み風吹く 辰の刻南南北に虹あり 夜に入り時々雨
1690年	10月27日	元禄3年	9月26日	昨夜より雨時々 終日に及ぶ
1690年	10月28日	元禄3年	9月27日	快晴
1690年	10月29日	元禄3年	9月28日	快晴
1690年	10月30日	元禄3年	9月29日	晦 午の上刻より雨 終日終夜に及ぶ
1690年	10月31日	元禄3年	9月30日	晦 午の刻雨 則時止む 小風 (今日屋板屋の木村で13男子縊死)

1690年 11月1日 元禄3年	10月1日 昨亥の中刻より雨 終日に及ぶ 同刻電光(御用番氏名のみ)
1690年 11月2日 元禄3年	10月2日 昨夜より雨 巳の刻止む 午の刻霽 則時止み時々雨 戌の刻霽発す 夜に入り雪少々積る
1690年 11月3日 元禄3年	10月3日 辰の刻より時々雪 四方山々へも雪積る 巳の刻より時々霽 未の上刻に及び止む
1690年 11月4日 元禄3年	10月4日 終日曇 小風
1690年 11月5日 元禄3年	10月5日 陰晴 小風 夜に入り雨 霽発す 雨終夜に及ぶ
1690年 11月6日 元禄3年	10月6日 昨夜より雨降続く 午の刻より時々風雨 同下刻霽 則時止む
1690年 11月7日 元禄3年	10月7日 昨夜里へ雪積る 午の上刻より雪時々 終夜に及ぶ
1690年 11月8日 元禄3年	10月8日 卯の上刻より雨 巳の刻に及び止む 終日曇 夜に入り小雪
1690年 11月9日 元禄3年	10月9日 昨夜より小雪 夜中風吹く 辰の中刻より時々雪 終日終夜に及ぶ
1690年 11月10日 元禄3年	10月10日 陰晴 時々小雪(今朝鯉ヶ沢より鱈1本差上げる、深浦から鱈6本)
1690年 11月11日 元禄3年	10月11日 曇
1690年 11月12日 元禄3年	10月12日 陰晴
1690年 11月13日 元禄3年	10月13日 霜 快晴 夜に入り小雨
1690年 11月14日 元禄3年	10月14日 昨夜より小雨 卯の中刻に及び止み曇
1690年 11月15日 元禄3年	10月15日 終日曇
1690年 11月16日 元禄3年	10月16日 曇 巳の刻より泡雪 則時止む 午の刻霽 則時止む 終日曇 夜に入り時々霽
1690年 11月17日 元禄3年	10月17日 曇
1690年 11月18日 元禄3年	10月18日 時々小雪 終日終夜に及ぶ
1690年 11月19日 元禄3年	10月19日 昨夜より雪時々 終日に及ぶ
1690年 11月20日 元禄3年	10月20日 辰の中刻より雪 終日に及ぶ
1690年 11月21日 元禄3年	10月21日 陰晴
1690年 11月22日 元禄3年	10月22日 快晴(鯉ヶ沢に盗人・捕えて弘前に送る)
1690年 11月23日 元禄3年	10月23日 霜 晴 夜に入り雨
1690年 11月24日 元禄3年	10月24日 昨夜より雨 今日も時々雨(昨夜外科(医)の家来自害・18歳男、火付けの女房牢死)
1690年 11月25日 元禄3年	10月25日 昨夜より時々雪 終夜に及ぶ
1690年 11月26日 元禄3年	10月26日 曇 夜に入り雨
1690年 11月27日 元禄3年	10月27日 昨夜より雨 終夜に及ぶ 今日も時々雨 終日曇
1690年 11月28日 元禄3年	10月28日 曇 夜に入り雪
1690年 11月29日 元禄3年	10月29日 昨夜より大雪 今日巳の刻に及ぶ 以後時々雪吹
1690年 11月30日 元禄3年	10月30日 時々雪
1690年 12月1日 元禄3年	11月1日 快晴 大霜 夜に入り時々雨(御用番氏名のみ)
1690年 12月2日 元禄3年	11月2日 曇 未の刻より雨時々 終夜に及ぶ
1690年 12月3日 元禄3年	11月3日 曇
1690年 12月4日 元禄3年	11月4日 曇(豕1疋町奉行屋敷前に殖・町奉行屋敷に埋め置く)
1690年 12月5日 元禄3年	11月5日 陰晴 夜に入り小雪(兵庫殿用人・岩崎を馬廻り六番組(50俵4人扶持)・内田を御中小姓二番組(30俵4人扶持)・他の4人を歩行組(20俵3人扶持)にそれぞれ召抱える)
1690年 12月6日 元禄3年	11月6日 曇 時々雪(三馬屋で取れた梨子をわらははかま等で包み江戸に送った)
1690年 12月7日 元禄3年	11月7日 曇 夜深更に及び大雪 六寸ほど積る
1690年 12月8日 元禄3年	11月8日 卯の後刻より小雨 辰の後刻止む 酉の刻より霽時々 終夜に及ぶ
1690年 12月9日 元禄3年	11月9日 曇 午の後刻小雪
1690年 12月10日 元禄3年	11月10日 曇(先日御家中?牢死)
1690年 12月11日 元禄3年	11月11日 快晴(盛岡主膳・大道寺隼人御家老に、瀧川孫右衛門御城代に)
1690年 12月12日 元禄3年	11月12日 陰晴
1690年 12月13日 元禄3年	11月13日 曇 巳の刻より時々雨 夜に入り小雪
1690年 12月14日 元禄3年	11月14日 陰晴 時々雪 終日終夜に及ぶ
1690年 12月15日 元禄3年	11月15日 時々小雪 終日に及ぶ(人事異動:御用人役など)
1690年 12月16日 元禄3年	11月16日 曇 時々小雪(藤崎組前田屋敷村に35・6男倒死)
1690年 12月17日 元禄3年	11月17日 曇
1690年 12月18日 元禄3年	11月18日 陰晴 時々小雪(追い鳥狩り:雉子144(雄88雌56)・山鳥4・いたち1など)
1690年 12月19日 元禄3年	11月19日 昨夜より今日も小雪 終日に及ぶ
1690年 12月20日 元禄3年	11月20日 昨夜中より吹雪時々 終日に及ぶ
1690年 12月21日 元禄3年	11月21日 陰晴
1690年 12月22日 元禄3年	11月22日 快晴
1690年 12月23日 元禄3年	11月23日 終日雨天(油川・後瀧組代官に山上四郎兵衛などの人事異動)
1690年 12月24日 元禄3年	11月24日 曇 小雪(工藤嘉左衛門を御馬廻りに昇格・(大鱧組)代官兼役)
1690年 12月25日 元禄3年	11月25日 陰晴
1690年 12月26日 元禄3年	11月26日 快晴
1690年 12月27日 元禄3年	11月27日 昨夜寅の刻霽 辰の刻に及ぶ 巳の刻より陰晴(入札:馬1疋51匁~13匁・走跡家1匁5分~8分)
1690年 12月28日 元禄3年	11月28日 昨夜より吹雪 終日に及ぶ
1690年 12月29日 元禄3年	11月29日 夜中よりの雪巳の刻に及ぶ 同后刻より陰晴(種大豆1俵・代米1俵それぞれ15匁宛、年貢大豆1俵14匁、青森町で11月朔日女房せつかん死)
1690年 12月30日 元禄3年	12月1日 曇 時々小雪(御用番氏名のみ)
1690年 12月31日 元禄3年	12月2日 曇 時々小雪

1691年	1月1日	元禄3年	12月3日	晴
1691年	1月2日	元禄3年	12月4日	時々雪
1691年	1月3日	元禄3年	12月5日	曇時々雪 (御材木場に22・3斗女乞食倒死)
1691年	1月4日	元禄3年	12月6日	昨夜より時々雪積もる
1691年	1月5日	元禄3年	12月7日	時々雪積もる
1691年	1月6日	元禄3年	12月8日	時々雪積もる
1691年	1月7日	元禄3年	12月9日	昨夜より雪 (材木場に12・3女子乞食倒死)
1691年	1月8日	元禄3年	12月10日	今日も雪積もる (広須組桑田村で火災・男子2人馬2疋焼死・男子3人と火元負傷)
1691年	1月9日	元禄3年	12月11日	曇時々雪降
1691年	1月10日	元禄3年	12月12日	昨夜より雪今日も少々吹雪
1691年	1月11日	元禄3年	12月13日	陰晴時々雪降 (男牢死)
1691年	1月12日	元禄3年	12月14日	陰晴
1691年	1月13日	元禄3年	12月15日	時々小雪 (12日振りに到着するよう申し付けた江戸よりの飛脚が大雪で19日振りに着く)
1691年	1月14日	元禄3年	12月16日	快晴
1691年	1月15日	元禄3年	12月17日	曇時々雪降
1691年	1月16日	元禄3年	12月18日	昨夜より雪今日も時々降り積もる (追鳥刈:雉子65・山鳥7・免1)
1691年	1月17日	元禄3年	12月19日	陰晴 (追鳥刈:雉子71)
1691年	1月18日	元禄3年	12月20日	陰晴時々小雪積もる
1691年	1月19日	元禄3年	12月21日	曇時々小雪
1691年	1月20日	元禄3年	12月22日	陰晴時々雪
1691年	1月21日	元禄3年	12月23日	時々吹雪
1691年	1月22日	元禄3年	12月24日	曇時々雪降
1691年	1月23日	元禄3年	12月25日	曇
1691年	1月24日	元禄3年	12月26日	曇時々小雪積もる
1691年	1月25日	元禄3年	12月27日	晦
1691年	1月26日	元禄3年	12月28日	曇時々小雪
1691年	1月27日	元禄3年	12月29日	晴 戌の中刻地震
1691年	1月28日	元禄3年	12月30日	曇時々小雪
1691年	1月29日	元禄4年	正月1日	曇時々雪 (御用番氏名のみ(役職名なし)あり) (大手御門:武者屯御門より内側だ)
1691年	1月30日	元禄4年	正月2日	昨夜より雪時々 終日に及ぶ
1691年	1月31日	元禄4年	正月3日	昨夜中より今朝迄吹雪 巳の刻より時々雪 (御謠初)
1691年	2月1日	元禄4年	正月4日	曇 夜に入り雪 寅の刻より曇
1691年	2月2日	元禄4年	正月5日	甚だしい雪風
1691年	2月3日	元禄4年	正月6日	昨日より今日まで時々雪積もる
1691年	2月4日	元禄4年	正月7日	晦
1691年	2月5日	元禄4年	正月8日	晴 夜に入り雪
1691年	2月6日	元禄4年	正月9日	晦 夜に入り大雪
1691年	2月7日	元禄4年	正月10日	陰晴
1691年	2月8日	元禄4年	正月11日	陰晴
1691年	2月9日	元禄4年	正月12日	陰晴
1691年	2月10日	元禄4年	正月13日	夜中より今卯の刻まで甚だしい雪風時々雪
1691年	2月11日	元禄4年	正月14日	昨夜より今日も雪降り続く
1691年	2月12日	元禄4年	正月15日	晴
1691年	2月13日	元禄4年	正月16日	陰晴
1691年	2月14日	元禄4年	正月17日	曇
1691年	2月15日	元禄4年	正月18日	卯の刻より辰の上刻まで雪霰 辰の中刻より小雨
1691年	2月16日	元禄4年	正月19日	昨夜中小雨霰 今日時々雪降
1691年	2月17日	元禄4年	正月20日	昨夜より雪 今日も時々雪
1691年	2月18日	元禄4年	正月21日	晴
1691年	2月19日	元禄4年	正月22日	曇 (昨夜堀越組福村で火災1軒、当月2日高野村の代官小使が吹雪で死亡)
1691年	2月20日	元禄4年	正月23日	夜中雪降 今日時々霰
1691年	2月21日	元禄4年	正月24日	辰の上刻より小雨 同下刻止む 午の刻より陰晴
1691年	2月22日	元禄4年	正月25日	陰晴
1691年	2月23日	元禄4年	正月26日	時々雪風
1691年	2月24日	元禄4年	正月27日	陰晴
1691年	2月25日	元禄4年	正月28日	快晴
1691年	2月26日	元禄4年	正月29日	快晴
1691年	2月27日	元禄4年	正月30日	快晴
1691年	2月28日	元禄4年	2月1日	快晴 (江戸御用を含み御用番氏名のみ)

1691年	3月1日	元禄4年	2月2日	快晴
1691年	3月2日	元禄4年	2月3日	昨夜中丸雪 辰の中刻に及び晦
1691年	3月3日	元禄4年	2月4日	快晴
1691年	3月4日	元禄4年	2月5日	快晴
1691年	3月5日	元禄4年	2月6日	辰の刻より小雪 巳の刻より曇時々 終日に及ぶ
1691年	3月6日	元禄4年	2月7日	晴
1691年	3月7日	元禄4年	2月8日	曇 午の下刻より雨 未の刻止む (小判1両に銀75匁替)
1691年	3月8日	元禄4年	2月9日	陰晴時々雪
1691年	3月9日	元禄4年	2月10日	昨夕より大風 辰の刻止む 又時々雪(従昨夕大風辰刻止又時々雪)
1691年	3月10日	元禄4年	2月11日	晴
1691年	3月11日	元禄4年	2月12日	陰晴
1691年	3月12日	元禄4年	2月13日	辰の刻より雨 午の刻止み曇(従辰刻雨午刻止曇)
1691年	3月13日	元禄4年	2月14日	辰の刻小雪則時止み
1691年	3月14日	元禄4年	2月15日	曇
1691年	3月15日	元禄4年	2月16日	陰晴
1691年	3月16日	元禄4年	2月17日	曇
1691年	3月17日	元禄4年	2月18日	陰晴
1691年	3月18日	元禄4年	2月19日	卯の上刻より時々雪風 終日に及ぶ
1691年	3月19日	元禄4年	2月20日	時々雪
1691年	3月20日	元禄4年	2月21日	陰晴
1691年	3月21日	元禄4年	2月22日	快晴
1691年	3月22日	元禄4年	2月23日	寅の刻雪 曇 未の刻小雨
1691年	3月23日	元禄4年	2月24日	昨夜より甚だしい風雨 終夜に及ぶ 今日曇 辰の刻雨時々 未の刻に及ぶ
1691年	3月24日	元禄4年	2月25日	曇 午の刻より晴
1691年	3月25日	元禄4年	2月26日	陰晴
1691年	3月26日	元禄4年	2月27日	陰晴 (大間越の水飲10軒に米2俵宛・暮にお定めの値段で返す条件)
1691年	3月27日	元禄4年	2月28日	晴 (当正月13日八幡御鉄砲打ち初めの節左の指4本落とすけが人あり)
1691年	3月28日	元禄4年	2月29日	陰晴 午の下刻より雨 終夜に及ぶ
1691年	3月29日	元禄4年	2月30日	今日も時々小雨 (塩入札:2斗入り1俵が2匁8分5厘宛)
1691年	3月30日	元禄4年	3月1日	快晴 (御用番氏名のみ)
1691年	3月31日	元禄4年	3月2日	快晴
1691年	4月1日	元禄4年	3月3日	晴 (飯詰村で小屋(2間×3間)焼失)
1691年	4月2日	元禄4年	3月4日	曇 午の刻より時々雨
1691年	4月3日	元禄4年	3月5日	昨夜風雨時々終夜に及ぶ 今日陰晴 風終日に及ぶ
1691年	4月4日	元禄4年	3月6日	晴 小風 (関札打ち発足、小人牢死)
1691年	4月5日	元禄4年	3月7日	晴
1691年	4月6日	元禄4年	3月8日	快晴 (昨7日油川組浪館村で百姓家火災・馬3疋牛3疋・種籾16俵・飯米3俵糶5俵・種粟8俵・稗3俵・蕎麦6俵・種大豆3斗・小豆4斗・味噌1石2斗焼失)
1691年	4月7日	元禄4年	3月9日	快晴
1691年	4月8日	元禄4年	3月10日	快晴
1691年	4月9日	元禄4年	3月11日	快晴 (瀬良沢村溜池に女房死亡)
1691年	4月10日	元禄4年	3月12日	曇 卯の下刻より時々小雨 終日に及ぶ (石渡・石川橋に洪水・問題なし、11日夜高杉組鬼沢村で火災3軒)
1691年	4月11日	元禄4年	3月13日	快晴 (石渡橋流失)
1691年	4月12日	元禄4年	3月14日	晴 午の刻より小風
1691年	4月13日	元禄4年	3月15日	快晴 小風 (巳刻江戸に向かい御発駕)
1691年	4月14日	元禄4年	3月16日	昨夜中より甚だしい雪 巳の下刻止む (この雪は怪しい:昨晩未の下刻破関着・久祥院様への伝言に・今日は天気も能……、)
1691年	4月15日	元禄4年	3月17日	快晴 (毎月のお老中様江の送物表あり)
1691年	4月16日	元禄4年	3月18日	陰晴 (百姓に貸し出す糶代1俵が15匁5分)
1691年	4月17日	元禄4年	3月19日	晴
1691年	4月18日	元禄4年	3月20日	曇 小風
1691年	4月19日	元禄4年	3月21日	昨夜中より風雨 今日も時々 終日に及ぶ
1691年	4月20日	元禄4年	3月22日	曇 小風 (不届きな紺屋町木戸番籠舎、20日朝田舎館組袋井村で火災1軒(2間×2間半:水飲)
1691年	4月21日	元禄4年	3月23日	曇 小風雨
1691年	4月22日	元禄4年	3月24日	曇 時々小雨
1691年	4月23日	元禄4年	3月25日	陰晴 風 酉の刻雨 同下刻雪 則時止む (この雪も怪しい)
1691年	4月24日	元禄4年	3月26日	曇 巳の下刻より晴 小風
1691年	4月25日	元禄4年	3月27日	晴
1691年	4月26日	元禄4年	3月28日	晴 小風 (貝の玉5代米5俵・上熊皮2枚代錢80目・中熊皮2枚代銀50目)
1691年	4月27日	元禄4年	3月29日	昨夜丑の刻より雨 今日も雨降 (元禄3年6月牢舎の男牢死)
1691年	4月28日	元禄4年	4月1日	昨夜より雨 今日も降り続く (御用番氏名のみ)
1691年	4月29日	元禄4年	4月2日	昨夜より雨 卯の中刻に及ぶ 辰の上刻風雪 則時止む 陰晴 小風
1691年	4月30日	元禄4年	4月3日	曇

1691年	5月1日	元禄4年	4月4日	昨夜より時々雨 今日終日に及ぶ
1691年	5月2日	元禄4年	4月5日	快晴 未の刻より小風
1691年	5月3日	元禄4年	4月6日	快晴 (昨5日横内組桑畑(幸畑か)で火災・5軒)
1691年	5月4日	元禄4年	4月7日	陰晴 午の刻より時々小雨 下から続く 12間+小蔵2間×2間半(白米5斗入り6俵粟3俵蕎麦1俵大豆1俵脇差2腰槍1本鐮4挺鍋3釜1茶釜1着物4袴3甫団1小畳15枚))
1691年	5月5日	元禄4年	4月8日	陰晴 小風 (5日の火災全部水吞・2間×3間(鍋2)・4間×3間(粟5斗入りかますとそば3斗入り1俵)・2間半×2間(着物3鍬1鍋2)・2間半×2間(粟3斗入り1かます鐮1鍬)・4間× 上に続く
1691年	5月6日	元禄4年	4月9日	晴 午の刻より小風 (昨8日青森悪知鳥町で火災1軒)
1691年	5月7日	元禄4年	4月10日	曇
1691年	5月8日	元禄4年	4月11日	陰晴
1691年	5月9日	元禄4年	4月12日	晴 午の刻より小風
1691年	5月10日	元禄4年	4月13日	快晴
1691年	5月11日	元禄4年	4月14日	辰の刻より雨 午の刻に及び止む
1691年	5月12日	元禄4年	4月15日	大霜 快晴
1691年	5月13日	元禄4年	4月16日	快晴
1691年	5月14日	元禄4年	4月17日	快晴
1691年	5月15日	元禄4年	4月18日	快晴 未の下刻より雨 暮に及ぶ
1691年	5月16日	元禄4年	4月19日	晴 午の刻より時々雨 夜に及ぶ (堀越村で男が縊死)
1691年	5月17日	元禄4年	4月20日	快晴 (4月7日より17日に馬7疋が狼に喰い殺される)
1691年	5月18日	元禄4年	4月21日	快晴 午の刻より陰晴小風
1691年	5月19日	元禄4年	4月22日	巳の刻まで曇 同下刻より晴
1691年	5月20日	元禄4年	4月23日	卯の刻より同下刻まで細雨 巳の刻より陰晴 午の刻より晴
1691年	5月21日	元禄4年	4月24日	巳の刻まで曇 それより晴
1691年	5月22日	元禄4年	4月25日	曇 巳の刻小雨 午の刻雷発す
1691年	5月23日	元禄4年	4月26日	昨戌の刻甚だしい雨 それより夜中雨 今日も時々雨
1691年	5月24日	元禄4年	4月27日	曇 辰の後刻より晴 小風
1691年	5月25日	元禄4年	4月28日	曇 午の刻より晴 (26日男卒死)
1691年	5月26日	元禄4年	4月29日	陰晴
1691年	5月27日	元禄4年	4月30日	晴
1691年	5月28日	元禄4年	5月1日	曇 辰の下刻より晴 巳の下刻雨 則時止む (御用番氏名のみ)
1691年	5月29日	元禄4年	5月2日	晴 小風
1691年	5月30日	元禄4年	5月3日	曇 巳の刻より雨
1691年	5月31日	元禄4年	5月4日	曇 風吹 (4月晦日鶴田組鶴ヶ岡村で火災1軒百姓)
1691年	6月1日	元禄4年	5月5日	陰晴
1691年	6月2日	元禄4年	5月6日	晴 小風
1691年	6月3日	元禄4年	5月7日	曇 時々雨
1691年	6月4日	元禄4年	5月8日	晴 小風 (昨夜九時女(42)卒死)
1691年	6月5日	元禄4年	5月9日	晴 (三馬屋に松前から着いた船中で病死者1人)
1691年	6月6日	元禄4年	5月10日	晴 小雨時々
1691年	6月7日	元禄4年	5月11日	晴 小風
1691年	6月8日	元禄4年	5月12日	曇 風吹 (黒石あずけ地(分家の黒石藩5千石の分家千石が嗣子なく断絶し天領となった・この管理を弘前藩が行っていた)4か村に田植え草取り等の飯米として461俵余を拝借させる)
1691年	6月9日	元禄4年	5月13日	陰晴 小風 酉の刻雷電数発 大雨 則時止む 夜中時々雨
1691年	6月10日	元禄4年	5月14日	曇 時々雨
1691年	6月11日	元禄4年	5月15日	曇 時々小雨 巳の後刻より陰晴
1691年	6月12日	元禄4年	5月16日	曇
1691年	6月13日	元禄4年	5月17日	快晴
1691年	6月14日	元禄4年	5月18日	陰晴 (15日朝乱気の男が女房を差し通し自害)
1691年	6月15日	元禄4年	5月19日	陰晴
1691年	6月16日	元禄4年	5月20日	快晴
1691年	6月17日	元禄4年	5月21日	曇 時々風雨 夜に入り甚だしい風雨
1691年	6月18日	元禄4年	5月22日	昨夜よりの風雨辰の刻に及ぶ 辰の刻より晴
1691年	6月19日	元禄4年	5月23日	曇 辰の刻まで霧 巳の後刻晴
1691年	6月20日	元禄4年	5月24日	曇 巳の刻より晴
1691年	6月21日	元禄4年	5月25日	曇 午の刻より陰晴
1691年	6月22日	元禄4年	5月26日	曇 巳の刻より陰晴 未の刻より雷数発 同后刻甚だしい雨 申の後刻止む
1691年	6月23日	元禄4年	5月27日	晴 未の刻より曇 雷数発 同后刻雨
1691年	6月24日	元禄4年	5月28日	曇 巳の後刻より時々雨 (大鱈御菜園畑より初胡瓜5上がる)
1691年	6月25日	元禄4年	5月29日	曇 辰の後刻より晴 午の刻より風 曇
1691年	6月26日	元禄4年	6月1日	快晴 (御用番氏名のみ)
1691年	6月27日	元禄4年	6月2日	陰晴 風吹く 夜に入り雨(陰晴風吹夜二入雨)
1691年	6月28日	元禄4年	6月3日	曇 巳の刻より雨
1691年	6月29日	元禄4年	6月4日	曇 時々雨 終日に及ぶ
1691年	6月30日	元禄4年	6月5日	昨夜より時々雨 巳の刻より晴 午の上刻地震

1691年	7月1日	元禄4年	6月6日	陰晴
1691年	7月2日	元禄4年	6月7日	卯の后刻より雨
1691年	7月3日	元禄4年	6月8日	陰晴 午の刻より小雨時々
1691年	7月4日	元禄4年	6月9日	陰晴
1691年	7月5日	元禄4年	6月10日	曇
1691年	7月6日	元禄4年	6月11日	曇
1691年	7月7日	元禄4年	6月12日	陰晴 (籠舎中の盗人3人斬罪)
1691年	7月8日	元禄4年	6月13日	曇 巳の刻より晴
1691年	7月9日	元禄4年	6月14日	陰晴 (和徳町で女房自害、飯詰組石田坂村の者共田面(たおも)にて熊とる)
1691年	7月10日	元禄4年	6月15日	曇 辰の刻より小雨 則止む 未の刻より雷数発大雨 申の下刻止む
1691年	7月11日	元禄4年	6月16日	曇 午の刻より陰晴
1691年	7月12日	元禄4年	6月17日	卯の刻より雨
1691年	7月13日	元禄4年	6月18日	昨夜より雨 今辰の刻に及び止む (夜中雨降り続き石渡の橋落ちる)
1691年	7月14日	元禄4年	6月19日	陰晴 (鯨差を用いて……兵庫殿奥方が布を求める、籠舎中の5人斬罪)
1691年	7月15日	元禄4年	6月20日	陰晴 午の刻より雨 則止む (大鰐村より初茄子上がる、横内組長森村で他人の9歳娘を切り殺す・去る14日日本人も相果)
1691年	7月16日	元禄4年	6月21日	快晴
1691年	7月17日	元禄4年	6月22日	卯の刻再三雨 則止み陰晴
1691年	7月18日	元禄4年	6月23日	昨夜五時雨子の刻止む 寅の刻より雨 巳の刻雷発す 同刻大雨
1691年	7月19日	元禄4年	6月24日	昨夜中より雨 終日に及ぶ
1691年	7月20日	元禄4年	6月25日	曇
1691年	7月21日	元禄4年	6月26日	曇 卯の下刻迄細雨 巳の刻より陰晴 (22日広田組藻川水際堤で川水にま紀い連(まきいれ)られ死亡・24日発見)
1691年	7月22日	元禄4年	6月27日	曇 小雨午の刻より止む
1691年	7月23日	元禄4年	6月28日	曇 巳の刻より陰晴
1691年	7月24日	元禄4年	6月29日	陰晴
1691年	7月25日	元禄4年	7月1日	曇 巳の下刻より陰晴 (御用番氏名のみ)
1691年	7月26日	元禄4年	7月2日	晴
1691年	7月27日	元禄4年	7月3日	曇
1691年	7月28日	元禄4年	7月4日	陰晴 未の刻より雷発し大雨 則止む (今月朔日広田組十川で水あひ(水浴び)中に加川者(かつは=河童)にとら連る)
1691年	7月29日	元禄4年	7月5日	曇 巳の刻より晴 未の上刻雷発す
1691年	7月30日	元禄4年	7月6日	陰晴 未の刻雷発し雨 則止む 申の刻より晴 (飯詰組石田坂村で熊を殺した報告が遅れて庄屋押籠)
1691年	7月31日	元禄4年	7月7日	曇 巳の刻より晴 小風
1691年	8月1日	元禄4年	7月8日	晴
1691年	8月2日	元禄4年	7月9日	晴 (大鰐御菜園より初瓜10・初長大角豆7上がる、今朝男(子)牢死)
1691年	8月3日	元禄4年	7月10日	晴
1691年	8月4日	元禄4年	7月11日	曇
1691年	8月5日	元禄4年	7月12日	晴
1691年	8月6日	元禄4年	7月13日	曇 巳の刻より晴 申の中刻より甚だしい雨 夜に及ぶ
1691年	8月7日	元禄4年	7月14日	晴 夜に入り雨
1691年	8月8日	元禄4年	7月15日	快晴
1691年	8月9日	元禄4年	7月16日	晴
1691年	8月10日	元禄4年	7月17日	快晴
1691年	8月11日	元禄4年	7月18日	陰晴
1691年	8月12日	元禄4年	7月19日	曇 辰の刻小雨 則時止む 巳の刻より陰晴 (12日後潟組今津村で乱気男が女房を打殺す)
1691年	8月13日	元禄4年	7月20日	晴
1691年	8月14日	元禄4年	7月21日	曇 巳の刻より晴 (18日大鰐御菜園場より初米上がる)
1691年	8月15日	元禄4年	7月22日	陰晴
1691年	8月16日	元禄4年	7月23日	曇 卯の中刻雨 則止む 辰の刻より晴 (門外村から初米上がる、今朝切支丹類族油布某死亡)
1691年	8月17日	元禄4年	7月24日	快晴
1691年	8月18日	元禄4年	7月25日	晴 (6月2日飯詰組石田坂村の百姓甚四郎・左次兵衛・治兵衛の熊殺して詮議、23日飯詰組石澤村で18娘狼に喰われ死亡)
1691年	8月19日	元禄4年	7月26日	快晴 (石田坂村の件詮議、24日増館組樽沢村で17男狼に喰われ死亡、新里村百姓縊死)
1691年	8月20日	元禄4年	7月27日	陰晴 (石田坂村の件詮議)
1691年	8月21日	元禄4年	7月28日	曇 辰の刻より晴 (石田坂村の件詮議)
1691年	8月22日	元禄4年	7月29日	快晴 巳の下刻より陰晴 (石田坂村の件詮議、江戸に急飛脚(7日ぶりの到着指示)立てる、23日(原子村43男)・23日(持子沢村10女子)・28日(羽野木沢村15男)狼に喰われ負傷)
1691年	8月23日	元禄4年	7月30日	晴
1691年	8月24日	元禄4年	8月1日	なし (御用番氏名のみ) (飯詰組代官2人に「熊殺候儀兼而御制禁」につき逼塞)
1691年	8月25日	元禄4年	8月2日	快晴 (百沢寺より例年通り岩木山の「苔の実」上がる、29日夕顔関村で17男狼に喰われ負傷)
1691年	8月26日	元禄4年	8月3日	曇 巳の刻より陰晴 未の刻雨 雷発 則時止む (2日増館組目鹿沢村で12女子狼に喰われ負傷、朔日浪岡組浪岡村で16男狼に喰われ負傷)
1691年	8月27日	元禄4年	8月4日	曇 子の下刻甚だしい雨
1691年	8月28日	元禄4年	8月5日	曇 辰の后刻より終日雨 (今朝男牢死)
1691年	8月29日	元禄4年	8月6日	曇 巳の刻より陰晴
1691年	8月30日	元禄4年	8月7日	陰晴
1691年	8月31日	元禄4年	8月8日	晴

1691年 9月1日 元禄4年 8月9日 晴 (昨5日飯詰組神山村に60斗男乞食倒・今朝死亡)
 1691年 9月2日 元禄4年 8月10日 快晴
 1691年 9月3日 元禄4年 8月11日 晦 巳の刻より快晴(晦従巳刻快晴)
 1691年 9月4日 元禄4年 8月12日 晦 巳の刻より快晴(晦巳ノ刻ヨリ快晴)
 1691年 9月5日 元禄4年 8月13日 晴 時々風吹
 1691年 9月6日 元禄4年 8月14日 曇
 1691年 9月7日 元禄4年 8月15日 快晴
 1691年 9月8日 元禄4年 8月16日 快晴 夜に入り雨
 1691年 9月9日 元禄4年 8月17日 晴 酉の後刻より時々小雨 夜中に及ぶ
 1691年 9月10日 元禄4年 8月18日 陰晴 午の後刻雨 則時止む
 1691年 9月11日 元禄4年 8月19日 晴 風吹
 1691年 9月12日 元禄4年 8月20日 晦 巳の刻より時々雨 (12日に青森など)を出た船が13日に大風に合い帆柱折れ破船)
 1691年 9月13日 元禄4年 8月21日 陰晴 (今朝木作村の男縊死)
 1691年 9月14日 元禄4年 8月22日 昨夜戌の刻より雨終夜時々 今朝辰の刻に及び止む それより陰晴 (昨夜中の雨で今朝五頃駒越川洪水・船渡しもできない)
 1691年 9月15日 元禄4年 8月23日 晦 卯の上刻雨 則時止む
 1691年 9月16日 元禄4年 8月24日 快晴
 1691年 9月17日 元禄4年 8月25日 晴 午の後刻より曇
 1691年 9月18日 元禄4年 8月26日 昨夜子の刻より雨 今朝辰の後刻に及び陰晴(昨夜子ノ刻ヨリ雨今朝辰ノ後刻陰晴)
 1691年 9月19日 元禄4年 8月27日 昨夜丑の刻ヨリ雨今日も終日雨降続く 申の下刻止む
 1691年 9月20日 元禄4年 8月28日 陰晴 (初鮭1尺青森で買上げる)
 1691年 9月21日 元禄4年 8月29日 曇
 1691年 9月22日 元禄4年 閏8月1日 辰の上刻雨 則止む 午の下刻小風 (御用番氏名のみ)
 1691年 9月23日 元禄4年 閏8月2日 陰晴 時々小雨 彼岸に入る
 1691年 9月24日 元禄4年 閏8月3日 昨夜より時々雨
 1691年 9月25日 元禄4年 閏8月4日 快晴
 1691年 9月26日 元禄4年 閏8月5日 快晴
 1691年 9月27日 元禄4年 閏8月6日 終日晦 (昨朝藤代組脇本村より鮭2尺上がる・十三からも1尺、ご家中の家来縊死)
 1691年 9月28日 元禄4年 閏8月7日 晦 午の刻より雨
 1691年 9月29日 元禄4年 閏8月8日 昨夜より雨時々 今日陰晴小風 (昨7日赤石組深谷村で火災4軒)
 1691年 9月30日 元禄4年 閏8月9日 昨夜時々雨 今日陰晴 (6日の二番鮭2尺の代銭1尺につき8匁宛)
 1691年 10月1日 元禄4年 閏8月10日 晴 午の刻より曇
 1691年 10月2日 元禄4年 閏8月11日 曇
 1691年 10月3日 元禄4年 閏8月12日 晴
 1691年 10月4日 元禄4年 閏8月13日 晴 (大目付が江戸から帰る)
 1691年 10月5日 元禄4年 閏8月14日 晴 (13日前田野目村で11男子狼に喰われ負傷)
 1691年 10月6日 元禄4年 閏8月15日 曇 午の刻より雨 終日に及ぶ (初茸25上がる、石田坂村で熊を殺し剥ぎその肉を食った件に関し関係郡奉行遠慮) 下から続く 家族は金木村以遠に追放、補足説明は下の欄外(*)に)
 1691年 10月7日 元禄4年 閏8月16日 昨夜よりの雨終夜に及ぶ 今日も時々終日に及ぶ (熊を殺し肉を食った石田坂村治兵衛を遠島江戸送り、その妻子(男子5歳女子2歳)並びに基四郎・左次兵衛は南部口追放・ 上に続く
 1691年 10月8日 元禄4年 閏8月17日 昨夜より雨辰の刻に及ぶ 終日曇 時々雨
 1691年 10月9日 元禄4年 閏8月18日 陰晴 巳の下刻より晴
 1691年 10月10日 元禄4年 閏8月19日 曇
 1691年 10月11日 元禄4年 閏8月20日 晴 午の刻より曇
 1691年 10月12日 元禄4年 閏8月21日 晴
 1691年 10月13日 元禄4年 閏8月22日 曇 (狼が人を損した目鹿沢・原子など10か村に鉄砲打ち10人・徒目付5人・足軽目付2人を出す、三馬屋勘兵衛屋敷にある御用梨子30ほどあり・取りごろ)
 1691年 10月14日 元禄4年 閏8月23日 晴 (19日屋藤崎組長野村で男子狼に喰われ負傷、郷足軽卒死)
 1691年 10月15日 元禄4年 閏8月24日 霜 快晴 (三馬屋の小梨子上がる)
 1691年 10月16日 元禄4年 閏8月25日 快晴 小風
 1691年 10月17日 元禄4年 閏8月26日 陰晴 小風
 1691年 10月18日 元禄4年 閏8月27日 快晴
 1691年 10月19日 元禄4年 閏8月28日 昨夜中時々小雨 終夜に及ぶ 今日曇 午の刻より晴
 1691年 10月20日 元禄4年 閏8月29日 陰晴
 1691年 10月21日 元禄4年 9月1日 晴 巳の刻より晦 午の刻より晴 (御用番氏名のみ)
 1691年 10月22日 元禄4年 9月2日 大霜 快晴
 1691年 10月23日 元禄4年 9月3日 快晴 岩木山頂より上山半分まで初雪積もる (今朝日柏木組高増村で10歳女子狼に喰われ負傷)
 1691年 10月24日 元禄4年 9月4日 晴
 1691年 10月25日 元禄4年 9月5日 快晴
 1691年 10月26日 元禄4年 9月6日 陰晴
 1691年 10月27日 元禄4年 9月7日 陰晴
 1691年 10月28日 元禄4年 9月8日 快晴
 1691年 10月29日 元禄4年 9月9日 晦 未の刻より雨夜中に及ぶ
 1691年 10月30日 元禄4年 9月10日 晦 小風
 1691年 10月31日 元禄4年 9月11日 晦 巳の刻より時々雨 終日に及ぶ (御家中家来乱心・中間に切付け自害)

(*) 治兵衛護送の一行・御馬廻2人・中川次郎太夫支配忍者かな?2人・足軽目付2人・郡方郷足軽4人・付き添いの庄屋など4人、このほかに雇われた駕籠かきなど多数、大小便は籠の下の空より・原則手鎖のまま)

1691年 11月1日 元禄4年 9月12日 晦 巳の刻より快晴
 1691年 11月2日 元禄4年 9月13日 昨夜より時々雨 終夜に及ぶ 今日陰晴 (11日夜五時分より青森堤川洪水・常より6尺余・上堤町南8軒博労町40軒松森町49軒塩町40軒下町の末40軒下米町6軒・都合138軒が浸水)
 1691年 11月3日 元禄4年 9月14日 卯の刻より時々雨 終日に及ぶ
 1691年 11月4日 元禄4年 9月15日 昨夜より時々雨 辰の刻に及ぶ 午の刻より陰晴 (9月8日夜四過ぎより翌9日明け六つまで久保田(秋田市)で大火事・町名があるが家数なし)
 1691年 11月5日 元禄4年 9月16日 晦 午の刻より小雨 (石田坂村の関係者(親・庄屋・弟など)16人のお預け御免)
 1691年 11月6日 元禄4年 9月17日 晦 申の下刻風雨 則時止む (向外瀬村に犬を追った狼が出て井戸に落ちる・縄で吊り上げ追放、袋町で20斗歌舞伎役者が10斗男子(ファン?)を殺し自害)
 1691年 11月7日 元禄4年 9月18日 陰晴 岩木山頂へ雪積もる (狼打ちの足軽共帰す)
 1691年 11月8日 元禄4年 9月19日 晴 小風 未の刻雨雷発す
 1691年 11月9日 元禄4年 9月20日 今朝岩木山江雪 山半分まで 終日曇
 1691年 11月10日 元禄4年 9月21日 今朝岩木山江雪積もる 終日曇 未の刻より時々小雨 (新たに14か村に4組の狼打ち足軽6人御徒目付け4人出す)
 1691年 11月11日 元禄4年 9月22日 大霜 快晴 (3か村に狼打ち1組出す)
 1691年 11月12日 元禄4年 9月23日 晦 巳の刻より時々小雨に及び終日に及ぶ(晦従巳刻時々及小雨及終日)
 1691年 11月13日 元禄4年 9月24日 昨夜四方山へ雪積もる 時々丸雪
 1691年 11月14日 元禄4年 9月25日 昨夜時々丸雪 風終夜に及ぶ
 1691年 11月15日 元禄4年 9月26日 昨夜より雨 今日時々 終日に及ぶ
 1691年 11月16日 元禄4年 9月27日 陰晴 時々小雨 (石田坂村の囚人護送の18人江戸より帰る)
 1691年 11月17日 元禄4年 9月28日 辰の刻より時々小雨
 1691年 11月18日 元禄4年 9月29日 昨夜より雨 辰の刻に及ぶ 同中刻小雪 則止み陰晴
 1691年 11月19日 元禄4年 9月30日 陰晴 午の刻より雨
 1691年 11月20日 元禄4年 10月1日 終日晦 (御用番氏名のみ)
 1691年 11月21日 元禄4年 10月2日 陰晴 時々雨
 1691年 11月22日 元禄4年 10月3日 昨夜より雪 今日も時々雪
 1691年 11月23日 元禄4年 10月4日 昨夜大風雨終夜に及ぶ 今日時々風雨 (昨3日男牢舎(死?)、河原町・猫右衛門町に大風被害)
 1691年 11月24日 元禄4年 10月5日 昨夜より時々雨降り続く (藤崎川洪水・夜五時分歩行橋引き取る)
 1691年 11月25日 元禄4年 10月6日 昨夜中雨降り続く 今日陰晴 (狼打ち4人帰る)
 1691年 11月26日 元禄4年 10月7日 快晴 大霜
 1691年 11月27日 元禄4年 10月8日 陰晴 時々小雪
 1691年 11月28日 元禄4年 10月9日 昨夜雨 今日曇時々小雪
 1691年 11月29日 元禄4年 10月10日 曇 時々小雨 (狼打ち2人帰る)
 1691年 11月30日 元禄4年 10月11日 大霜 快晴
 1691年 12月1日 元禄4年 10月12日 快晴 (高野村に狼打ち1組2人出す)
 1691年 12月2日 元禄4年 10月13日 曇 時々小雨
 1691年 12月3日 元禄4年 10月14日 昨夜より時々雨
 1691年 12月4日 元禄4年 10月15日 昨夜中雪 陰晴 (例年のように今日より火鉢出す)
 1691年 12月5日 元禄4年 10月16日 晴 時々小雨
 1691年 12月6日 元禄4年 10月17日 曇 巳の刻より雨 (狼まだ1疋も見えず)
 1691年 12月7日 元禄4年 10月18日 晴
 1691年 12月8日 元禄4年 10月19日 晴
 1691年 12月9日 元禄4年 10月20日 昨夜雨 今日時々雪積もる (初鱈1尺(1尾のことを1尺という例が多い)青森より差上げる)
 1691年 12月10日 元禄4年 10月21日 昨夜雪 今日陰晴
 1691年 12月11日 元禄4年 10月22日 快晴 (9月29日茂森町で欠落、二番鱈1尺青森より差上げる)
 1691年 12月12日 元禄4年 10月23日 曇 辰の刻より雨 未の刻基だしい雨
 1691年 12月13日 元禄4年 10月24日 昨夜より雨 今日も降り続く (昨夜平川5・6尺水増し・館田渡橋今朝六時破損・橋板6枚流れる、駒込・石渡川も洪水)
 1691年 12月14日 元禄4年 10月25日 晴 (青森24日洪水:博労町55軒・塩町37軒・堤町20軒・松森町49軒・下町末5軒・下米町末5軒の都合171軒(床上)浸水)
 1691年 12月15日 元禄4年 10月26日 陰晴
 1691年 12月16日 元禄4年 10月27日 昨夜中より雨 未の上刻より雪 (24日の大雨でお預けの飛内村(元黒石領現時点で天領)で堤2箇所破損)
 1691年 12月17日 元禄4年 10月28日 昨夜中雪 今日時々終日に及ぶ
 1691年 12月18日 元禄4年 10月29日 時々雪積もる
 1691年 12月19日 元禄4年 10月30日 巳の刻より雨 終日に及ぶ
 1691年 12月20日 元禄4年 11月1日 曇 (御用番氏名のみ)
 1691年 12月21日 元禄4年 11月2日 曇
 1691年 12月22日 元禄4年 11月3日 昨夜より雨時々 今日巳の刻に及ぶ (藤代組三世寺村で豕が狼?に喰殺される)
 1691年 12月23日 元禄4年 11月4日 陰晴 午の刻より雨
 1691年 12月24日 元禄4年 11月5日 晦 時々小雪 (去2日夜赤石組岩崎村で火災・5軒7歳娘焼死)
 1691年 12月25日 元禄4年 11月6日 晴
 1691年 12月26日 元禄4年 11月7日 昨夜より時々雪 今日も時々風雪 (昨6日昼狼打ちが赤石組前渡村で狼を見かけ一放打ち候・外れ)
 1691年 12月27日 元禄4年 11月8日 昨夜より雪 今日巳の刻に及び止む
 1691年 12月28日 元禄4年 11月9日 晦 (朔日平館村の鮫漁船7人乗り行方不明)
 1691年 12月29日 元禄4年 11月10日 晦
 1691年 12月30日 元禄4年 11月11日 曇 午の刻より吹雪 (9日狼打ちが田野沢村で狼を打つ・外れ、追い鳥狩りは雉子のみを取るよう指示する)
 1691年 12月31日 元禄4年 11月12日 昨夜大雪積もる 今日晦 (7日御家中が藤代組で行方不明・川で死亡)

1692年 1月1日 元禄4年 11月13日 陰晴 時々小雪
 1692年 1月2日 元禄4年 11月14日 昨夜中より今日終日風雪
 1692年 1月3日 元禄4年 11月15日 陰 時々小雪 (追い鳥狩り:雉子雌雄とも50・梟2指上げる)
 1692年 1月4日 元禄4年 11月16日 晴
 1692年 1月5日 元禄4年 11月17日 陰
 1692年 1月6日 元禄4年 11月18日 晴 未の下刻雷発し雨 戌の刻に及ぶ止む(晴未下刻雷発雨及戌刻止)
 1692年 1月7日 元禄4年 11月19日 晴 申の刻より雨終夜に及ぶ
 1692年 1月8日 元禄4年 11月20日 昨夜より雨今日も時々 終日に及ぶ
 1692年 1月9日 元禄4年 11月21日 昨夜より雪終夜に及ぶ 今日も時々吹雪 (一昨19日夜駒越歩行橋水湛・橋落ち石渡廻りとする、藤崎川頃日の雨で橋板半分引き取る、追い鳥狩り:雉子数35)
 1692年 1月10日 元禄4年 11月22日 昨夜より今日まで吹雪
 1692年 1月11日 元禄4年 11月23日 終日時々吹雪
 1692年 1月12日 元禄4年 11月24日 晴
 1692年 1月13日 元禄4年 11月25日 終日吹雪 (在々に出した狼打ちを帰す、深浦町の家数171軒・町中の者8月より傷寒(チフスカ)流行)
 1692年 1月14日 元禄4年 11月26日 時々雪降 (生類の芸停止令?)
 1692年 1月15日 元禄4年 11月27日 甚だしい雪風 (26日屋柏木組五林平村と深井村の間に13・4男子吹倒死、17日赤石川で男子流死)
 1692年 1月16日 元禄4年 11月28日 晴 (追い鳥狩り:雉子25)
 1692年 1月17日 元禄4年 11月29日 陰 時々小雪 午の刻より吹雪 (石田坂村庄屋を預ヶ替)
 1692年 1月18日 元禄4年 12月1日 時々吹雪 (御用番氏名のみ) (青森堤町に豕頭・前々の通り埋め置く)
 1692年 1月19日 元禄4年 12月2日 終日吹雪 (金木村で火災2軒、先月29日和田新町で20娘自害、追い鳥狩り:雉子数都合30)
 1692年 1月20日 元禄4年 12月3日 昨夜大雪風 今日時々雪
 1692年 1月21日 元禄4年 12月4日 晴 (昨2日夜四時浪岡組王餘魚沢村庄屋家火災・馬4疋、和徳組大久保村に50余女乞食倒死、浪岡組中野村に14・5男倒死)
 1692年 1月22日 元禄4年 12月5日 快晴
 1692年 1月23日 元禄4年 12月6日 陰
 1692年 1月24日 元禄4年 12月7日 曇 時々雪降
 1692年 1月25日 元禄4年 12月8日 陰晴
 1692年 1月26日 元禄4年 12月9日 陰 時々小雪
 1692年 1月27日 元禄4年 12月10日 陰晴
 1692年 1月28日 元禄4年 12月11日 終日吹雪 (5日暮六青森上新町に40斗男倒死)
 1692年 1月29日 元禄4年 12月12日 終日吹雪
 1692年 1月30日 元禄4年 12月13日 陰
 1692年 1月31日 元禄4年 12月14日 時々吹雪 (鱒ヶ沢より蝶鮫一本参り候)
 1692年 2月1日 元禄4年 12月15日 快晴
 1692年 2月2日 元禄4年 12月16日 曇 時々吹雪
 1692年 2月3日 元禄4年 12月17日 終日雪降 (16日夜飯詰組高野村・増館組樽沢村で狼2疋打ちとめる・サイズ等あり:夏に被害が多く狼打ちを多く出した成果)
 1692年 2月4日 元禄4年 12月18日 終日雪降
 1692年 2月5日 元禄4年 12月19日 曇 時々雪
 1692年 2月6日 元禄4年 12月20日 小雪 午の下刻より陰晴 (昨19日夜飯詰組高野村で狼1疋鉄砲で打留)
 1692年 2月7日 元禄4年 12月21日 陰晴 (金木組岩崎村?で者(翌日の記述で60斗男)倒死)
 1692年 2月8日 元禄4年 12月22日 晴
 1692年 2月9日 元禄4年 12月23日 陰晴 (毛内武兵衛今朝病死・武兵衛儀切支丹類族之御帳面に記載者に付……、石川村平川渡橋の下に狼に喰われた者死亡)
 1692年 2月10日 元禄4年 12月24日 昨夕より今日に至り時々雨 卯の中刻雷発す 寒明け初雷
 1692年 2月11日 元禄4年 12月25日 陰晴 小風
 1692年 2月12日 元禄4年 12月26日 陰晴
 1692年 2月13日 元禄4年 12月27日 陰晴 (大円寺内で50斗男乞食倒死、増館組水木村に男吹倒死)
 1692年 2月14日 元禄4年 12月28日 昨夕より今日まで雨打ち続く 未の刻甚だしい風
 1692年 2月15日 元禄4年 12月29日 昨夜中甚だしい風 今日時々雪 (広田組長橋村に50斗女乞食倒死)
 1692年 2月16日 元禄4年 12月30日 快晴
 1692年 2月17日 元禄5年 正月1日 巳の下刻まで曇 午の刻より晴 (御用番氏名のみ)
 1692年 2月18日 元禄5年 正月2日 陰晴 午の中刻雨 酉の刻曇 則時止む
 1692年 2月19日 元禄5年 正月3日 辰の刻より小雪時々 終日に及ぶ (御吉例のようにお金200両差登)
 1692年 2月20日 元禄5年 正月4日 陰晴時々小雪 (火付けの男牢死)
 1692年 2月21日 元禄5年 正月5日 陰晴時々小雪
 1692年 2月22日 元禄5年 正月6日 陰晴時々小雪 (大鰐の者より七種持参:夏菜(なずな)・葉にら(はこべ)・志の葉(不明)・芹(せり)・ふきのとう(?)・青な(?)・もやし(?))
 1692年 2月23日 元禄5年 正月7日 快晴
 1692年 2月24日 元禄5年 正月8日 曇 時々小雪
 1692年 2月25日 元禄5年 正月9日 昨夜中雪風 今日終日に及ぶ
 1692年 2月26日 元禄5年 正月10日 時々雪 未の刻より陰晴小風
 1692年 2月27日 元禄5年 正月11日 快晴
 1692年 2月28日 元禄5年 正月12日 陰晴 午の刻より快晴
 1692年 2月29日 元禄5年 正月13日 陰晴 (江戸への路金:上1人銀45匁8分2厘(1日2匁2分9厘1毛)・下1人銀39匁9分4厘・馬銀1駄分116匁8分2厘(御中小姓以上)・以下略)

1692年	3月1日	元禄5年	正月14日	曇
1692年	3月2日	元禄5年	正月15日	昨夜子の刻より雨 今日午の刻に及び止み曇
1692年	3月3日	元禄5年	正月16日	曇 巳の刻より晴
1692年	3月4日	元禄5年	正月17日	昨夜中より甚だしい雪 午の后刻止む それより晴
1692年	3月5日	元禄5年	正月18日	曇 午の刻より晴
1692年	3月6日	元禄5年	正月19日	曇 小雪
1692年	3月7日	元禄5年	正月20日	昨夜中より甚だしい風雪 今日に至る (昨夜東長町に豕1疋殞)
1692年	3月8日	元禄5年	正月21日	昨日よりの雪風終夜に及ぶ 今日曇時々雪
1692年	3月9日	元禄5年	正月22日	曇
1692年	3月10日	元禄5年	正月23日	昨夜深更より雨 今日終日降る
1692年	3月11日	元禄5年	正月24日	晴 (昨日の大風で城中所々破損)
1692年	3月12日	元禄5年	正月25日	昨夜亥の刻よりの雨終夜に及ぶ 卯の刻より大風時々雨
1692年	3月13日	元禄5年	正月26日	晴 (昨夜の大風で城中所々破損)
1692年	3月14日	元禄5年	正月27日	晦 巳の刻より雨降 (桧皮火縄1房(の長さ)が20尋)
1692年	3月15日	元禄5年	正月28日	昨夜時々雨 終夜に及ぶ 卯の刻風 辰の刻止む 同中刻より時々雪 巳の刻に及び止む 午の刻より雪時々 未の上刻より大風 夜に及び止む (午の上刻より烈風・御城少々破損)
1692年	3月16日	元禄5年	正月29日	快晴
1692年	3月17日	元禄5年	正月30日	寅の刻より雨 終日に及ぶ
1692年	3月18日	元禄5年	2月1日	卯の上刻より雪風 (御用番指名のみ) (正月21日後湯組根岸村で漁船2艘遭難・8人死亡1人介介、駒越組昨日より洪水・石渡廻りとする、堀越組境関村川渡昨晚橋杭が雪水で流される)
1692年	3月19日	元禄5年	2月2日	晦 巳の刻より陰晴 小風 (千年山の福寿草咲く)
1692年	3月20日	元禄5年	2月3日	晦
1692年	3月21日	元禄5年	2月4日	晦 昨夜より時々曇 午の刻止み風 (久祥院様(四代信政の生母)御病氣・御祈禱?)
1692年	3月22日	元禄5年	2月5日	陰晴
1692年	3月23日	元禄5年	2月6日	彼岸に入る 晦
1692年	3月24日	元禄5年	2月7日	晦 午の刻より雪 則時止む
1692年	3月25日	元禄5年	2月8日	晦 辰の刻より雪巳の刻に及ぶ それより風 午の刻に及び丸雪 同下刻雷発す
1692年	3月26日	元禄5年	2月9日	晦時々小雪 風
1692年	3月27日	元禄5年	2月10日	陰晴 (御家中の家少々出火・打消す)
1692年	3月28日	元禄5年	2月11日	快晴 辰の刻より風吹く (昨10日朝五時金木村で火災・21軒馬4疋焼失、大円寺溜池に御家中の下女投身自殺、御材木場に39歳男乞食倒死、碓関山で倒木で1人死亡)
1692年	3月29日	元禄5年	2月12日	昨夜より雨 終夜に及ぶ
1692年	3月30日	元禄5年	2月13日	曇 大風 時々雪 巳の刻地震 (夫食米として粳2960俵(9斗入り)・銭42貫余・米1095俵(4斗入りか)の拝借を申し付ける、8日亀甲町で乞食子を生む)
1692年	3月31日	元禄5年	2月14日	快晴 (9日夜後湯組中沢村で百姓家火災・種粳6俵(京枅3斗入り)・糶(しいな:不熟の意)粳4俵(9斗入り)・大豆2俵(4斗入り)・小豆2俵(4斗入り)・蕎麦2俵(5斗入り)・稗1俵(9斗入り)・稻300束焼失)
1692年	4月1日	元禄5年	2月15日	快晴 (黒石御支配所4か村の米入札:1俵に付15匁7分2厘)
1692年	4月2日	元禄5年	2月16日	晴 (駒越組黒土村に40斗男倒死)
1692年	4月3日	元禄5年	2月17日	辰の刻より雨 巳の刻に及び止む 小風 (先々月24日水木村で倒死の者(27日記述)は浪岡村の39歳男と判明・突き傷あるが倒れた時の傷だろう)
1692年	4月4日	元禄5年	2月18日	昨夜風雨 巳の中刻に及び止む 小風 (今朝五時分広須間山村で火災・家1軒馬2疋焼失)
1692年	4月5日	元禄5年	2月19日	陰晴 風吹 (昨18日大光寺組田中村で百姓家火災・1軒馬1疋飯米種粳など焼失)
1692年	4月6日	元禄5年	2月20日	陰晴 巳の中刻大丸雪 則止む 同刻雷発す 小風
1692年	4月7日	元禄5年	2月21日	卯の刻より雪 辰の刻に及び止む 陰晴
1692年	4月8日	元禄5年	2月22日	昨夜中雪大風 終夜に及ぶ 今日陰晴 (昨21日和徳組小比内村に狼出る・被害無)
1692年	4月9日	元禄5年	2月23日	陰晴
1692年	4月10日	元禄5年	2月24日	巳の刻より陰晴 風吹
1692年	4月11日	元禄5年	2月25日	申の刻より雨 戌の刻甚だしい風 時々雨降り終夜に及ぶ 時々丸雪 風吹(従申刻雨戌刻甚風時々雨降及終夜時々丸雪風吹)
1692年	4月12日	元禄5年	2月26日	昨夜より時々雪大風終夜に及ぶ (独鉆村の用水堰に40斗男死亡)
1692年	4月13日	元禄5年	2月27日	晴 風吹 (昨夜五過ぎ増館組杉村で火災・4軒と火元の馬3匹焼失・火元行方不明、独鉆村の死亡(昨日記載)は郷足軽)
1692年	4月14日	元禄5年	2月28日	晴 (24・25日の風で独鉆村・檜木村に被害あり)
1692年	4月15日	元禄5年	2月29日	晴 小風 (27日夜油川組飛鳥村で船小屋(2間四方)焼失・1人焼死)
1692年	4月16日	元禄5年	3月1日	晴 (御用番氏名のみ)
1692年	4月17日	元禄5年	3月2日	晴 昨夜より風 今日風吹 (先月26日大風・赤根沢間にて破船1艘)
1692年	4月18日	元禄5年	3月3日	陰晴 巳の刻より晴 (今朝男牢死、藤代組三世寺村で水飲家火災)
1692年	4月19日	元禄5年	3月4日	晴 風吹 大霧 (昨夜浪岡組中野村で火災・1軒水飲)
1692年	4月20日	元禄5年	3月5日	昨夜小雪 風吹 今日も時々雨 小風 (朔日鯉ヶ沢から松前に向かう15艘破船・6人行方不明、昨夜堀越組福田村で火災・百姓家1軒・その他の焼失・持ち出し物件は下の欄外(*)に)
1692年	4月21日	元禄5年	3月6日	時々雨 終日に及ぶ
1692年	4月22日	元禄5年	3月7日	晦 (4日金木村不動林の御蔵風で押潰される)
1692年	4月23日	元禄5年	3月8日	晦
1692年	4月24日	元禄5年	3月9日	曇 小風 午の刻より時々小雨 (朔日鯉ヶ沢で行方不明になった6人(5日の記述)中5人は小泊に着岸・行方不明1人)
1692年	4月25日	元禄5年	3月10日	卯の上刻大風 良(うしろ)時に止む それより雨 終日降
1692年	4月26日	元禄5年	3月11日	曇 時々風 辰の下刻より時々雨 午の中刻に及ぶ (昨日の雨で駒越渡で川十分・船の往来不可・石渡廻りで)
1692年	4月27日	元禄5年	3月12日	陰晴 時々小雨 (朔日の残りの行方不明者(9日記述)は松前に着岸・全員無事)
1692年	4月28日	元禄5年	3月13日	晴 時々甚だしい風
1692年	4月29日	元禄5年	3月14日	昨夜時々風雨 今日辰の刻に及ぶ 今日時々風吹
1692年	4月30日	元禄5年	3月15日	快晴 (切子鉄3貫200目で代銭10目宛・かた炭1俵9分2厘宛)

(*) 11歳女子・馬1疋・白米(京枅6斗入り)3俵・大豆(京枅4斗入り)2俵・志ら希(しらげ:精白)粟(京枅4斗入り)1俵・粳(京枅6斗入り)2俵・古味噌1石余入り1桶・新味噌大豆9斗分3桶・まんくわ(馬糞)3挺・鉄5挺・鍋大小6つ・くわんす(鑊子か)1つ・金輪(五徳か)1つ・鎌1・脇差2腰・衣類・折敷を焼失、持ち出したもの:餅粳1俵・量10枚・戸6枚・障子2本)

1692年 5月1日 元禄5年 3月16日 快晴 (15日夜九時横内組和泉野村で火災・2軒)
 1692年 5月2日 元禄5年 3月17日 曇 午の后刻より雨
 1692年 5月3日 元禄5年 3月18日 巳の下刻より時々雨
 1692年 5月4日 元禄5年 3月19日 晴 小風
 1692年 5月5日 元禄5年 3月20日 晦 巳の刻より陰晴 午の刻雨 長時止む それより風吹
 1692年 5月6日 元禄5年 3月21日 陽 風吹 終日に及ぶ
 1692年 5月7日 元禄5年 3月22日 陽 (昨夜七時鱒ヶ沢で火災・家24軒土蔵17軒男1人焼死)
 1692年 5月8日 元禄5年 3月23日 昨夜時々雨 陽 風吹 (百沢寺が北御丸で御祈禱)
 1692年 5月9日 元禄5年 3月24日 快晴 (昨夜四時分柏木組夕顔関村で火災5軒)
 1692年 5月10日 元禄5年 3月25日 快晴 申の下刻地震
 1692年 5月11日 元禄5年 3月26日 晦 辰の中刻より小雨 午の刻より大雨 終日に及ぶ (昨25日申中刻過ぎ鱒ヶ沢で30斗男自害)
 1692年 5月12日 元禄5年 3月27日 晦 小風
 1692年 5月13日 元禄5年 3月28日 晴 (7日振りの飛脚(普通は12日振りくらいであり早飛脚といえる)を出している)
 1692年 5月14日 元禄5年 3月29日 快晴
 1692年 5月15日 元禄5年 3月30日 快晴
 1692年 5月16日 元禄5年 4月1日 曇 巳の下刻より陰晴 (御用番指名のみ) (今朝五過ぎ大鱒組三免内村で火災8軒・火元の男焼死、先月29日昼七時分外浜中沢で出火)
 1692年 5月17日 元禄5年 4月2日 晴 戌の刻より小雨 (今昼九時分増館組杉村で火災2軒、昨暮六時分中沢山火事消火)
 1692年 5月18日 元禄5年 4月3日 卯の上刻より雨 巳の下刻止む 午の刻より時々雨 申の下刻に及ぶ (昨2日後潟組宇田松木山江山火事)
 1692年 5月19日 元禄5年 4月4日 陰晴 (加賀の男牢死、久祥院様申の刻御遠行、江戸へ早飛脚6日振りに申し付ける)
 1692年 5月20日 元禄5年 4月5日 陰晴
 1692年 5月21日 元禄5年 4月6日 卯の刻晦 辰の下刻より陰晴 夜更雨 (5日奥内村で瀬戸子村の鉄吹小頭が他人の女房切り殺す・縄下に)
 1692年 5月22日 元禄5年 4月7日 晦 辰の刻より陰晴 (5日奥内の殺人者は乱気・青森で入籠)
 1692年 5月23日 元禄5年 4月8日 陰晴 (昨7日飯詰組で百姓自害たはこ切うすはにて切腹、昨7日夜九時分赤田組胡桃館村で火災3軒)
 1692年 5月24日 元禄5年 4月9日 曇
 1692年 5月25日 元禄5年 4月10日 曇
 1692年 5月26日 元禄5年 4月11日 快晴
 1692年 5月27日 元禄5年 4月12日 快晴
 1692年 5月28日 元禄5年 4月13日 曇 巳の刻より快晴 小風
 1692年 5月29日 元禄5年 4月14日 曇 辰の后刻より快晴
 1692年 5月30日 元禄5年 4月15日 曇
 1692年 5月31日 元禄5年 4月16日 晴
 1692年 6月1日 元禄5年 4月17日 昨戌の下刻より時々雨 今朝辰の中刻に及び止む
 1692年 6月2日 元禄5年 4月18日 昨夜中時々風吹 今日陰晴 小風 (昨16日卯刻鱒ヶ沢で大工が切腹自害)
 1692年 6月3日 元禄5年 4月19日 辰の中刻より雨 同下刻止む (金木組川倉村で火災・水飲1軒)
 1692年 6月4日 元禄5年 4月20日 曇 時々雨 (駒越組紙漉沢村に35・6斗男(大工の弟)死亡)
 1692年 6月5日 元禄5年 4月21日 晴 午の刻より陰晴
 1692年 6月6日 元禄5年 4月22日 陰晴
 1692年 6月7日 元禄5年 4月23日 今朝寅の刻より雨 終日に及ぶ
 1692年 6月8日 元禄5年 4月24日 曇
 1692年 6月9日 元禄5年 4月25日 曇 巳の刻より陰晴 小風 申の刻より小雨 長(うしとら)の刻止む 虹翼より見え見る (昨24日未刻強風により鱒ヶ沢間で破船9隻行方不明7人)
 1692年 6月10日 元禄5年 4月26日 晴 小風 未の刻より申の下刻まで甚だしい風
 1692年 6月11日 元禄5年 4月27日 快晴 午の中刻より陰晴 小風
 1692年 6月12日 元禄5年 4月28日 曇 夜中より時々雨
 1692年 6月13日 元禄5年 4月29日 陰晴 巳の下刻より風
 1692年 6月14日 元禄5年 4月30日 陰晴
 1692年 6月15日 元禄5年 5月1日 晦 (御用番氏名のみ)
 1692年 6月16日 元禄5年 5月2日 晦 時々小雨 (上野御菜園場の芍薬花盛り)
 1692年 6月17日 元禄5年 5月3日 晦 午の刻より晴
 1692年 6月18日 元禄5年 5月4日 晦 (藤崎村で24・5男乞食倒・死)
 1692年 6月19日 元禄5年 5月5日 晦 終日風吹
 1692年 6月20日 元禄5年 5月6日 晦
 1692年 6月21日 元禄5年 5月7日 陰晴
 1692年 6月22日 元禄5年 5月8日 昨夜より雨 今日時々
 1692年 6月23日 元禄5年 5月9日 陰晴 小風
 1692年 6月24日 元禄5年 5月10日 晴
 1692年 6月25日 元禄5年 5月11日 快晴
 1692年 6月26日 元禄5年 5月12日 快晴 未の下刻より雷発す
 1692年 6月27日 元禄5年 5月13日 晴 (大鱒御菜園畑より初胡瓜4上がる)
 1692年 6月28日 元禄5年 5月14日 晦 巳の后刻より晴
 1692年 6月29日 元禄5年 5月15日 終日晦 (大鱒の村人より初胡瓜5上がる)
 1692年 6月30日 元禄5年 5月16日 晴 小風

1692年 7月1日 元禄5年 5月17日 戌の刻より雨終夜 今日も時々
 1692年 7月2日 元禄5年 5月18日 陰晴 巳の中刻小雨 則時止む 未の上刻大雨 則止む
 1692年 7月3日 元禄5年 5月19日 晴 午の后刻より陰晴
 1692年 7月4日 元禄5年 5月20日 晴
 1692年 7月5日 元禄5年 5月21日 陰 午の刻より陰晴
 1692年 7月6日 元禄5年 5月22日 陰 巳の刻より小雨 未の中刻甚だしい雨時々 夜に及ぶ
 1692年 7月7日 元禄5年 5月23日 卯の刻より小雨 西より南へ虹見る 巳の中刻より陰晴
 1692年 7月8日 元禄5年 5月24日 陰 巳の后刻より晴
 1692年 7月9日 元禄5年 5月25日 陰
 1692年 7月10日 元禄5年 5月26日 陰 巳の刻より晴
 1692年 7月11日 元禄5年 5月27日 陰 巳の刻より晴 (鬼袋村で密通の女房を切り殺す)
 1692年 7月12日 元禄5年 5月28日 卯の后刻雨 則止む (昨27日夜浪岡村で火災・百姓1軒)
 1692年 7月13日 元禄5年 5月29日 巳の刻より陰晴
 1692年 7月14日 元禄5年 6月1日 曇 辰の后刻より晴 (御用番氏名のみ) (御菜園より初真瓜3大角豆少し差上げる)
 1692年 7月15日 元禄5年 6月2日 曇 巳の中刻より陰晴
 1692年 7月16日 元禄5年 6月3日 曇 巳の中刻より晴
 1692年 7月17日 元禄5年 6月4日 快晴 (御旗の者2人採用を江戸に申し立てる・共に5尺6寸)
 1692年 7月18日 元禄5年 6月5日 晴 未の刻小雨 則時止む 今日より土用に入る
 1692年 7月19日 元禄5年 6月6日 陰晴 (大鰐御菜園場より初茄子上がる)
 1692年 7月20日 元禄5年 6月7日 陰晴
 1692年 7月21日 元禄5年 6月8日 陰晴 小風 (大鰐村の者共初茄子差上げる)
 1692年 7月22日 元禄5年 6月9日 陰晴 小風 (古切支丹類族に中田庄三郎)
 1692年 7月23日 元禄5年 6月10日 陰晴
 1692年 7月24日 元禄5年 6月11日 陰 巳の中刻より雨 暮に及び止む
 1692年 7月25日 元禄5年 6月12日 陰
 1692年 7月26日 元禄5年 6月13日 晴 夜半雷数発
 1692年 7月27日 元禄5年 6月14日 卯の后刻より雨 辰の后刻止む
 1692年 7月28日 元禄5年 6月15日 陰 時々風雨 夜に入り大雨 終夜に及ぶ
 1692年 7月29日 元禄5年 6月16日 陰晴 (藤崎川水十分・歩行橋朝四時引き取る)
 1692年 7月30日 元禄5年 6月17日 陰晴 午の中刻より激しい雷数発 小雨 則時止む (北御丸にて煎茶なくなったので欲しいとのこと)
 1692年 7月31日 元禄5年 6月18日 曇 辰の下刻より晴 午の刻より曇 雷発す 時々小雨 (狼打ち2組4人出す、当3月より浪岡組中野村・浪岡村に投げ火、非人札の図・数あり)
 1692年 8月1日 元禄5年 6月19日 陰晴 辰の后刻より甚だしい雨 亥の刻に及び止む
 1692年 8月2日 元禄5年 6月20日 快晴
 1692年 8月3日 元禄5年 6月21日 晴 (大鰐御菜園より初瓜13差し上げる)
 1692年 8月4日 元禄5年 6月22日 晴 今日土用終わり
 1692年 8月5日 元禄5年 6月23日 快晴 (19日夜十三湊沖で大風)
 1692年 8月6日 元禄5年 6月24日 晴 (当春鯨ヶ沢町大火(3月22日記述)の火元の入寺赦免)
 1692年 8月7日 元禄5年 6月25日 陰 巳の刻より晴
 1692年 8月8日 元禄5年 6月26日 陰晴 (尾崎組四屋村より初穂上がる)
 1692年 8月9日 元禄5年 6月27日 晴
 1692年 8月10日 元禄5年 6月28日 昨夜時々雨降 今日陰晴
 1692年 8月11日 元禄5年 6月29日 晴 (先月18日御米1312俵を積み鯨ヶ沢を出た雇船が26日秋田領平沢村沖で破船)
 1692年 8月12日 元禄5年 7月1日 夜に入り雨 (御用番指名のみ) (兵庫殿娘子気色悪くむくみ強く食もなし)
 1692年 8月13日 元禄5年 7月2日 曇 辰の刻より雨 巳の刻止み陰晴 (大鰐御菜園より真桑瓜13差上げる。昨朝日増館組吉野田村で牡狼打留・記の札を立てる・サイズあり)
 1692年 8月14日 元禄5年 7月3日 曇 夜中時々雨 激しい雨 辰の刻又激しい雨 巳の刻止む(曇夜中時々雨甚雨辰刻又甚雨巳刻止) (今朝より駒越川洪水・仮橋引き取り(通行人を)石渡に廻す)
 1692年 8月15日 元禄5年 7月4日 陰晴 巳の刻小雨 則時止む (2日に初めて稲穂が出たとの記述)
 1692年 8月16日 元禄5年 7月5日 昨夜時々雨 今日陰 時々小雨 風 (大鰐御菜園より熟瓜(熟瓜か)14持参)
 1692年 8月17日 元禄5年 7月6日 快晴 (大鰐御菜園場より初米差上げる)
 1692年 8月18日 元禄5年 7月7日 曇 終日時々雨 夜に入り大雨 終夜に及ぶ (堀越組門外村と尾崎組四つ屋村から初米差上げる)
 1692年 8月19日 元禄5年 7月8日 陰晴
 1692年 8月20日 元禄5年 7月9日 快晴 (6日晚和徳組稲荷林に男縊死、藤崎川昨日の雨で水十分・歩行橋引取る)
 1692年 8月21日 元禄5年 7月10日 晴 (先月17日横内組山根通りに氷降る)
 1692年 8月22日 元禄5年 7月11日 昨夜子の刻雨 則止む 今日陰晴 (去8日十三町外に乞食倒果て(男女等不明))
 1692年 8月23日 元禄5年 7月12日 辰の刻より雨 午の刻より甚だしい雨 終日終夜に及ぶ 夜に入り風吹
 1692年 8月24日 元禄5年 7月13日 辰の中刻まで時々雨 午の刻より晴 (昨夜駒越側洪水・水7分で歩行橋引取る、藤崎川昨日の大雨で洪水・歩行橋引取る)
 1692年 8月25日 元禄5年 7月14日 巳の刻より雨 雷発す 未の刻より止む 申の刻より少し風
 1692年 8月26日 元禄5年 7月15日 陰晴 午の刻小雨 則時止む 夜に入り小雨 則止む
 1692年 8月27日 元禄5年 7月16日 陰晴 小風
 1692年 8月28日 元禄5年 7月17日 晴
 1692年 8月29日 元禄5年 7月18日 晴 小風 (小栗山・松木平村に初茸、兵庫殿息女おゆうとの未の刻過ぎ死去・兵庫殿息女昨夜九時貞昌寺江引取る……)
 1692年 8月30日 元禄5年 7月19日 晴 小風
 1692年 8月31日 元禄5年 7月20日 卯の刻より小雨

1692年 9月1日 元禄5年	7月21日 曇 時々小雨
1692年 9月2日 元禄5年	7月22日 卯の刻小雨 辰の刻止む 小風
1692年 9月3日 元禄5年	7月23日 快晴
1692年 9月4日 元禄5年	7月24日 快晴
1692年 9月5日 元禄5年	7月25日 晴 風吹
1692年 9月6日 元禄5年	7月26日 晴 風吹 (上野御菜園の小角豆百把差上げる)
1692年 9月7日 元禄5年	7月27日 曇 小風 酉の刻雨
1692年 9月8日 元禄5年	7月28日 昨夜より時々雨 終日に及ぶ 子の刻甚だしい雨 即時止む
1692年 9月9日 元禄5年	7月29日 陰晴 時々雨 小風 午の刻甚だしい雨 雷 則止む (来月朔日より時鐘撞6人に)
1692年 9月10日 元禄5年	7月30日 快晴 (20日に温湯で鶴田村の百姓自・25日昼害:死ぬまで数日かかったということ)
1692年 9月11日 元禄5年	8月1日 快晴 (御用番氏名のみ)
1692年 9月12日 元禄5年	8月2日 快晴
1692年 9月13日 元禄5年	8月3日 快晴 (先月18日江戸を立った関札打ち到着・殿様は7月27日江戸発19日振りで16日に到着予定)
1692年 9月14日 元禄5年	8月4日 快晴 午の上刻より風吹 (富田村に50余男乞食倒死)
1692年 9月15日 元禄5年	8月5日 晴
1692年 9月16日 元禄5年	8月6日 陰晴 (昨5日暮六時分飯詰組原子村で狼打ち留める)
1692年 9月17日 元禄5年	8月7日 昨夜中甚だしい雨 今辰の刻に及ぶ それより時々雨
1692年 9月18日 元禄5年	8月8日 快晴
1692年 9月19日 元禄5年	8月9日 快晴
1692年 9月20日 元禄5年	8月10日 快晴 小風
1692年 9月21日 元禄5年	8月11日 卯の刻小雨 風 庵 (初鮭1尺鯨ヶ沢より差上げる)
1692年 9月22日 元禄5年	8月12日 陰晴 寅の刻雨 則時止む
1692年 9月23日 元禄5年	8月13日 陰晴 小風
1692年 9月24日 元禄5年	8月14日 陰晴 (元禄4年6月籠舎の男牢死、切支丹類族伊崎寿仙妻産仕り男子出生)
1692年 9月25日 元禄5年	8月15日 快晴
1692年 9月26日 元禄5年	8月16日 快晴 (殿様未の上刻御着城、当月7日江戸を立った飛脚お雇いの者2人今日未の中刻到着、八幡御祭礼を来る21日に仰せ付けられる)
1692年 9月27日 元禄5年	8月17日 晴 (大手御門・武者屯御番所・内南御門御番所・外南御門御番所の順に門がある)
1692年 9月28日 元禄5年	8月18日 庵 午の刻より晴
1692年 9月29日 元禄5年	8月19日 卯の刻より雨時々 未の刻より晴 (御歩行町橋の下に捨て子・御馬廻りの下女の子・引取らせる)
1692年 9月30日 元禄5年	8月20日 陰晴 小風 雨
1692年 10月1日 元禄5年	8月21日 快晴 大霜 (八幡御祭礼)
1692年 10月2日 元禄5年	8月22日 陰晴
1692年 10月3日 元禄5年	8月23日 酉の刻より雨 終夜に及ぶ
1692年 10月4日 元禄5年	8月24日 晴 小風
1692年 10月5日 元禄5年	8月25日 陰晴
1692年 10月6日 元禄5年	8月26日 陰晴
1692年 10月7日 元禄5年	8月27日 陰晴
1692年 10月8日 元禄5年	8月28日 晴 大霜
1692年 10月9日 元禄5年	8月29日 陰晴 大霜 (21日赤石組風合瀬村で稲盗人が捕まる・盗人の女房がさばさきで五人組を突く・重傷)
1692年 10月10日 元禄5年	9月1日 昨亥の后刻雨 今日申の刻まで降る (御用番氏名のみ)
1692年 10月11日 元禄5年	9月2日 昨戌の下刻雨 即時止む 今日陰晴 (先月29日に記述の盗人52歳・その女房37歳)
1692年 10月12日 元禄5年	9月3日 陰晴 (津軽玄蕃方より青梨子上がる、一昨夜浜中に破船2艘)
1692年 10月13日 元禄5年	9月4日 快晴 (大手御門・武者屯御門・外南御門に人が配置されている・大手門と外南御門は違うよ)
1692年 10月14日 元禄5年	9月5日 快晴
1692年 10月15日 元禄5年	9月6日 陰晴 酉の刻より雨 終夜に及ぶ
1692年 10月16日 元禄5年	9月7日 晴 (最勝院が庭前の青梨子上げる)
1692年 10月17日 元禄5年	9月8日 昨夜亥の刻雷電 子の刻より雨 終夜に及ぶ 今日陰晴 (梨子を御家中が差上げる、三厩の勤兵衛の屋敷にある梨を取り目付けが封印の上差し上げるよう連絡する)
1692年 10月18日 元禄5年	9月9日 昨夜丑の刻より時々雨 終夜に及ぶ 今日曇 風吹 巳の中刻雷発し雨 申の刻に及び止む
1692年 10月19日 元禄5年	9月10日 昨夜より時々雨 終夜に及ぶ 今朝岩木山へ初雪見る 今日庵 午の刻より時々雨 同中刻丸雪降る
1692年 10月20日 元禄5年	9月11日 昨酉の刻よりの大雨 終夜に及ぶ 今朝岩木山へ雪積もる 今日庵
1692年 10月21日 元禄5年	9月12日 晴 小風
1692年 10月22日 元禄5年	9月13日 陰晴 小風
1692年 10月23日 元禄5年	9月14日 快晴
1692年 10月24日 元禄5年	9月15日 晴 昨夜戌の上刻地震
1692年 10月25日 元禄5年	9月16日 庵 戌の上刻より雨 子の刻止む
1692年 10月26日 元禄5年	9月17日 晴 小風
1692年 10月27日 元禄5年	9月18日 陰晴 (昨夜五つ時分柏木組牡丹森村で火災・厩(2間×3間)焼失)
1692年 10月28日 元禄5年	9月19日 快晴 小風
1692年 10月29日 元禄5年	9月20日 庵 未の下刻より雨 戌の刻止む 丑の刻甚だしい雨 卯の刻止む
1692年 10月30日 元禄5年	9月21日 庵 午の刻より風吹 申の下刻より大風 暮に及び止む
1692年 10月31日 元禄5年	9月22日 昨夜中より大風吹 終夜に及ぶ 今日陰晴

1692年 11月1日 元禄5年	9月23日 陰晴 終日風吹
1692年 11月2日 元禄5年	9月24日 快晴 霜 (当年御献上の鮭一切上がり申さずにつき……、兵庫殿しまり役が本格的に締めるようになったかな)
1692年 11月3日 元禄5年	9月25日 晦 (21日深浦で西風破船4艘)
1692年 11月4日 元禄5年	9月26日 晦
1692年 11月5日 元禄5年	9月27日 陰晴 昨夜時々雨 (昨日蟹田町で密通の2人を夫が打ち留める)
1692年 11月6日 元禄5年	9月28日 陰晴 小風
1692年 11月7日 元禄5年	9月29日 晦 未の刻より雨降 (後湯組代官山上四郎兵衛等が平館村等の不作・青立ち・渴命・お米97俵(4斗5升入り)拝借願いを申し立てる・米無く1俵を18匁として相当する金額の拝借を申し付ける)
1692年 11月8日 元禄5年	10月1日 昨夜中雨 今朝山々方雪見える (御用番氏名のみ) (不作の書付が差し出され不調法に思召され郡奉行はお目見え遠慮)
1692年 11月9日 元禄5年	10月2日 陰晴 (兵庫殿内室の目がかすみ暮からは一切見えない)
1692年 11月10日 元禄5年	10月3日 卯の刻地震 辰の刻より雨 終夜に及ぶ
1692年 11月11日 元禄5年	10月4日 陰晴 子の刻地震 (2日夜四時深浦で火災・7軒(又は6軒)焼失、石川の橋下に50男乞食狼に喰われ死亡)
1692年 11月12日 元禄5年	10月5日 大霜 快晴 (御城代瀧川死去)
1692年 11月13日 元禄5年	10月6日 快晴 (今朝御膳に三馬屋梨子の中を差し上げた、昨5日八半時分鱈ヶ沢の50余男弁才天で自害)
1692年 11月14日 元禄5年	10月7日 晦
1692年 11月15日 元禄5年	10月8日 昨夜より雨 午の刻に及び止む 晦天
1692年 11月16日 元禄5年	10月9日 快晴
1692年 11月17日 元禄5年	10月10日 快晴
1692年 11月18日 元禄5年	10月11日 晦 午の上刻小雨 同中刻より陰晴
1692年 11月19日 元禄5年	10月12日 昨夜中雨 今日陰晴時雨 (熊が荒れて鉄砲打ちの伺い・了承)
1692年 11月20日 元禄5年	10月13日 今朝四方山江雪見る 今日陰晴 未の後刻より小風 (御料理中に「ほう連んそ」あり・ほうれん草が伝来して直ぐだろう)
1692年 11月21日 元禄5年	10月14日 陰晴 午の刻より風吹
1692年 11月22日 元禄5年	10月15日 終日小雨 亥の下刻地震
1692年 11月23日 元禄5年	10月16日 雨 巳の下刻より曇
1692年 11月24日 元禄5年	10月17日 昨夜より雪 午の下刻に及び止む (今朝初雪降る・番所江火鉢出す)
1692年 11月25日 元禄5年	10月18日 終日晦
1692年 11月26日 元禄5年	10月19日 陰晴
1692年 11月27日 元禄5年	10月20日 陰晴
1692年 11月28日 元禄5年	10月21日 昨夜より時々雪 未の刻より陰晴
1692年 11月29日 元禄5年	10月22日 陰晴 時々雪 (20日野内の女房絵死、20日後湯組中師村砂浜に67・8男(27日の記述では乞食)倒死)
1692年 11月30日 元禄5年	10月23日 陰晴 昨夜中雪降
1692年 12月1日 元禄5年	10月24日 晦 時々雪 (今朝5半男牢死、都合30か村に鉄砲打ちと目付の4組出す)
1692年 12月2日 元禄5年	10月25日 陰晴
1692年 12月3日 元禄5年	10月26日 陰晴
1692年 12月4日 元禄5年	10月27日 昨夜中雨 今辰の刻に及び止み晴
1692年 12月5日 元禄5年	10月28日 時々雪 終日に及ぶ (唐牛三左衛門昨晚病死、買米をしている・値段は1俵19匁宛)
1692年 12月6日 元禄5年	10月29日 昨夜中吹雪 今日も時々雪
1692年 12月7日 元禄5年	10月30日 晦 午の後刻より快晴 (2日深浦火災の火元入寺赦免・類火の5人に救い米1俵宛)
1692年 12月8日 元禄5年	11月1日 終日雪 (御用番氏名のみ) (御城代に岡勘解由)
1692年 12月9日 元禄5年	11月2日 終日雪 (鱈も遅いらしい)
1692年 12月10日 元禄5年	11月3日 昨夜より吹雪 今朝辰の中刻に及び止み時々小雪
1692年 12月11日 元禄5年	11月4日 曇 時々雪
1692年 12月12日 元禄5年	11月5日 雪 (籠に入れている人数:男籠9坪に34人・同3坪に10人・女籠4坪に7人(含む3歳と1歳)、2日頃旅行中の御家中が倒死で見つかる)
1692年 12月13日 元禄5年	11月6日 雪 (ちょっとした人事異動)
1692年 12月14日 元禄5年	11月7日 雪
1692年 12月15日 元禄5年	11月8日 陰晴時々小雪 (親方町に女ぶた1疋死に有る、左内殿乱気?(熱の所為か))
1692年 12月16日 元禄5年	11月9日 陰晴 夜中雨
1692年 12月17日 元禄5年	11月10日 曇 時々雪曇 (昨朝油川組油川町に34・5男乞食倒死、昨夜藤崎組長野村で水吞家(3間×4間)雪潰れ、左内殿手足ばたつき……、十三町102軒中51軒渴命・200俵拝借願い・51俵貸渡す)
1692年 12月18日 元禄5年	11月11日 終日晦 (油川組津軽坂領に32・3男倒死、今朝厩町土居際に50斗男倒死)
1692年 12月19日 元禄5年	11月12日 晴
1692年 12月20日 元禄5年	11月13日 晴 未の刻より時々雪 (勝手不如意に付米を少し貸すよう申し出た3人に暇(いとま:クビのこと)を申し付ける・これまでは貸していた)
1692年 12月21日 元禄5年	11月14日 昨夜雪 今日時々小雪 (蟹田町奉行より網の鱈15本参り候、12日夜鉄砲打ちが赤石組田野沢村で牝狼打ち留める・狼の大ききあり)
1692年 12月22日 元禄5年	11月15日 終日吹雪 (大鱈組福島渡(長峰と唐牛村の境)橋下に30斗男突き殺されている・追いはぎか、追い鳥狩り:雉子136(雄68・牝68)山雉子16(雄10・牝6))
1692年 12月23日 元禄5年	11月16日 終日吹雪 夜に入り止む 雪深1日に2尺程積もる (今日四時分坊主牢死、2度目の追い鳥狩り:雉子21(雄11・牝10)山雉子2(雄1・牝1))
1692年 12月24日 元禄5年	11月17日 陰晴 時々小雪
1692年 12月25日 元禄5年	11月18日 曇
1692年 12月26日 元禄5年	11月19日 晴 (献上の鱈今日江戸江差上げる、15日記述の死人は本寺町の手代と判明、豕1疋東長町で殞(しぬ))
1692年 12月27日 元禄5年	11月20日 陰晴 時々小雪
1692年 12月28日 元禄5年	11月21日 終日曇 時々小雪 (19日夜田舎庄柏木組梅田村で27男絵死、御領分当年不作につき……との儉約令)
1692年 12月29日 元禄5年	11月22日 陰晴 時々小雪 (21日朝田舎庄柏木組梅田村に45・6男乞食倒死、青森牢舎の6人に古手1宛渡す)
1692年 12月30日 元禄5年	11月23日 陰晴
1692年 12月31日 元禄5年	11月24日 卯の上刻大吹雪 終日晦 (浪岡村の男が柳ヶ久保村で吹倒・死亡)

1693年 1月1日 元禄5年 11月25日 快晴 (大間越町奉行から当年不作につき50人に御米150俵を御払い願ひ・50俵を申し付ける)
 1693年 1月2日 元禄5年 11月26日 曇 午の刻より時々小雪 (裳月の狛が鮑貝玉・あさり貝玉・しやり?貝玉差上げる)
 1693年 1月3日 元禄5年 11月27日 曇 卯の上刻雨 則刻止む (鯉ヶ沢町奉行より29軒に銭10匁宛貸し渡すよう・手配する))
 1693年 1月4日 元禄5年 11月28日 昨夜中より雨 今年の刻に及ぶ それより時々曇 酉の刻に及び止む (21日夜大吹雪・新城村に助人出す)
 1693年 1月5日 元禄5年 11月29日 昨夜雪 寅の刻風 卯の刻に及び止む それより時々吹雪 丑の刻より寒に入る (15日長峰村福島渡で切殺された者の犯人らしい者なし、昨年霜月深浦町171軒に拝借米342俵渡す)
 1693年 1月6日 元禄5年 12月1日 時々雪 終日に及ぶ (御用番氏名のみ)
 1693年 1月7日 元禄5年 12月2日 曇 時々雪降 (江戸よりの飛脚が14日振りの命に大雪のため19日振りで昨夜到着)
 1693年 1月8日 元禄5年 12月3日 終日曇
 1693年 1月9日 元禄5年 12月4日 昨夜雪少々降り積もる 今日時々吹雪 (14日振りに申し付けた江戸よりの飛脚が大雪で18日振りで到着、11日振りに申し付け12日振りに到着、75歳の元名主牢死)
 1693年 1月10日 元禄5年 12月5日 昨夜中大雪風 今日曇 時々雪風 午の刻より陰晴
 1693年 1月11日 元禄5年 12月6日 曇 時々吹雪 (一昨日鯉ヶ沢で大波・船御蔵破損、蔵1軒船1艘行方不明2人)
 1693年 1月12日 元禄5年 12月7日 陰晴 (今別町奉行から水呑み100人に御救い米願ひ・了承、石川村出口川原で獄門2人・取上げ刑場で獄門4人斬罪3人、妙堂崎村出口・後潟村出口・下ノ切中里村で獄門各1人)
 1693年 1月13日 元禄5年 12月8日 陰晴 時々雪降 (4日夜青森柳町に狼に喰われた男死)
 1693年 1月14日 元禄5年 12月9日 曇 時々雪降 (追い鳥狩り:雉子16(雄4雌12)内山雉子7を含む)
 1693年 1月15日 元禄5年 12月10日 曇 少し雪 (追い鳥狩り:10(雄5雌4山鳥子雌1))
 1693年 1月16日 元禄5年 12月11日 終日時々雪 (後潟組蓬田村の船が平内に船殻・行方不明9人・助かった船もある、大清水村はづれに30斗女倒・死)
 1693年 1月17日 元禄5年 12月12日 昨夜より雪 今日時々雪降
 1693年 1月18日 元禄5年 12月13日 陰晴 時々雪 (追い鳥狩り:雉子20(雄7雌13)・山雉子3(雄2雌1)、広田組川山村に不屈きな庄屋・弘前に連行)
 1693年 1月19日 元禄5年 12月14日 曇 時々雪降 (12日和徳町に40余男倒死)
 1693年 1月20日 元禄5年 12月15日 終日吹雪 (追い鳥狩り:雉雄3)
 1693年 1月21日 元禄5年 12月16日 曇 時々雪降 (追い鳥狩り:雉子13(雄5雌8)・山雉子2(雄1雌1)、川山村の不屈きな庄屋無罪主張)
 1693年 1月22日 元禄5年 12月17日 陰晴 時々少し雪
 1693年 1月23日 元禄5年 12月18日 陰晴 時々雪降 (鯉ヶ沢で湯命騒ぎ173人に2刃死・大間越の182人に米4升宛渡す)
 1693年 1月24日 元禄5年 12月19日 昨夜小雪 今日陰晴 (4日江戸よりの飛脚13日振りに申し付けられ12日振りに到着・褒美3歩宛渡す、切支丹類族の女の死骸見分の覚え)
 1693年 1月25日 元禄5年 12月20日 終日曇 時々吹雪 (遣込み11貫360目の御家中あり・8年間半知で返すこととする、長町で火災1軒)
 1693年 1月26日 元禄5年 12月21日 曇 時々少し雪 (人事異動、地子銀取り込みの名主南部口追放、昨夜の火元は法立寺に引込)
 1693年 1月27日 元禄5年 12月22日 昨夜より雪風 終日夜に及ぶ (今月20日夜浪岡組高館村で下厩焼失)
 1693年 1月28日 元禄5年 12月23日 昨夜雪降 今日曇 時々吹雪 (女中御切米3両・御中居2両2歩・御半下1両2歩、江戸より14日振りに仰せ付けの飛脚が大雪で18日振りに到着)
 1693年 1月29日 元禄5年 12月24日 昨夜小雪 今日快晴 (21日に鯉ヶ沢で漁船遭難・7人死亡) 下から続く 宛貸す、昨24日増館組福島村堰中に30斗女倒死(縊死か))
 1693年 1月30日 元禄5年 12月25日 陰晴 時々少し雪 (土手町の古切支丹類族23人湯命・1人に米2升宛貸し渡す、青森善知鳥町・蜷貝町に83軒394人湯命・1人に米2升宛・深浦町奉行より湯者207人・1人に2升 上に続く)
 1693年 1月31日 元禄5年 12月26日 曇 雪時々 (今朝和徳組富田村に10斗男子倒死・獣に食われている、柏木組瀧井村に54・5男乞食倒死)
 1693年 2月1日 元禄5年 12月27日 陰晴 時々雪降 (外が浜後潟組等で湯命・44軒に糶1人に5升など、昨夜大円寺溜池付近に6斗女子捨て子、百沢になぜか狐を9疋届けている)
 1693年 2月2日 元禄5年 12月28日 曇 雪時々 終夜に及ぶ (田舎館組東光寺村で狼に喰われた者あり)
 1693年 2月3日 元禄5年 12月29日 陰晴 (14日青森上浜町に40余男乞食・24日安方町に70斗男乞食道心・28日上町に50斗男乞食倒死、21日小泊に神切の鯨寄せる、昨日の東光寺の死者は多分女・狼が6疋付いていた)
 1693年 2月4日 元禄5年 12月30日 快晴 (藤代組4か村71軒375人に1日1人悪糶5合宛貸渡す、土手町の古切支丹類族に追加、青森下磯79人に米2升宛、油川組32人・後潟組19人に米2升宛、今別の72人に糶4升宛貸渡す)
 1693年 2月5日 元禄6年 正月1日 晴 (御用番氏名のみ)
 1693年 2月6日 元禄6年 正月2日 吹雪
 1693年 2月7日 元禄6年 正月3日 快晴 未の刻より時々雪 (御謡初)
 1693年 2月8日 元禄6年 正月4日 昨夜雪 今日晴
 1693年 2月9日 元禄6年 正月5日 陰晴 時々雪
 1693年 2月10日 元禄6年 正月6日 曇
 1693年 2月11日 元禄6年 正月7日 陰晴
 1693年 2月12日 元禄6年 正月8日 曇 時々雪 未の刻より晴 (石田坂村の百姓が熊を殺し江戸送りになったことに関し逼塞の代官等御免)
 1693年 2月13日 元禄6年 正月9日 曇 時々雪
 1693年 2月14日 元禄6年 正月10日 曇 時々雪
 1693年 2月15日 元禄6年 正月11日 快晴 (人事異動、御徒橋脇に捨て子)
 1693年 2月16日 元禄6年 正月12日 陰晴 未の刻より時々雪
 1693年 2月17日 元禄6年 正月13日 快晴 (去4日東長町に男子捨て子、10日境松村に40斗男・同日常盤組榊村に女倒死)
 1693年 2月18日 元禄6年 正月14日 曇 時々雪 (去年不熟に付き米津留め)
 1693年 2月19日 元禄6年 正月15日 昨夜より吹雪 辰の中刻地震
 1693年 2月20日 元禄6年 正月16日 晴 時々雪 (旧冬11月6日青森町に2歳斗の女子捨て子・当月2日病死)
 1693年 2月21日 元禄6年 正月17日 陰晴
 1693年 2月22日 元禄6年 正月18日 陰晴 未の下刻より雪降 (和徳組日月堂前に40斗男乞食倒死)
 1693年 2月23日 元禄6年 正月19日 陰晴 (両替:68匁)
 1693年 2月24日 元禄6年 正月20日 曇 雪 (大鰐村外に三目内村56・7男倒死)
 1693年 2月25日 元禄6年 正月21日 昨夜吹雪 快晴 少し風 (土手町の切支丹類族23人に21日より当月中の1日米3合宛貸し渡す)
 1693年 2月26日 元禄6年 正月22日 陰晴 少し雪
 1693年 2月27日 元禄6年 正月23日 陰晴 少し風
 1693年 2月28日 元禄6年 正月24日 快晴

1693年	3月1日	元禄6年	正月25日	快晴
1693年	3月2日	元禄6年	正月26日	快晴 (14日大吹雪・嘉瀬村で宿継(しゅくつぎ)死亡)
1693年	3月3日	元禄6年	正月27日	昨夜より時々小雪
1693年	3月4日	元禄6年	正月28日	終日吹雪 風吹 (御物成上納なり兼ね雑言の百姓3人越山、昨27日堀越組境関村で火災1軒・小荷駄1疋焼斃)
1693年	3月5日	元禄6年	正月29日	時々吹雪 少し風
1693年	3月6日	元禄6年	正月30日	陰晴
1693年	3月7日	元禄6年	2月1日	昨夜大雪 今日吹雪 (御用番氏名のみ) (先月28日土手町に女捨て子)
1693年	3月8日	元禄6年	2月2日	陰晴 夜に入り雪
1693年	3月9日	元禄6年	2月3日	吹雪時々 (大鰐組三免内村で百姓逐電4人)
1693年	3月10日	元禄6年	2月4日	時々小雪 (親方町に家子2斃、藤崎村古館の内に平清水焼きの釜)
1693年	3月11日	元禄6年	2月5日	陰晴 夜に入り雨 (東長町の家来自雪)
1693年	3月12日	元禄6年	2月6日	快晴
1693年	3月13日	元禄6年	2月7日	晦 巳の刻より時々雨 未の刻より小風
1693年	3月14日	元禄6年	2月8日	時々吹雪 終日夜に及ぶ (4日増館村に福島村の男倒死)
1693年	3月15日	元禄6年	2月9日	晦 時々吹雪
1693年	3月16日	元禄6年	2月10日	快晴
1693年	3月17日	元禄6年	2月11日	快晴 (先月27日の大東風で後潟組石浜沖で破船3艘、深浦町中が辰年(元禄元年)330俵拝借・この代銀6貫105匁)
1693年	3月18日	元禄6年	2月12日	晦 巳の刻より雨降 (浪岡村で昨11日雪で潰れ家・女房死亡)
1693年	3月19日	元禄6年	2月13日	陰晴 (昨夜駒越川で洪水・駒越仮橋と石渡橋破れ長船を申し付ける、藤崎川仮橋杭流れる、石川村で並木の松・馬船・長船流失)
1693年	3月20日	元禄6年	2月14日	雪降
1693年	3月21日	元禄6年	2月15日	陰晴 小風 (8日飯詰組の山?で中間が吹き倒れ死亡)
1693年	3月22日	元禄6年	2月16日	陰晴
1693年	3月23日	元禄6年	2月17日	昨夜より雨 今日辰の刻止み快晴 (12日晚淀関山で流木引きの8人中5人死亡)
1693年	3月24日	元禄6年	2月18日	快晴 彼岸 (小栗山村庄屋が千年山の福寿草13株差上げる、浦町組新町野村に47・8男乞食倒死)
1693年	3月25日	元禄6年	2月19日	陰晴 (1俵に付き代銭20目2俵)
1693年	3月26日	元禄6年	2月20日	昨夜より雨 (昨19日亥刻より洪水・石渡橋落ちる)
1693年	3月27日	元禄6年	2月21日	陰晴 (来月13日御発駕)
1693年	3月28日	元禄6年	2月22日	快晴
1693年	3月29日	元禄6年	2月23日	曇天 巳の下刻より小雨 (古切支丹類族23人江飯米貸し渡す)
1693年	3月30日	元禄6年	2月24日	曇 小雪 小風 夜に入り雪 (去22日紺屋町枳形木戸番小屋に45・6男乞食倒死、男牢死)
1693年	3月31日	元禄6年	2月25日	陰晴 (昨24日夜御家中家に盗人・捕まる)
1693年	4月1日	元禄6年	2月26日	陰晴 (今夜亥下刻城中で御家中自害、正月26日記述の宿を断った嘉瀬村の庄屋所払い)
1693年	4月2日	元禄6年	2月27日	曇 未の上刻より雪
1693年	4月3日	元禄6年	2月28日	昨夜より時々雨 終日に及ぶ
1693年	4月4日	元禄6年	2月29日	晦 午の刻小雨 則止む (大鰐組八幡館村に40斗女狼に喰われ死亡)
1693年	4月5日	元禄6年	2月30日	快晴 (松前家老から米3000俵津出し願ひ・先日5000俵出したばかりで断る)
1693年	4月6日	元禄6年	3月1日	曇 辰の上刻より曇 午の刻より晴 (御用番氏名のみ) (元禄4年6月牢舎の男牢死、藤崎組林崎村宿外に68・9男乞食倒死)
1693年	4月7日	元禄6年	3月2日	陰晴
1693年	4月8日	元禄6年	3月3日	陰晴 小風 (宇鉄のえびす産物を献上、駒越川洪水・往還相止める)
1693年	4月9日	元禄6年	3月4日	快晴 (油川組岡町村で37・8女倒死、朔日赤石組姥ヶ袋村で山崩れ・家・土蔵・7歳の孫・牛1頭死亡、尾崎組平川館田渡・百石町後川洪水)
1693年	4月10日	元禄6年	3月5日	快晴 (4日の洪水で常盤組増館組湛水、3日にも姥ヶ袋村で山崩れ・家と小屋半壊)
1693年	4月11日	元禄6年	3月6日	陰晴 (4日鱒ヶ沢八幡宮山添いで雪類(ゆきくずれ:なだれか)で家1軒半壊・台所2軒・土蔵4軒全壊)
1693年	4月12日	元禄6年	3月7日	陰晴 小風 (去4日青森浜町に67・8乞食倒死)
1693年	4月13日	元禄6年	3月8日	快晴 霧
1693年	4月14日	元禄6年	3月9日	快晴 大霧 (去4日飯詰組・広田組・常盤組・増館組で洪水・水湛)
1693年	4月15日	元禄6年	3月10日	快晴 大霧 (捨て子した夫婦を追放)
1693年	4月16日	元禄6年	3月11日	快晴 大霧 夜に入り少し雨 (十三潟西方が10日迄に3が1空く:岩木川の氷結が融け水路が開いたということ)
1693年	4月17日	元禄6年	3月12日	晴 風吹 (正月11日町人屋敷前に捨て子・町人の家来と借家人が徒町川原に捨て直す・子を捨てた者所追放・川原に捨て直した2人弘前追放・町人は知らなかったので押込ご免)
1693年	4月18日	元禄6年	3月13日	快晴 (巳后刻御発駕、2日金木村で火災・家半分焼失)
1693年	4月19日	元禄6年	3月14日	晦 申の刻小雨 則止む
1693年	4月20日	元禄6年	3月15日	晴 (工藤嘉左衛門が代官から本々方下役人に)
1693年	4月21日	元禄6年	3月16日	曇 (今日未の刻岩木川・藤崎川洪水)
1693年	4月22日	元禄6年	3月17日	昨夜より雨 辰の刻に及ぶ (14日後潟組根岸村の大東風で漁船遭難3人死亡、今朝大光寺組館田渡で2人流され1人救助15男行方不明)
1693年	4月23日	元禄6年	3月18日	晴 風 (石渡橋端に倒死男1人)
1693年	4月24日	元禄6年	3月19日	晴 風 (14日に深浦町の五人組逃散、16日深浦で山崩れ2棟7人死亡牛1頭相果)
1693年	4月25日	元禄6年	3月20日	晦 (鍛冶町南堤の上)に34・5男・青森下浜町に12・3男子倒死)
1693年	4月26日	元禄6年	3月21日	昨夜より雨 辰の刻に及び止み曇 (高杉組鬼沢村に50斗男(百姓の下人)倒死)
1693年	4月27日	元禄6年	3月22日	曇 巳の下刻より陰晴 (昨21日上長町に3・4歳女子捨て子、境関村に6・7歳男子倒死)
1693年	4月28日	元禄6年	3月23日	霧 巳の後刻より陰晴 (淀関村で1家7人逃散)
1693年	4月29日	元禄6年	3月24日	快晴 巳の刻より風吹 (門外村で早稲稲を17日に植えた)
1693年	4月30日	元禄6年	3月25日	快晴 (和徳組柏木立山に野火付く)

1693年 5月1日 元禄6年 3月26日 晦 午の刻より小雨 風吹 戌の刻より大風時々雨 終夜に及ぶ
 1693年 5月2日 元禄6年 3月27日 風雨 巳の中刻より大風 陰晴 未の後刻より少し止む (岩木川昨夜洪水)
 1693年 5月3日 元禄6年 3月28日 陰晴 風吹
 1693年 5月4日 元禄6年 3月29日 陰晴 (新寺町末に捨て子、27日の大風で青森御飯屋土居の柵倒れる)
 1693年 5月5日 元禄6年 4月1日 曇 雨 終日終夜に及ぶ (御用番氏名のみ) (去月19日日本寺町で博打・籠舎、米1俵(4斗5升入り)20目2厘・両替83匁5分)
 1693年 5月6日 元禄6年 4月2日 快晴 少し風 (1日岩木川洪水・川八分で往還止める)
 1693年 5月7日 元禄6年 4月3日 陰晴 時々少し風 (先月27日の風で御城屋根破損)
 1693年 5月8日 元禄6年 4月4日 陰晴
 1693年 5月9日 元禄6年 4月5日 陰晴 (3日夜広田組沖館詰村で火災1軒、科人(名から多分男)牢死)
 1693年 5月10日 元禄6年 4月6日 快晴 少し風
 1693年 5月11日 元禄6年 4月7日 快晴
 1693年 5月12日 元禄6年 4月8日 辰の下刻小雨 則止み晴
 1693年 5月13日 元禄6年 4月9日 快晴 (昨8日亥刻高杉組湯舟村で火災2軒、和徳組原ヶ平村柏木立野に燎入る(390間×15間))
 1693年 5月14日 元禄6年 4月10日 快晴 (昨9日未刻後潟組瀬戸子山大火、昨9日申中刻飯詰組高野村で火災1軒、郷足軽1家逐電、7日青森安方町に3歳斗男子捨て子、8日青森蓮華寺後に46歳男乞食倒死)
 1693年 5月15日 元禄6年 4月11日 快晴 未の上刻甚だしい風 則止む (昨10日後潟組四戸橋村の御留山出火、瀬戸子山もまだ消えない)
 1693年 5月16日 元禄6年 4月12日 晴 (古切支丹類族に5日分の扶持米支援、11日暮瀬戸子山・11日巳刻四戸橋村黒山の山火事それぞれ打ち消す)
 1693年 5月17日 元禄6年 4月13日 快晴 (四戸橋村の山火事の広さ20町四方と5・6町×3・4町、昨12日小国南沢山など3か所に燎入る)
 1693年 5月18日 元禄6年 4月14日 晦
 1693年 5月19日 元禄6年 4月15日 快晴 風 (4月12日巳刻岩木山の扇の要に山火事・13日未中刻打ち消す(1180間×555間)、13日前田野目村松倉御留山で出火・14日巳刻打消す(200間余×80間余))
 1693年 5月20日 元禄6年 4月16日 快晴
 1693年 5月21日 元禄6年 4月17日 陰晴
 1693年 5月22日 元禄6年 4月18日 陰晴
 1693年 5月23日 元禄6年 4月19日 陰晴
 1693年 5月24日 元禄6年 4月20日 陰晴
 1693年 5月25日 元禄6年 4月21日 快晴 (御家中が家来を手打ち)
 1693年 5月26日 元禄6年 4月22日 晦 午の下刻より時々風雨 (青森浜町に12・3男子乞食倒死)
 1693年 5月27日 元禄6年 4月23日 晦 辰の刻より時々雨
 1693年 5月28日 元禄6年 4月24日 陰晴 風
 1693年 5月29日 元禄6年 4月25日 晦 (後潟組上磯共飢えに及び救い米申し出る)
 1693年 5月30日 元禄6年 4月26日 昨夜より甚だしい雨 巳の下刻に及び止む 夜に入り小雨 則止む (青森浜町に乞食倒死)
 1693年 5月31日 元禄6年 4月27日 陰晴
 1693年 6月1日 元禄6年 4月28日 快晴 (去26日夜十三で破船1艘)
 1693年 6月2日 元禄6年 4月29日 快晴
 1693年 6月3日 元禄6年 4月30日 快晴 (去28日夜碓関村で百姓一家(男女9人馬2疋)逐電)
 1693年 6月4日 元禄6年 5月1日 快晴 (御用番氏名のみ)
 1693年 6月5日 元禄6年 5月2日 陰晴 夜に入り雨
 1693年 6月6日 元禄6年 5月3日 昨夜より雨 終夜に及ぶ 風(昨夜ヨリ雨及終夜風) (朔日夜子下刻高杉組山崎村で火災1軒)
 1693年 6月7日 元禄6年 5月4日 快晴 小風
 1693年 6月8日 元禄6年 5月5日 陰晴 午の刻より晴 小風 夜に入り小雨
 1693年 6月9日 元禄6年 5月6日 陰晴 時々小雨 (今朝赤石組前戸村で庄屋家火災)
 1693年 6月10日 元禄6年 5月7日 晴 風 (新寺町橋脇に30斗女乞食倒死)
 1693年 6月11日 元禄6年 5月8日 晦 巳の中刻より雨 午の後刻止む 夜に入り甚だしい雨
 1693年 6月12日 元禄6年 5月9日 快晴 (昨戌の刻浪岡組本郷村で火災・早速打消す)
 1693年 6月13日 元禄6年 5月10日 快晴 小風
 1693年 6月14日 元禄6年 5月11日 陰晴 (昨夜の風で大鱈組唐牛村古館の槻(8尺廻り)倒れる)
 1693年 6月15日 元禄6年 5月12日 快晴 風 (10日寅刻浪岡組中野村で火災2軒)
 1693年 6月16日 元禄6年 5月13日 快晴
 1693年 6月17日 元禄6年 5月14日 陰晴 卯の刻より時々雨 巳の中刻止む
 1693年 6月18日 元禄6年 5月15日 曇 (油川組代官山上某を桜庭某に代える、津出米停止であったが御免、初胡瓜を大鱈御菜園より差上げる)
 1693年 6月19日 元禄6年 5月16日 陰晴 (初胡瓜5大鱈湯の川原の者差上げる)
 1693年 6月20日 元禄6年 5月17日 快晴
 1693年 6月21日 元禄6年 5月18日 夏至 快晴
 1693年 6月22日 元禄6年 5月19日 快晴 (昨申中刻浪岡組杉沢村で火災4軒)
 1693年 6月23日 元禄6年 5月20日 陰晴
 1693年 6月24日 元禄6年 5月21日 陰晴 (18日申刻御家中の弟子自害)
 1693年 6月25日 元禄6年 5月22日 快晴 風
 1693年 6月26日 元禄6年 5月23日 陰晴 風雨時々 (昨22日午中刻野内町で火災8軒・焼死1人馬1疋)
 1693年 6月27日 元禄6年 5月24日 快晴
 1693年 6月28日 元禄6年 5月25日 陰晴 卯の刻より雨 辰の刻止む 時々雨
 1693年 6月29日 元禄6年 5月26日 晴 小風 酉の刻雨 則止む (昨25日未の下刻高杉組で火災1軒)
 1693年 6月30日 元禄6年 5月27日 陰晴 時々雨 小風

1693年 7月1日 元禄6年 5月28日 半夏 曇 風
 1693年 7月2日 元禄6年 5月29日 曇 雨 (昨28日未刻浦町組高田村で火災1軒)
 1693年 7月3日 元禄6年 6月1日 晴 時々小風 雨 (御用番氏名のみ)
 1693年 7月4日 元禄6年 6月2日 晴 昨夜より雨時々 小風(晴 昨夜ヨリ雨時々小風) (昨夜東長町で町人の下女が自害死亡)
 1693年 7月5日 元禄6年 6月3日 曇 昨夜より雨時々 午の刻雷発す (初茄子大鰯村住民が差上げる)
 1693年 7月6日 元禄6年 6月4日 陰晴
 1693年 7月7日 元禄6年 6月5日 昨夜より雨 辰の刻甚だしい雨 巳の中刻に及び止む
 1693年 7月8日 元禄6年 6月6日 曇 小風 午の刻より陰晴 (今朝代官手代卒死)
 1693年 7月9日 元禄6年 6月7日 陰晴 未の刻より雨時々 終夜に及ぶ (和徳組堀越組の稲に虫多く最勝院に虫札を申し付ける)
 1693年 7月10日 元禄6年 6月8日 曇 昨夜より雨時々 終日に及ぶ (古切支丹類族23人に米貸し渡し)
 1693年 7月11日 元禄6年 6月9日 曇 小雨時々
 1693年 7月12日 元禄6年 6月10日 陰晴 午の刻より時々小雨
 1693年 7月13日 元禄6年 6月11日 昨夜より甚だしい雨 午の下刻に及び止む (辰中刻岩木川・藤崎川が7・8分の洪水・仮橋引取り舟で往還)
 1693年 7月14日 元禄6年 6月12日 晴 午の刻陰晴
 1693年 7月15日 元禄6年 6月13日 晴
 1693年 7月16日 元禄6年 6月14日 陰晴 (11日の水湛:藤崎・柏木組田畑466町4歩・広田組田方129町9反6畝21歩・常盤・増館組田方219町6反2畝、今日巳下刻岩木川駒越渡洪水・往還相止)
 1693年 7月17日 元禄6年 6月15日 陰晴
 1693年 7月18日 元禄6年 6月16日 土用に入る 晴 (獄屋で斬罪6人)
 1693年 7月19日 元禄6年 6月17日 快晴 未の刻東南曇 雷発す (大間越の水呑の者共飢えに及ぶ・貸し米)
 1693年 7月20日 元禄6年 6月18日 霞 后刻より快晴 甚だしく暑い(霞従后刻快晴甚暑)
 1693年 7月21日 元禄6年 6月19日 晴 甚だしく暑い(晴甚暑)
 1693年 7月22日 元禄6年 6月20日 晴 風 (切支丹類族4人を時鐘撞き(銭100目2人扶持)に仰せ付ける・これまでの6人中4人に暇)
 1693年 7月23日 元禄6年 6月21日 快晴 甚だしく暑い
 1693年 7月24日 元禄6年 6月22日 陰晴 甚だしく暑い
 1693年 7月25日 元禄6年 6月23日 快晴 甚だしく暑い 午の中刻甚だしい雨 則止む
 1693年 7月26日 元禄6年 6月24日 陰晴 卯の上刻雨 甚だしく暑い 未の刻甚だしい雨 雷数々発す
 1693年 7月27日 元禄6年 6月25日 陰晴 甚だしく暑い
 1693年 7月28日 元禄6年 6月26日 陰晴 甚だしく暑い
 1693年 7月29日 元禄6年 6月27日 陰晴 卯の刻より小雨 辰の中刻止む
 1693年 7月30日 元禄6年 6月28日 晴 小風 甚だしく暑い
 1693年 7月31日 元禄6年 6月29日 晴 甚だしく暑い
 1693年 8月1日 元禄6年 6月30日 快晴 甚だしく暑い
 1693年 8月2日 元禄6年 7月1日 晴 小風 (御用番氏名のみ) (門外村より初米上がる)
 1693年 8月3日 元禄6年 7月2日 快晴 甚だしく暑い (大鰯御菜園場より初米差上げる)
 1693年 8月4日 元禄6年 7月3日 快晴 甚だしく暑い
 1693年 8月5日 元禄6年 7月4日 快晴 甚だしく暑い
 1693年 8月6日 元禄6年 7月5日 快晴 (今度御減少につき代官手代3人?にお暇)
 1693年 8月7日 元禄6年 7月6日 晴 小風 (今朝卯后刻岩木山扇の要石で出火、普請方小人5人に暇)
 1693年 8月8日 元禄6年 7月7日 快晴 甚だしく暑い
 1693年 8月9日 元禄6年 7月8日 晴 (扇の要の火事昨7日未刻打消す、昨7日辰刻喜良市山で出火・火消し申し付ける)
 1693年 8月10日 元禄6年 7月9日 晴 残暑甚だしい 申の刻雷発す
 1693年 8月11日 元禄6年 7月10日 曇 申の刻雷発す (喜良市山消火(15町余×3・40間、25町×30間より5間まで)、今朝広須組竹田村で火災1軒)
 1693年 8月12日 元禄6年 7月11日 快晴 残暑甚だしい 申の刻雷発す(快晴残暑甚申刻雷発)
 1693年 8月13日 元禄6年 7月12日 曇 巳の刻より快晴 残暑甚だしい 未の刻雷発す (江戸江の飛脚:小納戸江金子100両と御用金230両を差登)
 1693年 8月14日 元禄6年 7月13日 快晴 時々雷発す
 1693年 8月15日 元禄6年 7月14日 快晴 未の刻雷発す 残暑甚だしい
 1693年 8月16日 元禄6年 7月15日 晴 甚だしく暑い (昨日川倉村の男卒死)
 1693年 8月17日 元禄6年 7月16日 快晴
 1693年 8月18日 元禄6年 7月17日 快晴 (15日申中刻金木川倉山出火・16日申刻ほぼ打消す(120間×60間)、御家中宅に盗人・籠舎)
 1693年 8月19日 元禄6年 7月18日 快晴 残暑甚だしい
 1693年 8月20日 元禄6年 7月19日 晴
 1693年 8月21日 元禄6年 7月20日 快晴 残暑甚だしい 申の下刻雨 則止む (昨日午刻又川倉山火事)
 1693年 8月22日 元禄6年 7月21日 陰晴 甚だしく暑い (五畿内・中国で早の知らせ、昨申刻川倉山火事残らず打消す)
 1693年 8月23日 元禄6年 7月22日 晴 甚だしく暑い 申の刻雷発す (川倉山の火事の焼失(34・5町×20町余))
 1693年 8月24日 元禄6年 7月23日 曇 午の中刻雷数々発す 甚だしい雨 終日終夜に及ぶ (江戸で駆落ちの御家中成敗・他に2人計3人成敗)
 1693年 8月25日 元禄6年 7月24日 陰晴 昨夜より雨 辰の刻に及び止む 亥の刻より雨時々 終夜に及ぶ (21日岩木山西法寺山で出火・打消す)
 1693年 8月26日 元禄6年 7月25日 曇 雨 終日終夜に及ぶ (去12日夜磯松山で出火・打消す・50間×20間余)
 1693年 8月27日 元禄6年 7月26日 昨夜より雨 終日に及ぶ (昨夜中より岩木川・藤崎川・平川洪水・石渡橋押し流す)
 1693年 8月28日 元禄6年 7月27日 陰晴 昨夜より雨 酉の刻雷発す (昨26日洪水・広田組で田畑100町歩余水湛)
 1693年 8月29日 元禄6年 7月28日 陰晴 風 (22日に江戸より9日振りに申付けた飛脚が8日振りに到着青銅3貫文宛(飛脚は普通2人組)下される)
 1693年 8月30日 元禄6年 7月29日 曇 卯の中刻より雨 辰の刻に及び止む 巳の刻より時々雨 (東大工町に乞食倒死)
 1693年 8月31日 元禄6年 8月1日 曇 昨夜より雨 辰の刻に及び止む (御用番氏名のみ) (昨夜雨天で岩木川・駒越川洪水、早すぎる初鱈3尺深浦より差上げる)

1693年	9月1日	元禄6年	8月2日	陰晴	未の刻雨 則止む 夜に入り甚だしい雨 雷発す (百沢寺が御守札並びに苔実差上げる)
1693年	9月2日	元禄6年	8月3日	陰晴	雨時々
1693年	9月3日	元禄6年	8月4日	陰晴	時々雨
1693年	9月4日	元禄6年	8月5日	陰晴	
1693年	9月5日	元禄6年	8月6日	晴	
1693年	9月6日	元禄6年	8月7日	陰晴	
1693年	9月7日	元禄6年	8月8日	陰晴	戌の刻より風 子の刻雨時々 終夜に及ぶ (昨7日夜碓関町の1家6人(男4女2馬1疋)逃散)
1693年	9月8日	元禄6年	8月9日	陰晴	時々雨 (去る7日酉刻大風・鯉ヶ沢御飯屋壁少々破損、今朝辰刻十三湊で越後船破船)
1693年	9月9日	元禄6年	8月10日	快晴	(昨夜石渡西御蔵の錠切られる)
1693年	9月10日	元禄6年	8月11日	陰晴	
1693年	9月11日	元禄6年	8月12日	陰晴	
1693年	9月12日	元禄6年	8月13日	快晴	
1693年	9月13日	元禄6年	8月14日	辰の刻小雨	未の後刻甚だしい雨 則止む
1693年	9月14日	元禄6年	8月15日	未の刻より雨	申の刻に及び止む
1693年	9月15日	元禄6年	8月16日	陰晴	未の刻より時々雨 終夜に及ぶ
1693年	9月16日	元禄6年	8月17日	曇	(江戸江飛脚:御小納戸江200両差上げる)
1693年	9月17日	元禄6年	8月18日	曇	申の刻より小雨 終夜に及ぶ
1693年	9月18日	元禄6年	8月19日	陰晴	巳の中刻小風 申の上刻雨 則止む 酉の刻より風雨時々 終夜に及ぶ
1693年	9月19日	元禄6年	8月20日	曇	小風 (昨19日亥刻大鰐組長峰村で火災1軒)
1693年	9月20日	元禄6年	8月21日	晴	小風 (初鮭1尺差上げる、和徳組清野袋村に捨て子・病死)
1693年	9月21日	元禄6年	8月22日	曇	
1693年	9月22日	元禄6年	8月23日	曇	子の后刻雨 則止む 小風
1693年	9月23日	元禄6年	8月24日	陰晴	小風
1693年	9月24日	元禄6年	8月25日	快晴	(初茸16差上げる)
1693年	9月25日	元禄6年	8月26日	快晴	
1693年	9月26日	元禄6年	8月27日	陰晴	
1693年	9月27日	元禄6年	8月28日	晴	申の後刻小雨 則止む (町人の名前として内山四郎左衛門あり)
1693年	9月28日	元禄6年	8月29日	曇	小雨 巳の中刻止む (広田組姥范村に男・石渡川原に女それぞれ倒死)
1693年	9月29日	元禄6年	8月30日	陰晴	(和徳組など12組より御用金差上げたいとの申し出で(金子110両・銀200目・銭3貫898匁)、今日獄屋前で斬罪1人)
1693年	9月30日	元禄6年	9月1日	晴	(御用番氏名のみ)
1693年	10月1日	元禄6年	9月2日	陰晴	夜に入り雨時々
1693年	10月2日	元禄6年	9月3日	陰晴	(尾太御銀山との記述)
1693年	10月3日	元禄6年	9月4日	陰	夜に入り雨 則止む
1693年	10月4日	元禄6年	9月5日	陰	夜に入り小風 時々雨 (御家中の弟行方不明(黒土某))
1693年	10月5日	元禄6年	9月6日	陰	風
1693年	10月6日	元禄6年	9月7日	陰	夜に入り時々雨
1693年	10月7日	元禄6年	9月8日	陰晴	小風 岩木山頂上江初雪積
1693年	10月8日	元禄6年	9月9日	快晴	霜
1693年	10月9日	元禄6年	9月10日	陰晴	夜に入り雨 (7月20日晚奈良某妻逐電・家来も逐電)
1693年	10月10日	元禄6年	9月11日	陰	
1693年	10月11日	元禄6年	9月12日	陰晴	
1693年	10月12日	元禄6年	9月13日	陰	夜に入り雨 (巳刻兵庫殿奥方病死)
1693年	10月13日	元禄6年	9月14日	陰	風 未の刻小雨 則止む
1693年	10月14日	元禄6年	9月15日	陰晴	
1693年	10月15日	元禄6年	9月16日	陰晴	霜
1693年	10月16日	元禄6年	9月17日	晴	霜
1693年	10月17日	元禄6年	9月18日	陰	午の刻雨 則止む 夜に入り雨時々 (銅屋町木戸外に女倒死)
1693年	10月18日	元禄6年	9月19日	曇	未の刻より雨 終夜に及ぶ
1693年	10月19日	元禄6年	9月20日	陰晴	巳の刻雨 未の上刻より大雨 申の刻雷数発す 風雨甚だしく終夜に及ぶ 戌の刻雷電
1693年	10月20日	元禄6年	9月21日	岩木山へ雪積	風雨時々 (昨夜中風雨・岩木川8分の洪水、三馬屋梨子を三馬屋町奉行が差し上げる)
1693年	10月21日	元禄6年	9月22日	風雨	(20日酉刻より21日までの大風で鯉ヶ沢御飯屋・御番所など破損、20日夜の大風で蟹田・十三等の番所少々破損)
1693年	10月22日	元禄6年	9月23日	陰	(20日の風雨で青森御飯屋所々破損)
1693年	10月23日	元禄6年	9月24日	曇	時々小雨 (20日の大風で松神森山沖で破船2艘・死亡1人、今別町にも被害)
1693年	10月24日	元禄6年	9月25日	快晴	
1693年	10月25日	元禄6年	9月26日	陰	
1693年	10月26日	元禄6年	9月27日	快晴	
1693年	10月27日	元禄6年	9月28日	曇	時々雨
1693年	10月28日	元禄6年	9月29日	快晴	
1693年	10月29日	元禄6年	10月1日	曇	辰の刻雨 則止む 小風 (御用番氏名のみ)
1693年	10月30日	元禄6年	10月2日	快晴	
1693年	10月31日	元禄6年	10月3日	辰の刻雨	夜風雨

1693年 11月1日 元禄6年	10月4日 卯の刻時々雪 甚だしい風
1693年 11月2日 元禄6年	10月5日 卯の刻雪 巳の刻に及び止む 戌の刻より雨 終夜に及ぶ
1693年 11月3日 元禄6年	10月6日 陰晴 卯の刻雪 巳の刻止む (3日申刻大風・鯉ヶ沢で所々破損)
1693年 11月4日 元禄6年	10月7日 晴 (昨6日午刻藤崎村で火災1軒)
1693年 11月5日 元禄6年	10月8日 快晴 (4日夜赤根沢で破船1艘)
1693年 11月6日 元禄6年	10月9日 曇
1693年 11月7日 元禄6年	10月10日 晴 小風 夜風雨 (猿賀組八幡崎村に60斗男倒死)
1693年 11月8日 元禄6年	10月11日 晦 雪 (今朝御家中の妻乱心・自害)
1693年 11月9日 元禄6年	10月12日 曇 小風
1693年 11月10日 元禄6年	10月13日 陰晴
1693年 11月11日 元禄6年	10月14日 曇 (10日夜鯉ヶ沢で大風被害)
1693年 11月12日 元禄6年	10月15日 曇
1693年 11月13日 元禄6年	10月16日 快晴 酉の后刻雷発す
1693年 11月14日 元禄6年	10月17日 辰の刻小雨 則止む (広田組藻川村に25・6男乞食倒死)
1693年 11月15日 元禄6年	10月18日 快晴 霜 (11日に記載の自害に関して実子2人有るのに婿養子をとっている・関係者当分預け)
1693年 11月16日 元禄6年	10月19日 陰晴 午の刻小雨
1693年 11月17日 元禄6年	10月20日 辰の刻雨 (御旗の者が喧嘩で殺される)
1693年 11月18日 元禄6年	10月21日 晴 小風
1693年 11月19日 元禄6年	10月22日 陰晴 雨 巳の刻止む 夜又雨 (4日夜三馬屋沖で破船4艘・水船2艘、去6日南部領牛瀧村で青森船破船・4人中3人死亡)
1693年 11月20日 元禄6年	10月23日 晴 (御旗の者を殺した者擲捕)
1693年 11月21日 元禄6年	10月24日 晦 雨 終夜に及ぶ
1693年 11月22日 元禄6年	10月25日 晦 風 夜雪 (昨夜子刻藤崎川洪水・橋板引取る・馬船で往還)
1693年 11月23日 元禄6年	10月26日 晦 雪
1693年 11月24日 元禄6年	10月27日 晴
1693年 11月25日 元禄6年	10月28日 晴 夜雨時々 (常盤組矢沢村に44・5男乞食倒死)
1693年 11月26日 元禄6年	10月29日 曇
1693年 11月27日 元禄6年	11月1日 陰晴 (御用番氏名のみ) (御献上雉子相止・雉子狩無用と仰せ付けられる、1両に付62匁4分、50石町材木場に37・8女乞食倒死)
1693年 11月28日 元禄6年	11月2日 晴 巳の刻少し雨 則止む 未の刻より雨 夜に及ぶ
1693年 11月29日 元禄6年	11月3日 曇 午の下刻より雨 (初鱈1尺野内漁師より差上げる)
1693年 11月30日 元禄6年	11月4日 晦 時々雨 夜に及ぶ (去月29日長浜沖で破船1艘・船頭が2日に死んでいる)
1693年 12月1日 元禄6年	11月5日 曇 風雨終夜に及ぶ
1693年 12月2日 元禄6年	11月6日 晦 雪
1693年 12月3日 元禄6年	11月7日 曇 雪
1693年 12月4日 元禄6年	11月8日 陰晴
1693年 12月5日 元禄6年	11月9日 陰晴 辰の后刻地震 (青森蜷貝町より二番鱈差上げる)
1693年 12月6日 元禄6年	11月10日 快晴 (切子鉄3385貫980目の代銭10貫59匁5分8厘)
1693年 12月7日 元禄6年	11月11日 晦 辰の刻雨 則止む
1693年 12月8日 元禄6年	11月12日 晴
1693年 12月9日 元禄6年	11月13日 陰晴 申の刻雨 夜雪
1693年 12月10日 元禄6年	11月14日 晦 巳の中刻より晴 午の刻雪
1693年 12月11日 元禄6年	11月15日 陰晴 (狼打ちを3人に命ずる)
1693年 12月12日 元禄6年	11月16日 曇 卯の中刻より小雨時々 夜に及ぶ 戌の刻雷数発す
1693年 12月13日 元禄6年	11月17日 晴 小風 (15日子刻入内牧で馬屋出火・父馬1疋焼斃、昨16日より藤崎川十分の洪水)
1693年 12月14日 元禄6年	11月18日 陰晴 風
1693年 12月15日 元禄6年	11月19日 陰晴 風 夜雨時々
1693年 12月16日 元禄6年	11月20日 陰晴 風 丑の刻雷発す 酉の刻風雨 戌の刻雷電数 深更に及び止む
1693年 12月17日 元禄6年	11月21日 晦 雪時々
1693年 12月18日 元禄6年	11月22日 陰晴 (増館組水木村で昨夜戌刻火災・山伏の家焼失、猿賀組尾上村で昨申刻火災1軒)
1693年 12月19日 元禄6年	11月23日 曇 辰の刻より雨時々 夜雪 (籠屋前で盗人2人斬罪)
1693年 12月20日 元禄6年	11月24日 晦 雪 (五十石町材木場に20斗男乞食倒死)
1693年 12月21日 元禄6年	11月25日 曇 夜雪
1693年 12月22日 元禄6年	11月26日 晴 (御新田金銀銭御家中江御貸出御利息従当0月15日1ヶ月100目に付き7分宛)
1693年 12月23日 元禄6年	11月27日 曇 (男牢死、五十石町材木場に12・3男子乞食倒死)
1693年 12月24日 元禄6年	11月28日 陰晴 戌の下刻地震 (現職中死亡の十三町奉行の嫡子に御馬廻仰付ける)
1693年 12月25日 元禄6年	11月29日 曇 夜雪
1693年 12月26日 元禄6年	11月30日 曇 巳の后刻雨 未の刻より曇 (16日夜大風で今別中宇田湊で松前船破船)
1693年 12月27日 元禄6年	12月1日 晦 申の冠(刻と同じ)雪 (御用番氏名のみ)
1693年 12月28日 元禄6年	12月2日 陰晴 夜に入り雪 (昨年9月29日に不作を申し立てた後馮組代官の黒滝と山上を勤め方宜しからずとして召し放つ)
1693年 12月29日 元禄6年	12月3日 曇 時々小雪
1693年 12月30日 元禄6年	12月4日 晦 小風
1693年 12月31日 元禄6年	12月5日 晦 小雪 夜又雪

1694年	1月1日	元禄6年	12月6日	晴 (昨夜御家中の家来乱気・下女を切り自害しようとする・2人とも重傷)
1694年	1月2日	元禄6年	12月7日	陰晴 時々小雪
1694年	1月3日	元禄6年	12月8日	陰晴 夜雨
1694年	1月4日	元禄6年	12月9日	快晴 未の刻より時々小雪 (土手町住民の下人自害)
1694年	1月5日	元禄6年	12月10日	陰晴 辰五刻小寒
1694年	1月6日	元禄6年	12月11日	時々吹雪
1694年	1月7日	元禄6年	12月12日	時々雪
1694年	1月8日	元禄6年	12月13日	陰晴 時々雪
1694年	1月9日	元禄6年	12月14日	晴
1694年	1月10日	元禄6年	12月15日	陰晴 未の刻より時々雨 終夜に及ぶ 戌の刻風
1694年	1月11日	元禄6年	12月16日	辰の刻小雪 午の刻より小雨時々
1694年	1月12日	元禄6年	12月17日	曇 小雪 又夜雪
1694年	1月13日	元禄6年	12月18日	卯の刻より雨 終日夜に及ぶ
1694年	1月14日	元禄6年	12月19日	晦 風 午の刻より時々小雪 (追い鳥狩り:雉子7)
1694年	1月15日	元禄6年	12月20日	陰晴 小風 時々雪 又夜雪
1694年	1月16日	元禄6年	12月21日	陰晴 時々吹雪 夜雪 (紺屋町枳形に47・8女乞食倒死)
1694年	1月17日	元禄6年	12月22日	陰晴 雪時々
1694年	1月18日	元禄6年	12月23日	時々吹雪
1694年	1月19日	元禄6年	12月24日	陰晴 午の刻より小風
1694年	1月20日	元禄6年	12月25日	陰晴 小風 午の刻雪
1694年	1月21日	元禄6年	12月26日	陰晴 時々雪 (高杉組高杉村で火災1軒)
1694年	1月22日	元禄6年	12月27日	吹雪 (去る13日大工町の父子5人逃散、去月29日小比内村庄屋が奥野村で自害)
1694年	1月23日	元禄6年	12月28日	陰晴 時々雪 (昨27日青森で男牢死)
1694年	1月24日	元禄6年	12月29日	時々吹雪 終日終夜に及ぶ
1694年	1月25日	元禄7年	正月1日	晦 (御用番氏名のみ)
1694年	1月26日	元禄7年	正月2日	辰の刻雪 巳の下刻雨時々 申の刻に及ぶ
1694年	1月27日	元禄7年	正月3日	晴 辰の刻小雪 (御吉例の如く金子200両差登、二之御郭の雪の深さ1尺3寸5歩)
1694年	1月28日	元禄7年	正月4日	晦 夜雪
1694年	1月29日	元禄7年	正月5日	雪 巳の下刻雨時々 申の下刻に及ぶ 夜風
1694年	1月30日	元禄7年	正月6日	寅の刻大吹雪時々 終日に及ぶ 夜大雨
1694年	1月31日	元禄7年	正月7日	時々雨 申の下刻地震
1694年	2月1日	元禄7年	正月8日	晦 夜大雪
1694年	2月2日	元禄7年	正月9日	大雪 終日に及ぶ (赤石組金井ヶ沢に鯨寄せる)
1694年	2月3日	元禄7年	正月10日	吹雪終日 夜に及ぶ
1694年	2月4日	元禄7年	正月11日	陰晴 夜雪 (鯉ヶ沢に鯨寄せる:一昨日のものと同じか)
1694年	2月5日	元禄7年	正月12日	晴 未の刻時々小雪
1694年	2月6日	元禄7年	正月13日	陰晴 夜に入り雨風
1694年	2月7日	元禄7年	正月14日	晦 未の刻雪
1694年	2月8日	元禄7年	正月15日	時々雪 夜吹雪
1694年	2月9日	元禄7年	正月16日	吹雪
1694年	2月10日	元禄7年	正月17日	雪
1694年	2月11日	元禄7年	正月18日	吹雪 (この頃城内に狐たくさん、御家中の家来?成敗)
1694年	2月12日	元禄7年	正月19日	晴 夜雨
1694年	2月13日	元禄7年	正月20日	晦 雨 夜に及ぶ (去3日樵夫7人中6人が雪類(多分ゆきくずれと読むが雪崩のこと)で死亡、去16日赤石組追良瀬村に鯨寄せる・去13日赤石組沢辺村沖に神切鯨流れる)
1694年	2月14日	元禄7年	正月21日	雨 午の刻より晴 酉の刻雨 (昨夜御家中が他の御家中の妻を切り殺し自害)
1694年	2月15日	元禄7年	正月22日	陰晴 午の刻雪
1694年	2月16日	元禄7年	正月23日	卯の刻雪 午の刻曇 未の刻風 夜雪
1694年	2月17日	元禄7年	正月24日	巳の中刻雪 午の刻吹雪 夜に及ぶ
1694年	2月18日	元禄7年	正月25日	雪 巳の刻より陰晴 (深浦町182軒に御米182俵拝借申し付ける)
1694年	2月19日	元禄7年	正月26日	陰晴 (北御丸御堀の中に斃狐あり・1ヶ月に5匹くらい死んでいる)
1694年	2月20日	元禄7年	正月27日	なし(天気の記事なし) (埋御門の外に斃狐、青森町に3斗女子捨て子)
1694年	2月21日	元禄7年	正月28日	時々雪 終日に及ぶ 夜雪(時々雪及終日夜雪)
1694年	2月22日	元禄7年	正月29日	吹雪終日 夜に及ぶ
1694年	2月23日	元禄7年	正月30日	時々雪
1694年	2月24日	元禄7年	2月1日	陰晴 小風 (御用番氏名のみ)
1694年	2月25日	元禄7年	2月2日	晴
1694年	2月26日	元禄7年	2月3日	陰晴 時々雪 (埋御門の内斃狐、碓関十兵衛を大館まで40人が受け取りに行く)
1694年	2月27日	元禄7年	2月4日	晴 未の刻より時々小雪
1694年	2月28日	元禄7年	2月5日	曇 未の刻小雨時々 戌の刻に及び止む

1694年 3月1日 元禄7年 2月6日 晴 夜雪
 1694年 3月2日 元禄7年 2月7日 晴 (御家中の下女縊死)
 1694年 3月3日 元禄7年 2月8日 曇 小雪
 1694年 3月4日 元禄7年 2月9日 陰晴 時々小雪 (昨年10月20日御旗の者を切り殺した御家中の家来を斬罪)
 1694年 3月5日 元禄7年 2月10日 曇 卯の刻より風雪時々 (浪館村の御家中?の下女縊死)
 1694年 3月6日 元禄7年 2月11日 晴 夜風
 1694年 3月7日 元禄7年 2月12日 陰晴
 1694年 3月8日 元禄7年 2月13日 晴
 1694年 3月9日 元禄7年 2月14日 晴 申の中刻より雨 終夜に及ぶ (町中雪なし)
 1694年 3月10日 元禄7年 2月15日 昨夜より雨 辰の刻止み風 (三馬屋村の男乱気・他人宅に切り込み手負わせる)
 1694年 3月11日 元禄7年 2月16日 吹雪 (15日の夜の雨で岩木川・駒越川・藤崎川八・九分の洪水)
 1694年 3月12日 元禄7年 2月17日 快晴
 1694年 3月13日 元禄7年 2月18日 曇 午の刻より風雨
 1694年 3月14日 元禄7年 2月19日 曇 小風 巳の中刻より吹雪 卯の下刻地震 (去17日青森安方町で男縊死、江戸登りの御家中に新田金15両貸渡す)
 1694年 3月15日 元禄7年 2月20日 陰晴
 1694年 3月16日 元禄7年 2月21日 陰晴 小風
 1694年 3月17日 元禄7年 2月22日 陰晴
 1694年 3月18日 元禄7年 2月23日 陰晴 未の刻雨 暫くして止む 酉の刻より雨 夜に及ぶ(陰晴未刻雨暫止酉刻日雨及夜)
 1694年 3月19日 元禄7年 2月24日 快晴 (千年山福寿草を郡奉行が差し上げる)
 1694年 3月20日 元禄7年 2月25日 快晴
 1694年 3月21日 元禄7年 2月26日 快晴 亥の刻雨時々 終夜に及ぶ
 1694年 3月22日 元禄7年 2月27日 晦
 1694年 3月23日 元禄7年 2月28日 快晴 霜 酉の刻雨 戌の刻小雪
 1694年 3月24日 元禄7年 2月29日 晦 午の刻より小風 彼岸 (去27日駒越町に40斗男乞食倒死)
 1694年 3月25日 元禄7年 2月30日 快晴
 1694年 3月26日 元禄7年 3月1日 快晴 霜 (御用番氏名のみ)
 1694年 3月27日 元禄7年 3月2日 晴 霜 子の刻より大風雨時々 終日夜に及ぶ
 1694年 3月28日 元禄7年 3月3日 風雨時々 未の刻に及び止む (石渡川8分の洪水)
 1694年 3月29日 元禄7年 3月4日 晦 霜
 1694年 3月30日 元禄7年 3月5日 晦
 1694年 3月31日 元禄7年 3月6日 晴
 1694年 4月1日 元禄7年 3月7日 快晴
 1694年 4月2日 元禄7年 3月8日 快晴 霜 未の刻より小風
 1694年 4月3日 元禄7年 3月9日 快晴
 1694年 4月4日 元禄7年 3月10日 快晴 小風 (昨晚駒越町で男が男を切り殺す・犯人逐電・搦捕)
 1694年 4月5日 元禄7年 3月11日 快晴
 1694年 4月6日 元禄7年 3月12日 快晴 (去10日椰子が後潟組石濱村に寄せる)
 1694年 4月7日 元禄7年 3月13日 昨夜より小雨 午の刻に及び止む(徒昨夜小雨及午刻止)
 1694年 4月8日 元禄7年 3月14日 快晴
 1694年 4月9日 元禄7年 3月15日 曇 小雨 巳の刻より晴
 1694年 4月10日 元禄7年 3月16日 陰晴 雪丸
 1694年 4月11日 元禄7年 3月17日 昨夜より時々丸雪 風 小雪
 1694年 4月12日 元禄7年 3月18日 快晴 霜
 1694年 4月13日 元禄7年 3月19日 霜 快晴 (男籠死、預け中の与力逐電・指名手配)
 1694年 4月14日 元禄7年 3月20日 陰晴 風 夜に入り雨
 1694年 4月15日 元禄7年 3月21日 晦 時雨
 1694年 4月16日 元禄7年 3月22日 陰晴 小風
 1694年 4月17日 元禄7年 3月23日 晴 午の下刻小風 雨 終日に及ぶ (3月12日記述の海椰子を差上げた石浜村の男に青銅500文を下さる、朔日江戸御馬屋御中間2人逐電)
 1694年 4月18日 元禄7年 3月24日 晦 巳の刻より時々風雨
 1694年 4月19日 元禄7年 3月25日 晴 小風 未の下刻時々小雨 丸雪暫くして止む
 1694年 4月20日 元禄7年 3月26日 晴 午の刻風雨 雷発す
 1694年 4月21日 元禄7年 3月27日 晴 風
 1694年 4月22日 元禄7年 3月28日 快晴 (男牢死)
 1694年 4月23日 元禄7年 3月29日 晦 (八幡崎村庄屋牢死)
 1694年 4月24日 元禄7年 4月1日 晴 風 (御用番氏名のみ)
 1694年 4月25日 元禄7年 4月2日 陰晴 巳の刻小雨
 1694年 4月26日 元禄7年 4月3日 陰晴 午の下刻雨 暫くして止む
 1694年 4月27日 元禄7年 4月4日 快晴
 1694年 4月28日 元禄7年 4月5日 快晴 霜
 1694年 4月29日 元禄7年 4月6日 曇 巳の上刻より晴 午の下刻小風
 1694年 4月30日 元禄7年 4月7日 快晴 風雨

1694年	5月1日	元禄7年	4月8日	快晴	風 (岩木川洪水・往還相止)
1694年	5月2日	元禄7年	4月9日	快晴	(昨8日朝十三で水舟1艘)
1694年	5月3日	元禄7年	4月10日	快晴	酉の刻より時々小雨 (昨9日横内村で火災・火元彌宜・寺1軒等5軒焼失、昨日大和沢で山火事)
1694年	5月4日	元禄7年	4月11日	晦	辰の刻雷発す 同刻より雨終日
1694年	5月5日	元禄7年	4月12日	晦	巳の刻大風 雨終夜に及ぶ(晦 巳刻大風雨及終夜)
1694年	5月6日	元禄7年	4月13日	雨	
1694年	5月7日	元禄7年	4月14日	晦	時々雨 (13日青森町の船が浮田浜に駆け上がる)
1694年	5月8日	元禄7年	4月15日	陰晴	
1694年	5月9日	元禄7年	4月16日	快晴	
1694年	5月10日	元禄7年	4月17日	快晴	小風 (13日敦賀船が追良瀬川尻に駆け上がる)
1694年	5月11日	元禄7年	4月18日	快晴	
1694年	5月12日	元禄7年	4月19日	晴	午の刻より晦 夜雨 終夜に及ぶ
1694年	5月13日	元禄7年	4月20日	陰晴	時々雨 辰の中刻西南へ虹 風 (深浦で182軒中154軒(850人)が濁に及ぶ・4斗入り188俵を貸渡す)
1694年	5月14日	元禄7年	4月21日	晴	終日風
1694年	5月15日	元禄7年	4月22日	陰晴	
1694年	5月16日	元禄7年	4月23日	陰晴	午の中刻より小風雨
1694年	5月17日	元禄7年	4月24日	曇	巳の中刻雨 則止む 風終日
1694年	5月18日	元禄7年	4月25日	晦	巳の刻より晴 夜雨時々 終夜に及ぶ
1694年	5月19日	元禄7年	4月26日	曇	
1694年	5月20日	元禄7年	4月27日	晦	小風雨 暫くして止む(晦小風雨暫止) (久栗坂村の男牢死)
1694年	5月21日	元禄7年	4月28日	晴	
1694年	5月22日	元禄7年	4月29日	快晴	風
1694年	5月23日	元禄7年	4月30日	快晴	
1694年	5月24日	元禄7年	5月1日	晦	午の刻より小雨 (御用番氏名のみ) (人事異動)
1694年	5月25日	元禄7年	5月2日	晴	
1694年	5月26日	元禄7年	5月3日	晴	午の刻より風 夜雨
1694年	5月27日	元禄7年	5月4日	曇	雨終日に及ぶ
1694年	5月28日	元禄7年	5月5日	陰晴	辰の刻より風
1694年	5月29日	元禄7年	5月6日	晴	小風
1694年	5月30日	元禄7年	5月7日	快晴	小風
1694年	5月31日	元禄7年	5月8日	快晴	(岩木山扇の要西方昨戌中刻出火)
1694年	6月1日	元禄7年	5月9日	陰晴	夜雨時々 (岩木山扇の要打消す)
1694年	6月2日	元禄7年	5月10日	陰晴	(今日丑の刻柏木組梅田村で火災)
1694年	6月3日	元禄7年	5月11日	快晴	
1694年	6月4日	元禄7年	5月12日	巳の中刻より雨	
1694年	6月5日	元禄7年	5月13日	陰晴	
1694年	6月6日	元禄7年	5月14日	陰晴	
1694年	6月7日	元禄7年	5月15日	快晴	戌の刻より時々雨 終夜に及ぶ
1694年	6月8日	元禄7年	5月16日	晦	昨夜より雨時々 辰の刻に及び止む 午の刻より風
1694年	6月9日	元禄7年	5月17日	晦	寅の刻より雨 辰の刻に及び止む 卯の上刻雷発す 午の刻小風 雨 (男牢死)
1694年	6月10日	元禄7年	5月18日	晦	午の刻より雨 (貢上刻横鍛冶町で火災3軒)
1694年	6月11日	元禄7年	5月19日	陰晴	
1694年	6月12日	元禄7年	5月20日	陰晴	
1694年	6月13日	元禄7年	5月21日	晦	
1694年	6月14日	元禄7年	5月22日	陰晴	
1694年	6月15日	元禄7年	5月23日	晴	午の刻より小風
1694年	6月16日	元禄7年	5月24日	晴	小風
1694年	6月17日	元禄7年	5月25日	快晴	
1694年	6月18日	元禄7年	5月26日	快晴	(津軽将監(山鹿素行の娘婿・家老)の拝借金銀:銀176貫192匁2分(金子換算2936兩余)・これを13年間毎年13貫553匁1厘宛返す(1俵15匁・両替60目)、元禄12年には暇・踏み倒し?)
1694年	6月19日	元禄7年	5月27日	陰晴	卯の中刻大地震数 昼夜に及ぶ 地裂 西方鳴動 白雲黓(あい:雲の盛んなさま) (所々地裂・城中破損・石垣少々くずれ、岩木山大石崩れ硫黄平出火、23日江戸御発駕)
1694年	6月20日	元禄7年	5月28日	陰晴	地震数 西方鳴動す 昼夜に及ぶ 下から続く 地裂(長さ35間から4・5間・幅5尺3・4寸・深さ9尺から2尺5・6寸) 砂押し出す)
1694年	6月21日	元禄7年	5月29日	晦	地震数 西方鳴動す 昼夜に及ぶ (25日横内組水木村・26日浦町組柴橋村と駒越組宮地村で火災各1軒、大間越でも地震被害、境関・大久保・撫牛子・福村・松館村 上に続く)
1694年	6月22日	元禄7年	5月30日	霧 晴	卯の刻より地震数 終日に及ぶ (秋田県における被害報告、森岡家不残焼失20余人死亡・檜山30軒程滅・鶴形家不残焼失6・7人死亡・飛根家不残滅10人斗相果・能代家不残焼失)
1694年	6月23日	元禄7年	閏5月1日	快晴	子の刻より地震時々 巳の刻に及ぶ (御用番氏名のみ)
1694年	6月24日	元禄7年	閏5月2日	晴	午の刻より陰晴 西の方鳴動 地震めて三度 西の上刻より小雨 暫くして止む
1694年	6月25日	元禄7年	閏5月3日	晦	寅の刻より卯の上刻まで三度地震 午の下刻より雨時々 (初胡瓜5大鱈御菜園より差上げる)
1694年	6月26日	元禄7年	閏5月4日	晴	寅の刻西方鳴動す 地震
1694年	6月27日	元禄7年	閏5月5日	昨夜より雨	終日に及ぶ 午の中刻地震 西の方鳴動す (胡瓜5大鱈湯川原より差上げる)
1694年	6月28日	元禄7年	閏5月6日	陰晴	卯・未の刻地震両度
1694年	6月29日	元禄7年	閏5月7日	陰晴	寅の刻・卯の中刻地震両度
1694年	6月30日	元禄7年	閏5月8日	陰晴	(地震による田畑の損耗:田方12町5反・畑方1町9反・用水堰3か所・橋2か所・郷蔵1棟(4間×8間)滅)

1694年 7月1日 元禄7年 閏5月9日 辰の中刻より雷数発す 大雨 未の刻に及び止む (未刻岩木川駒越渡洪水)
 1694年 7月2日 元禄7年 閏5月10日 陰晴 昨夜より雨 辰の刻に及び止む 申 亥の刻地震二度
 1694年 7月3日 元禄7年 閏5月11日 晦 辰の刻地震
 1694年 7月4日 元禄7年 閏5月12日 昨夜より雨 午の刻に及び止む 夜に入り地震 (藩主の御着城)
 1694年 7月5日 元禄7年 閏5月13日 辰の中刻雨 則刻地震 夜又地震
 1694年 7月6日 元禄7年 閏5月14日 曇
 1694年 7月7日 元禄7年 閏5月15日 曇 巳の刻より陰晴 申の刻雨暫く 夜地震 (御下向の節秋田領内より参り候犬1疋:台所で食わせる)
 1694年 7月8日 元禄7年 閏5月16日 晴 辰の刻小雨 則止む 申の下刻地震 (御家中が百合草・岩茸差し上げる)
 1694年 7月9日 元禄7年 閏5月17日 快晴
 1694年 7月10日 元禄7年 閏5月18日 快晴
 1694年 7月11日 元禄7年 閏5月19日 卯の中刻より雨 終日に及ぶ 未の中刻地震
 1694年 7月12日 元禄7年 閏5月20日 小雨 午の刻より晴
 1694年 7月13日 元禄7年 閏5月21日 陰晴
 1694年 7月14日 元禄7年 閏5月22日 陰晴 午の刻より晴 夜に入り地震 (初茄子7・初真瓜2大鱈御菜園より差し上げる)
 1694年 7月15日 元禄7年 閏5月23日 陰晴 (町居村の男御旗の者に切り付け逐電)
 1694年 7月16日 元禄7年 閏5月24日 晴 小風 未の刻より晦 申の刻時々雨 終夜に及ぶ
 1694年 7月17日 元禄7年 閏5月25日 曇 時々小雨 (去23日浪岡組徳才子村で火災・2軒馬2疋焼燬)
 1694年 7月18日 元禄7年 閏5月26日 曇 昨夜時々雨 申の刻より霧 亥の刻地震 下から続く ・土蔵195軒中全壊44・焼失36・破損15・米17300石余・大豆594石余・小豆380石余・粟20石余、昨寅の中刻野内町で火災1軒)
 1694年 7月19日 元禄7年 閏5月27日 曇 土用丑の刻に入る 巳の刻より地震時々 (久保田の地震被害:能代など町村別にあるが全体として:死者394・負傷198・死馬13・家2579軒中全壊1273・焼失859・破損447 上に続く
 1694年 7月20日 元禄7年 閏5月28日 陰晴 未の刻地震 夜又地震
 1694年 7月21日 元禄7年 閏5月29日 陰晴 未の刻地震 夜又地震
 1694年 7月22日 元禄7年 6月1日 晴 (御用番氏名のみ)
 1694年 7月23日 元禄7年 6月2日 陰晴 辰の刻地震
 1694年 7月24日 元禄7年 6月3日 晦 午の刻より晴
 1694年 7月25日 元禄7年 6月4日 陰晴 巳の刻より晴
 1694年 7月26日 元禄7年 6月5日 晦 巳の刻より晴
 1694年 7月27日 元禄7年 6月6日 晦 巳の刻より晴 (六枚橋村の男牢死)
 1694年 7月28日 元禄7年 6月7日 快晴
 1694年 7月29日 元禄7年 6月8日 快晴
 1694年 7月30日 元禄7年 6月9日 晦 巳の刻より晴
 1694年 7月31日 元禄7年 6月10日 曇 巳の刻より晴 (西の御郭で相撲見物)
 1694年 8月1日 元禄7年 6月11日 曇 巳の刻より快晴
 1694年 8月2日 元禄7年 6月12日 快晴
 1694年 8月3日 元禄7年 6月13日 快晴 甚だしく暑い(快晴甚暑)
 1694年 8月4日 元禄7年 6月14日 快晴 甚だしく暑い
 1694年 8月5日 元禄7年 6月15日 快晴 甚だしく暑い
 1694年 8月6日 元禄7年 6月16日 快晴 午の刻雷発す 未の刻に及ぶ
 1694年 8月7日 元禄7年 6月17日 曇 午の刻小雨 暫くして止む
 1694年 8月8日 元禄7年 6月18日 晴 午の下刻曇 甚だしい雨 雷電数発す 申の刻止む
 1694年 8月9日 元禄7年 6月19日 陰晴
 1694年 8月10日 元禄7年 6月20日 快晴
 1694年 8月11日 元禄7年 6月21日 快晴 午の下刻より曇 小雨 暫くして止む (西御郭で相撲御覧)
 1694年 8月12日 元禄7年 6月22日 快晴 午の刻より曇 雷発す 暫くして止む (昨18日の雷が尾崎組四屋村に落ち2畝程稲焼く)
 1694年 8月13日 元禄7年 6月23日 快晴 (初米堀越組門外村より差上げる、能見物)
 1694年 8月14日 元禄7年 6月24日 陰晴
 1694年 8月15日 元禄7年 6月25日 晴
 1694年 8月16日 元禄7年 6月26日 陰晴
 1694年 8月17日 元禄7年 6月27日 陰晴 丑の刻地震両度 (閏5月28日野内村で火災・町奉行が火元(閏5月27日に記述の火元と人名は同じ)の入寺御免を申し出で・赦免を申し付ける)
 1694年 8月18日 元禄7年 6月28日 快晴 未の刻雷発す (熟瓜を御家中が差し上げる)
 1694年 8月19日 元禄7年 6月29日 陰晴 巳の中刻雨 則止む
 1694年 8月20日 元禄7年 6月30日 快晴 (御家中の家来が強盗につき斬罪)
 1694年 8月21日 元禄7年 7月1日 晴 巳の下刻より午の刻まで雷発す 午の刻より雨 暫くして止む (御用番氏名のみ)
 1694年 8月22日 元禄7年 7月2日 晴
 1694年 8月23日 元禄7年 7月3日 陰晴 風 申の下刻より雨 終夜に及ぶ
 1694年 8月24日 元禄7年 7月4日 陰晴 北の方鳴動 (昨夜甚だしい雨につき岩木川洪水・石渡仮橋破損・往還相止める、午の刻より震動・酉の刻北方光る・松前山焼けとの風聞)
 1694年 8月25日 元禄7年 7月5日 陰晴 (去3日の大風で碓関御飯屋屋根少々破損)
 1694年 8月26日 元禄7年 7月6日 快晴 (かすていら・あるへい等の菓子あり、今晚西の御郭で相撲見物・小結・脇詰・打留の役あり、3日の大風で御雇い船が坂田沖で御米150・60俵捨て4日申刻深浦湊(に入る)
 1694年 8月27日 元禄7年 7月7日 快晴 申の刻西の方鳴動
 1694年 8月28日 元禄7年 7月8日 快晴
 1694年 8月29日 元禄7年 7月9日 快晴
 1694年 8月30日 元禄7年 7月10日 快晴 (西瓜を御家中が上げる)
 1694年 8月31日 元禄7年 7月11日 晦 夜雨時々 (7月2日に平館沖の大東風で遭難1人死亡、松前うちうらの嵩7月4日朝より6日まで焼け・震動・電あり・寛永18年6月13日(南部・青森に津波あり)以来の焼け)

1694年 9月1日 元禄7年	7月12日 晦 辰の刻小雨 則止む 又午の刻小雨 (11日戌刻金木組小田川村で山火事・午刻火鎮)
1694年 9月2日 元禄7年	7月13日 晴 戌の下刻山鳴 地震 (小田川山火事(46間×53間)の火消し帰る、千歳山で煎茶(ちやせん)・花火(からにしき・くしゃく等))
1694年 9月3日 元禄7年	7月14日 快晴
1694年 9月4日 元禄7年	7月15日 快晴 未の下刻小雨 暫くして止む (松茸1籠差上げる)
1694年 9月5日 元禄7年	7月16日 陰晴 午の中刻雨 雷発す 暫くして止む
1694年 9月6日 元禄7年	7月17日 辰の中刻大雨 巳の后刻止む 戌の中刻雨 子の刻大雨
1694年 9月7日 元禄7年	7月18日 陰晴 申の下刻小雨 暫くして止む (今日辰の刻岩木川洪水・駒越渡仮橋引取る)
1694年 9月8日 元禄7年	7月19日 晴 未の刻より曇
1694年 9月9日 元禄7年	7月20日 快晴
1694年 9月10日 元禄7年	7月21日 陰晴
1694年 9月11日 元禄7年	7月22日 晴 午の中刻より曇 (鮎5差し上げる)
1694年 9月12日 元禄7年	7月23日 陰晴 申の中刻雨時々 終夜に及ぶ (御能、7月2日の大風(台風?)で静岡県三島の家多滅し小田原の漁師町で千軒ほど大波にあい人多く死亡とのこと)
1694年 9月13日 元禄7年	7月24日 晴
1694年 9月14日 元禄7年	7月25日 昨夜より雨 未の刻に及ぶ
1694年 9月15日 元禄7年	7月26日 陰晴 午の上刻雨 暫くして止む
1694年 9月16日 元禄7年	7月27日 曇
1694年 9月17日 元禄7年	7月28日 曇 午の中刻より雨 (御家中が青梨差し上げる)
1694年 9月18日 元禄7年	7月29日 陰晴
1694年 9月19日 元禄7年	8月1日 陰晴 小風 酉の刻より小雨 終夜に及ぶ (御用番氏名あり)
1694年 9月20日 元禄7年	8月2日 昨夜より雨時々 終日終夜に及ぶ (鯿ヶ沢江お出で・東御門より出る、昨朔日岩木山に百沢寺代参・苔の実差し上げる、男4人卒死)
1694年 9月21日 元禄7年	8月3日 雨 終日に及ぶ
1694年 9月22日 元禄7年	8月4日 陰晴 (丑の刻より藤崎川洪水・藤崎渡の仮橋引取る、鯿ヶ沢より初鯿1尺差し上げる、15日の御祭礼に猫右衛門町の獅子踊りを入れるようにする)
1694年 9月23日 元禄7年	8月5日 陰晴 小風
1694年 9月24日 元禄7年	8月6日 曇 小風 未の下刻小雨 申の中刻止む 亥の刻雨
1694年 9月25日 元禄7年	8月7日 曇 未の刻小雨 (去4日深浦から初鯿3差し上げる)
1694年 9月26日 元禄7年	8月8日 陰晴
1694年 9月27日 元禄7年	8月9日 晦 (青森より鯿上がる)
1694年 9月28日 元禄7年	8月10日 昨夜より雨 終日に及ぶ
1694年 9月29日 元禄7年	8月11日 寅の刻より雨 辰の刻に及び止み晴 戌の刻より大雨 雷電数発 終夜に及ぶ
1694年 9月30日 元禄7年	8月12日 丑の刻より雷電数発 大雨 卯の上刻に及び止む それより時々雨
1694年 10月1日 元禄7年	8月13日 晦 午の刻小雨 則止む
1694年 10月2日 元禄7年	8月14日 晴 午の刻より曇
1694年 10月3日 元禄7年	8月15日 晴 夜に入り雨 (八幡宮御祭礼)
1694年 10月4日 元禄7年	8月16日 陰晴 辰の中刻より小雨時々 午の刻に及び止む
1694年 10月5日 元禄7年	8月17日 晴 昨夜小雨 暫くして止む
1694年 10月6日 元禄7年	8月18日 卯の下刻より雷発す 同刻より雨 未の上刻雷 大風雨 (今晚御拍子)
1694年 10月7日 元禄7年	8月19日 卯の中刻より雨時々 終日に及ぶ
1694年 10月8日 元禄7年	8月20日 陰晴 午の中刻より曇
1694年 10月9日 元禄7年	8月21日 快晴
1694年 10月10日 元禄7年	8月22日 晦
1694年 10月11日 元禄7年	8月23日 陰晴 午の刻より晦 戌の刻風雨
1694年 10月12日 元禄7年	8月24日 岩木山頂上初雪 昨夜より雨風 巳の刻に及び止む (昨夜より雨天で今朝寅后刻岩木川洪水・駒越渡仮橋引く、去21日御持足軽逐電)
1694年 10月13日 元禄7年	8月25日 晴 夜に入り雨 終夜に及ぶ
1694年 10月14日 元禄7年	8月26日 昨夜より雨 巳の刻に及び止む 夜に入り雨 (24日の大風で坂田船が赤石組田野沢沖で破船)
1694年 10月15日 元禄7年	8月27日 晴
1694年 10月16日 元禄7年	8月28日 霜 晴 (広須組鶴田村で今日火災1軒)
1694年 10月17日 元禄7年	8月29日 霜 快晴
1694年 10月18日 元禄7年	8月30日 晦 酉の刻より雨時々 終夜に及ぶ (28日夜青森上町の男乱気・自害)
1694年 10月19日 元禄7年	9月1日 辰の刻より雨時々 終日に及ぶ 午の下刻より晴 夜雨 終夜 (御用番氏名のみ) (青森安方町に男倒死)
1694年 10月20日 元禄7年	9月2日 昨夜より雨 終日に及ぶ 夜に入り大雨 終夜に及ぶ (御能)
1694年 10月21日 元禄7年	9月3日 昨夜より大雨時々 終日
1694年 10月22日 元禄7年	9月4日 曇 午の中刻より晴 (昨日藤崎川洪水・仮橋引取る・船にて往来、和徳組富田村に50余男倒死)
1694年 10月23日 元禄7年	9月5日 快晴
1694年 10月24日 元禄7年	9月6日 陰晴 小風
1694年 10月25日 元禄7年	9月7日 陰晴 小風
1694年 10月26日 元禄7年	9月8日 霜 曇 午の刻より晴 丑の刻地震
1694年 10月27日 元禄7年	9月9日 霜 快晴 子の刻地震
1694年 10月28日 元禄7年	9月10日 曇 小風
1694年 10月29日 元禄7年	9月11日 曇 西の中刻風雨 終夜に及ぶ (今晚相撲をご覧になる)
1694年 10月30日 元禄7年	9月12日 寅の刻地震 雨風時々 終日
1694年 10月31日 元禄7年	9月13日 曇 午の刻より晴 夜に入り小雨

1694年 11月1日 元禄7年 9月14日 陰晴 巳の下刻より小雨
 1694年 11月2日 元禄7年 9月15日 晦 今朝時々丸雪 風
 1694年 11月3日 元禄7年 9月16日 晦 午の刻より陰晴
 1694年 11月4日 元禄7年 9月17日 曇 時々小雨
 1694年 11月5日 元禄7年 9月18日 晦 終日
 1694年 11月6日 元禄7年 9月19日 晦 辰の刻より小雨時々 未の刻より雨 終夜に及ぶ
 1694年 11月7日 元禄7年 9月20日 辰の刻より時々曇 巳の下刻に及ぶ 雷電発す 四山並びに里へ初雪
 1694年 11月8日 元禄7年 9月21日 曇 (百沢下居社開帳・8月22日より9月21日までの30日間の参詣人数男女2万3千882人)
 1694年 11月9日 元禄7年 9月22日 晴 小風 酉の下刻より雨 終夜に及ぶ
 1694年 11月10日 元禄7年 9月23日 曇 午の中刻より晴
 1694年 11月11日 元禄7年 9月24日 陰晴
 1694年 11月12日 元禄7年 9月25日 曇 小風
 1694年 11月13日 元禄7年 9月26日 陰晴
 1694年 11月14日 元禄7年 9月27日 陰晴 未の上刻より小雨時々 終夜に及ぶ
 1694年 11月15日 元禄7年 9月28日 晦 時々小雨 午の中刻より小雪 終夜に及ぶ
 1694年 11月16日 元禄7年 9月29日 昨夜薄雪 時々小雪 夜に入り雷発す
 1694年 11月17日 元禄7年 10月1日 陰晴 卯の上刻より雨 辰の中刻に及ぶ 未の刻より風雨 (御用番氏名のみ)
 1694年 11月18日 元禄7年 10月2日 陰晴 昨夜より時々吹雪 終日終夜に及ぶ
 1694年 11月19日 元禄7年 10月3日 昨夜より雪 今日終日終夜に及ぶ
 1694年 11月20日 元禄7年 10月4日 陰晴 時々雪
 1694年 11月21日 元禄7年 10月5日 晦 夜に入り雨時々
 1694年 11月22日 元禄7年 10月6日 陰晴 戌の刻雪 則止む
 1694年 11月23日 元禄7年 10月7日 陰晴
 1694年 11月24日 元禄7年 10月8日 卯の中刻より雪時々 午の下刻止む 申の刻雨 則止む
 1694年 11月25日 元禄7年 10月9日 晦 巳の刻より陰晴
 1694年 11月26日 元禄7年 10月10日 卯の中刻丸雪 暫くして止む 又小雨時々 (御能)
 1694年 11月27日 元禄7年 10月11日 晦 辰の刻より時々風 巳の刻より丸雪 午の刻より吹雪時々 終夜に及ぶ (今晚御拍子)
 1694年 11月28日 元禄7年 10月12日 吹雪時々 終夜に及ぶ (御家中宅で歌舞伎・狂言)
 1694年 11月29日 元禄7年 10月13日 曇
 1694年 11月30日 元禄7年 10月14日 曇 夜に入り雨 (西御郭坂下に斃狐あり、13日夜青森上浜町で能登の男乱気・総死)
 1694年 12月1日 元禄7年 10月15日 昨夜より雨 辰の刻に及び小風 亥の刻より時々雨
 1694年 12月2日 元禄7年 10月16日 陰晴 戌の下刻小雨
 1694年 12月3日 元禄7年 10月17日 辰の刻小雨 暫くして止む 風 巳の刻より晴 (今日駒越町で火災1軒)
 1694年 12月4日 元禄7年 10月18日 陰晴 午の刻より曇 (御家中宅で浄瑠璃見物)
 1694年 12月5日 元禄7年 10月19日 卯の刻より雨 終日終夜に及ぶ
 1694年 12月6日 元禄7年 10月20日 曇 時々吹雪 (昨19日の雨天で藤崎川洪水・仮橋引き取り船往還)
 1694年 12月7日 元禄7年 10月21日 陰晴 吹雪終日に及ぶ
 1694年 12月8日 元禄7年 10月22日 快晴 (20日御城代岡勘解由病死、19日浜筋で大風・破船4艘)
 1694年 12月9日 元禄7年 10月23日 曇 小風 午の刻小雪時々
 1694年 12月10日 元禄7年 10月24日 快晴 (先頃長浜で男倒死)
 1694年 12月11日 元禄7年 10月25日 曇 時々風雨
 1694年 12月12日 元禄7年 10月26日 晴 (昨夜戌の刻柏木組梅田村で火災1軒)
 1694年 12月13日 元禄7年 10月27日 陰晴 午の刻小雨 暫くして止む 戌の刻より雨時々 終夜に及ぶ
 1694年 12月14日 元禄7年 10月28日 曇 雨 終日に及ぶ 夜に入り雪 (御拍子)
 1694年 12月15日 元禄7年 10月29日 陰晴 (御家中宅で剣術御覧)
 1694年 12月16日 元禄7年 10月30日 晦 時々小雪
 1694年 12月17日 元禄7年 11月1日 昨夜より雪時々 終日に及ぶ (御用番氏名のみ)
 1694年 12月18日 元禄7年 11月2日 陰晴 時々雪 夜又雪 (御家中宅で剣術御覧)
 1694年 12月19日 元禄7年 11月3日 陰晴 夜に入り小雪 小風 戌の刻地震
 1694年 12月20日 元禄7年 11月4日 陰晴 午の刻より小雪 夜に入り雨
 1694年 12月21日 元禄7年 11月5日 辰の中刻より雨 終日に及ぶ (去4日赤田組板屋野木村・藤代組中崎村で火災各1軒、去月14日常磐組榊村の庄屋逐電)
 1694年 12月22日 元禄7年 11月6日 吹雪 終日終夜に及ぶ
 1694年 12月23日 元禄7年 11月7日 時々雪
 1694年 12月24日 元禄7年 11月8日 晴
 1694年 12月25日 元禄7年 11月9日 陰晴 (辰の上刻御能初)
 1694年 12月26日 元禄7年 11月10日 辰の刻雨暫く 時々曇 夜に入り小雪 (辰の刻御能初)
 1694年 12月27日 元禄7年 11月11日 晴 夜に入り雪 (去4日夜藤代組中崎村で火災1軒・馬2疋焼失)
 1694年 12月28日 元禄7年 11月12日 終日大雪 (辰の刻御能初)
 1694年 12月29日 元禄7年 11月13日 吹雪 終日終夜に及ぶ
 1694年 12月30日 元禄7年 11月14日 雪 巳の刻より陰晴 (昨13日猿賀組八幡崎村で火災1軒)
 1694年 12月31日 元禄7年 11月15日 曇

1695年	1月1日	元禄7年	11月16日	陰晴	辰の刻小雪 (これまで「水呑」としていた直接納税義務のない百姓を「高無百姓」と唱えることとする)
1695年	1月2日	元禄7年	11月17日	陰晴	辰の刻小雪暫く
1695年	1月3日	元禄7年	11月18日	快晴	(御能)
1695年	1月4日	元禄7年	11月19日	曇	巳の刻より雨 午の下刻に及び止む(曇巳刻ヨリ雨午ノ及下刻止)
1695年	1月5日	元禄7年	11月20日	吹雪	未二刻小寒
1695年	1月6日	元禄7年	11月21日	陰晴	(来亥年御廻米員数: 6万2千663石5斗8升(来亥年分の江戸知行米9140石を含む)、先月金木組岩崎村の炭焼き絞め殺される・犯人捕まる)
1695年	1月7日	元禄7年	11月22日	快晴	(辰の后刻御能初)
1695年	1月8日	元禄7年	11月23日	晴	戌の刻雷数発
1695年	1月9日	元禄7年	11月24日	陰晴	
1695年	1月10日	元禄7年	11月25日	陰晴	申の刻より雨 酉の刻に及び止む 同下刻雷発す
1695年	1月11日	元禄7年	11月26日	雪	終日に及ぶ 夜に入り小雪
1695年	1月12日	元禄7年	11月27日	晴	
1695年	1月13日	元禄7年	11月28日	陰晴	夜に入り雪
1695年	1月14日	元禄7年	11月29日	時々小雪	夜に入り雪
1695年	1月15日	元禄7年	12月1日	晦	時々吹雪 夜に入り雪 (御用番氏名のみ) (男科人が獄屋で病死・牢死)
1695年	1月16日	元禄7年	12月2日	時々吹雪	夜に入り小雪 (御城代に高倉主計、今日雉狩・雉子84差上げる)
1695年	1月17日	元禄7年	12月3日	吹雪	夜に入り雪
1695年	1月18日	元禄7年	12月4日	吹雪	終日
1695年	1月19日	元禄7年	12月5日	陰晴	
1695年	1月20日	元禄7年	12月6日	雪	終日 (鶴田村の男牢死)
1695年	1月21日	元禄7年	12月7日	時々雪	午の刻より吹雪
1695年	1月22日	元禄7年	12月8日	晴	
1695年	1月23日	元禄7年	12月9日	卯の中刻より雪	夜に入り大雪
1695年	1月24日	元禄7年	12月10日	時々吹雪	(御能)
1695年	1月25日	元禄7年	12月11日	曇	時々雪
1695年	1月26日	元禄7年	12月12日	時々吹雪	
1695年	1月27日	元禄7年	12月13日	陰晴	夜に入り雪
1695年	1月28日	元禄7年	12月14日	辰の刻雪	巳の刻より曇
1695年	1月29日	元禄7年	12月15日	陰晴	夜に入り小雪 (人事異動・褒美等あり)
1695年	1月30日	元禄7年	12月16日	吹雪	夜に入り雪
1695年	1月31日	元禄7年	12月17日	晦	
1695年	2月1日	元禄7年	12月18日	雪	終日に及ぶ
1695年	2月2日	元禄7年	12月19日	晴	
1695年	2月3日	元禄7年	12月20日	晦	
1695年	2月4日	元禄7年	12月21日	陰晴	時々小雪 (江戸から15日振りに申し付けの飛脚が14日ぶりに到着・褒美1歩宛)
1695年	2月5日	元禄7年	12月22日	陰晴	
1695年	2月6日	元禄7年	12月23日	曇	雪 終日終夜に及ぶ (年忘れ御能)
1695年	2月7日	元禄7年	12月24日	吹雪	終日終夜に及ぶ
1695年	2月8日	元禄7年	12月25日	陰晴	昨夜より雪 辰の刻迄 それより雪時々
1695年	2月9日	元禄7年	12月26日	吹雪	(25日十面沢村で後の山雪類(なだれか)・家1軒2人死亡・2人負傷)
1695年	2月10日	元禄7年	12月27日	曇	(23日の大風で青森船が蟹田沖で破船)
1695年	2月11日	元禄7年	12月28日	曇	(去26日碓関の男自害)
1695年	2月12日	元禄7年	12月29日	陰晴	申の刻より雨
1695年	2月13日	元禄8年	正月1日	雪	終日に及ぶ (御用番に役職名(ただし寺社奉行以下)が付く)
1695年	2月14日	元禄8年	正月2日	陰晴	夜に入り雪 (吉例によりお金200両江戸へ差登)
1695年	2月15日	元禄8年	正月3日	時々小雪	終日夜に及ぶ(時々小雪及終日夜) (今晚御諷初)
1695年	2月16日	元禄8年	正月4日	雪	午の刻に及び止む
1695年	2月17日	元禄8年	正月5日	快晴	
1695年	2月18日	元禄8年	正月6日	曇	夜に入り雨 終夜に及ぶ
1695年	2月19日	元禄8年	正月7日	晦	夜に入り小雪 (去2日丑刻金木組毘沙門村で火災1軒馬2疋焼斃)
1695年	2月20日	元禄8年	正月8日	吹雪	
1695年	2月21日	元禄8年	正月9日	雪	巳の刻に及び陰晴 申の刻地震
1695年	2月22日	元禄8年	正月10日	晦	
1695年	2月23日	元禄8年	正月11日	時々雪	
1695年	2月24日	元禄8年	正月12日	陰晴	(年始御祝儀御能)
1695年	2月25日	元禄8年	正月13日	曇	申の上刻吹雪 則止む
1695年	2月26日	元禄8年	正月14日	陰晴	辰の刻吹雪 則止む 夜に入り雪
1695年	2月27日	元禄8年	正月15日	雪	終日に及ぶ 夜に入り大雪 (人事異動、常盤組若松村に50斗男倒死)
1695年	2月28日	元禄8年	正月16日	大雪	巳の刻より時々吹雪 終日に及ぶ (御台所雑蔵軒下に狐斃)

1695年 3月1日 元禄8年 正月17日 陰晴
 1695年 3月2日 元禄8年 正月18日 午の刻より時々小雪 夜に入り吹雪 (御能)
 1695年 3月3日 元禄8年 正月19日 雪 辰の刻より大吹雪 終日終夜に及ぶ
 1695年 3月4日 元禄8年 正月20日 晴 夜に入り大風雨 終夜に及ぶ
 1695年 3月5日 元禄8年 正月21日 雨 申の刻に及び止む 戌の刻より吹雪 終夜に及ぶ (御能)
 1695年 3月6日 元禄8年 正月22日 卯の刻より雪 巳の刻に及び陰晴 (21日戌刻十三湊で火災・寺1軒焼失)
 1695年 3月7日 元禄8年 正月23日 曇 巳の中刻より晴 (この頃与一様毎日登城)
 1695年 3月8日 元禄8年 正月24日 晴 午の上刻小雨 則止む
 1695年 3月9日 元禄8年 正月25日 快晴 (鯉ヶ沢御蔵の内西南の隅柱並びに壁が雪類で破損、昨24日戌刻尾崎組広船村で火災1軒)
 1695年 3月10日 元禄8年 正月26日 快晴
 1695年 3月11日 元禄8年 正月27日 曇 申の上刻より雨 夜に入り止む
 1695年 3月12日 元禄8年 正月28日 雪揚る 則止む(雪颯則止)
 1695年 3月13日 元禄8年 正月29日 陰晴 (当年は雪薄候に付今日より火見櫓番など申し付ける)
 1695年 3月14日 元禄8年 正月30日 快晴
 1695年 3月15日 元禄8年 2月1日 曇 辰の刻雪揚る 則刻止む (御用番氏名のみ)
 1695年 3月16日 元禄8年 2月2日 陰晴 時々小雪
 1695年 3月17日 元禄8年 2月3日 晴
 1695年 3月18日 元禄8年 2月4日 陰晴 午の下刻より小雪 夜に入り雪
 1695年 3月19日 元禄8年 2月5日 陰晴 昨夜より雪 午の刻に及び小風 未の刻止む
 1695年 3月20日 元禄8年 2月6日 曇 申の下刻より風 丸雪 終夜に及ぶ
 1695年 3月21日 元禄8年 2月7日 曇 昨夜より風時々 丸雪(曇昨夜より風時々丸雪)
 1695年 3月22日 元禄8年 2月8日 曇 午の上刻より晴 (飯詰村で男自害)
 1695年 3月23日 元禄8年 2月9日 晴 (千年山の福寿草差上げる)
 1695年 3月24日 元禄8年 2月10日 曇 卯の上刻小雪 午の上刻止む 未の上刻小雨 終夜に及ぶ (御慰の御能)
 1695年 3月25日 元禄8年 2月11日 曇 昨夜より小雨 辰の中刻に及び小風雪 終日終夜に及ぶ
 1695年 3月26日 元禄8年 2月12日 晴
 1695年 3月27日 元禄8年 2月13日 快晴
 1695年 3月28日 元禄8年 2月14日 晴
 1695年 3月29日 元禄8年 2月15日 快晴 (人事異動)
 1695年 3月30日 元禄8年 2月16日 快晴 亥の刻大雨 終夜に及ぶ (仕舞・狂言など、油川組油川村に乞食者倒死)
 1695年 3月31日 元禄8年 2月17日 曇 雨 巳の刻止む 酉の下刻より雨 亥の刻に及び大風雪 終夜に及ぶ (14日高杉組浮田村で火災2軒(1間×2間と3間×7間・共に無高)
 1695年 4月1日 元禄8年 2月18日 曇 時々風雪 酉の刻より大風雪 終夜に及ぶ (先だって飯詰村で自殺騒ぎ・去2日死亡(2月8日の記述と一致するのかどうかは不明))
 1695年 4月2日 元禄8年 2月19日 時々吹雪
 1695年 4月3日 元禄8年 2月20日 陰晴
 1695年 4月4日 元禄8年 2月21日 快晴 今朝霜 (2月18日深浦で日方風・大波で破船11艘潰れ家8軒)
 1695年 4月5日 元禄8年 2月22日 雨 午の中刻より風雪 夜に入り大風雪 (18日の大波で赤石組で塩籠4が波に取られる)
 1695年 4月6日 元禄8年 2月23日 曇 時々雪 未の上刻止む (今日も能・狂言)
 1695年 4月7日 元禄8年 2月24日 晴
 1695年 4月8日 元禄8年 2月25日 晴 未の下刻曇 則時止む 夜に入り小雨 終夜に及ぶ
 1695年 4月9日 元禄8年 2月26日 曇 夜に入り雪 (去8日未の刻江戸四谷伝馬町から出火・戌の年以來の大火事)
 1695年 4月10日 元禄8年 2月27日 卯の中刻雷発す 大雪 申の上刻止む
 1695年 4月11日 元禄8年 2月28日 陰晴 未の上刻より風雨 酉の刻より吹雪 終夜に及ぶ
 1695年 4月12日 元禄8年 2月29日 曇 未の上刻より時々雨 終夜に及ぶ
 1695年 4月13日 元禄8年 3月1日 曇 午の上刻より雨 同中刻曇 則時止む 未の刻より雪 夜に入り風雪 終夜に及ぶ (御用番氏名のみ)
 1695年 4月14日 元禄8年 3月2日 曇 時々吹雪 巳の刻に及ぶ、それより風 申の刻止む (御発駕は18日となる)
 1695年 4月15日 元禄8年 3月3日 晴 未の刻より風雨 戌の上刻に及ぶ
 1695年 4月16日 元禄8年 3月4日 陰晴
 1695年 4月17日 元禄8年 3月5日 快晴 卯の中刻地震
 1695年 4月18日 元禄8年 3月6日 晴 午の刻より曇 酉の上刻小雨 暫くして止む 夜中時々風
 1695年 4月19日 元禄8年 3月7日 曇 夜に入り小雨 終夜に及ぶ (今日も能・狂言)
 1695年 4月20日 元禄8年 3月8日 曇 昨夜より小雨 巳の刻に及ぶ 卯の中刻地震 未の刻より陰晴
 1695年 4月21日 元禄8年 3月9日 霞 霧 辰の中刻より晴
 1695年 4月22日 元禄8年 3月10日 晴
 1695年 4月23日 元禄8年 3月11日 陰晴
 1695年 4月24日 元禄8年 3月12日 曇 卯の下刻雷発す 時々小風 雨時々 未の刻に及ぶ (今日も能・狂言)
 1695年 4月25日 元禄8年 3月13日 快晴 (2月18日から29日の間で瀧澤山(横内組)赤沢に「なてつき」・全員12人死亡)
 1695年 4月26日 元禄8年 3月14日 快晴 夜に入り雨 終夜に及ぶ
 1695年 4月27日 元禄8年 3月15日 曇 昨夜より雨 巳の刻に及ぶ 申の刻雨 則時止む
 1695年 4月28日 元禄8年 3月16日 晴
 1695年 4月29日 元禄8年 3月17日 快晴 霜
 1695年 4月30日 元禄8年 3月18日 快晴 (今日御発駕)

1695年	5月1日	元禄8年	3月19日	陰晴 (今日ハ風強吹申候間……)
1695年	5月2日	元禄8年	3月20日	快晴 終日小風 夜に入り風 終夜に及ぶ (去年12月24日・去年2月15日の雪による遭難救助者に褒美)
1695年	5月3日	元禄8年	3月21日	陰晴 風
1695年	5月4日	元禄8年	3月22日	快晴 大霜 (今日屋駒越組宮地村諏訪林火災)
1695年	5月5日	元禄8年	3月23日	陰晴 (18日朝より新屋の男行方不明・参勤行列にまぎれて関所を抜けたか)
1695年	5月6日	元禄8年	3月24日	晴 午の刻より曇 小風
1695年	5月7日	元禄8年	3月25日	曇 丑の刻より時々雨 巳の刻に及ぶ
1695年	5月8日	元禄8年	3月26日	曇 申の上刻より雨 終夜に及ぶ
1695年	5月9日	元禄8年	3月27日	陰晴 (昨夜中の雨強く石渡川水出る・仮橋歩行の板の上水越す・別条なし、同じ雨で二御郭東御門土橋の石垣抜ける)
1695年	5月10日	元禄8年	3月28日	陰晴 大霜 夜に入り時々雨
1695年	5月11日	元禄8年	3月29日	陰晴 未の刻より小風雨
1695年	5月12日	元禄8年	3月30日	陰晴 小風
1695年	5月13日	元禄8年	4月1日	曇 (御用番氏名のみ)
1695年	5月14日	元禄8年	4月2日	曇 巳の刻より晴
1695年	5月15日	元禄8年	4月3日	曇 辰の下刻より快晴
1695年	5月16日	元禄8年	4月4日	曇 辰の下刻より晴
1695年	5月17日	元禄8年	4月5日	陰晴 午の刻より小風
1695年	5月18日	元禄8年	4月6日	晴
1695年	5月19日	元禄8年	4月7日	曇 (5日夜九時深浦町で火災・6軒焼失)
1695年	5月20日	元禄8年	4月8日	晴 夜に入り雨時々 寅の刻に及ぶ
1695年	5月21日	元禄8年	4月9日	陰晴 小風
1695年	5月22日	元禄8年	4月10日	晴 小風 夜中風
1695年	5月23日	元禄8年	4月11日	陰晴 辰の刻小雨 暫くして止む それより風
1695年	5月24日	元禄8年	4月12日	曇 卯の上刻小雨 暫くして止む 午の中刻より雨 夜に入り時々雨 終夜に及ぶ (11日今別山出火、正月21日十三の火災(22日記述)で男1人焼死)
1695年	5月25日	元禄8年	4月13日	曇 夜に入り風 (今別山の火災鎮火)
1695年	5月26日	元禄8年	4月14日	陰晴 風終日に及ぶ
1695年	5月27日	元禄8年	4月15日	陰晴 辰の刻より大風 午の刻より止む
1695年	5月28日	元禄8年	4月16日	晴 小風
1695年	5月29日	元禄8年	4月17日	陰晴 午の刻より小風 同下刻小雨 終日に及ぶ 夜に入り雨 終夜に及ぶ (6日殿様・与一様御上着)
1695年	5月30日	元禄8年	4月18日	曇 午の刻より小風 (藤崎組毘沙門堂境内に男乞食倒死)
1695年	5月31日	元禄8年	4月19日	晴
1695年	6月1日	元禄8年	4月20日	陰晴
1695年	6月2日	元禄8年	4月21日	曇 巳の刻より晴 夜に入り雨 終夜に及ぶ (18日田比(竜飛)沖で西ひかた風(翌日の記述による)に遭い越前新保の24人乗り船破船・2人死亡・4・5人負傷)
1695年	6月3日	元禄8年	4月22日	曇 雨降 又夜雨時々 (昨21日高杉組植田村で火災2軒(3.5間×9間と4間×10間:共に百姓)、昨21日駒越組百沢村で火災(2間×1.5間:無高))
1695年	6月4日	元禄8年	4月23日	晴
1695年	6月5日	元禄8年	4月24日	晴 午の刻より小風
1695年	6月6日	元禄8年	4月25日	晴 小風
1695年	6月7日	元禄8年	4月26日	快晴 卯の中刻地震 未の刻より曇 申の上刻雨 則時止む
1695年	6月8日	元禄8年	4月27日	卯の刻より時々小雨 辰の刻止む 午の刻より小風
1695年	6月9日	元禄8年	4月28日	晴 小風 (御手廻組頭津軽左門病死)
1695年	6月10日	元禄8年	4月29日	快晴 午の刻より雷 夜に入り時々大雨 終夜に及ぶ
1695年	6月11日	元禄8年	4月30日	曇 風
1695年	6月12日	元禄8年	5月1日	晴 (御用番氏名のみ) (今屋男卒死)
1695年	6月13日	元禄8年	5月2日	陰晴 (先月29日深浦でお雇い船破船)
1695年	6月14日	元禄8年	5月3日	晴 卯の刻霞霧
1695年	6月15日	元禄8年	5月4日	快晴
1695年	6月16日	元禄8年	5月5日	晴
1695年	6月17日	元禄8年	5月6日	曇 辰の下刻より雨 終日に及ぶ 夜に入り雨 終夜に及ぶ
1695年	6月18日	元禄8年	5月7日	曇 辰の中刻より雨 午の刻甚だしい雨 終日終夜に及ぶ
1695年	6月19日	元禄8年	5月8日	曇 雨巳の中刻止む (先月29日秋田領渡鹿でお雇い船破船)
1695年	6月20日	元禄8年	5月9日	陰晴 午の中刻小雨 暫くして止む 小風 (日付なし・干支のみあり、前日は五月八己巳(つちのとみ)日・今日は五月庚午(かのえうま)日であり九日で妥当)
1695年	6月21日	元禄8年	5月10日	陰晴 小風
1695年	6月22日	元禄8年	5月11日	曇 夜に入り雨 暫くして止む
1695年	6月23日	元禄8年	5月12日	曇 小風 (造船がはかどらず越前新保の船頭海に身を捨てる)
1695年	6月24日	元禄8年	5月13日	曇
1695年	6月25日	元禄8年	5月14日	陰晴 辰の刻霞霧 午の刻より小風
1695年	6月26日	元禄8年	5月15日	晴 (今日九時国上寺不動尊御腰より下御出汗・明日御神楽)
1695年	6月27日	元禄8年	5月16日	陰晴 午の中刻より雷発す 夜に入り雨 終夜に及ぶ 下から続く 仕付之儀随分入精半夏(夏至から11日目のこと)前二不残仕付候様二可申渡旨申渡之)
1695年	6月28日	元禄8年	5月17日	曇 昨夜より雨 卯の中刻止む 巳の刻より雨 終日に及ぶ (郡奉行町奉行江大目付兩人差置申渡候、御家老中被仰付候、兼々申渡候通当年ハ節も早く有之候間当田地 上に続く)
1695年	6月29日	元禄8年	5月18日	晴 未の刻より曇 (金子4両2歩+青銅37貫700文=金12両1歩+銀8匁)
1695年	6月30日	元禄8年	5月19日	曇 辰の刻より雨 終日に及ぶ 夜に入り雨時々 終夜に及ぶ

1695年 7月1日 元禄8年 5月20日 晴 辰の刻より風吹く 時々雨
 1695年 7月2日 元禄8年 5月21日 曇 卯の中刻より雨時々 未の上刻に及び止む
 1695年 7月3日 元禄8年 5月22日 快晴 今朝霞 (東長町に斃家、大鱈組三目内沢村に30余男木に括られ絞殺される、今日九時国上寺(古懸)不動尊腰下より御出汗・御神楽仰付る)
 1695年 7月4日 元禄8年 5月23日 陰晴 午の刻より雨 雷発す 大雨 終日に及ぶ (初胡瓜の粕漬けを江戸に送っている、コンパスを用いて?円を書いている・中央に点がある)
 1695年 7月5日 元禄8年 5月24日 陰晴 小風
 1695年 7月6日 元禄8年 5月25日 晴 夜に入り雨 終夜に及ぶ
 1695年 7月7日 元禄8年 5月26日 陰晴 昨夜より雨 巳の下刻止む
 1695年 7月8日 元禄8年 5月27日 晴
 1695年 7月9日 元禄8年 5月28日 晴
 1695年 7月10日 元禄8年 5月29日 晴 (東長町に斃猫)
 1695年 7月11日 元禄8年 6月1日 晴 (御用番氏名のみ) (昨夜五過ぎ下鍛冶町に投げ火)
 1695年 7月12日 元禄8年 6月2日 快晴 小風 夜に入り雨 終夜に及ぶ (御中小姓小泉は古切支丹類族)
 1695年 7月13日 元禄8年 6月3日 陰晴
 1695年 7月14日 元禄8年 6月4日 晴 午の刻より小雨 夜に入り時々雨
 1695年 7月15日 元禄8年 6月5日 陰晴
 1695年 7月16日 元禄8年 6月6日 晴 (御家中の古切支丹類族は久保田数馬・毛内有助等14家)
 1695年 7月17日 元禄8年 6月7日 晴 亥の上刻より大雨 雷電数発 子の刻に及び止む (御郡中田植:最早大光寺・猿賀組4月23日から5月20日、最遅金木組5月3日から28日)
 1695年 7月18日 元禄8年 6月8日 陰晴 (大鱈御菜園畑より真瓜・越瓜・大角豆持参)
 1695年 7月19日 元禄8年 6月9日 陰晴 土用に入る (国上寺不動尊今日八時御腰より下御出汗・神楽申付る)
 1695年 7月20日 元禄8年 6月10日 晴 巳の刻より時々小雨 (大鱈御菜園より茄子7持参)
 1695年 7月21日 元禄8年 6月11日 陰晴 (不動尊(古懸)御託宣:御病難国家之御告・五穀半吉・御湯之表荒・於信心者可有加護ト云々)
 1695年 7月22日 元禄8年 6月12日 晴 午の上刻より時々雨 終日に及ぶ 夜に入り甚だしい雨 終夜に及ぶ
 1695年 7月23日 元禄8年 6月13日 時々風雨 終日に及ぶ (銭100目が4人扶持に相当する) 下から続く 御徒目付足軽目付申付遣候様二と被申則右之趣大目付江申渡之、七半過ぎ不動尊御出汗)
 1695年 7月24日 元禄8年 6月14日 晴 巳の刻より時々小雨 暫くして止む (打続天氣悪故作物生立悪敷就有之岩木嵩之湯大勢湯治者有之間不残湯本引弘尤湯守茂右の段急度可申付趣御家老中江申達候処 上に続く
 1695年 7月25日 元禄8年 6月15日 陰晴 午の下刻小雨 暫くして止む (尾崎組四つ屋村で無高百姓総死)
 1695年 7月26日 元禄8年 6月16日 曇 巳の刻より快晴
 1695年 7月27日 元禄8年 6月17日 晴 時々小風 未の刻より止む
 1695年 7月28日 元禄8年 6月18日 晴
 1695年 7月29日 元禄8年 6月19日 陰晴 (質屋の利息あり)
 1695年 7月30日 元禄8年 6月20日 陰晴 辰の刻より小雨 則時止む 戌の刻より雷電時々 子の刻より大雨 終夜に及ぶ
 1695年 7月31日 元禄8年 6月21日 陰晴 (14日にも不動尊御出汗)
 1695年 8月1日 元禄8年 6月22日 陰晴 (不動尊御託宣)
 1695年 8月2日 元禄8年 6月23日 陰晴 午の刻しゅう 暫くして止む 夜に入り雨 終夜に及ぶ(夜二入及雨終夜)
 1695年 8月3日 元禄8年 6月24日 晴 (御郡中稲虫付申二付虫除御札が必要との事、御家中の下女か24歳女総死)
 1695年 8月4日 元禄8年 6月25日 快晴
 1695年 8月5日 元禄8年 6月26日 晴 巳の中刻より雨 終日終夜に及ぶ
 1695年 8月6日 元禄8年 6月27日 陰晴 夜に入り雨 則時止む (今日八時分不動尊御腰より下御出汗、御家中の門前に犬の子斃)
 1695年 8月7日 元禄8年 6月28日 陰晴
 1695年 8月8日 元禄8年 6月29日 晴
 1695年 8月9日 元禄8年 6月30日 陰晴 卯の中刻より雨 巳の中刻止む 夜に入り大雨
 1695年 8月10日 元禄8年 7月1日 晴 卯の中刻小雨 (御用番氏名のみ)
 1695年 8月11日 元禄8年 7月2日 陰晴 巳の中刻より風
 1695年 8月12日 元禄8年 7月3日 快晴
 1695年 8月13日 元禄8年 7月4日 晴 風 申の下刻に及ぶ 夜に入り大雨 終夜に及ぶ (盆踊り衣装は美しくするな・隣町までに限る・盆中の木戸は13日夜から16日夜九時まで開ける)
 1695年 8月14日 元禄8年 7月5日 曇 雨 巳の刻止む
 1695年 8月15日 元禄8年 7月6日 陰晴
 1695年 8月16日 元禄8年 7月7日 快晴 未の刻より曇 申の中刻小雨 (申刻古懸不動と二童子に御出汗)
 1695年 8月17日 元禄8年 7月8日 陰晴 (検地の誓詞)
 1695年 8月18日 元禄8年 7月9日 陰晴
 1695年 8月19日 元禄8年 7月10日 晴 夜に入り雨 終夜に及ぶ (青森で男牢死) 下から続く 今日大鱈御菜園場より初米上中下2箱差上げる)
 1695年 8月20日 元禄8年 7月11日 曇 昨夜より雨 卯の下刻止む 辰の中刻より雨 未の上刻雷発す 雨終夜に及ぶ (6月晦日駒籠山で横内組宮崎村の男が熊に喰い殺される・朔日筒井村の男も山で行方不明、 上に続く
 1695年 8月21日 元禄8年 7月12日 曇 卯の中刻より雨 巳の刻止む 午の下刻より雨 終夜に及ぶ (昨11日の雨で石渡川・藤崎川・平川洪水・少なくとも石渡川には別条なし)
 1695年 8月22日 元禄8年 7月13日 陰晴 西小風 未の下刻止む 戌の下刻雨 亥の上刻止む (当作心元なく津出米を津留とする)
 1695年 8月23日 元禄8年 7月14日 晴 午の刻より西小風 未の下刻止む
 1695年 8月24日 元禄8年 7月15日 晴
 1695年 8月25日 元禄8年 7月16日 晴
 1695年 8月26日 元禄8年 7月17日 晴 午の刻より東小風 同下刻より風 終日に及ぶ
 1695年 8月27日 元禄8年 7月18日 晴 午の刻より小風
 1695年 8月28日 元禄8年 7月19日 陰晴 小風
 1695年 8月29日 元禄8年 7月20日 陰晴
 1695年 8月30日 元禄8年 7月21日 曇 午の上刻より陰晴 同下刻小雨 未の中刻大雨 同下刻止む (松前藩より津出米の無心6・7千石)
 1695年 8月31日 元禄8年 7月22日 曇 巳の上刻小雨 則止む 午の刻より小雨 終日終夜に及ぶ (去20日夜赤田組胡桃館村で火災1軒、駒越村に当年生まれらしい男子が死んでいる)

1695年	9月1日	元禄8年	7月23日	陰晴	辰の下刻雨時々 又夜雨
1695年	9月2日	元禄8年	7月24日	晴	小風 下から続く ほど・猿賀2/3・和徳2/3・虫付きもある、当月5日比(ころ)の東風並びに水霜に当たり申し候か稲赤葉に成又は出穂茂黒御座候処当月18・9日より天気相能……)
1695年	9月3日	元禄8年	7月25日	晴	(20-23日検分各組出穂:駒越2/3・高杉1/3-1/10・藤代1/5-1/10・広須1/3-1/5・広田1/5-1/10・飯詰1/3-1/10・柏木1/2-1/3・赤田1/2-1/3・藤崎1/2-1/3・田舎館1/3 上に続く
1695年	9月4日	元禄8年	7月26日	快晴	
1695年	9月5日	元禄8年	7月27日	快晴	(25日赤石組一森村で火災2軒)
1695年	9月6日	元禄8年	7月28日	晴	午の上刻より東風温風 終日終夜に及ぶ
1695年	9月7日	元禄8年	7月29日	晴	小風 戌の下刻地震 (御家中中屋敷前に一兩日前出生の死んだ女子あり)
1695年	9月8日	元禄8年	8月1日	陰晴	巳の上刻より快晴 残暑 (御用番氏名のみ)
1695年	9月9日	元禄8年	8月2日	晦	巳の上刻より風雨 午の刻風止み時々小雨 終日終夜に及ぶ (百沢寺が苔美差上げる)
1695年	9月10日	元禄8年	8月3日	曇	雨 終日に及ぶ 夜に入り時々雨
1695年	9月11日	元禄8年	8月4日	陰晴	
1695年	9月12日	元禄8年	8月5日	晦	巳の下刻小雨 則止む 小風 夜に入り時々雨 終夜に及ぶ
1695年	9月13日	元禄8年	8月6日	曇	
1695年	9月14日	元禄8年	8月7日	陰晴	
1695年	9月15日	元禄8年	8月8日	晴	
1695年	9月16日	元禄8年	8月9日	陰晴	
1695年	9月17日	元禄8年	8月10日	陰晴	
1695年	9月18日	元禄8年	8月11日	快晴	午の刻より陰晴 (深浦町漁師より初鱈3本差上げる)
1695年	9月19日	元禄8年	8月12日	曇	辰の下刻より雨時々 終夜に及ぶ 14日から続く 野内23匁8分・21匁4分・碓関22匁・19匁8分)
1695年	9月20日	元禄8年	8月13日	陰晴	巳の刻小雨 暫くして止む 夜に入り時々雨 (不作につき弘前在々共に新酒造御停止・普請止め・てんや(店屋特に飲食物屋か)と菓子商売御停止)
1695年	9月21日	元禄8年	8月14日	時々雨	(米高値:御蔵米1俵が20目・町米1俵が18匁) 下から続く 20目4分・小泊22匁9分・20目6分・今別25匁・22匁5分・蟹田24匁5分・22匁・青森23匁6分・21匁2分 12日に続く
1695年	9月22日	元禄8年	8月15日	陰晴	(弘前町中に困米改め役人15人を申付ける、申遣候各地の御蔵米・町米1俵の値段:鱈ヶ沢23匁・20目7分・深浦24匁・21匁6分・大間越24匁7分・22匁2分・十三22匁7分 上に続く
1695年	9月23日	元禄8年	8月16日	陰晴	巳の中刻小雨時々 終日に及ぶ (小売米なく石渡と東長町の御蔵より1人5升限りで払出す)
1695年	9月24日	元禄8年	8月17日	陰晴	(五所河原の升取男牢死)
1695年	9月25日	元禄8年	8月18日	快晴	(昨17日猿賀組浅瀬石村で火災3軒・1人負傷)
1695年	9月26日	元禄8年	8月19日	曇	
1695年	9月27日	元禄8年	8月20日	晴	
1695年	9月28日	元禄8年	8月21日	晴	初霜 23日から続く 蟹田26.5・24・野内25.8・23.4・碓関24・21.8、昨晚東長町に3斗女子捨子、昨夜の雨で洪水・石渡の橋落ち駒越仮橋引取る)
1695年	9月29日	元禄8年	8月22日	曇	午の刻より小風 未の上刻雷発す 雨降 夜に入り大雨 終夜に及ぶ (昨晚土手町に6斗女子捨子)
1695年	9月30日	元禄8年	8月23日	晦	午の刻より時々小雨 (米値段1俵御蔵米・町米:弘前? 25.6・23.2匁・鱈ヶ沢25・22.7・深浦26・23.6・大間越26.7・24.2・十三24.7・22.4・小泊24.9・22.6・今別27・24.5 21日に続く
1695年	10月1日	元禄8年	8月24日	陰晴	今朝岩木山頂上へ初雪積る 時々雨 (検見50組命ず)
1695年	10月2日	元禄8年	8月25日	晦	夜に入り雨 終夜に及ぶ
1695年	10月3日	元禄8年	8月26日	曇	大雨振り 申の刻止み時々雨
1695年	10月4日	元禄8年	8月27日	晦	巳の上刻雨 則止む
1695年	10月5日	元禄8年	8月28日	晴	小風 (初鯉1本(長さ1尺4寸5分)藤崎村より差上げる)
1695年	10月6日	元禄8年	8月29日	晦	巳の上刻小雨 則止む それより風 申の刻止む 夜に入り時々雨
1695年	10月7日	元禄8年	8月30日	陰晴	戌の上刻雨 同刻雷 則止む
1695年	10月8日	元禄8年	9月1日	晴	(御用番指名のみ)
1695年	10月9日	元禄8年	9月2日	曇	巳の中刻時々しゅう 午の下刻より陰晴 未の下刻雷電数発 雨 終夜に及ぶ
1695年	10月10日	元禄8年	9月3日	曇	昨夜より雨 巳の上刻止む
1695年	10月11日	元禄8年	9月4日	陰晴	岩木山半分まで雪積る 辰の刻雨 暫くして止む 小風 (昨申下刻御家中の下女給死)
1695年	10月12日	元禄8年	9月5日	晴	今朝霜 午の下刻より曇 (昨夜四つ時青森中米町より出火・200余軒焼失、昨4日朝六時青森浜町に2斗男子捨子)
1695年	10月13日	元禄8年	9月6日	晴	(青森大火の焼失住家204軒・米入れ土蔵1軒・酒味噌土蔵8軒)
1695年	10月14日	元禄8年	9月7日	陰晴	午の刻より小風
1695年	10月15日	元禄8年	9月8日	曇	霜 戌の刻より雨 終夜に及ぶ
1695年	10月16日	元禄8年	9月9日	曇	昨夜より雨 未の中刻止む 今朝四方山に雪見る
1695年	10月17日	元禄8年	9月10日	陰晴	午の刻より小風 酉の上刻より雨 雷数発 時々雨 終夜に及ぶ (御用人大湯が26日間の在廻りに出発)
1695年	10月18日	元禄8年	9月11日	陰晴	卯の刻雷発す 午の刻雨 則止む
1695年	10月19日	元禄8年	9月12日	快晴	今朝霜
1695年	10月20日	元禄8年	9月13日	快晴	子の刻地震 (青森大火に死者1人・座敷籠に入れられた乱気男、松前の御家中(代金持参で:翌日の記述)米2000石の無心に来る)
1695年	10月21日	元禄8年	9月14日	陰晴	辰の中刻しゅう 則止む 巳の下刻より小風
1695年	10月22日	元禄8年	9月15日	快晴	
1695年	10月23日	元禄8年	9月16日	曇	巳の下刻より時々雨 申の上刻に及び止む (坤(ひつじさる)矢倉の石垣から昨年出た梵字石を八幡林(最勝院の鬼門20間)に引っ越す)
1695年	10月24日	元禄8年	9月17日	陰晴	巳の刻より雨 終日に及ぶ 夜に入り風雨 終夜に及ぶ 亥の上刻地震
1695年	10月25日	元禄8年	9月18日	陰晴	卯の後刻雨 則止む 巳の中刻より時々雨 午の上刻止む 夜に入り雨
1695年	10月26日	元禄8年	9月19日	陰晴	辰の下刻より時々雨 終日終夜に及ぶ
1695年	10月27日	元禄8年	9月20日	曇	昨夜岩木へ雪振る 辰の上刻丸雪 則止む 午の上刻雷発す 雨丸雪時々 終日に及ぶ 夜に入り時々しゅう
1695年	10月28日	元禄8年	9月21日	晴	
1695年	10月29日	元禄8年	9月22日	快晴	今朝大霜
1695年	10月30日	元禄8年	9月23日	曇	今朝大霜 戌の上刻より雨 (不作につき俵約申し渡し)
1695年	10月31日	元禄8年	9月24日	曇	午の下刻より晴 夜中時々雨

1695年 11月1日 元禄8年 9月25日 曇 小風 (去22日浅虫村柏木立山に火が入る(40間×300間))
 1695年 11月2日 元禄8年 9月26日 晴 巳の上刻まで少し雪 (24日朝に青森湊の船破船7艘・死者1人)
 1695年 11月3日 元禄8年 9月27日 快晴 今朝霜 戌の上刻より時々雷電 雨 終夜に及ぶ
 1695年 11月4日 元禄8年 9月28日 曇 昨夜より雨 辰の下刻止む 巳の上刻より陰晴 (不作に付御家中宛に儉約を申し渡す)
 1695年 11月5日 元禄8年 9月29日 陰晴 午の刻より曇 戌の刻より時々小雨
 1695年 11月6日 元禄8年 9月30日 陰晴 (江戸への御荷物に三馬屋菓子)
 1695年 11月7日 元禄8年 10月1日 陰晴 辰の中刻より時々しゅう 申の下刻より小雨 終日終夜に及ぶ (御用番氏名のみ・これまで青森に在勤した者頭が出ていない)
 1695年 11月8日 元禄8年 10月2日 陰晴 小風 (当年不作に付き御留め山の一部を明ける)
 1695年 11月9日 元禄8年 10月3日 陰晴 巳の上刻より時々丸雪 (他国より雑穀が着いたら量によらず買い留めるよう各町奉行(鯉ヶ沢・深浦・今別などの町に置いた奉行)に申し渡す)
 1695年 11月10日 元禄8年 10月4日 晴 (御家中屋敷の外に乞食とは見えない40斗男倒死、稲の刈り株を掘り起こし土気を洗い根をたたきぞうすい二入れ被下候明者殊ノ外能者二候由……と藩が指導)
 1695年 11月11日 元禄8年 10月5日 曇 今朝霜 辰の中刻より雨 巳の中刻雷発す 雨 終日終夜に及ぶ (初鱈1本青森より上がる)
 1695年 11月12日 元禄8年 10月6日 曇 昨夜より雨 巳の刻に及ぶ 午の刻より時々雨 下から続く 随行者の減少・代官の紙代等の減少・普請関連の小人等40人を省く・江戸詰の膳料の二重払い(留守宅にも)廃止など)
 1695年 11月13日 元禄8年 10月7日 曇 卯の後刻より雨 戌の刻に及ぶ (不作対策・切米は扶持米の月給制に・来月分より2人扶持以上は半分かつ残りの9割に・出張者の賄を1日5合から3合に・役扶持を削る・ 上に続く)
 1695年 11月14日 元禄8年 10月8日 陰晴 時々雨 未の中刻止む 戌の刻雨時々 終日終夜に及ぶ (病者・無勤者には暇を出すので今日中に名簿を提出せよとの指示)
 1695年 11月15日 元禄8年 10月9日 陰晴 昨夜より雨 下から続く を置き粥を渡す、青森・鯉ヶ沢・十三にも非人小屋をかけるよう命ずる)
 1695年 11月16日 元禄8年 10月10日 晴 巳の後刻雨 暫くして止む 酉の下刻雨 亥の刻より大雨 終夜に及ぶ (武田源左衛門が江戸に発足、弘前町端々二倒者多有之ニ付き東長町・南横町に小屋(5間×2間) 上に続く)
 1695年 11月17日 元禄8年 10月11日 陰晴 卯の中刻より時々雨 終日に及ぶ 夜に入り時々雨
 1695年 11月18日 元禄8年 10月12日 曇 巳の中刻しゅう 則止む
 1695年 11月19日 元禄8年 10月13日 晴 少し雪 夜に入り地初めて凍る
 1695年 11月20日 元禄8年 10月14日 晴 夜に入り雨 (不作につき石切・水主・鳶の者7人に暇)
 1695年 11月21日 元禄8年 10月15日 陰晴 昨夜より雨 午の中刻止む (二番鱈青森より上がる)
 1695年 11月22日 元禄8年 10月16日 晴 夜に入り雨
 1695年 11月23日 元禄8年 10月17日 曇 昨夜より雨 午の中刻止む
 1695年 11月24日 元禄8年 10月18日 曇 寅の刻より雪 巳の刻風 午の刻に及ぶ 夜に入り雪
 1695年 11月25日 元禄8年 10月19日 曇 昨夜より雪 終日に及ぶ 夜に入り雪 (16日青森米町に2斗男子捨子)
 1695年 11月26日 元禄8年 10月20日 晴 (6日江戸の野呂某とその子に暇)
 1695年 11月27日 元禄8年 10月21日 晴 戌の上刻より時々雨 終夜に及ぶ (御旗の者全員・馬の下乗り全員・御家中7人等々に暇、鷹・犬全部放す)
 1695年 11月28日 元禄8年 10月22日 曇 昨夜より雨 終日に及ぶ
 1695年 11月29日 元禄8年 10月23日 曇 雨時々 終日に及ぶ (乳井村で駒木村の男が狼に喰殺される)
 1695年 11月30日 元禄8年 10月24日 陰晴 午の上刻より雨
 1695年 12月1日 元禄8年 10月25日 晴 今朝大霜 夜に入り小雪
 1695年 12月2日 元禄8年 10月26日 陰晴 巳の刻より曇
 1695年 12月3日 元禄8年 10月27日 晴
 1695年 12月4日 元禄8年 10月28日 陰晴 大霜 卯の中刻より時々雨 巳の下刻に及ぶ 酉の下刻より時々雨 夜更けに及ぶ
 1695年 12月5日 元禄8年 10月29日 快晴 (昨夜常盤村で火事)
 1695年 12月6日 元禄8年 11月1日 晴 小風 (御用番氏名のみ) (大鱈組と横内組に狼打ち出す、先月27日青森米町に5斗捨子・濱町に4斗男子捨子)
 1695年 12月7日 元禄8年 11月2日 快晴
 1695年 12月8日 元禄8年 11月3日 陰晴 辰の後刻より時々雨 午の中刻雷発す 則止む 未の上刻風雨 終日に及ぶ 夜に入り雪 (幕府より三万俵の救い米の通知)
 1695年 12月9日 元禄8年 11月4日 曇 昨夜より雪 午の中刻止み晴 (青森安方町で夫婦縊死)
 1695年 12月10日 元禄8年 11月5日 晴
 1695年 12月11日 元禄8年 11月6日 陰晴 卯の上刻小雨 則止む 辰の中刻より雨時々 夜に入り雪
 1695年 12月12日 元禄8年 11月7日 陰晴 昨夜より雪 午の上刻しゅう 暫くして止む 夜に入り風雪 (「しゅう」の文字は雨冠の下に四さらにその下に人が3つ並ぶ:こさめ、又、ながあめ)
 1695年 12月13日 元禄8年 11月8日 曇 昨夜より風雪 終日に及ぶ
 1695年 12月14日 元禄8年 11月9日 陰晴 時々小雪
 1695年 12月15日 元禄8年 11月10日 晴
 1695年 12月16日 元禄8年 11月11日 陰晴 午の刻より雨 (倒死者の取り扱いを示している)
 1695年 12月17日 元禄8年 11月12日 陰晴 辰の下刻雪 午の刻に及ぶ (在々並びに当町端々二而ひたと倒死者者有之候儀……、倒死者ありと書いてあるのに倒死の記事なし)
 1695年 12月18日 元禄8年 11月13日 快晴 (大鱈組に出した狼打ちを浦町組に回す、一昨11日広田組川山村で火災1軒・女子1人焼死)
 1695年 12月19日 元禄8年 11月14日 晴 辰の刻より雨 申の刻雨雪 (先月?13日御家中屋敷前に3・4斗女子捨子・今朝死亡)
 1695年 12月20日 元禄8年 11月15日 陰晴 夜に入り雪
 1695年 12月21日 元禄8年 11月16日 曇 時々吹雪
 1695年 12月22日 元禄8年 11月17日 曇 時々吹雪
 1695年 12月23日 元禄8年 11月18日 晴 時々雪
 1695年 12月24日 元禄8年 11月19日 快晴
 1695年 12月25日 元禄8年 11月20日 快晴
 1695年 12月26日 元禄8年 11月21日 快晴 (20日夜広須組菖蒲川村で靉(あし)屋(5間×13間)と馬5疋等焼失・油川組細越村で火災1軒と馬11疋焼斃)
 1695年 12月27日 元禄8年 11月22日 晴 (御家中屋敷前に猫糞)
 1695年 12月28日 元禄8年 11月23日 晴 卯の上刻地震
 1695年 12月29日 元禄8年 11月24日 陰晴 (武田源左衛門が江戸より帰る、10月13日から11月4日までに江戸で24人に暇)
 1695年 12月30日 元禄8年 11月25日 陰晴 夜に入り風雪 それより雨 (11月7日江戸で7人に暇)
 1695年 12月31日 元禄8年 11月26日 晴 昨夜より雨 巳の下刻に及ぶ 夜に入り風雪 (当年ハ稲能干不申……糶のまま納入の検査に人を派遣、24日夜横内組宮田村で火災3軒馬1疋・同日飯詰組一坪村で火災)

1696年	1月1日	元禄8年	11月27日	陰晴	昨夜より風雪 夜に入り吹雪
1696年	1月2日	元禄8年	11月28日	陰晴	昨夜より時々雪 (知行・俵子・金銀の切米・扶持米を全部半分にする)
1696年	1月3日	元禄8年	11月29日	陰晴	時々小雪
1696年	1月4日	元禄8年	11月30日	陰晴	時々小雪 夜に入り雨
1696年	1月5日	元禄8年	12月1日	曇	小寒戌の刻 巳の刻より陰晴 夜半より雪 終夜に及ぶ (御用番氏名のみ)
1696年	1月6日	元禄8年	12月2日	曇	風 終日終夜に及ぶ
1696年	1月7日	元禄8年	12月3日	陰晴	小雪 巳の中刻霧(せい:晴かな)
1696年	1月8日	元禄8年	12月4日	晴	(2日夜金木組金木村で火災3軒、籠屋構之内で4人刎首(追放から立ち戻った者・鍛冶女房を切り殺した者・御用木を隠し売った者)、非人4人を大館・久保田に帰す、餓別? 300・200文)
1696年	1月9日	元禄8年	12月5日	陰晴	巳の刻より時々雨 終日に及ぶ 夜に入り風雪 (御救米の御金を木村木工之助が江戸より持参、明日到着)
1696年	1月10日	元禄8年	12月6日	曇	昨夜より雪 辰の中刻止む 巳の刻より晴 (御金5棹到着、職人・医者など213人に暇、盗人5人・不義密通1人・殺人1人・詐欺1人の計8人死罪)
1696年	1月11日	元禄8年	12月7日	陰晴	午の刻より雪 (昨夜浦町組高田村で火災1軒・馬1疋焼失)
1696年	1月12日	元禄8年	12月8日	晴	夜に入り雪
1696年	1月13日	元禄8年	12月9日	曇	卯の中刻より曇 午の刻より陰晴 時々風雪 未の刻より夜に及ぶ (江戸で12人に暇)
1696年	1月14日	元禄8年	12月10日	陰晴	昨夜より風雪 卯の中刻に及び時々雪 (今朝男牢死、6人に暇、当年は殊の外在々に火事あり)
1696年	1月15日	元禄8年	12月11日	陰晴	時々小雪
1696年	1月16日	元禄8年	12月12日	卯の下刻より時々雪	終夜に及ぶ (88人に暇)
1696年	1月17日	元禄8年	12月13日	曇	時々雪 (2日金木村の火事は盗人の付け火・3人捕まる、45人に暇)
1696年	1月18日	元禄8年	12月14日	曇	時々雪 (男牢死)
1696年	1月19日	元禄8年	12月15日	曇	卯の中刻より大雪 午の刻より雨 終日終夜に及ぶ
1696年	1月20日	元禄8年	12月16日	曇	卯の上刻より風雪 終夜に及ぶ 大雪 大寒子の刻
1696年	1月21日	元禄8年	12月17日	曇	吹雪 終日に及ぶ
1696年	1月22日	元禄8年	12月18日	陰晴	時々小雪
1696年	1月23日	元禄8年	12月19日	曇	卯の刻より雪降 午の中刻より吹雪
1696年	1月24日	元禄8年	12月20日	陰晴	時々小雪 (金木村の火付け男牢死・獄門、犬引き等7人に暇)
1696年	1月25日	元禄8年	12月21日	曇	時々雪 (女鹿沢村の伝兵衛が古靱100石差し上げる)
1696年	1月26日	元禄8年	12月22日	陰晴	時々雪
1696年	1月27日	元禄8年	12月23日	陰晴	時々雪 (御留山で柏木伐取り越山が度々あり、まっとうに生国に戻る者もが今日だけで11人・餓別?として久保田行に300比内行きに200文宛渡す)
1696年	1月28日	元禄8年	12月24日	曇	時々小雪 (郡奉行見聞:外濱・上磯筋渴者多く最早1万人ほど・下磯2,600人余)
1696年	1月29日	元禄8年	12月25日	快晴	
1696年	1月30日	元禄8年	12月26日	曇	寅の下刻小雨暫く 雪時々 終日に及ぶ (今日も生国秋田領に10人出る・久保田へは300文比内へは200文宛宛らせる、左官行方不明)
1696年	1月31日	元禄8年	12月27日	陰晴	午の中刻曇 大雪 終日終夜に及ぶ (一昨25日夜横内組横内村で火災1軒)
1696年	2月1日	元禄8年	12月28日	曇	時々小雪
1696年	2月2日	元禄8年	12月29日	陰晴	午の上刻小雪 (今26日浦町組高田村で火災3軒馬6疋焼死)
1696年	2月3日	元禄9年	正月1日	快晴	酉の下刻雷発す 夜に入り小雪 (御用番氏名のみ)
1696年	2月4日	元禄9年	正月2日	曇	昨夜より雪 終日に及ぶ
1696年	2月5日	元禄9年	正月3日	曇	時々風雪 余寒甚だしい (吉例の如く御金200両差登す) 下から続く 馬3疋焼失・29日寅の中刻浦町組高田村で火災1軒・2日広須組龜田村で火災1軒)
1696年	2月6日	元禄9年	正月4日	陰晴	辰の刻より雪 亥の下刻地震 子の刻風雪 (3日男2人牢死・うち1人獄門、増館組に30余男倒死、旧臘(きゅうろう:昨年12月)28日夜子刻赤石組関村で庄屋家火災2軒 上に続く)
1696年	2月7日	元禄9年	正月5日	陰晴	時々小雪 (東長町に50斗男倒死)
1696年	2月8日	元禄9年	正月6日	快晴	(八幡付近に40斗女倒死)
1696年	2月9日	元禄9年	正月7日	陰晴	時々雪 戌の刻風雪 終夜に及ぶ (一昨5日亥下刻駒越組葛原村に火災2人死亡、御家中屋敷前に50余男・五十石町材木場に2人・塩分町に34・5男・大円寺境内にそれぞれ死人)
1696年	2月10日	元禄9年	正月8日	曇	昨夜より大雪 終日に及ぶ 未の刻雷発す (米高値:(銀1匁が)6文の節1俵に付き35・36匁・5文に変わったら43匁4分、領内の渴者66,210人・非人小屋収容1,272人)
1696年	2月11日	元禄9年	正月9日	曇	巳の刻雪時々 (19人(非人か)を生国に返す)
1696年	2月12日	元禄9年	正月10日	快晴	(8日堀越組取上村で40余男倒死、盗人3組6人召捕り・入籠) 下から続く 2斗男子・上長町に3斗女子捨子・2人とも町内に預けおく)
1696年	2月13日	元禄9年	正月11日	陰晴	時々小雪 巳の下刻止み晴 (非人30人を生国へ返す、親方町に34・5男・増館組細三枚村で50斗男倒死、8日浦町組高田村で火災1軒牛1疋焼斃、盗人2人入籠、東長町に 上に続く)
1696年	2月14日	元禄9年	正月12日	曇	(五十石町材木場に23・4男・昨日和徳組撫牛子村に60斗男倒死)
1696年	2月15日	元禄9年	正月13日	陰晴	卯の下刻より時々小雪 風 酉の刻風雪 終夜に及ぶ (東長町に4斗男子捨子、御家中屋敷前に16・7男子倒死・53・4男倒死、盗人1人入籠)
1696年	2月16日	元禄9年	正月14日	曇	昨夜より風雪 巳の刻止み晴 戌の刻雪 (和徳組堅田村に17・8男・猿賀組追子野木村に12・3女子倒死)
1696年	2月17日	元禄9年	正月15日	晴	昨夜時々小雪 辰の刻止む 夜に入り雪 (非人21人を本国に帰す)
1696年	2月18日	元禄9年	正月16日	晴	
1696年	2月19日	元禄9年	正月17日	曇	昨夜より雪 終日終夜に及ぶ (盗人1人籠舎、御家中家来縊死、旧ろう27日時鐘撞一家逐電)
1696年	2月20日	元禄9年	正月18日	晴	巳の刻曇 雪に及び終日(晴巳刻曇及雪終日) (15日に大館に帰る途中堀越村で男倒死、17日暮常盤組葛野村に50余男凍死)
1696年	2月21日	元禄9年	正月19日	陰晴	昨夜より雪 巳の刻止み晴 (11日入籠の盗人2人が籠死・体力を失った者が生きるために盗みをしたものか、土手町に倒者2人)
1696年	2月22日	元禄9年	正月20日	晴	
1696年	2月23日	元禄9年	正月21日	曇	卯の上刻雪 午の上刻大風雪 (東長町に50斗女倒死、盗人籠死)
1696年	2月24日	元禄9年	正月22日	陰晴	辰の上刻雪 未の刻止む (籠舎に入ると割りにすぐ死ぬ)
1696年	2月25日	元禄9年	正月23日	曇	巳の後刻より時々小雪 (盗人入籠)
1696年	2月26日	元禄9年	正月24日	曇	午の下刻より風雪 (盗賊改め役新設3人、19日竹と申す者籠死、12日飯詰組金山村で女房倒死、大鱈組八幡館村に22・3男倒死、21日夜新田上相野で3人打殺し家を焼く・2人入籠)
1696年	2月27日	元禄9年	正月25日	陰晴	午の刻少し雪 又夜に入り雪 (23日晚大円寺辻に小人倒死、生国帰し3人) 下から続く 48・9男倒・(後)死)
1696年	2月28日	元禄9年	正月26日	曇	雪終夜に及ぶ (深浦で御救米請取二岩崎村に行く男凍死、24日赤田組柳田村で火災1軒馬1疋焼斃、今朝男籠死、長町に40斗男のこも入り死体、御家中屋敷前に 上に続く)
1696年	2月29日	元禄9年	正月27日	陰晴	昨夜より雪 巳の下刻に及び止む 午の刻より晴 (昨年6月から12月の町外(弘前以外)における病死者数:男1,816人・女1,022人、25日大鱈組八幡館村に30斗男倒死)

1696年	3月1日	元禄9年	正月28日	快晴	(25日夜浅瀬石村で火災1軒、11日浪岡組五本松村で御家中中間吹雪凍死、今別領長川橋の下に5斗男子相果)
1696年	3月2日	元禄9年	正月29日	陰晴	午の中刻雪 終日夜に及ぶ
1696年	3月3日	元禄9年	正月30日	陰晴	昨夜より雪 未の刻止み晴
1696年	3月4日	元禄9年	2月1日	陰晴	巳の下刻小雪 則止む 夜に入り雲 (御用番氏名のみ) (大光寺組中佐渡村蛙沢川に40斗男・先月29日鰻ヶ沢町に40斗男倒死、親方町に7歳斗女子捨子、今日男籠死)
1696年	3月5日	元禄9年	2月2日	曇	卯の刻小雪 辰の刻止む (赤石組赤石村の濱に9歳男子捨子、昨日一浦町組会子沢村で火災7軒・馬5疋牛1疋焼失、棟方長九郎(馬廻組百石)飯米なし)
1696年	3月6日	元禄9年	2月3日	晴	(高杉組高杉村の家の小見世に22・3男・新町に44・5男・石渡に50斗男倒死、親方町に3斗女子・東長町に3斗女子それぞれ倒・(後)死、盗人宿男籠死)
1696年	3月7日	元禄9年	2月4日	陰晴	(今朔日赤石組柳田村で火災1軒、代官町に40斗男・東大工町に40斗男倒死、赤石組濱の捨子(2日記述か)昨朝病死)
1696年	3月8日	元禄9年	2月5日	晴	(棟方長九郎の家には死人たくさん、今日男籠死、当月2日夜増館組赤茶村に20人余の盗人団・粉11俵など盗む・頭立った者は4人で羽織を着用し刀を指している)
1696年	3月9日	元禄9年	2月6日	曇	辰の刻より小雪 同刻晴 午の刻小雪 則止む 夜に入り小雪 (御家中の家来が町人を殺し木綿を盗み取る、米値段4斗5升入り1俵につき40目6分5厘宛、昨年 下の欄外(*)に続く)
1696年	3月10日	元禄9年	2月7日	曇	午の刻小雪 同中刻止む 未の刻より時々雪 酉の刻に及ぶ (土手町に30斗男・紺屋町に同年位男倒死、高杉組高杉村に5歳斗女子捨子・病死)
1696年	3月11日	元禄9年	2月8日	晴	午の下刻吹雪 則止む 下から続く 12日に死罪(内1人籠死)、他に籠死2人、8日夜御用粗盗人3人中欠落・落命・籠舎各1人、元寺町に30余男・紺屋町に40斗男倒死)
1696年	3月12日	元禄9年	2月9日	陰晴	未の刻小雪 暫くして止む (町在々の渴者12万754人(救米米雑穀6643石5斗余)、弘前・青森・鰻ヶ沢の非人1176人(144石3斗余)、昨年六枚橋村で材木を隠し売った3人 上に続く)
1696年	3月13日	元禄9年	2月10日	曇	卯の中刻丸雪 巳の中刻止む 申の中刻小雪 則止む (増館組十川村で7斗男子・赤石組岩崎村に30斗男・正月29日岩崎村に57・8男・赤石村に8・9歳男子・ 下の欄外(**)に続く)
1696年	3月14日	元禄9年	2月11日	快晴	(亀甲町に50斗男倒死、1日から10日までの非人病死者数:男72・女41人)
1696年	3月15日	元禄9年	2月12日	晴	(籠屋之前で斬罪3人(盗人1・礼銭受取った御蔵升取2)全員獄門、土手町に43斗男倒・昨日死)
1696年	3月16日	元禄9年	2月13日	陰晴	時々小風 未の刻より時々小雨 申の中刻止む (男牢死、下鍛冶町に30斗男・油川組新城村に50斗男・大円寺への通りに10斗男子倒死)
1696年	3月17日	元禄9年	2月14日	快晴	(5日夜常盤組柏木塚村に30人程の盗人・米・粉・大豆・小豆共4俵など盗む、代官町と和徳町の境に30斗男倒死、新寺町より大円寺江の通道に死に捨子)
1696年	3月18日	元禄9年	2月15日	晴	午の中刻より曇 申の中刻より小雪時々 終夜に及ぶ
1696年	3月19日	元禄9年	2月16日	曇	辰の中刻小雪 巳の刻止む (油川組細越村に火災1軒と馬屋1軒焼失、本寺町に40斗男倒死、12日常盤組中島村で外馬屋と内馬屋・13日高杉組高杉村で火災1軒1人焼死)
1696年	3月20日	元禄9年	2月17日	曇	(東長町に54・5女倒死)
1696年	3月21日	元禄9年	2月18日	陰晴	(御家中屋敷前に52・3女・御徒町末に女・石渡非人小屋近所の川原に3人倒死、盗人牢死)
1696年	3月22日	元禄9年	2月19日	曇	寅の刻より小雨 卯の刻小風時々雨 辰の下刻風止む 則刻大雨 午の中刻止む 未の刻より晴 (青森下町・強巻村の男盗人籠死、午の中刻より岩木川洪水・駒越渡の仮橋引取る)
1696年	3月23日	元禄9年	2月20日	快晴	卯の刻霜 夜に入り雨 (高杉組八幡村に20斗男倒死)
1696年	3月24日	元禄9年	2月21日	曇	昨夜雨 巳の下刻止む 亥の后刻しゅう 則止む (19日油川組牛館村で火災2軒、西大工町名主が大工・木挽きの役銀遣込み入籠、男盗人牢死、御家中屋敷裏に50斗男倒死)
1696年	3月25日	元禄9年	2月22日	曇	巳の后刻より時々雨 午の下刻止む (17日藤代組脇本村で火災1軒、猫右衛門町に40斗女と14・5女子倒れる・女子死亡) 下から続く (和徳新町に30斗男倒死)
1696年	3月26日	元禄9年	2月23日	晴	巳の下刻より小風 夜に入り小雪時々風 (22日浪岡組徳才子村で火災2軒・焼死2人、強巻村の盗人男牢死、堀越組門外新田村に30斗男・大鱈組八幡館村に50斗男 上に続く)
1696年	3月27日	元禄9年	2月24日	晴	小風
1696年	3月28日	元禄9年	2月25日	陰晴	(和徳新町に40斗と24・5女・駒越川渡に30斗男倒死、籠死1人)
1696年	3月29日	元禄9年	2月26日	快晴	卯の中刻霞霧 辰の中刻晴 (25日青森堤町で火災6軒、24日常盤組楠村に40斗女と6歳女子倒れ・40女死亡)
1696年	3月30日	元禄9年	2月27日	快晴	卯の刻霜 申の刻より曇 夜に入り雨風 (小栗山村庄庄より福寿草花咲き候を差上げる、23日夜金木組野崎村で火災1軒)
1696年	3月31日	元禄9年	2月28日	曇	昨夜より風雨 終日夜に及ぶ (26日亥の下刻赤石組広戸村で火災16軒・牛1疋馬4疋焼失、上長町に26・7男・土手町に13・4男子倒・死)
1696年	4月1日	元禄9年	2月29日	曇	申の刻より雨 終夜に及ぶ (於在々疫病流行候由・町医者に察治を申し付ける)
1696年	4月2日	元禄9年	3月1日	卯の中刻雪雨 終夜に及ぶ (御用番氏名のみ) (御中小姓2人にお菓御用を命ず・中村春庵? 承合、御家中屋敷前に者・親方町に14・5男・新寺町に40斗女倒死)	
1696年	4月3日	元禄9年	3月2日	陰晴	昨夜より雨雪 巳の下刻より風終日 夜に及ぶ (北横町の男盗人籠死、非人3人本国へ返す、和徳町の明家に44・5女倒死)
1696年	4月4日	元禄9年	3月3日	曇	卯の中刻より時々雪雨 終日
1696年	4月5日	元禄9年	3月4日	晴	(先月29日子下刻赤石組瀧瀬村に火災1軒・5人馬1疋焼死、昨夜棟方長九郎宅に盗人入る)
1696年	4月6日	元禄9年	3月5日	快晴	(常盤組葛野村に37・8女倒死)
1696年	4月7日	元禄9年	3月6日	晴	未の刻より曇 雨に及び終夜 (今4日亥下刻赤石組石動村で火災1軒・牛馬2疋焼死、青森で男盗人2人・茂森町の盗人籠死、増館組吉野田村で46・7男倒死)
1696年	4月8日	元禄9年	3月7日	曇	昨夜よりの雨 巳の刻止む (頃日博打あり、岩木川洪水・石渡仮橋10間ほど落ちる・駒越渡も船の往行成りかねる、百石町の川洪水・東長町の橋破損、猫右衛門町に女倒死)
1696年	4月9日	元禄9年	3月8日	晴	小風
1696年	4月10日	元禄9年	3月9日	快晴	時々小風 (子供衣類を剥ぎ取る女追いはぎを手配)
1696年	4月11日	元禄9年	3月10日	快晴	(常盤組葛野村に20斗男倒死)
1696年	4月12日	元禄9年	3月11日	快晴	(手配の追剥女捕まる・入籠、男籠死、8日酉の中刻後湯組中沢村で火災1軒、9日盗人男籠死・籠内で死者が多い)
1696年	4月13日	元禄9年	3月12日	晴	時々風 未の刻止む 申の下刻小雨 則止む (死罪・獄門2人(公金横領・礼銭受取った御蔵升取)、8日子の刻金木組小田川村で火災1軒1人焼死、9日午下刻 下の欄外(***)に続く)
1696年	4月14日	元禄9年	3月13日	陰晴	(下桶屋町の男盗人籠死)
1696年	4月15日	元禄9年	3月14日	快晴	(11日晩後湯組奥内村で火災3軒・馬2疋焼失、昨13日戌の下刻鰻ヶ沢町で火災45軒・土倉6軒・米雑穀とも31俵・神社等焼失・火元は入寺)
1696年	4月16日	元禄9年	3月15日	曇	卯の中刻より風 午の后刻小雨 則止む (12日夜後湯組蓬田村で火災1軒、14日亥の刻同組六枚橋村で火災3軒・雑駄2疋焼死、東長町に14・5男倒死)
1696年	4月17日	元禄9年	3月16日	曇	昨日より風 巳の中刻止む (14日後湯組中小国村で火災1軒、東大工町に40斗男倒死) 下から続く 大光寺組新屋町領に30斗女倒死)
1696年	4月18日	元禄9年	3月17日	陰晴	寅の下刻小雨 則止む (14日夜金木組嘉瀬村で火災10軒、15日壺田町で小屋焼失、16日亥刻駒越組兼平村で火災2軒、大豆盗人男籠死、長勝寺門前に40斗男倒死、)
1696年	4月19日	元禄9年	3月18日	陰晴	小風 申の下刻小雨 (16日子の刻田舎館組馬場尻村で火災3軒、同日巳の中刻赤田組板屋野木村で火災1軒、今日男籠死)
1696年	4月20日	元禄9年	3月19日	快晴	小風 (長勝寺前で14・5男子倒死)
1696年	4月21日	元禄9年	3月20日	陰晴	巳の后刻小雨 則止む 終日小風 (18日亥の中刻増館組水鶏館村で火災1軒、男籠死)
1696年	4月22日	元禄9年	3月21日	曇	時々小雨
1696年	4月23日	元禄9年	3月22日	曇	時々小雨 風
1696年	4月24日	元禄9年	3月23日	時々小雨	風 (昨22日戌の下刻駒越組国吉村で火災3軒、20日後湯組広瀬村濱に破船1艘、20日大鱈組苦木村百姓乱気・男子切り殺し自害)
1696年	4月25日	元禄9年	3月24日	曇	辰の下刻より時々小雨 終日に及ぶ 夜時々小雨 (東長町に15・6男倒死)
1696年	4月26日	元禄9年	3月25日	曇	巳の刻より時々小雨 終日夜に及ぶ (辰の刻より岩木川洪水)
1696年	4月27日	元禄9年	3月26日	陰晴	巳の下刻より小風 (常盤組楠村に33・4男倒死)
1696年	4月28日	元禄9年	3月27日	快晴	巳の中刻小雨 則止む 午の下刻小雨 則止む (横内組矢田前村に21・2男倒死)
1696年	4月29日	元禄9年	3月28日	陰晴	霜 午の后刻雨 則止む 未の刻雷発す 同刻より雨雪 則止む (青森上浜町に20斗男倒死、青森で男2人籠死)
1696年	4月30日	元禄9年	3月29日	快晴	午の刻より時々風吹く (籠死1人、6斗女捨子と和徳組富田村で養育されたが死亡、浪岡組で女3人倒死)
				(*)	10月より今年正月までの町内倒死者数:男42・女7人・病死者数:男284・女95人) (**) 新町坂に8歳女子・紺屋町枳形の外に40斗男倒死、新町坂に40斗女と10歳女子が倒れ居る)
				(***)	油川組田沢村で火災2軒・馬4疋種初60俵焼失、10日子の刻金木組中柏木村で火災1軒、11日丑の刻藤代組大川村で火災1軒、昨11日女親が大円寺溜池に7斗女子を投げ殺す)

1696年	5月1日	元禄9年	4月1日	曇	巳の刻より雨時々 終日終夜に及ぶ(御用番氏名のみ)(先月27日午の下刻油川組岡町村で火災1軒、先月29日申の下刻浪岡組杉沢村で火災7軒馬屋1軒焼失)
1696年	5月2日	元禄9年	4月2日	陰晴	昨夜より雨 巳の中刻に及ぶ 夜に入り雨(先月28日金木組深郷田村で火災3軒、1日亥刻浪岡組杉沢村で火災1軒、碓間町に60斗男倒死)
1696年	5月3日	元禄9年	4月3日	曇	寅の刻より風雨 同下刻より大風時々雨 辰の刻少し止む 午の刻雨止む(大風で登城) 下から続く 喰殺される・鉄砲打ちを出す、先月29日青森で男籠死)
1696年	5月4日	元禄9年	4月4日	晴	小風(昨朝の大風で城内所々破損・町中潰家12軒、青森・鱒ヶ沢にも破損等、2日夜増館組目鹿沢村で火災1軒、親方町に24・5女倒死、先月26・29日駒籠山で2人が熊に 上に続く)
1696年	5月5日	元禄9年	4月5日	晴	午の刻より小風(2日子の刻油川組新城村で火災2軒、2日夜深浦付近で破船5艘、新町河原に40斗女と6・7女倒死、東長町に40斗女倒死、先月27日野内領赤平で強盗・入籠)
1696年	5月6日	元禄9年	4月6日	晴	霜(昨子下刻東長町に付け火・打消す、5日亥刻浪岡組杉沢村で火災2軒)
1696年	5月7日	元禄9年	4月7日	晴	(新銅屋町に預けた6斗女捨て子が今朝病死)
1696年	5月8日	元禄9年	4月8日	快晴	巳の中刻より小風(6日子の刻広田組二本柳村で火災1軒、昨7日巳の刻浦町組牛館村で火災2軒)
1696年	5月9日	元禄9年	4月9日	快晴	小風 午の下刻止む(3日朝金木組喜良市村(2軒)・5日亥刻同組川倉村(5軒)・5日子刻同組嘉瀬村(2軒)・6日戌刻後湯組阿弥陀川村(2軒)で火災、和徳組湯口村などに山火事)
1696年	5月10日	元禄9年	4月10日	晴	巳の中刻より小風 午の刻より曇 未の下刻より雨 終夜に及ぶ(9日猿賀組袋村で火災2軒、後湯組瀨辺地山に山火事、御家中屋敷前に4斗男子捨子・死亡)
1696年	5月11日	元禄9年	4月11日	曇	昨夜より雨 終日に及ぶ(9日と和徳組悪戸村の野火の火付けは御家中の家来3人と判明・籠舎)
1696年	5月12日	元禄9年	4月12日	曇	辰の刻雨 則止む 巳の中刻より陰晴(元御家中(1)と御家中の家来(2)を打首と磔(2月6日記述の犯人)、9日赤石組岩崎村に寄せ鯨、10日高杉組十面沢に山火(250間×200間))
1696年	5月13日	元禄9年	4月13日	晴	霜(棟方長九郎をあほう払い、各組与力71人に暇、12日高杉組櫛木村で火災1軒、高杉組十面沢に40斗女倒死) 17日から続く、棟方長九郎の母・娘・男子を非人小屋に入れる)
1696年	5月14日	元禄9年	4月14日	快晴	巳の刻より小風(御救米当月晦日で終了、親盗人籠死、12日子刻油川組細越村(3軒)・今日午刻百沢村(23軒と米8俵)で火災、御家中屋敷際に10斗と5斗男子あり・非人小屋に入れる)
1696年	5月15日	元禄9年	4月15日	快晴	(14日申刻広田組鶴ヶ岡村で火災3軒、14日午刻高杉組鼻和村で火災1軒、3日赤石組松神湊に破船、柏木組大俵村に34・5女倒死)
1696年	5月16日	元禄9年	4月16日	陰晴	(14日午刻和徳組百田村(1軒)・15日未刻藤代組中崎村(1軒)・15日亥刻猿賀組猿賀村(1軒)・15日子刻同組袋村(1軒)に火災、14日駒籠山で青物取が熊に喰殺される)
1696年	5月17日	元禄9年	4月17日	曇	卯の下刻より雨時々 巳の刻より小風 申酉の刻雷発す 夜に入り時々雨(13日沢辺で破船1艘、16日卯刻油川組夏井田村に火災2軒・種籾1石7斗余焼失、与力4人に暇 13日に続く)
1696年	5月18日	元禄9年	4月18日	曇	昨夜より雨時々 終日に及ぶ(東長町に30斗女・17・8女倒死)
1696年	5月19日	元禄9年	4月19日	曇	卯の上刻より雨 同下刻雷発す 辰の中刻大雨 巳の刻に及ぶ 午の下刻より晴(荒町川原などに5人倒死・性別等不明)
1696年	5月20日	元禄9年	4月20日	晴	(田畑の耕作を急がせている、郡奉行・代官に加勢を加え倍ぐらいに増員、午の刻浪岡村の走り跡で火災、昨19日戌刻常盤組中島村で火災1軒、19日晚東長町に6斗女子捨子)
1696年	5月21日	元禄9年	4月21日	晴	未の上刻より曇 申の下刻より雨時々 終夜に及ぶ(16日寅刻後湯組平館村で火災1軒・昨20日酉刻柏木村で火災1軒、12日の磔は今日実施らしい)
1696年	5月22日	元禄9年	4月22日	陰晴	巳の下刻小雨止む(御家中江来月渡し方:御米無之故三合扶持・御金も不足故……、藤代組三世寺村に子供が2人乞食に参り家に火をつけ入牢)
1696年	5月23日	元禄9年	4月23日	晴	未の刻より陰晴(五十石町に55・6女倒死)
1696年	5月24日	元禄9年	4月24日	快晴	(20日戌刻後湯組後湯村で火災5軒、今日巳刻碓間新田で火災21軒1人焼死・火元町預け)
1696年	5月25日	元禄9年	4月25日	陰晴	未の刻より雨時々 終夜に及ぶ(男籠死1人、23日晚常盤組榊村に27・8女倒死、21日晚新田林村に30斗男病人助けを求めらる・22日夜死亡)
1696年	5月26日	元禄9年	4月26日	陰晴	昨夜より雨 辰の刻止む(23日油川組新城村に50斗女乞食倒死)
1696年	5月27日	元禄9年	4月27日	陰晴	申の中刻より雨 子の中刻止み小風
1696年	5月28日	元禄9年	4月28日	陰晴	昨夜より風 未の后刻止む(26日古切支丹類旅行方不明、22日神社の遣戸・藪が盗み取られる、盗人籠死、21日鱒ヶ沢に35・6女・25日鱒ヶ沢に37・8女倒死)
1696年	5月29日	元禄9年	4月29日	晴	(本寺町に34・5女倒死)
1696年	5月30日	元禄9年	4月30日	曇	卯の后刻より雨 辰の下刻止む 巳の刻より小風(27・28日鱒ヶ沢の大風で鰯漁船5艘破船1人凍死、男4人籠死、東長町に13・4男子倒死)
1696年	5月31日	元禄9年	5月1日	晴	(御用番氏名のみ)
1696年	6月1日	元禄9年	5月2日	快晴	(殿様期日江戸発駕19日着城予定、先月横内組駒籠山に熊打ちに出した獵師が晦日に帰る)
1696年	6月2日	元禄9年	5月3日	快晴	巳の下刻より陰晴 雷数発す 午の中刻小雨 則止む 申の刻雷雨 則止む(鱒ヶ沢に34・5男倒死)
1696年	6月3日	元禄9年	5月4日	陰晴	午の中刻より雨時々 未の刻に及び止む 酉の后刻より雷電数発す 同刻大雨 終夜に及ぶ
1696年	6月4日	元禄9年	5月5日	晴	午の刻より風 申の刻止む(4日赤田組狐森村で植え初め、今朝東長町で小火)
1696年	6月5日	元禄9年	5月6日	陰晴	(西之御郭御蔵の錠ねち切米1俵盗み取られる、男女各1人籠死)
1696年	6月6日	元禄9年	5月7日	陰晴	小風(殿様江戸発を5月13日・着城を6月2日にする、鱒ヶ沢に23・4男と16・7女倒死)
1696年	6月7日	元禄9年	5月8日	快晴	
1696年	6月8日	元禄9年	5月9日	晴	午の刻より小風(大光寺組杉沢村・猿賀組蒲田村で初田植え、津軽将監(家老)と与力5人に暇、籠舎内で火付け籠死・籠屋前で首を刎ね首を金木村にやる・そこで獄門にかける)
1696年	6月9日	元禄9年	5月10日	晴	(非人共が鱒ヶ沢で旅船から粥の施しを受けている、男籠死、正月21日新田相野村の火付け犯2人市中引渡・後日相野村で火あふり)
1696年	6月10日	元禄9年	5月11日	曇	午の刻より晴(青森で男籠死)
1696年	6月11日	元禄9年	5月12日	快晴	(2月青森堤町の火元の遠慮赦免、8日晚上小国村庄屋家内10人欠落、9日夜上小国村で火災2軒、東長町に24・5女倒死、茂森土取場に12・3男子倒死)
1696年	6月12日	元禄9年	5月13日	晴	午の刻より曇 同中刻より雨 夜に及ぶ(11日酉刻鱒ヶ沢で火災・早速打消す)
1696年	6月13日	元禄9年	5月14日	曇	辰の中刻より雨降 巳の下刻止む 時々小雨 申の刻に及ぶ
1696年	6月14日	元禄9年	5月15日	晴	(広須組掛落林村で狼あれ馬の子3疋取られる・鉄砲打ちを出す、新寺町に30斗男・和徳町に40斗女倒死)
1696年	6月15日	元禄9年	5月16日	晴	
1696年	6月16日	元禄9年	5月17日	晴	(女籠死)
1696年	6月17日	元禄9年	5月18日	陰晴	昨夜子の中刻山数度鳴る 丑の下刻に及ぶ 卯の上刻より時々雨 辰の下刻・同中刻南方虹二つ出候
1696年	6月18日	元禄9年	5月19日	陰晴	巳の刻小雨 暫くして止む 同中刻時々雨 終日に及ぶ
1696年	6月19日	元禄9年	5月20日	快晴	(16日金木組金木村に夫食米盗人2人・欠落と死亡各1人、籠死男2人)
1696年	6月20日	元禄9年	5月21日	陰晴	巳の中刻より風 申の刻に及ぶ(親方町に32・3男・東長町に21・2女倒死)
1696年	6月21日	元禄9年	5月22日	曇	巳の刻より小雨時々 終夜に及ぶ 下から続く・8日(女)・14日(19女)・10日(17男)などの人攫い・南部に4・50人売られる)
1696年	6月22日	元禄9年	5月23日	晴	午の刻より小風(20日藤崎組前田屋敷村に苗盗人・7人中1人が鎌で突き殺される、男籠死、先月21日(20女)・22日(19・23女)・25日(18女)・3月(19女)・5月1日(男) 上に続く)
1696年	6月23日	元禄9年	5月24日	晴	午の刻より曇 小雨時々 同下刻より大雨 夜に及ぶ(20日横内組駒籠山で女が熊に食い殺される、無銭で食・刃物振り回し捕まる)
1696年	6月24日	元禄9年	5月25日	陰晴	昨夜の雨時々巳の中刻に及ぶ(大光寺・猿賀・尾崎組の苗代に虫付・虫除御札900枚渡す、23日丑刻蟹田町で火災16軒借家15軒馬1疋・火元入寺、 下の欄外の(*)に続く)
1696年	6月25日	元禄9年	5月26日	曇	(6日子刻飯詰組原子村で火災1軒、14日夜広田組沖館詰村で火災1軒、御代官加勢の子が扶持米を取り走る、盗人2人籠死)
1696年	6月26日	元禄9年	5月27日	陰晴	午の中刻より小雨(火付け乞食男籠死)
1696年	6月27日	元禄9年	5月28日	陰晴	(初胡瓜3大鱈御菜園場より上がる、横内組駒籠山の熊対策として獵師出す、男籠死)
1696年	6月28日	元禄9年	5月29日	晴	未の下刻より曇 申の刻時々雨 夜に入り大雨(胡瓜3大鱈より上がる、今朝男籠死、藤崎組の追いはぎ8人を28日搦捕る)
1696年	6月29日	元禄9年	6月1日	晴	昨夜より雨 卯の下刻に及び止む(御用番氏名のみ)
1696年	6月30日	元禄9年	6月2日	快晴	(殿様午中刻御着城:どう見ても牛と書いてある)

(*) 米3俵宛の被災者用御救い米を出せない、20日馬番の14歳男子が×殺される)

1696年	7月1日	元禄9年	6月3日	陰晴	午の后刻より曇小雨 夜に入り大雨時々 (火付け・盗人の女・男籠死)
1696年	7月2日	元禄9年	6月4日	晴	昨夜より雨 辰の刻まで西の方虹
1696年	7月3日	元禄9年	6月5日	晴	夜に入り小雨 (朔日夜先月23日記述の人攫いの妻子欠落)
1696年	7月4日	元禄9年	6月6日	曇	卯の刻小雨時々 巳の刻より大雨 (先月26日板屋野木村沖新田に10人組強盗・傷害・一部逃亡、4日朝堀越組福村で男総死、茂森町派に8・9歳男子倒死)
1696年	7月5日	元禄9年	6月7日	曇	昨夜より雨 午の下刻止む (4日新町野村に付火犯捕まる)
1696年	7月6日	元禄9年	6月8日	晴	辰の中刻より東風 酉の刻止む (東長町に11・2男子倒死)
1696年	7月7日	元禄9年	6月9日	晴	巳の刻より小風
1696年	7月8日	元禄9年	6月10日	晴	(菜園に盗人・籠舎、駒籠山で熊に喰われて男死亡、5日夜紺屋町に盗人・捕まり籠死)
1696年	7月9日	元禄9年	6月11日	陰晴	巳の后刻小雨 則止む
1696年	7月10日	元禄9年	6月12日	陰晴	申の中刻小雨 則止む (御家中屋敷前に8・9歳男子倒死、籠舎で男2人死亡)
1696年	7月11日	元禄9年	6月13日	陰晴	(この頃何度も五穀成就の御祈禱を行っている)
1696年	7月12日	元禄9年	6月14日	晴	午の刻曇 則刻より小雨 午の下刻止む (先月5日東長町の火元の遠慮赦免、籠舎で男3人死亡、9日赤石組種田村に23斗女倒死)
1696年	7月13日	元禄9年	6月15日	陰晴	(初茸進上)
1696年	7月14日	元禄9年	6月16日	陰晴	午の刻より小風 (3月13日出火の鯉ヶ沢の火元の入寺赦免、13日午の刻金木組毘沙門村で火災2軒1人焼死、籠舎で男死亡) 下から続く 御家中菜園に盗人、籠舎で男死亡)
1696年	7月15日	元禄9年	6月17日	曇	巳の下刻雨 則止む 申の中刻大雨 同下刻止む (14日丑刻油川組新城村で火災7軒、15日御家中宅に盗人・1人殺される、4日御家中宅に御家中の家来等の盗人4人、16日 上に続く)
1696年	7月16日	元禄9年	6月18日	曇	巳の中刻より小雨 午の后刻止む 酉の刻雨 暫くして止む (殿様今朝腹痛、10日駒籠村の山で男が熊に喰殺さる) 下から続く (27・8女死人あり、7日浪岡組浪岡村に盗人・傷害)
1696年	7月17日	元禄9年	6月19日	曇	巳の刻より風 未の刻止む 申の中刻小雨 夜に入り雨 (時疫除け御祈禱済札1万余枚を寺社奉行差出す、飯森平村の御家中の子が扶持米請取り強盗に切殺さる、新坂下 上に続く)
1696年	7月18日	元禄9年	6月20日	陰晴	土用未の六刻 昨夜より時々雨 未の下刻に及び止む (籠舎で男1人死亡)
1696年	7月19日	元禄9年	6月21日	快晴	霧
1696年	7月20日	元禄9年	6月22日	陰晴	卯の下刻小雨 則止む 申の中刻小雨 則止む (籠舎で男1人死亡、性別等不明1人倒死)
1696年	7月21日	元禄9年	6月23日	陰晴	(22日駒籠山で娘が熊に喰いさかれる、去年より駒籠山で熊荒れ8人が喰い殺され数人が喰いさかされている・鉄砲打ちを出す)
1696年	7月22日	元禄9年	6月24日	快晴	午の后刻曇 同刻雷之數発す 同中刻激しき雷発す、同下刻雨 則止む (22日夜百沢の寺の座敷の戸8枚盗まれる・行方不明、籠舎で男1人死亡)
1696年	7月23日	元禄9年	6月25日	陰晴	辰の中刻より時々小雨 未の中刻に及び止む 巳の中刻地震 酉の后刻雨暫く (御支配所(元黒石領で天領)4か村庄屋百姓とも46軒・1軒に熱病者5人・3人宛、御家中屋敷に者倒死)
1696年	7月24日	元禄9年	6月26日	曇	卯の下刻より雨 巳の中刻止む 未の下刻雷発す 同刻甚だしい雨 申の中刻止む 東の方に虹 (鷹匠町に16・7男倒死、東御門外に5・6歳捨子2人)
1696年	7月25日	元禄9年	6月27日	晴	巳の刻より小風 未の刻止む 申の中刻東の方に虹 同刻より雨 酉の后刻止む (御家中の家来主人の知行米を受取り商人に売り渡し走る、籠舎内男死者1人、御家中屋敷前に者倒死)
1696年	7月26日	元禄9年	6月28日	曇	卯の下刻より雨時々 戌の后刻止む
1696年	7月27日	元禄9年	6月29日	晴	(26日大組警固が3人分の御切米を請取り行方不明・今朝革寺で自害)
1696年	7月28日	元禄9年	6月30日	曇	巳の刻より晴 (津軽ゆぎえ与力山上勤兵衛など3人に暇、八幡御祭礼を行うべきか否かを町に聞く・少々なら8町勝手続かない6町で・当年のご祭礼は無用とする、青森籠舎で男1人死亡)
1696年	7月29日	元禄9年	7月1日	快晴	甚だ暑い (御用番氏名のみ)
1696年	7月30日	元禄9年	7月2日	快晴	残暑甚だしい (町廻り中に6人捕える・籠舎)
1696年	7月31日	元禄9年	7月3日	快晴	
1696年	8月1日	元禄9年	7月4日	晴	巳の刻より小風 午の下刻止む 残暑 (3人籠舎、籠舎で男盗人1人死亡)
1696年	8月2日	元禄9年	7月5日	快晴	甚だ暑い (先月晦日新座当町に男盗人・籠死、先月19日夜十三町御蔵に3人組盗人が1石6・7斗盗み取る・籠舎、籠舎で男1人死亡、2日駒籠山で蕨取りが熊に喰い殺される)
1696年	8月3日	元禄9年	7月6日	快晴	残暑 (籠舎で男死亡1人)
1696年	8月4日	元禄9年	7月7日	快晴	残暑 (石渡茶屋町で盗人31人を召捕る・入籠、本寺町に12・3男子倒死)
1696年	8月5日	元禄9年	7月8日	陰晴	午の后刻小雨 雷時々発す (6日夜駒越組村市村で火災17軒、4日朝後瀧組後瀧村で火災9軒・含む借家、籠舎で男3人死亡)
1696年	8月6日	元禄9年	7月9日	快晴	残暑 申の刻雷発す 同刻雨暫く (6日藤代組藤代村で薪売りが同道者に殺される)
1696年	8月7日	元禄9年	7月10日	曇	卯の下刻小雨 則止む 辰の下刻より雨 未の刻止む (8日夜深浦町で火災4軒、あちこちで盗人6人捕まる・町預けにしている・2人は逃げた?)
1696年	8月8日	元禄9年	7月11日	曇	巳の刻より快晴 (6日の殺人犯(9日記述)が親類に捕まり籠舎、御家中屋敷前に24・5男倒死、西大工町名主(2月21日入籠)獄門・10人斬罪・追放等もあり)
1696年	8月9日	元禄9年	7月12日	快晴	残暑 (追放多数・その中に籠死少なくとも3人)
1696年	8月10日	元禄9年	7月13日	快晴	夜に入り小雨暫く (長勝寺門前に27・8男倒死)
1696年	8月11日	元禄9年	7月14日	昨夜より小雨時々	雷数々発す 終日に及ぶ (5月蟹田町の火元(5月25日に記述)入寺赦免)
1696年	8月12日	元禄9年	7月15日	曇	寅の刻小雨 卯の中刻雷 甚だしい雨 辰の后刻止み陰晴
1696年	8月13日	元禄9年	7月16日	陰	巳の刻小雨 午の刻止む(陰巳刻小雨午刻止)
1696年	8月14日	元禄9年	7月17日	快晴	(和徳町に60斗男倒死)
1696年	8月15日	元禄9年	7月18日	陰晴	午の刻より時々小雨 (初米門外村から差上げる)
1696年	8月16日	元禄9年	7月19日	曇	巳の中刻より快晴
1696年	8月17日	元禄9年	7月20日	晴	午の刻より曇 未の后刻小雨 夜に入り雨 酉の刻に及び止む (御家中屋敷前に3斗捨て男子・死亡)
1696年	8月18日	元禄9年	7月21日	曇	昨夜より雨終日 終夜に及ぶ (大御齋菜園所初米差上げる)
1696年	8月19日	元禄9年	7月22日	晴	
1696年	8月20日	元禄9年	7月23日	曇	午の后刻小雨 則止む 未の刻小雨 則止む (熱瓜ご家中が差し上げる、門外の初米2箱差上げる・褒美に青銅2貫文下置・昨年は不作で3貫文であった、籠舎で男死亡1人)
1696年	8月21日	元禄9年	7月24日	快晴	卯の中刻雨 則止む (橋雲寺が真桑瓜差し上げる)
1696年	8月22日	元禄9年	7月25日	晴	(昨夜駒越組中畑村で火災6軒)
1696年	8月23日	元禄9年	7月26日	快晴	(鯉ヶ沢で男5人女2人倒死、籠舎で男死亡1人、熊荒れ状戎共に阿いま川本う又は毒矢にて取らせることとする)
1696年	8月24日	元禄9年	7月27日	快晴	残暑甚だしい (籠舎で男2人死亡)
1696年	8月25日	元禄9年	7月28日	快晴	残暑甚だしい
1696年	8月26日	元禄9年	7月29日	快晴	残暑甚だしい (昨28日子刻尾崎組小国村で火災6軒)
1696年	8月27日	元禄9年	7月30日	晴	残暑甚だしい (御留守居組某阿法払・本結本どかせ脇差差置はた足二致し……、籠舎に男死亡)
1696年	8月28日	元禄9年	8月1日	快晴	残暑甚だしい (御用番氏名に役職名を付すようにする)
1696年	8月29日	元禄9年	8月2日	晴	寅の下刻より小雨 巳の上刻に及ぶ 午の后刻より小風 (籠舎で男籠死)
1696年	8月30日	元禄9年	8月3日	快晴	(赤石組関村で先月29日火災5軒)
1696年	8月31日	元禄9年	8月4日	快晴	(籠死男2人)

1696年	9月1日	元禄9年	8月5日 快晴 (籠死男1人)
1696年	9月2日	元禄9年	8月6日 陰晴 (籠死1人、唐船が松前に着く、昨5日亀甲町に盗人が入り打殺される)
1696年	9月3日	元禄9年	8月7日 晴 (籠死男2人、熊打ちの目付・足軽・獵師・狢の何れも熊を見ず・引き上げる)
1696年	9月4日	元禄9年	8月8日 快晴 巳の刻より小風 同后刻地震 夜雨 暫くして止む (松前はぼろ(羽幌か)に7月中唐船着、初鮭1尺油川組新田川岡町村より上がる、初鱈2尾深浦漁師上げる)
1696年	9月5日	元禄9年	8月9日 曇 (唐人の勢7尺斗……朝鮮国のもの由)
1696年	9月6日	元禄9年	8月10日 快晴 (籠死男1人)
1696年	9月7日	元禄9年	8月11日 晴 (蟹田と小国の沢で熊荒れ獵師派遣、唐人対応の評価)
1696年	9月8日	元禄9年	8月12日 曇 卯の后刻より雨 午の中刻止む 小風 (小泉由己・久保田源助・添田七左衛門預け・逼塞:近習小姓、御手廻りなどほとんど上級武士)
1696年	9月9日	元禄9年	8月13日 陰晴 巳の后刻より小雨時々
1696年	9月10日	元禄9年	8月14日 快晴
1696年	9月11日	元禄9年	8月15日 快晴 (青森で男籠死1人)
1696年	9月12日	元禄9年	8月16日 快晴 (藤崎組藤越村の百姓似銀(にせぎんか)で百姓籠舎、籠死男1人)
1696年	9月13日	元禄9年	8月17日 曇 辰の中刻小雨 暫くして止む 午の中刻より雨 終日終夜に及ぶ (土手町で盗人6人召し捕る・入籠)
1696年	9月14日	元禄9年	8月18日 曇 昨夜より雨 未の刻止む (古懸不動出汗・神楽を申し付ける)
1696年	9月15日	元禄9年	8月19日 晴 (昨日の大雨で碓間山中遠部の橋流れる)
1696年	9月16日	元禄9年	8月20日 曇 巳の中刻雨 暫くして止む (蟹田の小国新田で熊荒れ獵師を派遣する、駒越村で稲盗人3人・入籠)
1696年	9月17日	元禄9年	8月21日 陰晴 酉の中刻より雨 終夜に及ぶ (人事異動:奉行級)
1696年	9月18日	元禄9年	8月22日 晴 (7月7日深浦浜町の火元入寺赦免、男籠死1人、40人ほどに明日の登城を命じている)
1696年	9月19日	元禄9年	8月23日 晴 申の刻より風 終夜に及ぶ (間宮某召し放ち養父十太夫江引き渡す、御家中41人に暇、武田源左衛門・神源大夫の元々役御免・本役のみとする、籠死男2人)
1696年	9月20日	元禄9年	8月24日 曇 卯の刻より雨 終日に及ぶ 夜半に止む (大円寺が庭前のりんき(りんご)差し上げる、似せ銀で16日籠舎に入った藤越村の男籠死・大罪であり首を刎・取上で獄門とする)
1696年	9月21日	元禄9年	8月25日 陰晴 戌の下刻雷電数発す 亥の上刻より雨 暫くして止む (又明日登城を命じている、牢死男1人)
1696年	9月22日	元禄9年	8月26日 晴 酉の下刻より時々雨 雷電 (御家中35人に暇、牢死男1人) 下から続く 段々出来……、来月から青森在番を2人に戻す)
1696年	9月23日	元禄9年	8月27日 曇 卯の下刻より雨 辰の中刻止み陰晴時々小雨 夜に入り雨 (5月入牢の人攫い男(5月23日記述)牢死、今日も明日の登城を命じている、私的な稲刈り禁止指示、吹き直し金銀 上に続く)
1696年	9月24日	元禄9年	8月28日 陰晴 (御家中67人に暇、牢死男2人、土手町で火災1軒・火元の御家中遠慮)
1696年	9月25日	元禄9年	8月29日 晴
1696年	9月26日	元禄9年	9月1日 晴 (御用番役職氏名あり、以下同様であれば書かない) (武官名簿あり)
1696年	9月27日	元禄9年	9月2日 晴 巳の刻より風 未の刻に及び止む (牢死男2人・1人(杉沢村の火付け4月1日記述3月29日の火災か)は火あぶりの形式を取る)
1696年	9月28日	元禄9年	9月3日 巳の中刻小雨 暫くして止む 午の下刻雨時々 夜に及ぶ 申の刻雷発す
1696年	9月29日	元禄9年	9月4日 曇 卯の后刻雨 辰の中刻止み陰晴小風 未の后刻より時々雨 申の刻に及ぶ (先月8日油川組岡町村から上がった初鮭の褒美に青銅2貫文下される)
1696年	9月30日	元禄9年	9月5日 晴
1696年	10月1日	元禄9年	9月6日 晴 (古懸不動尊御出汗・御神楽)
1696年	10月2日	元禄9年	9月7日 昨夜中より雨 終日に及ぶ (昨年・酒・麴御停止を当年は御免)
1696年	10月3日	元禄9年	9月8日 晴 (7月7日牢舎の徒男今朝病死)
1696年	10月4日	元禄9年	9月9日 曇 巳の中刻より東風 夜半に及ぶ 子の刻小雨 暫くして止む 下から続く 1日1人7夕の5日分で5斗2升5合の御救い米)
1696年	10月5日	元禄9年	9月10日 巳の刻より風 未の刻に及ぶ (高杉村々々の高無に御救米・87人5日分で2斗1升7合5夕・町の者共71人5日分で2斗6升8合5夕の御救い米、町内渴者が6・7日改めて150人・ 上に続く)
1696年	10月6日	元禄9年	9月11日 陰晴
1696年	10月7日	元禄9年	9月12日 晴
1696年	10月8日	元禄9年	9月13日 晴 (御家中より梨子差し上げる)
1696年	10月9日	元禄9年	9月14日 陰晴 今朝霜 卯の后刻地震 今夜時々雨 (5人に明日登城しよう命ずる切紙送る)
1696年	10月10日	元禄9年	9月15日 陰晴 午の中刻雨 それより時々 夜中に及ぶ (人事異動、浪岡組五本松村など4ヶ村の52人に9月14日より晦日までの御救い米、当月3日牢舎の徒(いたずら)男病死)
1696年	10月11日	元禄9年	9月16日 今朝岩木山初雪積る 卯の上刻小雨 下刻より晴
1696年	10月12日	元禄9年	9月17日 快晴
1696年	10月13日	元禄9年	9月18日 快晴 今宵中小雨 (金1両に付70目替え)
1696年	10月14日	元禄9年	9月19日 曇 卯の中刻より雨 (江戸を8日に出た10日振りとい仰せ付けられた飛脚がきぬ川洪水で1日遅れで到着)
1696年	10月15日	元禄9年	9月20日 陰晴 (御家中の従兄弟が石渡非人小屋におり御家中が引取るよう仰せ付ける、17日夜青森下新町の男と蜆貝町の女が書置きを残し自害)
1696年	10月16日	元禄9年	9月21日 曇 夜に入り小雨 (昨日七半時分より今朝迄石渡川洪水・橋板の上まで・流失せず、19日沖浦・碓間・西之濱で大風、青森では橋が落ち水上がる・稲500束押し流す、強盗団獄門6人・磔1人)
1696年	10月17日	元禄9年	9月22日 午の刻より陰晴 (18日夜堀越組堀越村で火災2軒・馬11疋のはづな切放したが4疋焼死、19日大東風雨で青森・浅虫・筒井などの橋流失・浸水、漁船の流失数知れず、 下の欄外(*)に続く)
1696年	10月18日	元禄9年	9月23日 晴 夜に入り小雨 (先達ての風で赤石組岩崎村で2軒倒れる、18日寅下刻より大間越で東風・19日申下刻より寅の刻まで大風・屋根石等も吹き散る・三十年覚えなき大風)
1696年	10月19日	元禄9年	9月24日 昨夜中より雨降 午の刻止む (7月に風合瀬浜で養兄弟を切り殺した男が牢死、石渡の非人小屋を引取るように申し付ける、1両が67匁・米1俵(4斗5升)40匁6分5厘)
1696年	10月20日	元禄9年	9月25日 陰晴 時々小雨 (牢死1人)
1696年	10月21日	元禄9年	9月26日 晴 午の下刻小雨 暫時止む (6月末(19日)に十三の御蔵から米を盗んで入牢(7月8日か)の18男牢死、7月25日より入牢の男青森で牢死)
1696年	10月22日	元禄9年	9月27日 陰晴 今朝霜 (御本城大手御門腰かけ前御堀駒寄せ土台下御石垣之上石一つ抜け候……)
1696年	10月23日	元禄9年	9月28日 快晴 夜に入り風 時々小雨 (三馬屋村から梨子26(内継木の梨子15)上がる)
1696年	10月24日	元禄9年	9月29日 曇 昨夜より雨 小風 (徒者多数を訴入した男2人が夏衣装のまま……相応の衣類を渡す、石渡の非人小屋全員引取り、7月8日牢舎で26日牢死の18男の父牢死)
1696年	10月25日	元禄9年	9月30日 晴 (昨夜の風で若干の被害、9月27・28・30日で徒者7人召し捕る)
1696年	10月26日	元禄9年	10月1日 陰晴
1696年	10月27日	元禄9年	10月2日 晴 (9月29日晚藤代組の海道で足軽が脇差を抜き暴れる・逃げ込まれた庄屋が負傷しながらおさえる・牢舎、名を変えた徒者2人召し捕る・牢舎、他に4人牢舎・4人赦免)
1696年	10月28日	元禄9年	10月3日 晴 午の刻小雨 それより曇 則刻止む (11月朔日より正月晦日まで所々御番所に火鉢出す)
1696年	10月29日	元禄9年	10月4日 晴
1696年	10月30日	元禄9年	10月5日 快晴 (兵庫殿料理人行方不明)
1696年	10月31日	元禄9年	10月6日 晴 今朝霜 (各地の牧に牧頭と同支配を命じている・飢饉中止めていたか) (*) 赤石組追良瀬村より上磯で稲が吹古本連(ふきこぼれ)損毛)

1696年 11月1日 元禄9年	10月7日 晴天 寅の中刻雷発し雨 則時止む (盛岡主膳御家老職御免、9月中の御救い米706軒・2801人、御内分御蔵奉行に毛内十兵衛・今次郎兵衛あり)
1696年 11月2日 元禄9年	10月8日 陰晴 酉の刻雷発す 夜に入り小雨 (御家中が庭前の梨子差し上げる、御公儀の命で江戸より犬13疋来る)
1696年 11月3日 元禄9年	10月9日 晴 (政変?)
1696年 11月4日 元禄9年	10月10日 晴 (酉后刻東長町に火出・早速打消す、31人に暇)
1696年 11月5日 元禄9年	10月11日 曇 小風 未の上刻より雨 戌の中刻に及ぶ (武田源左衛門役儀御免・屋敷召し上げ、昨晚土手後町で火災6坪)
1696年 11月6日 元禄9年	10月12日 曇 夜に入り雨 (8日十三で大風・十三湊で松前船破船)
1696年 11月7日 元禄9年	10月13日 曇 午の刻より雨 亥の刻に及び止む (8月18日に稲を盗み25日に牢舎申付けられた男只今牢死)
1696年 11月8日 元禄9年	10月14日 曇 四方山へ雪初めて降り積もる 下から続く 武田源左衛門が奉行役も解かれ御留守居組になる)
1696年 11月9日 元禄9年	10月15日 晴 大雪(多分大霜の書き間違い:こんな例は結構ある) 地初めて凍る 申の下刻より風雨 終夜に及ぶ (千年山の遠近の御茶屋にせんし茶仰付ける:煎茶の歴史より古い、 上に続く)
1696年 11月10日 元禄9年	10月16日 陰晴 昨夜より風雨 午の中刻雨 丸雪降時々 夜に及び止む (昨申の中刻古懸不動尊御出汗)
1696年 11月11日 元禄9年	10月17日 陰晴 寅の中刻雨 卯の上刻止む
1696年 11月12日 元禄9年	10月18日 快晴 霜 下から続く 屋番の郷足軽警固が切殺される)
1696年 11月13日 元禄9年	10月19日 晴 霜 午の下刻小雨 未の後刻止む (東長町の御蔵前の屋敷前で石渡の御蔵に年貢を運ぶ馬が干していた粟を食い・馬方が目の上を少々打ちさかれる、昨18日夜に府町の 上に続く)
1696年 11月14日 元禄9年	10月20日 晴 霜 (8月17日ききょう長根より粟盗り9月14日牢舎仰せ付けられた者今朝牢死、兵庫殿息女付き女乱心・親類(伯母婿の子)を探し出し下げさせる)
1696年 11月15日 元禄9年	10月21日 晴 霜
1696年 11月16日 元禄9年	10月22日 快晴 霜
1696年 11月17日 元禄9年	10月23日 曇 午の下刻小雨 則時止む 未の後刻小雨時々 夜に及ぶ (168人に暇)
1696年 11月18日 元禄9年	10月24日 陰晴 巳の刻より曇 同后刻より雨時々 終日に及ぶ 夜に入り雨 終夜に及ぶ 今夜四方山へ雪降る (弘前町の総名主31人・月行事78人・籠米1ヶ月7斗5升:これらが籠内の米を出す)
1696年 11月19日 元禄9年	10月25日 陰晴 小風 卯の後刻より時々小雪 巳の中刻に及び止む 亥の後刻より子の刻に及ぶ (兵庫殿息女の女下病気)
1696年 11月20日 元禄9年	10月26日 晴 (御暇を遣られた御家中江の御賞し金銀銭:御本銀 〆3貫83匁5分・この利息394匁5毛、御本銭 〆375匁・利息52匁5分、19日記述の郷足軽警固の殺人犯獄門、百石町川原に30余女倒死)
1696年 11月21日 元禄9年	10月27日 陰晴
1696年 11月22日 元禄9年	10月28日 晴 霜 戌の上刻より雨時々 終夜に及ぶ (24日夜田沢村の浜で南部船破船)
1696年 11月23日 元禄9年	10月29日 曇 昨夜より雨時々 終日に及ぶ (10日晚の土手後新町の火元(11日記述)の町預け御免)
1696年 11月24日 元禄9年	10月30日 曇 巳の後刻より雪 終日に及ぶ 夜に入り大雪積る (鱒ヶ沢町の62軒183人が湯に及ぶ・御救い米お定めの通り渡す、御家中屋敷前の川原に死人あり)
1696年 11月25日 元禄9年	11月1日 曇 昨夜より大雪 夜に入り時々小雪 (御用番氏名のみ) (昨屋八時前より初雪)
1696年 11月26日 元禄9年	11月2日 陰晴 雪 終日に及ぶ (昨朝袴裄長根より粟盗り牢舎の新右衛門牢死、鱒ヶ沢で54男倒・死、米相場1俵が14匁5・6分、金子1両63匁・前の金子は80目余、庄内米1両に2石)
1696年 11月27日 元禄9年	11月3日 陰晴 (御用金300両差登、8月12日盗みの男今朝牢死、御家中屋敷内に男糞死)
1696年 11月28日 元禄9年	11月4日 陰晴 (八幡館村の最勝院百姓欠落(9人))
1696年 11月29日 元禄9年	11月5日 曇 卯の上刻より雪降 終日に及ぶ 夜に入り雪 終夜に及ぶ
1696年 11月30日 元禄9年	11月6日 陰晴 昨夜より雪時々 終日に及ぶ (明き屋敷が潰れそうな例が沢山)
1696年 12月1日 元禄9年	11月7日 陰晴 (8月17日稲盗み9月13日牢舎の男牢死、雪下ろし奉行を任命)
1696年 12月2日 元禄9年	11月8日 陰晴 (明き家9軒潰れる)
1696年 12月3日 元禄9年	11月9日 曇 卯の後刻より雨 終日に及ぶ 夜に入り吹雪 (雪潰れ11軒)
1696年 12月4日 元禄9年	11月10日 陰晴 辰の上刻より雪 午の中刻止む 未の後刻より時々雪 酉の刻止む
1696年 12月5日 元禄9年	11月11日 晴 夜に入り雪降 (今別町の家数は120軒余、御国灰吹き銀百目に付き新銀80目・新金1両につき灰吹き銀75匁)
1696年 12月6日 元禄9年	11月12日 晴
1696年 12月7日 元禄9年	11月13日 曇 未の上刻より小雨 終日に及ぶ 夜に入り雨雪 (兵庫殿息女付き女支度銭60目、今別御払い材木当春売出銀:2貫365匁余)
1696年 12月8日 元禄9年	11月14日 陰晴 卯の中刻より雪 巳の刻に及び止む (雪による潰れ家1軒)
1696年 12月9日 元禄9年	11月15日 曇 午の上刻より雨雪 戌の下刻止む (新金銀引き換え(始まる?）、神源太夫大目付御免、広田組川本村で御家中が口答えた家来を切り負傷させる)
1696年 12月10日 元禄9年	11月16日 陰晴 巳の下刻小雪 暫くして止む (他国産?の早稲の稲を御国の「岩川稲」と比較している)
1696年 12月11日 元禄9年	11月17日 陰晴 午の中刻より雨 申の刻に及ぶ 同刻より雪 酉の刻に及ぶ 戌の刻より風雪 終夜に及ぶ (15日赤石組関村で火災1軒・負傷2人馬2疋稲乳2つ4斗5升入り8俵焼失)
1696年 12月12日 元禄9年	11月18日 陰晴 時々雪 終日に及ぶ 夜に入り雪 終夜に及ぶ (8月17日牢舎の徒者(男)只今牢死)
1696年 12月13日 元禄9年	11月19日 陰晴 昨夜より雪 辰の中刻止む (大目付に牧野伴右衛門)
1696年 12月14日 元禄9年	11月20日 陰晴 時々雪 (大目付兼元 〆役だった神源太夫と武田源左衛門宅に取調べが入っている、8日から昨日までの雪による潰れ家8軒)
1696年 12月15日 元禄9年	11月21日 曇 辰の中刻曇 巳の中刻止む 同刻より晴 (18日駒越渡橋で殺人と同未遂・2人組牢舎)
1696年 12月16日 元禄9年	11月22日 陰晴 未の上刻より時々吹雪
1696年 12月17日 元禄9年	11月23日 陰晴 昨夜より雪時々 申の刻より雨 酉の刻に及ぶ 夜に入り雨 (昨年の(幕府からの)拝借米3万俵・この代金8400両・今年から3年間で2800両ずつ上納するはず)
1696年 12月18日 元禄9年	11月24日 曇 昨夜より雨 終日終夜に及ぶ (在々より雉子9(雄6・雌3)上がる)
1696年 12月19日 元禄9年	11月25日 晴 酉の上刻より雨 戌の上刻に及び止む (小栗山村より雉子5(雄3・雌2)上がる、鱒ヶ沢・深浦・十三・小泊に何十人か宛濁人が存在する)
1696年 12月20日 元禄9年	11月26日 曇 冬至戌の四刻に入る 終日雪降
1696年 12月21日 元禄9年	11月27日 曇 雪降 終日に及ぶ
1696年 12月22日 元禄9年	11月28日 晴 午の刻小雪 暫くして止む 申の中刻より雨 亥の後刻に及ぶ
1696年 12月23日 元禄9年	11月29日 陰晴
1696年 12月24日 元禄9年	12月1日 晴 夜に入り小雪 (御用番氏名のみ) (江戸江献上の鱈出発) 下から続く 去月29日小国新田藤沢村で火災1軒)
1696年 12月25日 元禄9年	12月2日 陰晴 午の中刻より雪 終夜に及ぶ (昨夜御家中の中間同士が口論→一方成敗他方錠閤追放、22日夜大間越往の足軽一家3人欠落、22日同地の高無百姓一家5人走る、 上に続く)
1696年 12月26日 元禄9年	12月3日 曇 未の上刻より雪 終夜に及ぶ (東長町に23・4男倒死)
1696年 12月27日 元禄9年	12月4日 曇 昨夜より雪降り続く 夜に及ぶ (方々の土手の松が雪で倒れ候……)
1696年 12月28日 元禄9年	12月5日 曇 昨夜より雪 夜に及び終わる (駒越組門前村で火災(3間×5間;高無))
1696年 12月29日 元禄9年	12月6日 晴 午の刻より曇 雪降
1696年 12月30日 元禄9年	12月7日 巳の中刻より雪終日 終夜に及ぶ (夏に暇を出した御家中の空屋敷190軒くらいをうめる)
1696年 12月31日 元禄9年	12月8日 曇 時々小雪 夜に入り小雪 (11月18日の駒越渡橋での殺人者を取上げて斬罪・私に盗人成敗の庄屋をはり付)

1697年	1月1日	元禄9年	12月9日	曇	卯の刻より時々小雪
1697年	1月2日	元禄9年	12月10日	曇	雪終日 夜に及び大雪 (8日駒越組田代村で火災(3間×4間:高無)、無勤・病気の小人22人に暇)
1697年	1月3日	元禄9年	12月11日	曇	昨夜より雪時々 (深浦町で22軒91人が渴命騒ぎ・御救い米1日1人7夕宛 御白州前に雪多く除雪)
1697年	1月4日	元禄9年	12月12日	曇	昨夜より時々雪 (今朝石渡茶屋町に50斗男倒死、昨10日子刻堀越組取上村で火災(2間×3間:高無)、一昨8日夜十三町に鯨寄る)
1697年	1月5日	元禄9年	12月13日	陰晴	丑の初刻より小寒に入る
1697年	1月6日	元禄9年	12月14日	晴	
1697年	1月7日	元禄9年	12月15日	曇	巳の後刻より雪
1697年	1月8日	元禄9年	12月16日	曇	時々雪 夜に入り吹雪 (町年寄り松山屋敷裏通り御堀端に8・9歳男子倒・死)
1697年	1月9日	元禄9年	12月17日	陰晴	(9日の大風により青森鱈漁船で7人死亡、当月3日百石町入り口に倒女あり・今朝死亡)
1697年	1月10日	元禄9年	12月18日	陰晴	(取上で8人(男7・女1)成敗(男2人獄門)、大間越の湯者に米1日7夕宛正月15日まで渡す)
1697年	1月11日	元禄9年	12月19日	陰晴	午の刻より小雪 (寒雉子14日より44羽上がる、15日青森で破船1艘)
1697年	1月12日	元禄9年	12月20日	曇	巳の後刻より雪 終日に及ぶ 夜に入り雪
1697年	1月13日	元禄9年	12月21日	曇	雪時々 午の下刻より止む
1697年	1月14日	元禄9年	12月22日	晴	(御馬廻り7番組当田長助が娘2人(2歳と5歳)を刺し殺し自害)
1697年	1月15日	元禄9年	12月23日	曇	午の中刻より雨 (御仕舞)
1697年	1月16日	元禄9年	12月24日	陰晴	辰の刻小雪 則時止む (古懸不動尊とその御前立が御出汗・御湯立・御神楽を申付ける)
1697年	1月17日	元禄9年	12月25日	晴	
1697年	1月18日	元禄9年	12月26日	陰晴	卯の刻より時々小雪 夜に入り吹雪
1697年	1月19日	元禄9年	12月27日	曇	昨夜より雪 終日に及ぶ
1697年	1月20日	元禄9年	12月28日	晴	大寒 卯の六刻より入る 時々小雪
1697年	1月21日	元禄9年	12月29日	晴	未の刻より雪 夜に及ぶ
1697年	1月22日	元禄9年	12月30日	曇	昨夜より雪 (7月7日より病休の大道寺隼人(家老)が久々に登城、両替:61匁5分)
1697年	1月23日	元禄10年正月1日	晴	未の刻小雪 暫くして止む (御用番氏名のみ)	
1697年	1月24日	元禄10年正月2日	晴	夜に入り雪	
1697年	1月25日	元禄10年正月3日	陰晴	巳の刻小雪時々 未の刻止む (御誂初)	
1697年	1月26日	元禄10年正月4日	陰晴		
1697年	1月27日	元禄10年正月5日	晴	酉の中刻より吹雪	
1697年	1月28日	元禄10年正月6日	曇	昨夜より雪 終日に及ぶ	
1697年	1月29日	元禄10年正月7日	陰晴	時々雪 (大間越で御蔵米盗み取った足軽を搦捕り・牢舎)	
1697年	1月30日	元禄10年正月8日	快晴		
1697年	1月31日	元禄10年正月9日	晴	午の中刻小雪 暫くして止む	
1697年	2月1日	元禄10年正月10日	陰晴		
1697年	2月2日	元禄10年正月11日	晴	(人事異動)	
1697年	2月3日	元禄10年正月12日	陰晴	丑の下刻小風 則止む 未の後刻雪 則止む (去3日後湯組瀬辺地濱渚に亀(3尺余×2尺余)寄せる、仕舞)	
1697年	2月4日	元禄10年正月13日	晴	立春午二刻	
1697年	2月5日	元禄10年正月14日	曇	巳の中刻より小雪	
1697年	2月6日	元禄10年正月15日	曇	時々雪 午の刻より雪雨	
1697年	2月7日	元禄10年正月16日	晴		
1697年	2月8日	元禄10年正月17日	曇		
1697年	2月9日	元禄10年正月18日	曇	昨夜より雪 卯の中刻に及び止む 巳の刻雷 (人事異動)	
1697年	2月10日	元禄10年正月19日	陰晴	昨夜より雪時々 終日に及ぶ 夜に入り吹雪	
1697年	2月11日	元禄10年正月20日	陰晴		
1697年	2月12日	元禄10年正月21日	曇	辰の刻小雪 巳の刻より雨 夜に及ぶ	
1697年	2月13日	元禄10年正月22日	曇	午の下刻より時々小雪	
1697年	2月14日	元禄10年正月23日	陰晴	辰の刻より時々雪(陰晴 辰刻より時々雪)	
1697年	2月15日	元禄10年正月24日	陰晴	昨夜より時々雪(陰晴 徒昨夜時々雪)	
1697年	2月16日	元禄10年正月25日	陰晴	時々吹雪	
1697年	2月17日	元禄10年正月26日	卯の中刻より小雪 辰の刻に及ぶ		
1697年	2月18日	元禄10年正月27日	晴	下から続く 9斗4升1合、一昨年より昨年までの弘前町中の病死者数2862人(男1627・女1235・減家127軒)、25日夜赤石組広戸村で火災1軒)	
1697年	2月19日	元禄10年正月28日	陰晴	昨夜霜 巳の下刻より時々雪 (一昨年・昨年の暇989人(国元941・江戸48)知行39273石6斗6升6合・俵子高5439石2斗5升・御扶持米2892石4斗7升5合・金子の分2668石 上に続く)	
1697年	2月20日	元禄10年正月29日	晴	夜に入り雪	
1697年	2月21日	元禄10年	2月1日	曇	辰の下刻より時々雪 午の刻より陰晴 夜に入り雪(曇 辰下刻ヨリ時々雪午刻ヨリ陰晴夜入雪) (御用番氏名のみ) (仕舞)
1697年	2月22日	元禄10年	2月2日	陰晴	昨夜より雪 辰の中刻まで 巳の下刻より吹雪 終日に及ぶ(陰晴 昨夜ヨリ雪辰中刻迄巳下刻ヨリ吹雪及終日)
1697年	2月23日	元禄10年	2月3日	陰晴	
1697年	2月24日	元禄10年	2月4日	晴	
1697年	2月25日	元禄10年	2月5日	晴	(朧衣並臍之緒干候儀……)
1697年	2月26日	元禄10年	2月6日	晴	未の中刻より曇 夜に入り雪 (鱒1尺青森より持参)
1697年	2月27日	元禄10年	2月7日	晴	(御減少人数1060人(国元1012・江戸48人)高39757石5斗7升5合・俵子5866石7斗5升・扶持米2945石5斗7升5合・金銀分2672石2斗5升)
1697年	2月28日	元禄10年	2月8日	陰晴	

1697年 3月1日 元禄10年 2月9日 曇 卯の刻より大雪 夜に入り止む
 1697年 3月2日 元禄10年 2月10日 晴
 1697年 3月3日 元禄10年 2月11日 曇 午の刻より雨 終日に及ぶ
 1697年 3月4日 元禄10年 2月12日 曇 卯の中刻より雪終日 又夜雪
 1697年 3月5日 元禄10年 2月13日 曇 昨夜より雪 終日に及ぶ (外浜大川平村の狢差上げ物:真珠6・熊皮1)
 1697年 3月6日 元禄10年 2月14日 陰晴 時々吹雪
 1697年 3月7日 元禄10年 2月15日 曇 時々吹雪 夜に及ぶ (新町木戸番小屋に16・7男倒死)
 1697年 3月8日 元禄10年 2月16日 曇 風雪
 1697年 3月9日 元禄10年 2月17日 陰晴
 1697年 3月10日 元禄10年 2月18日 晴 (16日和徳組小沢村の薪山で雪類に遭い15人死亡し2人無事)
 1697年 3月11日 元禄10年 2月19日 陰晴 卯の下刻雪暫く 夜に入り風雪
 1697年 3月12日 元禄10年 2月20日 陰晴 卯の刻より小雪 午の刻止む
 1697年 3月13日 元禄10年 2月21日 陰晴
 1697年 3月14日 元禄10年 2月22日 晴
 1697年 3月15日 元禄10年 2月23日 陰晴 辰の刻小雨 則止む 又雨 終夜に及ぶ
 1697年 3月16日 元禄10年 2月24日 曇 昨夜より雨 辰の刻まで 申の中刻より雨時々 夜に及ぶ
 1697年 3月17日 元禄10年 2月25日 時々小雪
 1697年 3月18日 元禄10年 2月26日 曇 卯の刻より小雪 巳の刻止み風雪 終夜に及ぶ
 1697年 3月19日 元禄10年 2月27日 曇 昨夜より雪 巳の下刻止む
 1697年 3月20日 元禄10年 2月28日 晴
 1697年 3月21日 元禄10年 2月29日 晴
 1697年 3月22日 元禄10年 2月30日 陰晴 酉の刻より時々雨
 1697年 3月23日 元禄10年閏2月1日 晴 戌の刻雨 則止む それより雪 終夜に及ぶ (御用番氏名のみ)
 1697年 3月24日 元禄10年閏2月2日 曇 彼岸 昨夜より風雪 辰の下刻に及び止む 午の刻より時々小雨
 1697年 3月25日 元禄10年閏2月3日 晴
 1697年 3月26日 元禄10年閏2月4日 晴 (米雑穀津留め申し遣わす)
 1697年 3月27日 元禄10年閏2月5日 晴
 1697年 3月28日 元禄10年閏2月6日 晴
 1697年 3月29日 元禄10年閏2月7日 晴 (参勤3月19日御発駕・4月9日御参府の予定、藤崎川昨夜より洪水・仮橋引取り馬船にいて往還、新町で男下人が下女を切り殺し自害、5日横内組野尻村で火災3軒)
 1697年 3月30日 元禄10年閏2月8日 曇 昨夜より雨時々 終日に及ぶ (昨夜平川洪水)
 1697年 3月31日 元禄10年閏2月9日 晴 (千年山の福寿草7本を小栗山村庄屋が差上げる)
 1697年 4月1日 元禄10年閏2月10日 晴 寅の刻より雨 卯の中刻に及び止む 丑の刻雪発す 則止む
 1697年 4月2日 元禄10年閏2月11日 晴
 1697年 4月3日 元禄10年閏2月12日 曇 寅の中刻より雨 巳の刻止む それより時々小雨 (逐電者2人の人相書きあり)
 1697年 4月4日 元禄10年閏2月13日 晴
 1697年 4月5日 元禄10年閏2月14日 陰晴 午の中刻小雪 則止む
 1697年 4月6日 元禄10年閏2月15日 晴 申の刻より雨 終夜に及ぶ
 1697年 4月7日 元禄10年閏2月16日 曇 昨夜より雨時々 小雨 終日に及ぶ
 1697年 4月8日 元禄10年閏2月17日 晴 今朝霜 (鯉ヶ沢より町年寄りなど6人をはかい付(具体的に知らないが縛った形)で弘前に送っている)
 1697年 4月9日 元禄10年閏2月18日 陰晴 今朝霜 雨未の下刻より 申の刻に及び止む(陰晴 今朝霜雨未ノ下刻より及申刻止)
 1697年 4月10日 元禄10年閏2月19日 晴
 1697年 4月11日 元禄10年閏2月20日 晴
 1697年 4月12日 元禄10年閏2月21日 曇 丑の刻より雨時々 終日に及ぶ
 1697年 4月13日 元禄10年閏2月22日 陰晴
 1697年 4月14日 元禄10年閏2月23日 晴
 1697年 4月15日 元禄10年閏2月24日 曇 巳の刻より時々雨
 1697年 4月16日 元禄10年閏2月25日 陰晴 卯の下刻小雨時々 終日に及ぶ (岩木川洪水・石渡橋危うく駒越渡往還止める)
 1697年 4月17日 元禄10年閏2月26日 曇 雨 終日夜に及ぶ (昨今洪水)
 1697年 4月18日 元禄10年閏2月27日 晴
 1697年 4月19日 元禄10年閏2月28日 陰晴
 1697年 4月20日 元禄10年閏2月29日 曇 昨夜より雨時々 午の刻に及び止む
 1697年 4月21日 元禄10年 3月1日 晴 (御用番氏名のみ)
 1697年 4月22日 元禄10年 3月2日 晴 (仕舞)
 1697年 4月23日 元禄10年 3月3日 晴
 1697年 4月24日 元禄10年 3月4日 晴 (昨日蟹田外黒山出火・打消す)
 1697年 4月25日 元禄10年 3月5日 曇 時々小雨 終日夜に及ぶ (朔日浪岡組五本松村の山に野火・打消す、岩木川洪水・今日日中より駒越渡留める)
 1697年 4月26日 元禄10年 3月6日 陰晴
 1697年 4月27日 元禄10年 3月7日 晴
 1697年 4月28日 元禄10年 3月8日 晴 (来19日御発駕、去6日晚赤石組舞戸村で鮒漁船沈み5人中3人死亡)
 1697年 4月29日 元禄10年 3月9日 晴 (関札役発足)
 1697年 4月30日 元禄10年 3月10日 晴 (去7日小国の山に野火出・打消す、殺人者1人斬罪)

1697年	5月1日	元禄10年	3月11日	晴 (仕舞)
1697年	5月2日	元禄10年	3月12日	晴
1697年	5月3日	元禄10年	3月13日	晴
1697年	5月4日	元禄10年	3月14日	曇 午の后刻より雨
1697年	5月5日	元禄10年	3月15日	曇
1697年	5月6日	元禄10年	3月16日	申の刻雷暫く 酉の刻より小雨時々 (10日に斬罪になった男の親が所追放)
1697年	5月7日	元禄10年	3月17日	晴 小風
1697年	5月8日	元禄10年	3月18日	晴
1697年	5月9日	元禄10年	3月19日	曇 卯の下刻より小雨暫く 又雨時々 夜に及ぶ (今日巳上刻御発駕、16日三馬屋で山火事・打消す)
1697年	5月10日	元禄10年	3月20日	晴 巳の刻より風 申の刻止む
1697年	5月11日	元禄10年	3月21日	晴 夜に入り小雨 (昨日の大風で御城中御屋根破損)
1697年	5月12日	元禄10年	3月22日	晴
1697年	5月13日	元禄10年	3月23日	晴
1697年	5月14日	元禄10年	3月24日	曇 辰の中刻より時々小雨 (22日蟹田で火災・45軒土蔵2軒借家25軒・火元入寺)
1697年	5月15日	元禄10年	3月25日	陰晴 未の后刻より時々小風雨 夜に及ぶ (木造新田亀ヶ岡村筒木坂村辺りで狼荒れ野放馬食い殺す・鉄砲打ち申し出る、御手筒足軽から中り能者2人と立会い御徒目付を出すよう申し渡す)
1697年	5月16日	元禄10年	3月26日	陰晴 昨夜より小風雨時々 辰の中刻に及び止む (21日横内組久栗坂村の山に野火・打消す)
1697年	5月17日	元禄10年	3月27日	晴 酉の刻雨 (23日に十三湯に川船沈む、25日深浦町で悪風・薬師堂に被害)
1697年	5月18日	元禄10年	3月28日	陰晴 (狼打ち(2人と御徒目付)申しつける、17人ほど再雇用)
1697年	5月19日	元禄10年	3月29日	陰晴 巳の刻より時々小雨
1697年	5月20日	元禄10年	4月1日	晴 (御用番氏名のみ)
1697年	5月21日	元禄10年	4月2日	晴 (和徳新町13軒38人・茂森町1家4人に御救米申し立てる)
1697年	5月22日	元禄10年	4月3日	晴 (駒越組宮地村で昨屋火災1軒、昨日の御救米申し渡す、磔8人(庄屋4)・追放90人ほど、昨日諏訪神主家火災、再雇用願いが沢山あり)
1697年	5月23日	元禄10年	4月4日	陰晴 午の中刻より雨曇 未の中刻止む (3軒11人に御救米を出している)
1697年	5月24日	元禄10年	4月5日	卯の刻霞 辰の中刻快晴
1697年	5月25日	元禄10年	4月6日	快晴 (東大工町で女非人倒死、新寺町の名主1軒3人に御救米、朔日黒石領小喰野村で布を盗んだ百姓の子を打殺し川に流す)
1697年	5月26日	元禄10年	4月7日	快晴
1697年	5月27日	元禄10年	4月8日	快晴
1697年	5月28日	元禄10年	4月9日	陰晴 巳の后刻小雨 則止む 申の刻小雨 夜に及ぶ (昨屋桑野木田組浄円寺脇で青鹿(かもしかか)打殺す・犬狼が掘り出さないよう深く埋める)
1697年	5月29日	元禄10年	4月10日	曇 卯の中刻小雨時々 午の中刻に及び止み晴 (4月6日記述の死骸見分内容)
1697年	5月30日	元禄10年	4月11日	曇 辰の中刻より雨降 終日に及ぶ (9日の青鹿は獵師音八が追っていたもの・これが無罪)
1697年	5月31日	元禄10年	4月12日	今朝霜 辰の中刻小雨暫く 未の刻より晴 (茂森町の4軒14人に御救い米)
1697年	6月1日	元禄10年	4月13日	今朝霜 (左内殿最近不調)
1697年	6月2日	元禄10年	4月14日	晴
1697年	6月3日	元禄10年	4月15日	陰晴 午の中刻より小雨 (塩分町に20斗非人女倒死、外浜狹に1日1人1合宛の御救い米、金木組にも)
1697年	6月4日	元禄10年	4月16日	曇
1697年	6月5日	元禄10年	4月17日	快晴 (博労町に住む牢屋番14人と家族に御救い米の申し立て)
1697年	6月6日	元禄10年	4月18日	晴
1697年	6月7日	元禄10年	4月19日	晴 (牧支配の高無百姓6人に御救い米)
1697年	6月8日	元禄10年	4月20日	雷数々発す (桑ノ木田組で狼荒れ当歳駒喰殺す・近郷の獵師を派遣する)
1697年	6月9日	元禄10年	4月21日	快晴 下から続く 屋形様当月9日御着府)
1697年	6月10日	元禄10年	4月22日	晴 風吹く (御救い米を茂森町の14人に、金木組中柏木村の12軒中9軒が走り・潰れ・死亡し跡は庄屋等3軒・この環境で野火の詮議を厳しくしている・褒美として米2俵を渡す、 上に続く)
1697年	6月11日	元禄10年	4月23日	午の刻より風吹く
1697年	6月12日	元禄10年	4月24日	東風吹く (科人を牢舎から解放しその一部には30日分の飯米を渡して潰れ家跡に追放する、4月中に赤田組で馬7疋が狼に喰れる)
1697年	6月13日	元禄10年	4月25日	晴
1697年	6月14日	元禄10年	4月26日	晴 申の下刻より雨 終夜に及ぶ
1697年	6月15日	元禄10年	4月27日	昨夜より雨時々 巳の刻に及ぶ (各地の田植え初め、各地で馬47疋犬4疋が狼に喰われる)
1697年	6月16日	元禄10年	4月28日	陰晴 辰の刻小雨 (狼打ち3人(1チーム)出す)
1697年	6月17日	元禄10年	4月29日	今朝霞 巳の刻より快晴
1697年	6月18日	元禄10年	4月30日	晴
1697年	6月19日	元禄10年	5月1日	晴 (御用番役職付氏名あり)
1697年	6月20日	元禄10年	5月2日	快晴 (代官の異動多数)
1697年	6月21日	元禄10年	5月3日	辰の中刻まで霧 巳の下刻より快晴 午の下刻雷発す
1697年	6月22日	元禄10年	5月4日	霧 辰の中刻に及ぶ 巳の刻より晴 (塩分町で男自害)
1697年	6月23日	元禄10年	5月5日	曇 寅の刻より時々小雨 終日に及ぶ (茂森の歌舞伎芝居で御馬廻与力が脇差抜き暴れ・つかまる)
1697年	6月24日	元禄10年	5月6日	晴 (御小納戸登金の覚え・御発駕前500両・5月150両・7月400両・9月200両・12月150両・元禄11年3月150両)
1697年	6月25日	元禄10年	5月7日	晴
1697年	6月26日	元禄10年	5月8日	晴 (今別町の飯米として米50俵御払い願ひ・1俵21匁で払い出す、今屋九時半時広田組赤堀村で百姓が乱気自害)
1697年	6月27日	元禄10年	5月9日	曇 午の下刻より雨 戌の刻に及ぶ
1697年	6月28日	元禄10年	5月10日	曇 卯の中刻より晴 (29日桑(野)木田組小幡村に薨れ狼あり・たけ耳ノ付本より尾之付本迄2尺7寸5歩……前足長さ9寸5歩尤水かき有……とうたい廻り2尺2寸5歩、親方町で下人自害)
1697年	6月29日	元禄10年	5月11日	曇 巳の中刻より雨 申の刻に及び止む
1697年	6月30日	元禄10年	5月12日	曇 巳の下刻より小雨時々 未の刻に及ぶ (大間越町奉行からお蔵米30俵を1俵20目で御払い願ひ・払い出す、高杉組十腰内村の御伝馬約69人に1日2合・其外に1合宛御救い米申し渡す)

1697年	7月1日	元禄10年	5月13日	曇	巳の刻より快晴 (大鱈御菜園所より初胡瓜5つ差上げる)
1697年	7月2日	元禄10年	5月14日	陰晴	午の刻より雨 (3月22日夜の蟹田大火の火元の入寺赦免)
1697年	7月3日	元禄10年	5月15日	陰晴	申の刻より雨時々 終夜に及ぶ (菓子値段あり: 白屋うかん1本二付代銭2匁5分宛など、和徳組百田村に御救い米、御金蔵に金銀銭なし、天気不宣候に付沖ノ口留め候)
1697年	7月4日	元禄10年	5月16日	曇	辰の刻より雨 終日に及ぶ
1697年	7月5日	元禄10年	5月17日	曇	雨時々 未の刻に及ぶ 下から続く 15人出ず、当月にいたり毎日のように東風・米雑穀の津留を四奉行が申し立てる)
1697年	7月6日	元禄10年	5月18日	曇	霧 巳の刻より晴 (12日深浦で男の妹・15日赤石組月屋村で22歳娘がふき取り中熊に食い殺され・16日深浦で獅子(熊か)に追われ連れに声かけ助かる、芥子油採りに3組 上に続く)
1697年	7月7日	元禄10年	5月19日	曇	辰の上刻より雨 終日に及ぶ (熊・狼に対し鉄砲打ち1組出す)
1697年	7月8日	元禄10年	5月20日	曇	巳の下刻より時々雨 終日に及ぶ
1697年	7月9日	元禄10年	5月21日	曇	卯の刻より時々雨 終日終夜に及ぶ (津出し停止)
1697年	7月10日	元禄10年	5月22日	曇	辰の刻小雨 暫くして止む 巳の刻より晴
1697年	7月11日	元禄10年	5月23日	曇	卯の刻小雨 巳の下刻止む
1697年	7月12日	元禄10年	5月24日	晴	
1697年	7月13日	元禄10年	5月25日	晴	
1697年	7月14日	元禄10年	5月26日	晴	(当月24日までに残らず植仕廻、24日十三湊口で破船1艘・米340俵海に流す)
1697年	7月15日	元禄10年	5月27日	陰晴	霜降 (5月25日横内組小柳村の35男が熊に喰殺される)
1697年	7月16日	元禄10年	5月28日	曇	霞 卯の刻より時々雨 (御用古酒1升を1匁2分宛で御払いとする、雨風留めの祈祷を命ず)
1697年	7月17日	元禄10年	5月29日	晴	
1697年	7月18日	元禄10年	6月1日	陰晴	(御用番役職氏名あり)
1697年	7月19日	元禄10年	6月2日	晴	
1697年	7月20日	元禄10年	6月3日	陰晴	
1697年	7月21日	元禄10年	6月4日	陰晴	暑気 (おそらく24日の十三湊の濡れ米入札: 1俵につき6匁9分宛)
1697年	7月22日	元禄10年	6月5日	陰晴	辰の後刻少し雨 則止む
1697年	7月23日	元禄10年	6月6日	晴	(大鱈御菜園場より初茄子9持参す)
1697年	7月24日	元禄10年	6月7日	陰晴	(近年鮭の川入り不足・今明年川筋鮭留停止: 資源の保護からすごいことだと福眞は思う)
1697年	7月25日	元禄10年	6月8日	陰晴	午の下刻より小雨時々 (金木組野崎村の高無に御救い)
1697年	7月26日	元禄10年	6月9日	陰晴	未の下刻甚だしい雨 則止む
1697年	7月27日	元禄10年	6月10日	辰の刻より雨 終日終夜に及ぶ (駒越渡昨夜丑刻より洪水・仮橋引取り橋杭水下に)	
1697年	7月28日	元禄10年	6月11日	時々小雨 終日に及ぶ 申の下刻雷電数発す 同刻より甚だしい雨 終夜に及ぶ (湯者より買い上げ: 縄・わらんす・沓・馬沓・草履・吹・蕙)	
1697年	7月29日	元禄10年	6月12日	曇	時々小雨 終日に及ぶ (昨11日より常盤組7か村で水湛、11日より赤田組3か村水湛)
1697年	7月30日	元禄10年	6月13日	曇	巳の刻小雨止む 未の刻雨 則止む (御取納米の内銭にて上納値段: 六文銭にて1俵に付25匁)
1697年	7月31日	元禄10年	6月14日	晴	午の下刻曇 雷発す 大雨未の刻止む 申の刻雨 戌の刻雷電数発す 大雨 亥の刻止む
1697年	8月1日	元禄10年	6月15日	晴	甚だしく暑い 巳の下刻雷数す 即刻小雨時々 未の刻に及ぶ それより快晴 (8日より増館組8か村119町大雨で・8日より桑木田組3か村40町で・11日より種市・青女子村で水湛)
1697年	8月2日	元禄10年	6月16日	曇	巳の中刻小雨時々 (大間越に狼多く出る・牛馬喰われ鉄砲打ち求める。14日の雨で日照田村で水湛)
1697年	8月3日	元禄10年	6月17日	曇	卯の後刻雷発す 雨時々 未の刻より晴 (13日十三湊で破船1艘)
1697年	8月4日	元禄10年	6月18日	陰晴	辰の刻小雨 則止む
1697年	8月5日	元禄10年	6月19日	陰晴	辰の中刻より小雨 巳の後刻に及び止む (大間越と横内組に鉄砲打ち4人+目付け役2人(2組)出す、大俵村等に御救米)
1697年	8月6日	元禄10年	6月20日	快晴	甚だしく暑い (材木値段: 2間6寸才400本の代銀440目)
1697年	8月7日	元禄10年	6月21日	快晴	甚だしく暑い
1697年	8月8日	元禄10年	6月22日	陰晴	甚だしく暑い (昨夜細越村(高杉組か油川組)で火災1軒)
1697年	8月9日	元禄10年	6月23日	陰晴	
1697年	8月10日	元禄10年	6月24日	快晴	
1697年	8月11日	元禄10年	6月25日	陰晴	(蟹田に每晚狼が14・5匹ばかり来て馬が食い殺される・小国には熊多く出る・鉄砲打ちを求める)
1697年	8月12日	元禄10年	6月26日	晴	辰巳の刻小雨 則止む
1697年	8月13日	元禄10年	6月27日	快晴	(6月21日昼九時分藤代組青女子で男乱気・女房切り殺し娘負傷させる、6月17日夜米を運んでいた男が殺される)
1697年	8月14日	元禄10年	6月28日	快晴	甚だしく暑い (代官が大幅に異動、5月5日記述の芝居小屋で暴れた家中が弘前及び大郷追放)
1697年	8月15日	元禄10年	6月29日	陰晴	巳の後刻より雨 (御小納戸金200両を江戸に上げる、28日夜(大光寺組)苗生松村庄屋に預けた唐犬が狼に喰われる)
1697年	8月16日	元禄10年	6月30日	陰晴	昨夜より雨 辰の下刻に及び止む 午の刻甚だしい雨 則止む
1697年	8月17日	元禄10年	7月1日	陰晴	甚だしく暑い 未の刻雨 則止む それより小雨時々 夜に及ぶ (御用番役職氏名あり) (大鱈御菜園場より初米持参)
1697年	8月18日	元禄10年	7月2日	陰晴	巳の刻より小雨時々 午の中刻より快晴 (昨日の雨で藤崎川八分の洪水・船で往来、藤崎村御伝馬所の35軒153人に御救米)
1697年	8月19日	元禄10年	7月3日	曇	辰の中刻より雷 午の刻に及び晴
1697年	8月20日	元禄10年	7月4日	陰晴	(高杉組十腰内村御伝馬所の高無共湯命・御救米1日2合と老若に1合)
1697年	8月21日	元禄10年	7月5日	晴	(4月26日から5月4日に植えた晩生稲が出穂、広須新田から丹頂を差上げる、古懸不動尊出汗)
1697年	8月22日	元禄10年	7月6日	陰晴	辰の中刻小雨 則止む
1697年	8月23日	元禄10年	7月7日	晴	卯の下刻小雨 即止む 甚だしく暑い 巳の刻より雨 申の刻に及ぶ
1697年	8月24日	元禄10年	7月8日	快晴	(3日夜七時青森船が大間越で破船、松山玄三が阿ふ、やうを仰せ付けられている)
1697年	8月25日	元禄10年	7月9日	快晴	(門外村から初米差上げる、駒越組田代村・桜庭村・宮地村で狼荒れ鉄砲打ち求める)
1697年	8月26日	元禄10年	7月10日	快晴	(7日の雨で駒越側洪水仮橋引取る・往還は石渡から長船で)
1697年	8月27日	元禄10年	7月11日	晴	(駒越組に立会い御徒目付1人と鉄砲打ち足軽2人に狼打ちを命ず、今別町に御蔵米25俵を1俵につき22匁で御払い願い・了)
1697年	8月28日	元禄10年	7月12日	曇	辰の刻雷 則止む 同刻より小風小雨 則止む 巳の下刻雨 則止む (濡米値段: 4斗入り1俵7匁5分と7匁)
1697年	8月29日	元禄10年	7月13日	曇	午の中刻小雨 未の刻に及び止む
1697年	8月30日	元禄10年	7月14日	晴	申の刻より小雨終夜
1697年	8月31日	元禄10年	7月15日	晴	

1697年 9月1日 元禄10年 7月16日 暑 巳の刻小雨 午の中刻に及ぶ (弓の稽古中に事故・9歳男子負傷・死亡)
 1697年 9月2日 元禄10年 7月17日 陰晴 丑の刻雨時々 午の刻に及ぶ
 1697年 9月3日 元禄10年 7月18日 曇 巳の下刻より雨時々 終日終夜に及ぶ (材木値段:2間6寸才250本代銀275匁、8日と徳組高崎村に24・5男倒・病人引取り後今朝病死)
 1697年 9月4日 元禄10年 7月19日 辰の下刻より雨時々 終日に及ぶ 未の后刻雷発す 甚だしい雨数々
 1697年 9月5日 元禄10年 7月20日 陰晴 (15日野内浜江3間9寸角8本など流木寄せ、今朝六つ時頃岩木川駒越渡し洪水・仮橋引取る、佐内殿風気で頭痛・さむ気、昨19日の大雨で黒石浪岡方面に被害)
 1697年 9月6日 元禄10年 7月21日 晴
 1697年 9月7日 元禄10年 7月22日 快晴 (19日藤崎川洪水・橋杭12本押流す)
 1697年 9月8日 元禄10年 7月23日 陰晴
 1697年 9月9日 元禄10年 7月24日 陰晴
 1697年 9月10日 元禄10年 7月25日 陰晴 辰の下刻小雨 則止み晴 (今日八つ時半元大工町で大工の女房縊死)
 1697年 9月11日 元禄10年 7月26日 快晴 亥の上刻雨 則止む (江戸より15日清昌院様御遠行の報)
 1697年 9月12日 元禄10年 7月27日 晴
 1697年 9月13日 元禄10年 7月28日 快晴 (21日夜大間越で狼打ちが狼打つ、19日昼八時より六つ過ぎ迄西日方大風・大木等倒れる・粟と蕎麦は実入らず)
 1697年 9月14日 元禄10年 7月29日 陰晴 残暑甚だしい (初菰15小栗山などから差上げる)
 1697年 9月15日 元禄10年 8月1日 陰晴 昨夜より雨時々 巳の中刻に及び止む (御用番役職氏名あり)
 1697年 9月16日 元禄10年 8月2日 晴 小風
 1697年 9月17日 元禄10年 8月3日 快晴 (広須新田牛湯村より丹頂鶴2羽差上げる、鱈ヶ沢で青森船破船)
 1697年 9月18日 元禄10年 8月4日 陰晴 (藤崎御伝馬所の153人・高杉組十腰内村御伝馬所の98人に御救い米)
 1697年 9月19日 元禄10年 8月5日 曇 辰の上刻より雨 終日終夜に及ぶ
 1697年 9月20日 元禄10年 8月6日 曇 雨 終日終夜に及ぶ
 1697年 9月21日 元禄10年 8月7日 陰晴 申の刻雷発す 則止み時々小雨 終日終夜に及ぶ
 1697年 9月22日 元禄10年 8月8日 陰晴 辰の刻雷時々小雨 午の刻に及び止む 戌の刻雷数々発す 雨終夜に及ぶ (十三漁師より初鮭1本(長1尺8寸5歩幅5寸)差上げる)
 1697年 9月23日 元禄10年 8月9日 曇 辰の刻雷 巳の刻雷 雨終日に及ぶ (清水森村に御救米、材木値段:2間6寸才300本の代銀330目)
 1697年 9月24日 元禄10年 8月10日 陰晴 (7日朝大間越で狼打ち留める、頃日打ち続き天気相悪く候につき嵩湯入り停止、枯木平村に頃日毎日のようにあられ降る・8日9日は雪積もる)
 1697年 9月25日 元禄10年 8月11日 快晴 (植田村から1家10人走る、牧代官支配村々の作毛報告・青立ち多い) 下から続く 大風雨・阿ら連(霰)降る・稲も吹こぼれる(吹きこぼれる)、深浦では 下の欄外(*)に続く
 1697年 9月26日 元禄10年 8月12日 曇 午の刻より雨 終夜に及ぶ (あふやう作り担当が玄三から辻道益に) 下から続く ・大根散々・他の村は凍り降ったが少々、赤石組・油川組・深浦町でも8-10日に 上に続く
 1697年 9月27日 元禄10年 8月13日 曇 午の刻小雨時々 夜に入り甚だしい雨 (9日夜五つ半頃横内組で俄か難風・水夥しく降る・作道・小橋・戸山等6村では翌日八時迄氷消え残る・稲・大豆・小豆・あわ・稗・蕎麦 上に続く
 1697年 9月28日 元禄10年 8月14日 陰晴 卯の中刻小雨 則止み晴
 1697年 9月29日 元禄10年 8月15日 快晴 (13日夜四半時分藤崎御蔵(3間×25間)潰れる)
 1697年 9月30日 元禄10年 8月16日 陰晴 夜に入り小風 (大間越・駒越に出した狼打ちに引取りを命ず)
 1697年 10月1日 元禄10年 8月17日 曇 寅の刻より雨 辰の刻に及び止む
 1697年 10月2日 元禄10年 8月18日 陰晴 岩木山頂上初雪見える (検見人決まる・組ごとに検見人1人(御手廻り・浦々町奉行等の上士)・その組の代官2人・算者1人・目付役1人の計5人)
 1697年 10月3日 元禄10年 8月19日 大霜 曇 酉の刻より雨 終夜に及ぶ
 1697年 10月4日 元禄10年 8月20日 曇 昨夜より雨 終日に及ぶ 酉の刻止む (小森村の一家に米貸し渡す)
 1697年 10月5日 元禄10年 8月21日 快晴 (検見人の賄いを百姓でなくするよう郡奉行が申立てる・当年は願いどおり、籠舎中の食事・公用視察の際の食事等は現地住民の負担が普通であった・経費はその年の税から除らしい)
 1697年 10月6日 元禄10年 8月22日 快晴 下から続く 候分94軒 乗馬1疋・小荷駄1疋
 1697年 10月7日 元禄10年 8月23日 快晴 下から続く ・上女923(631・149・49・72・12・10(順は同じ))・下男300(186・66・25・20・1・2)・下女190(111・40・20・19・0・0)・家屋敷60軒・支配方にて取持ち仕 上に続く
 1697年 10月8日 元禄10年 8月24日 陰晴 昨夜より雨 辰の刻に及び止む (御用人支配当秋切支丹宗門相改候人数の覚:惣人数合2460人・上男1407(禪718・浄土166・門徒67・法花74・天台10・真言12) 上に続く
 1697年 10月9日 元禄10年 8月25日 快晴
 1697年 10月10日 元禄10年 8月26日 快晴
 1697年 10月11日 元禄10年 8月27日 快晴
 1697年 10月12日 元禄10年 8月28日 曇 巳の后刻小雨 則止む 酉の刻雨 則止む
 1697年 10月13日 元禄10年 8月29日 曇
 1697年 10月14日 元禄10年 8月30日 陰晴 申の中刻小雨 則止む 亥の下刻雨 則止む (一昨28日御菜園より新蕎麦2斗8升上がる)
 1697年 10月15日 元禄10年 9月1日 快晴 (御用番役職氏名あり)
 1697年 10月16日 元禄10年 9月2日 快晴
 1697年 10月17日 元禄10年 9月3日 午の中刻より時々雨 申の下刻に及ぶ
 1697年 10月18日 元禄10年 9月4日 陰晴
 1697年 10月19日 元禄10年 9月5日 晴
 1697年 10月20日 元禄10年 9月6日 晴 (若い女を他国に出す商売人3人の報告)
 1697年 10月21日 元禄10年 9月7日 陰晴 霧(渴命の話色々)
 1697年 10月22日 元禄10年 9月8日 曇 辰の刻より小雨時々 終日終夜に及ぶ (岳入湯停止、今朝までに鮭52本差上げている、当年は漆之実大成)
 1697年 10月23日 元禄10年 9月9日 曇 昨夜より雨時々 終日終夜に及ぶ
 1697年 10月24日 元禄10年 9月10日 岩木山頂上に雪見る 卯の刻より雨時々 未の刻に及び止む
 1697年 10月25日 元禄10年 9月11日 陰晴 午の刻より雨時々 申の下刻に及び止む (江戸で米平均値段1両に付き1石2斗6升2合宛)
 1697年 10月26日 元禄10年 9月12日 陰晴 霜 岩木山頂上雪見る 辰の下刻少し雨時々
 1697年 10月27日 元禄10年 9月13日 陰晴 卯の中刻丸雪降る 則止む (加勢御検見人9人・算者・代目付も任命)
 1697年 10月28日 元禄10年 9月14日 晴
 1697年 10月29日 元禄10年 9月15日 曇 卯の下刻より雨 終日終夜に及ぶ
 1697年 10月30日 元禄10年 9月16日 曇 昨夜より雨 戌の刻に及び止む
 1697年 10月31日 元禄10年 9月17日 晴

(*) 龍が落ち氷の大きき1寸四方斗で翌日まで消えず、昨晚東長町御蔵に米盗人入る

1697年 11月1日 元禄10年	9月18日 晴	(今15・16日の雨で藤崎川洪水・昨夜四つ時分藤崎渡仮橋板引取り舟で往還、岩木川17日朝六つ時に洪水・駒越渡の歩行橋引取り近名渡(の)長舟渡とする)	
1697年 11月2日 元禄10年	9月19日 晴	(16日夜木戸ヶ沢御銀山で火災・無人の台所等3軒焼失)	
1697年 11月3日 元禄10年	9月20日 晴	大霜 (17日鱒ヶ沢で小荷駄が狼に襲われ1斃2傷)	
1697年 11月4日 元禄10年	9月21日 曇	午の后刻雨時々 未の刻より雨 終日に及ぶ 夜に入り時々 終夜に及ぶ	
1697年 11月5日 元禄10年	9月22日 曇	昨夜より雨時々 終日に及ぶ 辰の中刻丸雪 未の后刻雷発す 則刻雪 則止む (兵庫殿・造酒の丞殿・左内殿付坊主残らず暇・行水も止める)	
1697年 11月6日 元禄10年	9月23日 晴		
1697年 11月7日 元禄10年	9月24日 曇	四方山雪見る 辰の后刻少し雨 巳の刻に及び止む	
1697年 11月8日 元禄10年	9月25日 晴		
1697年 11月9日 元禄10年	9月26日 陰晴	午の中刻小雨 則止む	
1697年 11月10日 元禄10年	9月27日 曇	卯の中刻雨時々 終日終夜に及ぶ	
1697年 11月11日 元禄10年	9月28日 陰晴	卯の下刻小雪暫く 午の下刻雨 申の刻に及び止む	
1697年 11月12日 元禄10年	9月29日 陰晴	寅の刻より雪時々 終日に及ぶ	
1697年 11月13日 元禄10年	9月30日 晴		
1697年 11月14日 元禄10年	10月1日 曇	午の后刻より雨 申の刻に及び后刻止む	
1697年 11月15日 元禄10年	10月2日 陰晴	酉の后刻雨時々 終夜に及ぶ	
1697年 11月16日 元禄10年	10月3日 曇	寅の刻より雪時々 終日に及ぶ	
1697年 11月17日 元禄10年	10月4日 晴		
1697年 11月18日 元禄10年	10月5日 晴	大霜 地氷る 酉の后刻より雨 終夜に及ぶ	
1697年 11月19日 元禄10年	10月6日 晴	酉の刻より時々雨 終夜に及ぶ	
1697年 11月20日 元禄10年	10月7日 曇	卯の上刻より雪丸時々 巳の刻より雨時々 終日終夜に及ぶ (9月27日夜深浦で一家(男2女1)走る)	
1697年 11月21日 元禄10年	10月8日 曇	雨時々 終日終夜に及ぶ	
1697年 11月22日 元禄10年	10月9日 曇	雨時々 終日終夜に及ぶ	
1697年 11月23日 元禄10年	10月10日 曇	雨時々 終日に及ぶ 寅の中刻地震	
1697年 11月24日 元禄10年	10月11日 陰晴		
1697年 11月25日 元禄10年	10月12日 陰晴	酉の刻雨時々 終夜に及ぶ (7日晚浪岡組山里村宿外に30斗男倒死・黒石の家来て死骸渡す)	
1697年 11月26日 元禄10年	10月13日 曇	昨夜より雨 巳の下刻に及び止む 夜に入り雪	
1697年 11月27日 元禄10年	10月14日 陰晴	時々小雪	
1697年 11月28日 元禄10年	10月15日 曇	雪 (今13日夜碓関山神堂林で20斗男倒死)	
1697年 11月29日 元禄10年	10月16日 曇	雪時々 終日終夜に及ぶ	
1697年 11月30日 元禄10年	10月17日 曇	雪時々 終日終夜に及ぶ	
1697年 12月1日 元禄10年	10月18日 陰晴	辰の刻小雪 則止む	
1697年 12月2日 元禄10年	10月19日 陰晴		
1697年 12月3日 元禄10年	10月20日 晴		
1697年 12月4日 元禄10年	10月21日 陰晴	寅の刻より雨時々 辰の刻に及び止む	
1697年 12月5日 元禄10年	10月22日 曇	辰の下刻より時々雪 未の刻に及ぶ	
1697年 12月6日 元禄10年	10月23日 晴	辰の下刻小雪 則止む	
1697年 12月7日 元禄10年	10月24日 陰晴	午の中刻小雪 則止む	
1697年 12月8日 元禄10年	10月25日 晴	下から続く (たからづ)久右衛門より勘定奉行江申渡候様可申付旨被申其段久右衛門江申渡之目録相渡之	
1697年 12月9日 元禄10年	10月26日 晴	酉の下刻より雨 終夜に及ぶ 下から続く 稗64石7斗5升1合4タ・右(この場合下の意)之目録今日鞆負(家老)より被相渡右之金銀米銭連々返納仕候様二財津	上に続く
1697年 12月10日 元禄10年	10月27日 曇	卯の刻より霧 午の刻霽(せい:晴の意) 下から続く 343匁4分7厘5毛・米高5188石9斗7升7タ・大豆1159石4斗1合1タ・粟81石3斗6升8合5タ・蕎麦127石9斗8合5タ	上に続く
1697年 12月11日 元禄10年	10月28日 陰晴	巳の刻霽 終日に及ぶ (鱒ヶ沢に出した狼打ち引取る、御内分御歳より表御歳江取替之金銀米雑穀:金高15078両銀11匁7分6厘・銀高215貫835匁6分2リ・銭高266貫	上に続く
1697年 12月12日 元禄10年	10月29日 晴	夜に入り雪	
1697年 12月13日 元禄10年	11月1日 陰	雪時々 終日終夜に及ぶ	
1697年 12月14日 元禄10年	11月2日 陰晴	昨夜雪 盈(みちる)事尺に及ぶ	
1697年 12月15日 元禄10年	11月3日 陰	時々少し雪 (昨2日猿賀組大袋村に60斗男倒死)	
1697年 12月16日 元禄10年	11月4日 陰晴	時々雪 終日終夜に及ぶ	
1697年 12月17日 元禄10年	11月5日 陰晴	巳の中刻小雪 暫くして止む 夜に入り雪	
1697年 12月18日 元禄10年	11月6日 陰	時々雪 終日終夜に及ぶ	
1697年 12月19日 元禄10年	11月7日 曇	吹風 終日に及ぶ	
1697年 12月20日 元禄10年	11月8日 陰	亥の后刻地震 (昨7日屋九頃浪岡組竹鼻村で馬屋(5間×3間)が雪で潰れる・牛馬各1疋斃れる)	
1697年 12月21日 元禄10年	11月9日 晴	冬至 丑の三刻入る	
1697年 12月22日 元禄10年	11月10日 陰	未の刻より雨時々 終夜に及ぶ	
1697年 12月23日 元禄10年	11月11日 曇	寅の刻雷発す 昨夜より雨 辰の刻に及び止む 夜に入り小風 (南部で飢饉)	
1697年 12月24日 元禄10年	11月12日 陰	辰の中刻小雪 則止む	
1697年 12月25日 元禄10年	11月13日 曇	昨夜より雪 終日終夜に及ぶ	
1697年 12月26日 元禄10年	11月14日 曇	雪 終日終夜に及ぶ	
1697年 12月27日 元禄10年	11月15日 陰晴	昨夜より雪 巳の刻に及び止む 夜に入り雪 (馬値段:71匁から151匁5分1厘、初鱒3本代銭10匁)	
1697年 12月28日 元禄10年	11月16日 陰晴	雪時々 終日に及ぶ	
1697年 12月29日 元禄10年	11月17日 曇	雪時々 終日に及ぶ	
1697年 12月30日 元禄10年	11月18日 曇	雪時々 終日に及ぶ	
1697年 12月31日 元禄10年	11月19日 陰晴	雪時々 終日終夜に及ぶ	

1698年	1月1日	元禄10年	11月20日	陰晴	時々雪 終日に及ぶ (兵庫殿より月に1度くらいの行水を希望されたとの事)
1698年	1月2日	元禄10年	11月21日	晴	
1698年	1月3日	元禄10年	11月22日	晴	夜に入り小雨
1698年	1月4日	元禄10年	11月23日	曇	雪 終日に及ぶ
1698年	1月5日	元禄10年	11月24日	曇	小寒 辰の刻 巳の中刻より雪 終日に及ぶ 下から続く 生オットセイ献上の褒美に青銅25匁、23日後潟組沖で3艘破船、一昨23日古懸山不動尊御出汗
1698年	1月6日	元禄10年	11月25日	曇	昨夜の雪尺に盈(みちる) 雪時々 終日終夜に及ぶ (兵庫殿行水の件を隼人(家老)に相達し候処・まかり越し申す間敷き由申され・磯谷十助(大目付)江之を申し渡す、 上に続く
1698年	1月7日	元禄10年	11月26日	陰晴	吹雪 午の刻に及ぶ止む 夜に入り雪 (今日東風強蟹田湊で南部船破船)
1698年	1月8日	元禄10年	11月27日	晴	
1698年	1月9日	元禄10年	11月28日	陰	辰の刻より雪時々 終日終夜に及ぶ (江戸より12日振りに申し付けの飛脚が大雪で17日振りに到着)
1698年	1月10日	元禄10年	11月29日	陰	時々雪 夜に及ぶ
1698年	1月11日	元禄10年	11月30日	陰	卯の刻より丸雪 巳の刻に及び止む
1698年	1月12日	元禄10年	12月1日	快晴	
1698年	1月13日	元禄10年	12月2日	快晴	
1698年	1月14日	元禄10年	12月3日	晴	卯の刻雪 巳の刻に及び止む (東長町御蔵奉行を申付けられた男が相役も無算故差替えを願う・家老に相談し差替えを申し付ける:蔵奉行は2人で馬廻組のはず・無算も少なくない)
1698年	1月15日	元禄10年	12月4日	陰	巳の中刻より曇時々 終日終夜に及ぶ (12月朔日大光寺組大光寺村へ預けた唐犬が狼に取られる)
1698年	1月16日	元禄10年	12月5日	陰	巳の刻より雪時々 終日に及ぶ (役料は4斗入り俵か)
1698年	1月17日	元禄10年	12月6日	陰	(鮭の献上値段:上1本11匁・中6匁7部・下3匁2分2厘4毛)
1698年	1月18日	元禄10年	12月7日	晴	(下長町に12・3の女乞食倒死)
1698年	1月19日	元禄10年	12月8日	陰晴	雪時々 終日に及ぶ
1698年	1月20日	元禄10年	12月9日	晴	午の刻大寒
1698年	1月21日	元禄10年	12月10日	陰	雪 終日終夜に及ぶ 吹雪
1698年	1月22日	元禄10年	12月11日	陰晴	午の刻雪時々 申の中刻より吹雪 終夜に及ぶ
1698年	1月23日	元禄10年	12月12日	陰晴	時々吹雪 終日に及ぶ (御徒3人新採用(御家中の弟・身長5尺5寸から5尺5寸8分))
1698年	1月24日	元禄10年	12月13日	陰	時々雪
1698年	1月25日	元禄10年	12月14日	陰	雪時々 夜に及ぶ (弘前町中酒値段:1匁2分(うち運上4分))
1698年	1月26日	元禄10年	12月15日	陰	雪時々 終日に及ぶ
1698年	1月27日	元禄10年	12月16日	曇	卯の刻より風雲 終日に及ぶ (昨10日の夜石浜村湊に難風・破船1艘荷打ち1艘)
1698年	1月28日	元禄10年	12月17日	陰	卯の刻雪 巳の刻止む
1698年	1月29日	元禄10年	12月18日	曇	寅の刻より雪 終日終夜に及ぶ
1698年	1月30日	元禄10年	12月19日	陰晴	昨夜雪 一尺に及ぶ (一昨晦日伊奈兵右衛門様遠島・屋形様御目見御遠慮・鳴り物停止)
1698年	1月31日	元禄10年	12月20日	快晴	
1698年	2月1日	元禄10年	12月21日	快晴	夜に入り雪 下から続く 目形7厘の代銭1貫166文)
1698年	2月2日	元禄10年	12月22日	陰晴	小雪時々 終日夜に及ぶ (再雇用3人、金13両=銭799匁5分・8人扶持が14石1斗6升=銭566匁4分・左の2口を合せ1貫365匁5分、貝の玉の値段例:目形1分の1粒が1貫・ 上に続く
1698年	2月3日	元禄10年	12月23日	晴	辰の下刻小雪 暫くして止む
1698年	2月4日	元禄10年	12月24日	陰晴	巳の下刻より雪 終日に及ぶ (12月22日朝深浦御蔵目付自害)
1698年	2月5日	元禄10年	12月25日	吹雪	終日終夜に及ぶ
1698年	2月6日	元禄10年	12月26日	快晴	
1698年	2月7日	元禄10年	12月27日	快晴	(25日朝青森で西風により2艘破船、碇関で大風・飛脚が動けない)
1698年	2月8日	元禄10年	12月28日	快晴	(当月8日に山に入った桜庭村の獵師共8人が行方不明)
1698年	2月9日	元禄10年	12月29日	陰	吹雪 終日に及ぶ
1698年	2月10日	元禄10年	12月30日	陰晴	午の刻雪時々 又夜に入り雪
1698年	2月11日	元禄11年正月1日		陰晴	午の刻雪時々 夜に入り雪 (御用番氏名のみ)
1698年	2月12日	元禄11年正月2日		陰晴	未の刻雪 申の刻曇 酉の刻より雨 終夜に及ぶ
1698年	2月13日	元禄11年正月3日		曇	卯の刻より風 未の刻に及び止む 雪時々 夜に及ぶ (吉例により200両差登)
1698年	2月14日	元禄11年正月4日		曇	雪 終日終夜に及ぶ
1698年	2月15日	元禄11年正月5日		陰晴	雪時々 終日終夜に及ぶ
1698年	2月16日	元禄11年正月6日		曇	雪時々 終日終夜に及ぶ
1698年	2月17日	元禄11年正月7日		陰晴	辰の刻雪 暫くして止む
1698年	2月18日	元禄11年正月8日		快晴	(大間越で旧冬27日に雪にて(雪崩)で死者1人)
1698年	2月19日	元禄11年正月9日		陰晴	午の下刻小雨 申の刻より曇 夜に及ぶ
1698年	2月20日	元禄11年正月10日		曇	雲終日 夜に入り雪
1698年	2月21日	元禄11年正月11日		陰晴	午の刻雪 暫くして止む
1698年	2月22日	元禄11年正月12日		晴	(江戸より10日振りに申し付けの飛脚が尾花沢の大雪で11日振りに到着、屋形様御目見御遠慮御免)
1698年	2月23日	元禄11年正月13日		快晴	
1698年	2月24日	元禄11年正月14日		曇	卯の下刻雨 終日に及ぶ
1698年	2月25日	元禄11年正月15日		曇	雪時々 巳の中刻に及び止む 夜に入り雪
1698年	2月26日	元禄11年正月16日		曇	雪時々 終日に及ぶ
1698年	2月27日	元禄11年正月17日		晴	
1698年	2月28日	元禄11年正月18日		晴	

1698年 3月1日 元禄11年正月19日 快晴
 1698年 3月2日 元禄11年正月20日 快晴 霜
 1698年 3月3日 元禄11年正月21日 快晴
 1698年 3月4日 元禄11年正月22日 快晴
 1698年 3月5日 元禄11年正月23日 快晴
 1698年 3月6日 元禄11年正月24日 快晴
 1698年 3月7日 元禄11年正月25日 快晴
 1698年 3月8日 元禄11年正月26日 晴
 1698年 3月9日 元禄11年正月27日 陰晴
 1698年 3月10日 元禄11年正月28日 晦 小風
 1698年 3月11日 元禄11年正月29日 快晴
 1698年 3月12日 元禄11年 2月1日 快晴 (御用番氏名のみ)
 1698年 3月13日 元禄11年 2月2日 快晴 (赤田組・木田組で狼荒れる、狼打ちを明日出す)
 1698年 3月14日 元禄11年 2月3日 快晴 夜雨暫く
 1698年 3月15日 元禄11年 2月4日 曇 午の中刻より雨 終夜に及ぶ
 1698年 3月16日 元禄11年 2月5日 曇 (昨夜中の雨で石渡川・藤崎川洪水、石渡橋30間ほど流失・藤崎・駒越仮橋引取る、今晚古懸不動出汗)
 1698年 3月17日 元禄11年 2月6日 午の下刻小雨 暫くして止む (千年山の福寿草咲く、大光寺組館田渡洪水、仮橋板柱とも押し流す、昨日の大水で藤崎川の長船・馬船が流失)
 1698年 3月18日 元禄11年 2月7日 陰晴
 1698年 3月19日 元禄11年 2月8日 陰晴 申の中刻雨 亥の刻に及ぶ 又夜雪
 1698年 3月20日 元禄11年 2月9日 午の中刻より雨
 1698年 3月21日 元禄11年 2月10日 曇 亥の刻小雨時々 終夜に及ぶ
 1698年 3月22日 元禄11年 2月11日 曇 小風 時々雪 夜に入り雪
 1698年 3月23日 元禄11年 2月12日 陰晴
 1698年 3月24日 元禄11年 2月13日 陰晴 彼岸
 1698年 3月25日 元禄11年 2月14日 晴 戌の刻より夜雨 小風
 1698年 3月26日 元禄11年 2月15日 曇 昨夜より雨 巳の刻止む
 1698年 3月27日 元禄11年 2月16日 時々小雪 風
 1698年 3月28日 元禄11年 2月17日 晴
 1698年 3月29日 元禄11年 2月18日 晴 酉の刻より雨時々 終日夜に及ぶ
 1698年 3月30日 元禄11年 2月19日 曇 昨夜より雨時々 終日に及ぶ (国上寺(古懸)の不動尊出汗)
 1698年 3月31日 元禄11年 2月20日 曇 辰の下刻小雨 則止む 又夜に入り雨
 1698年 4月1日 元禄11年 2月21日 曇 雨時々 終日に及ぶ
 1698年 4月2日 元禄11年 2月22日 曇 卯の下刻雨 巳の後刻より雪 終日に及ぶ 夜に入り曇
 1698年 4月3日 元禄11年 2月23日 陰晴 巳の刻より雨時々
 1698年 4月4日 元禄11年 2月24日 陰晴 辰の刻小雨 暫くして止む
 1698年 4月5日 元禄11年 2月25日 晴
 1698年 4月6日 元禄11年 2月26日 快晴
 1698年 4月7日 元禄11年 2月27日 快晴
 1698年 4月8日 元禄11年 2月28日 快晴
 1698年 4月9日 元禄11年 2月29日 快晴 夜に入り風
 1698年 4月10日 元禄11年 2月30日 陰晴 風
 1698年 4月11日 元禄11年 3月1日 快晴 (御用番氏名のみ) (今日より御城中所々番所の火鉢引く、40坪に建て直す銀高711匁)
 1698年 4月12日 元禄11年 3月2日 快晴 霜
 1698年 4月13日 元禄11年 3月3日 快晴 (ご家中が借金の返済でもめて町人に切付ける)
 1698年 4月14日 元禄11年 3月4日 晴 卯の刻小雨 辰の刻に及び止む
 1698年 4月15日 元禄11年 3月5日 快晴 (今屋高杉組十腰内村の庄屋自害)
 1698年 4月16日 元禄11年 3月6日 曇 卯の中刻より雨時々 申の中刻雪 暫くして止む (4日未中刻横内組瀧沢村で火災5軒)
 1698年 4月17日 元禄11年 3月7日 晴 小風
 1698年 4月18日 元禄11年 3月8日 晴 (今日未中刻猿賀組大袋村で火災3軒・駒1疋焼失)
 1698年 4月19日 元禄11年 3月9日 晴
 1698年 4月20日 元禄11年 3月10日 晴
 1698年 4月21日 元禄11年 3月11日 曇 辰の中刻小雨時々 (明12日後湯組に狼打ち2組4人と立会い目付け2人を出す)
 1698年 4月22日 元禄11年 3月12日 曇 午の中刻より雨時々 終夜に及ぶ
 1698年 4月23日 元禄11年 3月13日 曇 午の中刻雨 則止む (昨12日駒籠山で狢共熊取る・胴長3尺7寸(耳合より尾きわ迄)胴の大きき2尺7寸廻り・上歯下歯とも20枚など)
 1698年 4月24日 元禄11年 3月14日 曇 卯の刻より雨時々 未の下刻に及び止む (昨13日昼八過ぎより浅瀬石川・石渡川・岩木川洪水、浅瀬石川黒石海道の仮橋引取る、石渡川・岩木川は船渡しも不能)
 1698年 4月25日 元禄11年 3月15日 晴 夜に入り雨 (西之御郭の火消し道具・熊手7挺・鎌9挺・わらた18・大水溜4つ・梯子5挺・手桶15、不足分として手桶20・大うちわ5本・長梯子1挺など、12日に取った熊の大きき:13日に記す)
 1698年 4月26日 元禄11年 3月16日 曇 昨夜より雨時々 終日夜に及ぶ
 1698年 4月27日 元禄11年 3月17日 晴 風 (今日大風・御本城辰巳の御矢倉で御屋根吹はけ申、15日駒籠山で15歳男熊に喰殺される)
 1698年 4月28日 元禄11年 3月18日 晴 風
 1698年 4月29日 元禄11年 3月19日 快晴
 1698年 4月30日 元禄11年 3月20日 陰晴 午の刻より雨 暫くして止む (昨19日昼九つ時油川組孫内村で野火・小松300本ほど焼失して打ち消す、去18日夜後時分飯詰組松野木村で後家入り養父が継子を打殺す)

1698年	5月1日	元禄11年	3月21日	曇	午の刻より晴 (19日駒籠山で横内組宮崎村の48歳百姓が薪取り中に熊に喰殺される、その牡熊(胴長4尺2寸・胴大さ3尺9寸)を狩・またき共取る、亥年7月より当寅年3月	下に続く
1698年	5月2日	元禄11年	3月22日	曇	○(子?)の下刻より小雨時々 上から続く 19日まで熊に喰殺された者11人・負傷2人)	
1698年	5月3日	元禄11年	3月23日	晴	(石渡川洪水・舟渡罷りならず)	
1698年	5月4日	元禄11年	3月24日	晴		
1698年	5月5日	元禄11年	3月25日	陰晴		
1698年	5月6日	元禄11年	3月26日	快晴	(取上で死刑:鯉ヶ沢の放火犯1人火罪・馬盗人で関所抜けの4人獄門・御家中の切米を盗んだ者と稲を盗み取った者3人斬罪)	
1698年	5月7日	元禄11年	3月27日	曇	卯の上刻小雨時々 未の刻に及び止む	
1698年	5月8日	元禄11年	3月28日	晴		
1698年	5月9日	元禄11年	3月29日	晴		
1698年	5月10日	元禄11年	4月1日	陰晴	風	
1698年	5月11日	元禄11年	4月2日	晴	小風	
1698年	5月12日	元禄11年	4月3日	快晴	霜	
1698年	5月13日	元禄11年	4月4日	曇	卯の中刻より小雨時々	
1698年	5月14日	元禄11年	4月5日	晴	午の中刻より小風	
1698年	5月15日	元禄11年	4月6日	晴		
1698年	5月16日	元禄11年	4月7日	曇	風 (今昼御家中屋敷境垣で出火・打消す)	
1698年	5月17日	元禄11年	4月8日	曇	時々雨	
1698年	5月18日	元禄11年	4月9日	晴	大霜 小風	
1698年	5月19日	元禄11年	4月10日	快晴	申の刻より曇 夜に入り雨 (馬入札3疋:28匁6分8厘から54匁5分6毛)	
1698年	5月20日	元禄11年	4月11日	曇	小風 午の中刻より時々雨 夜に入り止む (後湯組?に出していた狼打ち2組引取る)	
1698年	5月21日	元禄11年	4月12日	曇	午の中刻より時々雨 終日に及ぶ	
1698年	5月22日	元禄11年	4月13日	陰晴	午の上刻少し雨 則時止む 酉の下刻風雨 暫くして止む	
1698年	5月23日	元禄11年	4月14日	晴	風 (昨日小湊で余程の火災)	
1698年	5月24日	元禄11年	4月15日	快晴	(鳶之者7人・手木之者5人を召抱える(多分元禄8年に暇を出した者))	
1698年	5月25日	元禄11年	4月16日	晴		
1698年	5月26日	元禄11年	4月17日	曇	辰の後刻より小雨時々 終日に及ぶ	
1698年	5月27日	元禄11年	4月18日	曇		
1698年	5月28日	元禄11年	4月19日	晴		
1698年	5月29日	元禄11年	4月20日	晴		
1698年	5月30日	元禄11年	4月21日	晴		
1698年	5月31日	元禄11年	4月22日	晴	(鳶之者3人・手木之者2人新規召抱え)	
1698年	6月1日	元禄11年	4月23日	晴		
1698年	6月2日	元禄11年	4月24日	快晴		
1698年	6月3日	元禄11年	4月25日	陰晴	辰の下刻より時々雨 午の中刻に及び止む 夜に入り時々雨 終夜に及ぶ	
1698年	6月4日	元禄11年	4月26日	陰晴	巳の刻小雨 則時止む	
1698年	6月5日	元禄11年	4月27日	陰晴		
1698年	6月6日	元禄11年	4月28日	陰晴	(小泊で山崩れ、幅33間・長さ60間・深さ5丈)	
1698年	6月7日	元禄11年	4月29日	晴	申の下刻小雨 暫くして止む	
1698年	6月8日	元禄11年	5月1日	曇	今朝より雨 (御用番氏名のみ)	
1698年	6月9日	元禄11年	5月2日	曇	(29日金木村で火災1軒(3間×9間:百姓)、藤代組種市村で昨夜よりの雨で橋落ちる)	
1698年	6月10日	元禄11年	5月3日	陰晴	午の下刻より雨 終日終夜に及ぶ 未の中刻雷	
1698年	6月11日	元禄11年	5月4日	曇	昨夜より雨時々 午の中刻に及ぶ 又夜雨 (今朝六半時分より岩木川駒越渡・今昼八時分浅瀬石川洪水、共に仮橋引取り往還相止、黒石方面では近年覚えもなき大水にて……)	
1698年	6月12日	元禄11年	5月5日	曇	昨夜より雨時々 終日に及ぶ	
1698年	6月13日	元禄11年	5月6日	陰晴	巳の下刻小雨 則止む	
1698年	6月14日	元禄11年	5月7日	陰晴	未の中刻小雨 (今別で3・4日の大雨・材木2379挺など流失)	
1698年	6月15日	元禄11年	5月8日	陰晴	(十三・深浦へ杉材木寄せる)	
1698年	6月16日	元禄11年	5月9日	陰晴	(牧に狼打ち出す)	
1698年	6月17日	元禄11年	5月10日	快晴		
1698年	6月18日	元禄11年	5月11日	陰晴	夜に入り風 (大間越浦へ杉567挺流れ寄せる)	
1698年	6月19日	元禄11年	5月12日	陰晴	辰の刻小雨時々 (この度の洪水で深浦磯に流れ寄せた材木4242本)	
1698年	6月20日	元禄11年	5月13日	陰晴	巳の下刻より時々雨 (4日からの洪水で秋田から流出の材木多数流れ着く)	
1698年	6月21日	元禄11年	5月14日	陰晴		
1698年	6月22日	元禄11年	5月15日	陰晴	申の中刻雨 暫くして止む	
1698年	6月23日	元禄11年	5月16日	曇		
1698年	6月24日	元禄11年	5月17日	晴		
1698年	6月25日	元禄11年	5月18日	曇	卯の刻より雨 終日に及ぶ	
1698年	6月26日	元禄11年	5月19日	晴	(この度十三領長浜に鯨寄せる・1駄30貫目で23駄ある・一部を除き現地の関係者で分けるようにする、寄せ材木盗人2人搦捕る)	
1698年	6月27日	元禄11年	5月20日	曇	午の後刻雨 暫くして止む (高杉組坪貝村で道心2人自害、4日の洪水被害:田方153町余?・畑方52町余など)	
1698年	6月28日	元禄11年	5月21日	晴	(誓願寺後川で水浴び中の御家中水死)	
1698年	6月29日	元禄11年	5月22日	晴	(屋形様28日江戸御発駕との事)	
1698年	6月30日	元禄11年	5月23日	曇	巳の上刻より晴 (大鱈御菜園場より初胡瓜5差上げる)	

1698年	7月1日	元禄11年	5月24日	晴	午の刻より曇	申の刻より雨	子の下刻地震
1698年	7月2日	元禄11年	5月25日	陰晴			
1698年	7月3日	元禄11年	5月26日	晴	未の中刻より曇		
1698年	7月4日	元禄11年	5月27日	曇	辰の下刻より雨	終日に及ぶ	
1698年	7月5日	元禄11年	5月28日	晴			
1698年	7月6日	元禄11年	5月29日	陰晴	午の下刻より雨時々	夜に及び止む	
1698年	7月7日	元禄11年	5月30日	陰晴			
1698年	7月8日	元禄11年	6月1日	晴	(御用番氏名のみ)		
1698年	7月9日	元禄11年	6月2日	晴	申の刻小雨	則止む	戌の上刻雨 終夜に及ぶ
1698年	7月10日	元禄11年	6月3日	曇	昨夜より雨	卯の中刻止む	
1698年	7月11日	元禄11年	6月4日	陰晴			
1698年	7月12日	元禄11年	6月5日	陰晴	卯の上刻雨	巳の後刻止む	(関札打ち到着)
1698年	7月13日	元禄11年	6月6日	曇	戌の中刻雨	終夜に及ぶ	(昨日の洪水で碓関山中よりの御道筋破損)
1698年	7月14日	元禄11年	6月7日	陰晴	昨夜より雨	辰の下刻止む	(昨夜雨で岩木川洪水・駒越渡仮橋引取る・今朝五時船渡相止、石渡長橋は1丈5尺ほど水出たが橋傷まず、柏木組大俵・高増村で田方35町歩余水湛)
1698年	7月15日	元禄11年	6月8日	陰晴	巳の後刻より雨時々	終夜に及ぶ	(大鱈御菜園所より初青瓜5差上げる、一昨夜福島渡し大橋の柱5本流失・直ちに部品を届ける、尾崎組大坊村で畑方1反8畝水湛)
1698年	7月16日	元禄11年	6月9日	陰晴			
1698年	7月17日	元禄11年	6月10日	快晴	(7・8日の大雨で藤代組小友村の田方4町8反歩水湛)		
1698年	7月18日	元禄11年	6月11日	快晴	(8日に深浦で薪取りに山江入った男が「熊之鹿」に喰殺される、鉄砲打ちを求められ1組3人出す)		
1698年	7月19日	元禄11年	6月12日	快晴	丑の四刻土用	甚だしく暑い	(大鱈御菜園場より初茄子上がる)
1698年	7月20日	元禄11年	6月13日	快晴	甚だしく暑い		
1698年	7月21日	元禄11年	6月14日	快晴	甚だしく暑い	(秋田から流れ材木の請取人54人が大間越に参着、碓関御道筋御普請残らず出来)	
1698年	7月22日	元禄11年	6月15日	陰晴	甚だしく暑い		
1698年	7月23日	元禄11年	6月16日	快晴	甚だしく暑い	夜雨	(屋形様御着候)
1698年	7月24日	元禄11年	6月17日	陰晴	甚だしく暑い	辰の中刻より巳の中刻に及ぶ	(東照宮江御参詣・お帰りの節白銀町より南大手御門をお通り遊ばされる)
1698年	7月25日	元禄11年	6月18日	快晴	甚だしく暑い		
1698年	7月26日	元禄11年	6月19日	快晴	甚だしく暑い		
1698年	7月27日	元禄11年	6月20日	快晴	甚だしく暑い	(東大手御門番と言う用語あり)	
1698年	7月28日	元禄11年	6月21日	晴	甚だしく暑い		
1698年	7月29日	元禄11年	6月22日	快晴	甚だしく暑い	辰の中刻地震	巳の後刻雷発す(秋田領流木(575本)の領収書もらう) 下から続く 出水仮橋引取る・革秀寺前にて船渡し往行)
1698年	7月30日	元禄11年	6月23日	晴	巳の刻より曇	午の上刻雷発す	雨時々 未の後刻より甚だしい雨 同下刻雷雨時々 終日夜に及ぶ(岩木川大水・今八時より船渡ならず往還止める、駒越渡昨夜四時分 上に続く)
1698年	7月31日	元禄11年	6月24日	曇	寅の刻甚だしい雨	それより雷雨時々	終日終夜に及ぶ(昨23日よりの雨で藤崎川十分・仮橋引取り船で往還・石川村大橋立柱4本流失、福島渡橋など道筋に多くの被害)
1698年	8月1日	元禄11年	6月25日	晴	午の上刻雨	則止む	未の上刻雨暫く(新町橋・馬屋町橋・石渡大橋・水除け堤が各所で破損・平生の水より1丈ほど高かった)
1698年	8月2日	元禄11年	6月26日	晴	(藤代組船水・石渡・町田・中崎・三世寺・小友村の田畑水湛などの被害あり、広田組藻川・鶴ヶ岡村の田畑残らず水湛・碓関までの道筋の橋多数破損)		
1698年	8月3日	元禄11年	6月27日	快晴	(23日黒石領境松の男2人が野添村で雷に打たれる・1人死亡)		
1698年	8月4日	元禄11年	6月28日	晴	西の中刻雨	夜半に及び雷電	甚だしい雨
1698年	8月5日	元禄11年	6月29日	晴	夜に入り雨		
1698年	8月6日	元禄11年	7月1日	曇	昨夜雨時々	終日に及ぶ	(御用番氏名のみ)(3月18日継子殺し牢舎の男牢死)
1698年	8月7日	元禄11年	7月2日	快晴			
1698年	8月8日	元禄11年	7月3日	晴	卯の中刻過ぎ小雨	暫くして止む	亥の上刻甚だしい雨 暫くして止む(能・狂言)
1698年	8月9日	元禄11年	7月4日	曇	卯の上刻より時々小雨	巳の後刻止む	今朝西のほう虹
1698年	8月10日	元禄11年	7月5日	晴	卯の下刻小雨		
1698年	8月11日	元禄11年	7月6日	快晴	(4日大光寺組李平村の百姓縊死)		
1698年	8月12日	元禄11年	7月7日	快晴			
1698年	8月13日	元禄11年	7月8日	曇	卯の刻より雨		
1698年	8月14日	元禄11年	7月9日	快晴	残暑甚だしい	(能・狂言)	
1698年	8月15日	元禄11年	7月10日	快晴	残暑甚だしい		
1698年	8月16日	元禄11年	7月11日	晴	残暑甚だしい		
1698年	8月17日	元禄11年	7月12日	晴	残暑甚だしい	夜に入り小雨時々	(門外村から初米持参する)
1698年	8月18日	元禄11年	7月13日	曇	昨夜雨時々	巳の上刻小雨	午の後刻より大雨 甚だしい雷電数発す 午の下刻止む 夜に入り雨
1698年	8月19日	元禄11年	7月14日	曇	時々雨	未の後刻に及ぶ	雷電数発す 終日 夜に入り雨 亥の上刻大雨 終夜に及ぶ
1698年	8月20日	元禄11年	7月15日	晴	(13日より藤崎川洪水・仮橋板引取り置く・昨夜この板25枚と橋杭40本流失、石川橋も水切り柱・桁など流失)		
1698年	8月21日	元禄11年	7月16日	晴	未の刻小雨	則止む	(14日石渡川洪水・流れ家3軒)
1698年	8月22日	元禄11年	7月17日	晴	未の中刻より雨	申の上刻に及ぶ	夜雨(藤崎組・大光寺組・尾崎組で狼荒れる)
1698年	8月23日	元禄11年	7月18日	曇	昨夜より雨	巳の刻に及ぶ	(昨17日夜五時分よりの雨で今朝十川出水、遠部渡橋たぶん碓関の峠付近残らず流れ申し候)
1698年	8月24日	元禄11年	7月19日	曇	(石川村橋昨昼時分流失・半分残る、一昨日七つ過ぎより今朝六つ半過ぎまで青森で大雨・昨日昼九過ぎ堤川洪水・堤町などに少々水押し上げる)		
1698年	8月25日	元禄11年	7月20日	陰晴	(藤崎組・大光寺組・尾上組に狼打ち2組6人出す)		
1698年	8月26日	元禄11年	7月21日	陰晴	午の下刻小雨		
1698年	8月27日	元禄11年	7月22日	曇	午の後刻より雨	終日に及ぶ	夜に入り戌の後刻大雨 雷数発す(21日横内組矢田前村の狩人(またぎとも)原別村で熊(長4尺5寸耳合いより尾際まで)・胴太さ4尺5寸)取る・狩人重傷)
1698年	8月28日	元禄11年	7月23日	陰晴	(藤崎川洪水・今朝六つ過ぎ往行相止、境間渡で馬船・長船流失、18日の洪水で十川橋橋道具流失)		
1698年	8月29日	元禄11年	7月24日	陰晴			
1698年	8月30日	元禄11年	7月25日	陰晴			
1698年	8月31日	元禄11年	7月26日	曇	巳の後刻より時々小雨	終日に及ぶ	夜に入り雨 終夜に及ぶ(7月25日に乞食の女房が乞食の夫を絞め殺す)

1698年	9月1日	元禄11年	7月27日	曇	昨夜より雨 申の上刻止む (岩木川船渡も罷りならず往還相止める)
1698年	9月2日	元禄11年	7月28日	陰晴	
1698年	9月3日	元禄11年	7月29日	晴	
1698年	9月4日	元禄11年	8月1日	曇	巳の後刻小雨 雷発す (御用番氏名のみ)
1698年	9月5日	元禄11年	8月2日	晴	夜雨
1698年	9月6日	元禄11年	8月3日	曇	辰の刻より雨時々 終日に及ぶ
1698年	9月7日	元禄11年	8月4日	晴	
1698年	9月8日	元禄11年	8月5日	晴	
1698年	9月9日	元禄11年	8月6日	快晴	(杉山勘左衛門(その日八兵衛と改称)を御家老に・丹野席右衛門を御用人とする、盛岡主膳の座敷牢から盛岡源太夫欠落・手配)
1698年	9月10日	元禄11年	8月7日	快晴	(先月藤崎組に出した狼打ち今日帰る、不動尊御出汗、盛岡源太夫を搦捕る)
1698年	9月11日	元禄11年	8月8日	快晴	(飯詰組で狼・熊荒れる)
1698年	9月12日	元禄11年	8月9日	快晴	(金木組・飯詰組へ熊・狼打ち出す)
1698年	9月13日	元禄11年	8月10日	快晴	残暑甚だしい (赤石組・岩崎組へ熊狼打ち出す)
1698年	9月14日	元禄11年	8月11日	快晴	残暑甚だしい
1698年	9月15日	元禄11年	8月12日	曇	卯の下刻雨時々 巳の中刻止む 午の後刻より小風 (柳沢出羽守任官祝いを派遣)
1698年	9月16日	元禄11年	8月13日	曇	小風雨 辰の中刻より止む (能)
1698年	9月17日	元禄11年	8月14日	晴	
1698年	9月18日	元禄11年	8月15日	丑の刻より雨	午の下刻止む
1698年	9月19日	元禄11年	8月16日	晴	
1698年	9月20日	元禄11年	8月17日	曇	(門外村に40余道心倒死)
1698年	9月21日	元禄11年	8月18日	晴	小風
1698年	9月22日	元禄11年	8月19日	陰晴	巳の刻小雨 暫くして止む
1698年	9月23日	元禄11年	8月20日	陰晴	風 今日より彼岸に入る
1698年	9月24日	元禄11年	8月21日	曇	夜に入り雨
1698年	9月25日	元禄11年	8月22日	陰晴	風
1698年	9月26日	元禄11年	8月23日	晴	今朝霜 (御支配中切支丹御改の覚:惣人数2890人(男1599・女1291)、禪1961・浄土488・法華216・門徒158・天台27・真言40、取持屋敷77軒・乗馬2・小荷駄11、詳細は下の欄外(*)に)
1698年	9月27日	元禄11年	8月24日	晴	今朝霜 亥の刻より雨 終夜に及ぶ (7月18・23日に平川洪水で材木流れる・14人が流木を隠し割り木にして売ったらしい)
1698年	9月28日	元禄11年	8月25日	曇	昨夜より雨 卯の後刻止む 巳の上刻雨 暫くして止む
1698年	9月29日	元禄11年	8月26日	陰晴	風 寅の刻雨 暫くして止む 夜に入り時々風雨
1698年	9月30日	元禄11年	8月27日	陰晴	風
1698年	10月1日	元禄11年	8月28日	陰晴	(20・24・25日飯詰組で馬3疋狼に喰われる)
1698年	10月2日	元禄11年	8月29日	晴	
1698年	10月3日	元禄11年	8月30日	快晴	(御家中が家来と中間を成敗する、27日飯詰組前田屋敷村宿はつれで丹代次右衛門が牡狼(どうの長3尺1寸どうの丸2尺6寸)を打ち留める)
1698年	10月4日	元禄11年	9月1日	曇	(御用番氏名のみ) (26日西日形風で広戸村ゆき屋崎で敦賀船破船)
1698年	10月5日	元禄11年	9月2日	陰晴	(今朝も飯詰組前田屋敷村で丹代が狼打ち留める・褒美銀1枚)
1698年	10月6日	元禄11年	9月3日	晴	(能・狂言)
1698年	10月7日	元禄11年	9月4日	晴	今朝霜見る
1698年	10月8日	元禄11年	9月5日	晴	今朝大霜 丑の刻雨 終夜に及ぶ
1698年	10月9日	元禄11年	9月6日	曇	昨夜より雨 終日に及ぶ 子の刻風 (岩木川洪水・五尺ほど・七つより駒越渡往還相止める、古懸不動尊御出汗・御神楽を命ず)
1698年	10月10日	元禄11年	9月7日	陰晴	未の刻より風雨 夜に入り止む 岩木山頂上に初雪見る
1698年	10月11日	元禄11年	9月8日	陰晴	
1698年	10月12日	元禄11年	9月9日	陰晴	
1698年	10月13日	元禄11年	9月10日	曇	小風 酉の刻より小雨
1698年	10月14日	元禄11年	9月11日	曇	昨夜より雨時々 終日に及ぶ (浅虫に御出:お供380人内人足110人、昨10日酉の刻飯詰組高野村で火災1軒)
1698年	10月15日	元禄11年	9月12日	陰晴	(らい病夫の自害ほう助と主張の女房(7月26日記述)を牢ノロで成敗、先月24・5日赤石組村々で・当月6-8日北浮田村などで大風・稲吹こぼれる、6・7日の風で藤代組床舞村でも同様)
1698年	10月16日	元禄11年	9月13日	晴	霜 (12日朝飯詰組金山村で相馬五郎兵衛が狼打ち留める)
1698年	10月17日	元禄11年	9月14日	晴	戌の中刻地震 (6日朝四つ時前すきや橋より出火柳原屋敷が昼九つ過ぎ残らず焼失の報が届く)
1698年	10月18日	元禄11年	9月15日	晴	
1698年	10月19日	元禄11年	9月16日	晴	午の後刻時々雨 中刻雷数発す (江戸の中屋敷が6日に焼失に付き100両を持たせ8日振りの飛脚を出す:飛脚は季節にもよるが平均12日振り位に着く様命ず)
1698年	10月20日	元禄11年	9月17日	陰晴	辰の刻雨 暫くして止む 夜に入り雨
1698年	10月21日	元禄11年	9月18日	陰晴	辰の刻雨 暫くして止む
1698年	10月22日	元禄11年	9月19日	陰晴	午の中刻より風 下刻雨 未の上刻雷数発す
1698年	10月23日	元禄11年	9月20日	晴	
1698年	10月24日	元禄11年	9月21日	晴	
1698年	10月25日	元禄11年	9月22日	晴	今朝霜 午の後刻雨 則止む
1698年	10月26日	元禄11年	9月23日	晴	今朝霜
1698年	10月27日	元禄11年	9月24日	晴	(23日大鱧組石川村で秋田者の女房縊死)
1698年	10月28日	元禄11年	9月25日	陰晴	辰の刻小雨 則止む 未の刻より風 夜に及ぶ (昨夜堀越村で御家中の倅が女房?を切り殺し自害)
1698年	10月29日	元禄11年	9月26日	陰晴	風 卯の刻雷 未の下刻より時々電 夜に及ぶ 南山へ初雪見る (昨日和徳町の下女が溜池で死亡)
1698年	10月30日	元禄11年	9月27日	曇	酉の刻より雨 終夜に及ぶ
1698年	10月31日	元禄11年	9月28日	曇	昨夜より雨 辰の刻に及ぶ 亥の上刻小雨 則止む (米代:1000両この代4600俵(4斗入)・兩替60目に仕る・1俵に付銀13匁4厘宛沖口とも)

(*) 2890人内訳:上男1204人(禪834・浄土198・法下79・門徒62・天台12・真言19)・上女1050(719・169・85・50・11・16)・下男395(255・78・29・28・2・3)・下女241(153・43・23・18・2・2)

1698年 11月1日 元禄11年 9月29日 晴 四方山へ初雪見る
 1698年 11月2日 元禄11年 9月30日 曇 巳の上刻雨 暫くして止む 申の中刻より雨 終夜に及ぶ
 1698年 11月3日 元禄11年 10月1日 曇 昨夜より雨 終日終夜に及ぶ (御用番氏名のみ)
 1698年 11月4日 元禄11年 10月2日 曇 申の中刻雷 夜に入り時々雨 (9月1ヶ月碓関出入惣合256人・同所入り人数199人・都合455人、先月江戸の火事に付佐竹右京様御家中残らず半知の由、先月中出切手人数都合19人)
 1698年 11月5日 元禄11年 10月3日 曇 辰の中刻より初雪 終日に及ぶ 午の后刻雷
 1698年 11月6日 元禄11年 10月4日 陰晴
 1698年 11月7日 元禄11年 10月5日 曇 申の刻より時々雨 夜に入る
 1698年 11月8日 元禄11年 10月6日 曇 辰の中刻より風雨 巳の中刻雷数発す
 1698年 11月9日 元禄11年 10月7日 陰晴 昨夜より時々風 卯の中刻より〇(雪か)霏(ひ:強く降る意か) 午の刻より晴 (昨日の大風で外北御門脇の柵倒れる)
 1698年 11月10日 元禄11年 10月8日 曇 寅の下刻より雨時々 辰の刻に及ぶ 午の刻より雨時々 (11日振りに仰せ付けられた飛脚が江戸より12日振りに着く)
 1698年 11月11日 元禄11年 10月9日 曇 昨夜より時々風雪 終夜に及ぶ
 1698年 11月12日 元禄11年 10月10日 曇 昨夜より雪 終日に及ぶ
 1698年 11月13日 元禄11年 10月11日 陰晴 卯の上刻より時々少し雪
 1698年 11月14日 元禄11年 10月12日 陰晴 (6日夜小泊で大風・十三船破船)
 1698年 11月15日 元禄11年 10月13日 晴
 1698年 11月16日 元禄11年 10月14日 陰晴 霜 地初めて陳(凍?)る
 1698年 11月17日 元禄11年 10月15日 曇 寅の後刻より雨時々 夜に及ぶ
 1698年 11月18日 元禄11年 10月16日 陰晴 卯の中刻雨時々 終日夜に及ぶ
 1698年 11月19日 元禄11年 10月17日 陰晴 巳の刻より雨時々
 1698年 11月20日 元禄11年 10月18日 晴
 1698年 11月21日 元禄11年 10月19日 晴 (南溜池に豕斃)
 1698年 11月22日 元禄11年 10月20日 陰晴 午の刻雨 則止む
 1698年 11月23日 元禄11年 10月21日 陰晴 昨夜より雨 巳の刻に及び止む 夜に入り小雪 (西之御郭で御相撲)
 1698年 11月24日 元禄11年 10月22日 陰晴 夜に入り雪
 1698年 11月25日 元禄11年 10月23日 曇 辰の刻より曇雪
 1698年 11月26日 元禄11年 10月24日 曇 小雪時々 終夜に及ぶ
 1698年 11月27日 元禄11年 10月25日 晴
 1698年 11月28日 元禄11年 10月26日 晴
 1698年 11月29日 元禄11年 10月27日 晴
 1698年 11月30日 元禄11年 10月28日 陰晴
 1698年 12月1日 元禄11年 10月29日 曇 辰の下刻より雨 亥の刻に及び止む
 1698年 12月2日 元禄11年 11月1日 陰晴 夜に入り小雨 (御用番氏名のみ)
 1698年 12月3日 元禄11年 11月2日 曇 辰の下刻より時々雨 終夜に及ぶ
 1698年 12月4日 元禄11年 11月3日 曇 辰の下刻雨 未の下刻止み風 (外南御門を大手御門としているらしい:追手ではない)
 1698年 12月5日 元禄11年 11月4日 晴
 1698年 12月6日 元禄11年 11月5日 陰晴 午の下刻より雨
 1698年 12月7日 元禄11年 11月6日 陰晴 昨夜より風雨 辰の刻雪 暫くして止む 夜に入り風雨
 1698年 12月8日 元禄11年 11月7日 曇 時々丸雪
 1698年 12月9日 元禄11年 11月8日 陰晴 時々少し雪
 1698年 12月10日 元禄11年 11月9日 晴 申の刻より雪降 夜中四寸七八歩降る
 1698年 12月11日 元禄11年 11月10日 晴 昨夜より雪五寸程降 辰の刻に及ぶ
 1698年 12月12日 元禄11年 11月11日 曇 辰の中刻小雪 夜に入り小雪 (一昨9日六つ半頃青森船が油川沖ではせころひ(転覆か))
 1698年 12月13日 元禄11年 11月12日 陰晴
 1698年 12月14日 元禄11年 11月13日 曇 雪降
 1698年 12月15日 元禄11年 11月14日 陰晴 未の刻より雨 夜に及ぶ
 1698年 12月16日 元禄11年 11月15日 曇 昨夜よりの雨 終日に及ぶ (不作で知行が減らされていたが少なくとも一部が元に戻った)
 1698年 12月17日 元禄11年 11月16日 陰晴 昨夜より大吹雪 卯の刻止む 雪巳の中刻止む
 1698年 12月18日 元禄11年 11月17日 昨夜より時々雪
 1698年 12月19日 元禄11年 11月18日 陰晴 昨夜より時々雪
 1698年 12月20日 元禄11年 11月19日 陰晴
 1698年 12月21日 元禄11年 11月20日 曇 昨夜より雪時々
 1698年 12月22日 元禄11年 11月21日 曇 昨夜より時々雪
 1698年 12月23日 元禄11年 11月22日 晴 夜に入り雨 (能・狂言)
 1698年 12月24日 元禄11年 11月23日 昨夜より雨 辰の中刻止む
 1698年 12月25日 元禄11年 11月24日 晴 夜に入り雪
 1698年 12月26日 元禄11年 11月25日 陰晴 時々雪
 1698年 12月27日 元禄11年 11月26日 曇 時々雪 (能・狂言)
 1698年 12月28日 元禄11年 11月27日 陰晴 時々雪
 1698年 12月29日 元禄11年 11月28日 曇 昨夜より時々雪 (26日夜對馬弥次兵衛と堀合安兵衛の町で火災1軒)
 1698年 12月30日 元禄11年 11月29日 曇 昨夜より時々雪 (真鶴1羽7匆丹頂鶴1羽16匆、御徒召抱え勢5尺5寸)
 1698年 12月31日 元禄11年 11月30日 陰晴 夜に入り雪 (諸手並足輕に山上吉之丞)

1699年	1月1日	元禄11年	12月1日	晴 (御用番役職氏名つき)
1699年	1月2日	元禄11年	12月2日	晴
1699年	1月3日	元禄11年	12月3日	陰晴 卯の刻より辰の刻まで霽 夜雪 (波岡組徳才子村のまたぎ定右衛門の件)
1699年	1月4日	元禄11年	12月4日	陰晴 辰の中刻小雪 則止む 下から続く ・米1俵・粟2俵・粃1石程・稗2・3俵焼失)
1699年	1月5日	元禄11年	12月5日	陰晴 小寒午の七刻に入る 夜に入り吹雪 (4日(広須組)下古川村で庄屋家火災(馬2疋・米20俵・大豆6俵余・小豆3俵・稲14・500束焼失)、同日同組大原村で百姓家火災(馬3疋 上に続く
1699年	1月6日	元禄11年	12月6日	陰晴 昨夜より吹雪 (能・狂言、今4日昼七つ時分(駒越組)鳥井野村に火災(2間×1間:高無)・6ソ女子焼死)
1699年	1月7日	元禄11年	12月7日	陰晴 昨夜より吹雪 夜に及ぶ
1699年	1月8日	元禄11年	12月8日	陰晴 辰の下刻吹雪 (江戸より12日ぶりに申付けの飛脚が大雪などで16日ぶりに到着)
1699年	1月9日	元禄11年	12月9日	陰晴 時々吹雪
1699年	1月10日	元禄11年	12月10日	陰晴 時々雪 夜に入り吹雪
1699年	1月11日	元禄11年	12月11日	晴
1699年	1月12日	元禄11年	12月12日	陰晴 時々雪
1699年	1月13日	元禄11年	12月13日	快 夜に入り大雪
1699年	1月14日	元禄11年	12月14日	陰晴 時々吹雪
1699年	1月15日	元禄11年	12月15日	陰晴
1699年	1月16日	元禄11年	12月16日	陰晴 卯の上刻より少雨時々 巳の上刻に及ぶ (今日七時古懸不動出汗)
1699年	1月17日	元禄11年	12月17日	曇 土用酉初刻 巳の刻より雪時々 夜に入り小雪
1699年	1月18日	元禄11年	12月18日	曇 辰の下刻小雪
1699年	1月19日	元禄11年	12月19日	陰晴 辰の刻より時々小雪
1699年	1月20日	元禄11年	12月20日	晴 大寒酉の四刻 (雪茂多無之候之間……)
1699年	1月21日	元禄11年	12月21日	晴
1699年	1月22日	元禄11年	12月22日	陰晴 風 午の下刻雨 未の後刻雨雪
1699年	1月23日	元禄11年	12月23日	曇 風雪 (能・狂言)
1699年	1月24日	元禄11年	12月24日	陰晴 申の刻より吹雪 (当月15日屋金木組金木村で火災)
1699年	1月25日	元禄11年	12月25日	陰晴 時々雪 (松ヶ崎状が持ってきた貝の玉が小さいので返している)
1699年	1月26日	元禄11年	12月26日	陰晴 時々小雪
1699年	1月27日	元禄11年	12月27日	曇 小雪
1699年	1月28日	元禄11年	12月28日	晴 (先月26日野内町の火元の入寺赦免)
1699年	1月29日	元禄11年	12月29日	陰晴 (昨七つ時大鱧組蔵館村に27日に倒れていた秋田領の19歳男死亡)
1699年	1月30日	元禄11年	12月30日	陰晴 巳の上刻より雪 午の中刻止む
1699年	1月31日	元禄12年正月1日	陰晴 昨夜より時々風雪 (御用番役職氏名つき)	
1699年	2月1日	元禄12年正月2日	晴 (古例によりお金200両を差登、昨朔日昼九つ半頃尾崎組新館村で火災1軒、12月晦日夜九つ過ぎ菖蒲川村で火災1軒)	
1699年	2月2日	元禄12年正月3日	曇 雪時々	
1699年	2月3日	元禄12年正月4日	晴	
1699年	2月4日	元禄12年正月5日	晴	
1699年	2月5日	元禄12年正月6日	曇 卯の下刻より雨 終日に及ぶ 酉の刻より風雲 終夜に及ぶ	
1699年	2月6日	元禄12年正月7日	曇 雪時々 (人事異動、今朝よりの雨で暮れ六つ半より駒越渡の往還相止・橋板8枚中7枚引取る、昨6日の雨で藤崎川水十分・平川の境関の洪水)	
1699年	2月7日	元禄12年正月8日	陰晴 辰の中刻小雪時々 夜に及ぶ	
1699年	2月8日	元禄12年正月9日	曇 吹雪	
1699年	2月9日	元禄12年正月10日	晴 (藩の「拝借米などの現状」らしき資料あり)	
1699年	2月10日	元禄12年正月11日	晴 (人事異動、謡い初め・狂言)	
1699年	2月11日	元禄12年正月12日	陰晴 酉の中刻より少し雨 終夜 (能・狂言)	
1699年	2月12日	元禄12年正月13日	陰晴 昨夜より雨 辰の中刻に及ぶ	
1699年	2月13日	元禄12年正月14日	曇 昨夜より雪 終日終夜に及ぶ	
1699年	2月14日	元禄12年正月15日	陰晴 昨夜より雪 巳の刻に及ぶ	
1699年	2月15日	元禄12年正月16日	晴	
1699年	2月16日	元禄12年正月17日	陰晴 少し雪	
1699年	2月17日	元禄12年正月18日	晴	
1699年	2月18日	元禄12年正月19日	晴	
1699年	2月19日	元禄12年正月20日	晴	
1699年	2月20日	元禄12年正月21日	陰晴	
1699年	2月21日	元禄12年正月22日	晴	
1699年	2月22日	元禄12年正月23日	陰晴 夜に入り大雪 (千年山の福寿草7本中4本開花)	
1699年	2月23日	元禄12年正月24日	陰晴 巳の下刻雪 暫くして止む 夜に入り雪	
1699年	2月24日	元禄12年正月25日	陰晴 未の中刻少し雪 則時止む (去年6月8日深浦の男が熊に喰殺される:その頃に記述なし・殺された事件がすべて記述されているとは限らない、米の大坂着平均値段:下の欄外(*)に続く	
1699年	2月25日	元禄12年正月26日	晴	
1699年	2月26日	元禄12年正月27日	陰晴 夜に入り雨 (兵庫殿より役人が牢舎から出してもらいたいとの意見・けられる)	
1699年	2月27日	元禄12年正月28日	陰晴 (今日四時分古懸不動尊出汗)	
1699年	2月28日	元禄12年正月29日	陰晴 風 未の後刻丸雪	

(*) 45匁/石・1000石で45貫目、このうち御国より大坂までの運賃が100石に17石であり1000石で37貫350目が手取りとなる、青森・鯉ヶ沢(10両に36俵)で売ると40貫880目……、御発駕御入用金は2000両)

1699年	3月1日	元禄12年正月30日	陰晴	辰の刻より雪ふる(碓関口出入936人・出入り惣人数都合1126人)
1699年	3月2日	元禄12年	2月1日	晴(御用番役職氏名つき)(今夜八過ご家中長屋より出火・半分と役馬1疋焼失)
1699年	3月3日	元禄12年	2月2日	晴 申の下刻雨少々 則止む(明日より西の馬場の雪切り)
1699年	3月4日	元禄12年	2月3日	陰晴 午の下刻より雨(江戸より8日振りに仰せ付けられた飛脚が大雪・大雨で10日振りに到着)
1699年	3月5日	元禄12年	2月4日	曇 風 吹雪
1699年	3月6日	元禄12年	2月5日	晴
1699年	3月7日	元禄12年	2月6日	快晴(能・狂言)
1699年	3月8日	元禄12年	2月7日	陰晴
1699年	3月9日	元禄12年	2月8日	晴 夜に入り小雨 則止む
1699年	3月10日	元禄12年	2月9日	陰晴 小風
1699年	3月11日	元禄12年	2月10日	陰晴 夜に入り雪
1699年	3月12日	元禄12年	2月11日	陰晴 昨夜より雪 巳の刻に及び止む 夜に入り雪
1699年	3月13日	元禄12年	2月12日	晴 午の中刻より小雪
1699年	3月14日	元禄12年	2月13日	晴
1699年	3月15日	元禄12年	2月14日	陰晴 夜に入り雪(今11日夜八時金木組で火災1軒馬1疋)
1699年	3月16日	元禄12年	2月15日	曇 昨夜より雪 巳の中刻に及び止む 午の中刻より雪 下から続く ←74勾分5厘等)
1699年	3月17日	元禄12年	2月16日	陰晴(能・狂言、正月の碓関出入都合230人・出入り惣人数392人、路銀変更1日:上1人銀2勾6厘6毛←1勾9分1厘・下1人銀1勾7分9厘6毛←1勾6分6厘・馬1疋駄賃銭96勾5分 上に続く
1699年	3月18日	元禄12年	2月17日	曇 巳の後刻雨 夜に入り雪
1699年	3月19日	元禄12年	2月18日	曇 昨夜より雪時々 小風
1699年	3月20日	元禄12年	2月19日	快晴
1699年	3月21日	元禄12年	2月20日	曇 今朝霜 夜に入り雨
1699年	3月22日	元禄12年	2月21日	曇 辰の刻より小雨時々 終日に及ぶ 夜に入り小雪
1699年	3月23日	元禄12年	2月22日	曇 昨夜より雪時々揚(手偏を風偏とした文字を記述)
1699年	3月24日	元禄12年	2月23日	晴(能・狂言)
1699年	3月25日	元禄12年	2月24日	晴(十三町より鱒2本差上げる)
1699年	3月26日	元禄12年	2月25日	陰晴 卯の中刻より小雪 辰の中刻に及び止む(紺屋町に16娘倒・死)
1699年	3月27日	元禄12年	2月26日	快晴(人事異動・特に代官)
1699年	3月28日	元禄12年	2月27日	曇 巳の刻より雨(江戸へ御用金1000両差登)
1699年	3月29日	元禄12年	2月28日	曇 夜に入り雨
1699年	3月30日	元禄12年	2月29日	晴 辰の中刻小雪 則止む
1699年	3月31日	元禄12年	3月1日	快晴(御用番役職氏名つき)
1699年	4月1日	元禄12年	3月2日	晴(今日九つ悪戸村で百姓家火災1軒・(以下5日記述)米2石馬6疋焼失)
1699年	4月2日	元禄12年	3月3日	曇 巳の刻より雨 終日に及ぶ 夜に入り雪(閑札打ち発足)
1699年	4月3日	元禄12年	3月4日	曇 曇 辰の刻に及び止む
1699年	4月4日	元禄12年	3月5日	晴
1699年	4月5日	元禄12年	3月6日	快晴(能・狂言)
1699年	4月6日	元禄12年	3月7日	快晴 夜半より雨 終夜に及ぶ
1699年	4月7日	元禄12年	3月8日	曇 昨夜より雨 巳の刻に及び風雪時々(今朝よりの雨で岩木川洪水・九つ半時分より船渡往行相止)
1699年	4月8日	元禄12年	3月9日	陰晴 昨夜より風雪 辰の刻に及ぶ 午の刻より大風 戌の刻に及び止む(昨今大風にて御本城御屋根吹きはげ申す)
1699年	4月9日	元禄12年	3月10日	陰晴 小風(昨日の大風被害)
1699年	4月10日	元禄12年	3月11日	晴
1699年	4月11日	元禄12年	3月12日	晴 昨夜より小雪 辰の中刻に及ぶ 未の下刻丸雪 それより雨 申の中刻止む(9日の大風で藤代組大川村の五郎袋で桜(長1丈9尺末口2尺8寸)折れる)
1699年	4月12日	元禄12年	3月13日	晴 午の刻より小風 申の中刻止む(屋形様巳の上刻江戸へ御発駕、9日浅虫沖で田南部船破船)
1699年	4月13日	元禄12年	3月14日	晴 巳の中刻より小風(昨13日瓦師自害・今朝七つ過ぎ死亡)
1699年	4月14日	元禄12年	3月15日	西風
1699年	4月15日	元禄12年	3月16日	晴(材木値段:2間半8寸角100本が270目、13日今別町で火災60軒)
1699年	4月16日	元禄12年	3月17日	晴 午の後刻より曇 同中刻雨(11日ばくちに負けた金木組深甲田の男総死)
1699年	4月17日	元禄12年	3月18日	曇 昨夜より雨 申の刻丸雪時々 終夜に及ぶ 風
1699年	4月18日	元禄12年	3月19日	陰晴 昨夜より丸雪 巳の後刻止む 風吹く(油川組田沢村に40位男倒死)
1699年	4月19日	元禄12年	3月20日	晴 風 終日に及ぶ
1699年	4月20日	元禄12年	3月21日	晴
1699年	4月21日	元禄12年	3月22日	晴 亥の刻より雨 終夜に及ぶ
1699年	4月22日	元禄12年	3月23日	曇 昨夜より雨 終日終夜に及ぶ(2月中碓関出入り243人・入り人333人:出入の人が入りになっていると思うが)
1699年	4月23日	元禄12年	3月24日	曇 昨夜より雨 終日に及ぶ
1699年	4月24日	元禄12年	3月25日	曇 時々雨卯の刻より 辰の刻に及び止む
1699年	4月25日	元禄12年	3月26日	曇 卯の刻より小雨 巳の刻に及び止む 小風
1699年	4月26日	元禄12年	3月27日	晴 夜に入り風 寅の刻大風 同下刻止む
1699年	4月27日	元禄12年	3月28日	陰晴 小風 四方霞
1699年	4月28日	元禄12年	3月29日	晴(26日鯉ヶ沢間口で加賀船破船)
1699年	4月29日	元禄12年	3月30日	晴
1699年	4月30日	元禄12年	4月1日	晴(御用番役職氏名つき)

1699年	5月1日	元禄12年	4月2日	晴	亥の后刻地震
1699年	5月2日	元禄12年	4月3日	晴	
1699年	5月3日	元禄12年	4月4日	晴	
1699年	5月4日	元禄12年	4月5日	曇	
1699年	5月5日	元禄12年	4月6日	晴	辰の刻丸雪 巳の刻に及び止む 西風
1699年	5月6日	元禄12年	4月7日	晴	
1699年	5月7日	元禄12年	4月8日	曇	寅の刻より雨時々 終日に及ぶ
1699年	5月8日	元禄12年	4月9日	晴	
1699年	5月9日	元禄12年	4月10日	晴	小風 (横内村で狼荒れ駒2疋喰殺す・狼打ちを命ず) 下から続く ・礫の片割れなど4人斬罪)
1699年	5月10日	元禄12年	4月11日	晴	(殺人と米2駄盗み礫・土蔵破り脇差盗取り斬罪・盗に入り品々盗取り斬罪(ここまで青森)、百姓とその妹殺して2人礫・方々で盗み3人獄門・越山立返り獄門・土蔵破り盗取り獄門 上に続く)
1699年	5月11日	元禄12年	4月12日	なし	(茂森町で小火)
1699年	5月12日	元禄12年	4月13日	陰晴	辰の中刻雷雨 巳の刻止む 未の刻止む 未の刻風 申の刻止む
1699年	5月13日	元禄12年	4月14日	陰晴	巳の下刻雨 午の后刻より雷数発す 同下刻丸雪 則止む それより雨時々 終日に及ぶ 夜に入り雨 (昨朝鯉ヶ沢で越後船悪風で水主1人行方不明)
1699年	5月14日	元禄12年	4月15日	陰晴	昨夜より雨時々 午の刻に及ぶ (一昨11日平内領小湊で昼四つ時火災9軒)
1699年	5月15日	元禄12年	4月16日	晴	(御用金120両差登)
1699年	5月16日	元禄12年	4月17日	晴	
1699年	5月17日	元禄12年	4月18日	曇	巳の刻より晴 (当月2日浪岡組たこ山?に野火)
1699年	5月18日	元禄12年	4月19日	晴	
1699年	5月19日	元禄12年	4月20日	晴	
1699年	5月20日	元禄12年	4月21日	晴	
1699年	5月21日	元禄12年	4月22日	曇	寅の下刻より雨時々 午の刻に及び止む
1699年	5月22日	元禄12年	4月23日	陰晴	寅の下刻より雨 卯の下刻止む
1699年	5月23日	元禄12年	4月24日	曇	
1699年	5月24日	元禄12年	4月25日	陰晴	
1699年	5月25日	元禄12年	4月26日	快晴	
1699年	5月26日	元禄12年	4月27日	晴	
1699年	5月27日	元禄12年	4月28日	曇	小雨 卯の中刻止む
1699年	5月28日	元禄12年	4月29日	曇	昨夜より雨時々 夜に及ぶ (牧支配・赤石組で熊・狼荒れ・赤石組沢辺村で18歳娘が熊に喰れ死亡)
1699年	5月29日	元禄12年	5月1日	曇	昨夜より時々小雨 卯の刻西の方虹大小3ある 夜中時々小雨 (御用番役職氏名つき)
1699年	5月30日	元禄12年	5月2日	陰晴	(1日昼八時分広須新田大湯町村で火災4軒)
1699年	5月31日	元禄12年	5月3日	晴	未の刻より曇 夜に入り雨 (浦町組・横内組に鉄砲打ち派遣)
1699年	6月1日	元禄12年	5月4日	曇	終日雨 (3日大鱧組で20斗男乞食倒死)
1699年	6月2日	元禄12年	5月5日	晴	午の刻より風 (3月13日今別の火元の入寺赦免)
1699年	6月3日	元禄12年	5月6日	晴	午の刻より小風
1699年	6月4日	元禄12年	5月7日	曇	巳の中刻より時々雨 終日に及ぶ 夜に入り雨 (深浦で熊・狼荒れる)
1699年	6月5日	元禄12年	5月8日	晴	午の下刻雨 未の后刻止む (深浦へ熊・狼打ち出す)
1699年	6月6日	元禄12年	5月9日	陰晴	
1699年	6月7日	元禄12年	5月10日	快晴	
1699年	6月8日	元禄12年	5月11日	晴	酉の刻より雨 夜中時々
1699年	6月9日	元禄12年	5月12日	陰晴	
1699年	6月10日	元禄12年	5月13日	陰晴	未の刻より小雨 中刻大雨 暫くして止む 時々雨 終夜に及ぶ
1699年	6月11日	元禄12年	5月14日	曇	昨夜より雨 巳の后刻に及ぶ
1699年	6月12日	元禄12年	5月15日	陰晴	未の刻風 暮に及び止む
1699年	6月13日	元禄12年	5月16日	快晴	
1699年	6月14日	元禄12年	5月17日	晴	(和徳町で15坪の家の1ヶ月宿賃が5匁宛)
1699年	6月15日	元禄12年	5月18日	晴	
1699年	6月16日	元禄12年	5月19日	曇	午の中刻雷発す 午の下刻より風 小雨時々 夜に入り大雨
1699年	6月17日	元禄12年	5月20日	曇	風 時々雨 午の中刻大雨暫く それより時々雨 酉の刻に及び止む
1699年	6月18日	元禄12年	5月21日	曇	午の刻より雨時々 終日夜に及ぶ
1699年	6月19日	元禄12年	5月22日	曇	辰の中刻より雨 終日に及ぶ
1699年	6月20日	元禄12年	5月23日	晴	
1699年	6月21日	元禄12年	5月24日	曇	
1699年	6月22日	元禄12年	5月25日	陰晴	卯の中刻霧
1699年	6月23日	元禄12年	5月26日	晴	
1699年	6月24日	元禄12年	5月27日	晴	巳の刻迄霧
1699年	6月25日	元禄12年	5月28日	晴	(借宅の棚賃1ヶ月6匁宛)
1699年	6月26日	元禄12年	5月29日	陰晴	東風
1699年	6月27日	元禄12年	6月1日	午の上刻より雨 終日に及ぶ 夜中風 (御用番役職氏名付き)	
1699年	6月28日	元禄12年	6月2日	陰晴	
1699年	6月29日	元禄12年	6月3日	陰晴	今朝より雨 巳の上刻に及ぶ
1699年	6月30日	元禄12年	6月4日	晴	小風 (4月からの天気とその影響を四奉行が申し立てる・各地の田植え初めなども報告)

1699年	7月1日	元禄12年	6月5日	晴 (4日赤石組広戸村で22娘が熊の獅子に喰殺される)
1699年	7月2日	元禄12年	6月6日	晴 (先月19日江戸発の関札打ち下着)
1699年	7月3日	元禄12年	6月7日	快晴 (深浦で17男熊の獅子に喰殺される、御徒の採用推薦:5尺3寸5歩と5尺4寸5歩の2人)
1699年	7月4日	元禄12年	6月8日	晴 (大光寺組などの田植え5月12日から6月6日・その他もある)
1699年	7月5日	元禄12年	6月9日	陰晴
1699年	7月6日	元禄12年	6月10日	曇 下から続く 常盤組・増館組・青森などで水湛1027町歩以上、11日の大風で油川湊沖で破船、大鰐より初胡瓜5上がる)
1699年	7月7日	元禄12年	6月11日	昨申の中刻より雨打ち続く (平川(5尺)・岩木川・大和沢川等洪水、石渡川・駒越川往還止める、石渡長橋より紺屋町の方の川除30間程屋ふ連(やぶれ)る、10日晚よりの大雨で 上に続く
1699年	7月8日	元禄12年	6月12日	曇 (昨夜より藤崎川洪水、大光組・猿賀組から狼被害(馬7疋)報告・狼打ち願い)
1699年	7月9日	元禄12年	6月13日	晴 (11日の大風被害、11日の洪水死者1人・馬2疋)
1699年	7月10日	元禄12年	6月14日	晴
1699年	7月11日	元禄12年	6月15日	曇 卯の刻雨時々 (大光組・猿賀組に鉄砲打ち出す)
1699年	7月12日	元禄12年	6月16日	曇 巳の中刻小雨 則止む
1699年	7月13日	元禄12年	6月17日	晴
1699年	7月14日	元禄12年	6月18日	快晴
1699年	7月15日	元禄12年	6月19日	陰晴 (大鰐御菜園所より初成ささげ9把・胡瓜9上がる、八幡御祭礼当年仰せ付けられ候・来年・来々年両年は無用と申し渡す)
1699年	7月16日	元禄12年	6月20日	快晴 (当月2日山鹿八郎左衛門の知行召上げ、あふよふ(阿片)取りに在々江5人の2チーム出ている)
1699年	7月17日	元禄12年	6月21日	陰晴 午の刻小雨 暫くして止む
1699年	7月18日	元禄12年	6月22日	陰晴 午の上刻小雨 未の中刻雨 暫くして止む
1699年	7月19日	元禄12年	6月23日	快晴 辰の三刻土用入り (能・狂言)
1699年	7月20日	元禄12年	6月24日	快晴
1699年	7月21日	元禄12年	6月25日	快晴
1699年	7月22日	元禄12年	6月26日	快晴
1699年	7月23日	元禄12年	6月27日	未の刻より雷数度発す 同刻雨 暫くして止む 酉の中刻稲光 戌の刻雷発す
1699年	7月24日	元禄12年	6月28日	快晴
1699年	7月25日	元禄12年	6月29日	快晴 霧雨
1699年	7月26日	元禄12年	6月30日	快晴
1699年	7月27日	元禄12年	7月1日	晴 霧 (役職つき氏名) (能・狂言、大鰐御菜園畑より初真瓜3・初茄子5上がる)
1699年	7月28日	元禄12年	7月2日	曇 辰の下刻より雨 終日に及ぶ 夜に入り大雨
1699年	7月29日	元禄12年	7月3日	晴 未の中刻東の方虹 申の刻小雨止む 同中刻雷 酉の刻より稲妻
1699年	7月30日	元禄12年	7月4日	陰晴 酉の上刻より雨 終夜に及ぶ
1699年	7月31日	元禄12年	7月5日	陰晴 昨夜より雨 巳の刻止む それより時々小雨
1699年	8月1日	元禄12年	7月6日	晴
1699年	8月2日	元禄12年	7月7日	快晴
1699年	8月3日	元禄12年	7月8日	晴 (小納戸金150両差登)
1699年	8月4日	元禄12年	7月9日	快晴
1699年	8月5日	元禄12年	7月10日	陰晴 小風 午の中刻小雨 則止む
1699年	8月6日	元禄12年	7月11日	快晴
1699年	8月7日	元禄12年	7月12日	快晴 下から続く もみち満里・山ふき・玉きく・里うせい・糸柳・糸桜・みやこわすれ
1699年	8月8日	元禄12年	7月13日	陰晴 未の中刻より雨 (千歳山に計画する花火の名称:玉火・おばな・はなすすき・く志やくの尾・くる満火・津なび・金山・から松・銀山・白ぼたん・糸すすき・白きく・はき・ 上に続く
1699年	8月9日	元禄12年	7月14日	陰晴 (御日記の虫対策として樟脳(生脳と記す)を渡す)
1699年	8月10日	元禄12年	7月15日	晴 子の下刻雨
1699年	8月11日	元禄12年	7月16日	陰晴 昨夜より雨 卯の刻止む (14日明六時半時鯉ヶ沢の夥しい大風で5艘破損2人死亡)
1699年	8月12日	元禄12年	7月17日	曇 申の刻より雨 暮に及ぶ (14日小泊で破船1艘)
1699年	8月13日	元禄12年	7月18日	陰晴 (14日森山湊沖で3艘破損1人死亡) 下から続く 大なし・時雨・糸柳・もみち満里・雨中落花・く志やくの尾・糸桜)
1699年	8月14日	元禄12年	7月19日	晴 岩木山の雪消え見えず (千年山で花火:花すすき・里うせい・金山・白きく・玉火・糸すすき・はき・から松・おばな・徒なひ・銀山・白ぼたん・都わすれ・車火・山ふき・て満里・ 上に続く
1699年	8月15日	元禄12年	7月20日	快晴 (早稲の稲穂を領民が持参する)
1699年	8月16日	元禄12年	7月21日	陰晴 辰のした刻雨 巳の刻止み雷発す 辰の中刻西の方虹 申の下刻雷発す
1699年	8月17日	元禄12年	7月22日	陰晴 卯の下刻小雨 辰の中刻に及び止む (相撲御覧)
1699年	8月18日	元禄12年	7月23日	晴 東風
1699年	8月19日	元禄12年	7月24日	陰晴
1699年	8月20日	元禄12年	7月25日	晴 申の刻甚だしい雨 暫くして止む
1699年	8月21日	元禄12年	7月26日	快晴
1699年	8月22日	元禄12年	7月27日	快晴
1699年	8月23日	元禄12年	7月28日	快晴
1699年	8月24日	元禄12年	7月29日	晴
1699年	8月25日	元禄12年	8月1日	晴 残暑 申の刻小雨 則止む 同刻雷発す 則止む (御用番役職つき氏名) (大鰐御菜園より初米上がる)
1699年	8月26日	元禄12年	8月2日	残暑甚だしい 今朝霧 午の刻(まで?) それより晴 午の刻より曇 雷数発 同刻地震 則止む 申の刻雨時々 酉の刻に及び止む (百沢寺より苔の実上がる)
1699年	8月27日	元禄12年	8月3日	晴 残暑甚だしい 午の刻雷
1699年	8月28日	元禄12年	8月4日	晴
1699年	8月29日	元禄12年	8月5日	晴 暑気
1699年	8月30日	元禄12年	8月6日	快晴 (門外村から初米差上げる)
1699年	8月31日	元禄12年	8月7日	晴 未の中刻大雨 暫くして止む 晴 則刻雷発し止む

1699年	9月1日	元禄12年	8月8日	晴
1699年	9月2日	元禄12年	8月9日	晴
1699年	9月3日	元禄12年	8月10日	曇 午の下刻雨 未の後刻止む
1699年	9月4日	元禄12年	8月11日	晴 巳の刻より小雨時々 午の刻に及び止む
1699年	9月5日	元禄12年	8月12日	晴
1699年	9月6日	元禄12年	8月13日	晴 (阿芙蓉を含む御葉種が示されている)
1699年	9月7日	元禄12年	8月14日	曇 巳の中刻より小雨 風時々 終日終夜に及ぶ
1699年	9月8日	元禄12年	8月15日	曇 昨夜より雨 未の刻大雨 夜に入る (昨夜よりの雨で八幡祭礼を延期、尾太山より銅48固(16貫目入り)鉛70固(同)鱒ヶ沢湊より江戸に積登)
1699年	9月9日	元禄12年	8月16日	陰晴 (蟹田で船1艘破損、取上から小栗山までの並木松23本倒れるなど各地に風被害)
1699年	9月10日	元禄12年	8月17日	快晴 未の下刻地震 則止む (今日八幡の祭礼、常盤組・増館組の並木柳27本吹き折れなど15日の風被害)
1699年	9月11日	元禄12年	8月18日	快晴 (千年山からはじめて西瓜差上げる)
1699年	9月12日	元禄12年	8月19日	快晴 (15日夜東大風で鱸作村・沢辺村で計2艘破損)
1699年	9月13日	元禄12年	8月20日	陰晴 未の下刻小雨時々 夜に及ぶ
1699年	9月14日	元禄12年	8月21日	陰晴 (昨夜よりの大風で土手町後新町の木戸倒れる)
1699年	9月15日	元禄12年	8月22日	曇 小雨時々
1699年	9月16日	元禄12年	8月23日	晴 (昨日足軽が塩硝(鉄砲の火薬)事故で負傷・今日死亡)
1699年	9月17日	元禄12年	8月24日	陰晴 未の下刻雷数鳴動す
1699年	9月18日	元禄12年	8月25日	快晴 午の後刻雷雨 同中刻止み晴
1699年	9月19日	元禄12年	8月26日	陰晴 巳の刻より雷雨甚だしい 午の刻止む 未の中刻より雨時々
1699年	9月20日	元禄12年	8月27日	曇 昨夜より雨時々
1699年	9月21日	元禄12年	8月28日	晴
1699年	9月22日	元禄12年	8月29日	陰晴 (今月25・26日外濱で雹(原文は二水に氷)降る・長さ3寸ほどのものが吹き溜まりで2尺ばかりもたまる・27日屋垣迄消えないところもある、孫内など15か村で19・27日にも大雨被害)
1699年	9月23日	元禄12年	9月1日	晴 (御用番役職氏名付) (先月中碓関出人都合21人・切手数15枚、十三より初鮭上がる)
1699年	9月24日	元禄12年	9月2日	曇 昨夜中より雨 巳の下刻止む 午の刻より雨時々 終夜に及ぶ
1699年	9月25日	元禄12年	9月3日	陰晴
1699年	9月26日	元禄12年	9月4日	晴 (15日江戸で風雨)
1699年	9月27日	元禄12年	9月5日	曇
1699年	9月28日	元禄12年	9月6日	曇 巳の中刻雨 夜に及ぶ
1699年	9月29日	元禄12年	9月7日	曇 夜に入り雨
1699年	9月30日	元禄12年	9月8日	晴 (切支丹惣人数2832人(男1544(上1079下465)女1288(上924下364)、禪宗1912・浄土498・法華189・門徒162・天台35・真言36人、家屋敷63・支配方家屋敷94軒・小荷駄9・乗馬1疋)
1699年	10月1日	元禄12年	9月9日	曇
1699年	10月2日	元禄12年	9月10日	陰晴
1699年	10月3日	元禄12年	9月11日	晴 (今朝未刻碓関町同心が湯ノ沢の湯で湯まくれで死亡)
1699年	10月4日	元禄12年	9月12日	晴
1699年	10月5日	元禄12年	9月13日	陰晴 戌の刻小雨
1699年	10月6日	元禄12年	9月14日	晴
1699年	10月7日	元禄12年	9月15日	晴
1699年	10月8日	元禄12年	9月16日	陰晴 未の上刻小雨 則止む 夜に入り小雨時々
1699年	10月9日	元禄12年	9月17日	曇 昨夜より雨
1699年	10月10日	元禄12年	9月18日	陰晴 岩木山頂上初雪降る
1699年	10月11日	元禄12年	9月19日	晴
1699年	10月12日	元禄12年	9月20日	晴
1699年	10月13日	元禄12年	9月21日	晴 夜に入り雨 終夜に及ぶ
1699年	10月14日	元禄12年	9月22日	晴
1699年	10月15日	元禄12年	9月23日	陰晴 巳の刻小雨 則止む
1699年	10月16日	元禄12年	9月24日	曇 辰の後刻より雨時々 則刻雷辰の刻 終日夜に及ぶ
1699年	10月17日	元禄12年	9月25日	曇 昨夜より雨時々 終日に及ぶ
1699年	10月18日	元禄12年	9月26日	晴
1699年	10月19日	元禄12年	9月27日	晴 夜に入り雨時々
1699年	10月20日	元禄12年	9月28日	曇 昨夜より小雨時々
1699年	10月21日	元禄12年	9月29日	陰晴 東方虹 未の刻雨時々 終夜に及ぶ
1699年	10月22日	元禄12年	9月30日	陰晴 今朝雪降る 辰の刻より雷数度 丸雪時々 曇終日敷(？数としても意味不明) 夜に入り止む
1699年	10月23日	元禄12年閏9月1日	晴 夜に入り時々雨 (御用番役職氏名付)	
1699年	10月24日	元禄12年閏9月2日	曇 巳の後刻より雨 申の刻に及び止む 戌の刻より雨 終夜に及ぶ	
1699年	10月25日	元禄12年閏9月3日	晴 戌の刻より時々雨 雷数発	
1699年	10月26日	元禄12年閏9月4日	曇 時々雨	
1699年	10月27日	元禄12年閏9月5日	陰晴	
1699年	10月28日	元禄12年閏9月6日	晴 今朝大霜	
1699年	10月29日	元禄12年閏9月7日	晴	
1699年	10月30日	元禄12年閏9月8日	曇 寅の刻より雨 終日終夜に及ぶ	
1699年	10月31日	元禄12年閏9月9日	曇 昨夜より風雨 終日に及ぶ (今7日夜金木組小栗崎村の井へ狼2疋入り糞)	

1699年 11月1日 元禄12年閏9月10日 陰晴 午の下刻より雨 終日終夜に及ぶ 戌の中刻雷電 則止む (先月晦日越前船が長浜で破船9人死亡)
 1699年 11月2日 元禄12年閏9月11日 曇 昨夜より雨 辰の刻止む 未の刻風雨時々 終日に及ぶ (8日夜大風で船多数破船、堤川も洪水)
 1699年 11月3日 元禄12年閏9月12日 陰晴
 1699年 11月4日 元禄12年閏9月13日 快晴 今朝霜 (青森下堤町で30斗男倒死)
 1699年 11月5日 元禄12年閏9月14日 快晴 今朝霜 (南袋之内に而芥子畑1町歩申付ける)
 1699年 11月6日 元禄12年閏9月15日 快晴
 1699年 11月7日 元禄12年閏9月16日 快晴 今朝霜 (新坂の上の松が先日の風で倒れる)
 1699年 11月8日 元禄12年閏9月17日 晴
 1699年 11月9日 元禄12年閏9月18日 陰晴 卯の中刻より時々雨 北の方虹見る
 1699年 11月10日 元禄12年閏9月19日 陰晴 (三馬屋の梨が度々の東風で落花)
 1699年 11月11日 元禄12年閏9月20日 晴 亥の刻地震
 1699年 11月12日 元禄12年閏9月21日 陰晴 西北に虹見る 時々雨 終日に及ぶ 夜に入り雨 終夜に及ぶ
 1699年 11月13日 元禄12年閏9月22日 曇 昨夜より雨 四方山雪
 1699年 11月14日 元禄12年閏9月23日 曇 夜に入り雨
 1699年 11月15日 元禄12年閏9月24日 曇 小風 雪揚る 夜に入り地初めて凍る
 1699年 11月16日 元禄12年閏9月25日 曇 巳の後刻より雨 未の刻に及び止む
 1699年 11月17日 元禄12年閏9月26日 晴
 1699年 11月18日 元禄12年閏9月27日 晴
 1699年 11月19日 元禄12年閏9月28日 晴 卯の刻雨 辰の刻に及び止む
 1699年 11月20日 元禄12年閏9月29日 曇 卯の下刻より小雨 巳の刻に及び止む
 1699年 11月21日 元禄12年 10月1日 晴 暖天 (29日高杉組櫓木村で火災(高無:2間半×2間)、一昨26日夜深浦濱町で1家(男3女2人)欠落)
 1699年 11月22日 元禄12年 10月2日 曇 寅の下刻雨 辰の後刻に及び止む
 1699年 11月23日 元禄12年 10月3日 曇 卯の中刻より雪時々 丸雪 夜に及ぶ (初鱒3本青森より上がる、荒物の値段(み(箕)1枚に付代1匁1分7厘など)たくさんあり)
 1699年 11月24日 元禄12年 10月4日 曇 辰の刻より雪時々 終日に及ぶ
 1699年 11月25日 元禄12年 10月5日 曇 (今別の狛鯨1本台所に差上げる・青銅1貫文下し置かれる)
 1699年 11月26日 元禄12年 10月6日 陰晴
 1699年 11月27日 元禄12年 10月7日 陰晴
 1699年 11月28日 元禄12年 10月8日 陰晴 午の刻霰 夜に入り雪
 1699年 11月29日 元禄12年 10月9日 曇
 1699年 11月30日 元禄12年 10月10日 晴
 1699年 12月1日 元禄12年 10月11日 晴 午の刻より曇 同下刻雨雪
 1699年 12月2日 元禄12年 10月12日 曇 雪時々 終日に及ぶ (御家中と別な御家中の不義妻を打ち首)
 1699年 12月3日 元禄12年 10月13日 陰晴 夜に入り雪時々
 1699年 12月4日 元禄12年 10月14日 陰晴 雪時々 午の刻に及び止む
 1699年 12月5日 元禄12年 10月15日 晴
 1699年 12月6日 元禄12年 10月16日 陰晴 卯の下刻雨時々 (古懸不動尊御出汗)
 1699年 12月7日 元禄12年 10月17日 曇 雪終日
 1699年 12月8日 元禄12年 10月18日 曇 巳の中刻まで雪 未の中刻より雨 終日に及ぶ 夜に入り雷発す 則止む
 1699年 12月9日 元禄12年 10月19日 陰晴 夜に入り雪
 1699年 12月10日 元禄12年 10月20日 曇 時々雪 終日に及ぶ
 1699年 12月11日 元禄12年 10月21日 陰晴 雪 終日に及ぶ 申の刻より止む
 1699年 12月12日 元禄12年 10月22日 曇 吹雪終日 終夜に及ぶ
 1699年 12月13日 元禄12年 10月23日 陰晴 辰の刻小雪
 1699年 12月14日 元禄12年 10月24日 晴 (新採用の御徒勢5尺4寸から5尺5寸3歩)
 1699年 12月15日 元禄12年 10月25日 陰晴 未の下刻より雨時々 夜に及ぶ
 1699年 12月16日 元禄12年 10月26日 曇 夜に入り小雨
 1699年 12月17日 元禄12年 10月27日 陰晴 辰の刻小雨 則止む
 1699年 12月18日 元禄12年 10月28日 晴
 1699年 12月19日 元禄12年 10月29日 晴
 1699年 12月20日 元禄12年 10月30日 陰晴 辰の後刻小風 則止む 夜に入り時々雨 終夜に及ぶ (27日青女子村で火災1軒(2間半×3間:無高)、御用金200両差登)
 1699年 12月21日 元禄12年 11月1日 曇 昨夜より雨 巳の下刻まで 午の後刻より風時々 終日に及ぶ
 1699年 12月22日 元禄12年 11月2日 陰晴 時々雪 夜に入り雪 終夜に及ぶ (当月分御用金250両差登)
 1699年 12月23日 元禄12年 11月3日 陰晴 時々雪 (米値段町相場:1俵につき17匁1・2分)
 1699年 12月24日 元禄12年 11月4日 曇 雪 終日終夜に及ぶ (御家中知行米御買上値段:弘前で10両に付き26俵)
 1699年 12月25日 元禄12年 11月5日 陰晴 雪時々 終日終夜に及ぶ
 1699年 12月26日 元禄12年 11月6日 陰晴 吹雪時々
 1699年 12月27日 元禄12年 11月7日 曇 雪(能)
 1699年 12月28日 元禄12年 11月8日 晴
 1699年 12月29日 元禄12年 11月9日 晴 未の中刻より雪
 1699年 12月30日 元禄12年 11月10日 晴 夜に入り雪
 1699年 12月31日 元禄12年 11月11日 陰晴 小雪時々 終日終夜

1700年	1月1日	元禄12年	11月12日	曇	
1700年	1月2日	元禄12年	11月13日	曇	吹雪 終日終夜に及ぶ
1700年	1月3日	元禄12年	11月14日	陰晴	時々小雪
1700年	1月4日	元禄12年	11月15日	曇	小雪時々 (来る12月江戸御用金1万両……)
1700年	1月5日	元禄12年	11月16日	曇	小寒 (御小納戸金470両指登)
1700年	1月6日	元禄12年	11月17日	晴	
1700年	1月7日	元禄12年	11月18日	晴	(10月中御関所出入り都合11人・切手紙11枚、当10月1ヶ月の往還碓関口出入都合252人・入り人都合282人)
1700年	1月8日	元禄12年	11月19日	曇	
1700年	1月9日	元禄12年	11月20日	曇	午の刻より雪 終夜に及ぶ (19日晚赤石組姥が袋村に45・6男倒死)
1700年	1月10日	元禄12年	11月21日	曇	大吹雪 終日終夜に及ぶ
1700年	1月11日	元禄12年	11月22日	曇	風雪 終日に及ぶ
1700年	1月12日	元禄12年	11月23日	辰の中刻雪	暫くして止む
1700年	1月13日	元禄12年	11月24日	陰晴	辰の刻より雪時々 夜に入り雪 (野内明神村に23・4斗男倒死)
1700年	1月14日	元禄12年	11月25日	曇	昨夜より雪時々
1700年	1月15日	元禄12年	11月26日	陰晴	雪時々 夜に入る
1700年	1月16日	元禄12年	11月27日	晴	
1700年	1月17日	元禄12年	11月28日	陰晴	時々雪
1700年	1月18日	元禄12年	11月29日	吹雪	終日終夜に及ぶ (深浦で7軒湯命・救い米少々遣わす、弘前御蔵より鱈ヶ沢へのお下げ米の駄賃もめる・旧来どおり4斗5升入り1駄に付1匁9分宛に戻す)
1700年	1月19日	元禄12年	11月30日	曇	昨夜より大吹雪 近年覚えなき大甚寒
1700年	1月20日	元禄12年	12月1日	曇	大寒二入 雪降 (新寺町で女1人狼に喰われ死ぬ)
1700年	1月21日	元禄12年	12月2日	曇	風雪
1700年	1月22日	元禄12年	12月3日	晴	小雪 (2日夜相馬村で火災1軒、碓関口11月中惣出入都合14人・切手紙11枚)
1700年	1月23日	元禄12年	12月4日	晴	小雪
1700年	1月24日	元禄12年	12月5日	陰晴	時々雪終日 夜に及ぶ
1700年	1月25日	元禄12年	12月6日	陰晴	雪時々 終日夜に及ぶ
1700年	1月26日	元禄12年	12月7日	陰晴	時々雪 終日夜に及ぶ
1700年	1月27日	元禄12年	12月8日	陰晴	時々雪 終日に及ぶ (6日昼八過飯詰村で火災1軒・子供1人焼死、2日青森安方で1艘破損)
1700年	1月28日	元禄12年	12月9日	陰晴	
1700年	1月29日	元禄12年	12月10日	曇	時々雪
1700年	1月30日	元禄12年	12月11日	晴	
1700年	1月31日	元禄12年	12月12日	晴	(御金蔵に銭なく600両両替・1両に付き50日から51匁5分替え、来正月御用金124両差登)
1700年	2月1日	元禄12年	12月13日	陰晴	夜に入り雪 終日夜に及ぶ (10日晚蟹田で1艘破損、12日夜新町野村で火災1軒・馬8疋)
1700年	2月2日	元禄12年	12月14日	時々小雪	夜に入り大雪
1700年	2月3日	元禄12年	12月15日	曇	昨夜より雪 午の刻まで 夜に入り雪
1700年	2月4日	元禄12年	12月16日	曇	節分 昨夜より雪 又吹雪 酉の刻止む (当月14日夜九時半後湯村で火災・家1軒馬7疋焼失、松守4人に1俵宛・山守2人に2俵宛相渡す)
1700年	2月5日	元禄12年	12月17日	陰晴	卯の刻立春 正月節 卯の中刻小雪 則止む 夜に入り雪
1700年	2月6日	元禄12年	12月18日	曇	昨夜より雪 終日に及ぶ
1700年	2月7日	元禄12年	12月19日	曇	夜に入り雪
1700年	2月8日	元禄12年	12月20日	晴	
1700年	2月9日	元禄12年	12月21日	陰晴	時々雪 夜に入り大風 雪終日に及ぶ
1700年	2月10日	元禄12年	12月22日	陰晴	時々雪 終日に及ぶ (18日の強風であちこちで4艘破船)
1700年	2月11日	元禄12年	12月23日	陰晴	時々雪 終日夜に及ぶ (江戸へ差登の10000両の工面内容あり)
1700年	2月12日	元禄12年	12月24日	陰晴	午の中刻雪 則止む 未の刻より時々小吹雪 夜中まで 下から続く ・寺町～飯詰町6～7・大工町5～6・新町5～9尺)
1700年	2月13日	元禄12年	12月25日	曇	時々小雪 (青森の雪厚:安方町通り11～12尺・本町通5～6・上濱町7～9・中濱町～下濱町5～6・米町5～12・博芳町5～6・塩町5～6尺・蜷貝町5～9・松森町4～6・堤町5～7 上に続く)
1700年	2月14日	元禄12年	12月26日	陰晴	時々雪 午の刻止む (江戸から15日振りに仰せ付けで8日に出た飛脚が大雪で19日振りに至着)
1700年	2月15日	元禄12年	12月27日	晴	
1700年	2月16日	元禄12年	12月28日	晴	辰の刻小雪 則止む 午の下刻小雪 (去年御払米100両に付き366俵9升1合余・当年100両に付き262俵3斗1升2合余)
1700年	2月17日	元禄12年	12月29日	晴	
1700年	2月18日	元禄12年	12月30日	陰晴	辰の刻より時々雪
1700年	2月19日	元禄13年正月1日	晴		
1700年	2月20日	元禄13年正月2日	曇	雪 昼より雪雨	
1700年	2月21日	元禄13年正月3日	曇	霰 (三之丸御屋敷で謡い初め)	
1700年	2月22日	元禄13年正月4日	晴	(古懸不動尊出汗)	
1700年	2月23日	元禄13年正月5日	晴		
1700年	2月24日	元禄13年正月6日	晴		
1700年	2月25日	元禄13年正月7日	晴		
1700年	2月26日	元禄13年正月8日	陰晴		
1700年	2月27日	元禄13年正月9日	曇	辰の刻より雨終日 夜に及ぶ	
1700年	2月28日	元禄13年正月10日	曇	昨夜より雨 終日に及ぶ	

1700年	3月1日	元禄13年正月11日	陰晴	一昨日より雨打ち続く 今寅の下刻止む 辰の刻少し風
1700年	3月2日	元禄13年正月12日	晴	
1700年	3月3日	元禄13年正月13日	晴	
1700年	3月4日	元禄13年正月14日	曇	時々雨
1700年	3月5日	元禄13年正月15日	曇	昨夜より雨 卯の後刻より風雨 (13日夜青森寺町で火災3軒、昨夜藤崎川・石渡川で洪水・仮橋引き取り船渡しとする、新町などで大水)
1700年	3月6日	元禄13年正月16日	晴	(神明への御参詣を洪水で延期?、昨日平川洪水・水高1丈2尺・橋痛む)
1700年	3月7日	元禄13年正月17日	晴	
1700年	3月8日	元禄13年正月18日	曇	(13日夜より15日までの大雨で蟹田川洪水・材木流出)
1700年	3月9日	元禄13年正月19日	曇	昨夜より雪打ち続く 卯の刻より小雪時々
1700年	3月10日	元禄13年正月20日	陰晴	夜に入り雪
1700年	3月11日	元禄13年正月21日	陰晴	
1700年	3月12日	元禄13年正月22日	陰晴	未の刻小雨
1700年	3月13日	元禄13年正月23日	曇	辰の刻より雪 夜に入り雪
1700年	3月14日	元禄13年正月24日	晴	
1700年	3月15日	元禄13年正月25日	陰晴	南風 申の刻より大風 夜中に及ぶ 子の刻雨風静まる
1700年	3月16日	元禄13年正月26日	晴	(昨夜の大風被害若干)
1700年	3月17日	元禄13年正月27日	晴	
1700年	3月18日	元禄13年正月28日	晴	(時々御囃子(例:山姥)をしている)
1700年	3月19日	元禄13年正月29日	曇	卯の中刻より雨時々 夜に及ぶ
1700年	3月20日	元禄13年正月30日	曇	巳の中刻夜雪吹時々 夜に及ぶ
1700年	3月21日	元禄13年	2月1日	陰晴 昨日より雪時々 卯の下刻に及び止む
1700年	3月22日	元禄13年	2月2日	陰晴 夜に入り雨風 (正月1ヶ月碓関出入都合124人・入り人都合285人、御関所出入正月中16人切手数11枚)
1700年	3月23日	元禄13年	2月3日	昨夜よりの雨風時々 終日 未の刻より雪風 終夜に及ぶ (石渡川洪水・船渡しできない)
1700年	3月24日	元禄13年	2月4日	陰晴 (昨日平川洪水)
1700年	3月25日	元禄13年	2月5日	晴
1700年	3月26日	元禄13年	2月6日	曇 午の刻より雪終日 夜に及ぶ
1700年	3月27日	元禄13年	2月7日	晴
1700年	3月28日	元禄13年	2月8日	陰晴 夜に入り雨時々 (去年熊に食い殺された者があり深浦に派遣された「またぎ」が今5日熊1疋取る)
1700年	3月29日	元禄13年	2月9日	曇 昨夜より雨 卯の下刻まで それより雪 午の中刻より曇 夜に入り雪 (先月25日の大風に伴う城中被害) 下から続く 、御小納戸金100両差登)
1700年	3月30日	元禄13年	2月10日	曇 卯の刻より曇 辰の刻より雨時々 未の刻まで それより小風時々雨 則止む (8日夜五つ時後潟組六枚橋村で火災10軒、同九つ過五所川原村で火災1軒(2間×3間:無高) 上に続く
1700年	3月31日	元禄13年	2月11日	晴
1700年	4月1日	元禄13年	2月12日	陰晴 午の刻小雨時々 未の刻小風 (目申し1人成敗・もう1人獄門)
1700年	4月2日	元禄13年	2月13日	曇 辰の下刻より雨時々 午の上刻より下刻まで
1700年	4月3日	元禄13年	2月14日	晴
1700年	4月4日	元禄13年	2月15日	晴 今朝霜
1700年	4月5日	元禄13年	2月16日	晴 今朝霜
1700年	4月6日	元禄13年	2月17日	曇 風
1700年	4月7日	元禄13年	2月18日	曇 卯の刻小雪 辰の刻止む 陰晴 (15日夜広須新田上中館村で火災5軒)
1700年	4月8日	元禄13年	2月19日	晴 霜 酉の刻小雨
1700年	4月9日	元禄13年	2月20日	晴 (5日に深浦で熊取った(8日に記述)獵師3人に御褒美米2俵宛)
1700年	4月10日	元禄13年	2月21日	晴 今朝霜 (6日江戸で火災、11日白河・12日郡山で火災、御囃子あり)
1700年	4月11日	元禄13年	2月22日	曇 未の刻より雨 夜に入り小雪
1700年	4月12日	元禄13年	2月23日	卯の下刻より曇 辰の下刻より雨 暫くして止む 午の刻より曇
1700年	4月13日	元禄13年	2月24日	晴 申の後刻地震 (23日藤代村で火災1軒(8坪))
1700年	4月14日	元禄13年	2月25日	曇 辰の下刻より小雨時々 終日終夜に及ぶ
1700年	4月15日	元禄13年	2月26日	曇 雨時々 終日終夜に及ぶ 下から続く 内71軒は支配方取り持ち、小荷駄6疋取り持ち仕り候)
1700年	4月16日	元禄13年	2月27日	晴 卯の中刻小雨 則止み小風 (切支丹惣数2810人(男1544(上1044下500)女1266(上948下318)禪宗1941・浄土468・法華191・門徒136・天台31・真言43人、家屋敷133軒 上に続く
1700年	4月17日	元禄13年	2月28日	晴
1700年	4月18日	元禄13年	2月29日	晴
1700年	4月19日	元禄13年	3月1日	快晴 土用 亥の下刻小雨時々 (御囃子あり)
1700年	4月20日	元禄13年	3月2日	陰晴 昨夜小雨時々 辰の下刻止む
1700年	4月21日	元禄13年	3月3日	晴
1700年	4月22日	元禄13年	3月4日	曇 寅の下刻雨時々 終日に及ぶ (町の米相場1俵に付き19匁4分)
1700年	4月23日	元禄13年	3月5日	晴 夜に入り風 (昨夜の大風被害)
1700年	4月24日	元禄13年	3月6日	曇 小風 (4日の風で1艘破損・2艘行方不明)
1700年	4月25日	元禄13年	3月7日	曇 午の刻より晴 小風
1700年	4月26日	元禄13年	3月8日	快晴 今朝霜見る
1700年	4月27日	元禄13年	3月9日	陰晴 卯の中刻小雨
1700年	4月28日	元禄13年	3月10日	晴
1700年	4月29日	元禄13年	3月11日	快晴
1700年	4月30日	元禄13年	3月12日	曇 申の下刻小雨時々 終夜に及ぶ

1700年	5月1日	元禄13年	3月13日	曇	昨夕より雨 終日夜に及ぶ
1700年	5月2日	元禄13年	3月14日	晴	小風 (13日赤田組野中村で火災1軒(4間×7間:百姓)・外馬屋(2間×3間)焼失)
1700年	5月3日	元禄13年	3月15日	陰晴	夜に入り雨
1700年	5月4日	元禄13年	3月16日	陰晴	昨夜より雨時々 小風
1700年	5月5日	元禄13年	3月17日	晴	
1700年	5月6日	元禄13年	3月18日	晴	
1700年	5月7日	元禄13年	3月19日	晴	
1700年	5月8日	元禄13年	3月20日	晴	(4日松前で2艘破損8人死亡)
1700年	5月9日	元禄13年	3月21日	快晴	
1700年	5月10日	元禄13年	3月22日	卯の刻より雨時々	終日に及ぶ 夜に入り風
1700年	5月11日	元禄13年	3月23日	晴	小風
1700年	5月12日	元禄13年	3月24日	晴	
1700年	5月13日	元禄13年	3月25日	晴	(当月23日朝六つ時分鱒ヶ沢湊口で破船1艘)
1700年	5月14日	元禄13年	3月26日	晴	(近年にない高値、4斗入り1俵の相場:御蔵米19匁7分・大豆11匁9分4厘・小豆15匁3分8厘5毛・小麦30匁7分6厘9毛・但し金子1両に付55匁替え)
1700年	5月15日	元禄13年	3月27日	晴	(22日の水で駒越川に流木)
1700年	5月16日	元禄13年	3月28日	晴	(23日鱒ヶ沢で1艘破船)
1700年	5月17日	元禄13年	3月29日	晴	
1700年	5月18日	元禄13年	3月30日	陰晴	
1700年	5月19日	元禄13年	4月1日	晴	辰の後刻小雨 則止む (22日岩木川洪水・流木12万余、先月4日松前で強風・23艘(2・3艘か)破船船頭等2人以上死亡、2月22日から3月朔日頃まで鱒ヶ沢に鮮沢山(2万2千駄)揚る)
1700年	5月20日	元禄13年	4月2日	陰晴	夜に入り雨 終日に及ぶ
1700年	5月21日	元禄13年	4月3日	曇	昨夜より雨終日 終夜に及ぶ
1700年	5月22日	元禄13年	4月4日	曇	昨夜より雨時々 午の下刻に及ぶ
1700年	5月23日	元禄13年	4月5日	晴	
1700年	5月24日	元禄13年	4月6日	曇	卯の下刻より風雨 終日に及ぶ (当3月中碓関口出入り都合976人・入り都合498人・出入り惣都合1474人)
1700年	5月25日	元禄13年	4月7日	曇	時々雨 終日に及ぶ
1700年	5月26日	元禄13年	4月8日	陰晴	
1700年	5月27日	元禄13年	4月9日	陰晴	
1700年	5月28日	元禄13年	4月10日	晴	夜に入り時々小雨
1700年	5月29日	元禄13年	4月11日	曇	時々雨
1700年	5月30日	元禄13年	4月12日	陰晴	風
1700年	5月31日	元禄13年	4月13日	晴	
1700年	6月1日	元禄13年	4月14日	晴	(今朝大円寺下に男乞食1人倒死)
1700年	6月2日	元禄13年	4月15日	晴	
1700年	6月3日	元禄13年	4月16日	陰晴	
1700年	6月4日	元禄13年	4月17日	快晴	小風 (野内で狼荒れ空鉄砲を打つ許可を求める)
1700年	6月5日	元禄13年	4月18日	曇	
1700年	6月6日	元禄13年	4月19日	晴	申の刻甚だしい雷雨 同中刻止む 戌の中刻より雨 終夜に及ぶ
1700年	6月7日	元禄13年	4月20日	晴	(浦町組・横内町組17か村で狼荒れ代官が鉄砲打ちの派遣を求める)
1700年	6月8日	元禄13年	4月21日	晴	
1700年	6月9日	元禄13年	4月22日	晴	申の中刻地震
1700年	6月10日	元禄13年	4月23日	快晴	(猿賀組で田植え始まる)
1700年	6月11日	元禄13年	4月24日	快晴	
1700年	6月12日	元禄13年	4月25日	快晴	
1700年	6月13日	元禄13年	4月26日	快晴	夜に入り電
1700年	6月14日	元禄13年	4月27日	曇	卯の中刻甚だしい雷雨 巳の刻止み晴
1700年	6月15日	元禄13年	4月28日	陰晴	
1700年	6月16日	元禄13年	4月29日	快晴	入梅
1700年	6月17日	元禄13年	5月1日	陰晴	(29日夜五つ半時分赤石組姥袋村で火災9軒(百姓5・高無百姓4・他に郷蔵1)焼失)
1700年	6月18日	元禄13年	5月2日	快晴	
1700年	6月19日	元禄13年	5月3日	快晴	
1700年	6月20日	元禄13年	5月4日	晴	未の中刻より雨 終日に及ぶ
1700年	6月21日	元禄13年	5月5日	曇	時々雨 (御徒5家渴命)
1700年	6月22日	元禄13年	5月6日	晴	夏至
1700年	6月23日	元禄13年	5月7日	快晴	大暑 (猿賀組大袋村で水不足・この対処に(ぐずぐずしていた)養弟を鎌で打殺した男あり)
1700年	6月24日	元禄13年	5月8日	快晴	大暑
1700年	6月25日	元禄13年	5月9日	曇	巳の中刻より快晴 大暑
1700年	6月26日	元禄13年	5月10日	快晴	今朝霧 申の刻甚だしい雨 暫くして止む 同刻雷(どちらかといえば「雪」に見える)
1700年	6月27日	元禄13年	5月11日	陰晴	(嵩の湯で湯あたりか40男病死)
1700年	6月28日	元禄13年	5月12日	曇	(大鱒御菜園畑より初胡瓜5上がる)
1700年	6月29日	元禄13年	5月13日	晴	今朝霧 (御菜園に申し付けの南袋・千歳山・上野の3ヶ所にあるけしの花が終わった・阿ふ・やうをどうするかでもめる、12日朝田舎館組境松村に40斗山伏倒死)
1700年	6月30日	元禄13年	5月14日	曇	辰の下刻より雨時々 終日に及ぶ 夜に入り雨

1700年	7月1日	元禄13年	5月15日	陰晴	卯の刻雷 昨夜より雨 辰の中刻に及び止む
1700年	7月2日	元禄13年	5月16日	晴	半夏 午の后刻甚だしい雨 暫くして止む 同刻雷数々 (大鰐より初胡瓜9上る、去暮御弘米並先納金代米94,000俵余を鯨ヶ沢に下げた・8,000俵余は朽米として船頭が受取拒否・もめる)
1700年	7月3日	元禄13年	5月17日	曇	巳の刻より雨 午の中刻止み陰晴 申の中刻より雨 夜半に及び止む (12日昼八つ時広須新田大館村で獵師が熊をたてで突き取る)
1700年	7月4日	元禄13年	5月18日	曇	卯の后刻より風雨 同下刻止み陰晴 それより風吹く (昨夜中雨降で石渡橋落ちる)
1700年	7月5日	元禄13年	5月19日	曇	霧 巳の后刻小雨 則止む 酉の刻より雨 終夜に及ぶ
1700年	7月6日	元禄13年	5月20日	曇	卯の下刻小雨時々 巳の后刻止む (深浦町に商売米なし・御蔵米20俵売り払う)
1700年	7月7日	元禄13年	5月21日	陰晴	
1700年	7月8日	元禄13年	5月22日	快晴	(14・15日から広田組で洪水、18日岩木川洪水・流木7・8万本)
1700年	7月9日	元禄13年	5月23日	晴	
1700年	7月10日	元禄13年	5月24日	陰晴	時々小雨 夜中に及ぶ
1700年	7月11日	元禄13年	5月25日	曇	昨夜より時々雨 (3両2分2人扶持は米に \times 7石4斗5升5合、18日革秀寺前川欠け)
1700年	7月12日	元禄13年	5月26日	晴	午の下刻小雨 則止む (大鰐から初茄子9・真瓜3上がる)
1700年	7月13日	元禄13年	5月27日	陰晴	
1700年	7月14日	元禄13年	5月28日	陰晴	午の下刻雨 申の刻に及ぶ
1700年	7月15日	元禄13年	5月29日	陰晴	(尾太山より去年当年出銅鉛正味13貫入り220固まり出来)
1700年	7月16日	元禄13年	6月1日	晴	
1700年	7月17日	元禄13年	6月2日	快晴	甚だしく暑い (今朝嵩の湯小屋に60斗道心湯壺内で死んでいる、去月29日朝造道村で48・9男倒死)
1700年	7月18日	元禄13年	6月3日	晴	甚だしく暑い
1700年	7月19日	元禄13年	6月4日	晴	未の二刻土用に入る
1700年	7月20日	元禄13年	6月5日	快晴	甚だしく暑い (赫土などの値段あり:上赫土100目代銀8匁2厘8毛・切子鉄3貫400目代銭10匁など)
1700年	7月21日	元禄13年	6月6日	快晴	甚だしく暑い
1700年	7月22日	元禄13年	6月7日	快晴	甚だしく暑い (御家中の家来共が欠落脇道通り捕まり牢舎・その賄はお定め通りその主人から出るはず)
1700年	7月23日	元禄13年	6月8日	晴	
1700年	7月24日	元禄13年	6月9日	晴	甚だしく暑い
1700年	7月25日	元禄13年	6月10日	陰晴	(柴50 \times 但し5尺繩にて:繩は5尺が標準らしい)
1700年	7月26日	元禄13年	6月11日	陰晴	申の后刻雨 同下刻に及び止む
1700年	7月27日	元禄13年	6月12日	快晴	
1700年	7月28日	元禄13年	6月13日	快晴	
1700年	7月29日	元禄13年	6月14日	晴	(尾崎組で11日より早稲出穂)
1700年	7月30日	元禄13年	6月15日	晴	未の后刻雨 暫くして止む
1700年	7月31日	元禄13年	6月16日	晴	
1700年	8月1日	元禄13年	6月17日	晴	甚だしく暑い
1700年	8月2日	元禄13年	6月18日	晴	甚だしく暑い
1700年	8月3日	元禄13年	6月19日	晴	(広田組代官が長橋村で自害)
1700年	8月4日	元禄13年	6月20日	快晴	
1700年	8月5日	元禄13年	6月21日	快晴	甚だしく暑い 未の中刻雷発す
1700年	8月6日	元禄13年	6月22日	快晴	甚だしく暑い 立秋 (浦町組堤村に57・8男倒死、7月渡しの御家中御切米:御米10183俵余・御金563両余)
1700年	8月7日	元禄13年	6月23日	曇	卯の后刻より雨
1700年	8月8日	元禄13年	6月24日	午の下刻より雷雨 終日に及ぶ 夜に入り甚だしい雷雨電 (19日外濱内真部山で出火(長さ10町程)) 下から続く (浪岡組の村々で水湛)	
1700年	8月9日	元禄13年	6月25日	昨夜甚だしい雨 巳の刻に及び止む それより時々雨 未の刻に及び晴 (藤崎仮橋流失・石渡・岩木船渡し止・追子ノ木村の浅瀬石川両脇破損・石川大橋と境関大橋破損・田舎館 上に続く)	
1700年	8月10日	元禄13年	6月26日	快晴	(碓関口御開所5月1ヶ月出入192人・同入り人241人、25日朝金木新田豊岡村で落雷男死亡)
1700年	8月11日	元禄13年	6月27日	快晴	
1700年	8月12日	元禄13年	6月28日	快晴	(大鰐御菜園から初米)
1700年	8月13日	元禄13年	6月29日	快晴	(門外村から例年の通り初米、昨夜下長町の男が女房を切り殺し自害・但しまだ死んでいない)
1700年	8月14日	元禄13年	6月30日	快晴	
1700年	8月15日	元禄13年	7月1日	快晴	残暑 (碓関口出入6月中1ヶ月24人切手数15枚)
1700年	8月16日	元禄13年	7月2日	快晴	残暑 (佐々木刑部左衛門(か)私宅に参り候而申し立て候は……:公的記録に「私」が出ている例)
1700年	8月17日	元禄13年	7月3日	快晴	残暑甚だしい
1700年	8月18日	元禄13年	7月4日	晴	残暑
1700年	8月19日	元禄13年	7月5日	残暑	午の下刻雷発す 未の后刻少し雨 則止む 夜に入り雷雨 終夜に及ぶ (19日に自害した広田・飯詰組代官に太田某を充てる、御家中の子今日八つ自害)
1700年	8月20日	元禄13年	7月6日	曇	昨夜より雨 未の刻止む (石渡川・岩木川洪水・共に船渡しできない)
1700年	8月21日	元禄13年	7月7日	陰晴	(先月中碓関口出入人数180人・入り人数267人・都合447人)
1700年	8月22日	元禄13年	7月8日	晴	
1700年	8月23日	元禄13年	7月9日	陰晴	卯の上刻小雨 則止む 巳の刻止む(日記方の写し間違いかな)
1700年	8月24日	元禄13年	7月10日	晴	(蟹田で熊荒れ鉄砲うちを頼めるか問い合わせ)
1700年	8月25日	元禄13年	7月11日	陰晴	小雨時々 (蟹田派遣の熊打ちを命ずるが土地不案内と出ない・獵師を出す、盛岡民部与力山土上仁兵衛49歳重病・子長次郎17歳、9日広田組で男倒・今日死)
1700年	8月26日	元禄13年	7月12日	晴	寅の下刻大雨 卯の上刻止む
1700年	8月27日	元禄13年	7月13日	晴	
1700年	8月28日	元禄13年	7月14日	晴	
1700年	8月29日	元禄13年	7月15日	晴	申の上刻小雨 東方虹
1700年	8月30日	元禄13年	7月16日	晴	
1700年	8月31日	元禄13年	7月17日	陰晴	午の下刻小雨 (先月29日夜宇田沖で御用船行方不明)

1700年 9月1日 元禄13年 7月18日 曇 卯の下刻雨 未の後刻止む
 1700年 9月2日 元禄13年 7月19日 二百十日
 1700年 9月3日 元禄13年 7月20日 曇 (青森で御蔵米の内朽ち米入札:1俵代銭12匁2分5厘)
 1700年 9月4日 元禄13年 7月21日 快晴
 1700年 9月5日 元禄13年 7月22日 晴
 1700年 9月6日 元禄13年 7月23日 陰晴 巳の下刻小雨 暫くして止む (11日深浦で破船1艘)
 1700年 9月7日 元禄13年 7月24日 快晴
 1700年 9月8日 元禄13年 7月25日 晴 午の中刻雨 暫くして止む (初茸を小栗山等から上げる)
 1700年 9月9日 元禄13年 7月26日 曇 時々小雨 申の中刻甚だしい雷電数雨 戌の中刻止む
 1700年 9月10日 元禄13年 7月27日 陰晴 酉の刻より雨 終夜に及ぶ
 1700年 9月11日 元禄13年 7月28日 曇 辰の下刻より雨 申の刻止む (岩木川洪水・駒越渡往還相止む、石渡川も水七分で往還止める)
 1700年 9月12日 元禄13年 7月29日 陰晴
 1700年 9月13日 元禄13年 8月1日 陰晴 (去る29日大川(岩木川)洪水・藻川村田畑残らず水湛・鶴ヶ岡村などにも広がる)
 1700年 9月14日 元禄13年 8月2日 晴 小風 終日に及ぶ (先月中所々御園所出人数32人)
 1700年 9月15日 元禄13年 8月3日 晴 東風吹く
 1700年 9月16日 元禄13年 8月4日 陰晴 申の刻より雨 巳の刻に及ぶ 亥の刻小雨 暫くして止む
 1700年 9月17日 元禄13年 8月5日 晴
 1700年 9月18日 元禄13年 8月6日 陰晴 夜に入り雨 終夜に及ぶ 小雨時々 終日に及ぶ
 1700年 9月19日 元禄13年 8月7日 曇 昨夜より雨 終日終夜に及ぶ
 1700年 9月20日 元禄13年 8月8日 晴 (7日朝後潟組平館村に40斗男首切れ死亡)
 1700年 9月21日 元禄13年 8月9日 晴 (昨8日昼七つ時分増館組十川村に60斗女道心倒死、5日朝小泊で破船1艘)
 1700年 9月22日 元禄13年 8月10日 晴 亥の下刻より雨 終夜に及ぶ
 1700年 9月23日 元禄13年 8月11日 彼岸 曇 昨夜より雨 未の刻止む (藤崎川洪水・藤崎渡で橋杭流れ馬船で往還・岩木川洪水・駒越渡往還相留める)
 1700年 9月24日 元禄13年 8月12日 晴 (昨日の流木4万本ほど)
 1700年 9月25日 元禄13年 8月13日 陰晴
 1700年 9月26日 元禄13年 8月14日 陰晴
 1700年 9月27日 元禄13年 8月15日 晴
 1700年 9月28日 元禄13年 8月16日 曇
 1700年 9月29日 元禄13年 8月17日 晴
 1700年 9月30日 元禄13年 8月18日 晴 夜に入り雨 終夜に及ぶ
 1700年 10月1日 元禄13年 8月19日 曇 昨夜より雨時々 終日に及ぶ
 1700年 10月2日 元禄13年 8月20日 曇 (昨19日堂野前村で熊荒れ4人負傷、賀田御蔵(藩の弾薬倉)の塩消206貫50目)
 1700年 10月3日 元禄13年 8月21日 陰晴 時々小雨
 1700年 10月4日 元禄13年 8月22日 晴
 1700年 10月5日 元禄13年 8月23日 晴
 1700年 10月6日 元禄13年 8月24日 晴 辰の後刻雨 暫くして止む 北風 申の中刻雷雨 暫くして止む 夜に入り電光
 1700年 10月7日 元禄13年 8月25日 快晴 未の下刻雷雨 暮に及ぶ 夜に入り時々雷電 (古懸不動尊出汗、御小納戸金200両差登)
 1700年 10月8日 元禄13年 8月26日 陰晴 卯の後刻雷雨 巳の刻に及ぶ (鮭が取れなくなっている・取った記録がないのに江戸へ初鮭上げている)
 1700年 10月9日 元禄13年 8月27日 曇 岩木山へ初雪 卯の刻より雨時々 夜に及ぶ (古懸不動尊御出汗)
 1700年 10月10日 元禄13年 8月28日 晴 (26日深浦御仮屋下で獵師が熊取る) 下から続く 数89軒・小荷駄11内支配で取り持ち3疋・乗馬なし)
 1700年 10月11日 元禄13年 8月29日 曇 西の中刻雨 (切支丹惣人数3053人(男1705(上1126下579)女1348(上966下382)、禪宗2037・浄土533・法華206・門徒181・天台27・真言59人、家屋敷171内支配方家屋 上に続く)
 1700年 10月12日 元禄13年 9月1日 曇 昨夜より雨時々 (当8月中御園所出人都合21人)
 1700年 10月13日 元禄13年 9月2日 晴 (今朔日昼九つ時野木村で39歳男が28歳女房を打殺す)
 1700年 10月14日 元禄13年 9月3日 晴 (碓関口8月1ヶ月の内の出入都合168人・入り人都合231人・出入り人数合399人)
 1700年 10月15日 元禄13年 9月4日 晴 (蟹田町で狚が熊取る)
 1700年 10月16日 元禄13年 9月5日 陰晴 午の刻より風雨時々 夜に及ぶ
 1700年 10月17日 元禄13年 9月6日 陰晴 昨夜より風雨
 1700年 10月18日 元禄13年 9月7日 晴
 1700年 10月19日 元禄13年 9月8日 陰晴 小雨時々 夜に入り風雨時々 (三馬屋から梨81)
 1700年 10月20日 元禄13年 9月9日 昨夜より風雨時々 (6日深浦で破船1艘1人死亡)
 1700年 10月21日 元禄13年 9月10日 晴
 1700年 10月22日 元禄13年 9月11日 陰晴 時々雨 (5日夜より6日の大風・横内・浦町組・後潟組村々で稲吹きこぼれ)
 1700年 10月23日 元禄13年 9月12日 晴
 1700年 10月24日 元禄13年 9月13日 晴 夜に入り雷雨 (長船入札:中古45匁・痛みもの10匁5分5厘など)
 1700年 10月25日 元禄13年 9月14日 時々雨 午の後刻より初丸雪 同下刻より雪 終夜に及ぶ
 1700年 10月26日 元禄13年 9月15日 陰晴 昨夜より雪時々 終日終夜に及ぶ
 1700年 10月27日 元禄13年 9月16日 晴 (御手廻一番組与力山土上仁兵衛跡式相違なく倅長次郎に)
 1700年 10月28日 元禄13年 9月17日 快晴 (13・14日の大風で柳田村に破船2艘)
 1700年 10月29日 元禄13年 9月18日 夜に入り小雨 (鮭留入札:荒川91匁(昨年85匁)・野内川80匁3分5厘(昨年180匁)、昨夜七つ過ぎ高杉組榎木村で30斗男倒死、暮れ時道中から50・60両送れと申来・70両を夜四つ時出す)
 1700年 10月30日 元禄13年 9月19日 昨夜より雨 (14日の大風で深浦で破船1艘)
 1700年 10月31日 元禄13年 9月20日 曇 時々雨

1700年 11月1日 元禄13年 9月21日 夜に入り雨 (御着城八時過ぎ)
 1700年 11月2日 元禄13年 9月22日 午の中刻より時々雨 同下刻止む 夜に入り雨 (金木組・赤石組で14・15日に大風被害、油川組で6・7日大風被害、御囃子)
 1700年 11月3日 元禄13年 9月23日 申の中刻より雨 終夜に及ぶ
 1700年 11月4日 元禄13年 9月24日 晴
 1700年 11月5日 元禄13年 9月25日 晴 (23日高屋村近辺で8人を喰った熊を獵師がたてでつき留める)
 1700年 11月6日 元禄13年 9月26日 晴
 1700年 11月7日 元禄13年 9月27日 今朝霜 夜に入り雨 終夜に及ぶ
 1700年 11月8日 元禄13年 9月28日 昨夜より雨 終日終夜に及ぶ (能・狂言、各種大根の試作結果あり)
 1700年 11月9日 元禄13年 9月29日 曇 昨夜より雨 辰の刻に及び止む 巳の下刻丸雪時々 午の刻に及び止み陰晴
 1700年 11月10日 元禄13年 9月30日 晴
 1700年 11月11日 元禄13年 10月1日 晴 今朝大雪(霜だろうと思うが霜には見えない) 地初めて凍る(晴今朝大雪地初而氷)
 1700年 11月12日 元禄13年 10月2日 晴 今朝霜 (9月中御関所出人数7人)
 1700年 11月13日 元禄13年 10月3日 晴 今朝霜 夜に入り雨時々
 1700年 11月14日 元禄13年 10月4日 曇 昨夜より小雨時々 未の刻より小雪 夜に及ぶ (藤代組小友村と中畑村の境でまたぎが熊取る)
 1700年 11月15日 元禄13年 10月5日 曇 昨夜より小雪時々 終日 夜に及ぶ (4日暮六時横内組原別村で火災6軒)
 1700年 11月16日 元禄13年 10月6日 曇 雪時々 終日 夜に及ぶ (御手廻一番組頭盛岡民部を森岡民部に改名)
 1700年 11月17日 元禄13年 10月7日 晴
 1700年 11月18日 元禄13年 10月8日 曇 夜に入り時々雨
 1700年 11月19日 元禄13年 10月9日 曇 時々雨 終日 夜に及ぶ
 1700年 11月20日 元禄13年 10月10日 陰晴 夜に入り小雨
 1700年 11月21日 元禄13年 10月11日 晴
 1700年 11月22日 元禄13年 10月12日 晴
 1700年 11月23日 元禄13年 10月13日 晴
 1700年 11月24日 元禄13年 10月14日 晴 未の刻雨 暫くして止む (津出米:先納金代(藩の借金ですな)74202石・他に3万石・計104202石)
 1700年 11月25日 元禄13年 10月15日 曇 昨夜より雨 終日に及ぶ 夜に入り小雪
 1700年 11月26日 元禄13年 10月16日 曇 時々小雪 終夜に及ぶ (漆の樹の特性に関する知識あり、昨日碓関峠の山中に60程男倒死)
 1700年 11月27日 元禄13年 10月17日 曇 夜に入り雨 辰の下刻に及ぶ (昨晚大円寺仁王門脇に34・5男倒死)
 1700年 11月28日 元禄13年 10月18日 曇 昨夜より雨 午の刻に及び止む (能・狂言、十三を「とさ」と呼ぶようにする(十三(ジウサン)之事自今以後十三(トサ)と唱可申之旨被仰出旨則右之段四役人江申渡之))
 1700年 11月29日 元禄13年 10月19日 曇 (4日晚の横内組原別村の火災(5日記述)6軒の最大4間×7間・最小2間×3間)
 1700年 11月30日 元禄13年 10月20日 晴 (御在国年鮭代の覚え:初鮭銀1枚・二番鮭金2歩・三番鮭金1歩)
 1700年 12月1日 元禄13年 10月21日 陰晴 卯の下刻小雨 則止む 夜に入り雨
 1700年 12月2日 元禄13年 10月22日 陰晴 昨夜より雨時々 終日終夜に及ぶ
 1700年 12月3日 元禄13年 10月23日 曇 雨 夜に入り小雪 (昨晚棟方十左衛門運塞、今日赤田組石野村で庄屋の子自害、昨22日五時過ぎ七つ石町で火災(1間半四方))
 1700年 12月4日 元禄13年 10月24日 陰晴 卯の刻より時々小雪 辰の中刻止む 申の刻小雪
 1700年 12月5日 元禄13年 10月25日 晴 (9月1ヶ月中碓関口出入合308人、同惣入り合687人・出入り都合995人)
 1700年 12月6日 元禄13年 10月26日 曇 午の中刻より雨 終日夜に及ぶ (能・狂言)
 1700年 12月7日 元禄13年 10月27日 曇 昨夜より吹雪 終日に及ぶ (能・狂言)
 1700年 12月8日 元禄13年 10月28日 陰晴 少し雪時々 午の刻止む (26日夜七過ぎ赤石組姥袋村で火災1軒牛1疋、棟方十左衛門運塞御免)
 1700年 12月9日 元禄13年 10月29日 晴
 1700年 12月10日 元禄13年 11月1日 晴
 1700年 12月11日 元禄13年 11月2日 晴 未の刻より雨 申の刻に及ぶ (先月中碓関御関所出入り人数都合456人、頃日の相場:米1俵に付き代銭15匁・金1両に付き50匁替え)
 1700年 12月12日 元禄13年 11月3日 晴 夜に入り風雪 (先月26日より鱈ヶ沢に鱈出来・都合140駄余、当20年以後鱈一切なく去々年14・5駄去年一切なし)
 1700年 12月13日 元禄13年 11月4日 曇 昨夜より風雪 終日に及ぶ (先月9日に江戸に向かった飛脚が郡山で手紙等を盗まれる、先月27日朝鱈ヶ沢で大波・破船3艘)
 1700年 12月14日 元禄13年 11月5日 晴 夜に入り小雪 (御在国の年初鱈代銭:初鱈2貫文・二番金1歩・三番700文、10月26日深浦で破船1艘)
 1700年 12月15日 元禄13年 11月6日 晴 午の中刻より雪 申の下刻に及ぶ(晴午中刻ヨリ雪及申下刻) (牧の駒入札(1疋):45匁3分5厘~23匁)
 1700年 12月16日 元禄13年 11月7日 陰晴
 1700年 12月17日 元禄13年 11月8日 曇
 1700年 12月18日 元禄13年 11月9日 晴 (御家中の江戸登りに御用金1000両持たせる)
 1700年 12月19日 元禄13年 11月10日 昨夜より雨 申の中刻より雪 終日に及ぶ 卯の中刻より小雪
 1700年 12月20日 元禄13年 11月11日 曇 辰の刻より雪 申の刻に及ぶ (10日夜九つ過ぎ柏木組常海橋村で火災1軒馬3疋焼失)
 1700年 12月21日 元禄13年 11月12日 冬至 小雪 夜に入り又雪
 1700年 12月22日 元禄13年 11月13日 陰晴
 1700年 12月23日 元禄13年 11月14日 曇 (10日常海橋村の火災による焼失:百姓家(9間×4間)・馬屋(2間×1間半)・馬3疋・米18俵・稲800束・粃15俵・大豆9俵・麦1俵・粟100束・小豆1俵・蕎麦1俵(各4斗))
 1700年 12月24日 元禄13年 11月15日 陰晴 辰の中刻より雨時々 (昨夜常磐組徳田村で火災1軒)
 1700年 12月25日 元禄13年 11月16日 曇 巳の刻より小雪時々 下から続く ・糶めて1石8・9斗など、鱈が上らない
 1700年 12月26日 元禄13年 11月17日 曇 時々雪 (御徒3人を推薦:勢5尺5寸~5尺3寸5分・24~29歳、14日徳田村の火災による焼失:百姓家(4間×8間)・餅稲にう(標準語はにお)一つ100束余・種にう一つ200束程 上に続く
 1700年 12月27日 元禄13年 11月18日 晴 夜に入り小雪 (能・狂言)
 1700年 12月28日 元禄13年 11月19日 曇 昨夜より時々丸雪 夜に入り雪
 1700年 12月29日 元禄13年 11月20日 昨夜より雪時々 辰の刻丸雪
 1700年 12月30日 元禄13年 11月21日 辰の刻まで雪
 1700年 12月31日 元禄13年 11月22日 晴 夜に入り雪 (20日?後湯組蓬田村で百姓の子が手槍で突き殺される)